

---

**（仮称）豊島区子ども・若者総合計画  
策定のためのアンケート調査  
報告書**

---

平成 31 年（2019 年）3 月

豊 島 区



## 目 次

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 第1章 調査の概要                            | 1  |
| I アンケート調査の概要                         | 3  |
| II ヒアリング調査の概要                        | 5  |
| 第2章 調査結果の概要                          | 7  |
| I アンケート調査結果の概要                       | 9  |
| 1 子どもの権利に関する条例について                   | 9  |
| 2 子ども・若者の自己肯定感について                   | 11 |
| 3 子どもの生活状況・意識について                    | 21 |
| 4 虐待・いじめについて                         | 25 |
| 5 子どもと保護者の意識について                     | 28 |
| 6 保護者の就労状況について                       | 37 |
| 7 教育・保育事業等の利用について                    | 39 |
| 8 子育てに関する保護者の意識について                  | 40 |
| 9 豊島区の施策について                         | 42 |
| II ヒアリング調査結果概要                       | 44 |
| 1 居場所・ホッとできる場所                       | 44 |
| 2 学校に関すること                           | 44 |
| 3 子どもの社会参加や意見表明に関すること                | 45 |
| 4 虐待やいじめなど、周りの大人や友人との関係に関すること        | 45 |
| 5 悩みや不安、相談に関すること                     | 46 |
| 6 自己肯定感に関すること                        | 47 |
| 7 豊島区の施策に関すること                       | 47 |
| 第3章 調査結果                             | 49 |
| I 就学前児童の保護者                          | 51 |
| 1 お子さんご家族の状況について                     | 51 |
| 2 保護者の就労状況について                       | 55 |
| 3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について            | 62 |
| 4 保育所探しの状況について                       | 73 |
| 5 地域の子育て支援事業の利用状況等について               | 75 |
| 6 土曜・日曜や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について   | 77 |
| 7 お子さんの病気の際の対応について                   | 80 |
| 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について     | 84 |
| 9 お子さんが5歳以上である方に、小学生就学後の放課後の過ごし方について | 88 |
| 10 子育て全般について                         | 91 |

|     |                         |     |
|-----|-------------------------|-----|
| 11  | あなたご自身のことについて           | 94  |
| 12  | 『子どもの権利条例』や豊島区のことについて   | 99  |
| II  | 小学生の保護者                 | 106 |
| 1   | お子さんとご家族の状況について         | 106 |
| 2   | 保護者の就労状況について            | 110 |
| 3   | お子さんの放課後の過ごし方について       | 118 |
| 4   | お子さんの病気の際の対応について        | 125 |
| 5   | お子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について | 127 |
| 6   | 子育て全般について               | 129 |
| 7   | あなたご自身のことについて           | 132 |
| 8   | お子さんのことについて             | 139 |
| 9   | 『子どもの権利条例』や豊島区の施策について   | 144 |
| III | 中学生・高校生の保護者             | 148 |
| 1   | お子さんとご家族の状況について         | 148 |
| 2   | お子さんの放課後や自由時間の過ごし方について  | 152 |
| 3   | 子育て全般について               | 154 |
| 4   | あなたご自身のことについて           | 157 |
| 5   | お子さんのことについて             | 162 |
| 6   | 『子どもの権利条例』や豊島区の施策について   | 166 |
| IV  | 小学4～6年生本人               | 169 |
| 1   | あなたのことについて              | 169 |
| 2   | ふだんの生活について              | 171 |
| 3   | 家での生活やあなたの思いについて        | 177 |
| 4   | 学校でのことについて              | 181 |
| 5   | 地域でのことについて              | 185 |
| 6   | 豊島区の施設について              | 187 |
| 7   | 困ったり、悩んだりしていることについて     | 188 |
| 8   | 『子どもの権利条例』や豊島区のことについて   | 194 |
| V   | 中学生・高校生本人               | 196 |
| 1   | あなたのことについて              | 196 |
| 2   | 放課後や自由時間の過ごし方について       | 198 |
| 3   | 家での生活やあなたの思いについて        | 205 |
| 4   | 学校や仕事でのことについて           | 209 |
| 5   | 地域でのことについて              | 213 |
| 6   | 豊島区の施設について              | 216 |
| 7   | 困ったり、悩んだりしていることについて     | 218 |
| 8   | 『子どもの権利条例』や豊島区のことについて   | 224 |

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| VI 若者                     | 226 |
| 1 あなたのことにについて             | 226 |
| 2 ふだんの生活について              | 230 |
| 3 子どもの頃のことについて            | 238 |
| 4 仕事、就職について               | 241 |
| 5 あなたの思いについて              | 248 |
| 6 悩み・相談機関について             | 256 |
| 7 豊島区の子ども若者施策について         | 261 |
| VII 区施設職員                 | 266 |
| 1 あなたのことにについて             | 266 |
| 2 あなたの職場の子どもについて          | 266 |
| 3 子ども支援に関する情報・他機関との連携について | 270 |
| 4 あなたの思いについて              | 272 |
| 5 相談相手・機関について             | 274 |
| 6 『子どもの権利条例』について          | 276 |
| VIII 地域団体                 | 278 |
| 1 あなたのことにについて             | 278 |
| 2 あなたが地域や団体の活動に関わる子どもについて | 278 |
| 3 子ども支援に関する情報・他機関との連携について | 282 |
| 4 あなたの思いについて              | 284 |
| 5 相談相手・機関について             | 286 |
| 6 『子どもの権利条例』について          | 288 |
| IX 自由記述                   | 290 |



## 第1章 調査の概要

---





## I アンケート調査の概要

### 1. 調査目的

豊島区では、子どもの健やかな成長や子育てを支える施策の推進のために「豊島区子どもプラン」（平成27年度～平成31年度）を、また、子どもから若者の成長や自立を支える地域社会の形成をめざし「豊島区子ども・若者計画」（平成29年度～平成31年度）を策定し、子ども若者支援や子育て支援に関する様々な取り組みをすすめてきました。

これらの計画の期間満了に伴い、「豊島区子どもの権利に関する条例」の視点も加えた「(仮称)豊島区子ども・若者総合計画」を策定することになり、新計画策定の基礎資料とするためアンケート調査を実施しました。

### 2. 調査期間・調査方法

調査期間：平成30年11月15日～11月29日

調査方法：郵送による配布・回収（一部直接配布、区民調査については礼状を兼ねた督促を実施）

### 3. 調査対象者及び回収結果

平成25年度の前回調査と同様に保護者及び子ども本人を調査対象とするとともに、「子ども・若者計画」及び「子どもの権利推進計画」策定の基礎資料とするため、若者、子ども関連施設職員及び地域団体等を対象に追加しました。

|      |        |
|------|--------|
| 配布総数 | 8,900件 |
| 回数件数 | 3,512件 |
| 回収率  | 39.5%  |

#### (1) 区民調査

| 区分 |        | 対象者         | 配布数               | 回収数   | 回収率   |       |
|----|--------|-------------|-------------------|-------|-------|-------|
| 1  | 保護者    | 就学前児童保護者    | 0～5歳の子どもの保護者      | 1,500 | 738   | 49.2% |
| 2  |        | 小学校1～3年生保護者 | 6～8歳の子どもの保護者      | 750   | 405   | 54.0% |
| 3  |        | 小学校4～6年生保護者 | 9～11歳の子どもの保護者     | 750   | 305   | 40.7% |
| 4  |        | 中学生保護者      | 12～17歳の子どもの保護者    | 1,500 | 544   | 36.3% |
| 5  | 子ども・若者 | 小学校4～6年生本人  | 上記3の世帯の9～11歳の子ども  | 750   | 279   | 37.2% |
| 6  |        | 中高生本人       | 上記4の世帯の12～17歳の子ども | 1,500 | 455   | 30.3% |
| 7  |        | 若者          | 18～29歳の若者         | 1,500 | 302   | 20.1% |
| 合計 |        |             | 8,250             | 3,028 | 36.7% |       |

#### (2) 子ども施設職員・地域団体等調査

| 区分      | 対象者  | 配布数 | 回収数 | 回収率   |
|---------|--|-----|-----|-------|
| 1 区施設職員 | 保育園、幼稚園、小中学校、子どもスキップ、中高生センタージャンプ、教育センター、区民ひろば、子ども家庭支援センター、池袋保健所、長崎健康相談所の職員 | 300 | 272 | 90.7% |
| 2 地域団体  | 町会、民生・児童委員、保護司、青少年育成委員、社会福祉協議会   | 350 | 212 | 60.5% |
| 合計      |  | 650 | 484 | 74.5% |

#### 4. 調査項目

前回調査との継続性を考慮し、「子ども・子育て支援事業計画」策定に必要な幼児教育・保育等の利用状況と利用意向及び子育て家庭や子どもの意識と生活実態に関する項目を基本にするとともに、若者に関する項目及び子どもの権利に関する意識を把握するための項目を追加しました。

#### 5. 報告書を利用するにあたって

- 第2章の「調査結果の概要」は、アンケートの集計結果の中から、子ども・若者の権利に関する質問を中心に、子ども本人と保護者などの調査対象者間の意識の違いや、5年前の調査と比較して差が見られるもの、また、今回の調査から加えた子ども・若者本人の自己肯定感に関する事など、主な項目を抜粋して掲載しています。
- 第3章の「調査結果」は、調査対象者別に、アンケートの質問順に単純集計結果をグラフとともに掲載しています。なお、一部掲載していない質問もありますので、全ての単純集計結果は豊島区ホームページをご覧ください。また、子ども本人・若者調査では「自分を好きだと思っているか」、「友だちの有無」とクロス集計し、概ね8%以上の差が見られた結果も合わせて掲載しています。
- 調査票の掲載は割愛していますので、豊島区ホームページをご覧ください。

【ホームページ掲載場所】

豊島区ホームページ ⇒ 区政情報 ⇒ 施策・計画・予算・財政・行政評価  
⇒ 施策・計画、白書・報告書 ⇒ 白書・報告書 ⇒ 子ども若者課（白書・報告書）

#### 6. 調査結果の見方

- 図・表中のn、回答者数とは調査の母数となる実数を指します。
- 回答はn、回答者数を100%として百分率で算出しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがあります。
- 図・表中の「-」は回答者が皆無のものです。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

## II ヒアリング調査の概要

### 1. 調査目的

「(仮称) 子ども・若者総合計画」の策定にあたり、アンケート調査では把握しきれない子どもの思いや、困難を抱える子ども・若者の実態や意識を把握することを目的に、関係機関や団体の協力を得て、子ども・若者へのヒアリングを実施しました。

### 2. 実施時期・調査方法

- 実施時期：平成31年1月
- 調査方法：子どもの居場所となる施設等や困難を抱える子どもを支援する団体・施設において、日頃から子ども等と関わっている職員がヒアリングを実施。  
下記調査対象の「(1) 子どもの居場所」においてはグループヒアリング形式、「(2) 困難を抱える子どもを支援する団体・施設」においては個別インタビュー形式にて実施。  
調査にあたっては、豊島区子どもの権利委員会委員が同席し、事務局が記録。

### 3. 調査対象

#### (1) 子どもの居場所

- ①子どもスキップ、②中高生センタージャンプ、③子ども食堂、④プレーパーク

#### (2) 困難を抱える子どもを支援する団体・施設

|   | 対象となる子ども                | ヒアリング実施施設・団体           |
|---|-------------------------|------------------------|
| ① | 障害を抱える子ども               | 障害を持つ児童を受け入れている子どもスキップ |
| ② | 外国ルーツの子ども               | 外国籍の子どもを対象に学習支援を行う団体   |
| ③ | 多様な性自認・性的指向の子ども         | 左記の子どもを支援する団体          |
| ④ | 不登校・引きこもり（または経験のある）の子ども | 左記の子どもを支援する団体          |
| ⑤ | 虐待・DVなどの被害を受けた子ども       | 母子生活支援施設               |

### 4. ヒアリング項目

- (1) 居場所・ホッとできる場所
- (2) 学校に関すること
- (3) 子どもの社会参加や意見表明に関すること
- (4) 虐待やいじめなど、周りの大人や友人との関係に関すること
- (5) 悩みや不安、相談に関すること
- (6) 自己肯定感に関すること
- (7) 豊島区の施策に関すること

### 5. ヒアリング結果

第2章の「調査結果の概要」において、ヒアリング項目ごとに主な意見を掲載しています。なお、詳細な結果は個人が特定される可能性があるため、割愛させていただきます。



## 第 2 章 調査結果の概要

---



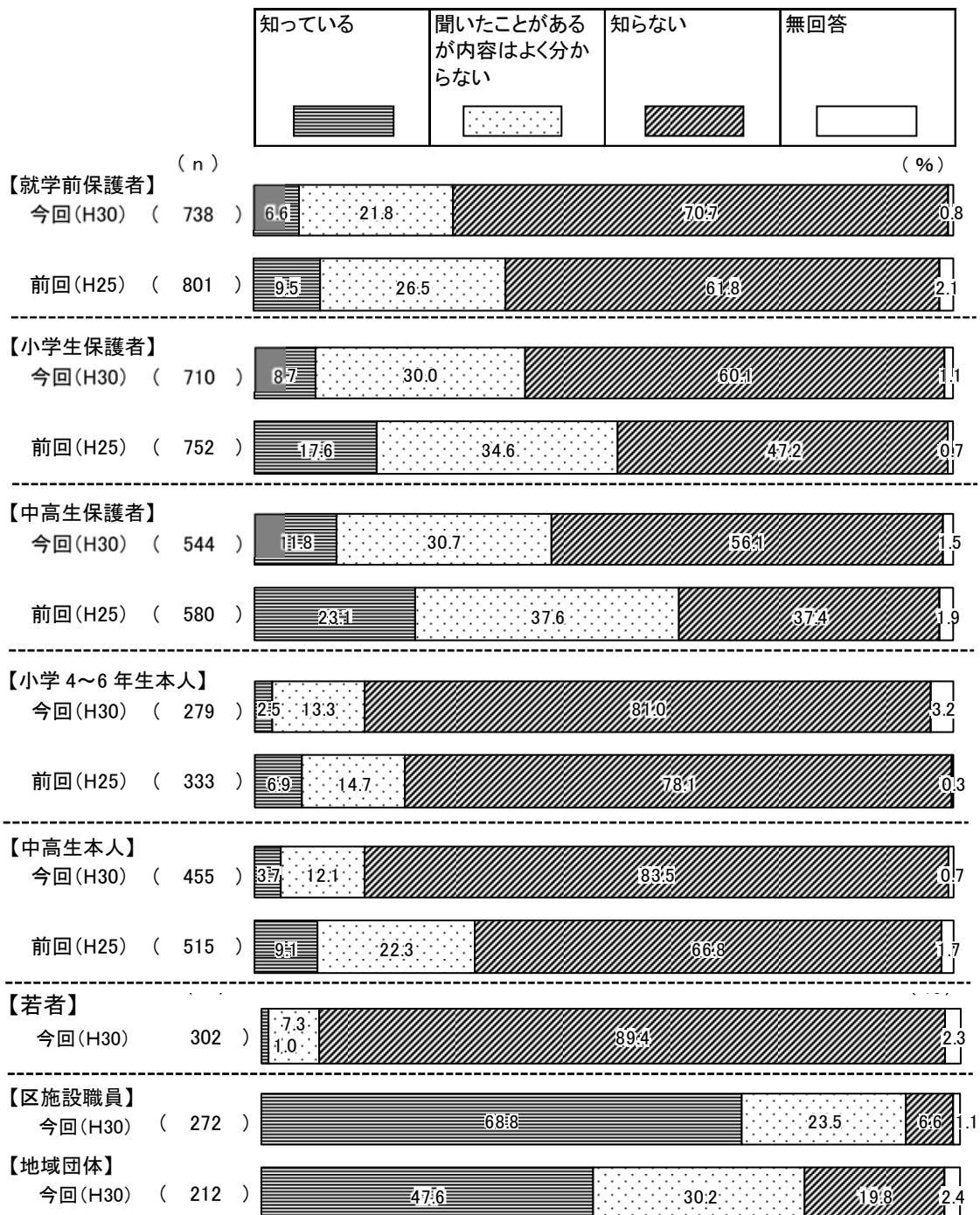
## I アンケート調査結果の概要

アンケートの集計結果の中から、子ども・若者の権利に関する質問を中心に、子ども本人と保護者などの調査対象者間の意識の違いや、5年前の調査と比較して差が見られるもの、また、今回の調査から加えた子ども・若者本人の自己肯定感に関することなど、主な項目を抜粋して掲載しています。

### 1 子どもの権利に関する条例について

#### ①『豊島区子どもの権利に関する条例』の認知度

■『豊島区子どもの権利に関する条例』の認知度



第2章 調査結果の概要

I アンケート調査結果の概要

区民調査では「知らない」が最も多く、保護者は5割以上（就学前児童保護者 70.7%、小学生保護者 60.1%、中高生保護者 56.1%）、子ども・若者本人では8割以上（小学4～6年生 81.0%、中高生 83.5%、若者 89.4%）となっています。

“区施設職員”と“地域団体”は「知っている」が最も多く、順に 68.8%、47.6%となっています。

前回調査は、選択肢が「1.内容をよく知っている」「2.内容をだいたい知っている」「3.内容を少し知っている」「4.聞いたことがあるが内容は知らない」「5.名前を聞いたことがない」「6.知らない」と今回と異なっていますが、比較するとすべての保護者、子ども本人で「知らない」の割合が増えています。

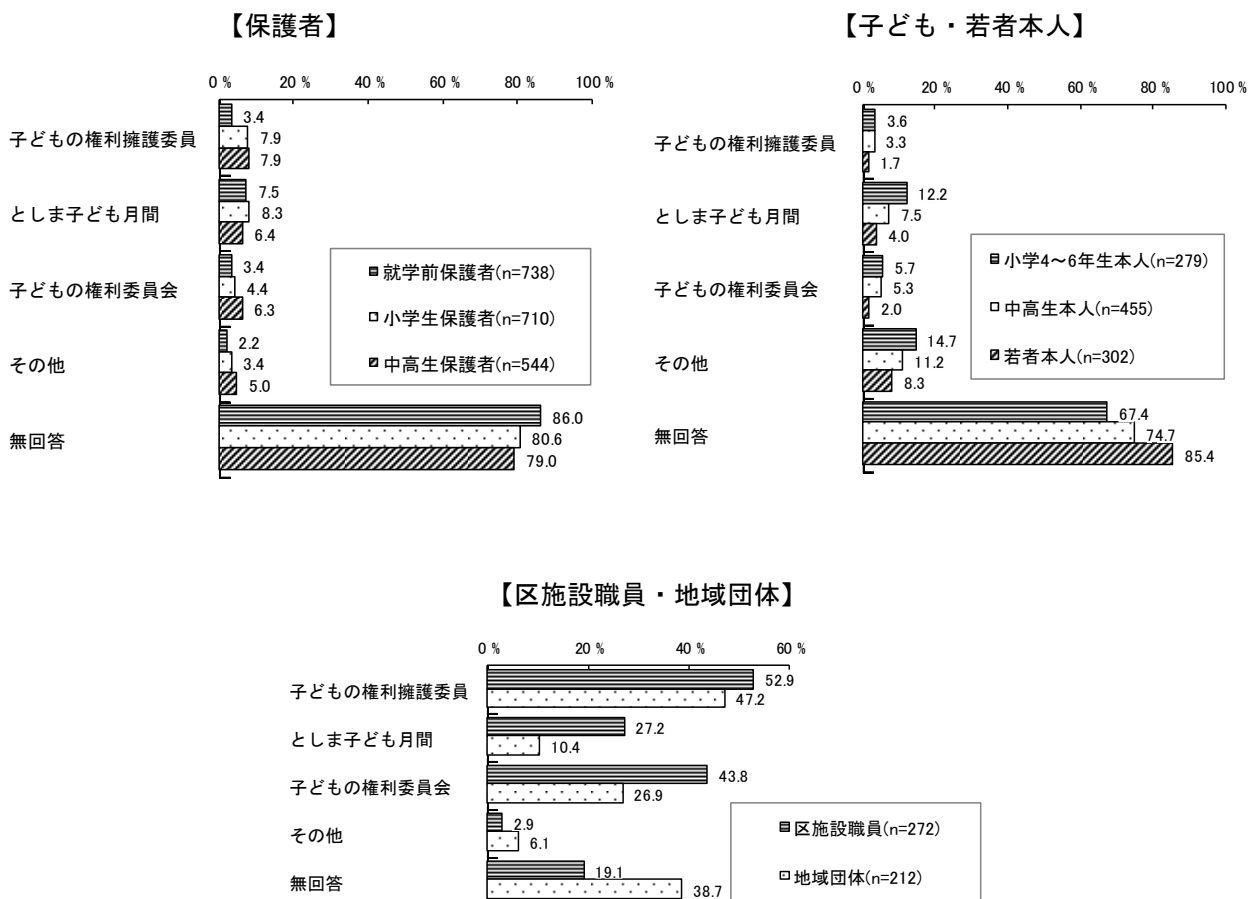
②子どもの権利の施策（権利擁護委員、権利委員会、子ども月間）の認知度

「子どもの権利擁護委員」や「子どもの権利委員会」、「としま子ども月間」など、子どもの権利に関して豊島区が行っている施策の認知度は、すべての保護者で1割未満となっています。

子ども・若者本人は、“小学4～6年生本人”で「としま子ども月間」が12.2%で1割を超えています。他は1割未満となっています。

“区施設職員”“地域団体”は「子どもの権利擁護委員」が最も多く、順に 52.9%、47.2%で約5割となっています。

■子どもの権利の施策（権利擁護委員、権利委員会、子ども月間）の認知度





## 2 子ども・若者の自己肯定感について

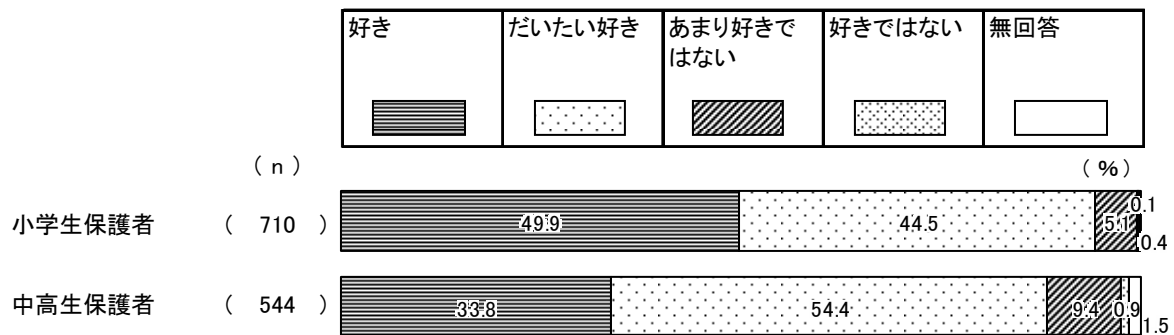
### ① 子どもや若者が自分を好きだと思っているか

“小学生保護者”は「好き」が49.9%、“中学生保護者”は「だいたい好き」が54.4%と最も多くなっています。

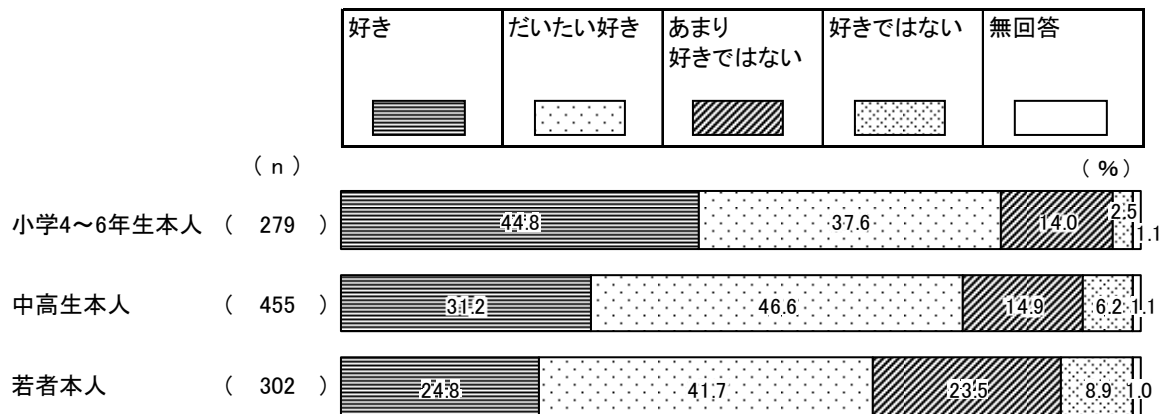
“小学4～6年生本人”は「好き」が44.8%、“中学生本人”“若者本人”は「だいたい好き」が順に46.6%、41.7%で最も多くなっています。年代が上がるにつれて、「好き」が少なくなる傾向があります。

“区施設職員”“地域団体”は「だいたいそう思う」が順に68.8%、65.6%と最も多くなっています。

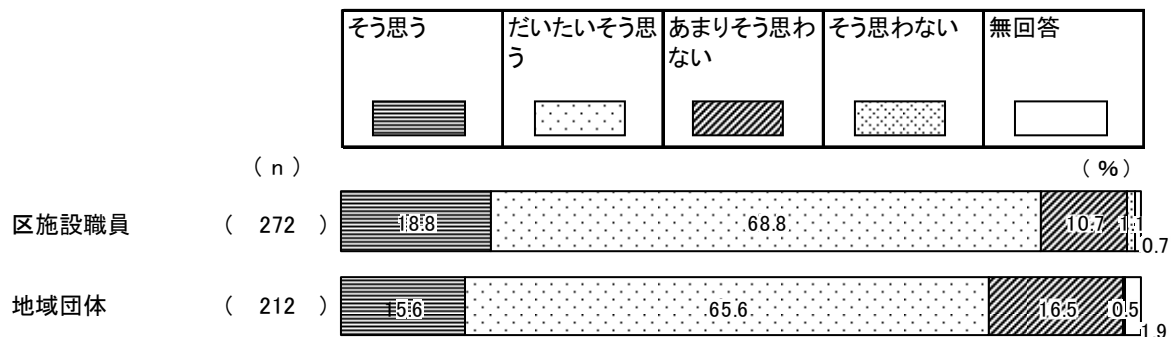
#### ■子どもは自分のことが好きだと思っているか



#### ■自分のことが好きか、好きではないか



#### ■子どもは自分のことが好きだと思っているか



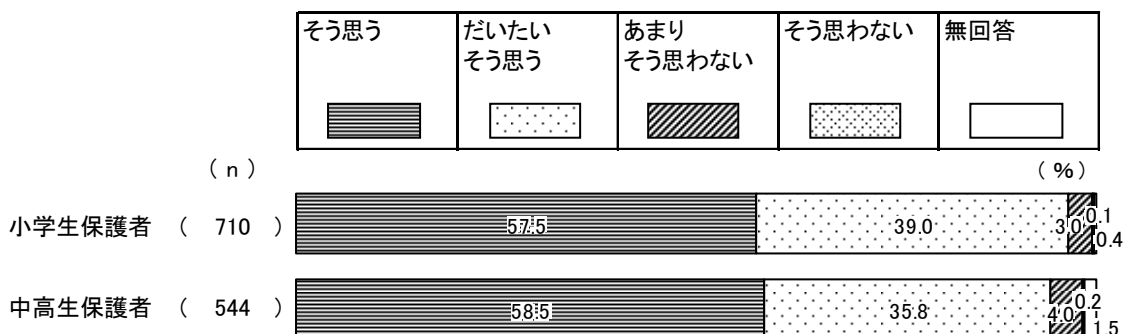
② 子どもや若者が友だちや周りの大人から大切にされていると感じているか

保護者は「そう思う」が最も多く、「小学生保護者」が57.5%、「中高生保護者」が58.5%となっています。

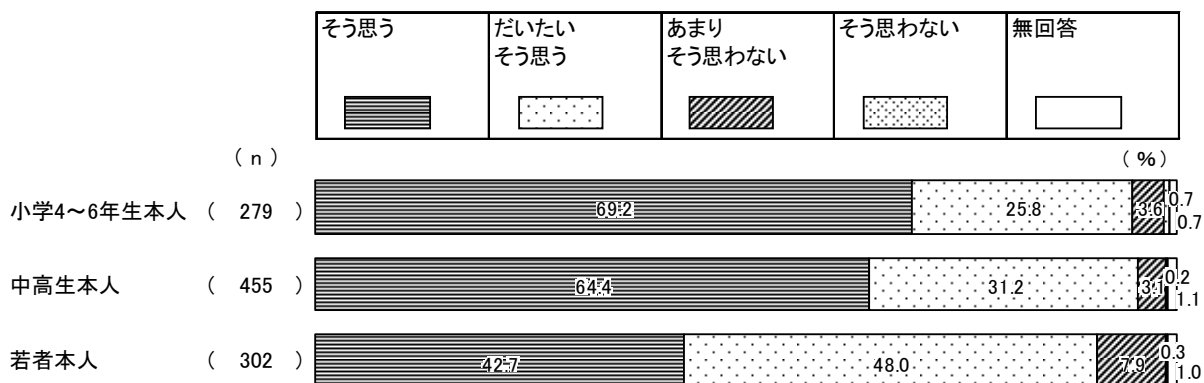
子ども本人は「そう思う」が最も多く、「小学4～6年生本人」が69.2%、「中高生本人」が64.4%、「若者本人」は「だいたいそう思う」が48.0%と最も多くなっています。小学生、中高生ともに、「そう思う」は保護者より子ども本人の方が多くなっています。

“区施設職員”“地域団体”は「だいたいそう思う」が最も多く、順に72.1%、67.0%となっています。

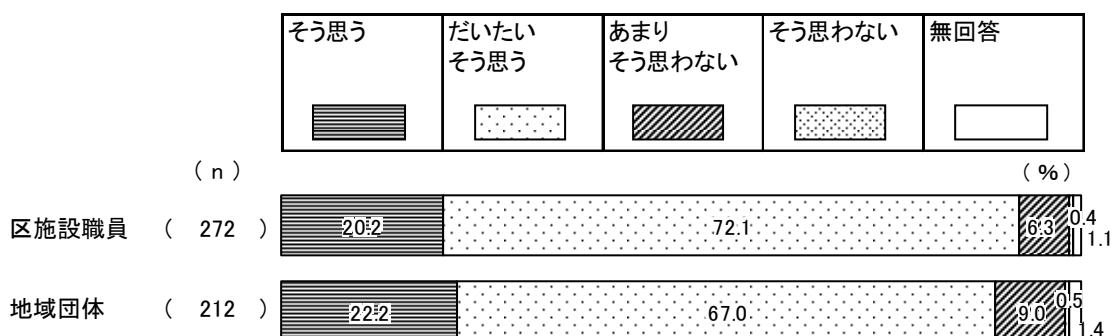
■子どもが周りの人から大切にされていると感じていると思うか



■周りの人から大切にされていると感じるか



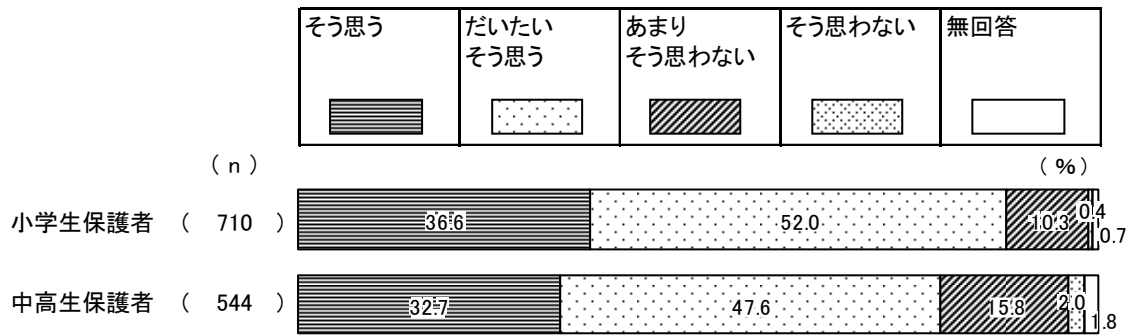
■子どもが周りの人から大切にされていると感じていると思うか



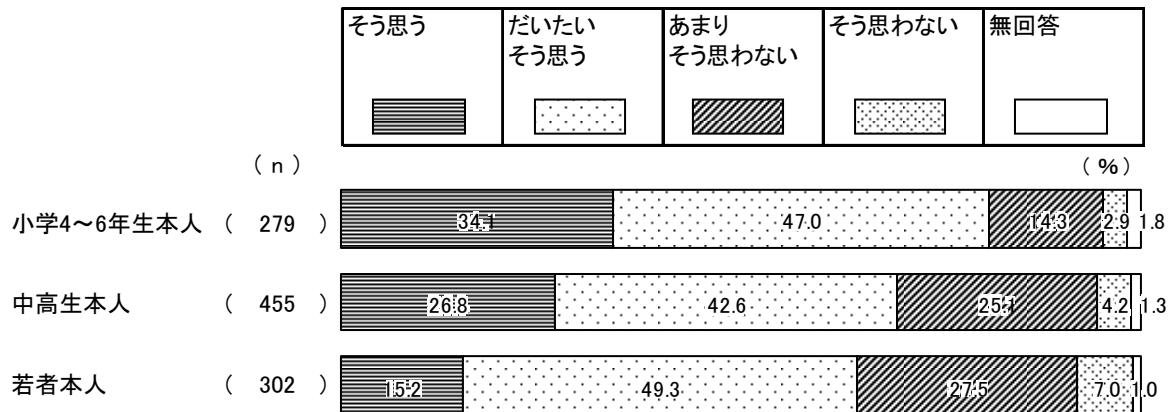
③ 子どもや若者が周りの人の役に立っていると思っているか

すべての保護者、子ども・若者本人で「だいたいそう思う」が最も多く、“小学生保護者”が52.0%、“中高生保護者”が47.6%、“小学4～6年生本人”が47.0%、“中高生本人”が42.6%、“若者本人”が49.3%となっています。

■子どもが周りの人の役に立っていると思っていると、思うか



■周りの人の役に立っていると思うか



## ④ 「自分が好きですか」の回答とのクロス集計

子ども本人及び若者への設問「あなたは自分が好きですか」(小学生:問 14、中学生:問 15、若者:問 17)とそれ以外のすべての設問をクロス集計し、“自分が好き”(“好き+だいたい好き”)、“自分が好きではない”(“あまり好きではない+好きではない”)別の結果に、概ね8%以上の差があった項目を掲載しています。

## 小学4～6年生本人

## ア. 自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じますか

|           | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 279  | 69.2 | 25.8     | 3.6       | 0.7    | 0.7 |
| 自分が好き     | 230  | 76.5 | 20.0     | 2.6       | 0.4    | 0.4 |
| 自分が好きではない | 46   | 32.6 | 56.5     | 8.7       | 2.2    | —   |

「そう思う+だいたいそう思う」は、“自分が好き”と回答した人が96.5%、“好きではない”と回答した人が89.1%、「あまりそう思わない+そう思わない」は、“自分が好き”と回答した人が3.0%、“好きではない”と回答した人が10.9%、となっています。

## イ. 自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思いますか

|           | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 279  | 34.1 | 47.0     | 14.3      | 2.9    | 1.8 |
| 自分が好き     | 230  | 39.6 | 48.3     | 10.0      | 1.7    | 0.4 |
| 自分が好きではない | 46   | 8.7  | 43.5     | 37.0      | 8.7    | 2.2 |

「そう思う+だいたいそう思う」は、“自分が好き”と回答した人が87.9%、“好きではない”と回答した人が52.2%、「あまりそう思わない+そう思わない」は、“好き”と回答した人が11.7%、“好きではない”と回答した人が45.7%となっています。

## ウ. 学校は楽しいですか

|           | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|-----------|------|--------|------|----------|-------|-----|
| 全体        | 279  | 50.9   | 35.1 | 10.8     | 2.2   | 1.1 |
| 自分が好き     | 230  | 57.8   | 32.6 | 8.3      | 1.3   | —   |
| 自分が好きではない | 46   | 19.6   | 50.0 | 23.9     | 6.5   | —   |

「とても楽しい+楽しい」は、“自分が好き”と回答した人が90.4%、“好きではない”と回答した人が69.6%、「あまり楽しくない+楽しくない」は、“好き”と回答した人が9.6%、“好きではない”と回答した人は30.4%となっています。

## エ. 学校に行きたくないなと思うことがありますか

|           | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|-----------|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体        | 279  | 8.6  | 31.9  | 26.5   | 31.9   | 1.1 |
| 自分が好き     | 230  | 7.0  | 29.1  | 28.3   | 35.7   | —   |
| 自分が好きではない | 46   | 17.4 | 47.8  | 19.6   | 15.2   | —   |

「よくある+たまにある」は、“自分が好き”と回答した人が36.1%、“好きではない”と回答した人が65.2%、「ほとんどない+まったくない」は、“好き”と回答した人が64.0%、“好きではない”と回答した人が34.8%となっています。

## オ. 学校に何でも話せる友だちがいますか

|           | 回答者数 | いる   | いない  | 無回答 |
|-----------|------|------|------|-----|
| 全体        | 279  | 86.7 | 12.2 | 1.1 |
| 自分が好き     | 230  | 89.6 | 10.4 | —   |
| 自分が好きではない | 46   | 78.3 | 21.7 | —   |

「いる」は、“好き”と回答した人が89.6%、“好きではない”と回答した人が78.3%、「いない」は、“好き”と回答した人が10.4%、“好きではない”と回答した人が21.7%となっています。

カ. 学校で何かを決めるとき、先生はあなたの意見を聞いていますか

|           | 回答者数 | 聞いている | ときどき聞いている | あまり聞いていない | 聞いていない | 無回答 |
|-----------|------|-------|-----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 279  | 69.9  | 20.8      | 5.0       | 3.2    | 1.1 |
| 自分が好き     | 230  | 72.6  | 20.4      | 3.9       | 3.0    | —   |
| 自分が好きではない | 46   | 60.9  | 23.9      | 10.9      | 4.3    | —   |

「聞いている+ときどき聞いている」は、「好き」と回答した人が93.0%、「好きではない」と回答した人が84.8%、「あまり聞いていない+聞いていない」は、「好き」と回答した人が6.9%、「好きではない」と回答した人が15.2%となっています。

キ. おとな（親や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことがありますか。

|           | 回答者数 | 叩かれたり殴られたりする | 心を傷つける言葉を言われる | 性的に嫌なことをされたり、させられたりする | 世話をしてもらえなかったり、無視されたりする | 家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした | その他 | されたことはない | 無回答 |
|-----------|------|--------------|---------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----|----------|-----|
| 全体        | 279  | 13.3         | 16.5          | 0.4                   | 4.3                    | 16.5                  | 0.7 | 64.5     | 1.8 |
| 自分が好き     | 230  | 13.0         | 15.7          | —                     | 4.3                    | 15.2                  | 0.9 | 66.1     | 1.7 |
| 自分が好きではない | 46   | 15.2         | 21.7          | 2.2                   | 4.3                    | 23.9                  | —   | 56.5     | —   |

“好き”と回答した人は「されたことはない」が66.1%、「好きではない」と回答した人は56.5%となっています。

ク. 友だちや先輩、後輩から次のことをされたことがありますか。

|           | 回答者数 | 無視される | お金を要求される | 悪口を言われる | SNSでのいやがらせ | 暴力をふるわれる | その他 | されたことはない | 無視される |
|-----------|------|-------|----------|---------|------------|----------|-----|----------|-------|
| 全体        | 279  | 9.0   | 0.4      | 17.6    | 0.7        | 9.3      | 2.5 | 73.8     | 1.4   |
| 自分が好き     | 230  | 7.8   | 0.4      | 15.7    | 0.9        | 8.7      | 2.6 | 76.1     | 1.3   |
| 自分が好きではない | 46   | 15.2  | —        | 28.3    | —          | 13.0     | 2.2 | 63.0     | —     |

“好き”と回答した人は「されたことはない」が76.1%、「好きではない」と回答した人は63.0%となっています。

ケ. 悩んでいることや困っていることはありますか。

|           | 回答者数 | 親、保護者との関係 | 兄弟姉妹との関係 | 友だちや先輩との関係 | 先生との関係 | 学校の勉強・宿題 | 学校の規則 | クラブ活動・部活動 | 塾の勉強・宿題 |
|-----------|------|-----------|----------|------------|--------|----------|-------|-----------|---------|
| 全体        | 279  | 6.1       | 7.9      | 14.3       | 3.6    | 11.1     | 5.7   | 1.8       | 13.3    |
| 自分が好き     | 230  | 3.9       | 5.2      | 11.7       | 3.0    | 10.4     | 5.7   | 2.2       | 12.6    |
| 自分が好きではない | 46   | 17.4      | 21.7     | 26.1       | 6.5    | 15.2     | 6.5   | —         | 17.4    |

|           | 受験・進路 | おけいこ・習いごと | 自分の体のこと | 性的なこと・恋愛のこと | 家のお金のこと | ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の人間関係 | その他 | 悩んでいることや困っていることはない | 無回答 |
|-----------|-------|-----------|---------|-------------|---------|----------------------------------|-----|--------------------|-----|
| 全体        | 15.8  | 7.5       | 7.9     | 4.7         | 3.9     | 0.7                              | 1.8 | 50.5               | 2.2 |
| 自分が好き     | 13.9  | 7.4       | 6.1     | 4.3         | 3.5     | 0.9                              | 1.7 | 54.3               | 2.2 |
| 自分が好きではない | 26.1  | 8.7       | 17.4    | 6.5         | 6.5     | —                                | 2.2 | 32.6               | —   |

“好き”と回答した人は「悩んでいることや困っていることはない」が54.3%、「好きではない」と回答した人は32.6%となっています。また、「好きではない」と回答した人は“好き”と回答した人に比べて、「親、保護者との関係」「兄弟姉妹との関係」「友だちや先輩との関係」「受験・進路」「自分の体のこと」が多くなっています。

コ. 困ったり悩んだりしたとき、相談できるところを利用したいと思いますか。

|           | 回答者数 | 相談したい | 相談したくない | 無回答 |
|-----------|------|-------|---------|-----|
| 全体        | 279  | 47.0  | 47.7    | 5.4 |
| 自分が好き     | 230  | 50.0  | 44.8    | 5.2 |
| 自分が好きではない | 46   | 30.4  | 65.2    | 4.3 |

「相談したい」は、「好き」と回答した人が50.0%、「好きではない」と回答した人が30.4%、「相談したくない」は、「好き」と回答した人が44.8%、「好きではない」と回答した人が65.2%となっています。

## 第2章 調査結果の概要

### I アンケート調査結果の概要

#### 中高生本人

##### ア. 自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じますか

|           | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 455  | 64.4 | 31.2     | 3.1       | 0.2    | 1.1 |
| 自分が好き     | 354  | 72.3 | 25.4     | 2.3       | —      | —   |
| 自分が好きではない | 96   | 38.5 | 54.2     | 6.3       | 1.0    | —   |

「そう思う+だいたいそう思う」は、“好き”と回答した人が97.7%、“好きではない”と回答した人は92.7%、「あまりそう思わない+そう思わない」は、“好き”と回答した人が2.3%、“好きではない”と回答した人が7.3%となっています。

##### イ. 自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思いますか

|           | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 455  | 26.8 | 42.6     | 25.1      | 4.2    | 1.3 |
| 自分が好き     | 354  | 33.1 | 48.3     | 17.2      | 1.1    | 0.3 |
| 自分が好きではない | 96   | 5.2  | 24.0     | 55.2      | 15.6   | —   |

「そう思う+だいたいそう思う」は、“自分が好き”と回答した人が81.4%、“好きではない”と回答した人が29.2%、「あまりそう思わない+そう思わない」は、“好き”と回答した人が18.3%、“好きではない”と回答した人が70.8%となっています。

##### ウ. 学校や仕事は楽しいですか

|           | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|-----------|------|--------|------|----------|-------|-----|
| 全体        | 455  | 42.2   | 47.9 | 6.4      | 2.6   | 0.9 |
| 自分が好き     | 354  | 48.3   | 45.5 | 4.2      | 1.7   | 0.3 |
| 自分が好きではない | 96   | 20.8   | 57.3 | 14.6     | 6.3   | 1.0 |

「とても楽しい+楽しい」は、“自分が好き”と回答した人が93.8%、“好きではない”と回答した人が78.1%、「あまり楽しくない+楽しくない」は、“好き”と回答した人が5.9%、“好きではない”と回答した人は20.9%となっています。

##### エ. 学校や仕事に行きたくないなと思うことがありますか

|           | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|-----------|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体        | 455  | 9.9  | 42.6  | 26.6   | 20.0   | 0.9 |
| 自分が好き     | 354  | 7.6  | 38.1  | 31.4   | 22.6   | 0.3 |
| 自分が好きではない | 96   | 18.8 | 59.4  | 10.4   | 10.4   | 1.0 |

「よくある+たまにある」は、“自分が好き”と回答した人が45.7%、“好きではない”と回答した人が78.2%、「ほとんどない+まったくない」は、“好き”と回答した人が54.0%、“好きではない”と回答した人が20.8%となっています。

##### オ. 学校や職場に何でも話せる友だちがいますか

|           | 回答者数 | いる   | いない  | 無回答 |
|-----------|------|------|------|-----|
| 全体        | 455  | 86.6 | 12.3 | 1.1 |
| 自分が好き     | 354  | 89.8 | 9.6  | 0.6 |
| 自分が好きではない | 96   | 76.0 | 22.9 | 1.0 |

「いる」は、“好き”と回答した人が89.8%、“好きではない”と回答した人が76.0%、「いない」は、“好き”と回答した人が9.6%、“好きではない”と回答した人が22.9%となっています。

##### カ. 学校で休み時間や放課後、安心して過ごせますか

|           | 回答者数 | 過ごせる | ときどき過ごせる | あまり過ごせない | 過ごせない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|----------|-------|-----|
| 全体        | 452  | 82.3 | 10.8     | 4.0      | 1.1   | 1.8 |
| 自分が好き     | 352  | 87.5 | 9.1      | 1.7      | 0.6   | 1.1 |
| 自分が好きではない | 96   | 64.6 | 17.7     | 12.5     | 3.1   | 2.1 |

「過ごせる+ときどき過ごせる」は、“好き”と回答した人が96.6%、“好きではない”と回答した人は82.3%、「あまり過ごせない+過ごせない」は、“好き”と回答した人が2.3%、“好きではない”と回答した人が15.6%となっています。

キ. 地域で何かを決めるとき、おとなは、あなたの意見を聞いていますか

|           | 回答者数 | 聞いている | ときどき聞いている | あまり聞いていない | 聞いていない | 無回答  |
|-----------|------|-------|-----------|-----------|--------|------|
| 全体        | 255  | 34.9  | 18.0      | 9.0       | 28.6   | 9.4  |
| 自分が好き     | 202  | 37.6  | 18.8      | 9.9       | 25.2   | 8.4  |
| 自分が好きではない | 52   | 25.0  | 15.4      | 5.8       | 42.3   | 11.5 |

「聞いている+ときどき聞いている」は、「好き」と回答した人が56.4%、「好きではない」と回答した人が40.4%、「あまり聞いていない+聞いていない」は、「好き」と回答した人が35.1%、「好きではない」と回答した人が48.1%となっています。

ク. おとな（親や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことがありますか。

|           | 回答者数 | 叩かれたり殴られたりする | 心を傷つける言葉を言われる | 性的に嫌なことをされたり、させられたりする | 世話をしてもええなかったり、無視されたりする | 家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした | その他 | されたことはない | 無回答 |
|-----------|------|--------------|---------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----|----------|-----|
| 全体        | 455  | 9.5          | 16.0          | 0.7                   | 2.9                    | 16.7                  | 1.8 | 67.9     | 2.0 |
| 自分が好き     | 354  | 7.9          | 14.7          | 0.3                   | 2.3                    | 15.0                  | 2.0 | 70.3     | 2.0 |
| 自分が好きではない | 96   | 14.6         | 20.8          | 1.0                   | 4.2                    | 21.9                  | 1.0 | 59.4     | 2.1 |

“好き”と回答した人は「されたことはない」が70.3%、“好きではない”と回答した人は59.4%となっています。また、おとなからされた嫌な経験はすべての項目において、“好き”より“好きではない”の方が多くなっています。

ケ. 友だちや先輩、後輩から次のことをされたことがありますか。

|           | 回答者数 | 無視される | お金を要求される | 悪口を言われる | SNSでのいやがらせ | 暴力をふるわれる | その他 | されたことはない | 無視される |
|-----------|------|-------|----------|---------|------------|----------|-----|----------|-------|
| 全体        | 455  | 7.3   | 1.5      | 13.0    | 2.6        | 3.3      | 1.3 | 79.6     | 1.5   |
| 自分が好き     | 354  | 6.5   | 2.0      | 11.6    | 1.4        | 3.7      | 0.8 | 81.1     | 2.0   |
| 自分が好きではない | 96   | 9.4   | —        | 18.8    | 7.3        | 2.1      | 3.1 | 74.0     | —     |

“好き”と回答した人は「されたことはない」が81.1%、“好きではない”と回答した人は74.0%となっています。また、「悪口を言われる」や「SNSでのいやがらせ」が“好きではない”と回答した人の方が“好き”と回答した人より多くなっています。

コ. 悩んでいることや困っていることはありますか。

|           | 回答者数 | 親、保護者との関係 | 兄弟姉妹との関係 | 友だちや先輩との関係 | 先生との関係 | 学校の勉強・宿題 | 学校の規則 | クラブ活動・部活動 | 塾の勉強・宿題 |
|-----------|------|-----------|----------|------------|--------|----------|-------|-----------|---------|
| 全体        | 455  | 4.8       | 4.0      | 9.9        | 2.4    | 27.5     | 7.7   | 11.9      | 9.5     |
| 自分が好き     | 354  | 2.5       | 4.5      | 7.9        | 2.3    | 23.2     | 6.5   | 10.7      | 9.0     |
| 自分が好きではない | 96   | 13.5      | 2.1      | 17.7       | 3.1    | 44.8     | 12.5  | 16.7      | 11.5    |

|           | 受験・進路 | おけいこ・習いごと | 自分の体のこと | 性的なこと・恋愛のこと | 家のお金のこと | ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の人間関係 | その他 | 悩んでいることや困っていることはない | 無回答 |
|-----------|-------|-----------|---------|-------------|---------|----------------------------------|-----|--------------------|-----|
| 全体        | 34.3  | 2.2       | 7.3     | 4.2         | 5.3     | 0.9                              | 2.2 | 42.4               | 1.1 |
| 自分が好き     | 30.2  | 1.4       | 5.6     | 2.5         | 3.4     | 0.3                              | 2.0 | 47.7               | 1.4 |
| 自分が好きではない | 50.0  | 5.2       | 11.5    | 9.4         | 11.5    | 3.1                              | 3.1 | 22.9               | —   |

“好き”と回答した人は「悩んでいることや困っていることはない」が47.7%、“好きではない”と回答した人は22.9%となっています。また、“好きではない”と回答した人は“好き”と回答した人に比べて、「親、保護者との関係」「友だちや先輩との関係」「学校の勉強・宿題」「受験・進路」「家のお金のこと」が多くなっています。

サ. 困ったり悩んだりしたとき、相談できる場所を利用したいと思いますか。

|           | 回答者数 | 相談したい | 相談したくない | 無回答 |
|-----------|------|-------|---------|-----|
| 全体        | 279  | 47.0  | 47.7    | 5.4 |
| 自分が好き     | 230  | 50.0  | 44.8    | 5.2 |
| 自分が好きではない | 46   | 30.4  | 65.2    | 4.3 |

「相談したい」は、“好き”と回答した人が50.0%、“好きではない”と回答した人が30.4%、「相談したくない」は、“好き”と回答した人が44.8%、“好きではない”と回答した人が65.2%となっています。

## 第2章 調査結果の概要

### I アンケート調査結果の概要

#### 若者

##### ア. 現在、友だちがいますか

|           | 回答者数 | たくさんいる | 少しいる | いない | 無回答 |
|-----------|------|--------|------|-----|-----|
| 全体        | 302  | 44.7   | 52.3 | 1.7 | -   |
| 自分が好き     | 201  | 55.7   | 42.3 | 1.0 | -   |
| 自分が好きではない | 98   | 22.4   | 73.5 | 3.1 | -   |

「たくさんいる」は、「自分が好き」と回答した人が55.7%、「好きではない」と回答した人が22.4%、「少しいる」は、「好き」と回答した人が42.3%、「好きではない」と回答した人が73.5%となっています。

##### イ. 近所に、会ったときにあいさつをする人がいますか

|           | 回答者数 | たくさんいる | 少しいる | いない  | 無回答 |
|-----------|------|--------|------|------|-----|
| 全体        | 302  | 8.3    | 61.6 | 30.1 | -   |
| 自分が好き     | 201  | 10.0   | 64.2 | 25.9 | -   |
| 自分が好きではない | 98   | 5.1    | 55.1 | 39.8 | -   |

「たくさんいる+少しいる」は、「自分が好き」と回答した人が74.2%、「好きではない」と回答した人が60.2%、「いない」は、「好き」と回答した人が25.9%、「好きではない」と回答した人が39.8%となっています。

##### ウ. 小学生・中学生の頃に、家庭で次のような経験をしたことがありますか

|           | 回答者数 | 親とは何でも話すことができた | 親はしつこく厳しかった | 困ったときは、親は親身に助言をしてくれた | 何でも自分一人で決めて、家族に相談することはなかった | 将来の職業などを親に決められた | 家族に相談しても、あまり役に立たなかった | 親は学校の成績を重視していた | 小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた | 親と自分との関係がよくなかった | 両親の関係がよくなかった |
|-----------|------|----------------|-------------|----------------------|----------------------------|-----------------|----------------------|----------------|-------------------------|-----------------|--------------|
| 全体        | 302  | 49.3           | 27.8        | 60.3                 | 7.6                        | 3.0             | 9.6                  | 22.5           | 70.2                    | 8.6             | 12.6         |
| 自分が好き     | 201  | 56.2           | 25.4        | 65.2                 | 6.0                        | 4.0             | 5.0                  | 21.9           | 71.6                    | 3.5             | 9.0          |
| 自分が好きではない | 98   | 36.7           | 33.7        | 52.0                 | 11.2                       | 1.0             | 19.4                 | 24.5           | 68.4                    | 19.4            | 20.4         |

|           | 引越しや転校をした | 大きな病気をした | 両親が離婚した | 親と死別した | 親から虐待を受けた | 親が過保護であった | 親が過干渉であった | 経済的に苦しい生活を送った | 我慢をすることが多かった | あてはまるものはない | 無回答 |
|-----------|-----------|----------|---------|--------|-----------|-----------|-----------|---------------|--------------|------------|-----|
| 全体        | 23.2      | 3.6      | 6.6     | 2.3    | 1.3       | 10.3      | 7.6       | 4.0           | 19.2         | 2.6        | 2.0 |
| 自分が好き     | 22.4      | 2.5      | 5.0     | 2.5    | 1.0       | 9.0       | 6.0       | 2.5           | 11.9         | 3.0        | 2.0 |
| 自分が好きではない | 25.5      | 6.1      | 10.2    | 2.0    | 2.0       | 13.3      | 11.2      | 7.1           | 34.7         | 1.0        | 1.0 |

“好き”は“好きではない”と比べ、「親とは何でも話すことができた」「困ったときは、親は親身に助言してくれた」が多く、「好きではない」は“好き”と比べて「家族に相談しても、あまり役に立たなかった」「親と自分との関係がよくなかった」「両親の関係がよくなかった」「我慢をすることが多かった」が多くなっています。

##### エ. 小学生・中学生の頃に、学校で次のような経験をしたことがありますか

|           | 回答者数 | 友だちとよく話した | 親友がいた | 友だちというよりも一人で遊んでいる方が楽しかった | 不登校を経験した | 友だちをいじめた | 友だちにいじめられた | いじめを見て見ぬふりをした |
|-----------|------|-----------|-------|--------------------------|----------|----------|------------|---------------|
| 全体        | 302  | 79.1      | 65.6  | 14.6                     | 4.6      | 14.9     | 28.5       | 17.9          |
| 自分が好き     | 201  | 80.6      | 69.7  | 11.9                     | 5.0      | 12.9     | 25.4       | 15.4          |
| 自分が好きではない | 98   | 78.6      | 59.2  | 20.4                     | 4.1      | 19.4     | 35.7       | 23.5          |

|           | 我慢することが多かった | 学校の勉強についていけなかった | 学校の先生との関係がうまくいかなかった | 言葉や文化の壁を感じた | 周りに合わせるが多かった | 仲のよい友だちがいなかった | あてはまるものはない | 無回答 |
|-----------|-------------|-----------------|---------------------|-------------|--------------|---------------|------------|-----|
| 全体        | 24.5        | 10.3            | 12.3                | 4.3         | 29.8         | 3.0           | 1.3        | 3.6 |
| 自分が好き     | 19.9        | 9.5             | 10.4                | 4.5         | 24.4         | 0.5           | 1.5        | 4.0 |
| 自分が好きではない | 34.7        | 12.2            | 16.3                | 4.1         | 41.8         | 8.2           | 0.0        | 1.0 |

“好き”は“好きでない”と比べて、「親友がいた」が多く、「好きではない」は“好き”と比べて、「友だちというよりも一人で遊んでいる方が楽しかった」「友だちにいじめられた」「いじめを見て見ぬふりをした」「我慢することが多かった」「周りに合わせるが多かった」が多くなっています。



オ. あなたが働いている職場にどの程度満足していますか（働いている人のみ）

|           | 回答者数 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらともいえない | どちらかといえば不満 | 不満   | 無回答 |
|-----------|------|------|------------|-----------|------------|------|-----|
| 全体        | 181  | 17.1 | 40.9       | 20.4      | 12.2       | 7.7  | 1.7 |
| 自分が好き     | 121  | 22.3 | 44.6       | 26.4      | 3.3        | 1.7  | 1.7 |
| 自分が好きではない | 59   | 6.8  | 33.9       | 8.5       | 30.5       | 20.3 | 0.0 |

「満足+どちらかといえば満足」は、「好き」と回答した人が66.9%、「好きではない」と回答した人が40.7%、「どちらかといえば不満+不満」は、「好き」と回答した人が5.0%、「好きではない」と回答した人が50.8%となっています。

カ. 職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまるもの

■いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

|           | 回答者数 | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえば、そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|--------------|-----------------|--------|-----|
| 全体        | 302  | 29.1 | 46.7         | 17.5            | 5.0    | 1.7 |
| 自分が好き     | 201  | 36.8 | 46.8         | 11.9            | 3.5    | 1.0 |
| 自分が好きではない | 98   | 14.3 | 48.0         | 29.6            | 8.2    | 0.0 |

「そう思う+どちらかといえばそう思う」は、「好き」と回答した人が83.6%、「好きではない」と回答した人が62.3%、「どちらかといえばそう思わない+そう思わない」は、「好き」と回答した人が15.4%、「好きではない」と回答した人が37.8%となっています。

■いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい

|           | 回答者数 | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえば、そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|--------------|-----------------|--------|-----|
| 全体        | 302  | 37.7 | 39.4         | 13.2            | 8.3    | 1.3 |
| 自分が好き     | 201  | 41.3 | 41.8         | 9.5             | 6.5    | 1.0 |
| 自分が好きではない | 98   | 30.6 | 35.7         | 21.4            | 12.2   | 0.0 |

「そう思う+どちらかといえばそう思う」は、「好き」と回答した人が83.1%、「好きではない」と回答した人が66.3%、「どちらかといえばそう思わない+そう思わない」は、「好き」と回答した人が16.0%、「好きではない」と回答した人が33.6%となっています。

■仕事をしなくても生活できるのなら、仕事はしたくない

|           | 回答者数 | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえば、そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|--------------|-----------------|--------|-----|
| 全体        | 302  | 33.1 | 24.2         | 24.2            | 17.2   | 1.3 |
| 自分が好き     | 201  | 27.9 | 25.9         | 24.9            | 20.4   | 1.0 |
| 自分が好きではない | 98   | 44.9 | 21.4         | 23.5            | 10.2   | 0.0 |

「そう思う+どちらかといえばそう思う」は、「好き」と回答した人が53.8%、「好きではない」と回答した人が66.3%、「どちらかといえばそう思わない+そう思わない」は、「好き」と回答した人が45.3%、「好きではない」と回答した人が33.7%となっています。

キ. 今の生活が充実していると思いますか

|           | 回答者数 | 充実している | やや充実している | やや充実していない | 充実していない | 無回答 |
|-----------|------|--------|----------|-----------|---------|-----|
| 全体        | 302  | 34.1   | 49.0     | 10.9      | 5.3     | 0.7 |
| 自分が好き     | 201  | 46.3   | 48.3     | 4.5       | 1.0     | —   |
| 自分が好きではない | 98   | 10.2   | 51.0     | 24.5      | 14.3    | —   |

「充実している+やや充実している」は、「好き」と回答した人が94.6%、「好きではない」と回答した人が61.2%、「やや充実していない+充実していない」は、「好き」と回答した人が5.5%、「好きではない」と回答した人が38.8%となっています。

## 第2章 調査結果の概要

### I アンケート調査結果の概要

#### ク. 自分が親や友だちなど、周りの人から大切にされていると感じますか

|           | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 302  | 42.7 | 48.0     | 7.9       | 0.3    | 1.0 |
| 自分が好き     | 201  | 53.7 | 45.3     | 0.5       | 0.5    | —   |
| 自分が好きではない | 98   | 21.4 | 55.1     | 23.5      | —      | —   |

「そう思う+だいたいそう思う」は、「好き」と回答した人が99.0%、「好きではない」と回答した人は76.5%、「あまりそう思わない+そう思わない」は、「好き」と回答した人が1.0%、「好きではない」と回答した人が23.5%となっています。

#### ケ. 自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思いますか

|           | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体        | 302  | 15.2 | 49.3     | 27.5      | 7.0    | 1.0 |
| 自分が好き     | 201  | 20.4 | 61.2     | 16.4      | 2.0    | —   |
| 自分が好きではない | 98   | 5.1  | 26.5     | 51.0      | 17.3   | —   |

「そう思う+だいたいそう思う」は、「自分が好き」と回答した人が81.6%、「好きではない」と回答した人が31.6%、「あまりそう思わない+そう思わない」は、「好き」と回答した人が18.4%、「好きではない」と回答した人が68.3%となっています。

#### コ. 将来に不安を感じていますか

|           | 回答者数 | 感じている | 感じていない | 無回答 |
|-----------|------|-------|--------|-----|
| 全体        | 302  | 80.8  | 17.9   | 1.3 |
| 自分が好き     | 201  | 73.6  | 25.9   | 0.5 |
| 自分が好きではない | 98   | 98.0  | 2.0    | 0.0 |

「感じている」は、「好き」と回答した人が73.6%、「好きではない」と回答した人が98.0%、「感じていない」は、「好き」と回答した人が25.9%、「好きではない」と回答した人が2.0%となっています。

#### サ. あなたは次の中で悩んでいることや困っていることはありますか

|           | 回答者数 | 家事   | お金のこと | 自分の体のこと | 自分の将来 | 仕事・就職 | 受験・進路 | 地域活動(町内会・自治会等) | 配偶者やパートナー(彼氏・彼女)との関係 |
|-----------|------|------|-------|---------|-------|-------|-------|----------------|----------------------|
| 全体        | 302  | 8.6  | 47.4  | 22.2    | 61.6  | 46.7  | 7.9   | 0.3            | 17.2                 |
| 自分が好き     | 201  | 6.5  | 42.3  | 17.9    | 54.7  | 40.8  | 7.0   | 0.5            | 16.4                 |
| 自分が好きではない | 98   | 12.2 | 59.2  | 30.6    | 76.5  | 59.2  | 10.2  | —              | 18.4                 |

|           | 親との関係(「舅・姑」「婿・嫁」関係) | 介護  | 子どもの進路・将来 | 友人関係 | 職場の人間関係 | Twitter、フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の人間関係 | その他 | 悩んでいることや困っていることはない | 無回答 |
|-----------|---------------------|-----|-----------|------|---------|------------------------------------|-----|--------------------|-----|
| 全体        | 6.6                 | 4.3 | 3.3       | 6.0  | 9.9     | 0.7                                | 2.3 | 11.6               | 1.3 |
| 自分が好き     | 5.5                 | 2.5 | 4.5       | 5.0  | 5.0     | 1.0                                | 2.0 | 15.4               | 1.0 |
| 自分が好きではない | 9.2                 | 8.2 | 1.0       | 8.2  | 20.4    | —                                  | 3.1 | 4.1                | —   |

“好き”と回答した人は「悩んでいることや困っていることはない」が15.4%、「好きではない」と回答した人は4.1%となっています。

また、「好きではない」と回答した人は「お金のこと」「自分の体のこと」「自分の将来」「仕事・就職」「職場の人間関係」で“好き”と回答した人より多くなっています。

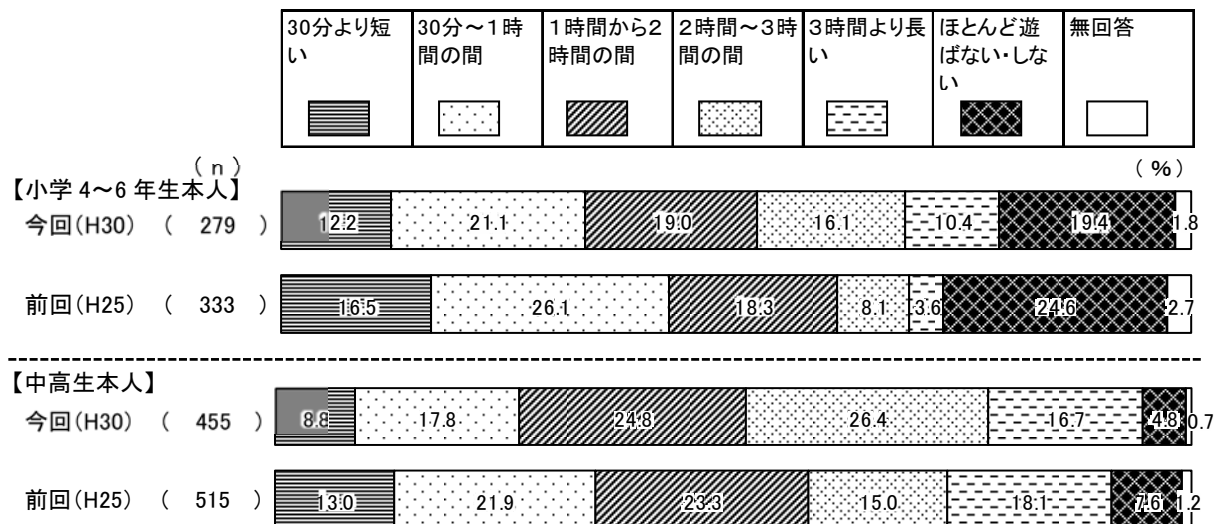
### 3 子どもの生活状況・意識について

#### ① ゲーム・メールの一日あたり実施時間

“小学4～6年生本人”は「30分～1時間の間」が最も多く21.1%、“中高生本人”は「2時間～3時間の間」が最も多く26.4%となっています。

前回調査と比べて、実施時間の長時間化傾向が伺えます。

■ゲーム・メールの1日あたりの実施時間

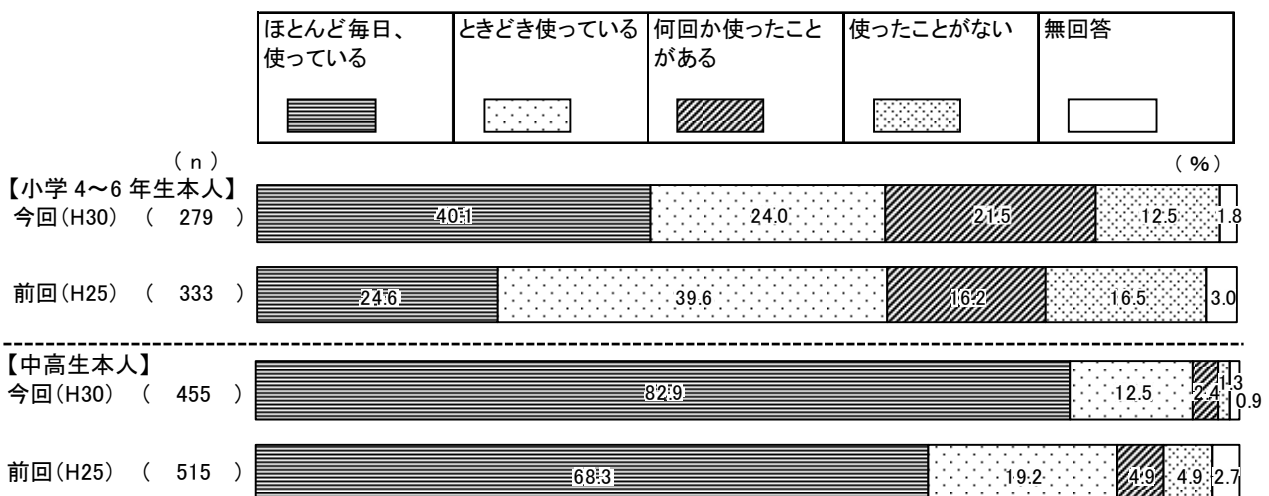


#### ② 学校以外でのインターネットの利用経験

“小学4～6年生本人”“中高生本人”ともに「ほとんど毎日、使っている」が最も多く、順に40.1%、82.9%となっています。

前回調査と比べて、「ほとんど毎日、使っている」が多くなっています。なお、前回調査は、今回と選択肢が異なっており、「使ったことがない」には「ほとんど使ったことがない」も含まれています。

■学校以外でのインターネットの利用経験

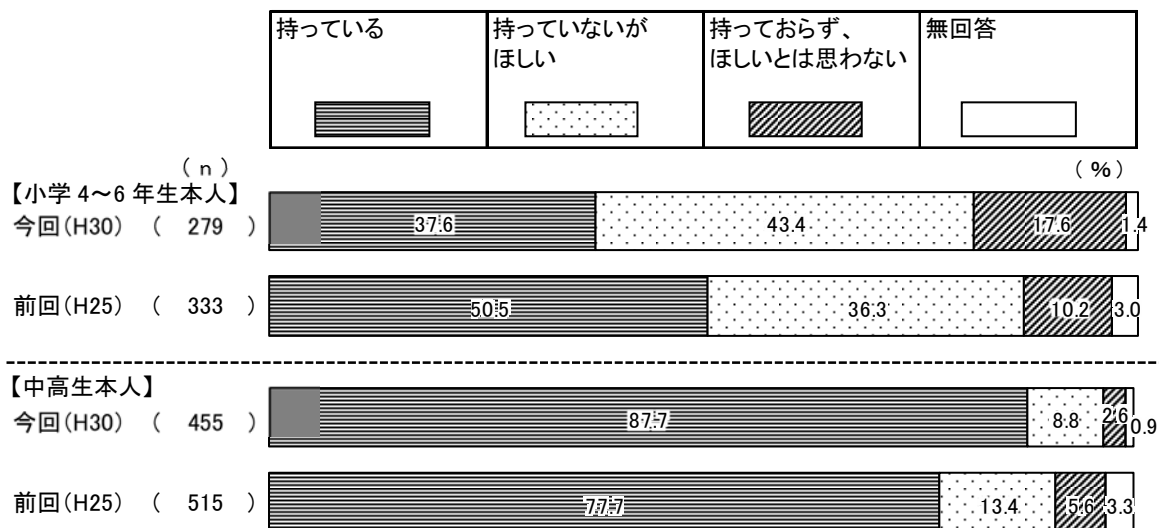


③ 自分専用の携帯電話の有無

“小学4～6年生本人”は「持っていないがほしい」が最も多く43.4%、“中高生本人”は「持っている」が最も多く87.7%となっています。

前回調査と比べて、“小学4～6年生本人”は「持っている」が少なく、“中高生本人”は「持っている」が多くなっています。

■ 自分専用携帯電話の有無

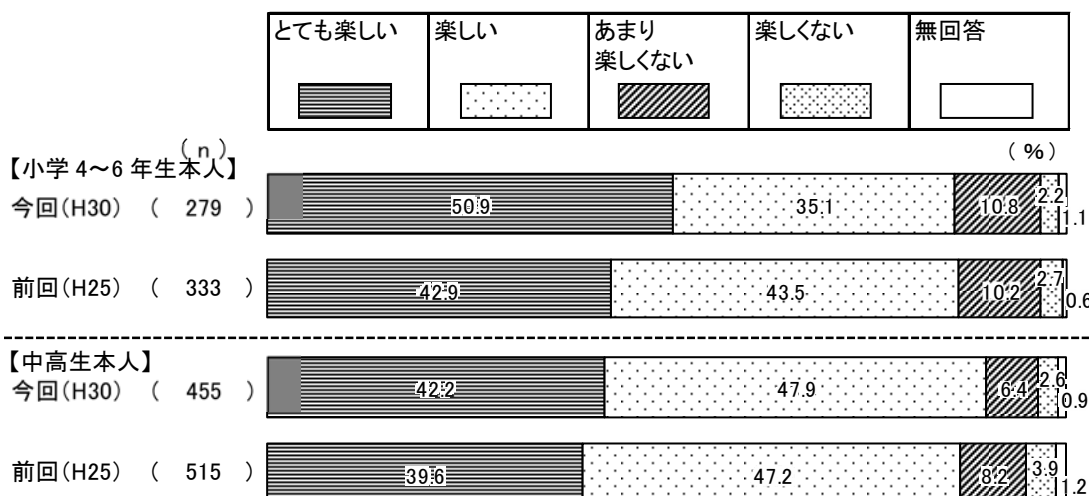


④ 学校の楽しさ

“小学4～6年生本人”は「とても楽しい」が最も多く50.9%、“中高生本人”は「楽しい」が最も多く47.9%となっています。

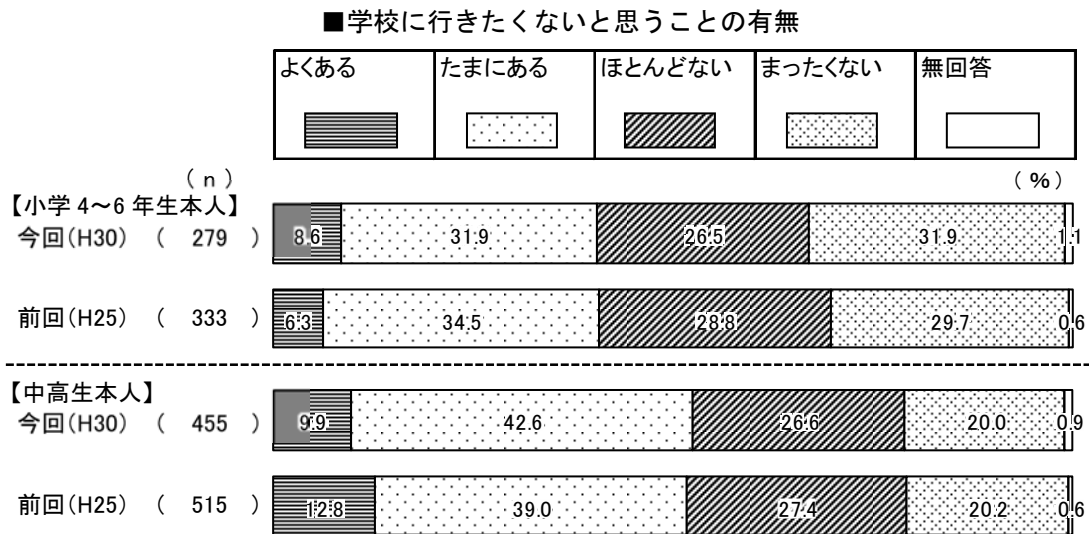
前回調査と比べて、“小学4～6年生本人”は「とても楽しい」が多く、“中高生本人”はほぼ同じ傾向となっています。

■ 学校の楽しさ



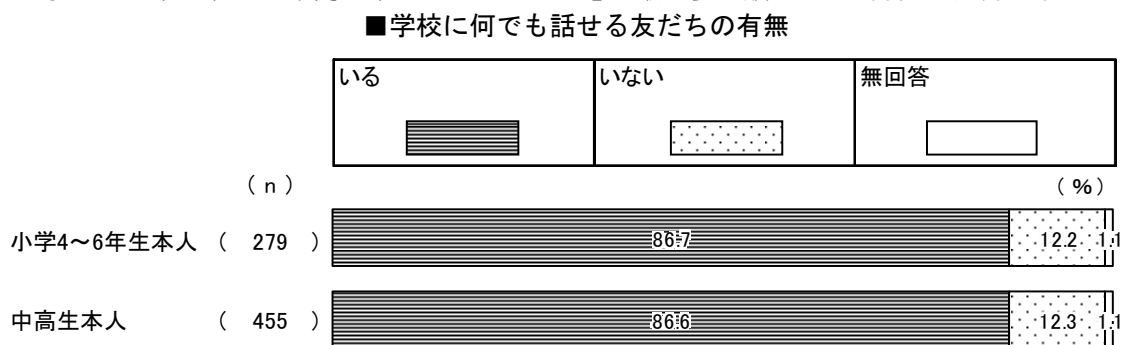
⑤ 学校に行きたくないと思うことの有無

“小学4～6年生本人”“中高生本人”ともに「たまにある」が最も多く、順に31.9%、42.6%となっています。前回調査とほぼ同じ傾向となっています。



⑥ 学校に何でも話せる友だちの有無

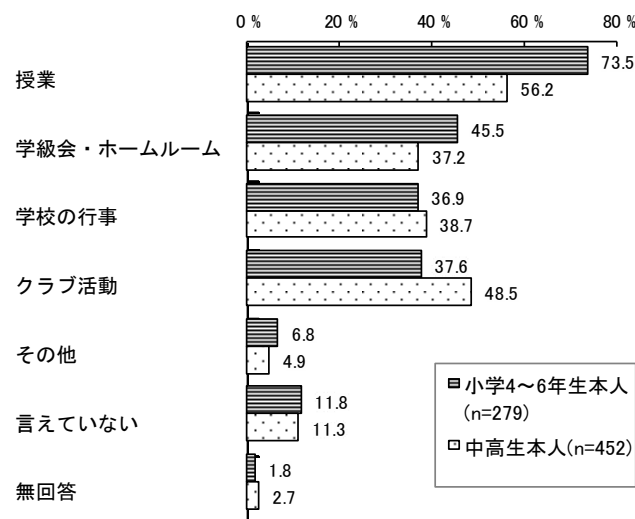
“小学4～6年生本人”“中高生本人”ともに「いる」が最も多く順に86.7%、86.6%となっています。



⑦ 学校で自分の意見を言える場面

“小学4～6年生本人”“中高生本人”ともに「授業」が最も多く、順に73.5%、56.2%となっています。

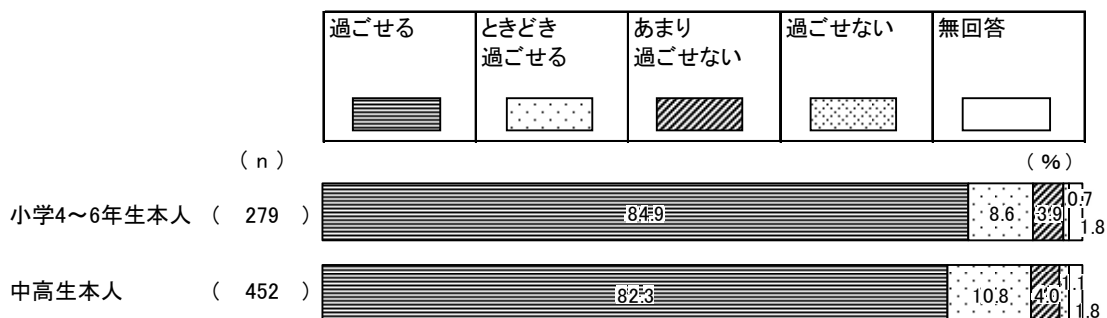
■学校で自分の意見を言える場面（複数回答）



⑧ 学校で休み時間や放課後に安心して過ごせるか

“小学4～6年生本人”“中高生本人”ともに「過ごせる」が最も多く、順に84.9%、82.3%となっています。

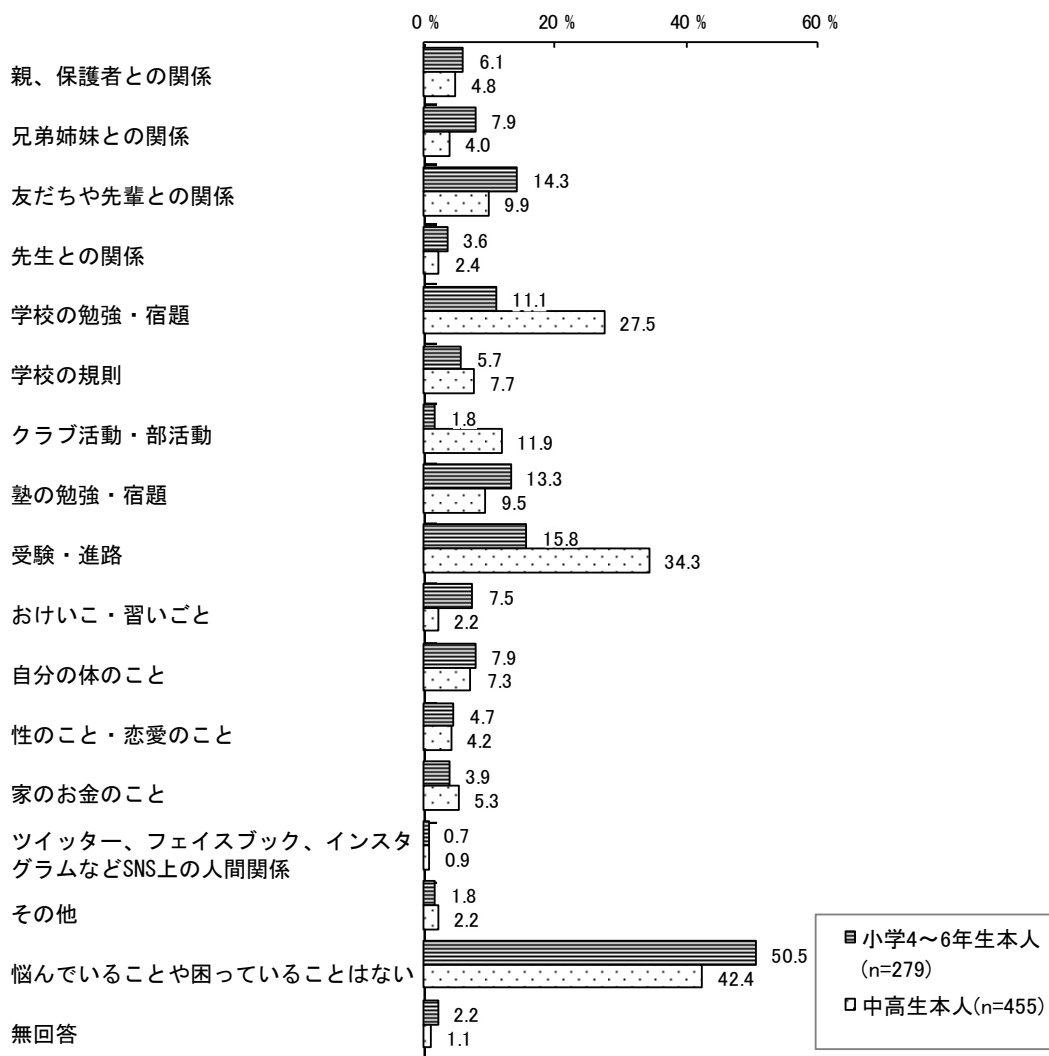
■学校で休み時間や放課後に安心して過ごせるか



⑨ 悩んでいることや困っていること

“小学4～6年生本人”“中高生本人”ともに「悩んでいることや困っていることはない」が最も多く、順に50.5%、42.4%となっています。悩んでいることでは、ともに「受験・進路」が最も多くなっています。

■悩んでいることや困っていること



4 虐待・いじめについて

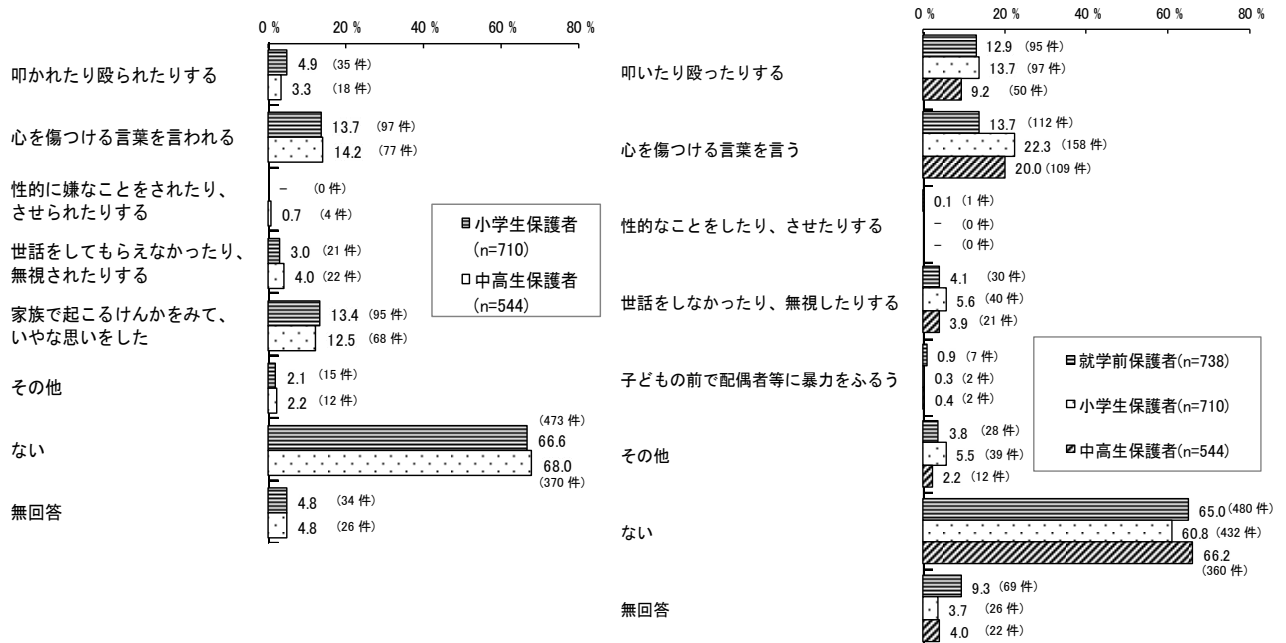
① 虐待について

保護者

子どもがおとなにされたことで最近気づいたり聞いたりしたことは、“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「ない」が最も多く、順に66.6%、68.0%となっています。また、気づいたり聞いたりしたことは、“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「心を傷つける言葉を言われる」が最も多く、順に13.7%、14.2%となっています。

子どもにしたことがあることは、すべての保護者で「ない」が最も多く、“就学前保護者”が65.0%、“小学生保護者”が60.8%、“中学生保護者”が66.2%となっています。したことがあることでは、すべての保護者で「心を傷つける言葉を言う」が最も多く、“就学前保護者”が13.7%、“小学生保護者”が22.3%、“中学生保護者”が20.0%、次いで「叩いたり殴ったりする」が“就学前保護者”が12.9%、“小学生保護者”が13.7%、“中学生保護者”が9.2%となっています。

■子どもがおとなにされたことに気づいたこと（複数回答） ■子どもにしたことがあること（複数回答）

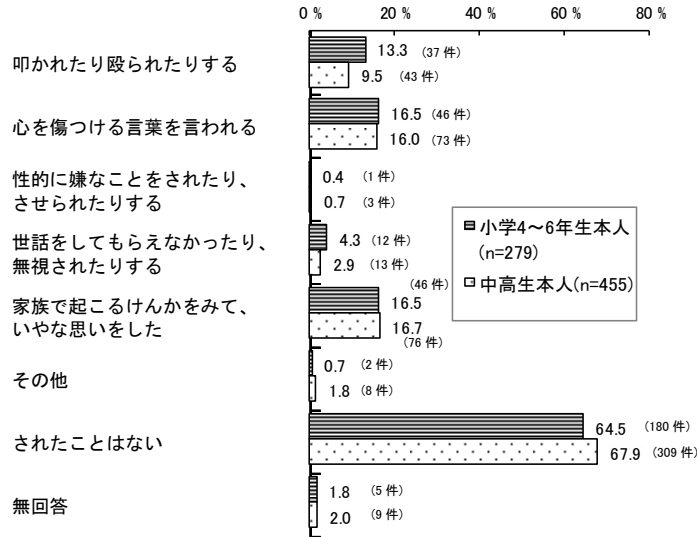


**子ども本人**

おとなからされたことは、「小学4～6年生本人」「中高生本人」ともに「されたことはない」が最も多く、順に64.5%、67.9%となっています。

されたことで多いのは「小学4～6年生本人」「中高生本人」ともに「家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした」が順に16.5%、16.7%、「心を傷つける言葉を言われる」が16.5%、16.0%となっています。

■おとなからされたこと（複数回答）

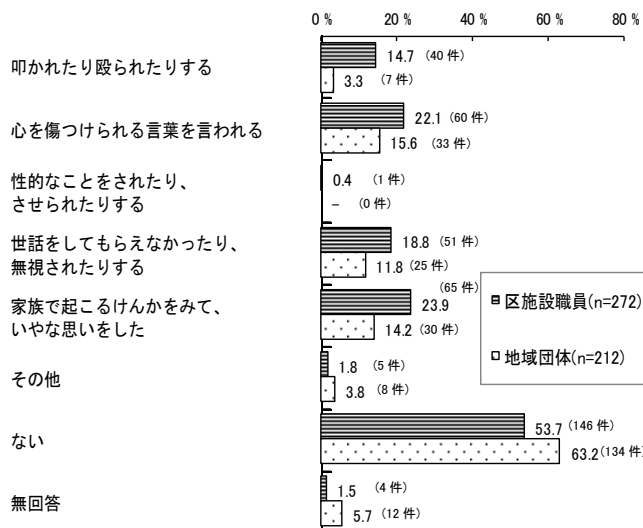


**区施設職員・地域団体**

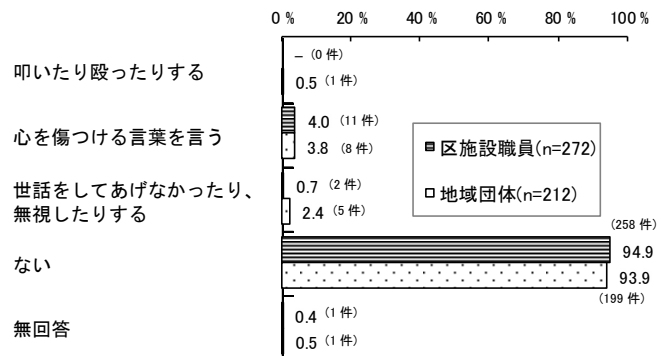
“区施設職員”“地域団体”が、子どもがおとなにされたことで最近気づいたり聞いたりしたことは、ともに「ない」が最も多く、順に53.7%、63.2%となっています。気づいたり聞いたりしたことで最も多いのは、“区施設職員”は「家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした」が23.9%、“地域団体”は「心を傷つけられる言葉を言われる」が15.6%となっています。

子どもにしたことがあることでは、“区施設職員”“地域団体”ともに「ない」が最も多く、順に94.9%、93.9%となっています。

■子どもがおとなにされたことに気づいたこと  
(複数回答)



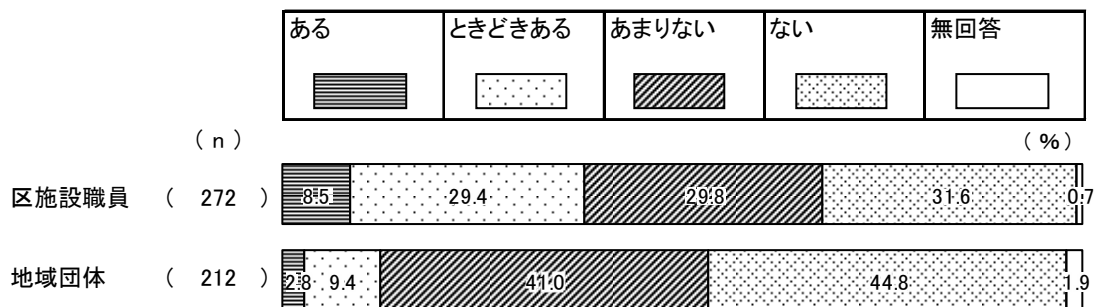
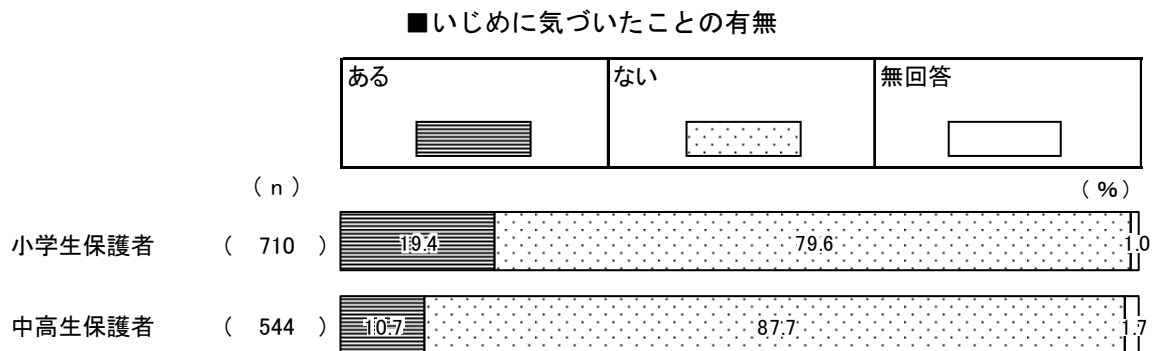
■子どもにしたことがあること（複数回答）



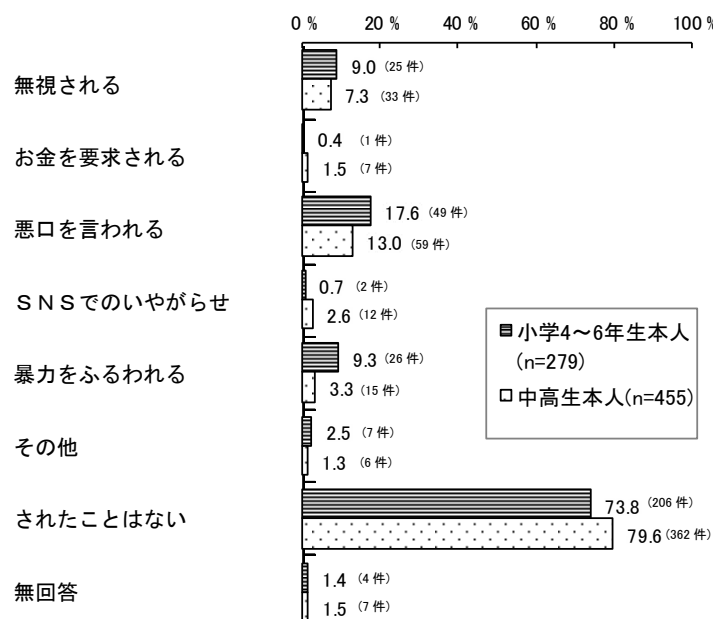


② いじめについて

いじめについて、保護者は気づいたことが「ない」（小学生保護者 79.6%、中高生保護者 87.7%）、子ども本人は「されたことはない」（小学4～6年生本人 73.8%、中高生本人 79.6%）、「区施設職員」「地域団体」は「あまりない+ない」（順に 61.4%、85.8%）が最も多くなっています。子ども本人がされたことは「悪口を言われる」が最も多く（小学4～6年生本人 17.6%、中高生本人 13.0%）、次いで小学4～6年生本人は「暴力をふるわれる」（9.0%）、中高生本人は「無視される」（7.3%）が多くなっています。



■ 友だちや先輩、後輩からされたこと（複数回答）

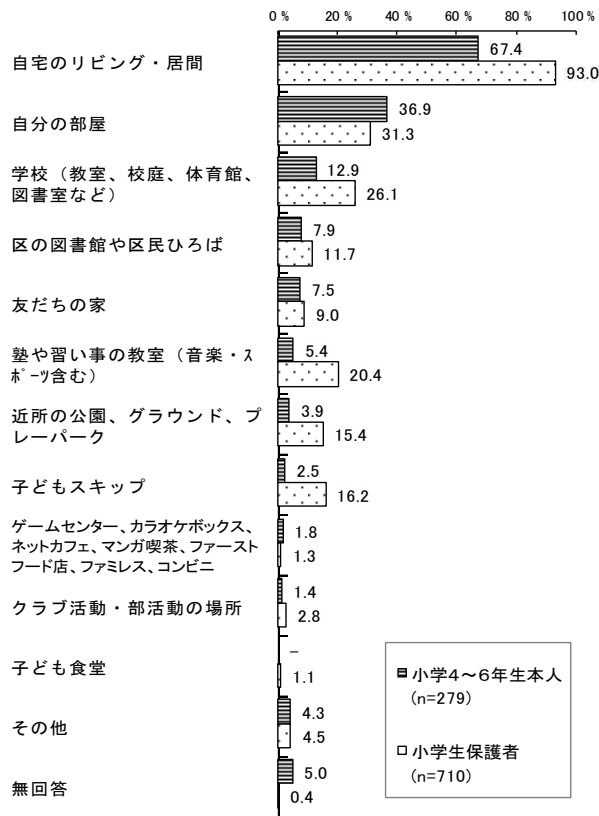


## 5 子どもと保護者の意識について

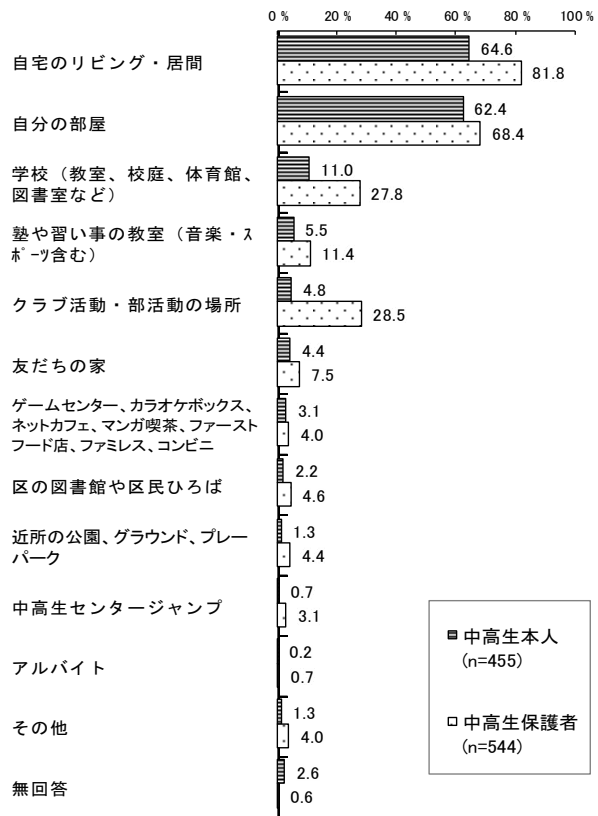
### ① 子どもがホッとできる場所

子ども本人が考えるホッとできる場所、保護者が考える子どもがホッとできる場所は、ともに「自宅のリビング・居間」が最も多くなっていますが、小学生では子ども本人は67.4%で保護者は93.0%、中高生では子ども本人は64.6%、保護者は81.8%で、保護者の方が高くなっています。次いで、「自分の部屋」となっています。

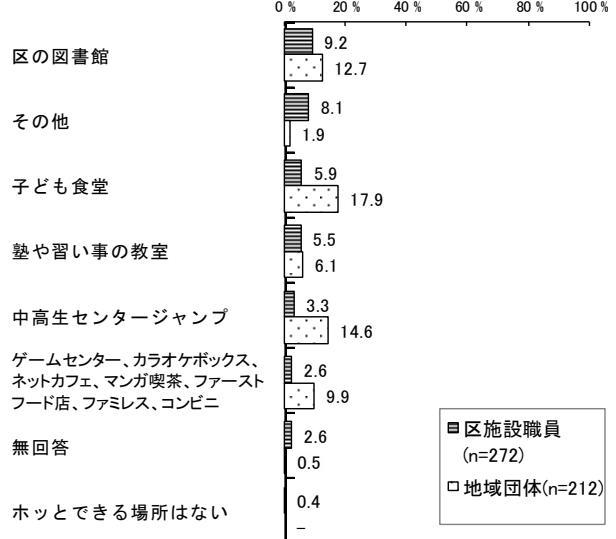
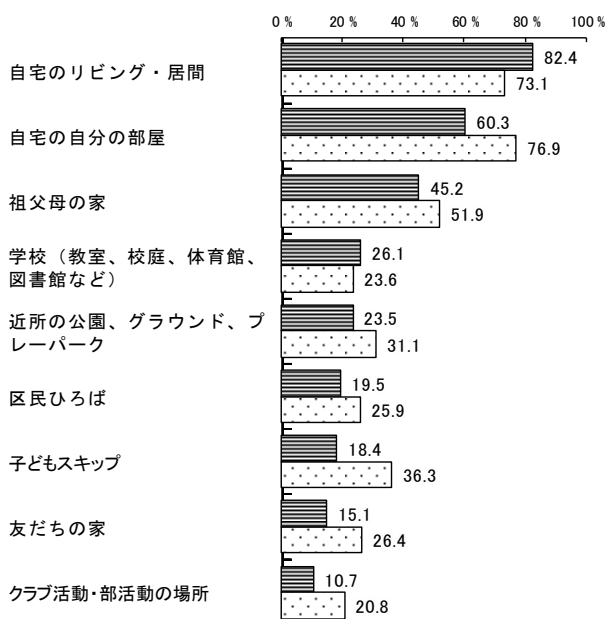
■小学生4～6年生本人・保護者



■中高生本人・保護者

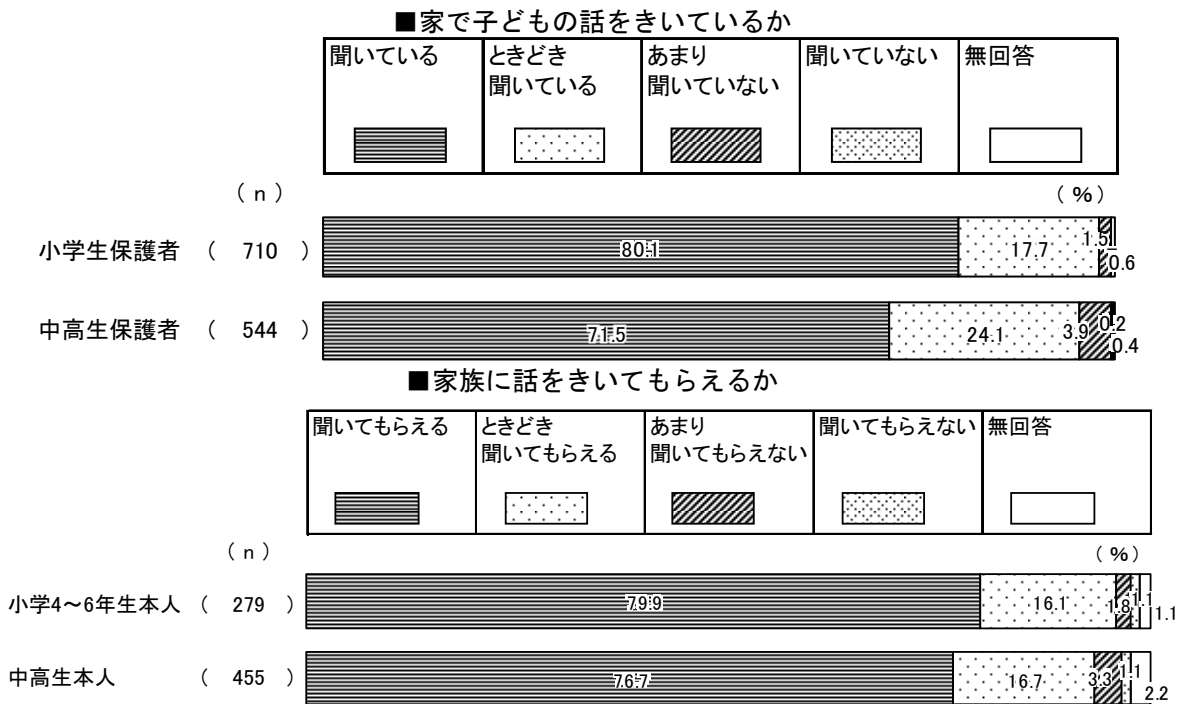


■区施設職員・地域団体



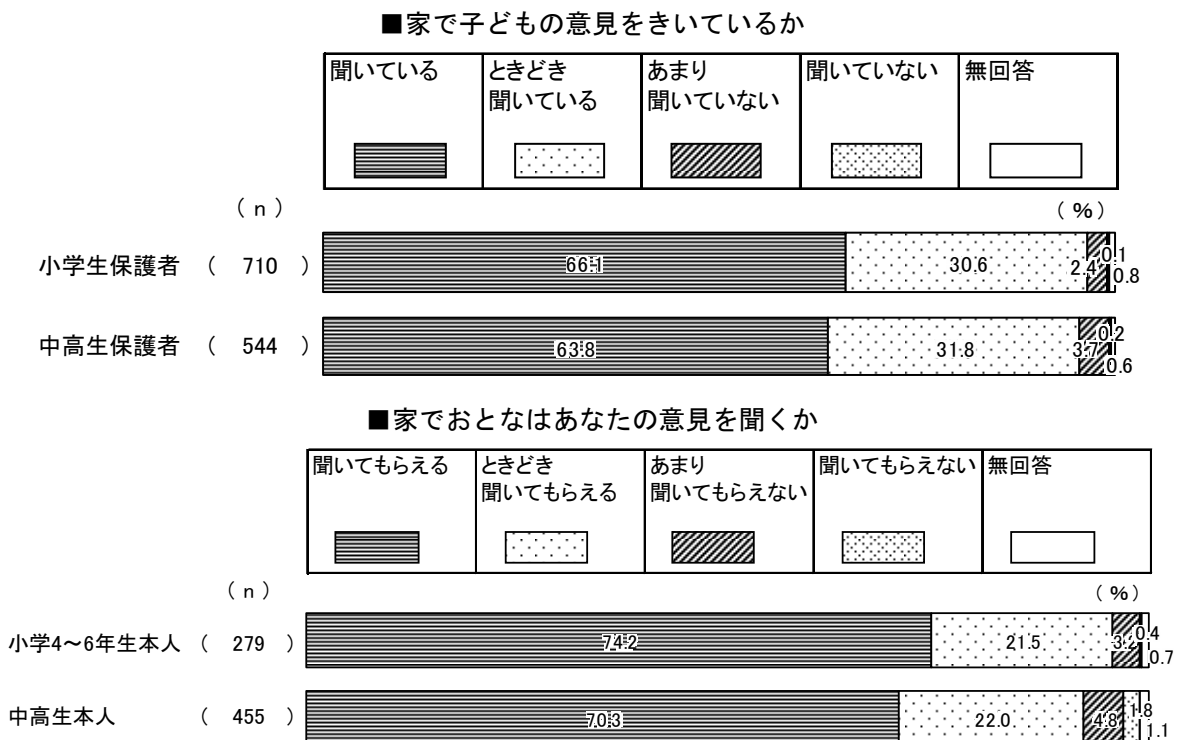
② 親が家庭で子どもの話を聞いているか

保護者は「聞いている」（小学生保護者 80.1%、中学生保護者 71.5%）、子ども本人は「聞いてもらえる」（小学4～6年生本人 79.9%、中学生本人 76.7%）が最も多くなっています。小学生、中学生ともに保護者と子ども本人でほぼ同じ傾向になっています。



③ 親が家庭で子どもの意見を聞いているか

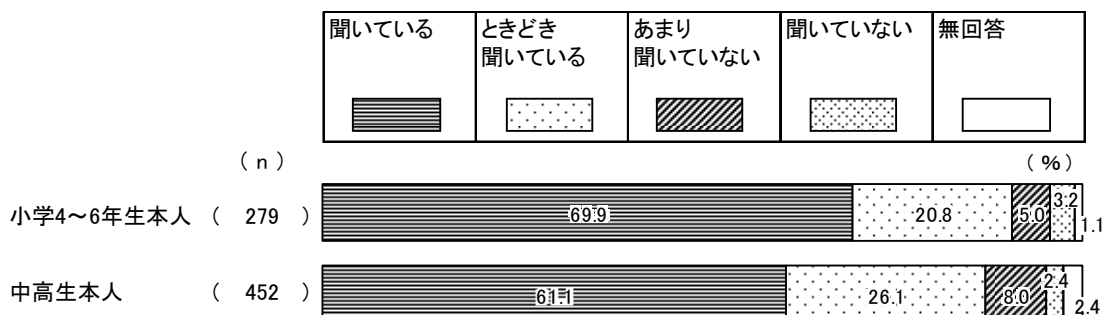
保護者は「聞いている」（小学生保護者 66.1%、中学生保護者 63.8%）、子ども本人は「聞いてもらえる」（小学4～6年生本人 74.2%、中学生本人 70.3%）が最も多くなっています。小学生、中学生ともに保護者の「聞いている」より子ども本人の「聞いてもらえる」の方が多くなっています。



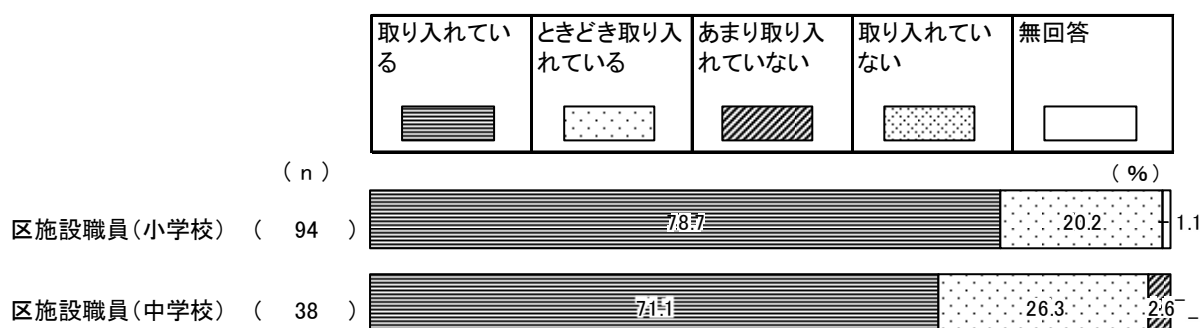
④ 学校でおとなが子どもの意見を聞いているか

子ども本人は「聞いている」(小学4~6年生本人69.9%、中高生本人61.1%)、区施設職員(学校)は「取り入れている」(小学校78.7%、中学校71.1%)が最も多くなっています。

■先生はあなたの意見を聞いているか



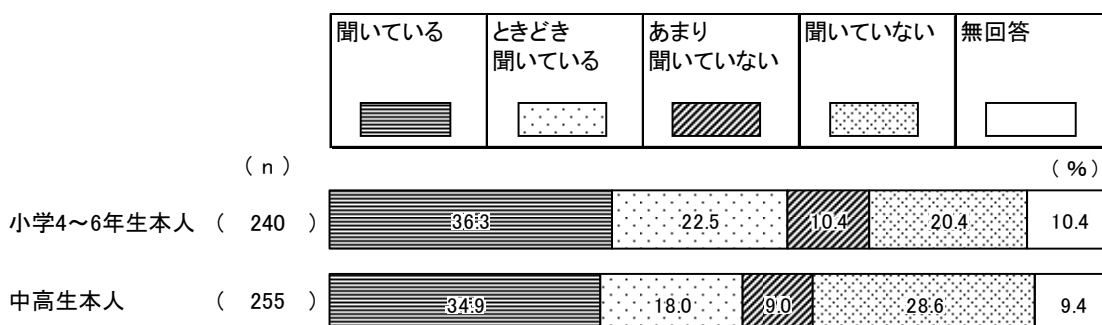
■子どもの思いや考えを取り入れているか



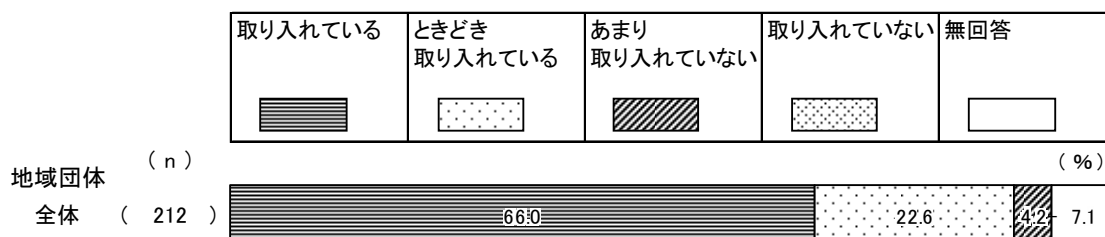
⑤ 地域で大人が子どもの意見を聞いているか

この1年に地域活動に参加したことがある子ども本人は「聞いている」(小学4~6年生本人36.3%、中高生本人34.9%)、地域団体は「取り入れている」が66.0%と最も多くなっています。

■地域のおとなは、あなたの意見を聞くか

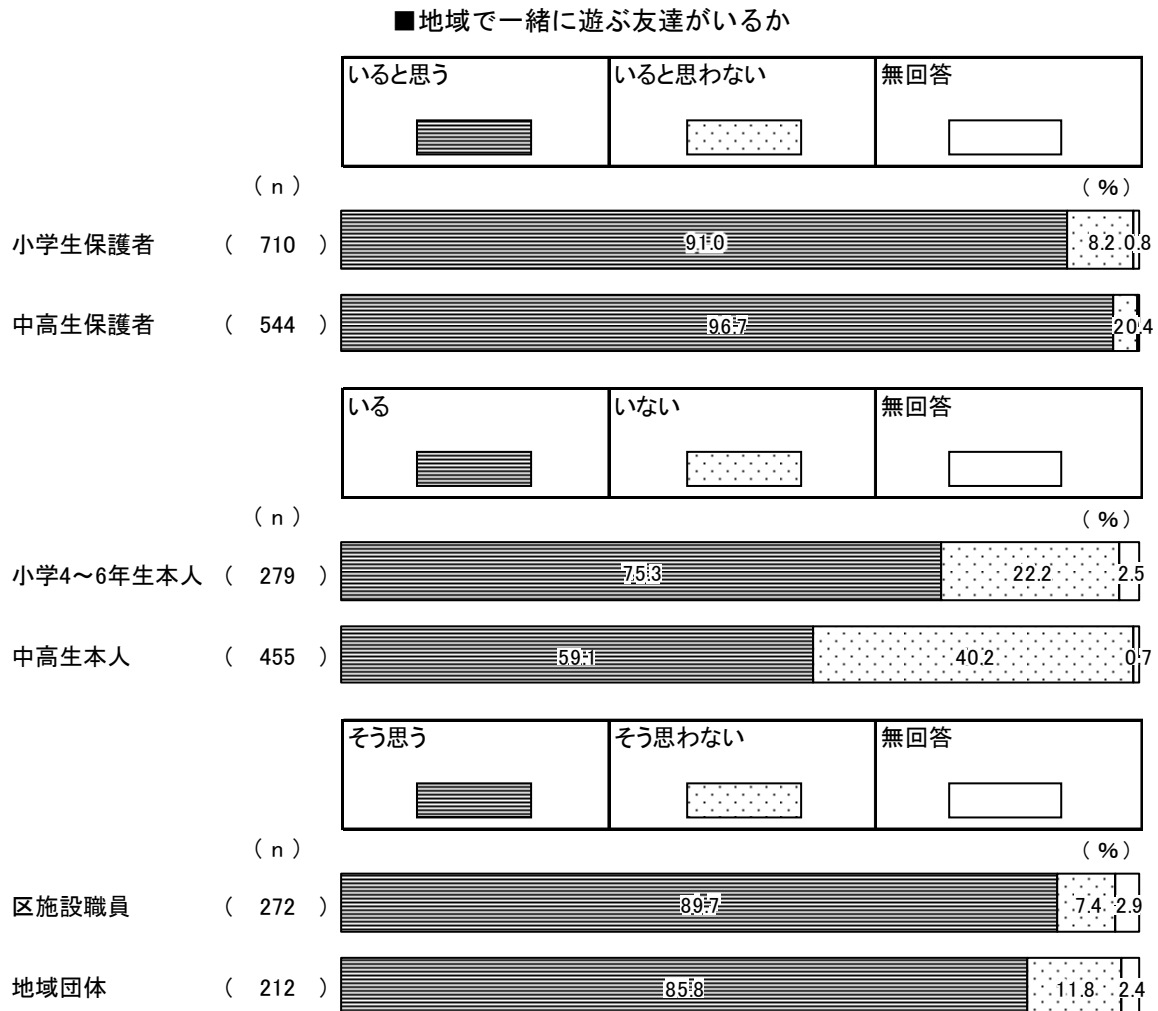


■子どもの思いや考えを取り入れているか



⑥ 子どもには地域で一緒に遊ぶ友だちいるか

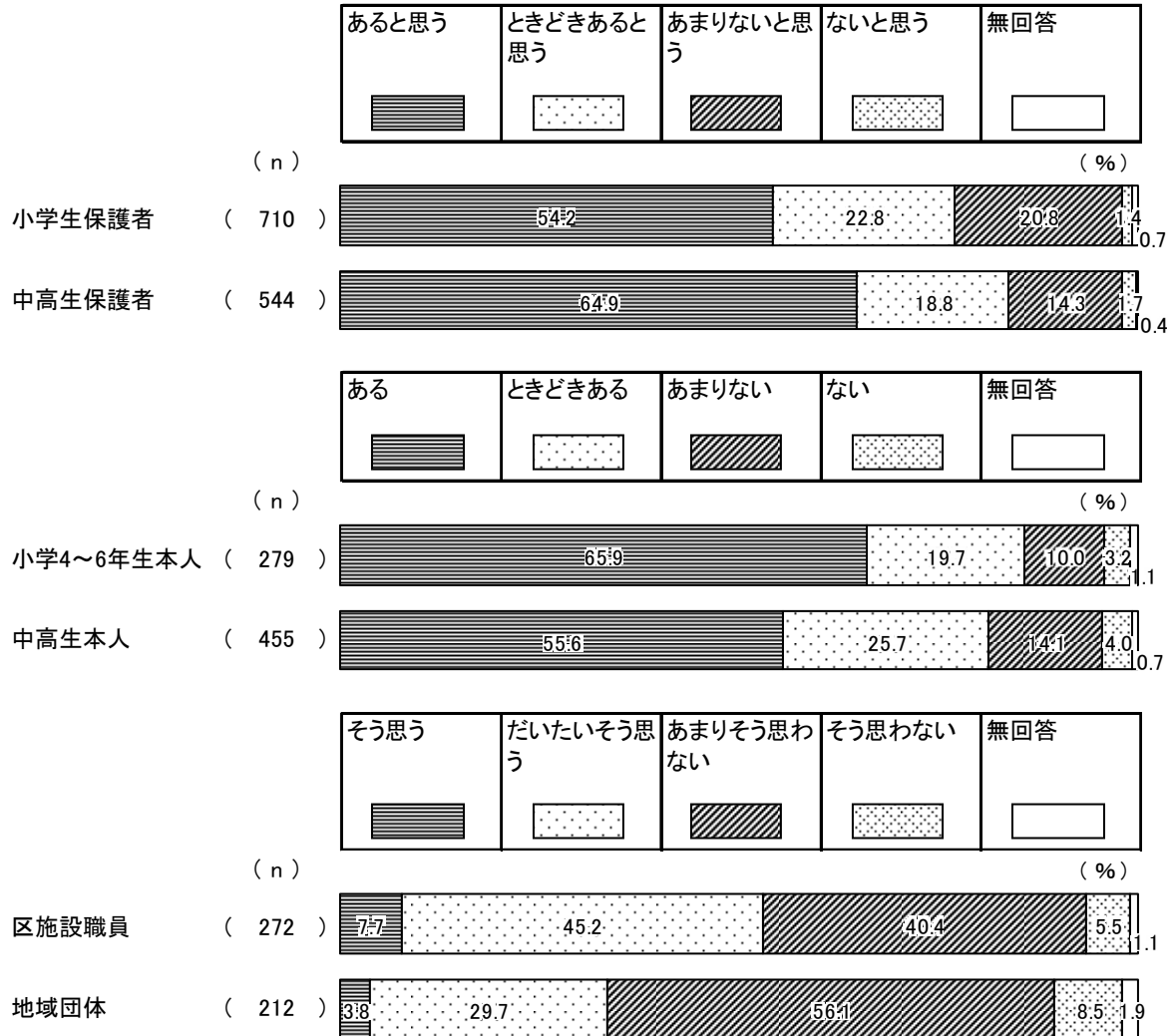
保護者は「いると思う」(小学生保護者 91.0%、中高生保護者 96.7%)、子ども本人は「いる」(小学4～6年生本人 75.3%、中高生本人 59.1%)、区施設職員、地域団体は「そう思う」(順に 89.7%、85.8%)が最も多くなっています。「いる」「いると思う」は、小学4～6年生と小学生保護者では 15.7%、中高生と中高生保護者では 37.6%の差が見られます。



⑦ 子どもには遊んだり休んだりする時間が十分にあるか

保護者は「あると思う」(小学生保護者 54.2%、中高生保護者 64.9%)、子ども本人は「ある」(小学4～6年生本人 65.9%、中高生本人 55.6%)、区施設職員は「だいたいそう思う」が45.2%、地域団体は「あまりそう思わない」が56.1%と最も多くなっています。「ある」「あると思う」は小学生では子ども本人の方が保護者より多く、中高生は子ども本人の方が保護者より少なくなっています。

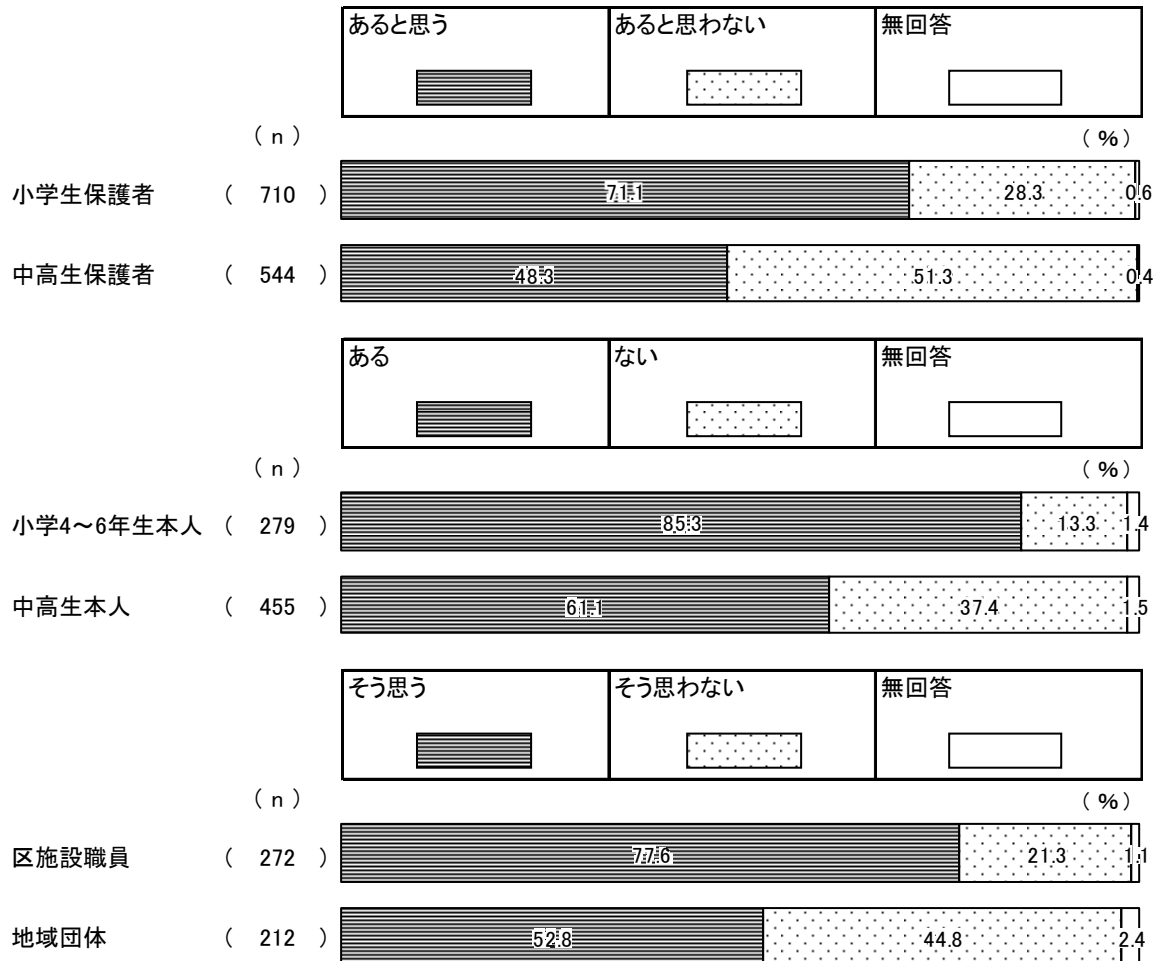
■子どもが遊んだり休んだりする時間が十分にあるか



⑧ 子どもには地域で遊んだりスポーツしたりする場所があるか

“小学生保護者”は「あると思う」(71.1%)、“中高生保護者”は「あると思わない」(51.3%)、子ども本人は「ある」(小学4～6年生本人85.3%、中高生本人61.1%)、区施設職員、地域団体は「そう思う」(順に77.6%、52.8%)が最も多くなっています。小学生、中高生ともに、「ある」「あると思う」は保護者より子ども本人の方が多くなっています。

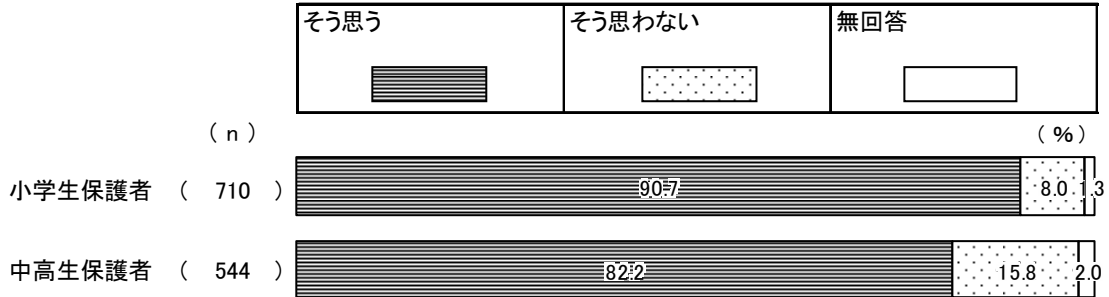
■地域で遊んだりスポーツしたりする場所があるか



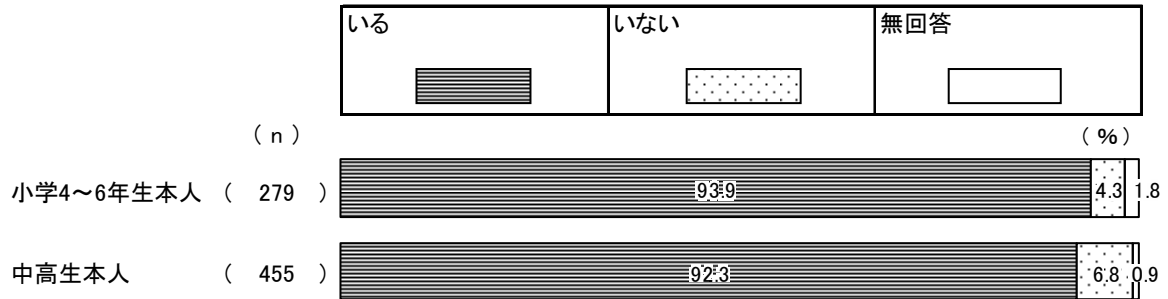
⑨ 子どもが気持ちや悩みを話せるおとながいるか

保護者は「そう思う」(小学生保護者 90.7%、中学生保護者 82.2%)、子ども本人は「いる」(小学4～6年生本人 93.9%、中学生本人 92.3%)、「区施設職員」「地域団体」は「だいたいそう思う」(順に 67.6%、43.4%) が最も多くなっています。

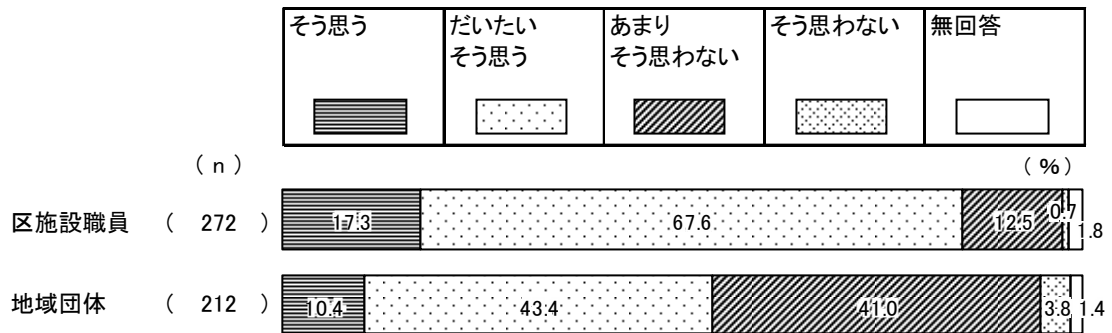
■子どもが気持ちや悩みを話せるおとながいると思うか



■気持ちや悩みを話せるおとながいるか



■子どもが気持ちや悩みを話せるおとながいると思うか



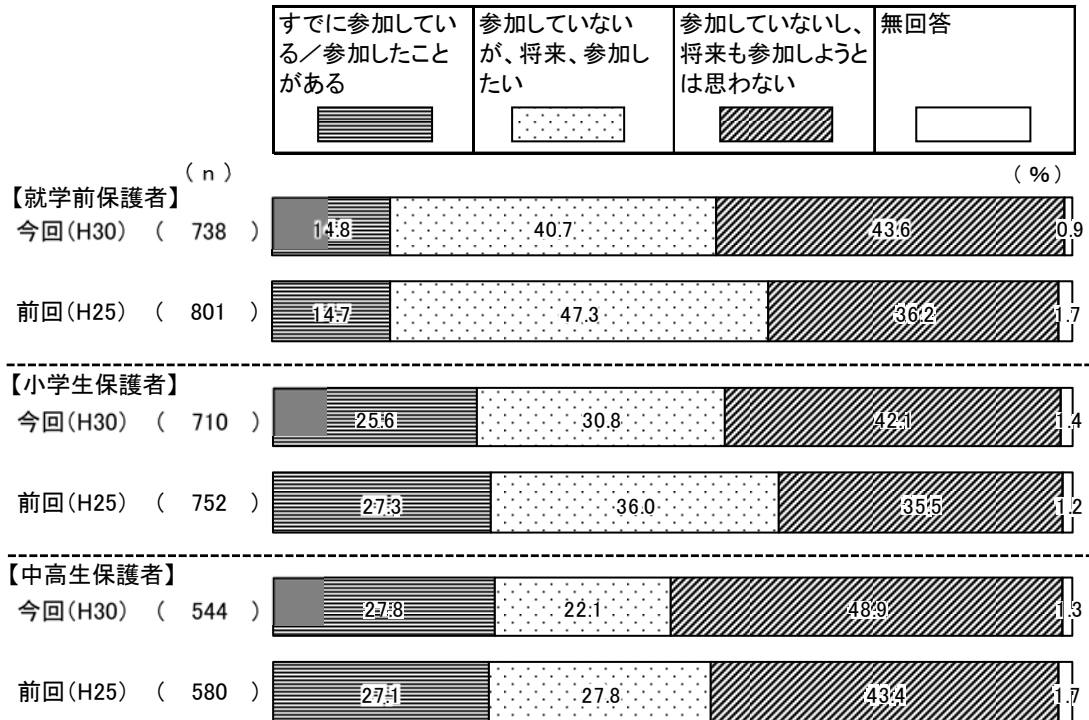


⑩ 地域参加について

町会や青少年育成委員会等の地域活動への参加については、すべての保護者で「参加していないし、将来も参加しようとは思わない」（就学前保護者 43.6%、小学生保護者 42.1%、中学生保護者 48.9%）が最も多く4割以上となっています。

前回調査と比べて、すべての保護者で「参加していないし、将来も参加しようとは思わない」が多くなっています。

■ 地域の子育て支援活動への参加状況（保護者）



第2章 調査結果の概要

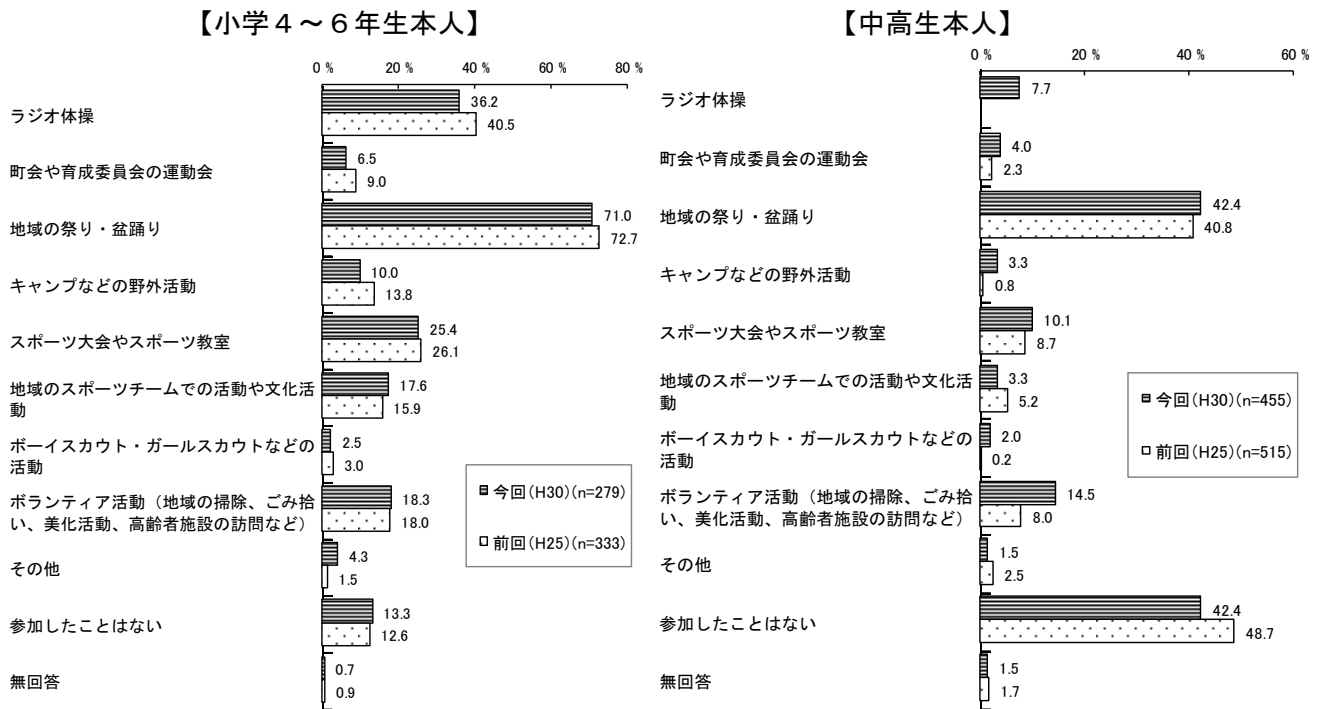
I アンケート調査結果の概要

子ども本人にこの1年で参加した地域活動について聞いたところ、「小学4～6年生本人」「中高生本人」ともに「地域の祭り・盆踊り」が最も多く、順に71.0%、42.4%となっています。

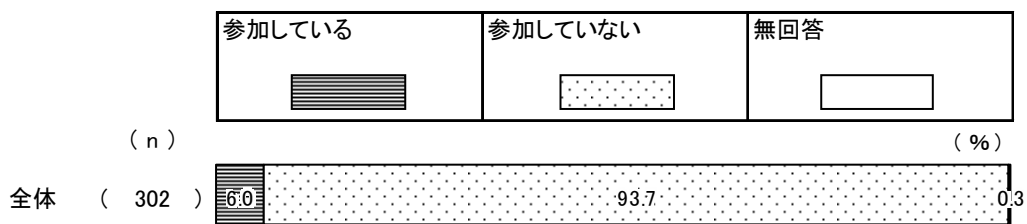
前回調査と比べて、「小学4～6年生本人」はほぼ同じ傾向、「中高生本人」は「ボランティア活動（地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、高齢者施設の訪問など）」がやや多く、「参加したことはない」がやや少なくなっています。

若者は「参加していない」が93.7%となっています。

■この1年間に参加した地域活動（子ども・若者）



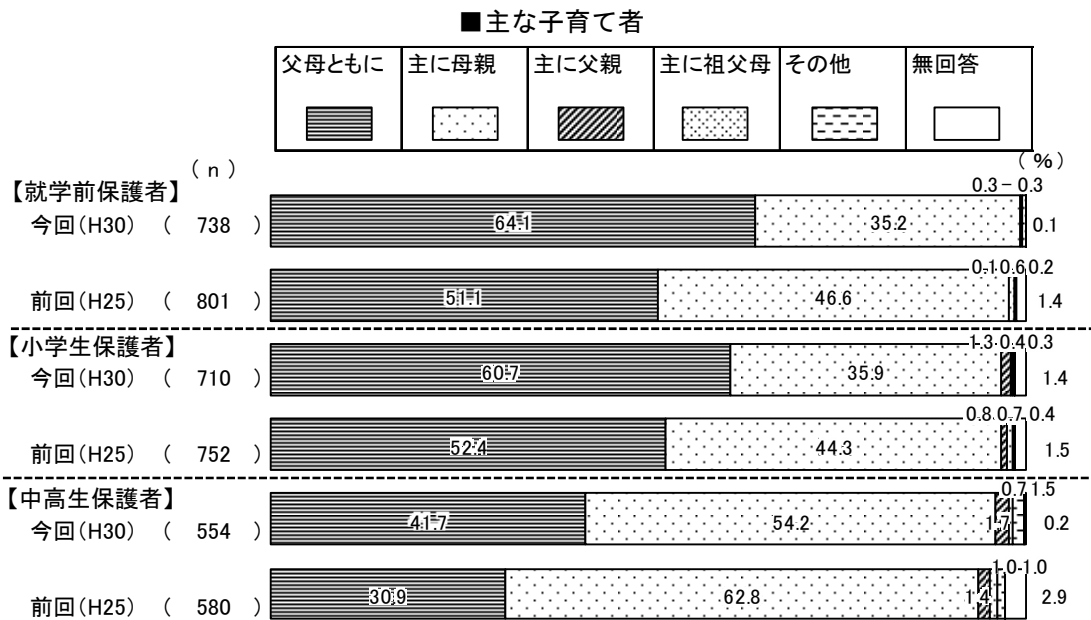
【若者】



6 保護者の就労状況について

① 主な子育て者

“就学前保護者”“小学生保護者”は「父母ともに」が最も多く、順に64.1%、60.7%となっています。  
 “中高生保護者”は「主に母親」が最も多く54.2%となっています。  
 前回調査と比べて、全ての保護者で「父母ともに」が多くなっています。



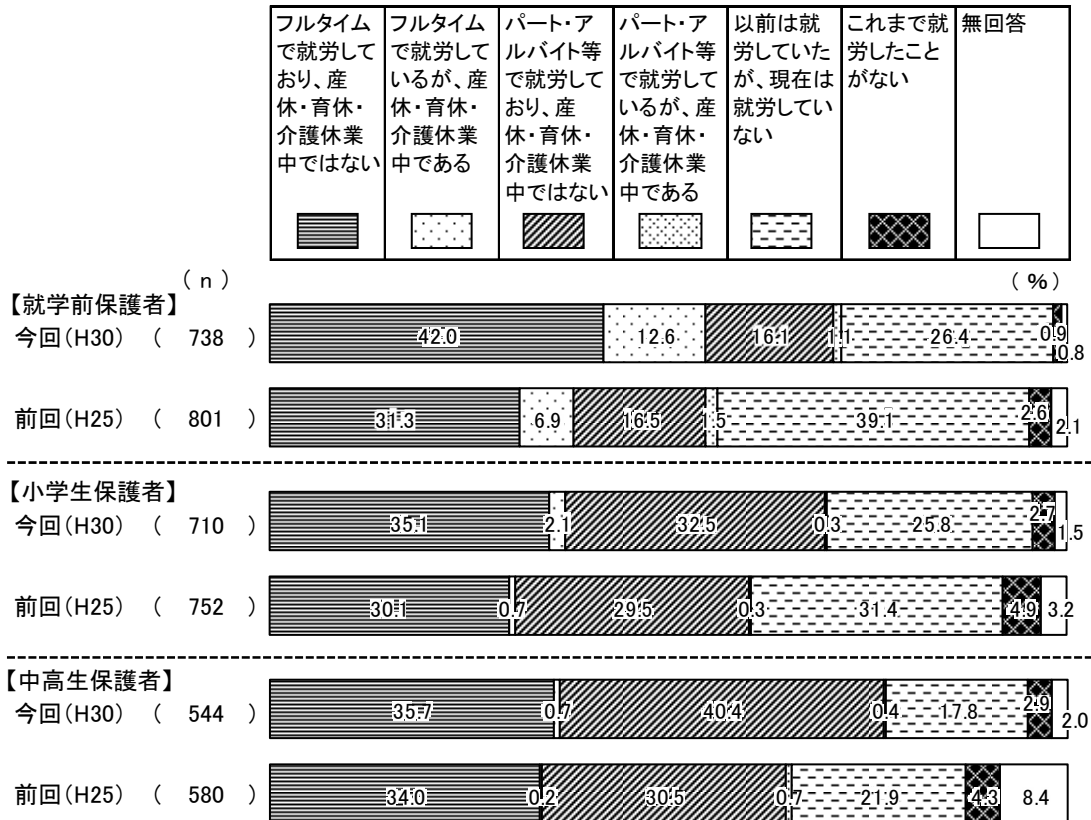
② 保護者の就労状況

母親については、“就学前保護者”“小学生保護者”で「フルタイム」が最も多く、順に 42.0%、35.1%、“中学生保護者”は「パート・アルバイト等」が最も多く 40.4%となっています。

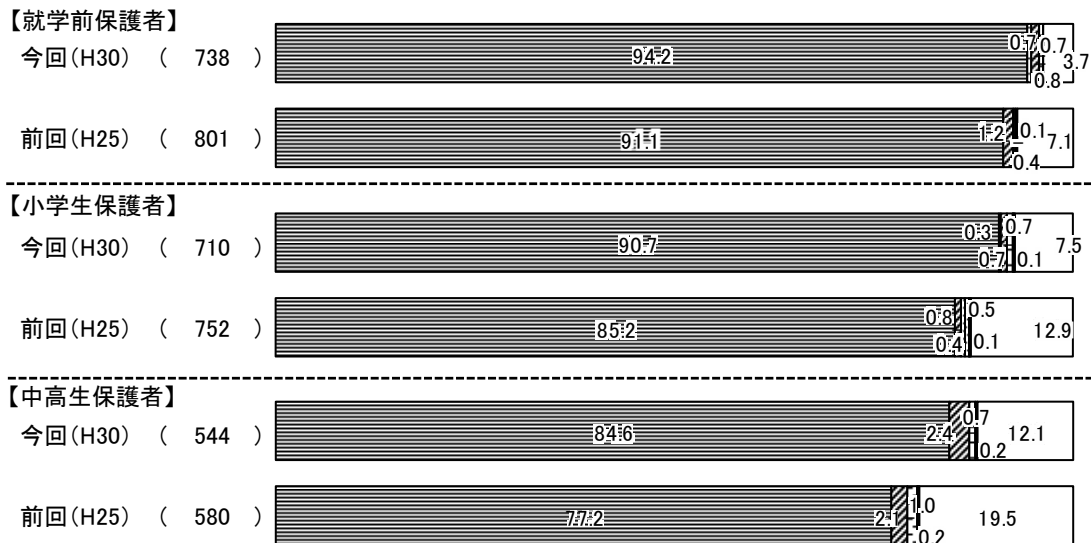
父親は、「フルタイム」が最も多く、就学前保護者 94.2%、小学生保護者 90.7%、中学生保護者 84.6%となっています。

前回調査と比べて、全ての保護者でフルタイム就労が増加しています。特に母親については、“就学前保護者”ではフルタイムでの就労が 16 ポイント以上増加しており、“中学生保護者”ではパート・アルバイト等での就労が 10 ポイント程度増加しています。

■ 母親の就労状況



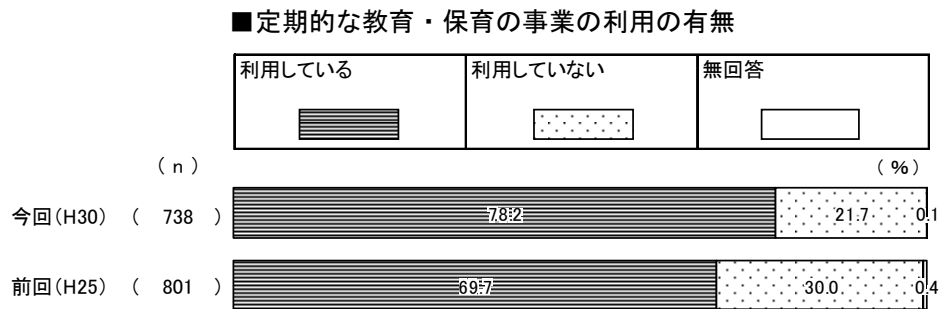
■ 父親の就労状況



## 7 教育・保育事業等の利用について

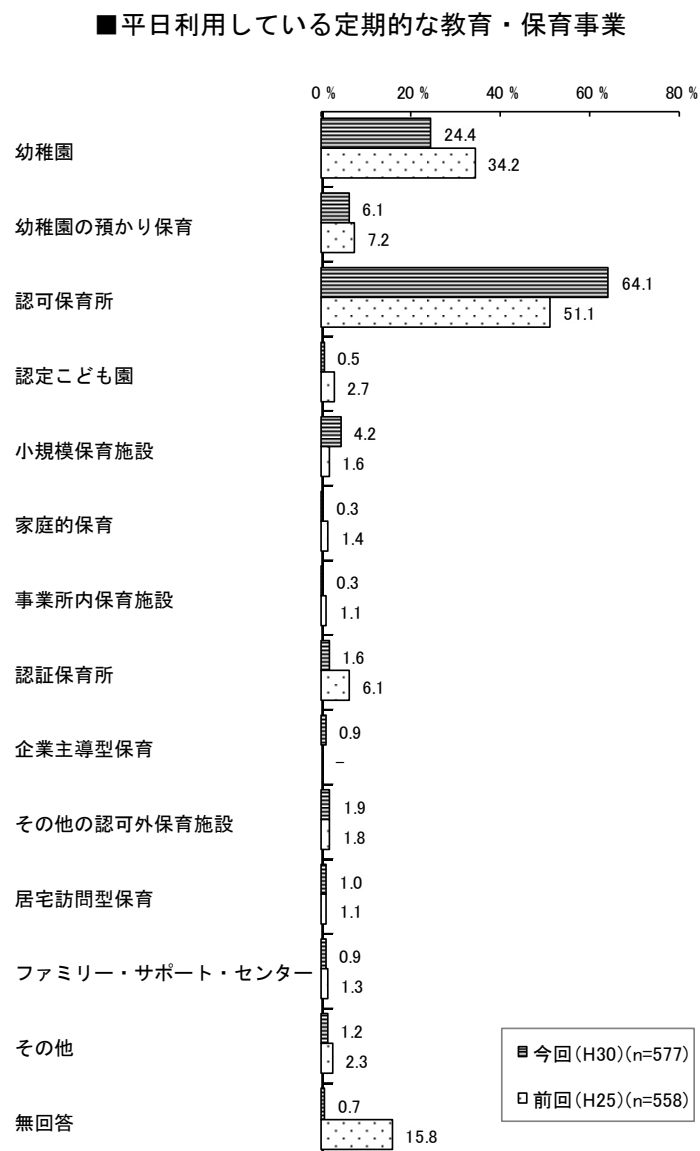
### ① 定期的な教育・保育の事業の利用の有無（就学前保護者）

「利用している」が78.2%で、前回調査と比べて多くなっています。



### ② 平日利用している定期的な教育・保育事業（就学前保護者）

「認可保育所」が64.1%と最も多く、前回調査と比べて10ポイント以上増加している一方、「幼稚園」は24.2%で、前回調査と比べて約10ポイント減少しています。

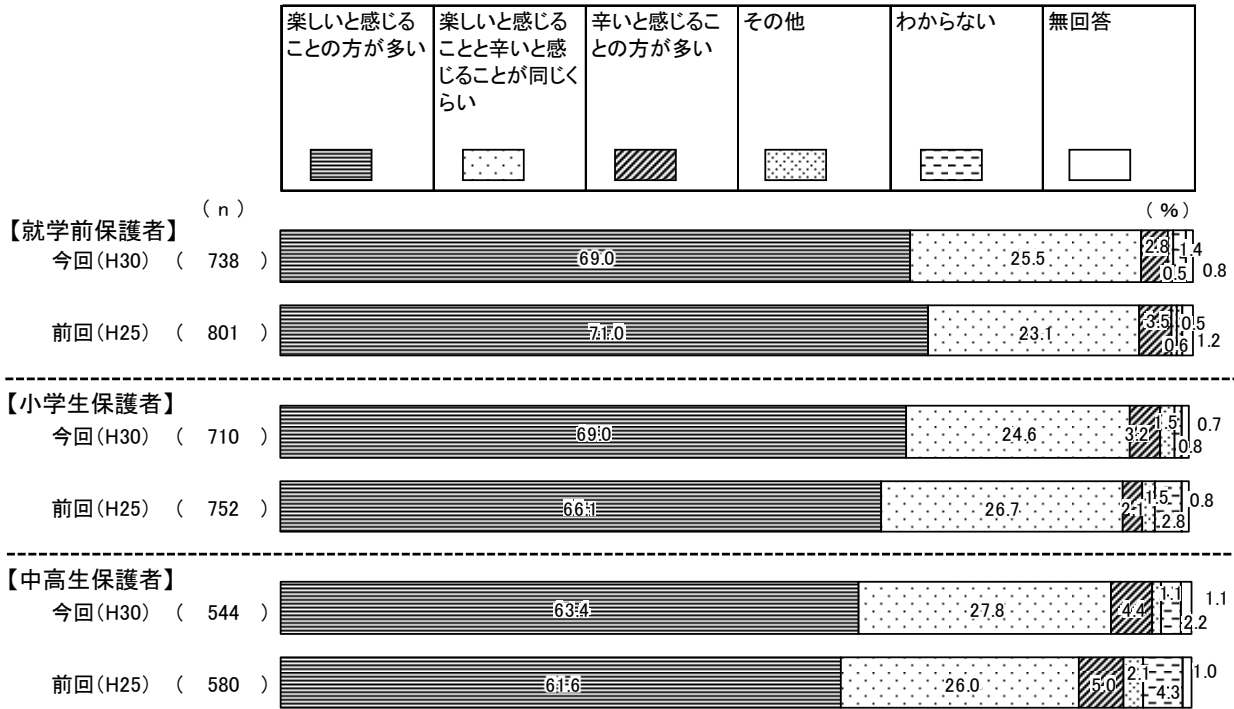


**8 子育てに関する保護者の意識について**

① 子育ての楽しさ

すべての保護者で「楽しいと感じることの方が多い」が最も多く、就学前保護者 69.0%、小学生保護者 69.0%、中学生保護者 63.4%となっています。前回調査とほぼ同じ傾向となっています。

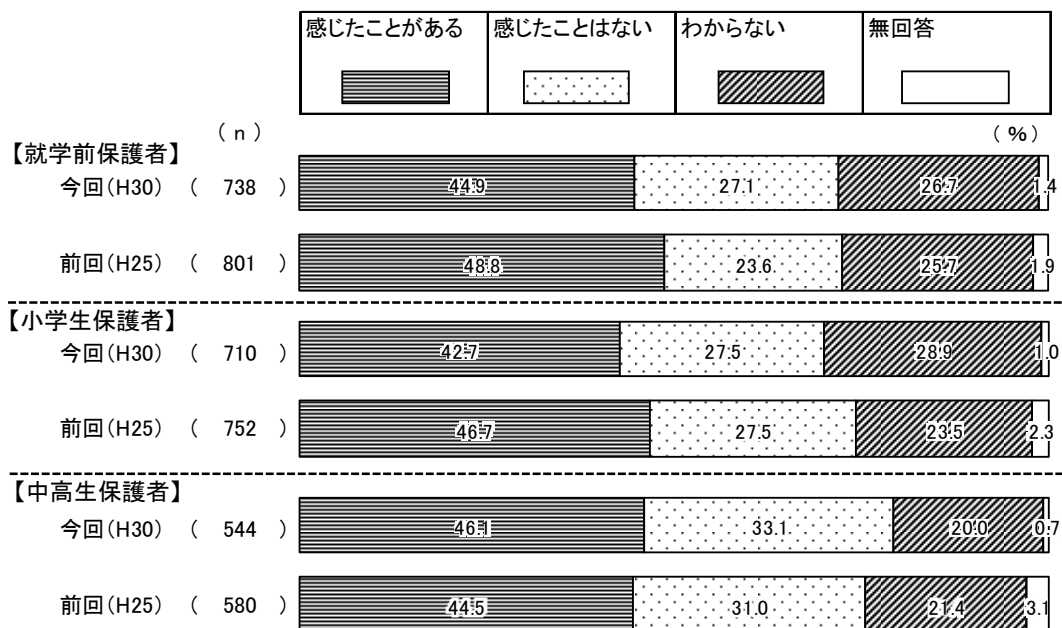
■ 子育ての楽しさ



② 地域の方々からの子育てへの支援

すべての保護者で、地域の方々からの子育て支援があればよいと感じたことがあるが最も多く、就学前保護者 44.9%、小学生保護者 42.7%、中学生保護者 46.1%となっています。前回調査とほぼ同じ傾向となっています。

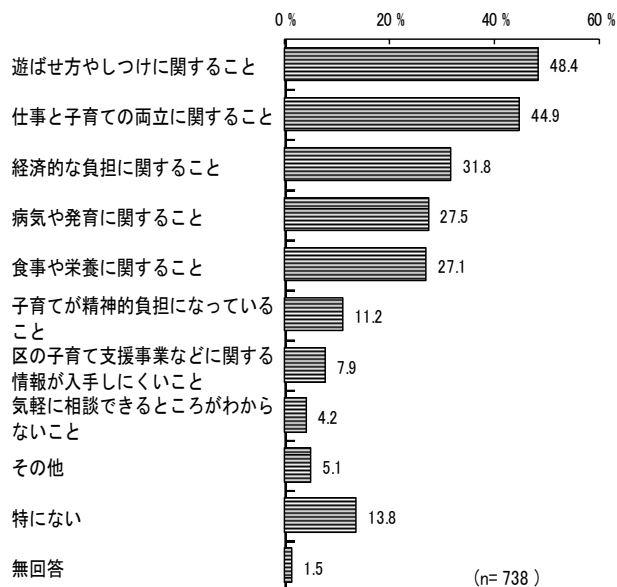
■ 地域の方々から支援があればよいと感じたこと



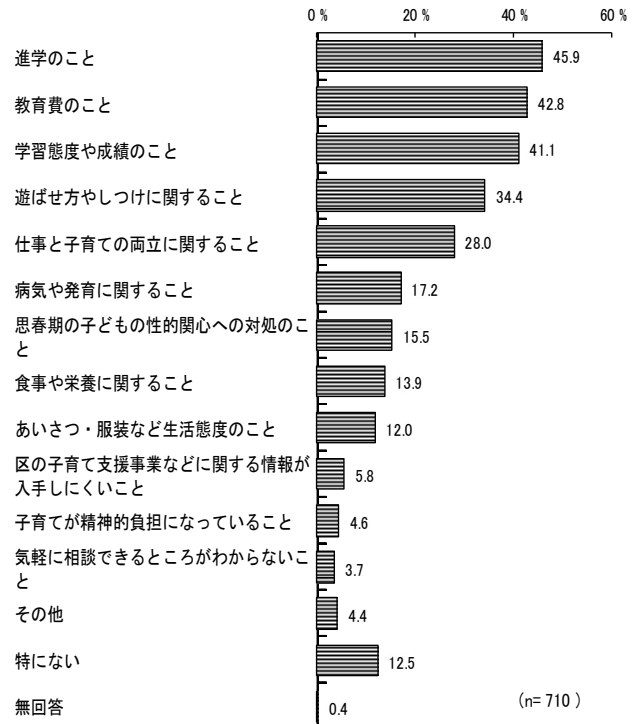
③ 子育てに関して不安なこと・悩んでいること

“就学前保護者”は「遊ばせ方やしつけに関すること」が最も多く48.4%、“小学生保護者”“中高生保護者”は「進学のこと」が最も多く、順に45.9%、60.1%となっています。

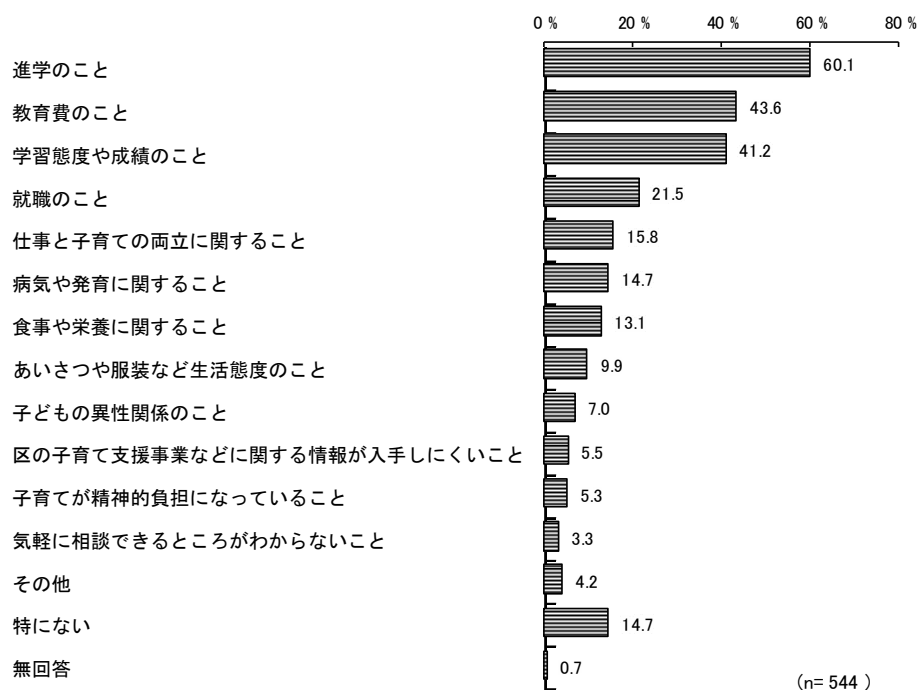
■ 就学前保護者（複数回答）



■ 小学生保護者（複数回答）



■ 中高生保護者（複数回答）



## 9 豊島区の施策について

### ① 豊島区の子育て環境について

豊島区の子育て環境について、前回と比較すると、就学前児童保護者及び小学生保護者では全ての項目で、中学生保護者は1つを除く項目で、「思う」（そう思う+少しはそう思う）が増加しています。特に「安心して子どもを産む環境づくりができています」「保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している」は10ポイント以上増加しています。

一方、「思わない」（あまり思わない+思わない）は、どの保護者においても、全ての項目で減少しています。

■豊島区の子育て環境について

| 項目                              | 保護者区分    | 思う<br>(そう思う+少しはそう思う) |             |       | 思わない<br>(あまり思わない+思わない) |             |        |
|---------------------------------|----------|----------------------|-------------|-------|------------------------|-------------|--------|
|                                 |          | 今回<br>(H30)          | 前回<br>(H25) | 増減    | 今回<br>(H30)            | 前回<br>(H25) | 増減     |
| ア 子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる         | 就学前児童保護者 | 24.3                 | 19.2        | 5.1   | 12.7                   | 20.9        | ▲ 8.2  |
|                                 | 小学生保護者   | 27.3                 | 22.4        | 4.9   | 13.0                   | 18.5        | ▲ 5.5  |
|                                 | 中学生保護者   | 22.8                 | 23.3        | ▲ 0.5 | 10.8                   | 15.4        | ▲ 4.6  |
| イ 子どもの遊び場が充実している                | 就学前児童保護者 | 35.0                 | 22.8        | 12.2  | 40.5                   | 56.9        | ▲ 16.4 |
|                                 | 小学生保護者   | 19.4                 | 15.1        | 4.3   | 54.1                   | 62.7        | ▲ 8.6  |
|                                 | 中学生保護者   | 17.6                 | 12.6        | 5.0   | 53.1                   | 62.4        | ▲ 9.3  |
| ウ 安心して子どもを産む環境づくりができています        | 就学前児童保護者 | 40.9                 | 22.3        | 18.6  | 25.2                   | 45.2        | ▲ 20.0 |
|                                 | 小学生保護者   | 31.0                 | 18.8        | 12.2  | 31.8                   | 41.4        | ▲ 9.6  |
|                                 | 中学生保護者   | 24.8                 | 17.9        | 6.9   | 30.5                   | 36.4        | ▲ 5.9  |
| エ 職業生活と家庭生活を両立するための支援が行われている    | 就学前児童保護者 | 28.9                 | 12.9        | 16.0  | 29.8                   | 46.7        | ▲ 16.9 |
|                                 | 小学生保護者   | 19.2                 | 12.2        | 7.0   | 32.8                   | 43.9        | ▲ 11.1 |
|                                 | 中学生保護者   | 15.8                 | 11.8        | 4.0   | 28.7                   | 38.3        | ▲ 9.6  |
| オ 子育てを視野にいった住宅対策や道路・施設整備が行われている | 就学前児童保護者 | 14.4                 | 8.2         | 6.2   | 51.1                   | 62.8        | ▲ 11.7 |
|                                 | 小学生保護者   | 16.9                 | 7.6         | 9.3   | 48.5                   | 56.8        | ▲ 8.3  |
|                                 | 中学生保護者   | 16.4                 | 11.2        | 5.2   | 38.4                   | 49.5        | ▲ 11.1 |
| カ 保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している        | 就学前児童保護者 | 52.7                 | 24.7        | 28.0  | 17.3                   | 40.6        | ▲ 23.3 |
|                                 | 小学生保護者   | 39.0                 | 26.6        | 12.4  | 23.7                   | 32.6        | ▲ 8.9  |
|                                 | 中学生保護者   | 33.5                 | 25.2        | 8.3   | 21.3                   | 28.2        | ▲ 6.9  |
| キ 学校教育が充実している                   | 就学前児童保護者 | 24.8                 | 7.8         | 17.0  | 12.9                   | 21.7        | ▲ 8.8  |
|                                 | 小学生保護者   | 49.3                 | 40.9        | 8.4   | 15.8                   | 23.5        | ▲ 7.7  |
|                                 | 中学生保護者   | 43.2                 | 39.3        | 3.9   | 17.3                   | 26.3        | ▲ 9.0  |
| ク 地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている   | 就学前児童保護者 | 31.4                 | 25.8        | 5.6   | 25.5                   | 33.1        | ▲ 7.6  |
|                                 | 小学生保護者   | 42.0                 | 36.3        | 5.7   | 21.3                   | 25.4        | ▲ 4.1  |
|                                 | 中学生保護者   | 37.9                 | 30.5        | 7.4   | 16.9                   | 27.6        | ▲ 10.7 |



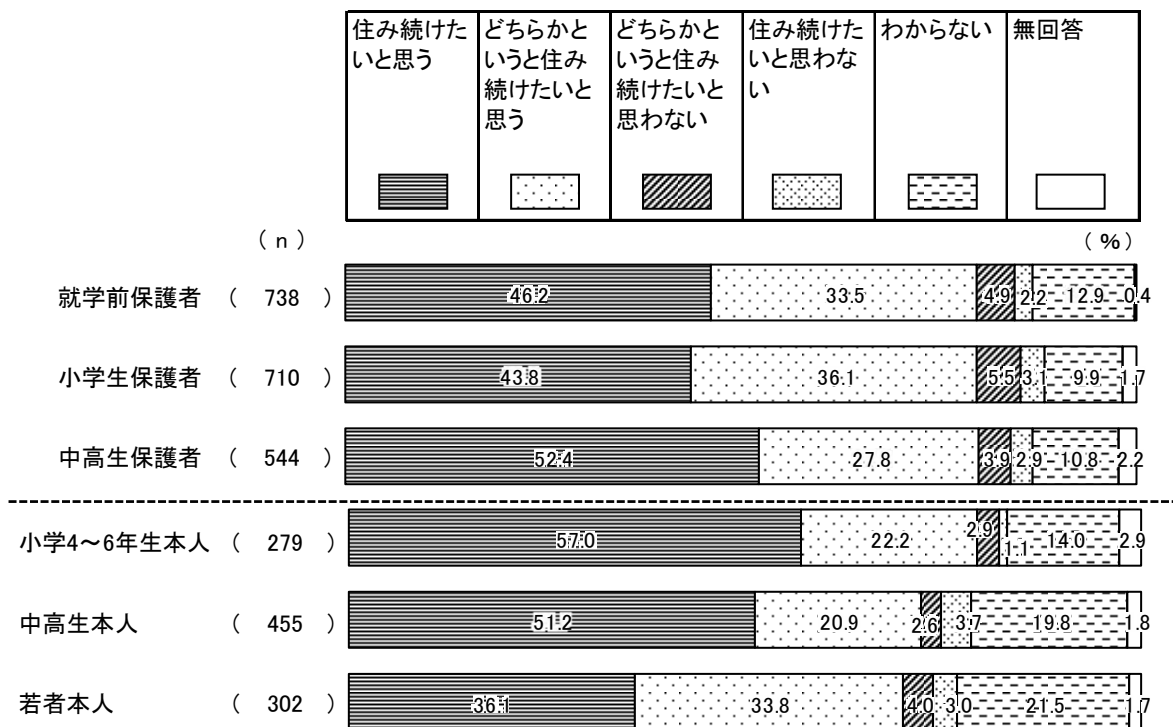
② 定住意向

すべての保護者で「住み続けたいと思う」が最も多く、就学前保護者 46.2%、小学生保護者 43.8%、中高生保護者 52.4%となっています。

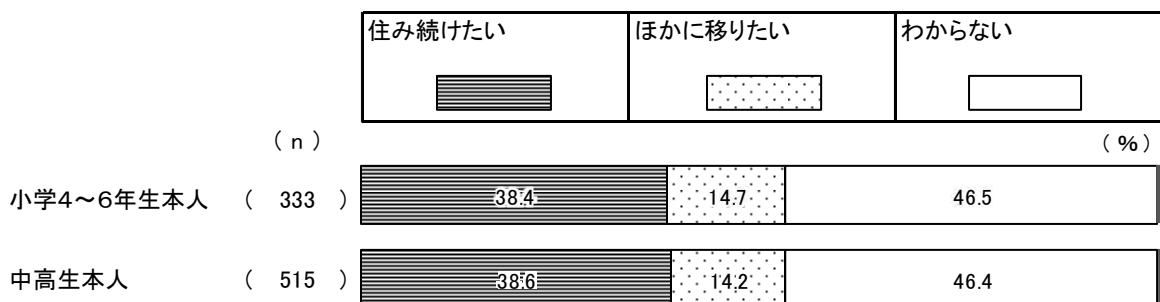
すべての子ども・若者で「住み続けたいと思う」が最も多く、小学4～6年生本人 57.0%、中高生本人 51.2%、若者 36.1%となっています。

前回調査と比べて、“小学4～6年生本人”“中高生本人”は「住み続けたい」が多くなっています。

■定住意向（今回（H30））



■定住意向（前回（H25））



## II ヒアリング調査結果概要

以下に、ヒアリング項目ごとの回答内容を掲載しています。ヒアリング調査によって、アンケート調査では把握の出来ない子どもの実態や要望について確認できました。

### 1 居場所・ホッとできる場所

#### (1) 放課後過ごす場所はどこか。

「子どもの居場所」でのヒアリングでは、小学生は校庭や公園、子どもスキップで遊んだり、習い事に通っている、中学生以上は部活動に参加するという回答が多く見られました。一方「困難を抱える子どもを支援する団体・施設」では、「まっすぐ家に帰る」という回答もみられ、「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」は「学校に行かずに家にいる」という回答もありました。

#### (2) 過ごしていてホッとする場所はどこか。

自宅やヒアリング実施施設をあげる回答が多くみられましたが、図書館や飲食店やゲームセンター、公園など、自身が好きなことを出来る場所をあげる子どもも多くいました。

また、場所に関わらず、友だちと一緒にいることがホッとすることに繋がるという回答もありました。

### 2 学校に関すること

#### (1) 学校は楽しいか。

「楽しい」と回答した子どもが多数でした。中には、「自分の苦手な教科の日には学校に行きたくなくなる」、「勉強や宿題がなければ楽しい」といった回答もありました。

「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」については「楽しくない」「行きたくないと思っていた」という回答が見られ、「学校の授業には出ず保健室登校していた」という子どももいました。

また、「義務教育という言葉の束縛感が辛くて不登校であった」「学校のクラスの結束感が強くてしんどかった。居場所を固定されたような感じが苦手だった。」と学校に行かない具体的な理由をあげる子どももいました。

#### (2) 学校に何でも話せる友だちがいるか。

ほとんどの調査対象においても「いる」という回答が多数でしたが、「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」では、「以前は仲が良かった子がいるが、今はいない」「学校以外にはいる」という回答が見られ、他の調査対象と比較して学校に何でも話せる友だちが少ない傾向がありました。

その他の調査対象でも、「だいたい話せる友だちはいるが、何でもは話せない」「相手によって話すことは分けている」という回答がありました。

また、「多様な性自認・性的指向の子ども」では、友だちでなくスクールカウンセラーに何でも話すという回答がありました。

### (3) 学校の休み時間や放課後に安心して過ごしているか。

「安心して過ごしている」という回答が多く、具体的には外遊びやスポーツ、読書や絵を描いて過ごす子どもが多く見られました。ただし、「休み時間は必ず校庭に出なければならない」と回答した子どももあり、必ずしも休み時間に自分の好きなことが出来ているとはいえないことが窺えました。

## 3 子どもの社会参加や意見表明に関すること

### (1) 周りの大人に言いたいことを言えているか。また周りの大人はそれを聞いてくれるか。

「言えている」、また「大人に言ったことを聞いてもらえる」という回答が大半でした。

しかし、「母に話すと説教のように話が長くなるので言いにくい」「スキップで話したことが学校に報告されるのを懸念している」「家では言っているが、学校では面倒だと思い飲み込むことがある。」と、話す相手の様子などから言うことをためらっている子どももいることが見受けられました。

「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」では、「学校では仲が良い人がいないので畏まっていて、家では言う」「言うが、先生に反論されて喧嘩になる」という回答もありました。

「中高生センタージャンプ」では、「中学校のとき不登校だったが、先生が高圧的かつ一方的な態度で、あまり自分の気持ちを言えなかった。一緒に前向きに考えてくれると良かった」と自分の言いたいことを言えなかった具体的な体験を話す子どももいました。

また、何人かの子どもに「学校で決められているルールについて子どもが意見を言えるか」を聞くと、「意見を言う機会はない」という回答が多く見られました。子どもたちの様子から、学校のルールについて意見を言うという考えがあまりないことも窺えました。

### (2) 地域の行事に参加しているか。

「参加している」という回答が多数であり、参加している行事としては「地域のお祭り」「神輿」「餅つき」をあげる子どもが多く見受けられました。「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」では、他のヒアリング対象よりも「参加していない」という回答が多く見られました。

また、「中高生センタージャンプ」では「参加していなかったが、不登校など同じ悩みをもつ人同士が集まって話せる場所があれば行っていたかもしれない」という回答もありました。

## 4 虐待やいじめなど、周りの大人や友人との関係に関すること

### (1) 周りの大人から嫌なことをされたことがあるか。

「ない」と回答した子どもが多数でした。

しかし、「子ども食堂」では、「父親が母親を叩いているのを見たことがある」「父親によく叩かれる。『ばか』『間抜け』などと言われる」、「多様な性自認・性的指向の子ども」では、「悪気があったわけではないが傷つく言葉を言われたことがある」「自分の思っていることを言った時に否定的なことを言われて傷ついた」「基本的に嫌なことはされないが、親は怒るとたまに物を投げてくる」などの経験をあげる子どももあり、全体から見れば少数ながらも大人から嫌なことをされたことのある子どももいました。

また、「プレーパーク」では、「学校の先生にいじられていることを話そうとしたところ、話す前から『そのことは受け付けられない』と言われてしまった」という学校での経験を話す子どもがいました。

## (2) 友だちや先輩・後輩から嫌なことをされたことがあるか。

「ない」という回答が大多数でした。

ただ、「子ども食堂」では、「小学生のときにクラブ活動でいじめられていた」、「外国ルーツの子ども」では、「過去に悪口を言われていたが先生に言って解決した」など、過去に嫌なことをされた経験をあげる子どももいました。

「多様な性自認・性的指向の子ども」では、「先輩から名前を馬鹿にされた」や部活動内でのトラブルといった、学校内での友人関係のトラブルをあげる子どももいました。

## 5 悩みや不安、相談に関すること

### (1) 悩んでいることや不安に思っていることがあるか。

「ない」と回答した子どもが多数でしたが、学力や進路、将来のことについての不安をあげる子どもも多く見られました。また、「子ども食堂」では「容姿を笑われる」「学校で嫌なことがあり、父親に話そうとしたら逆に怒られた」、「障害を抱える子ども」では、「算数の九九が覚えられない」「ものを考えるときや書くとき、困ってしまう」という回答もありました。

また、「外国ルーツの子ども」では日本語での勉強や漢字に不安があり、そのことから進学にも不安があるという回答がありました。「多様な性自認・性的指向の子ども」では、「親に秘密で買っているセクシャルマイノリティ関係の本が本棚に入りきらなくなり、親にばれそうになっている」という回答が見られるなど、抱えている事情により異なる悩みや不安が覗えました。

### (2) 悩みがあるとき、誰に相談しているか。

母親に相談しているという回答が最も多く、ヒアリング実施施設・団体の職員や友だちに相談するという回答も多く見られました。

「多様な性自認・性的指向の子ども」では、スクールカウンセラーに相談するという回答のほか、SNS 上で悩みをつぶやいたり、インターネット上の知り合いに相談するといった回答も見られました。

「中高生センタージャンプ」では、「誰にも相談せず、自分のことは自分で決める」という回答もありました。

### (3) 子どもの相談を受け付ける区の施設や窓口で、知っているところはあるか。

「知らない」という回答が多数でした。「学校の配布物に記載された相談窓口は知っている」という回答もありましたが、具体的な相談窓口名はあがりませんでした。

「多様な性自認・性的指向の子ども」では相談電話を利用したことがある子どもがおり、「東京都の窓口か豊島区の窓口か分からないが親身に聞いてくれた」と好印象を持っていました。

対して、「子ども食堂」では「区役所に相談しても何も変わらず、逆に差別されそう」という回答もありました。

### (4) 悩みや不安を相談する場合、どのようなところなら利用しやすいか。

相談形式については、「秘密が守られるから1対1が良い」「重苦しい空気が嫌だし、相談相手が複数人いた方が答えが出る可能性が高いから1対1ではない方が良い」と、子どもによって異なる意見が見られました。

「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」では、「堅苦しくないところが良い」「学校の先生に相談するとなると学校で相談しないといけないので抵抗があり、学校の先生は怒らせると怖いイメージがある。保健室の先生はあまり先生という感じがなくて話しやすい」、「虐待・DVなどの被害を受けた子ども」では「自分が信頼している人が信頼する人なら話しやすい」、「中高生センタージャンプ」では「不登校の子に通信学校等のいろいろな選択肢を教えてください、一緒に考えてくれるところが良い。学校ではない場所だと話しやすい」という回答がありました。

その他、「多様な性自認・性的指向の子ども」では知識をもった専門家などによる相談を望む回答がありました。

## 6 自己肯定感に関すること

### （1）自分のことは好きか。

「好き」「まあまあ好き」「普通」という回答が多く見られました。自分のことが「嫌い」と答えた子どもは、多くは自分の性格が嫌いと感じているようでしたが、中には「明確に嫌いなところは分からないが、なんとなく嫌い」という子どももいました。「多様な性自認・性的指向の子ども」では、自分の身体のことを嫌いと感じた子どももいました。

### （2）毎日は楽しいか。

「楽しい」と回答した子どもが多数でした。「楽しくない」と回答した子どもは、理由として、「毎日が同じで退屈」「学校がある日が楽しくない」「友人関係の悩みが多くて辛い」ことをあげていました。

### （3）自分が親や友だちなど、周りの人から大切にされていると感じるか。

「大切にされていると感じる」という回答が大半でした。大切にされていると感じる具体的な場面は思い浮かばない子どもが多数でしたが、中には「親から『大切な存在』だと言葉で言われる」「自分が悲しい時に声をかけてもらえると大切にされていると感じる」など、具体的な言葉や場面で実感している子どもも少数ながらいました。

また、「不登校・ひきこもり（または経験のある）の子ども」では、大切にされていると感じながらも「親が過保護である」という回答も見られました。

## 7 豊島区の施策に関すること

### （1）「豊島区子どもの権利に関する条例」を知っているか。

いずれの調査対象においても、「知らない」という回答が大半でしたが、少数ながら「学校で配られた条例のリーフレットは見たことがある」という子どももいました。また、小学校低学年の児童については、「権利」という言葉自体の意味がよく分からない子どももおり、「子どもの権利」や本条例については子どもに理解できるように周知していく必要があることが窺えました。

### (2) 区役所にやってほしいことは何か。

---

いずれの調査対象でも共通して、施設の整備や設備の充実を望む回答が多くありました。具体的には、「アミューズメント施設やレストランを家の近くにつくってほしい」「プールや体育館など、運動が出来るところをつくってほしい」「公園を増やしてほしい」「公園にバスケットボールのゴールを設置したり、ボール遊びを出来るようにしてほしい」といった回答が多くみられました。

学校に関することとしては、「学校の登校時間を遅くしてほしい」「学校のルールを無くしてほしい」といった、学校の規則に関する回答や、「体育館に冷房をつけてほしい」という回答がありました。

また、「プレーパーク」では「毎日火を使えるようにしてほしい」や「電気やWi-Fiを使えるようにしてほしい」、「子どもスキップ」では「子ども会議に出席できなかった人の意見も聞いてほしい」「高学年はスキップに遊びに来ているのに、低学年の子の面倒を見に来なければならない」「スキップは学校内にあるため皆が集まりすぎてしまう。ジャンプのように高学年でも友だち同士で話が出来るところがほしい」など、自身が利用している施設に関する要望や意見もありました。

その他、「中高生センタージャンプ」では「不登校のときに話を聞いてほしかったので、聞いてくれる場所がほしい」「社会人と繋がることが出来るなど、将来に繋げることが出来る場があったらよい」「(不登校など)同じ体験をした人からの話を、悩んでいる子に学校を通して聞かせてほしい。怒ったり叱ったりすることで解決しないでほしい。」という回答がありました。

「多様な性自認・性的指向の子ども」では、「同性婚が出来るようにしてほしい」「喫煙を取り締まってほしい」「中高生世代が気軽に行って、集まれる場所がほしい」という要望が見られました。

また、「区役所が何をやっているか分からないので特に無い」と回答した子どもも一定数いました。

### (3) 自分自身がやってみたいことは何か。

---

いずれの調査対象にも共通して、自分の趣味に関すること、進路に関すること、将来の夢に関することを話す子どもが多数でした。また、「プレーパーク」では、「もっと遊びたい」「プレーパークにずっと残る物をつくりたい」「プレーパークに動物を連れてきて、遊びたい」など、他のヒアリング実施施設より多く意見を言う子どもがいました。

## 第3章 調査結果

---



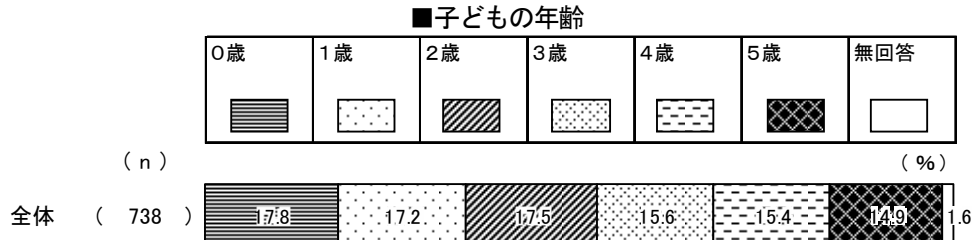


## I 就学前児童の保護者

### 1 お子さんご家族の状況について

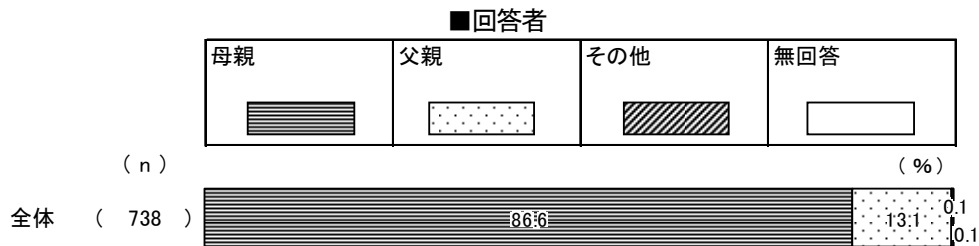
問1 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

「0歳」が最も多く17.8%、次いで「2歳」が17.5%、「1歳」が17.2%となっています。



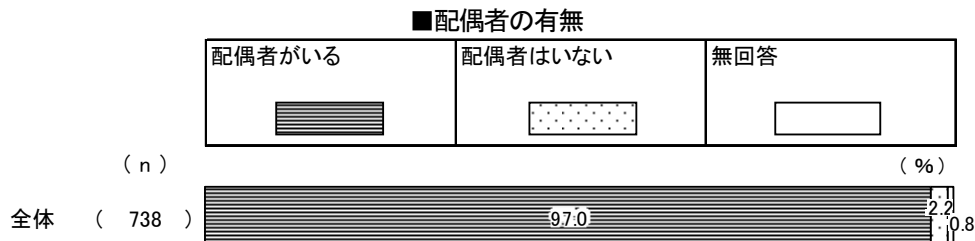
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が86.6%、「父親」が13.1%となっています。



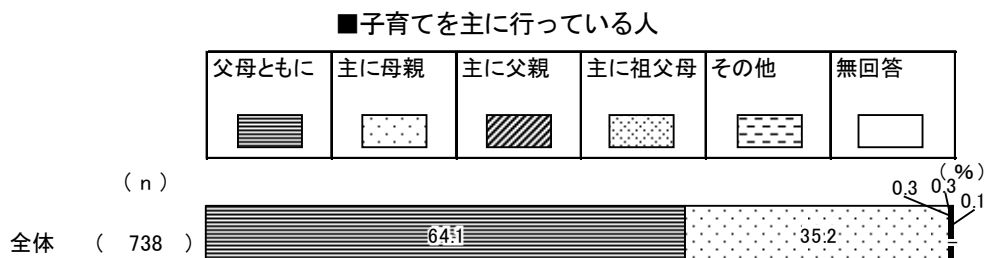
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者がいる」が97.0%、「配偶者がいない」が2.2%となっています。



問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

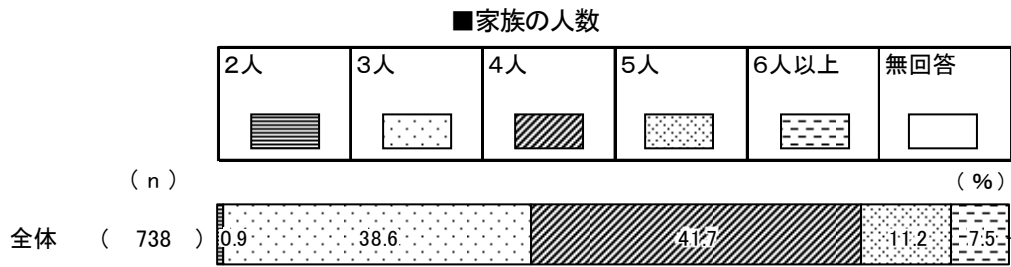
「父母ともに」が最も多く64.1%、次いで「主に母親」が35.2%、「主に父親」が0.3%となっています。



第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

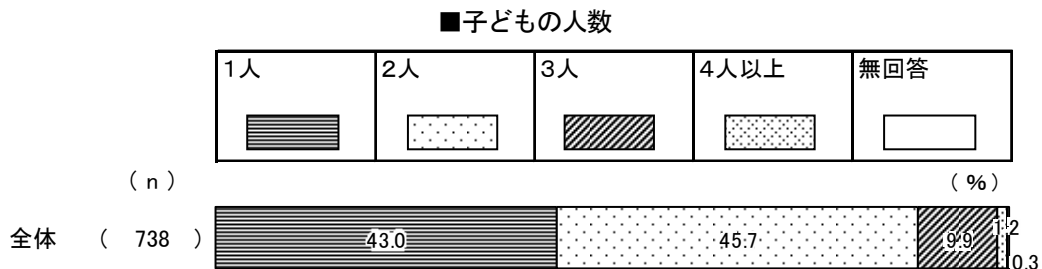
問6 あて名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなして合計人数を書いてください。

「4人」が最も多く41.7%、次いで「3人」が38.6%、「5人」が11.2%となっています。



問7 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

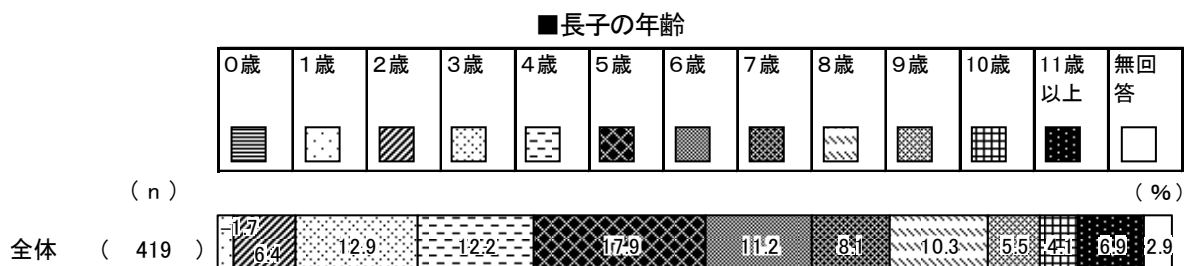
「2人」が最も多く45.7%、次いで「1人」が43.0%、「3人」が9.9%となっています。



問8 一番大きいお子さん（長子）と一番小さいお子さん（末子）の年齢を平成30年4月1日現在でお書きください。お子さんが一人だけ（あて名のお子さんのみ）の場合は記入する必要はありません。

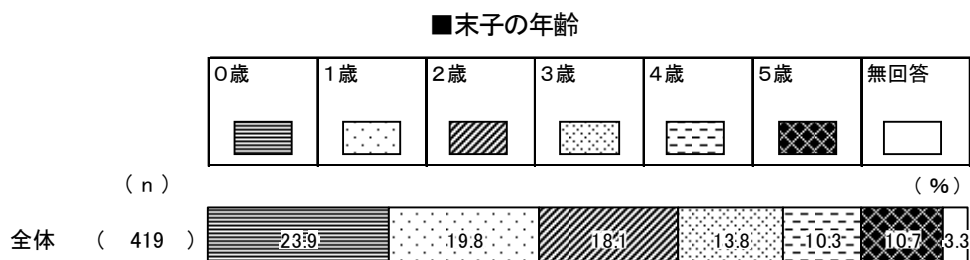
①長子の年齢

「5歳」が最も多く17.9%、次いで「3歳」が12.9%、「4歳」が12.2%となっています。



②末子の年齢

「0歳」が最も多く23.9%、次いで「1歳」が19.8%、「2歳」が18.1%となっています。

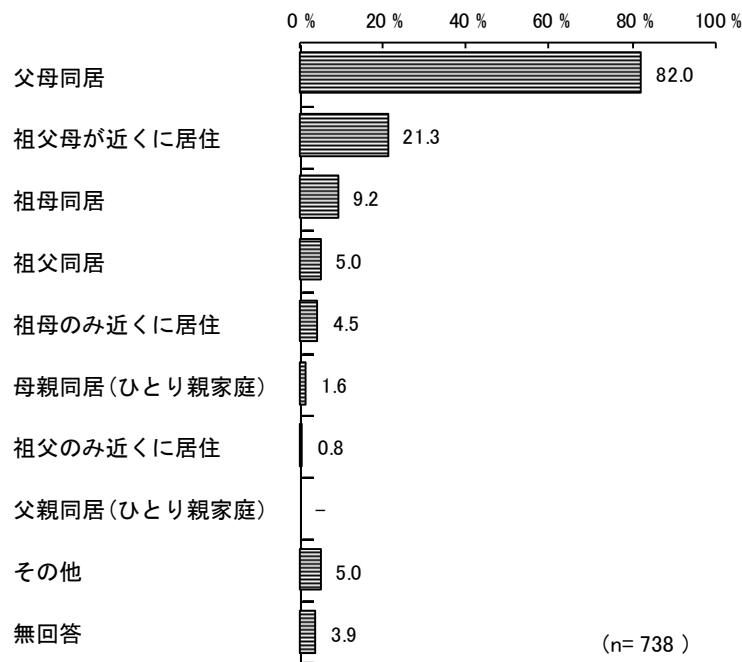


問9 あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください（続柄はあて名のお子さんからみた関係）。

なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。（「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと）

「父母同居」が最も多く82.0%、次いで「祖父母が近くに居住」が21.3%、「祖母同居」が9.2%、「祖父同居」が5.0%となっています。

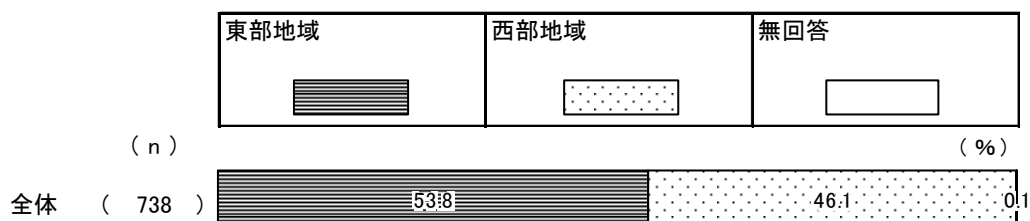
■同居・近居の状況（複数回答）



問10 お住まいのまちはどちらですか。

「東部地域」が53.8%、「西部地域」が46.1%となっています。

■居住地区



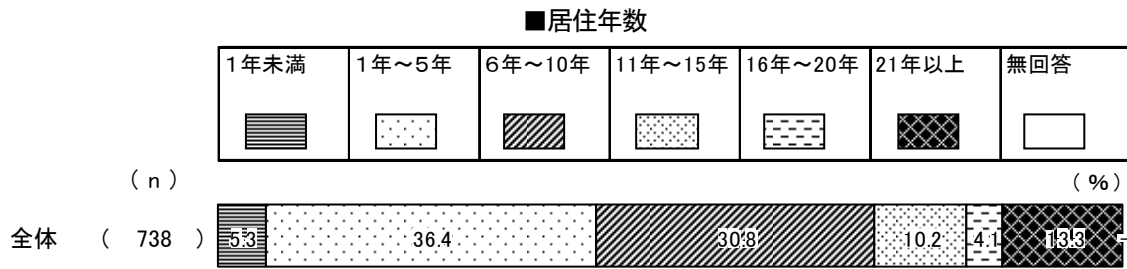
【居住地区】教育・保育提供区域による区域設定

東部地域: 駒込、巣鴨、西巣鴨、北大塚、南大塚、上池袋、東池袋、南池袋、雑司が谷、高田、目白(1・2丁目)

西部地域: 西池袋、池袋、池袋本町、目白(3~5丁目)、南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川

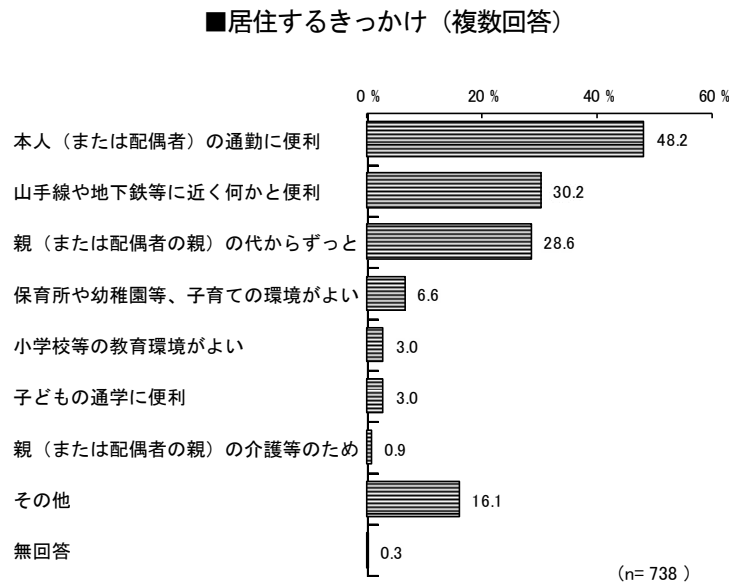
問11 豊島区に、通算何年お住まいですか。

「1年～5年」が最も多く36.4%、次いで「6年～10年」が30.8%、「21年以上」が13.3%となっています。



問12 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。

「本人（または配偶者）の通勤に便利」が最も多く48.2%、次いで「山手線や地下鉄等に近く何かと便利」が30.2%、「親（または配偶者の親）の代からずっと」が28.6%となっています。



【子どもの年齢別】

すべての年齢で「本人(または配偶者)の通勤に便利」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    | 回答者数 | 親(または配偶者の親)の代からずっと | 親(または配偶者の親)の介護等のため | 親(または配偶者)の介護等のため | 保育所や幼稚園等、子育ての環境がよい | 小学校等の教育環境がよい | 利便性(本人または配偶者の通勤に便利) | 子ども通学に便利 | 山手線や地下鉄等に近く何かと便利 | その他 | 無回答 |
|----|------|--------------------|--------------------|------------------|--------------------|--------------|---------------------|----------|------------------|-----|-----|
| 全体 | 738  | 28.6               | 0.9                | 6.6              | 3.0                | 48.2         | 3.0                 | 30.2     | 16.1             | 0.3 |     |
| 0歳 | 131  | 18.3               | —                  | 6.9              | 0.8                | 55.0         | 1.5                 | 28.2     | 19.1             | —   |     |
| 1歳 | 127  | 33.9               | 0.8                | 6.3              | 0.8                | 49.6         | 1.6                 | 24.4     | 13.4             | —   |     |
| 2歳 | 129  | 26.4               | 2.3                | 7.0              | 2.3                | 49.6         | 4.7                 | 38.8     | 18.6             | 0.8 |     |
| 3歳 | 115  | 24.3               | 0.9                | 7.0              | 4.3                | 52.2         | 5.2                 | 31.3     | 17.4             | —   |     |
| 4歳 | 114  | 32.5               | 1.8                | 5.3              | 5.3                | 41.2         | 2.6                 | 28.9     | 14.9             | 0.9 |     |
| 5歳 | 110  | 37.3               | —                  | 7.3              | 5.5                | 40.9         | 2.7                 | 29.1     | 13.6             | —   |     |

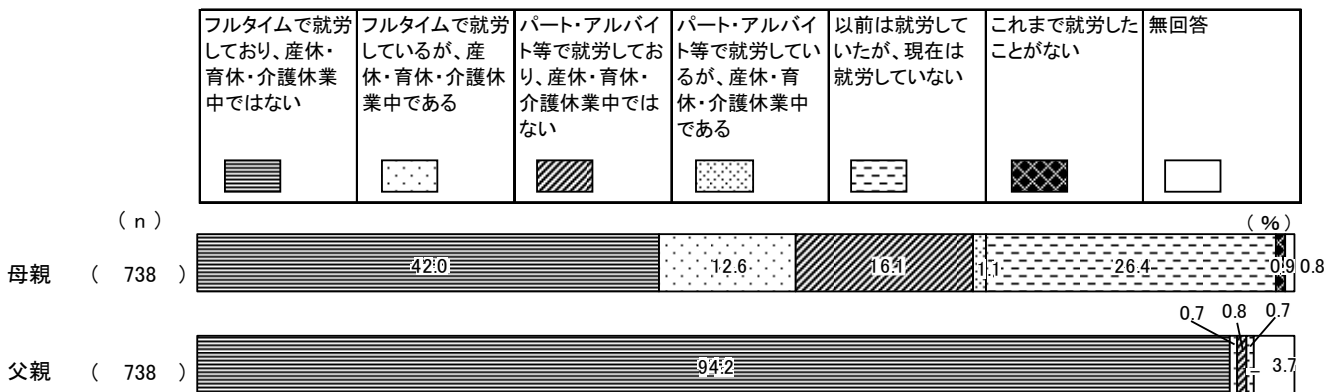
2 保護者の就労状況について

問13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く42.0%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.4%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が16.1%となっています。

父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く94.2%、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.7%となっています。

■就労状況



【母親：子どもの年齢別・地区別】

子どもの年齢別にみると、「0歳」は「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、その他の年齢は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。

地区別にみると、「東部地域」「西部地域」とともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    | 回答者数 | 就労状況                         |                              |                                   |                                   |                       |               |     |     |
|----|------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|---------------|-----|-----|
|    |      | フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |     |
| 全体 | 738  | 42.0                         | 12.6                         | 16.1                              | 1.1                               | 26.4                  | 0.9           | 0.8 |     |
| 年齢 | 0歳   | 131                          | 29.0                         | 35.9                              | 11.5                              | 1.5                   | 22.1          | —   | —   |
|    | 1歳   | 127                          | 45.7                         | 10.2                              | 15.0                              | 1.6                   | 26.0          | 1.6 | —   |
|    | 2歳   | 129                          | 51.2                         | 11.6                              | 15.5                              | —                     | 19.4          | 0.8 | 1.6 |
|    | 3歳   | 115                          | 47.0                         | 7.8                               | 14.8                              | 0.9                   | 27.8          | 0.9 | 0.9 |
|    | 4歳   | 114                          | 38.6                         | 6.1                               | 21.9                              | 0.9                   | 31.6          | —   | 0.9 |
|    | 5歳   | 110                          | 41.8                         | 0.9                               | 19.1                              | 1.8                   | 32.7          | 2.7 | 0.9 |
| 地区 | 東部地域 | 397                          | 42.8                         | 12.1                              | 15.1                              | 0.8                   | 27.2          | 1.3 | 0.8 |
|    | 西部地域 | 340                          | 41.2                         | 13.2                              | 17.4                              | 1.2                   | 25.6          | 0.6 | 0.9 |

【問13の「母親」または「父親」でフルタイムやパート・アルバイト等で就労している（産休・育休・介護休業中含む）と回答した方】

問13-1 週のおおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 1週あたり平均就労日数

母親は「5日」が最も多く76.2%、次いで「4日」が6.2%、「6日」が6.0%となっています。1週あたりの平均就労日数は4.8日となっています。

父親は「5日」が最も多く74.2%、次いで「6日」が19.0%、「7日」が1.6%となっています。1週あたりの平均就労日数は5.2日となっています。



【子どもの年齢別：母親】

すべての年齢で「5日」が最も多く、平均就労日数は4.6日から4.9日となっています。

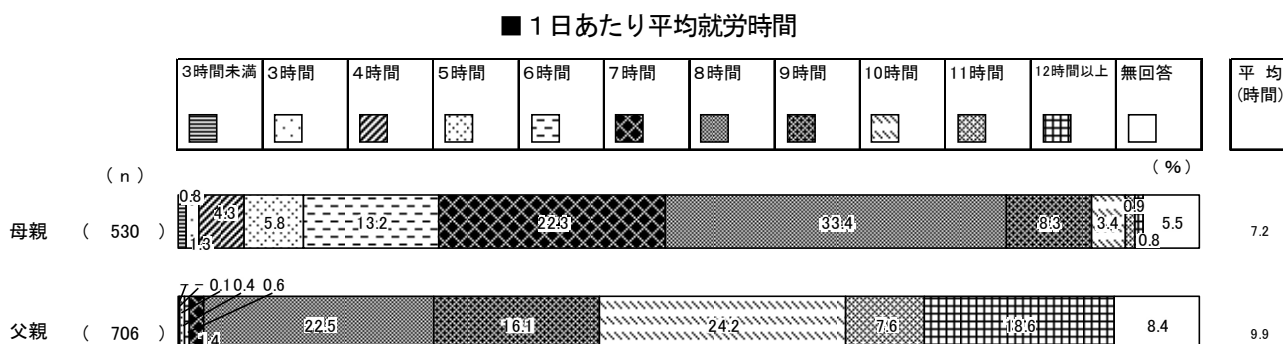
(単位:%)

|    | 回答者数 | 1日  | 2日  | 3日  | 4日   | 5日   | 6日  | 7日  | 無回答 | 平均  |
|----|------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 全体 | 530  | 0.9 | 2.5 | 5.7 | 6.2  | 76.2 | 6.0 | 0.2 | 2.3 | 4.8 |
| 0歳 | 102  | —   | 1.0 | 4.9 | 4.9  | 79.4 | 6.9 | —   | 2.9 | 4.9 |
| 1歳 | 92   | —   | 2.2 | 5.4 | 2.2  | 80.4 | 3.3 | —   | 6.5 | 4.8 |
| 2歳 | 101  | 2.0 | 3.0 | 4.0 | 5.0  | 77.2 | 6.9 | 1.0 | 1.0 | 4.8 |
| 3歳 | 81   | 1.2 | 2.5 | 6.2 | 6.2  | 77.8 | 6.2 | —   | —   | 4.8 |
| 4歳 | 77   | 1.3 | 5.2 | 7.8 | 7.8  | 68.8 | 7.8 | —   | 1.3 | 4.6 |
| 5歳 | 70   | 1.4 | 1.4 | 7.1 | 14.3 | 70.0 | 5.7 | —   | —   | 4.7 |

② 1日あたり平均就労時間

母親は「8時間」が最も多く33.4%、次いで「7時間」が22.3%、「6時間」が13.2%、「9時間」が8.3%となっています。1日あたりの平均就労時間は7.2時間となっています。

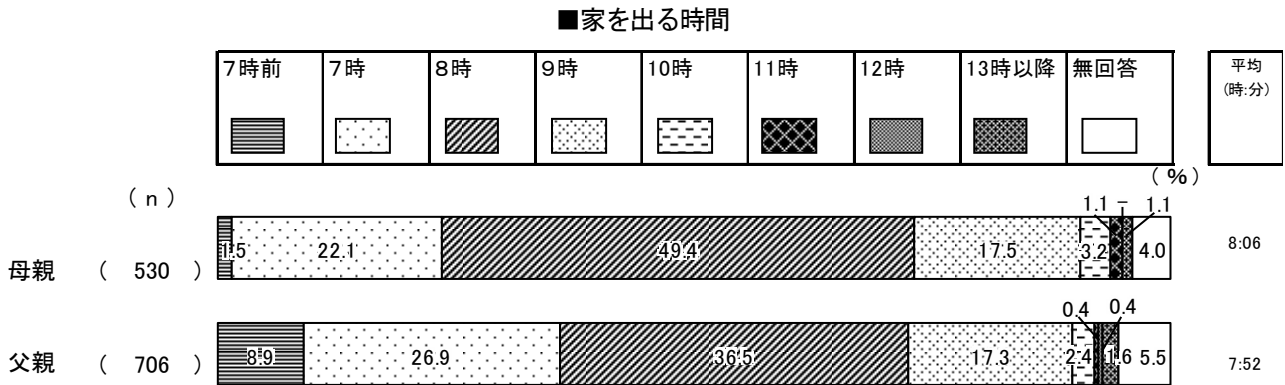
父親は「10時間」が最も多く24.2%、次いで「8時間」が22.5%、「12時間以上」が18.6%、「9時間」が16.1%となっています。1日あたりの平均就労時間は9.9時間となっています。



③家を出る時間

母親は「8時」が最も多く49.4%、次いで「7時」が22.1%、「9時」が17.5%となっています。平均時刻は8時6分となっています。

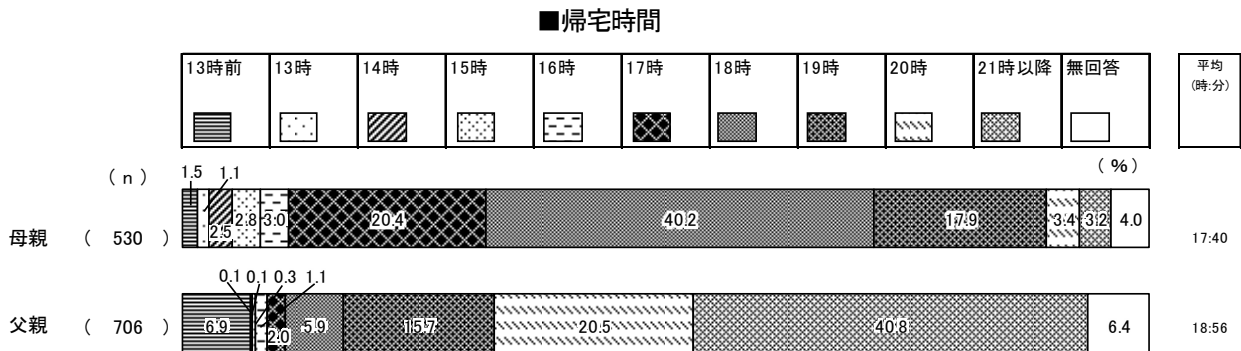
父親は「8時」が最も多く36.5%、次いで「7時」が26.9%、「9時」が17.3%となっています。平均時刻は7時52分となっています。



④帰宅時間

母親は「18時」が最も多く40.2%、次いで「17時」が20.4%、「19時」が17.9%となっています。平均帰宅時間は17時40分となっています。

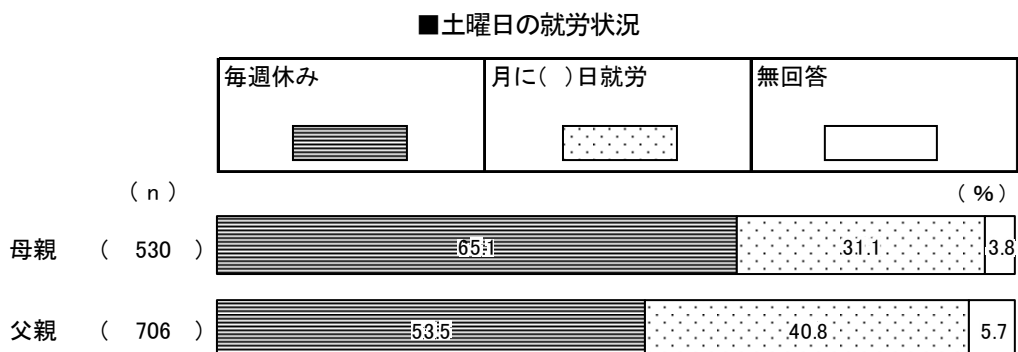
父親は「21時以降」が最も多く40.8%、次いで「20時」が20.5%、「19時」が15.7%となっています。平均帰宅時間は18時56分となっています。



⑤土曜日の就労

母親は「毎週休み」が65.1%、「月に( )日就労」が31.1%となっています。

父親は「毎週休み」が53.5%、「月に( )日就労」が40.8%となっています。

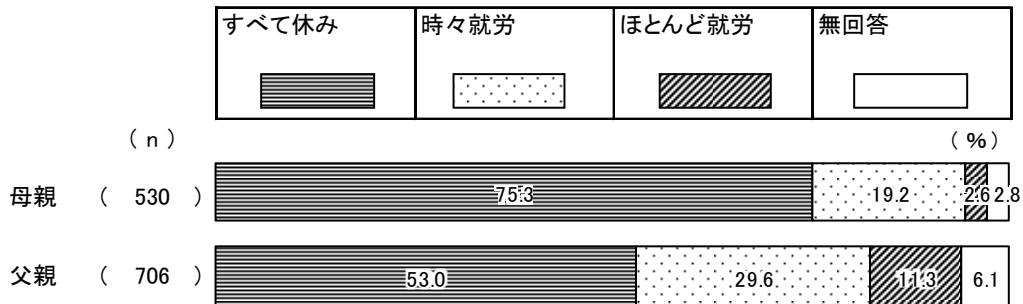


⑥日曜日・祝祭日の就労

母親は「すべて休み」が最も多く75.3%、次いで「時々就労」が19.2%、「ほとんど就労」が2.6%となっています。

父親は「すべて休み」が最も多く53.0%、次いで「時々就労」が29.6%、「ほとんど就労」が11.3%となっています。

■日曜日・祝祭日の就労状況

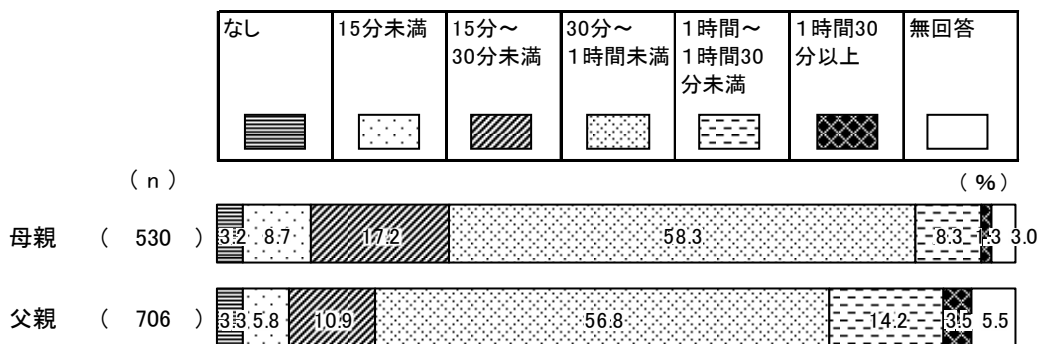


⑦通勤時間（片道）

母親は「30分～1時間未満」が最も多く58.3%、次いで「15分～30分未満」が17.2%、「15分未満」が8.7%となっています。

父親は「30分～1時間未満」が最も多く56.8%、次いで「1時間～1時間30分未満」が14.2%、「15分～30分未満」が10.9%となっています。

■通勤時間（片道）



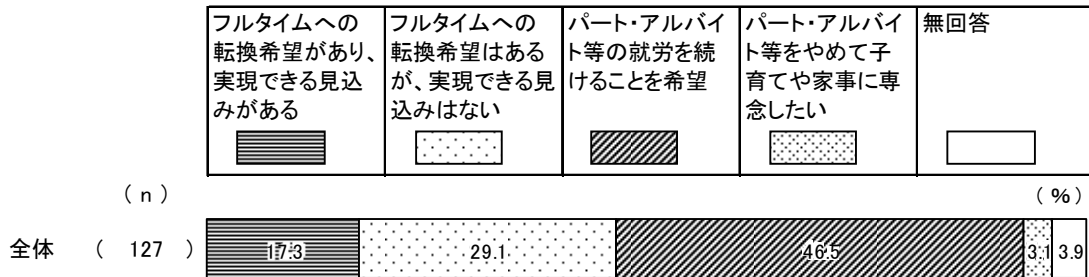


【問13の「母親」または「父親」でパート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中含む）と回答した方】  
問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く46.5%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が17.3%となっています。

父親は該当が6件で、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が各2件、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件でした。（無回答1件）

■フルタイムへの転換希望：母親

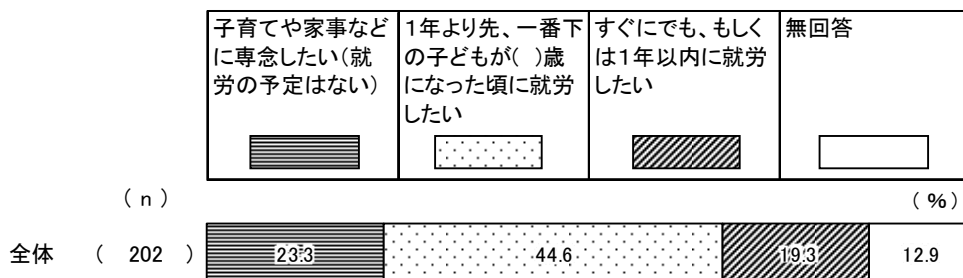


【問13の「母親」または「父親」で、「以前就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」（就労していない）と回答した方】  
問13-3 就労したいという希望はありますか。

母親は「1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃に就労したい」が最も多く44.6%、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が23.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.3%となっています。

父親は該当が5件で、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃に就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が各1件でした。（無回答2件）

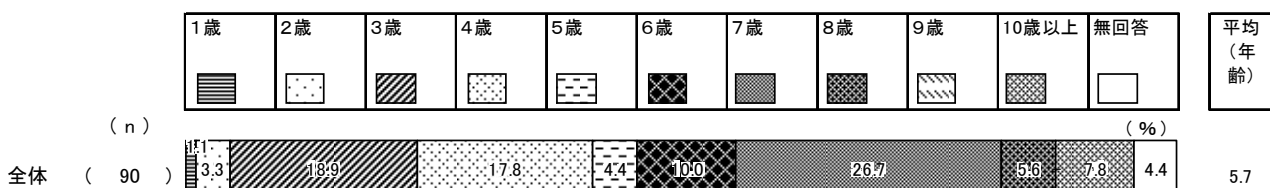
■就労希望：母親



①子どもの年齢（1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃に就労したい）

母親は「7歳」が最も多く26.7%、次いで「3歳」が18.9%、「4歳」が17.8%となっています。  
父親は「2歳」が1件でした。

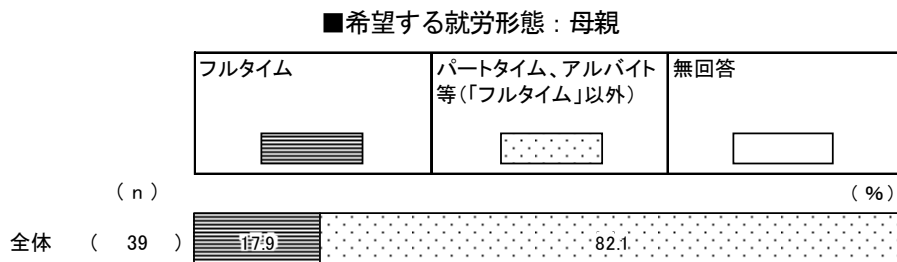
■子どもの年齢：母親



第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

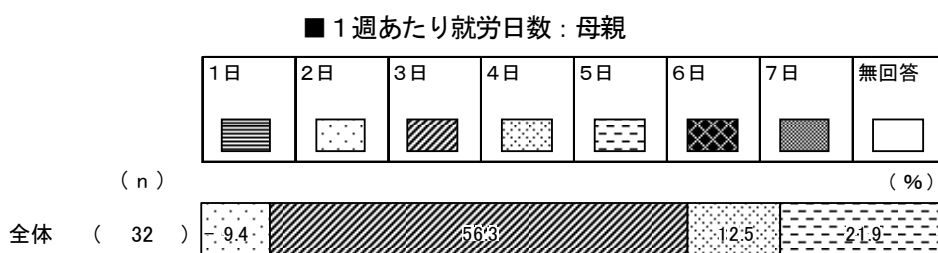
②希望する就労形態（すぐにも、もしくは1年以内に就労したい）

母親は「パートタイム、アルバイト等（フルタイム）以外」が82.1%、「フルタイム」が17.9%となっています。父親は「フルタイム」が1件でした。



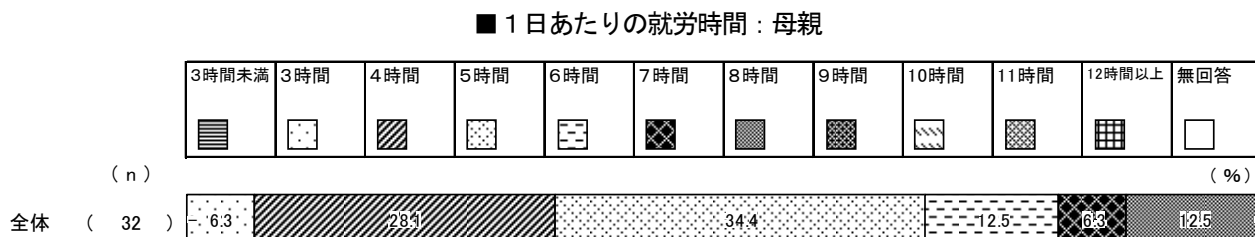
ア 希望する1週あたり就労日数

「3日」が最も多く56.3%、次いで「5日」が21.9%、「4日」が12.5%となっています。（父親は該当なし）



イ 希望する1日あたり就労時間

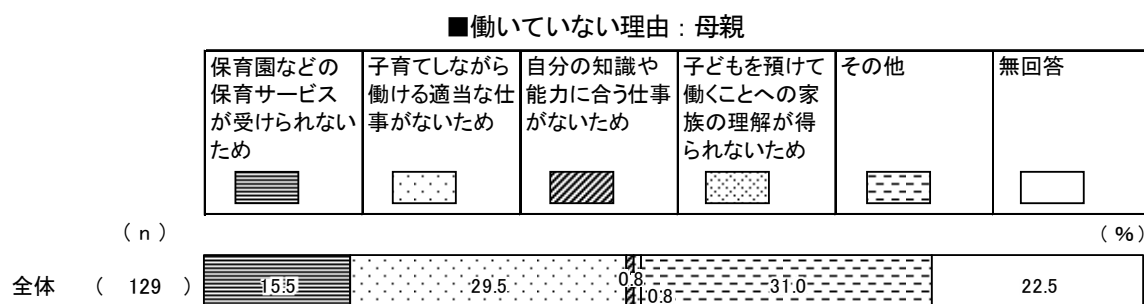
「5時間」が最も多く34.4%、次いで「4時間」が28.1%、「6時間」と「8時間」が12.5%となっています。（父親は該当なし）



【問13-3の「母親」または「父親」で、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方】

問13-4 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

母親は「子育てしながら働ける適当な仕事がないため」が最も多く29.5%、次いで「保育園などの保育サービスが受けられないため」が15.5%となっています。「その他」としては、「今は子育てに専念したい」が多く、「二人目を希望している」「妊娠中である」等の回答も複数ありました。父親は「その他」が2件でした。

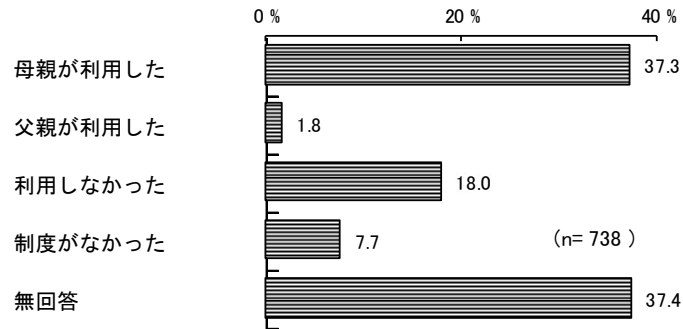


問14 あて名のお子さんの時に利用された育児休業は、誰がどれくらい利用しましたか。母親と父親の両方が利用した場合は、両方に○をつけてください。

また、利用された方が職場復帰した時のお子さんの月齢をご記入ください。

「母親が利用した」が最も多く37.3%、次いで「利用しなかった」が18.0%、「制度がなかった」が7.7%となっています。

■育児休業の利用（複数回答）

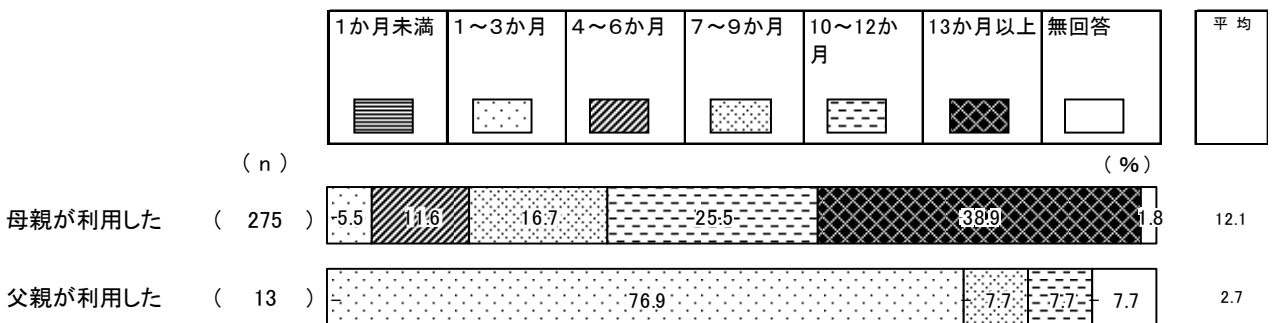


①取得期間

母親は「13か月以上」が最も多く38.9%、次いで「10～12か月」が25.5%、「7～9か月」が16.7%となっています。平均取得期間は12.1か月となっています。

父親は「1～3か月」が76.9%、「7～9か月」「10～12か月」が各7.7%となっています。平均取得期間は2.7か月となっています。

■育児休業取得期間

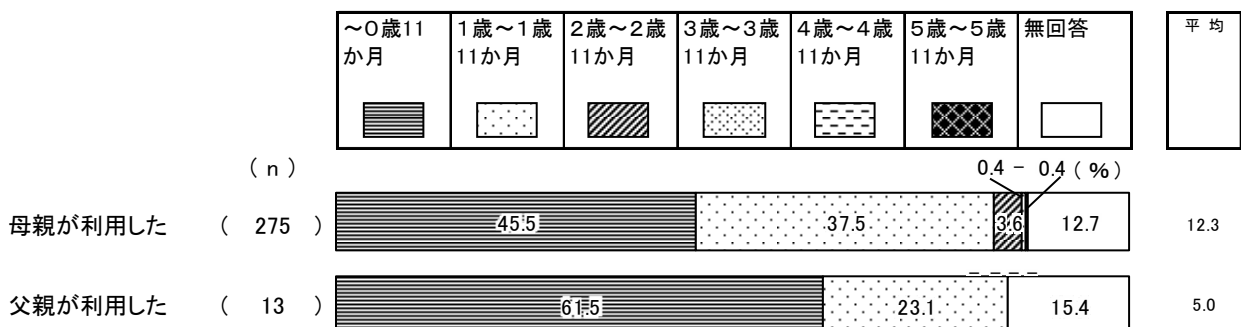


②職場復帰時の子どもの月齢

母親は「～0歳11か月」が最も多く45.5%、次いで「1歳～1歳11か月」が37.5%、「2歳～2歳11か月」が3.6%となっています。平均月齢は12.3か月となっています。

父親は「～0歳11か月」が61.5%、「1歳～1歳11か月」が23.1%となっています。平均月齢は5.0か月となっています。

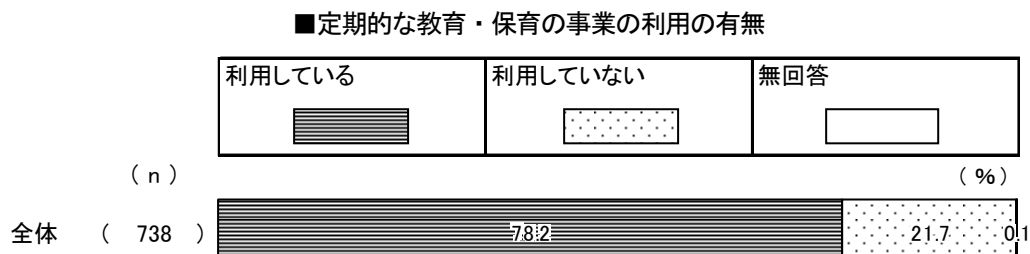
■職場復帰時のこどもの月齢



### 3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。

「利用している」が78.2%、「利用していない」が21.7%となっています。



#### 【子どもの年齢別・母親の就労状況別】

子どもの年齢別にみると、“0歳”は「利用していない」、他の年齢では「利用している」が多くなっています。  
母親の就労状況別にみると、フルタイムやパート・アルバイト等で就労している方（産休・育休中等ではない方）の利用割合が非常に高く、定期的な教育・保育事業を利用しながら就労されている方が多いことがわかります。

（単位：％）

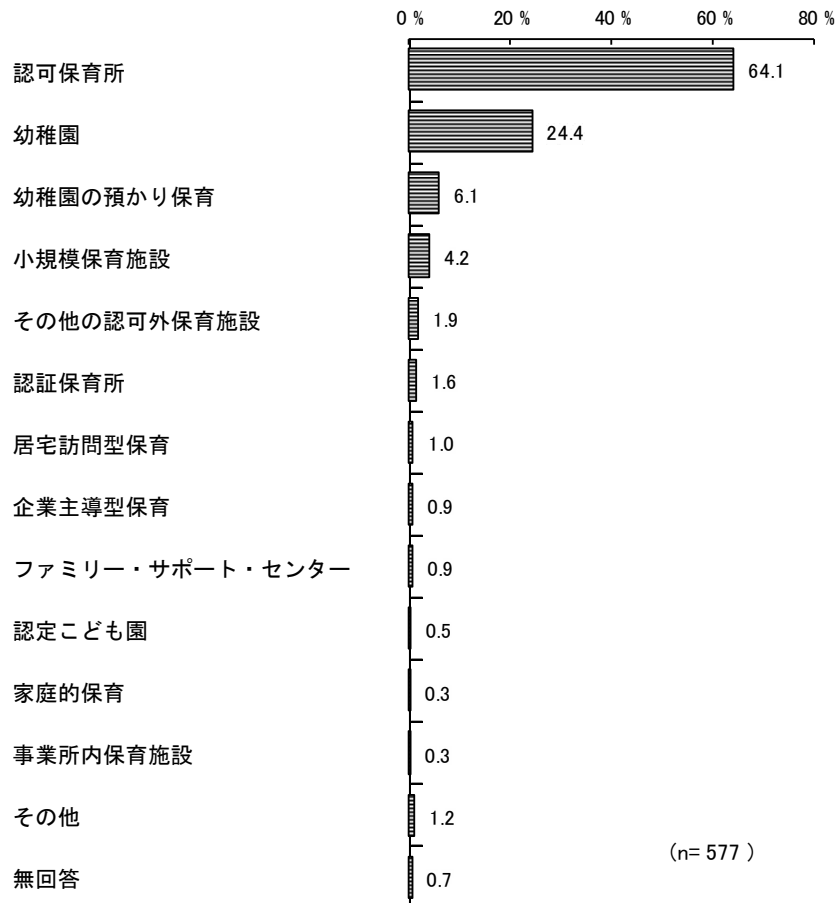
|         |                                   | 回答者数 | 利用している | 利用していない | 無回答 |
|---------|-----------------------------------|------|--------|---------|-----|
| 全体      |                                   | 738  | 78.2   | 21.7    | 0.1 |
| 年齢      | 0歳                                | 131  | 41.2   | 58.0    | 0.8 |
|         | 1歳                                | 127  | 66.1   | 33.9    | —   |
|         | 2歳                                | 129  | 77.5   | 22.5    | —   |
|         | 3歳                                | 115  | 96.5   | 3.5     | —   |
|         | 4歳                                | 114  | 98.2   | 1.8     | —   |
|         | 5歳                                | 110  | 97.3   | 2.7     | —   |
| 母親の就労状況 | フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない      | 310  | 97.4   | 2.6     | —   |
|         | フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である      | 93   | 50.5   | 49.5    | —   |
|         | パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | 119  | 92.4   | 7.6     | —   |
|         | パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 8    | 62.5   | 37.5    | —   |
|         | 以前は就労していたが、現在は就労していない             | 195  | 53.8   | 45.6    | 0.5 |
|         | これまで就労したことがない                     | 7    | 57.1   | 42.9    | —   |

【問15で定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方】

問15-1 あて名のお子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。また、現在の利用状況と今後の利用意向をご記入ください。時間は必ず24時間制でお願いいたします。なお、実施場所については下記地区一覧から選んでください。

「認可保育所」が最も多く64.1%、次いで「幼稚園」が24.4%、「幼稚園の預かり保育」が6.1%、「小規模保育施設」が4.2%となっています。

■利用している教育・保育事業（複数回答）



第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

① 1週あたり利用日数

ア 現在

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 1日   | 2日   | 3日   | 4日   | 5日    | 6日   | 7日 | 無回答  | 平均  |
|-----------------|------|------|------|------|------|-------|------|----|------|-----|
| 幼稚園             | 141  | 0.7  | 1.4  | —    | 0.7  | 95.0  | 1.4  | —  | 0.7  | 4.9 |
| 幼稚園の預かり保育       | 35   | 42.9 | 17.1 | 5.7  | 5.7  | 28.6  | —    | —  | —    | 2.6 |
| 認可保育所           | 370  | —    | —    | —    | 0.8  | 92.7  | 6.2  | —  | 0.3  | 5.1 |
| 認定こども園          | 3    | —    | —    | —    | —    | 100.0 | —    | —  | —    | 5.0 |
| 小規模保育施設         | 24   | —    | —    | 4.2  | —    | 79.2  | 16.7 | —  | —    | 5.1 |
| 家庭的保育           | 2    | —    | —    | —    | 50.0 | 50.0  | —    | —  | —    | 4.5 |
| 事業所内保育施設        | 2    | —    | 50.0 | —    | —    | 50.0  | —    | —  | —    | 3.5 |
| 認証保育所           | 9    | —    | —    | —    | —    | 77.8  | 22.2 | —  | —    | 5.2 |
| 企業主導型保育         | 5    | —    | —    | 20.0 | —    | 80.0  | —    | —  | —    | 4.6 |
| その他の認可外保育施設     | 11   | 9.1  | —    | 18.2 | 9.1  | 63.6  | —    | —  | —    | 4.2 |
| 居宅訪問型保育         | 6    | 16.7 | —    | 33.3 | —    | 33.3  | —    | —  | 16.7 | 3.4 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 80.0 | —    | —    | —    | —     | —    | —  | 20.0 | 1.0 |
| その他             | 7    | 14.3 | 28.6 | —    | 42.9 | 14.3  | —    | —  | —    | 3.1 |

イ 希望

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 1日    | 2日   | 3日   | 4日   | 5日    | 6日   | 7日 | 無回答  | 平均  |
|-----------------|------|-------|------|------|------|-------|------|----|------|-----|
| 幼稚園             | 80   | —     | 1.3  | —    | —    | 93.8  | 2.5  | —  | 2.5  | 5.0 |
| 幼稚園の預かり保育       | 16   | 18.8  | 25.0 | 6.3  | —    | 31.3  | 12.5 | —  | 6.3  | 3.4 |
| 認可保育所           | 243  | —     | —    | 0.4  | —    | 80.2  | 9.1  | —  | 10.3 | 5.1 |
| 認定こども園          | 2    | —     | —    | —    | —    | 100.0 | —    | —  | —    | 5.0 |
| 小規模保育施設         | 14   | —     | —    | 7.1  | —    | 64.3  | 28.6 | —  | —    | 5.1 |
| 家庭的保育           | 1    | 100.0 | —    | —    | —    | —     | —    | —  | —    | 1.0 |
| 事業所内保育施設        | 2    | —     | —    | —    | —    | 100.0 | —    | —  | —    | 5.0 |
| 認証保育所           | 3    | —     | —    | —    | —    | 33.3  | 66.7 | —  | —    | 5.7 |
| 企業主導型保育         | —    | —     | —    | —    | —    | —     | —    | —  | —    | —   |
| その他の認可外保育施設     | 7    | 14.3  | —    | 14.3 | —    | 57.1  | —    | —  | 14.3 | 4.0 |
| 居宅訪問型保育         | 2    | —     | —    | —    | 50.0 | —     | —    | —  | 50.0 | 4.0 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 80.0  | —    | —    | —    | —     | —    | —  | 20.0 | 1.0 |
| その他             | 3    | 33.3  | —    | —    | 33.3 | 33.3  | —    | —  | —    | 3.3 |

②1日あたり利用時間

ア 現在

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 3時間未満 | 3時間  | 4時間  | 5時間  | 6時間  | 7時間  | 8時間  | 9時間  | 10時間 | 11時間 | 12時間以上 | 無回答 | 平均  |
|-----------------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|-----|-----|
| 幼稚園             | 141  | 2.1   | —    | 8.5  | 70.9 | 13.5 | 0.7  | —    | —    | 0.7  | —    | 0.7    | 2.8 | 5.1 |
| 幼稚園の預かり保育       | 35   | 45.7  | 28.6 | 8.6  | —    | —    | —    | 5.7  | 2.9  | 5.7  | —    | —      | 2.9 | 3.3 |
| 認可保育所           | 370  | —     | —    | —    | 0.3  | 0.8  | 5.7  | 18.1 | 26.8 | 33.8 | 8.1  | 2.2    | 4.3 | 9.2 |
| 認定こども園          | 3    | —     | —    | —    | 33.3 | —    | —    | 33.3 | 33.3 | —    | —    | —      | —   | 7.3 |
| 小規模保育施設         | 24   | —     | —    | —    | —    | —    | —    | 29.2 | 33.3 | 37.5 | —    | —      | —   | 9.1 |
| 家庭的保育           | 2    | —     | —    | —    | —    | —    | —    | 50.0 | 50.0 | —    | —    | —      | —   | 8.5 |
| 事業所内保育施設        | 2    | —     | —    | —    | —    | —    | —    | 50.0 | —    | —    | 50.0 | —      | —   | 9.5 |
| 認証保育所           | 9    | —     | —    | —    | —    | —    | 11.1 | 22.2 | 33.3 | 22.2 | 11.1 | —      | —   | 9.0 |
| 企業主導型保育         | 5    | —     | —    | —    | —    | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 20.0 | —    | —    | —      | —   | 7.4 |
| その他の認可外保育施設     | 11   | 9.1   | —    | 9.1  | 9.1  | —    | 9.1  | 27.3 | 18.2 | 18.2 | —    | —      | —   | 7.3 |
| 居宅訪問型保育         | 6    | 33.3  | 16.7 | —    | —    | —    | —    | 33.3 | 16.7 | —    | —    | —      | —   | 5.3 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 80.0  | 20.0 | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | —   | 1.8 |
| その他             | 7    | —     | 14.3 | 57.1 | —    | —    | 14.3 | 14.3 | —    | —    | —    | —      | —   | 4.9 |

イ 希望

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 3時間未満 | 3時間  | 4時間  | 5時間  | 6時間  | 7時間  | 8時間  | 9時間   | 10時間 | 11時間 | 12時間以上 | 無回答  | 平均  |
|-----------------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|--------|------|-----|
| 幼稚園             | 80   | —     | —    | 2.5  | 33.8 | 28.8 | 12.5 | 7.5  | 2.5   | 1.3  | 1.3  | —      | 10.0 | 6.1 |
| 幼稚園の預かり保育       | 16   | 18.8  | 37.5 | 12.5 | —    | —    | —    | 6.3  | —     | 12.5 | 6.3  | —      | 6.3  | 4.7 |
| 認可保育所           | 243  | —     | —    | —    | —    | 0.4  | 2.1  | 16.5 | 21.8  | 32.9 | 11.9 | 9.1    | 5.3  | 9.7 |
| 認定こども園          | 2    | —     | —    | —    | 50.0 | —    | —    | —    | 50.0  | —    | —    | —      | —    | 7.0 |
| 小規模保育施設         | 14   | —     | —    | —    | —    | —    | —    | 21.4 | 35.7  | 28.6 | 14.3 | —      | —    | 9.4 |
| 家庭的保育           | 1    | —     | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 100.0 | —    | —    | —      | —    | 9.0 |
| 事業所内保育施設        | 2    | —     | —    | —    | —    | —    | —    | 50.0 | —     | —    | 50.0 | —      | —    | 9.5 |
| 認証保育所           | 3    | —     | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 33.3  | 66.7 | —    | —      | —    | 9.7 |
| 企業主導型保育         | —    | —     | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —     | —    | —    | —      | —    | —   |
| その他の認可外保育施設     | 7    | 14.3  | —    | —    | 14.3 | —    | 14.3 | 14.3 | 28.6  | —    | —    | —      | 14.3 | 6.7 |
| 居宅訪問型保育         | 2    | —     | 50.0 | —    | —    | —    | —    | —    | —     | 50.0 | —    | —      | —    | 6.5 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 80.0  | 20.0 | —    | —    | —    | —    | —    | —     | —    | —    | —      | —    | 1.8 |
| その他             | 3    | —     | —    | 66.7 | —    | —    | —    | —    | —     | 33.3 | —    | —      | —    | 6.0 |

第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

③利用開始時間

ア 現在

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 7時前 | 7時から | 8時から | 9時から  | 10時から | 11時から | 12時から | 13時以降 | 無回答  | 平均時分  |
|-----------------|------|-----|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 幼稚園             | 141  | —   | —    | 2.1  | 85.1  | 8.5   | —     | —     | —     | 4.3  | 9:04  |
| 幼稚園の預かり保育       | 35   | 2.9 | —    | 11.4 | 5.7   | 2.9   | 2.9   | —     | 74.3  | —    | 12:34 |
| 認可保育所           | 370  | —   | 9.2  | 55.1 | 33.0  | 0.3   | —     | —     | —     | 2.4  | 8:14  |
| 認定こども園          | 3    | —   | —    | —    | 66.7  | —     | —     | —     | —     | 33.3 | 9:00  |
| 小規模保育施設         | 24   | —   | —    | 45.8 | 54.2  | —     | —     | —     | —     | —    | 8:32  |
| 家庭的保育           | 2    | —   | —    | —    | 100.0 | —     | —     | —     | —     | —    | 9:00  |
| 事業所内保育施設        | 2    | —   | —    | 50.0 | 50.0  | —     | —     | —     | —     | —    | 8:30  |
| 認証保育所           | 9    | —   | —    | 44.4 | 44.4  | —     | —     | —     | —     | 11.1 | 8:30  |
| 企業主導型保育         | 5    | —   | —    | 20.0 | 80.0  | —     | —     | —     | —     | —    | 8:48  |
| その他の認可外保育施設     | 11   | —   | 9.1  | 27.3 | 36.4  | 18.2  | —     | —     | 9.1   | —    | 9:16  |
| 居宅訪問型保育         | 6    | —   | —    | 16.7 | 33.3  | —     | —     | —     | 50.0  | —    | 11:40 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | —   | 20.0 | —    | —     | —     | —     | —     | 60.0  | 20.0 | 14:30 |
| その他             | 7    | —   | —    | —    | 28.6  | 42.9  | —     | —     | 28.6  | —    | 11:00 |

イ 希望

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 7時前 | 7時から | 8時から  | 9時から  | 10時から | 11時から | 12時から | 13時以降 | 無回答  | 平均時分  |
|-----------------|------|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 幼稚園             | 80   | —   | —    | 8.8   | 78.8  | 3.8   | —     | —     | —     | 8.8  | 8:56  |
| 幼稚園の預かり保育       | 16   | —   | —    | 18.8  | 6.3   | —     | —     | —     | 68.8  | 6.3  | 12:40 |
| 認可保育所           | 243  | —   | 11.9 | 56.4  | 28.4  | —     | —     | —     | 0.4   | 2.9  | 8:12  |
| 認定こども園          | 2    | —   | —    | —     | 100.0 | —     | —     | —     | —     | —    | 9:00  |
| 小規模保育施設         | 14   | —   | —    | 50.0  | 50.0  | —     | —     | —     | —     | —    | 8:30  |
| 家庭的保育           | 1    | —   | —    | 100.0 | —     | —     | —     | —     | —     | —    | 8:00  |
| 事業所内保育施設        | 2    | —   | —    | 50.0  | 50.0  | —     | —     | —     | —     | —    | 8:30  |
| 認証保育所           | 3    | —   | —    | 66.7  | 33.3  | —     | —     | —     | —     | —    | 8:20  |
| 企業主導型保育         | —    | —   | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | —     |
| その他の認可外保育施設     | 7    | —   | 14.3 | 14.3  | 28.6  | 14.3  | —     | —     | 14.3  | 14.3 | 9:40  |
| 居宅訪問型保育         | 2    | —   | —    | 50.0  | —     | —     | —     | —     | 50.0  | —    | 12:30 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | —   | 20.0 | —     | —     | —     | —     | —     | 60.0  | 20.0 | 14:30 |
| その他             | 3    | —   | —    | 33.3  | —     | 66.7  | —     | —     | —     | —    | 9:20  |



④利用終了時間

ア 現在

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 13時前 | 13時まで | 14時まで | 15時まで | 16時まで | 17時まで | 18時まで | 19時まで | 20時まで | 20時以降 | 無回答  | 平均時分  |
|-----------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 幼稚園             | 141  | 2.1  | 2.1   | 79.4  | 10.6  | 0.7   | —     | 0.7   | —     | —     | —     | 4.3  | 14:04 |
| 幼稚園の預かり保育       | 35   | 2.9  | —     | —     | 17.1  | 25.7  | 42.9  | 11.4  | —     | —     | —     | —    | 16:17 |
| 認可保育所           | 370  | —    | —     | 0.3   | 1.1   | 8.4   | 31.1  | 47.3  | 8.9   | 0.3   | 0.3   | 2.4  | 17:34 |
| 認定こども園          | 3    | —    | —     | 33.3  | —     | —     | —     | 33.3  | —     | —     | —     | 33.3 | 16:00 |
| 小規模保育施設         | 24   | —    | —     | —     | —     | —     | 50.0  | 45.8  | 4.2   | —     | —     | —    | 17:32 |
| 家庭的保育           | 2    | —    | —     | —     | —     | 50.0  | 50.0  | —     | —     | —     | —     | —    | 16:30 |
| 事業所内保育施設        | 2    | —    | —     | —     | —     | —     | 50.0  | —     | 50.0  | —     | —     | —    | 18:00 |
| 認証保育所           | 9    | —    | —     | —     | —     | 11.1  | 33.3  | 44.4  | —     | —     | —     | 11.1 | 17:22 |
| 企業主導型保育         | 5    | —    | —     | —     | 20.0  | 40.0  | 40.0  | —     | —     | —     | —     | —    | 16:12 |
| その他の認可外保育施設     | 11   | —    | —     | 18.2  | —     | 9.1   | 54.5  | 18.2  | —     | —     | —     | —    | 16:32 |
| 居宅訪問型保育         | 6    | —    | —     | —     | —     | 33.3  | 50.0  | —     | 16.7  | —     | —     | —    | 17:00 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 20.0 | —     | —     | —     | —     | —     | 20.0  | 40.0  | —     | —     | 20.0 | 16:00 |
| その他             | 7    | —    | 28.6  | 14.3  | —     | 14.3  | 14.3  | 28.6  | —     | —     | —     | —    | 15:34 |

イ 希望

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 13時前 | 13時まで | 14時まで | 15時まで | 16時まで | 17時まで | 18時まで | 19時まで | 20時まで | 20時以降 | 無回答  | 平均時分  |
|-----------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 幼稚園             | 80   | —    | —     | 37.5  | 27.5  | 12.5  | 8.8   | 3.8   | 1.3   | —     | —     | 8.8  | 15:05 |
| 幼稚園の預かり保育       | 16   | —    | —     | —     | —     | 12.5  | 43.8  | 31.3  | 6.3   | —     | —     | 6.3  | 17:20 |
| 認可保育所           | 243  | —    | —     | —     | 1.2   | 3.3   | 24.7  | 44.9  | 16.5  | 6.2   | —     | 3.3  | 17:56 |
| 認定こども園          | 2    | —    | —     | 50.0  | —     | —     | —     | 50.0  | —     | —     | —     | —    | 16:00 |
| 小規模保育施設         | 14   | —    | —     | —     | —     | —     | 42.9  | 42.9  | 14.3  | —     | —     | —    | 17:42 |
| 家庭的保育           | 1    | —    | —     | —     | —     | —     | 100.0 | —     | —     | —     | —     | —    | 17:00 |
| 事業所内保育施設        | 2    | —    | —     | —     | —     | —     | 50.0  | —     | 50.0  | —     | —     | —    | 18:00 |
| 認証保育所           | 3    | —    | —     | —     | —     | —     | —     | 100.0 | —     | —     | —     | —    | 18:00 |
| 企業主導型保育         | —    | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | —     |
| その他の認可外保育施設     | 7    | —    | —     | 14.3  | —     | 14.3  | 42.9  | 14.3  | —     | —     | —     | 14.3 | 16:30 |
| 居宅訪問型保育         | 2    | —    | —     | —     | —     | —     | —     | 50.0  | —     | 50.0  | —     | —    | 19:00 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 20.0 | —     | —     | —     | —     | —     | 20.0  | 40.0  | —     | —     | 20.0 | 16:00 |
| その他             | 3    | —    | 33.3  | 33.3  | —     | —     | —     | 33.3  | —     | —     | —     | —    | 15:00 |

第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

④実施場所

ア 現在

(単位：%)

|                 | 回答者数 | 東部地域 | 西部地域  | 新宿区  | 文京区 | 北区   | 板橋区  | 練馬区 | その他 | 無回答  |
|-----------------|------|------|-------|------|-----|------|------|-----|-----|------|
| 幼稚園             | 141  | 19.1 | 26.2  | 7.1  | 2.1 | 16.3 | 5.7  | 0.7 | 2.8 | 19.9 |
| 幼稚園の預かり保育       | 35   | 20.0 | 31.4  | 8.6  | 2.9 | 8.6  | 5.7  | —   | 5.7 | 17.1 |
| 認可保育所           | 370  | 36.5 | 34.6  | —    | —   | 0.3  | 0.3  | —   | —   | 28.4 |
| 認定こども園          | 3    | —    | 100.0 | —    | —   | —    | —    | —   | —   | —    |
| 小規模保育施設         | 24   | 58.3 | 25.0  | —    | —   | —    | —    | —   | —   | 16.7 |
| 家庭的保育           | 2    | 50.0 | —     | —    | —   | —    | —    | —   | —   | 50.0 |
| 事業所内保育施設        | 2    | 50.0 | —     | —    | —   | —    | —    | —   | —   | 50.0 |
| 認証保育所           | 9    | 33.3 | 11.1  | 11.1 | —   | —    | 22.2 | —   | —   | 22.2 |
| 企業主導型保育         | 5    | —    | 60.0  | —    | —   | —    | —    | —   | —   | 40.0 |
| その他の認可外保育施設     | 11   | 45.5 | 9.1   | 9.1  | —   | —    | 9.1  | —   | —   | 27.3 |
| 居宅訪問型保育         | 6    | 50.0 | —     | —    | —   | —    | —    | —   | —   | 50.0 |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 20.0 | 60.0  | —    | —   | —    | —    | —   | —   | 20.0 |
| その他             | 7    | 28.6 | 42.9  | —    | —   | —    | 14.3 | —   | —   | 14.3 |

イ 希望

(単位：%)

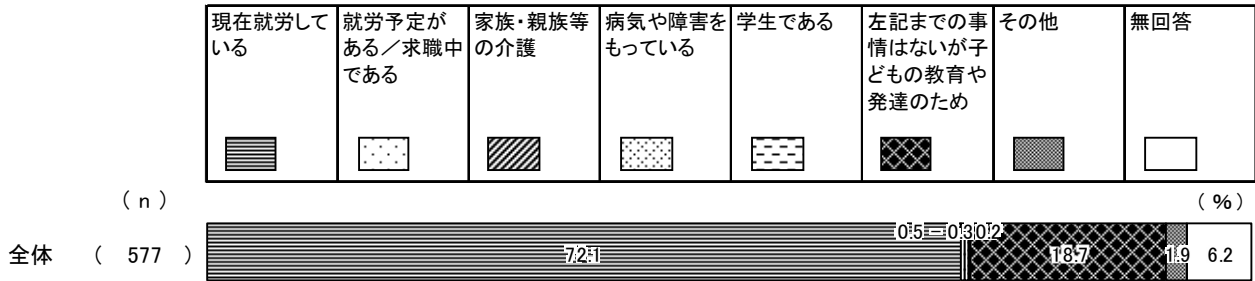
|                 | 回答者数 | 東部地域 | 西部地域  | 新宿区  | 文京区 | 北区  | 板橋区  | 練馬区 | その他 | 無回答   |
|-----------------|------|------|-------|------|-----|-----|------|-----|-----|-------|
| 幼稚園             | 80   | 25.0 | 18.8  | 8.8  | 1.3 | 7.5 | 5.0  | —   | —   | 33.8  |
| 幼稚園の預かり保育       | 16   | 18.8 | 31.3  | 12.5 | 6.3 | 6.3 | —    | —   | —   | 25.0  |
| 認可保育所           | 243  | 35.4 | 35.0  | —    | —   | —   | 0.4  | —   | 0.4 | 28.8  |
| 認定こども園          | 2    | —    | 100.0 | —    | —   | —   | —    | —   | —   | —     |
| 小規模保育施設         | 14   | 35.7 | 28.6  | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 35.7  |
| 家庭的保育           | 1    | —    | —     | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 100.0 |
| 事業所内保育施設        | 2    | 50.0 | —     | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 50.0  |
| 認証保育所           | 3    | —    | 33.3  | 33.3 | —   | —   | 33.3 | —   | —   | —     |
| 企業主導型保育         | —    | —    | —     | —    | —   | —   | —    | —   | —   | —     |
| その他の認可外保育施設     | 7    | 28.6 | 14.3  | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 57.1  |
| 居宅訪問型保育         | 2    | 50.0 | —     | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 50.0  |
| ファミリー・サポート・センター | 5    | 20.0 | 60.0  | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 20.0  |
| その他             | 3    | —    | 66.7  | —    | —   | —   | —    | —   | —   | 33.3  |

【問15で定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方】

問15-2 利用している理由は何ですか。

「現在就労している」が最も多く72.1%、次いで「左記までの事情はないが子どもの教育や発達のため」が18.7%、「就労予定がある／求職中である」が0.5%となっています。

■定期的な教育・保育事業の利用理由

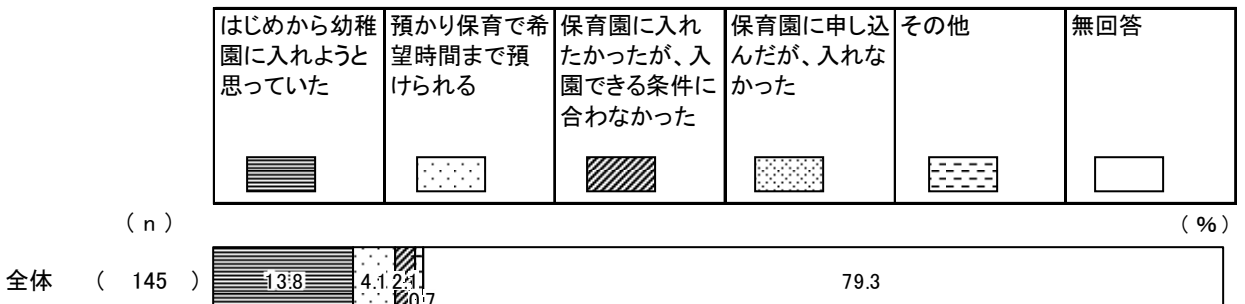


【問15-1で定期的な教育・保育事業として「幼稚園（通常の就園時間）」と「幼稚園の預かり保育」を利用していると回答した方】

問15-3 入園理由についてご記入ください。

「はじめから幼稚園に入れようと思っていた」が最も多く13.8%、次いで「預かり保育で希望時間まで預けられる」が4.1%、「保育園に入れたかったが、入園できる条件に合わなかった」が2.1%となっています。

■入園理由

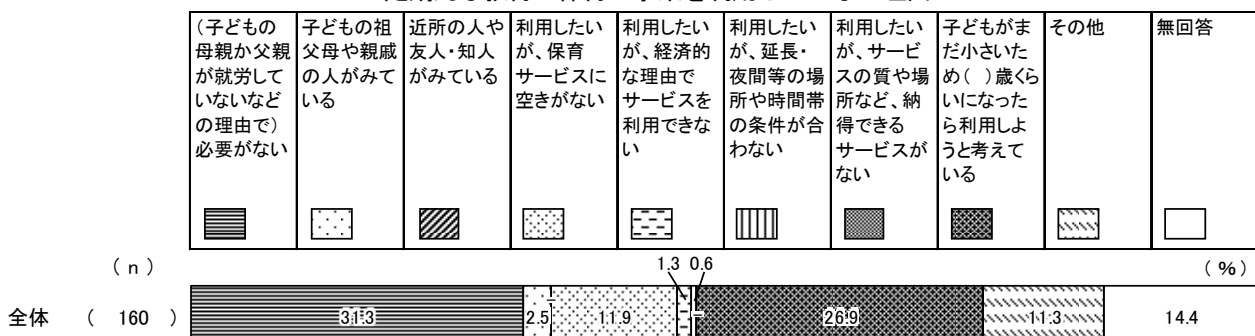


【問15で定期的な教育・保育事業を「利用していない」と回答した方】

問15-4 現在幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。

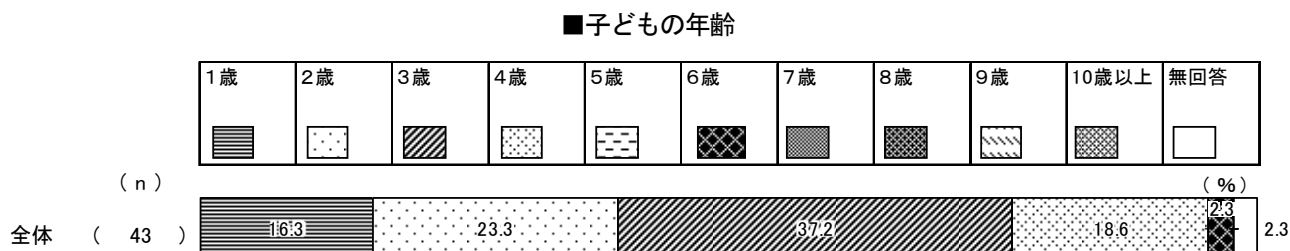
「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が最も多く31.3%、次いで「子どもがまだ小さいため( )歳くらいになったら利用しようと考えている」が26.9%、「利用したいが、保育サービスに空きがない」が11.9%となっています。

■定期的な教育・保育の事業を利用していない理由



第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

上記で「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した人が、利用したいと考える子どもの年齢は、「3歳」が最も多く37.2%、次いで「2歳」が23.3%、「4歳」が18.6%、「1歳」が16.3%となっています。



問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。重視する順番が高い方から5つを選んで例に示すようにその順番を記入してください。

全体的な傾向として、「自宅の近く」「園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」「施設・設備が整っている」が重視する点とされています。

また、「兄弟姉妹が通っている」「延長保育に対応している」「保育だけではなく、さまざまな教育プログラムを提供している」も多く選択されています。

■平日の教育・保育事業を選ぶ際に重視する点

回答者数：738

(単位：%)

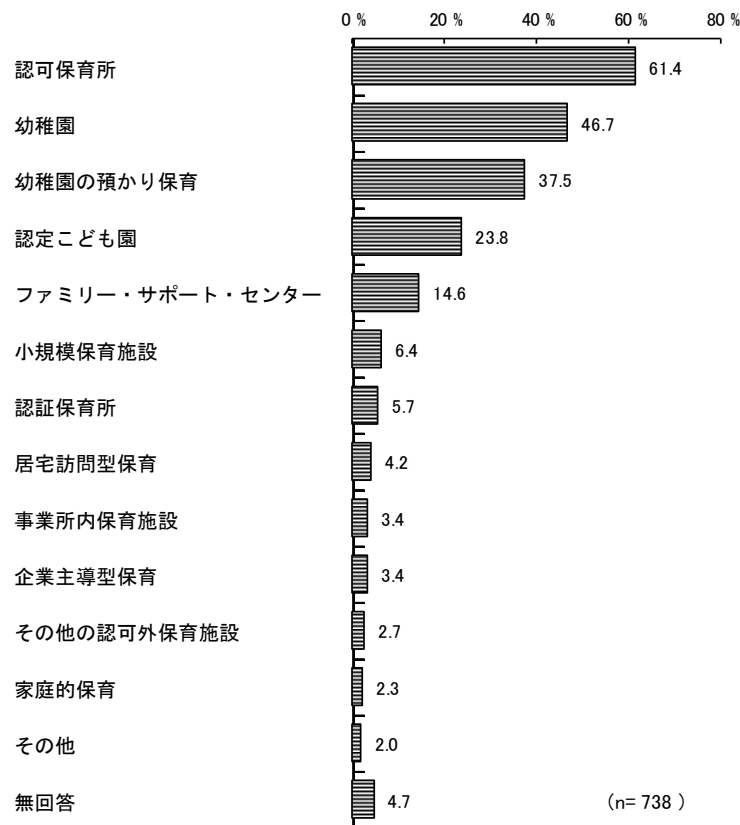
| 選択項目                         | 優先順位1  | 優先順位2  | 優先順位3  | 優先順位4  | 優先順位5  |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 自宅の近く                        | ① 57.7 | ② 14.2 | 5.7    | 3.1    | 3.3    |
| 子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること     | 0.4    | 1.8    | 2.8    | 1.6    | 3.9    |
| 職場の近く                        | 0.8    | 0.8    | 0.9    | 0.7    | 0.3    |
| 駅の近く                         | 1.9    | 4.5    | 2.2    | 1.4    | 2.3    |
| 兄弟姉妹が通っている                   | ③ 5.3  | ③ 13.1 | 3.7    | 2.4    | 2.2    |
| 延長保育に対応している                  | ⑤ 2.7  | ④ 8.7  | ④ 8.1  | ⑤ 8.3  | ④ 9.3  |
| 夜間や休日保育に対応している               | 0.1    | 0.7    | 0.4    | 1.2    | 0.7    |
| 乳児保育を実施している                  | 0.5    | 1.5    | 2.0    | 1.6    | 1.5    |
| 病児や病後児の対応を行っている              | 0.1    | 0.3    | 0.9    | 1.2    | 2.3    |
| 施設・設備が整っている                  | 1.5    | ⑤ 7.6  | ③ 11.1 | ② 14.0 | ① 11.8 |
| 送迎サービスを行っている                 | 0.4    | 1.1    | 2.6    | 0.8    | 1.4    |
| 給食を提供している                    | 0.8    | 7.2    | ② 12.9 | ③ 11.4 | ③ 9.9  |
| 地域の評判がよい                     | 1.5    | 4.5    | 4.3    | 5.8    | 6.8    |
| 保育料が安い                       | 0.1    | 2.4    | 2.0    | 4.5    | 4.9    |
| 行事が充実している                    | 0.3    | 1.6    | 3.7    | 5.0    | 6.9    |
| 園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい    | ② 11.9 | ① 15.3 | ① 18.0 | ① 16.1 | ② 10.3 |
| 保育だけではなく、さまざまな教育プログラムを提供している | ④ 4.3  | 5.3    | ⑤ 7.9  | ④ 9.6  | ⑤ 9.1  |
| その他                          | 1.1    | 0.5    | 0.9    | 0.3    | 0.5    |
| 無回答                          | 8.4    | 8.9    | 9.8    | 11.0   | 12.7   |

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「認可保育所」が最も多く61.4%、次いで「幼稚園」が46.7%、「幼稚園の預かり保育」が37.5%、「認定こども園」が23.8%となっています。

■定期的に利用したい教育・保育事業（複数回答）



【子どもの年齢別・地区別】

子どもの年齢別にみると、“5歳”は「幼稚園」、他の年齢は「認可保育所」が最も多くなっています。年齢が上がるにつれて「認可保育所」「認定こども園」が少なくなっています。

地区別では、“東部地域”“西部地域”で大きな差は見られず、同様の傾向となっています。

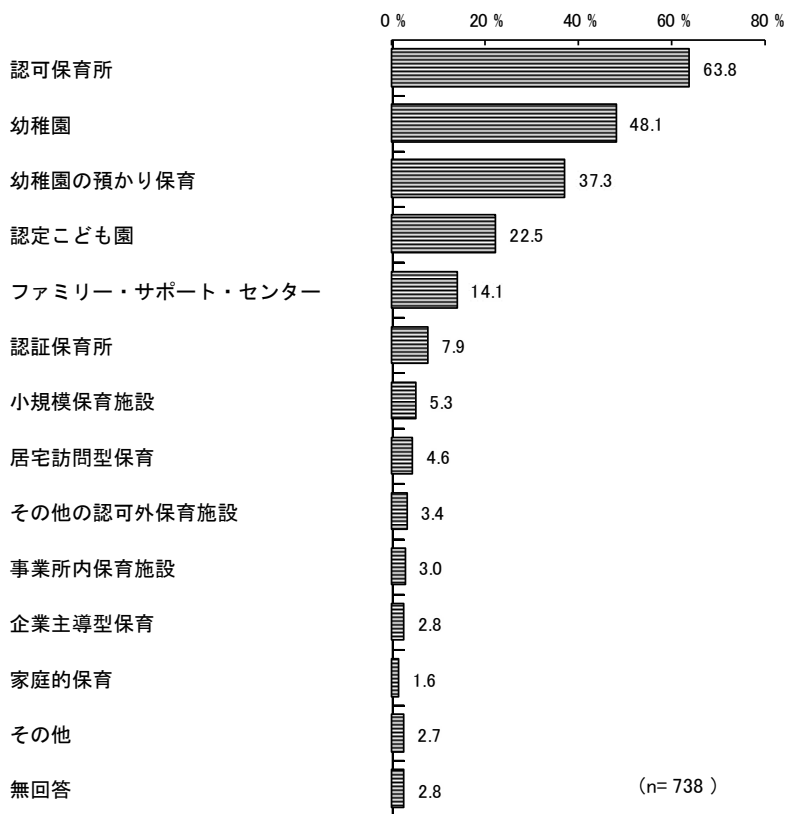
(単位:%)

|    | 回答者数 | 幼稚園  | 幼稚園の預かり保育 | 認可保育所 | 認定こども園 | 小規模保育施設 | 家庭的保育 | 事業所内保育施設 | 認証保育所 | 企業主導型保育 | その他の認可外保育施設 | 居宅訪問型保育 | ファミリー・サポート・センター | その他  | 無回答 |     |
|----|------|------|-----------|-------|--------|---------|-------|----------|-------|---------|-------------|---------|-----------------|------|-----|-----|
| 全体 | 738  | 46.7 | 37.5      | 61.4  | 23.8   | 6.4     | 2.3   | 3.4      | 5.7   | 3.4     | 2.7         | 4.2     | 14.6            | 2.0  | 4.7 |     |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 47.3      | 33.6  | 78.6   | 33.6    | 13.7  | 3.1      | 9.2   | 13.7    | 7.6         | 4.6     | 3.8             | 19.1 | 2.3 | 3.1 |
|    | 1歳   | 127  | 52.0      | 40.9  | 63.8   | 29.1    | 7.1   | 3.9      | 2.4   | 6.3     | 3.9         | 3.1     | 3.1             | 6.3  | 0.8 | 4.7 |
|    | 2歳   | 129  | 38.8      | 38.8  | 66.7   | 27.1    | 9.3   | 1.6      | 2.3   | 4.7     | 0.8         | 6.2     | 4.7             | 19.4 | 2.3 | 3.9 |
|    | 3歳   | 115  | 46.1      | 40.0  | 60.9   | 25.2    | 3.5   | 1.7      | 1.7   | 2.6     | 2.6         | 0.9     | 7.0             | 14.8 | 2.6 | 2.6 |
|    | 4歳   | 114  | 48.2      | 39.5  | 51.8   | 14.9    | 2.6   | 1.8      | 2.6   | 1.8     | 3.5         | 0.9     | 6.1             | 16.7 | 2.6 | 4.4 |
| 地区 | 5歳   | 110  | 48.2      | 32.7  | 44.5   | 12.7    | 0.9   | 1.8      | 1.8   | 4.5     | —           | —       | 11.8            | 0.9  | 9.1 |     |
|    | 東部地域 | 397  | 48.6      | 39.3  | 61.2   | 23.4    | 8.1   | 2.5      | 3.5   | 6.8     | 3.5         | 4.3     | 5.0             | 16.1 | 1.3 | 4.5 |
|    | 西部地域 | 340  | 44.7      | 35.6  | 61.8   | 24.4    | 4.4   | 2.1      | 3.2   | 4.4     | 3.2         | 0.9     | 3.2             | 12.9 | 2.9 | 4.7 |

問 18 無償化が実施された場合、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまるものをお答えください。無償化の前後で希望が変わらない場合は、問 17 で選択した番号をそのままお選びください。

「認可保育所」が最も多く 63.8%、次いで「幼稚園」が 48.1%、「幼稚園の預かり保育」が 37.3%、「認定こども園」が 22.5%となっています。

■無償化後に利用したい教育・保育事業（複数回答）



【子どもの年齢別・地区別】

すべての年齢別で「認可保育所」が最も多くなっています。年齢が上がるにつれて「認可保育所」「認定こども園」が少なくなっています。

地区別では、“東部地域”“西部地域”で大きな差は見られず、同様の傾向となっています。

(単位:%)

|    | 回答者数 | 幼稚園  | 幼稚園の預かり保育 | 認可保育所 | 認定こども園 | 小規模保育施設 | 家庭的保育 | 事業所内保育施設 | 認証保育所 | 企業主導型保育 | その他の認可外保育施設 | 居宅訪問型保育 | ファミリー・サポート・センター | その他  | 無回答 |     |
|----|------|------|-----------|-------|--------|---------|-------|----------|-------|---------|-------------|---------|-----------------|------|-----|-----|
|    |      |      |           |       |        |         |       |          |       |         |             |         |                 |      |     |     |
| 全体 | 738  | 48.1 | 37.3      | 63.8  | 22.5   | 5.3     | 1.6   | 3.0      | 7.9   | 2.8     | 3.4         | 4.6     | 14.1            | 2.7  | 2.8 |     |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 46.6      | 32.8  | 77.1   | 31.3    | 12.2  | 2.3      | 7.6   | 15.3    | 7.6         | 6.1     | 6.1             | 17.6 | 3.1 | 3.1 |
|    | 1歳   | 127  | 59.1      | 46.5  | 66.1   | 29.9    | 6.3   | 1.6      | 1.6   | 9.4     | 1.6         | 3.1     | 2.4             | 5.5  | —   | 4.7 |
|    | 2歳   | 129  | 36.4      | 33.3  | 72.1   | 25.6    | 6.2   | 1.6      | 2.3   | 7.0     | 0.8         | 7.0     | 5.4             | 18.6 | 3.1 | 1.6 |
|    | 3歳   | 115  | 47.0      | 33.9  | 64.3   | 18.3    | 2.6   | 0.9      | 0.9   | 4.3     | 2.6         | 0.9     | 6.1             | 12.2 | 1.7 | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 50.9      | 40.4  | 54.4   | 13.2    | 1.8   | 0.9      | 2.6   | 3.5     | 1.8         | 1.8     | 7.9             | 17.5 | 3.5 | 0.9 |
| 地区 | 5歳   | 110  | 48.2      | 35.5  | 49.1   | 15.5    | 1.8   | 2.7      | 6.4   | 2.7     | 0.9         | —       | 14.5            | 4.5  | 4.5 |     |
|    | 東部地域 | 397  | 48.6      | 37.3  | 63.0   | 21.9    | 6.5   | 1.8      | 2.3   | 8.6     | 3.3         | 4.3     | 5.0             | 14.1 | 2.3 | 3.3 |
|    | 西部地域 | 340  | 47.6      | 37.4  | 65.0   | 23.2    | 3.8   | 1.5      | 3.8   | 7.1     | 2.4         | 2.4     | 4.1             | 14.1 | 3.2 | 2.1 |

#### 4 保育所探しの状況について

問19 あなたは、あて名のお子さんを預けるため、この1年間で保育所探しを行いましたか。

「探した・探している」が37.4%、「保育所探しはしていない」が60.3%となっています。

■ここ1年間における保育所探しの実施状況



#### 【子どもの年齢別・地区別】

子どもの年齢別にみると、“0歳”“1歳”は「探した・探している」、他の年齢では「保育所は探していない」が最も多くなっています。

地区別にみると、“東部地域”“西部地域”ともに「保育所は探していない」が最も多くなっています。

(単位:%)

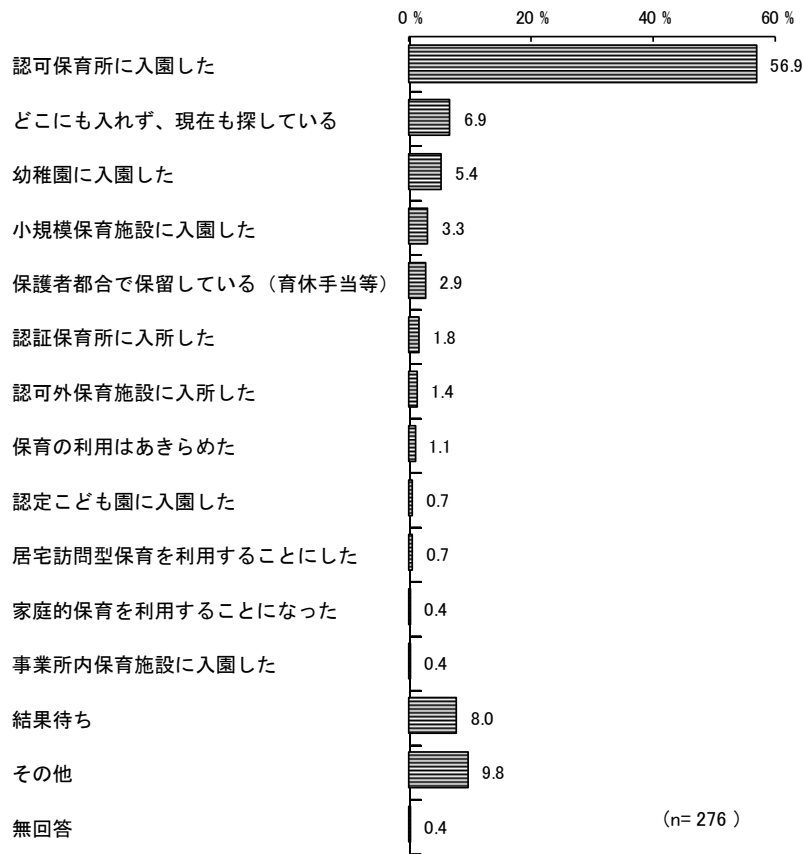
|    |      | 回答者数 | 探した・探している | 保育所探しはしていない | 無回答 |
|----|------|------|-----------|-------------|-----|
| 全体 |      | 738  | 37.4      | 60.3        | 2.3 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 73.3      | 26.0        | 0.8 |
|    | 1歳   | 127  | 52.0      | 45.7        | 2.4 |
|    | 2歳   | 129  | 39.5      | 58.9        | 1.6 |
|    | 3歳   | 115  | 29.6      | 67.0        | 3.5 |
|    | 4歳   | 114  | 12.3      | 86.0        | 1.8 |
|    | 5歳   | 110  | 10.9      | 86.4        | 2.7 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 38.3      | 59.7        | 2.0 |
|    | 西部地域 | 340  | 36.5      | 61.2        | 2.4 |

【問19で保育所を「探した・探している」と回答した方】

問19-1 保育所探しの結果、どのようになりましたか。

「認可保育所に入園した」が最も多く56.9%となっています。

■保育所探しの結果

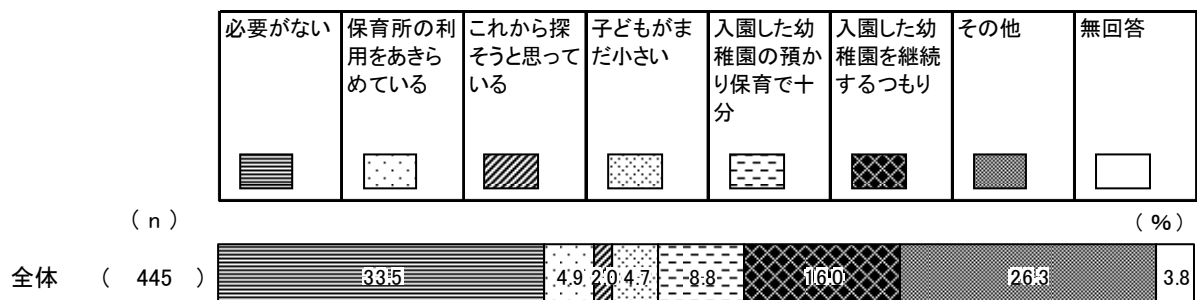


【問19で「保育所探しはしていない」と回答した方】

問19-2 保育所を探していない・探さなかった理由は何ですか。

「必要がない」が最も多く33.5%、次いで「入園した幼稚園を継続するつもり」が16.0%、「入園した幼稚園の預かり保育で十分」が8.8%となっています。

■保育所を探していない理由





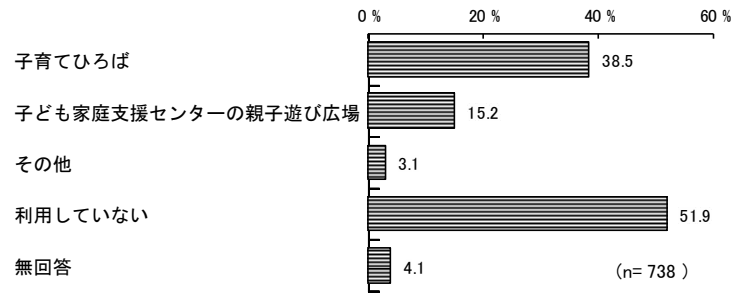
## 5 地域の子育て支援事業の利用状況等について

問20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業）を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

### ①地域子育て支援拠点事業利用状況

「子育てひろば」が38.5%、「子ども家庭支援センターの親子遊び広場」が15.2%となっています。また「利用していない」が51.9%となっています。

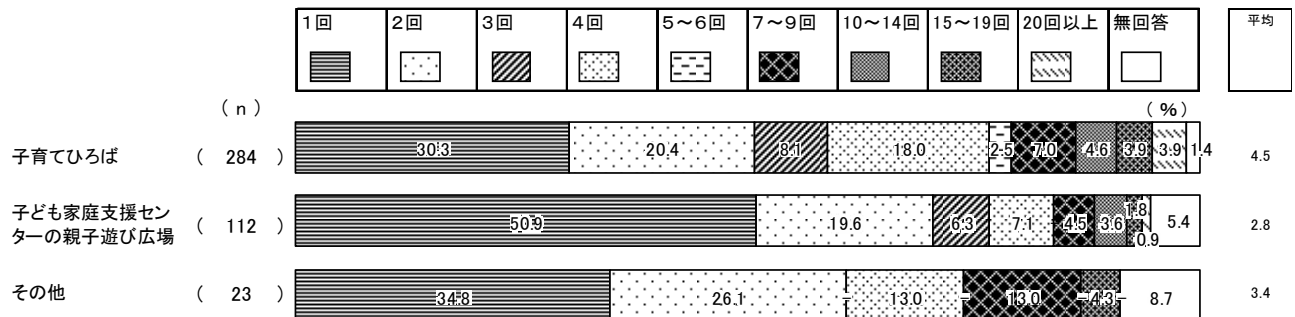
■地域子育て支援拠点事業利用状況（複数回答）



### ②1月あたり利用回数

“子ども家庭支援センターの親子遊び広場” “子育てひろば” とともに「1回」が最も多くなっています。

■1月あたり利用回数



問21 問20のような地域子育て支援拠点事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多く58.5%、次いで「利用していないが、今後利用したい」が20.5%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が14.9%となっています。

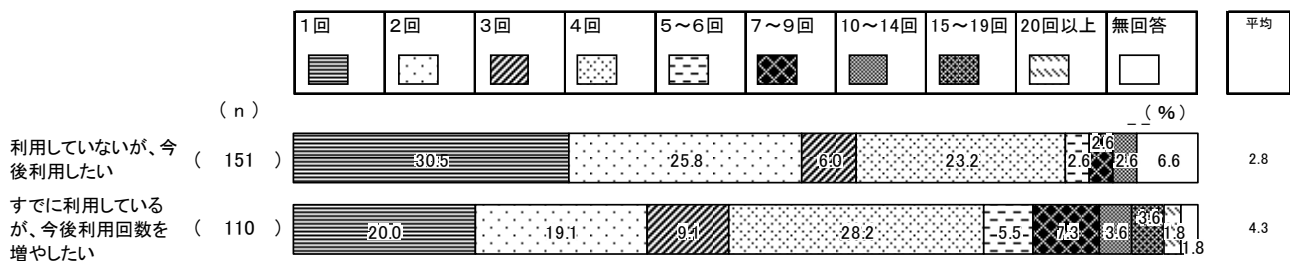
■地域子育て支援拠点事業の利用意向



①1月あたり利用希望回数

問21で“利用していないが、今後利用したい”と回答した人の1月あたりの利用回数は「1回」が最も多く30.5%となっています。また“すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい”と回答した人の増加したい回数は「4回」が最も多く28.2%となっています。

■1月あたり利用希望回数

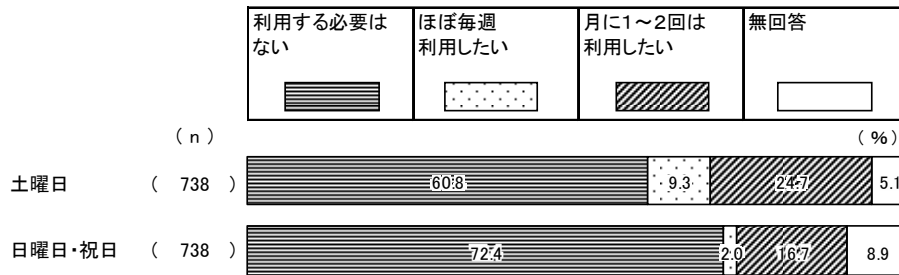


6 土曜・日曜や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問22 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

“土曜日” “日曜日・祝日” とともに「利用する必要はない」が最も多くなっています。

■土曜日や日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



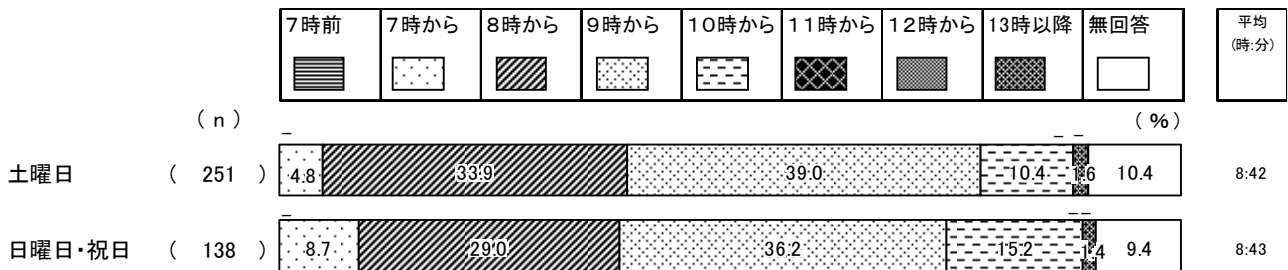
①利用したい時間帯

ア 開始時間

土曜日は「9時から」が最も多く39.0%、次いで「8時から」が33.9%、「10時から」が10.4%、となっています。平均開始時間は8時42分となっています。

日曜・祝日は「9時から」が最も多く36.2%、「8時から」が29.0%、「10時から」が15.2%となっています。平均開始時間は8時43分となっています。

■開始時間

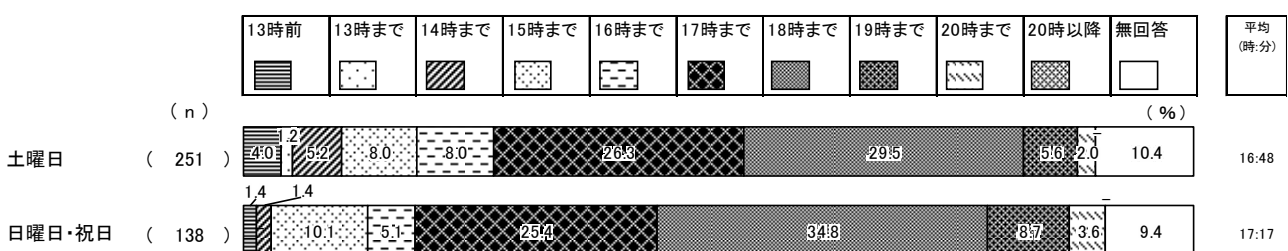


イ 終了時間

土曜日は「18時まで」が最も多く29.5%、次いで「17時まで」が26.3%、「15時まで」「16時まで」がともに8.0%となっています。平均終了時間は16時48分となっています。

日曜・祝日は「18時まで」が最も多く34.8%、次いで「17時まで」が25.4%、「15時まで」が10.1%となっています。平均終了時間は17時17分となっています。

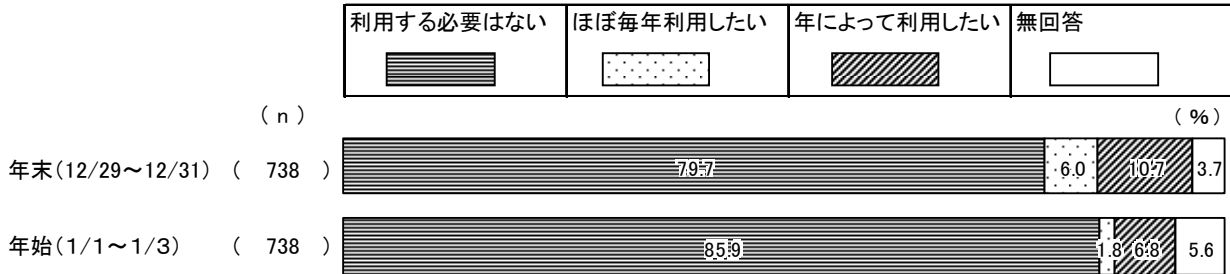
■終了時間



問23 あて名のお子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

“年末”“年始”ともに「利用する必要はない」が最も多くなっています。

■年末・年始の教育・保育事業の利用希望



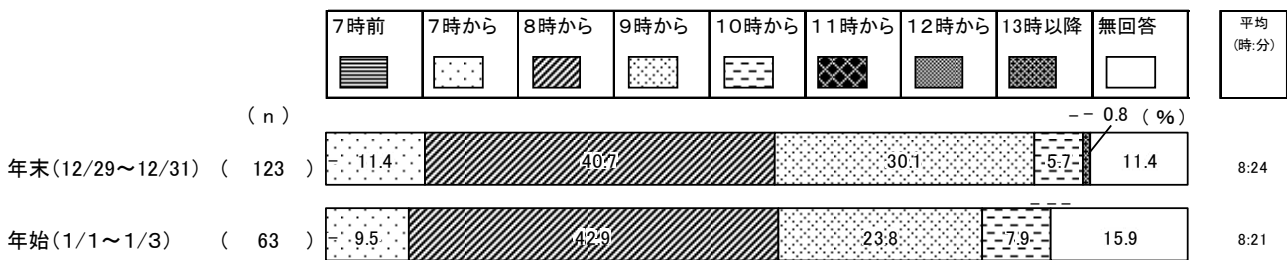
①利用したい時間帯

ア 開始時間

“年末”は「8時から」が最も多く40.7%、次いで「9時から」が30.1%、「7時から」が11.4%となっています。平均開始時間は8時24分となっています。

“年始”は「8時から」が最も多く42.9%、次いで「9時から」が23.8%、「7時から」が9.5%となっています。平均開始時間は8時21分となっています。

■開始時間

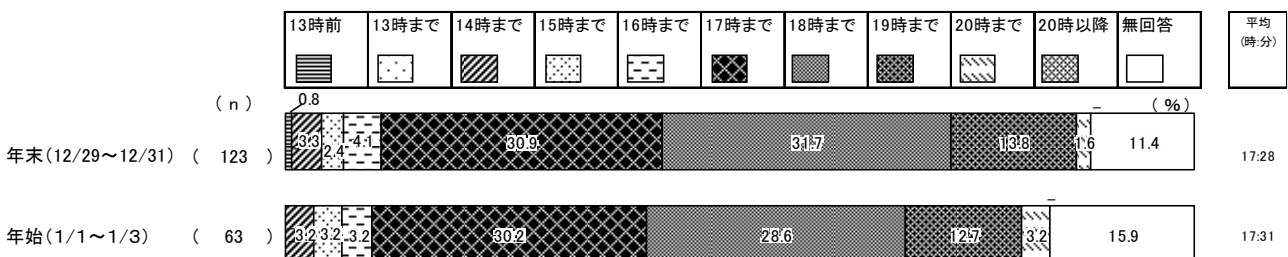


イ 終了時間

“年末”は「18時まで」が最も多く31.7%、次いで「17時まで」が30.9%、「19時まで」が13.8%となっています。平均終了時間は17時28分となっています。

“年始”は「17時まで」が最も多く30.2%、次いで「18時まで」が28.6%、「19時まで」が12.7%となっています。平均終了時間は17時31分となっています。

■終了時間

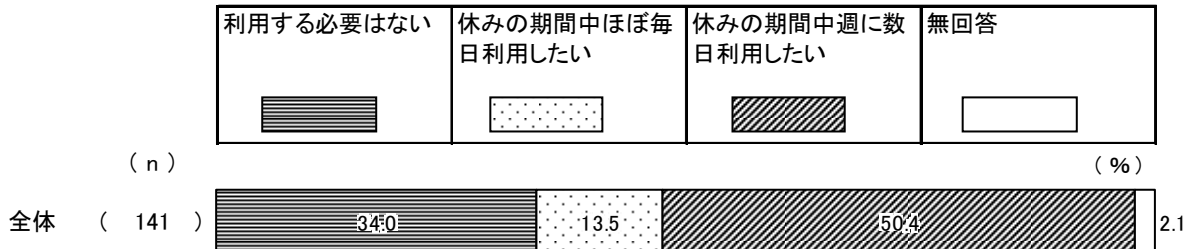


【問 15-1 で現在「幼稚園を利用されている」（幼稚園、幼稚園の預かり保育）と回答した方】

問 24 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中週に数日利用したい」が最も多く 50.4%、次いで「利用する必要はない」が 34.0%、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」が 13.5%となっています。

■夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

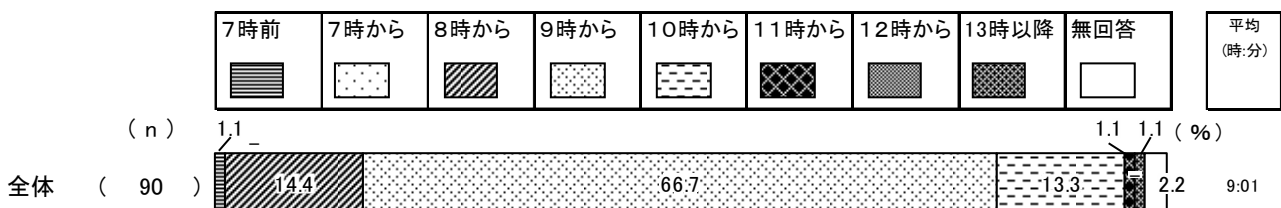


①利用したい時間帯

ア 開始時間

「9時から」が最も多く 66.7%、次いで「8時から」が 14.4%、「10時から」が 13.3%となっています。平均開始時間は 9 時 1 分となっています。

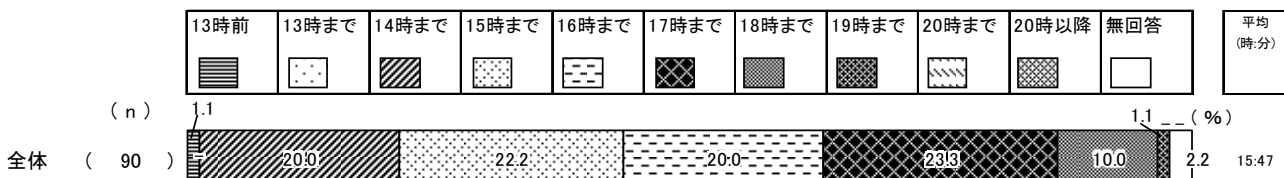
■開始時間



イ 終了時間

「17時まで」が最も多く 23.3%、次いで「15時まで」が 22.2%、「14時まで」「16時まで」がともに 20.0%となっています。平均終了時間は 15 時 47 分となっています。

■終了時間



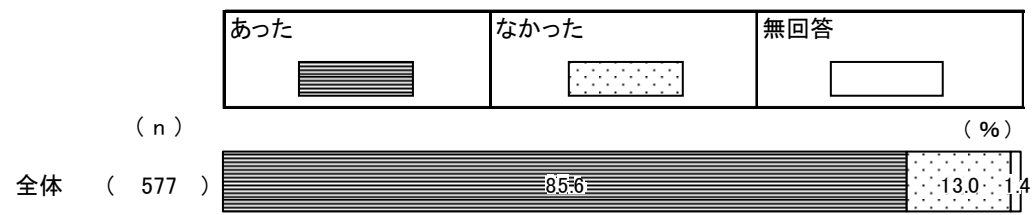
**7 お子さんの病気の際の対応について**

【平日の定期的な教育・保育事業(問15)を「利用している」と回答した方】

問25 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことはありますか。

「あった」が85.6%、「なかった」が13.0%となっています。

■ 病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったこと



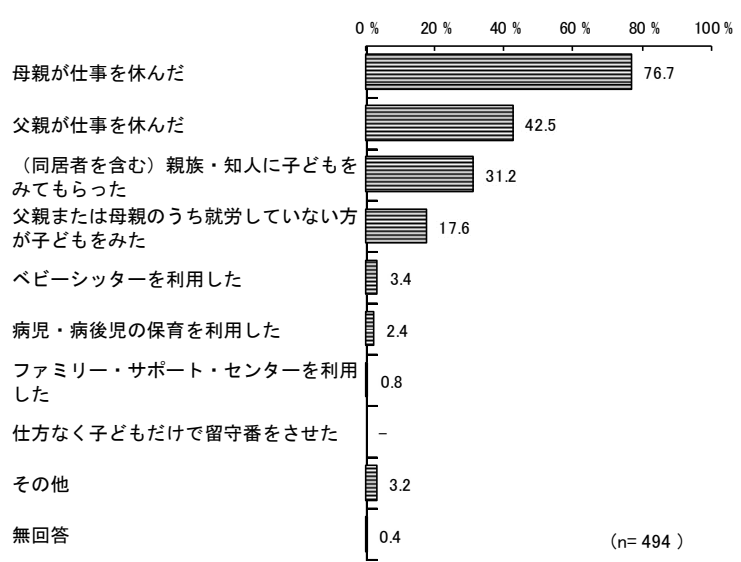
【問25で病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことが「あった」と回答した方】

問25-1 どのように対処しましたか。この1年間に対処した日数もご記入ください。

① 1年間の対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く76.7%、次いで「父親が仕事を休んだ」が42.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が31.2%となっています。

■ 1年間の対処方法 (複数回答)



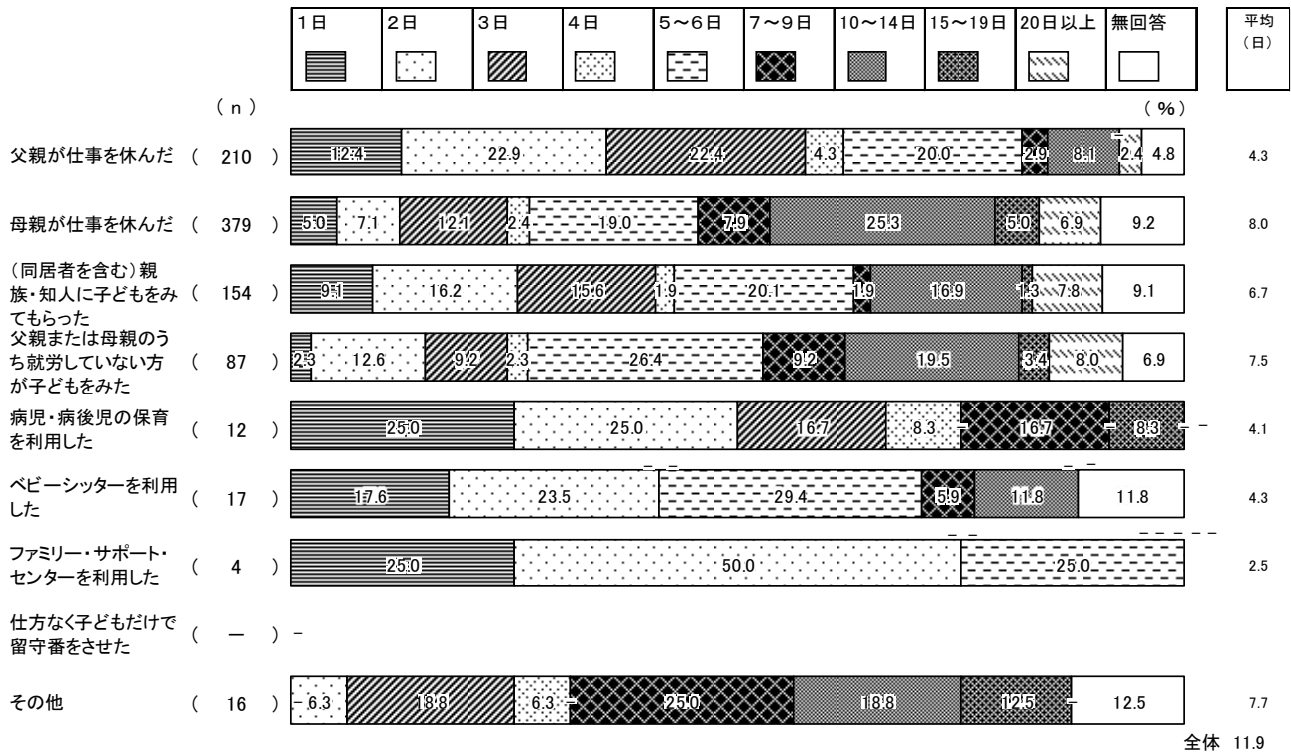
② 1年間の対処方法別日数

“母親が仕事を休んだ”の平均日数は8.0日と最も多くなっています。

“父親が仕事を休んだ”の平均日数は4.3日、“(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった”の平均日数は6.7日、“父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた”の平均日数は7.5日となっています。

全体の平均日数は11.9日です。

■ 1年間の対処方法別日数(複数回答)



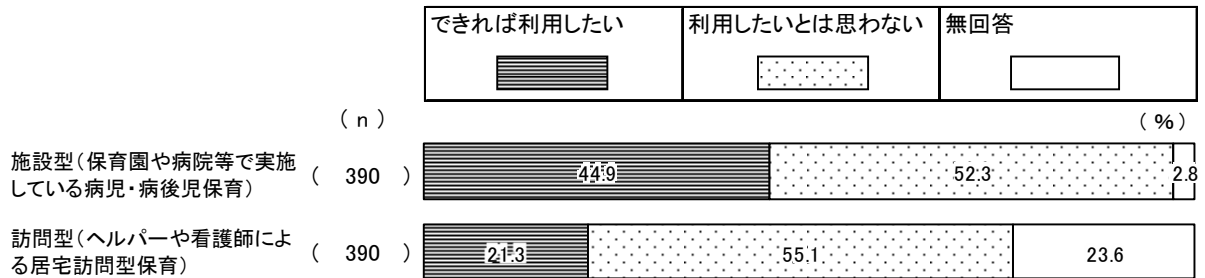
【問 25-1 で病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかった際に「父親が仕事を休んだ」と「母親が仕事を休んだ」と回答した方】

問 25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。「できれば利用したい」と回答した方は、日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

①病児・病後児のための保育施設等の利用意向

“施設型” “訪問型” とともに「利用したいとは思わない」が5割を超えています。

■病児・病後児のための保育施設等の利用意向

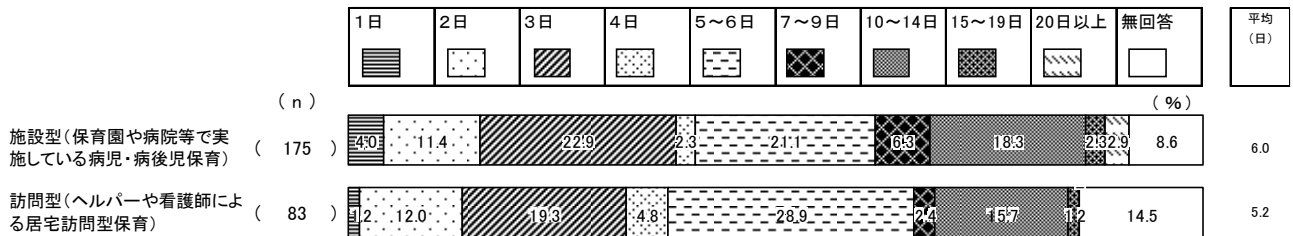


②年間希望利用日数

“施設型” は「3日」が最も多く22.9%、次いで「5～6日」が21.1%、「10～14日」が18.3%となっています。平均希望日数は6.0日となっています。

“訪問型” は「5～6日」が最も多く28.9%、次いで「3日」が19.3%、「10～14日」が15.7%となっています。平均希望日数は5.2日となっています。

■希望利用日数

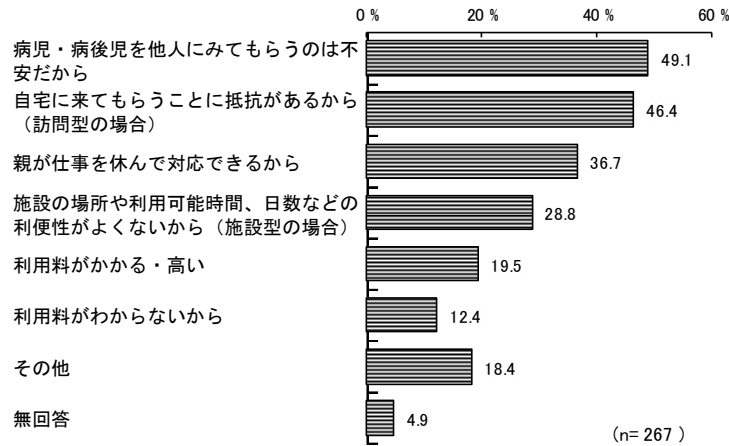




問 25-3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」が最も多く49.1%、次いで「自宅に来てもらうことに抵抗があるから（訪問型の場合）」が46.4%、「親が仕事を休んで対応できるから」が36.7%となっています。

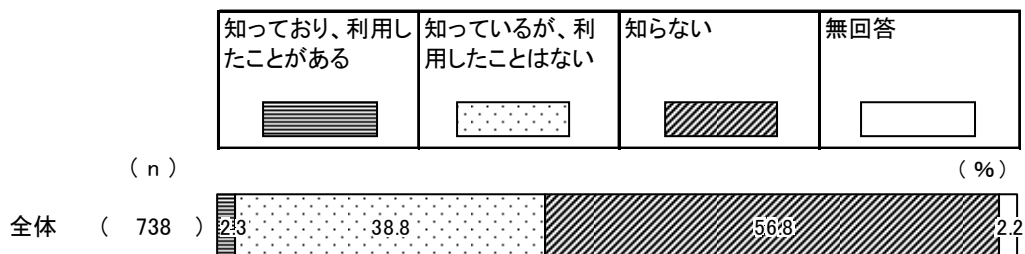
■病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）



問 26 豊島区の訪問型病児・病後児保育について知っていますか。

「知らない」が最も多く56.8%、次いで「知っているが、利用したことはない」が38.8%、「知っており、利用したことがある」が2.3%となっています。

■訪問型病児・病後児保育の認知度



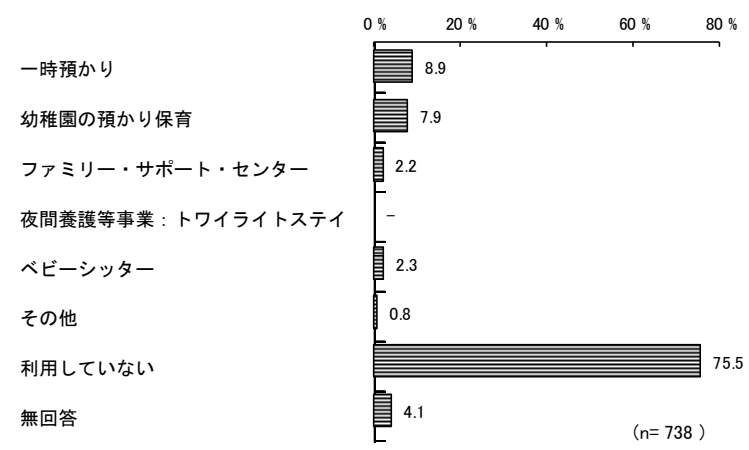
**8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について**

問27 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をして、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

①不定期に利用している事業

「利用していない」が75.5%となっています。

■不定期に利用している事業（複数回答）

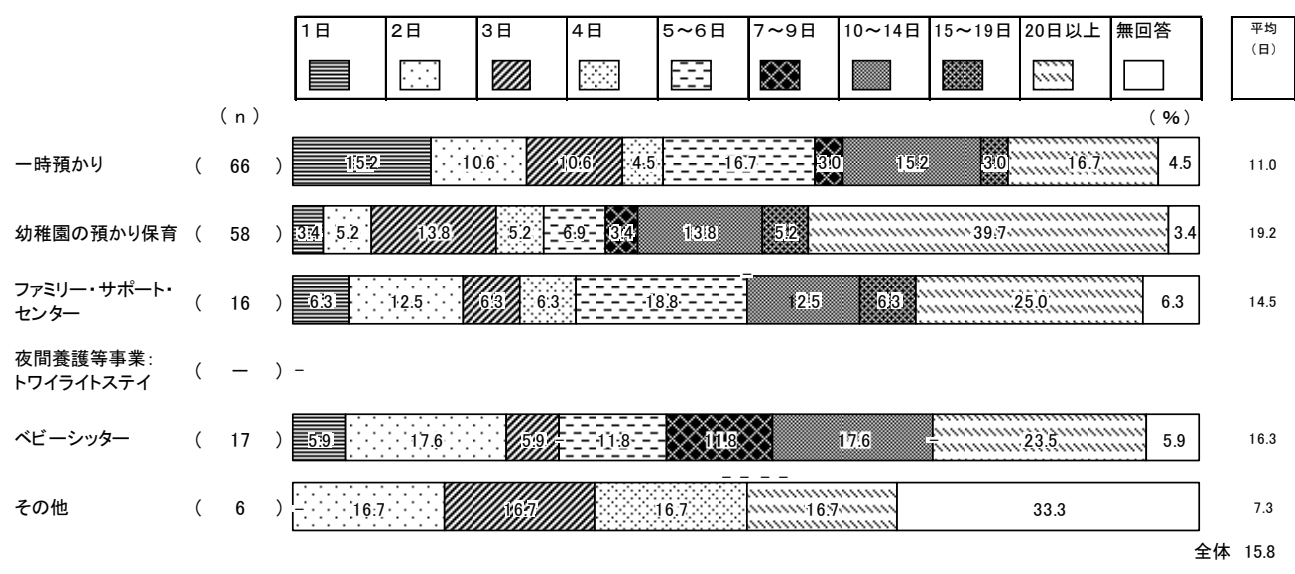


②1年間の利用日数

“一時預かり”は「5～6日」「20日以上」がともに最も多く16.7%、年間平均利用日数は11.0日となっています。“幼稚園の預かり保育”は「20日以上」が最も多く39.7%、年間平均利用日数は19.2日となっています。また、“ファミリー・サポート事業”の年間平均利用日数は14.5日となっています。

全体の年間平均利用日数は15.8日です。

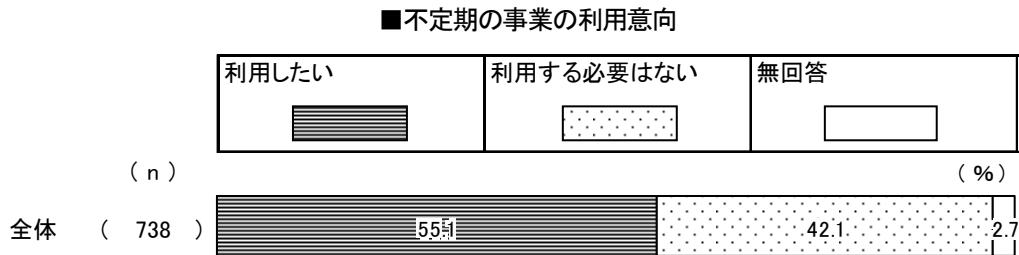
■1年間の利用日数



問28 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

① 不定期の事業の利用意向

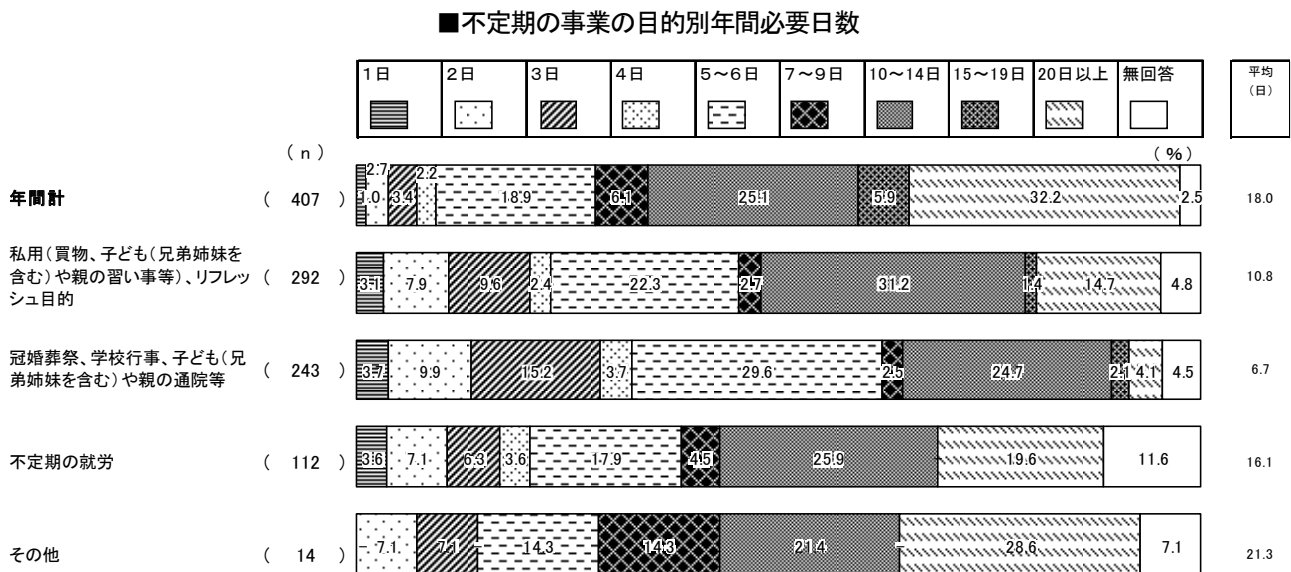
「利用したい」が55.1%、「利用する必要はない」が42.1%となっています。



② 不定期の事業の目的別年間必要日数

“不定期の就労”の平均必要日数は16.1日、“私用、リフレッシュ目的”の平均必要日数は10.8日、“冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等”の平均必要日数は6.7日となっています。

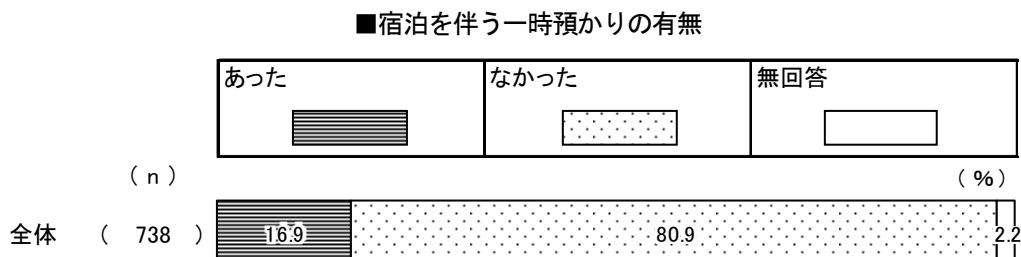
全体の平均必要日数は18.0日です。



問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの泊数もご記入ください。

①宿泊を伴う一時預かりの有無

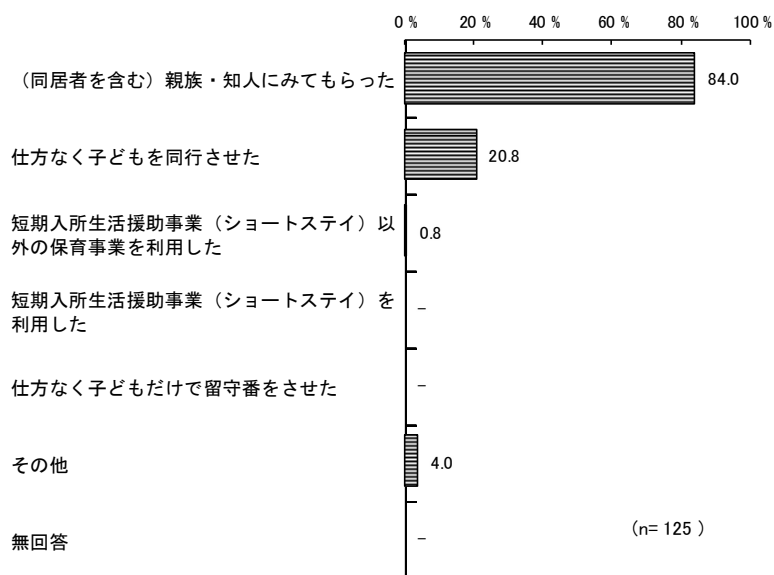
「あった」が16.9%、「なかった」が80.9%となっています。



②宿泊を伴う一時預かりの対処方法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も多く 84.0%、次に「仕方なく子どもを同行させた」が20.8%となっています。

**■宿泊を伴う一時預かりの対処方法（複数回答）**



③宿泊を伴う一時預かりの対処方法別泊数

“(同居者を含む)親族・知人にみてもらった”は「1泊」が最も多く23.8%、次いで「5～6泊」が17.1%、「3泊」が16.2%となっています。

“短期入所生活援助事業(ショートステイ)以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した”は「3泊」が1件となっています。

“仕方なく子どもを同行させた”は「1泊」が38.5%、「3泊」が26.9%、「5～6泊」が19.2%、「2泊」が7.7%となっています。

“その他”は5件となっています。

(“短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した”“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”は回答なし)

■宿泊を伴う一時預かりの対処方法別泊数

(単位：%)

|  | 回答者数(人) | 1泊   | 2泊   | 3泊    | 4泊  | 5～6泊 | 7～9泊 | 10～14泊 | 15～19泊 | 20泊以上 | 無回答  |
|--|---------|------|------|-------|-----|------|------|--------|--------|-------|------|
| (同居者を含む)親族・知人にみてもらった                     | 105     | 23.8 | 13.3 | 16.2  | 2.9 | 17.1 | 6.7  | 4.8    | 2.9    | 7.6   | 4.8  |
| 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した                 | —       | —    | —    | —     | —   | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| 短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した | 1       | —    | —    | 100.0 | —   | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| 仕方なく子どもを同行させた                            | 26      | 38.5 | 7.7  | 26.9  | —   | 19.2 | —    | —      | —      | —     | 7.7  |
| 仕方なく子どもだけで留守番をさせた                        | —       | —    | —    | —     | —   | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| その他                                      | 5       | 20.0 | —    | —     | —   | 40.0 | —    | 20.0   | —      | —     | 20.0 |

9 お子さんが5歳以上である方に、小学生就学後の放課後の過ごし方について

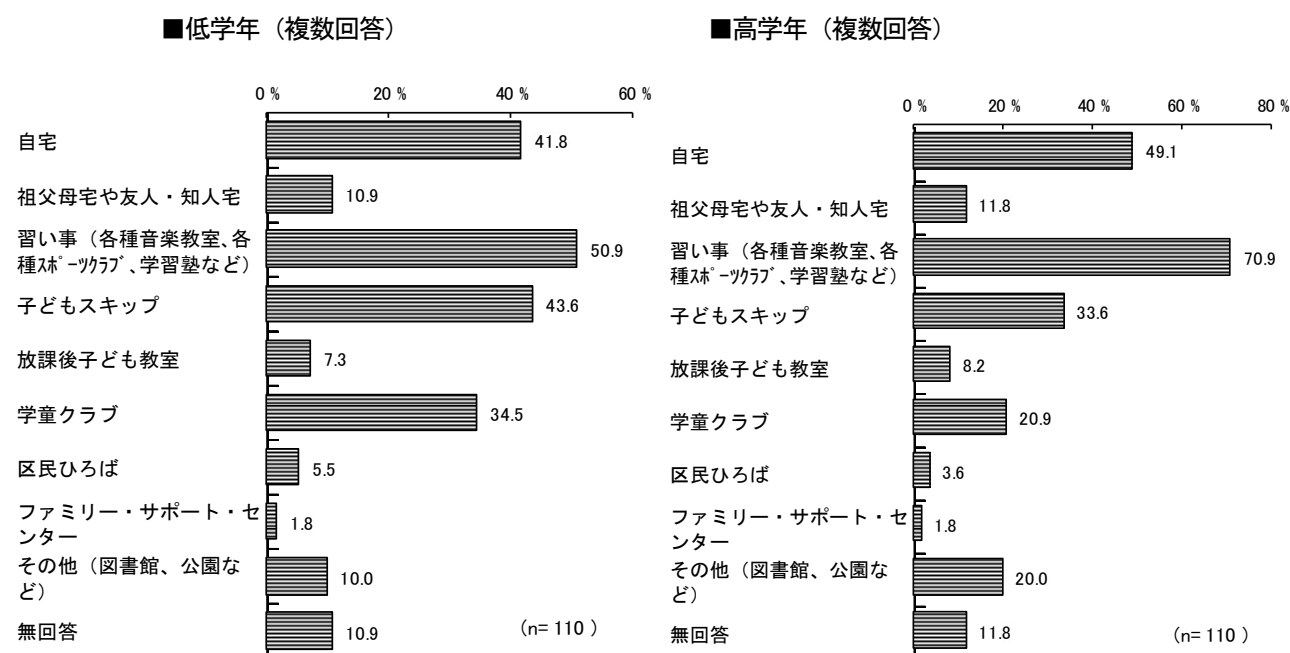
問30 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

問31 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。⇒あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

①放課後に過ごさせたい場所

低学年は「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く50.9%、次いで「子どもスキップ」が43.6%、「自宅」が41.8%となっています。

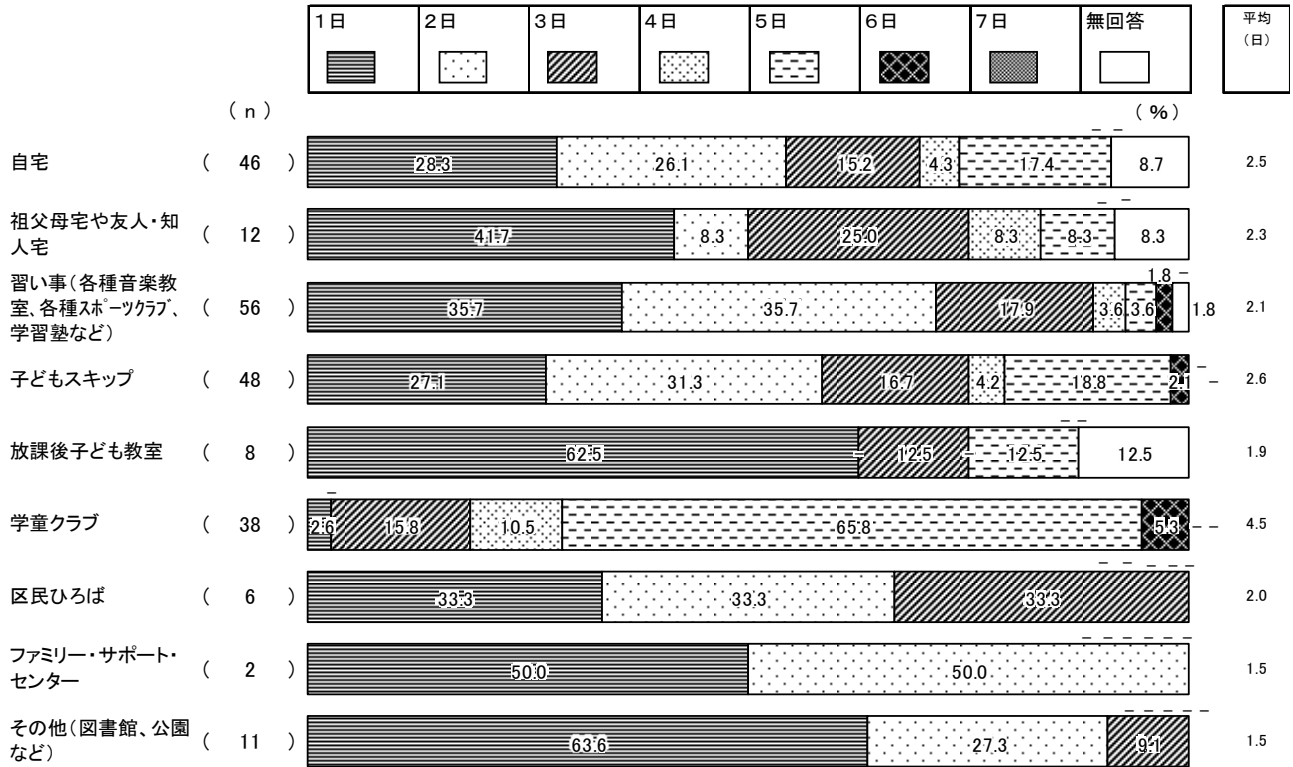
高学年は「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く70.9%、次いで「自宅」が49.1%、「子どもスキップ」が33.6%となっています。



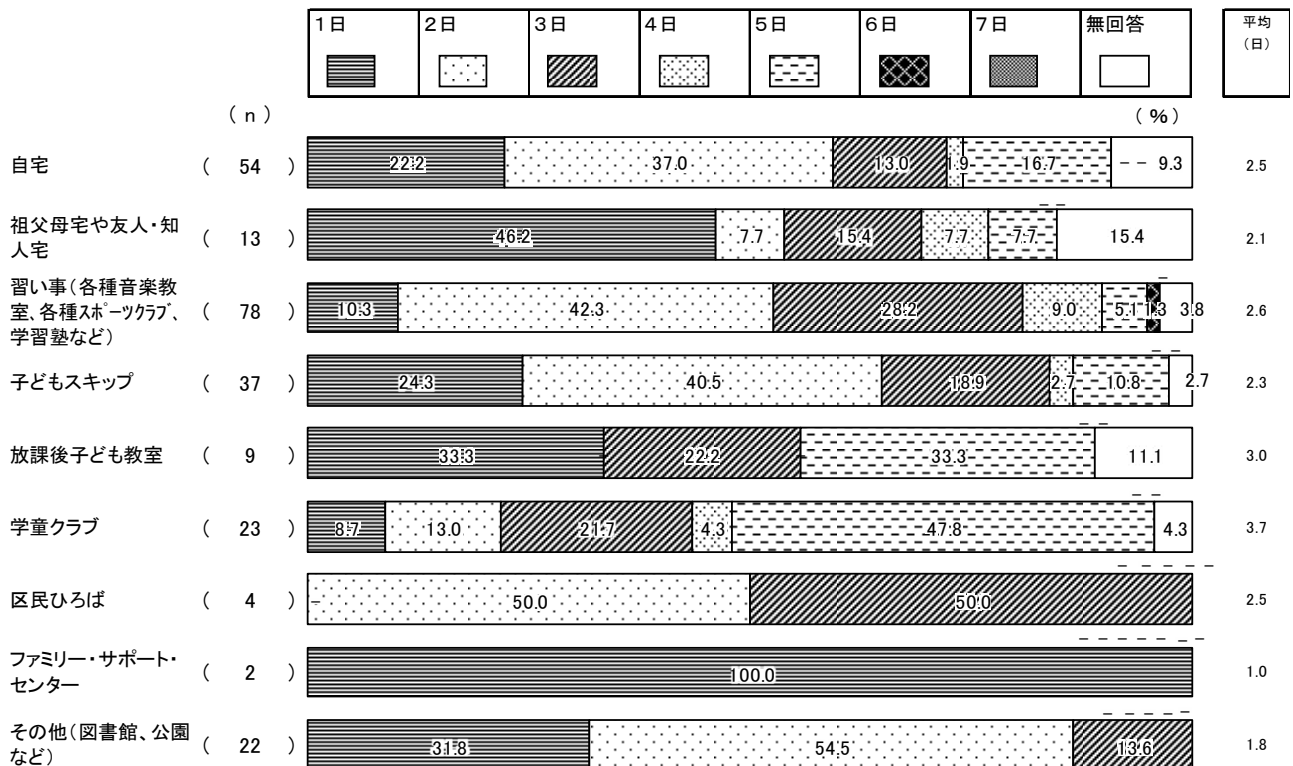
②放課後に過ごさせたい場所別週あたり日数

低学年は「学童クラブ」で「5日」が多くなっています。その他の場所は「1日」「2日」が多くなっています。低学年、高学年ともに同じような傾向となっていますが、高学年になると、学童クラブの利用希望日数が減少し、習い事等の日数が増加しています。

■低学年

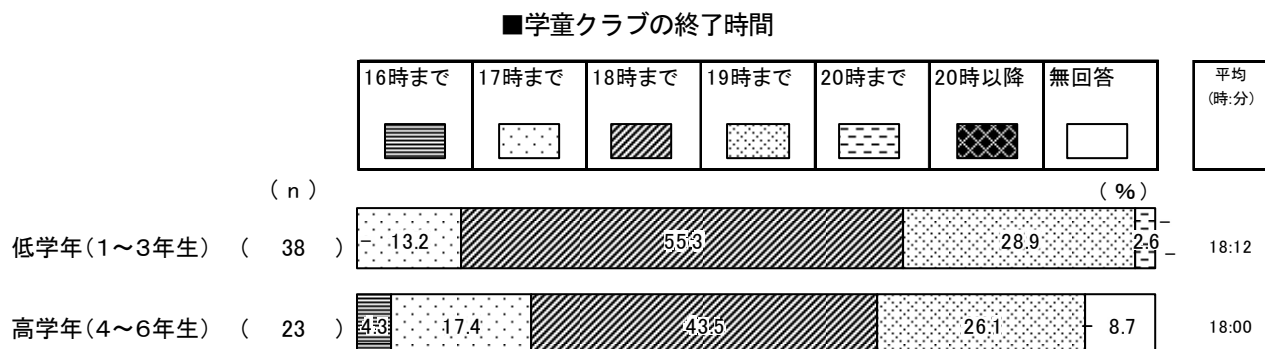


■高学年



③学童クラブの終了時間

“低学年” “高学年” とともに「18時まで」が最も多くなっています。



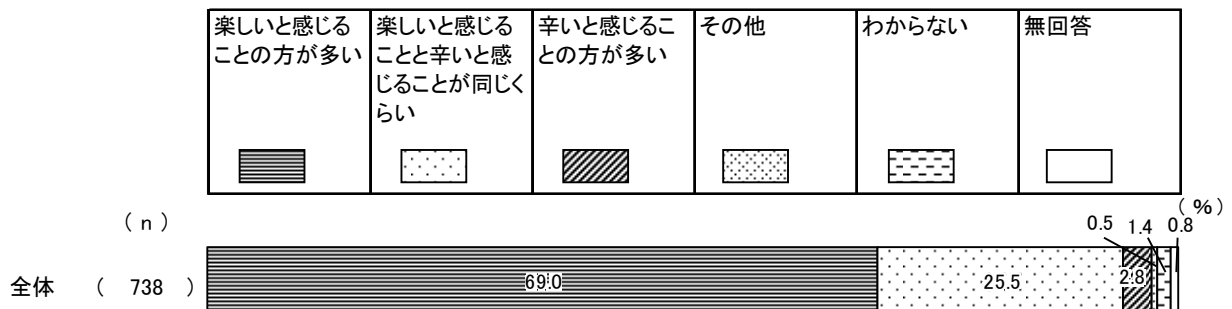


10 子育て全般について

問32 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じていることが多いと思いますか。

「楽しいと感じることの方が多い」が最も多く69.0%、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が25.5%、「辛いと感じることの方が多い」が2.8%となっています。

■子育ての楽しさ

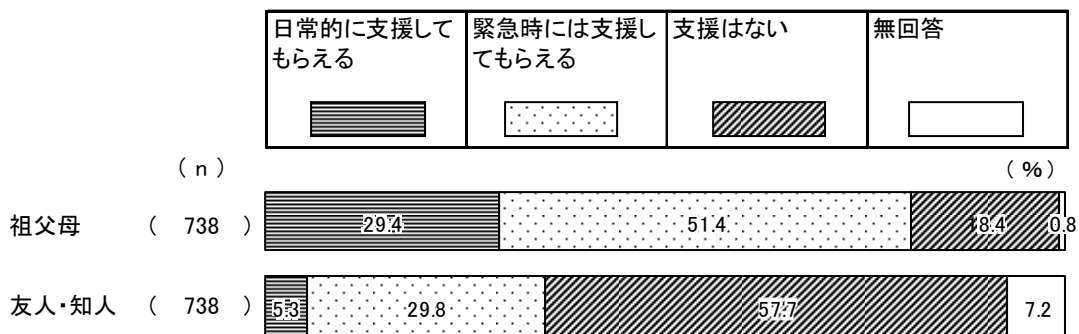


問33 あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれにあてはまりますか。それぞれの項目ごとに1つだけ○をつけてください。

“祖父母”は「緊急時には支援してもらえる」が最も多く51.4%、次いで「日常的に支援してもらえる」が29.4%、「支援はない」が18.4%となっています。

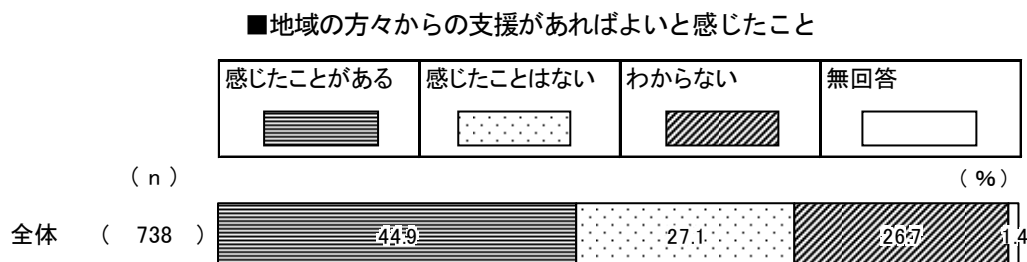
“友人・知人”は「支援はない」が57.7%と最も多く、「緊急時には支援してもらえる」が29.8%、「日常的に支援してもらえる」が5.3%となっています。

■祖父母や友人・知人による支援状況



問34 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。

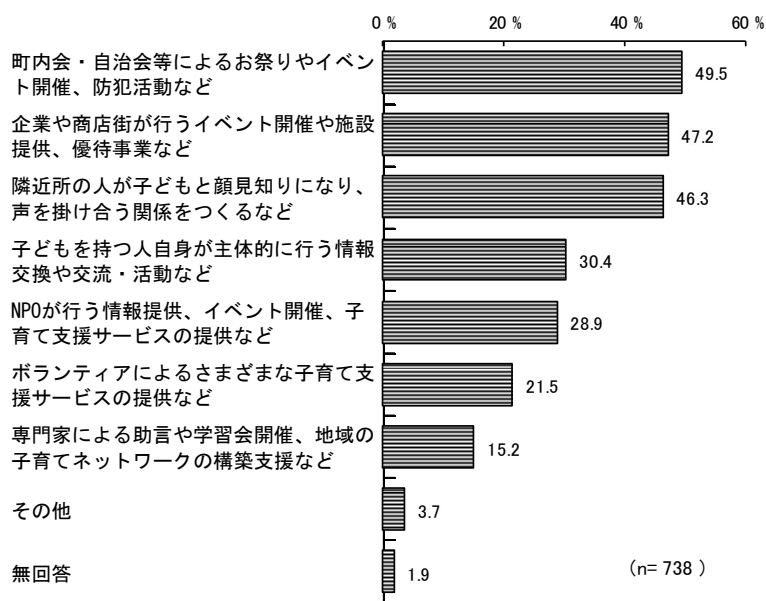
「感じたことがある」が最も多く44.9%、次いで「感じたことはない」が27.1%、「わからない」が26.7%となっています。



問35 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。

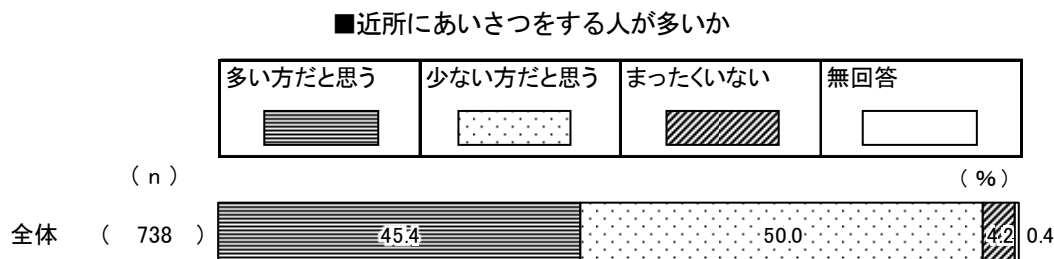
「町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など」が最も多く49.5%、次いで「企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など」が47.2%、「隣近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど」が46.3%となっています。

■地域の子育て力を向上させるために有効な取り組み（3つまでに○）



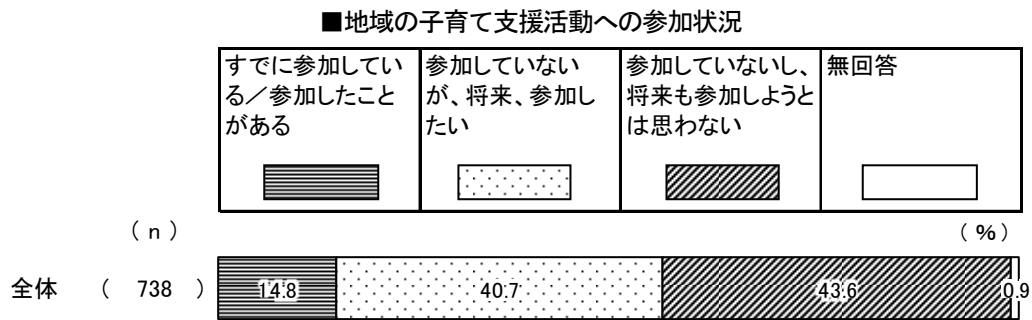
問36 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人が多い方だと思いますか。

「少ない方だと思う」が最も多く50.0%、次いで「多い方だと思う」が45.4%、「まったくいない」が4.2%となっています。



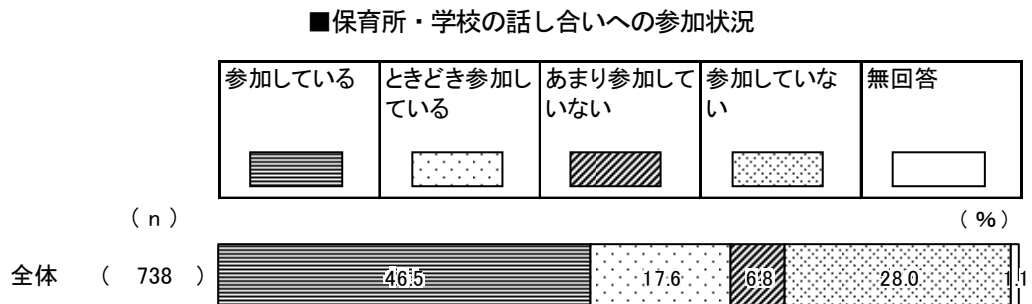
問37 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。

「参加していないし、将来も参加しようとは思わない」が最も多く43.6%、次いで「参加していないが、将来、参加したい」が40.7%、「すでに参加している／参加したことがある」が14.8%となっています。



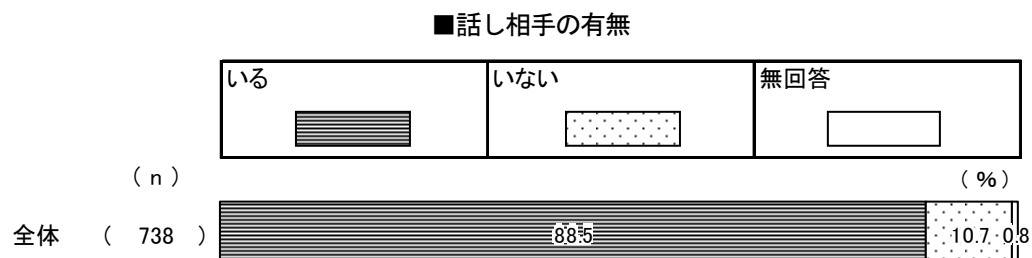
問38 あなたは、保育所・学校の話し合い（たとえばPTAなど）に参加していますか。

「参加している」が最も多く46.5%、次いで「参加していない」が28.0%、「ときどき参加している」が17.6%となっています。



問39 あなたの職場や地域など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人はいますか。

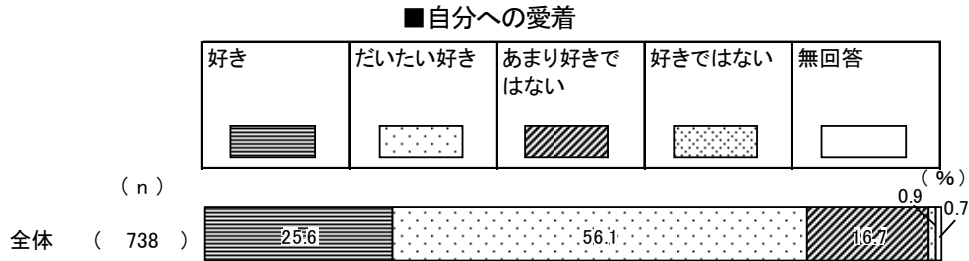
「いる」が88.5%、「いない」が10.7%となっています。



11 あなたご自身のことについて

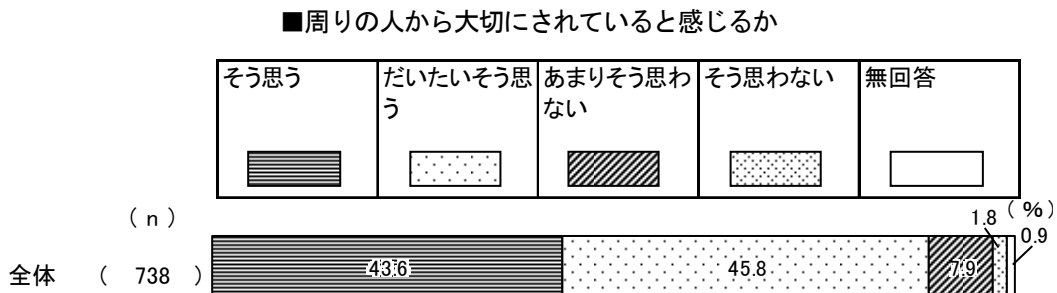
問40 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く56.1%、次いで「好き」が25.6%、「あまり好きではない」が16.7%となっています。



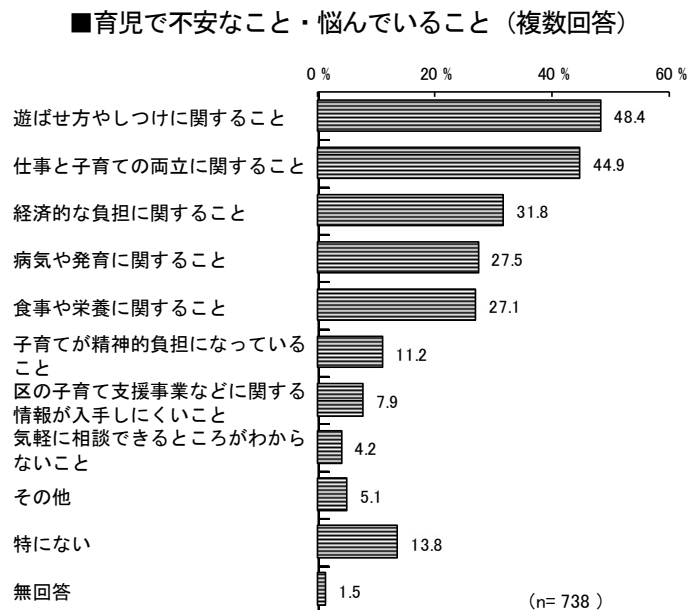
問41 あなたは、自分が周りの人から大切にされていると感じますか。

「だいたいそう思う」が最も多く45.8%、次いで「そう思う」が43.6%、「あまりそう思わない」が7.9%となっています。



問42 育児に関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。

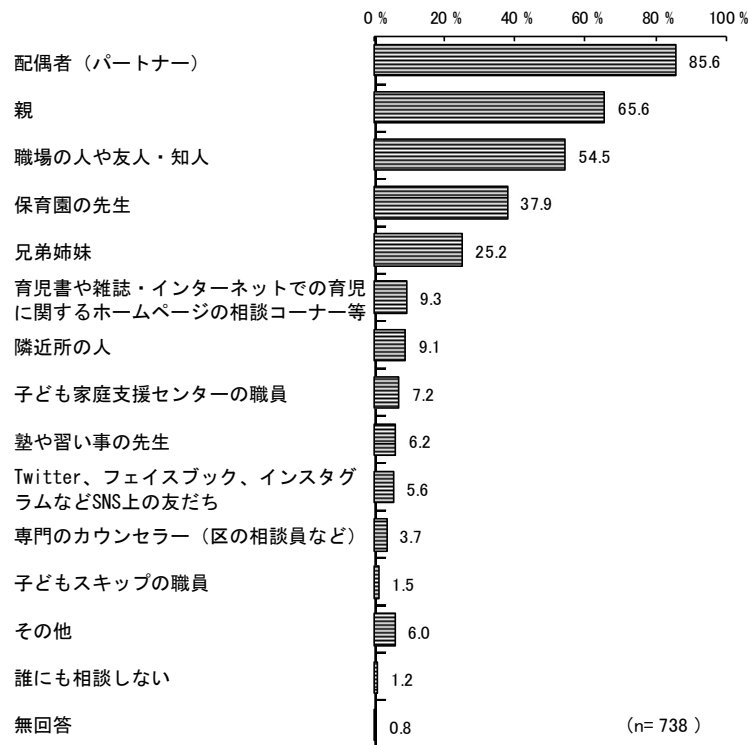
「遊ばせ方やしつけに関すること」が最も多く48.4%、次いで「仕事と子育ての両立に関すること」が44.9%、「経済的な負担に関すること」が31.8%となっています。



問43 育児に関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。

「配偶者（パートナー）」が最も多く85.6%、次いで「親」が65.6%、「職場の人や友人・知人」が54.5%、「保育園の先生」が37.9%、「兄弟姉妹」が25.2%となっています。

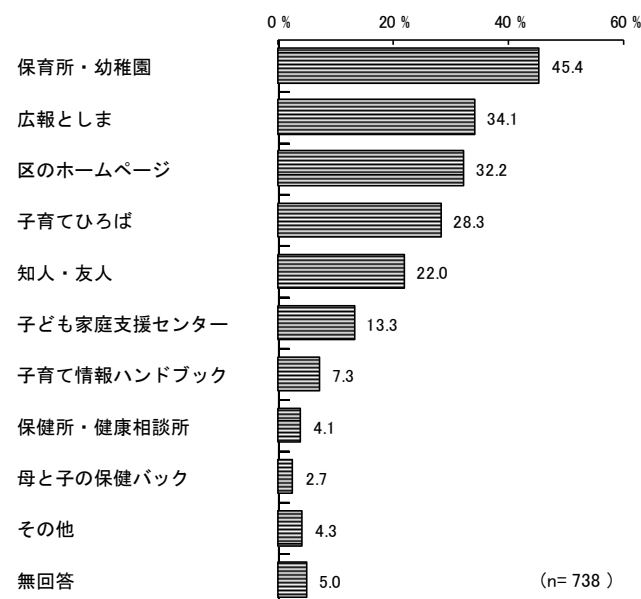
■育児についての相談先（複数回答）



問44 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか。

「保育所・幼稚園」が最も多く45.4%、次いで「広報としま」が34.1%、「区のホームページ」が32.2%となっています。

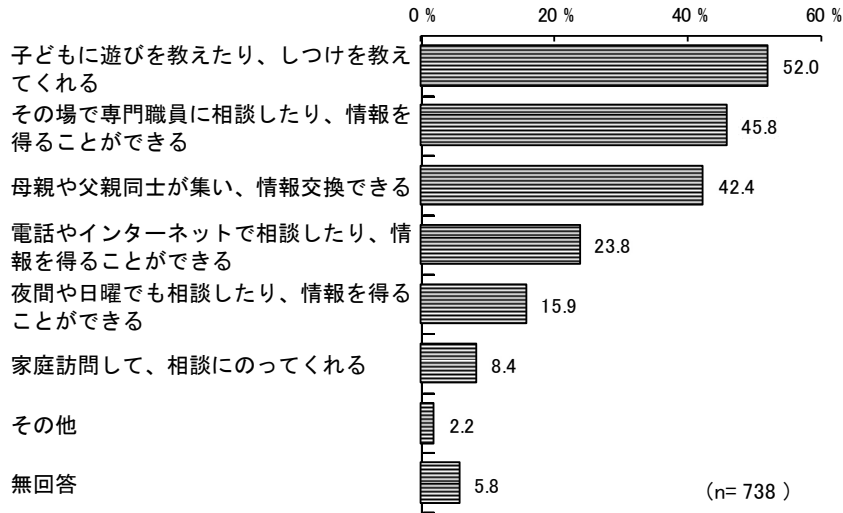
■子育て支援サービスに関する情報の入手先（複数回答）



問45 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。

「子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる」が最も多く52.0%、次いで「その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる」が45.8%、「母親や父親同士が集い、情報交換できる」が42.4%となっています。

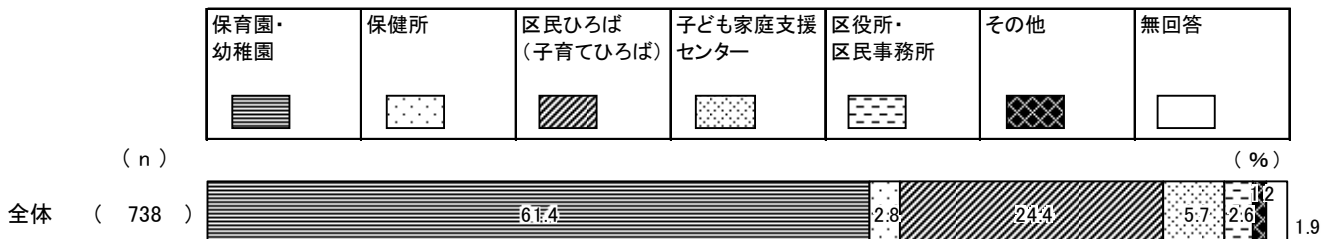
■育児に関する情報・相談の場に望むこと（複数回答）



問46 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。

「保育園・幼稚園」が最も多く61.4%、次いで「区民ひろば（子育てひろば）」が24.4%、「子ども家庭支援センター」が5.7%となっています。

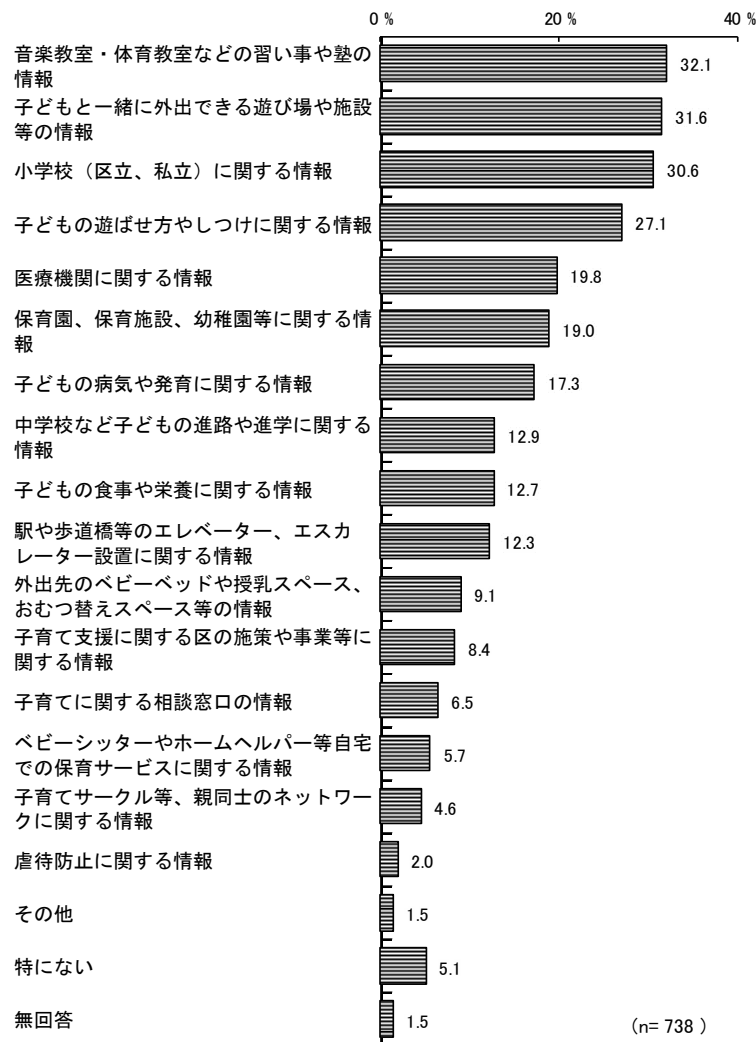
■子育てに関する情報・相談を気軽に受けたい場所



問47 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。

「音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報」が最も多く32.1%、次いで「子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報」が31.6%、「小学校（区立、私立）に関する情報」が30.6%、「子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報」が27.1%、「医療機関に関する情報」が19.8%となっています。

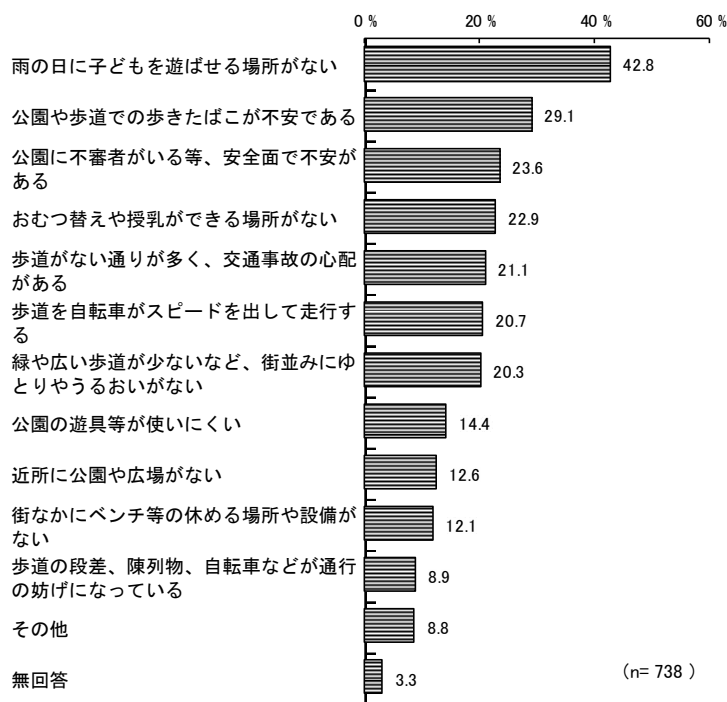
■子育てに関して欲しい情報・不足していること（3つまでに○）



問48 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。

「雨の日に子どもを遊ばせる場所がない」が最も多く42.8%、次いで「公園や歩道での歩きたばこが不安である」が29.1%、「公園に不審者がいる等、安全面で不安がある」が23.6%、「おむつ替えや授乳ができる場所がない」が22.9%となっています。

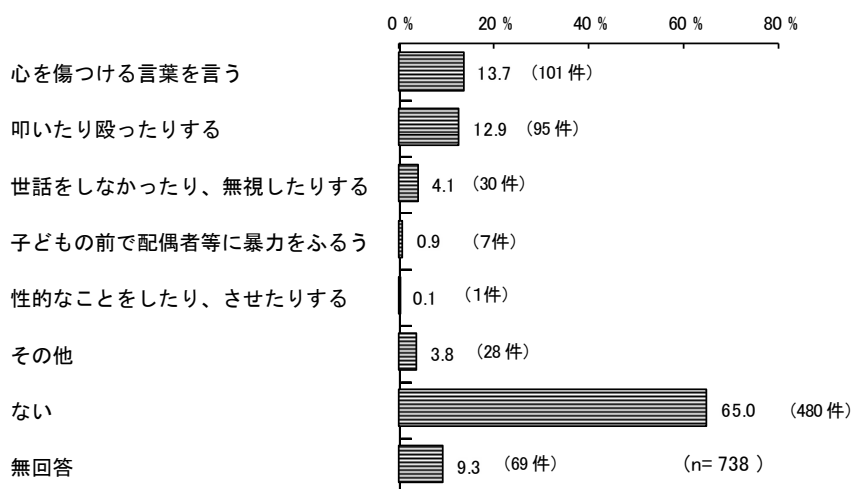
■子どもとの外出時に気になること（3つまでに○）



問49 あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。

「ない」が最も多く65.0%となっています。したことがあるでは「心を傷つける言葉を言う」が最も多く13.7%、次いで「叩いたり殴ったりする」が12.9%、「世話をしなかったり、無視したりする」が4.1%となっています。

■子どもにしたことがあること（複数回答）

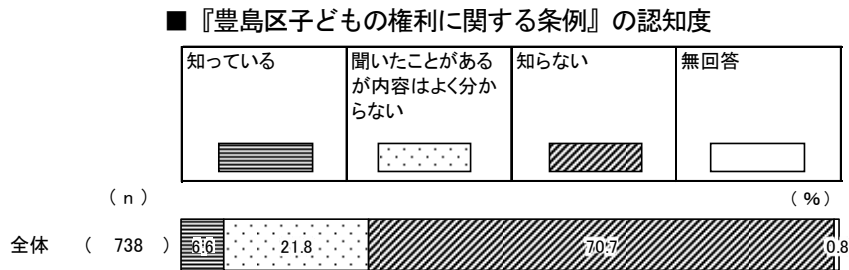




12 『子どもの権利条例』や豊島区のことについて

問50 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知らない」が最も多く70.7%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が21.8%、「知っている」が6.6%となっています。

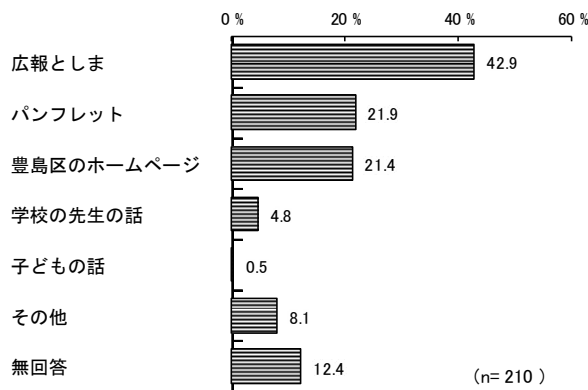


【問50で『豊島区子どもの権利に関する条例』について「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問50-1 どのように知りましたか。

「広報としま」が最も多く42.9%、次いで「パンフレット」が21.9%、「豊島区のホームページ」が21.4%となっています。

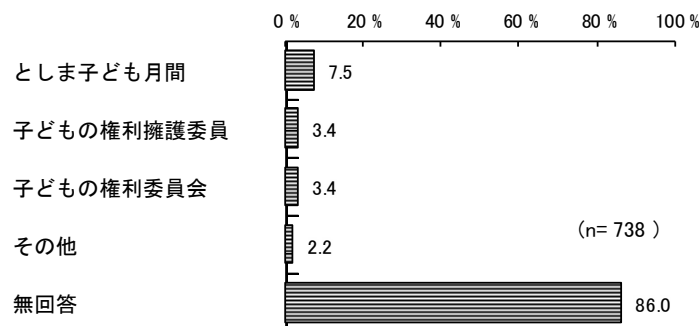
■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問51 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

「としま子ども月間」が7.5%、「子どもの権利擁護委員」「子どもの権利委員会」がともに3.4%となっています。

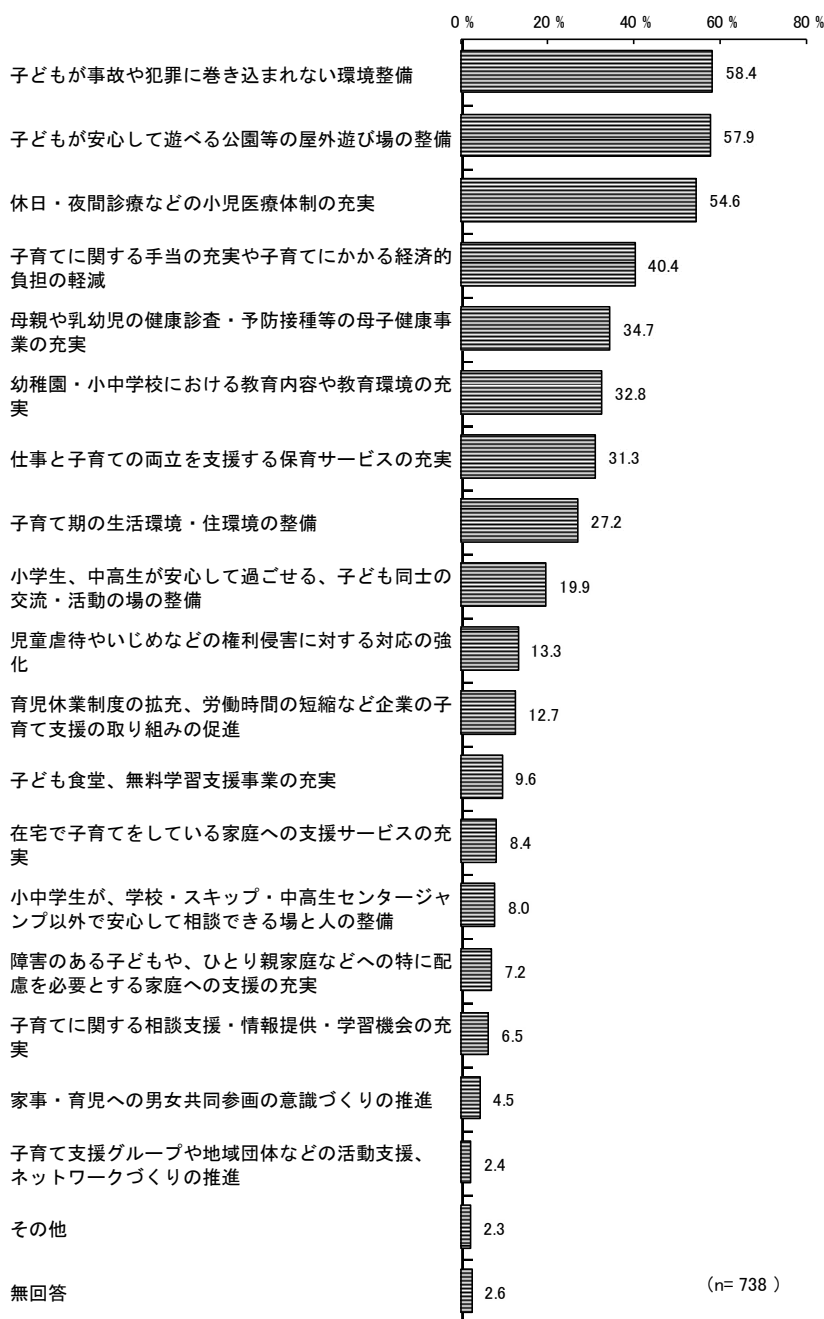
■ 子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問52 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。

「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く58.4%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が57.9%、「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」が54.6%、「子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減」が40.4%、「母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実」が34.7%となっています。

■子育て支援・施策について望むこと（5つまでに○）



【子どもの年齢別】

“0歳”“2歳”“4歳”は「子どもが安心して遊べる公園等の野外遊び場の整備」、 “1歳”は「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」、 “3歳”“5歳”は「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    | 回答者数 | 母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実 | 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実 | 子育て期の生活環境・住環境の整備 | 子どもが安心して遊べる公園等の野外遊び場の整備 | 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備 | 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実 | 小学生・中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備 | 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減 | 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実 | 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実 |
|----|------|-----------------------------|---------------------|------------------|-------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------------------------|------------------------------|--------------------------|---|
| 全体 | 738  | 34.7                        | 54.6                | 27.2             | 57.9                    | 58.4                  | 32.8                     | 19.9                              | 40.4                         | 8.4                      | 7.2                                     |
| 0歳 | 131  | 38.9                        | 53.4                | 27.5             | 58.0                    | 55.0                  | 26.0                     | 13.7                              | 43.5                         | 13.0                     | 8.4                                     |
| 1歳 | 127  | 38.6                        | 68.5                | 29.1             | 59.8                    | 55.1                  | 33.9                     | 15.7                              | 44.9                         | 10.2                     | 7.1                                     |
| 2歳 | 129  | 39.5                        | 51.9                | 24.8             | 56.6                    | 54.3                  | 26.4                     | 24.0                              | 42.6                         | 8.5                      | 6.2                                     |
| 3歳 | 115  | 29.6                        | 47.8                | 28.7             | 60.0                    | 64.3                  | 36.5                     | 20.0                              | 38.3                         | 7.0                      | 7.8                                     |
| 4歳 | 114  | 26.3                        | 57.9                | 26.3             | 62.3                    | 61.4                  | 39.5                     | 21.9                              | 38.6                         | 3.5                      | 7.0                                     |
| 5歳 | 110  | 32.7                        | 47.3                | 23.6             | 50.9                    | 62.7                  | 34.5                     | 25.5                              | 32.7                         | 7.3                      | 7.3                                     |

|    | 子育てに関する相談支援・情報提供学習機会の充実 | 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実 | 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進 | 家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進 | 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進 | 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化 | 小中学生が、学校・スキップ・中高生センター・ジャンプ以外で安心して相談できる場と人の整備 | 子ども食堂、無料学習支援事業の充実 | その他 | 無回答 |
|----|-------------------------|-------------------------|-------------------------------------|------------------------|------------------------------------|--------------------------|--|-------------------|-----|-----|
| 全体 | 6.5                     | 31.3                    | 12.7                                | 4.5                    | 2.4                                | 13.3                     | 8.0  | 9.6               | 2.3 | 2.6 |
| 0歳 | 8.4                     | 33.6                    | 25.2                                | 6.9                    | 4.6                                | 9.9                      | 2.3  | 3.1               | 3.1 | 1.5 |
| 1歳 | 5.5                     | 26.8                    | 15.0                                | 5.5                    | 0.8                                | 10.2                     | 7.1  | 8.7               | 0.8 | 3.1 |
| 2歳 | 4.7                     | 42.6                    | 9.3                                 | 3.1                    | 0.8                                | 10.9                     | 3.1  | 11.6              | 3.9 | 3.9 |
| 3歳 | 7.8                     | 32.2                    | 10.4                                | 3.5                    | 3.5                                | 13.0                     | 12.2   | 13.0              | 3.5 | 0.9 |
| 4歳 | 5.3                     | 30.7                    | 7.9                                 | 4.4                    | 2.6                                | 15.8                     | 12.3   | 13.2              | 2.6 | 1.8 |
| 5歳 | 6.4                     | 22.7                    | 8.2                                 | 3.6                    | 2.7                                | 20.0                     | 11.8   | 8.2               | —   | 3.6 |

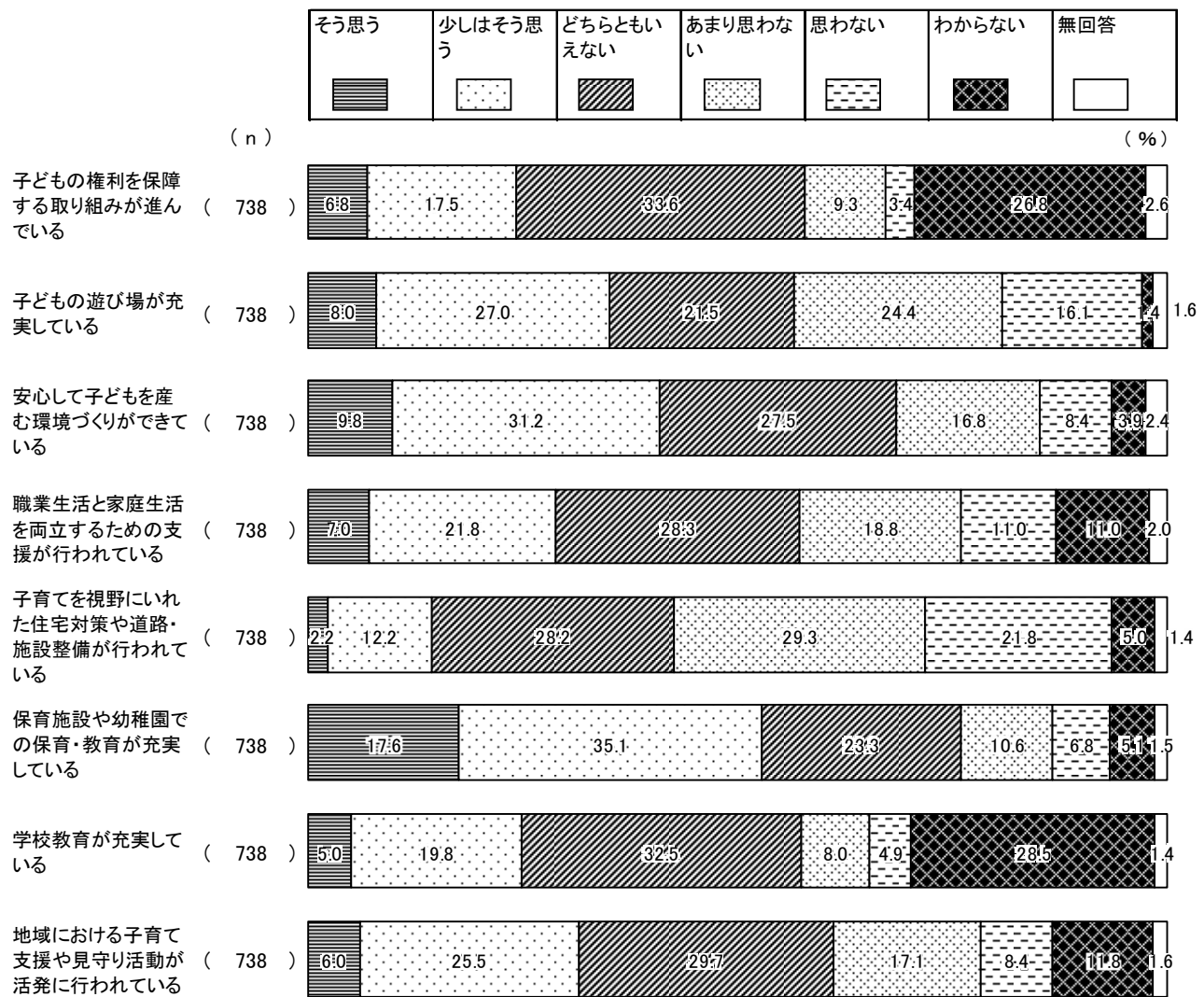
問53 あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにお答えください。

『思う』(そう思う+少しはそう思う)は、“保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している”が最も多く52.7%、次いで“安心して子どもを産む環境づくりができています”が41.0%、“子どもの遊び場が充実している”が35.0%となっています。

『思わない』(あまり思わない+思わない)は“子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている”が最も多く51.1%、“子どもの遊び場が充実している”が40.5%、“職業生活と家庭生活を両立するための支援が行われている”が29.8%となっています。

“子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる” “学校教育が充実している”は、他の項目と比べて「わからない」が多くなっています。

■豊島区の子育て環境について



【子どもの年齢別・地区別】

①子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる

子どもの年齢別にみると、“5歳”は「わからない」、他の年齢は「どちらともいえない」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    |      | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらとも<br>いえない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|----|------|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|-----|
| 全体 |      | 738  | 6.8  | 17.5        | 33.6          | 9.3         | 3.4  | 26.8  | 2.6 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 6.9  | 23.7        | 31.3          | 6.9         | 3.1  | 25.2  | 3.1 |
|    | 1歳   | 127  | 7.9  | 12.6        | 36.2          | 6.3         | 2.4  | 29.9  | 4.7 |
|    | 2歳   | 129  | 9.3  | 18.6        | 28.7          | 10.1        | 2.3  | 27.9  | 3.1 |
|    | 3歳   | 115  | 7.0  | 14.8        | 40.0          | 8.7         | 4.3  | 23.5  | 1.7 |
|    | 4歳   | 114  | 4.4  | 21.1        | 36.0          | 14.9        | 4.4  | 17.5  | 1.8 |
|    | 5歳   | 110  | 5.5  | 13.6        | 28.2          | 10.0        | 4.5  | 37.3  | 0.9 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 5.3  | 17.6        | 32.2          | 9.8         | 3.0  | 29.2  | 2.8 |
|    | 西部地域 | 340  | 8.5  | 17.4        | 35.3          | 8.8         | 3.5  | 24.1  | 2.4 |

②子どもの遊び場が充実している

子どもの年齢別にみると、“0歳”～“2歳”は「少しはそう思う」、「3歳」「4歳」は「あまり思わない」「5歳」は「思わない」が最も多くなっています。（“2歳”は「あまり思わない」も同率）

地区別にみると、“東部地域”は「どちらともいえない」、「西部地域」は「少しはそう思う」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    |      | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらとも<br>いえない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|----|------|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|-----|
| 全体 |      | 738  | 8.0  | 27.0        | 21.5          | 24.4        | 16.1 | 1.4   | 1.6 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 11.5 | 34.4        | 23.7          | 15.3        | 13.0 | 1.5   | 0.8 |
|    | 1歳   | 127  | 8.7  | 29.9        | 25.2          | 22.0        | 8.7  | 1.6   | 3.9 |
|    | 2歳   | 129  | 9.3  | 29.5        | 15.5          | 29.5        | 12.4 | 1.6   | 2.3 |
|    | 3歳   | 115  | 7.8  | 21.7        | 23.5          | 28.7        | 16.5 | 0.9   | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 3.5  | 23.7        | 21.1          | 28.1        | 21.9 | 0.9   | 0.9 |
|    | 5歳   | 110  | 7.3  | 20.9        | 21.8          | 22.7        | 24.5 | 1.8   | 0.9 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 8.6  | 22.4        | 23.9          | 23.4        | 17.9 | 2.0   | 1.8 |
|    | 西部地域 | 340  | 7.4  | 32.4        | 18.8          | 25.3        | 14.1 | 0.6   | 1.5 |

③安心して子どもを産む環境づくりができています

子どもの年齢別にみると、“0歳”“1歳”“4歳”は「少しはそう思う」、「2歳」「3歳」「5歳」は「どちらともいえない」が最も多くなっています。

地区別にみると、“東部地域”“西部地域”ともに「少しはそう思う」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    |      | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらとも<br>いえない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|----|------|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|-----|
| 全体 |      | 738  | 9.8  | 31.2        | 27.5          | 16.8        | 8.4  | 3.9   | 2.4 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 13.0 | 36.6        | 26.7          | 14.5        | 6.1  | 1.5   | 1.5 |
|    | 1歳   | 127  | 10.2 | 37.0        | 25.2          | 15.7        | 4.7  | 3.1   | 3.9 |
|    | 2歳   | 129  | 13.2 | 27.9        | 28.7          | 15.5        | 7.8  | 4.7   | 2.3 |
|    | 3歳   | 115  | 10.4 | 27.8        | 28.7          | 16.5        | 12.2 | 2.6   | 1.7 |
|    | 4歳   | 114  | 3.5  | 34.2        | 25.4          | 21.1        | 9.6  | 5.3   | 0.9 |
|    | 5歳   | 110  | 8.2  | 22.7        | 30.0          | 19.1        | 10.0 | 6.4   | 3.6 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 9.1  | 32.5        | 25.9          | 15.6        | 8.8  | 5.8   | 2.3 |
|    | 西部地域 | 340  | 10.6 | 29.7        | 29.4          | 17.9        | 7.9  | 1.8   | 2.6 |

第3章 調査結果  
I 就学前児童の保護者

④職業生活と家庭生活を両立するための支援が行われている

すべての“年齢”“地区”で「どちらともいえない」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    |      | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらともい<br>えない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|----|------|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|-----|
| 全体 |      | 738  | 7.0  | 21.8        | 28.3          | 18.8        | 11.0 | 11.0  | 2.0 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 9.9  | 23.7        | 32.8          | 16.0        | 9.2  | 8.4   | —   |
|    | 1歳   | 127  | 6.3  | 23.6        | 27.6          | 17.3        | 8.7  | 11.0  | 5.5 |
|    | 2歳   | 129  | 10.9 | 21.7        | 24.8          | 18.6        | 9.3  | 12.4  | 2.3 |
|    | 3歳   | 115  | 7.8  | 19.1        | 28.7          | 23.5        | 13.0 | 7.0   | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 0.9  | 23.7        | 28.1          | 20.2        | 14.0 | 11.4  | 1.8 |
|    | 5歳   | 110  | 6.4  | 19.1        | 25.5          | 19.1        | 13.6 | 14.5  | 1.8 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 5.0  | 21.4        | 29.7          | 17.9        | 11.6 | 12.3  | 2.0 |
|    | 西部地域 | 340  | 9.4  | 22.4        | 26.8          | 19.7        | 10.3 | 9.4   | 2.1 |

⑤子育てを視野に入れた住宅対策や道路・施設整備が行われている

子どもの年齢別にみると、“0歳”“1歳”は「どちらともいえない」、その他の年齢では「あまり思わない」が最も多くなっています。“2歳”では「思わない」も最も多くなっています。

地区別にみると、“東部地域”は「あまり思わない」、「西部地域」は「どちらともいえない」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    |      | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらともい<br>えない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|----|------|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|-----|
| 全体 |      | 738  | 2.2  | 12.2        | 28.2          | 29.3        | 21.8 | 5.0   | 1.4 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 2.3  | 14.5        | 32.1          | 25.2        | 20.6 | 5.3   | —   |
|    | 1歳   | 127  | 3.9  | 9.4         | 30.7          | 27.6        | 17.3 | 7.1   | 3.9 |
|    | 2歳   | 129  | 1.6  | 14.7        | 25.6          | 26.4        | 26.4 | 3.9   | 1.6 |
|    | 3歳   | 115  | 0.9  | 8.7         | 31.3          | 33.9        | 21.7 | 2.6   | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 0.9  | 14.0        | 21.1          | 35.1        | 23.7 | 4.4   | 0.9 |
|    | 5歳   | 110  | 3.6  | 10.0        | 25.5          | 30.9        | 22.7 | 6.4   | 0.9 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 2.3  | 10.1        | 27.5          | 29.7        | 23.7 | 5.5   | 1.3 |
|    | 西部地域 | 340  | 2.1  | 14.7        | 29.1          | 28.5        | 19.7 | 4.4   | 1.5 |

⑥保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している

すべての“年齢”“地区”で「少しはそう思う」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    |      | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらともい<br>えない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答 |
|----|------|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|-----|
| 全体 |      | 738  | 17.6 | 35.1        | 23.3          | 10.6        | 6.8  | 5.1   | 1.5 |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 16.8 | 36.6        | 24.4          | 11.5        | 4.6  | 6.1   | —   |
|    | 1歳   | 127  | 22.0 | 36.2        | 20.5          | 11.0        | 1.6  | 4.7   | 3.9 |
|    | 2歳   | 129  | 19.4 | 34.9        | 20.9          | 7.8         | 6.2  | 9.3   | 1.6 |
|    | 3歳   | 115  | 21.7 | 32.2        | 22.6          | 13.9        | 7.8  | 0.9   | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 9.6  | 41.2        | 22.8          | 8.8         | 13.2 | 3.5   | 0.9 |
|    | 5歳   | 110  | 17.3 | 30.0        | 27.3          | 10.9        | 9.1  | 3.6   | 1.8 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 15.4 | 33.8        | 24.7          | 11.3        | 7.1  | 6.0   | 1.8 |
|    | 西部地域 | 340  | 20.3 | 36.8        | 21.5          | 9.7         | 6.5  | 4.1   | 1.2 |

⑦学校教育が充実している

子どもの年齢別にみると、「2歳」は「わからない」、他の年齢は「どちらともいえない」が最も多くなっています。

地区別にみると、「東部地域」「西部地域」ともに「どちらともいえない」が最も多くなっています。

(単位:%)

|    | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらともい<br>えない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答  |     |
|----|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|------|-----|
| 全体 | 738  | 5.0  | 19.8        | 32.5          | 8.0         | 4.9  | 28.5  | 1.4  |     |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 2.3         | 14.5          | 42.7        | 6.9  | 3.1   | 30.5 | —   |
|    | 1歳   | 127  | 5.5         | 14.2          | 36.2        | 6.3  | 2.4   | 31.5 | 3.9 |
|    | 2歳   | 129  | 7.0         | 18.6          | 24.0        | 7.0  | 4.7   | 37.2 | 1.6 |
|    | 3歳   | 115  | 3.5         | 21.7          | 27.8        | 13.9 | 7.0   | 25.2 | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 5.3         | 25.4          | 34.2        | 7.9  | 4.4   | 21.9 | 0.9 |
|    | 5歳   | 110  | 7.3         | 24.5          | 30.0        | 6.4  | 8.2   | 22.7 | 0.9 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 4.8         | 18.9          | 32.0        | 8.8  | 5.3   | 29.0 | 1.3 |
|    | 西部地域 | 340  | 5.3         | 20.9          | 32.9        | 7.1  | 4.4   | 27.9 | 1.5 |

⑧地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている

子どもの年齢別にみると、「2歳」は「少しはそう思う」、他の年齢は「どちらともいえない」が最も多くなっています。

地区別にみると、「東部地域」「西部地域」ともに「どちらともいえない」が最も多くなっています。

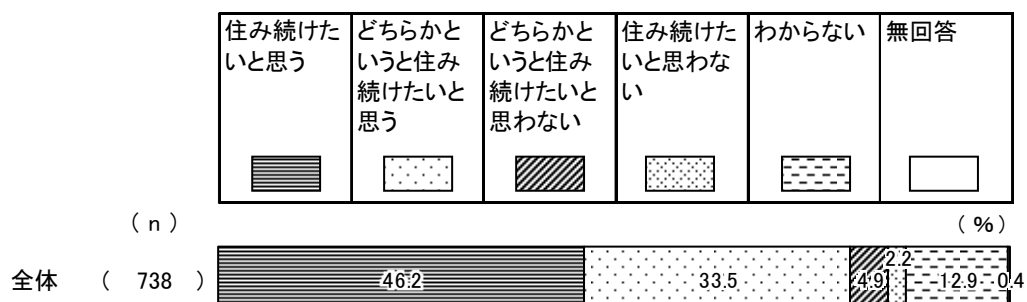
(単位:%)

|    | 回答者数 | そう思う | 少しは<br>そう思う | どちらともい<br>えない | あまり<br>思わない | 思わない | わからない | 無回答  |     |
|----|------|------|-------------|---------------|-------------|------|-------|------|-----|
| 全体 | 738  | 6.0  | 25.5        | 29.7          | 17.1        | 8.4  | 11.8  | 1.6  |     |
| 年齢 | 0歳   | 131  | 6.9         | 23.7          | 30.5        | 19.1 | 8.4   | 11.5 | —   |
|    | 1歳   | 127  | 7.1         | 26.8          | 31.5        | 14.2 | 4.7   | 11.0 | 4.7 |
|    | 2歳   | 129  | 5.4         | 27.9          | 24.8        | 20.9 | 5.4   | 14.0 | 1.6 |
|    | 3歳   | 115  | 4.3         | 23.5          | 27.8        | 17.4 | 14.8  | 11.3 | 0.9 |
|    | 4歳   | 114  | 4.4         | 28.1          | 29.8        | 15.8 | 8.8   | 11.4 | 1.8 |
|    | 5歳   | 110  | 8.2         | 23.6          | 33.6        | 14.5 | 8.2   | 10.9 | 0.9 |
| 地区 | 東部地域 | 397  | 5.3         | 24.4          | 31.2        | 16.9 | 7.6   | 13.4 | 1.3 |
|    | 西部地域 | 340  | 6.8         | 26.8          | 27.9        | 17.4 | 9.1   | 10.0 | 2.1 |

問54 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」が最も多く46.2%、次いで「どちらかというに住み続けたいと思う」が33.5%、「どちらかというに住み続けたいと思わない」が4.9%となっています。

■定住意向

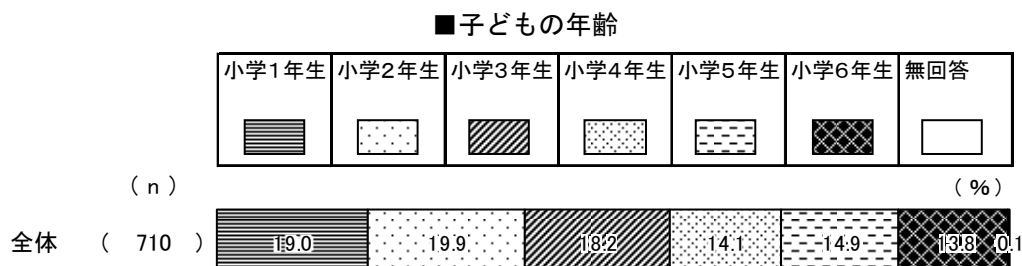


## II 小学生の保護者

### 1 お子さんご家族の状況について

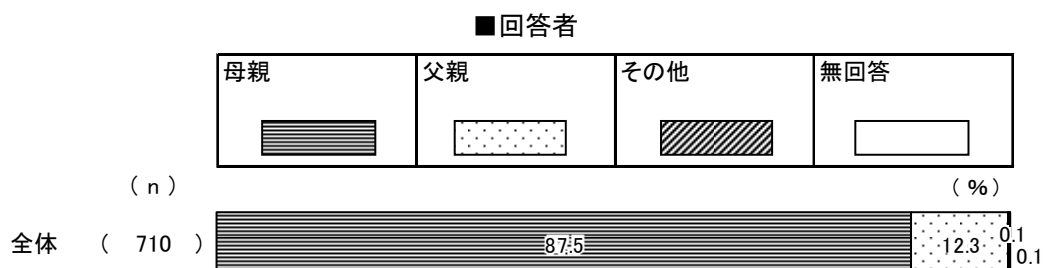
問1 あて名のお子さんは何年生ですか。

「小学2年生」が最も多く19.9%、次いで「小学1年生」が19.0%、「小学3年生」が18.2%となっています。



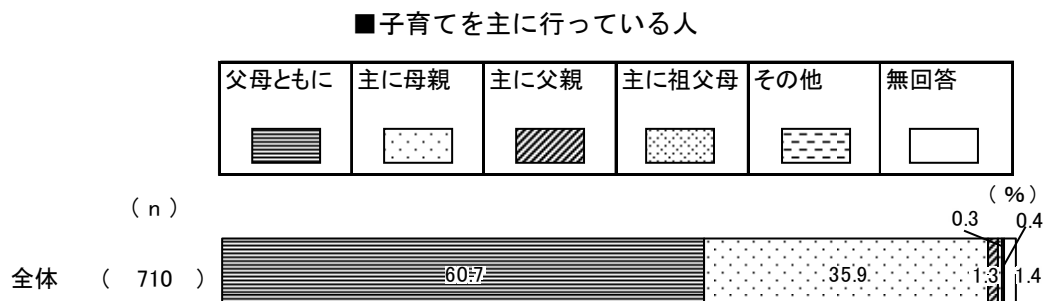
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が87.5%、「父親」が12.3%となっています。



問4 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

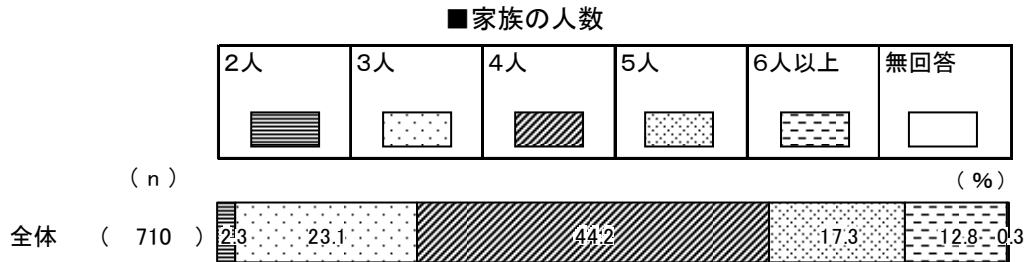
「父母ともに」が最も多く60.7%、次いで「主に母親」が35.9%、「主に父親」が1.3%となっています。





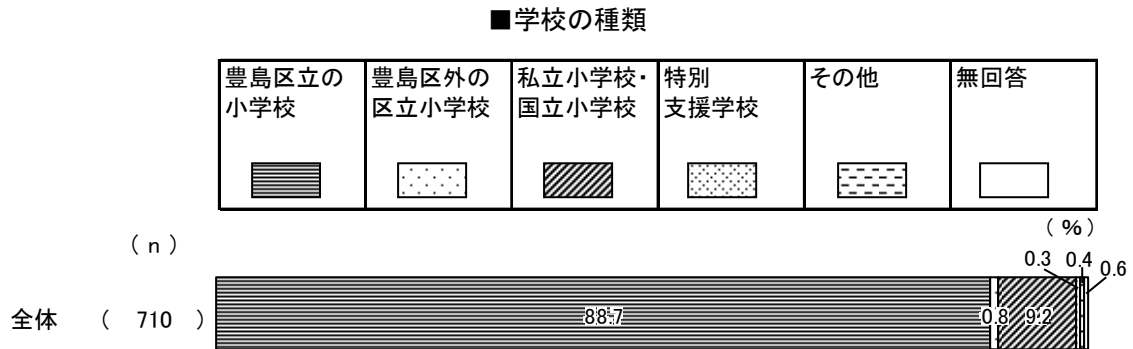
問5 あて名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなして合計人数を書いてください。

「4人」が最も多く44.2%、次いで「3人」が23.1%、「5人」が17.3%となっています。



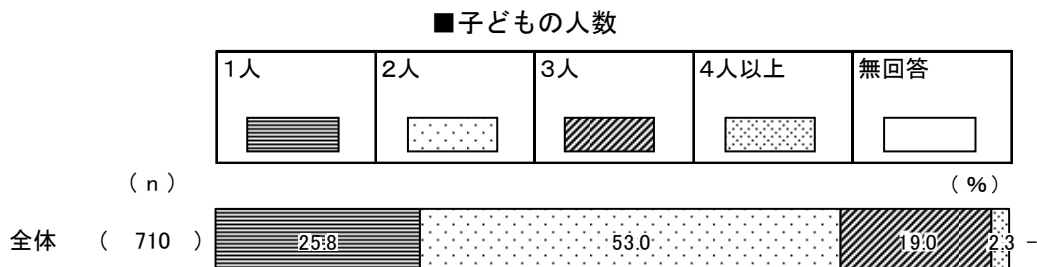
問6 あて名のお子さんが通学している小学校の種類はどれにあたりますか。

「豊島区立の小学校」が最も多く88.7%、次いで「私立小学校・国立小学校」が9.2%、「豊島区外の区立小学校」が0.8%となっています。



問7 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

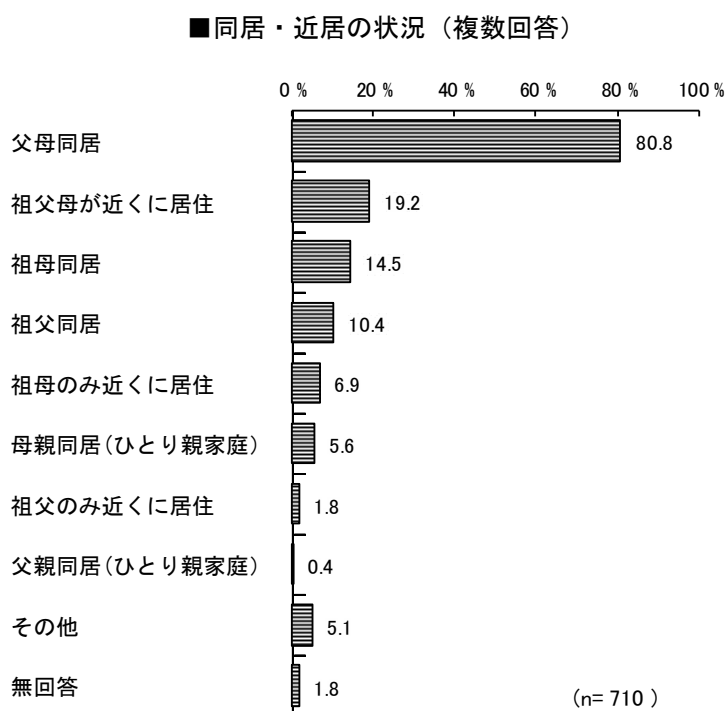
「2人」が最も多く53.0%、次いで「1人」が25.8%、「3人」が19.0%となっています。



問8 あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください（続柄はあて名のお子さんからみた関係）。

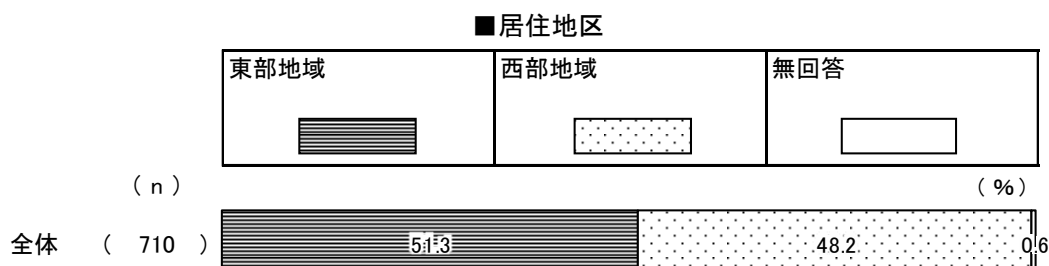
なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。（「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと）

「父母同居」が最も多く80.8%、次いで「祖父母が近くに居住」が19.2%、「祖母同居」が14.5%、「祖父同居」が10.4%となっています。



問9 お住まいのまちはどちらですか。

「東部地域」が51.3%、「西部地域」が48.2%となっています。



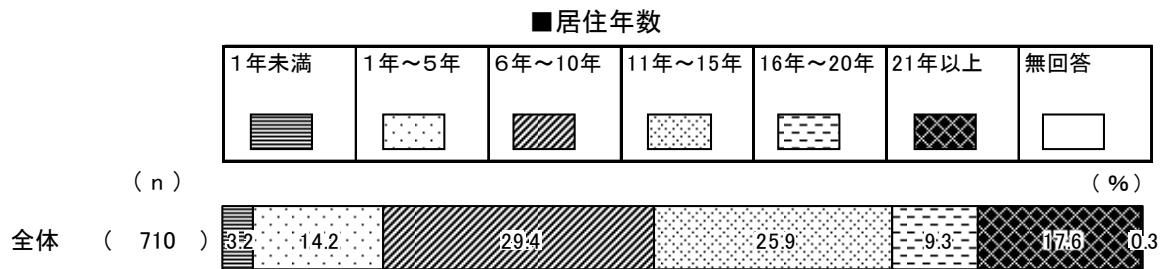
【居住地区】教育・保育提供区域による区域設定

東部地域：駒込、巣鴨、西巣鴨、北大塚、南大塚、上池袋、東池袋、南池袋、雑司が谷、高田、目白(1・2丁目)

西部地域：西池袋、池袋、池袋本町、目白(3～5丁目)、南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川

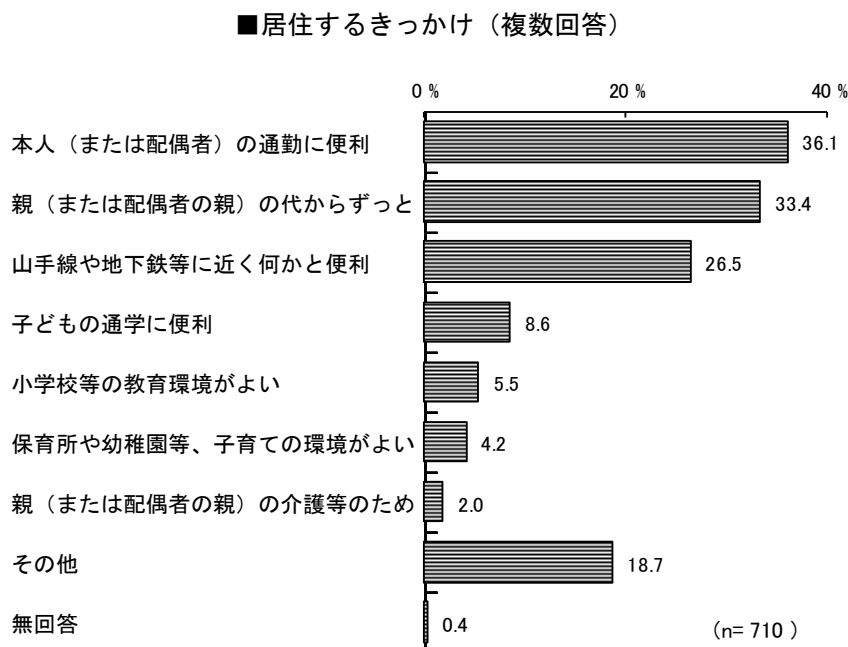
問10 豊島区に、通算何年お住まいですか。

「6年～10年」が最も多く29.4%、次いで「11年～15年」が25.9%、「21年以上」が17.6%となっています。



問11 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。

「本人（または配偶者）の通勤に便利」が最も多く36.1%、次いで「親（または配偶者の親）の代からずっと」が33.4%「山手線や地下鉄等に近く何かと便利」が26.5%となっています。



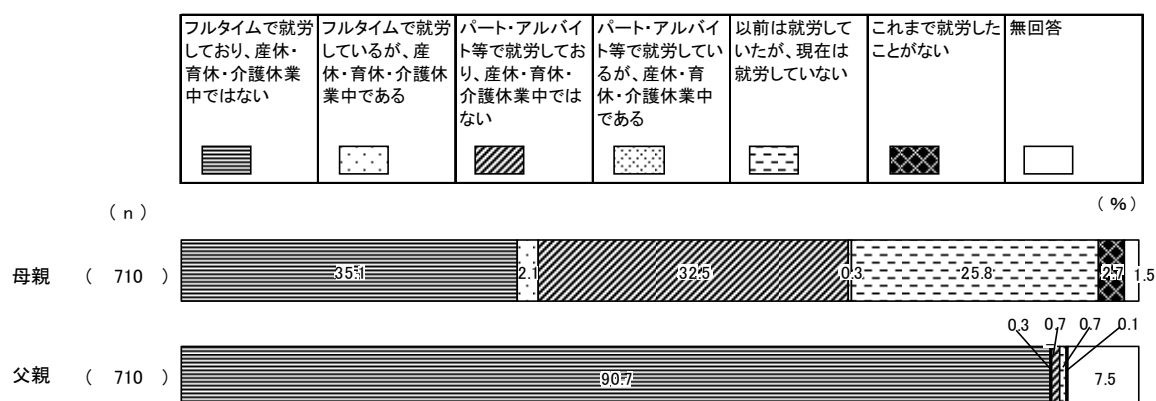
2 保護者の就労状況について

問12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く35.1%、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.8%となっています。

父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く90.7%、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.7%となっています。

■就労状況



【母親：子どもの学年別・地区別】

子どもの学年別にみると、「小学1年生」「小学2年生」は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「小学3年生」「小学4年生」「小学5年生」は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「小学6年生」は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多くなっています。

地区別にみると、「東部地域」は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「西部地域」は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。

(単位: %)

|    | 回答者数  | フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |
|----|-------|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|---------------|-----|
| 全体 | 710   | 35.1                         | 32.5                              | 25.8                  | 2.7           | 1.5 |
| 学年 | 小学1年生 | 40.7                         | 25.9                              | 24.4                  | 2.2           | 2.2 |
|    | 小学2年生 | 43.3                         | 25.5                              | 24.8                  | 1.4           | 2.1 |
|    | 小学3年生 | 33.3                         | 38.0                              | 24.8                  | 2.3           | 0.8 |
|    | 小学4年生 | 32.0                         | 33.0                              | 27.0                  | 5.0           | —   |
|    | 小学5年生 | 29.2                         | 44.3                              | 20.8                  | 3.8           | 0.9 |
|    | 小学6年生 | 27.6                         | 30.6                              | 34.7                  | 2.0           | 3.1 |
| 地区 | 東部地域  | 36.5                         | 30.8                              | 25.5                  | 3.6           | 1.9 |
|    | 西部地域  | 33.6                         | 34.5                              | 25.7                  | 1.8           | 1.2 |

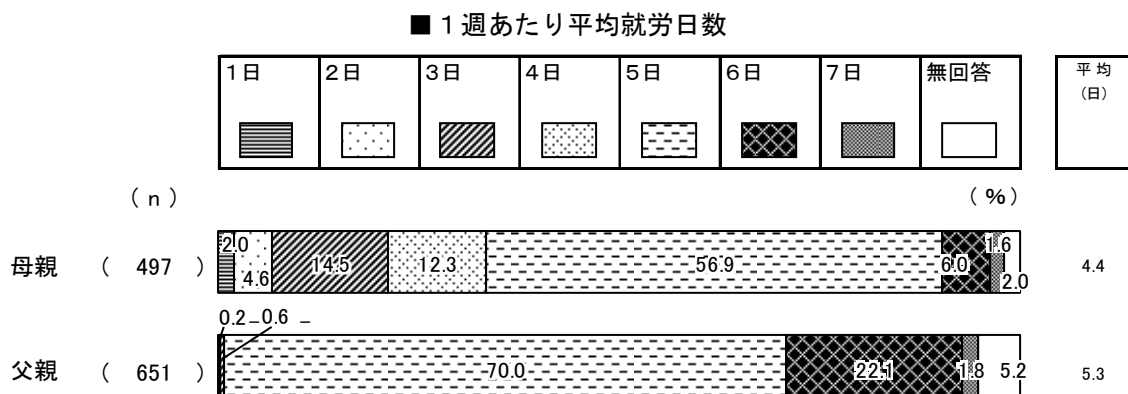
【問12の「母親」または「父親」で、フルタイムやパート・アルバイト等で就労している（産休・育休・介護休業中含む）と回答した方】

問12-1 週のおおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 1週あたり平均就労日数

母親は「5日」が最も多く56.9%、次いで「3日」が14.5%、「4日」が12.3%となっています。1週あたりの平均就労日数は4.4日となっています。

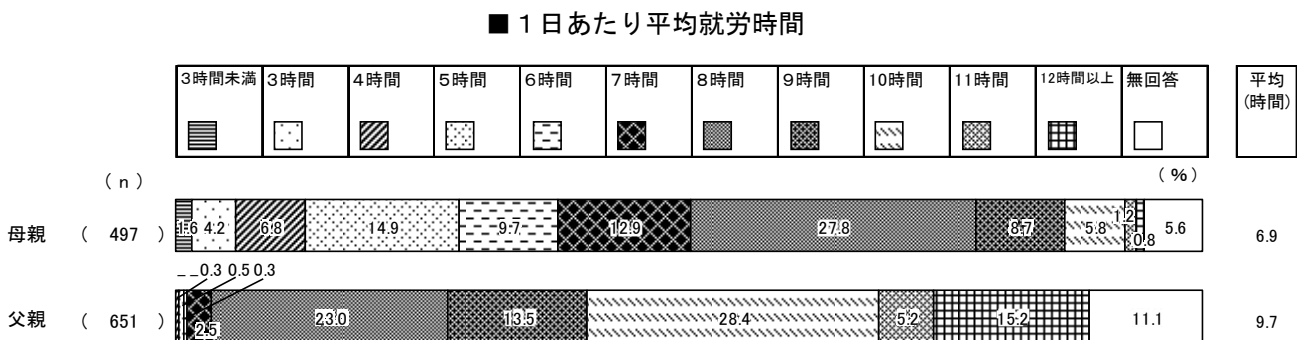
父親は「5日」が最も多く70.0%、次いで「6日」が22.1%、「7日」が1.8%となっています。1週あたりの平均就労日数は5.3日となっています。



② 1日あたり平均就労時間

母親は「8時間」が最も多く27.8%、次いで「5時間」が14.9%、「7時間」が12.9%、「6時間」が9.7%となっています。1日あたりの平均就労時間は6.9時間となっています。

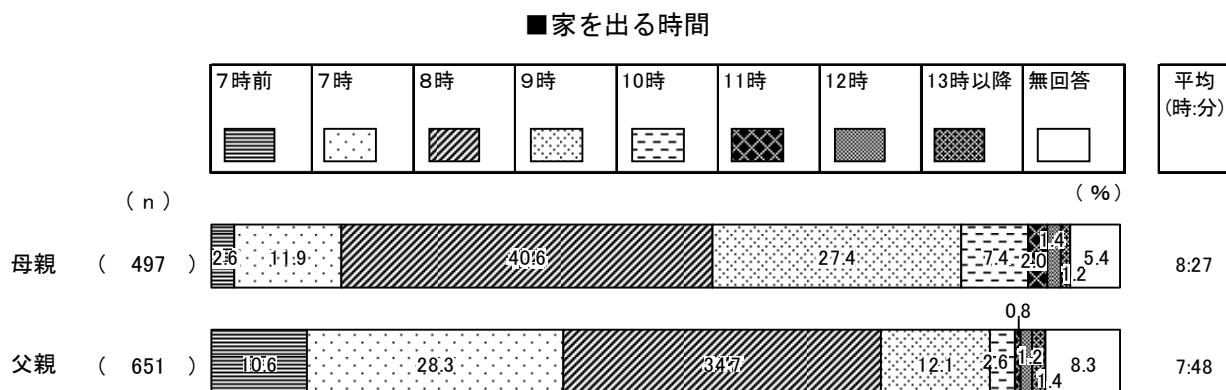
父親は「10時間」が最も多く28.4%、次いで「8時間」が23.0%、「12時間以上」が15.2%、「9時間」が13.5%となっています。1日あたりの平均就労時間は9.7時間となっています。



③家を出る時間

母親は「8時」が最も多く40.6%、次いで「9時」が27.4%、「7時」が11.9%となっています。平均時刻は8時27分となっています。

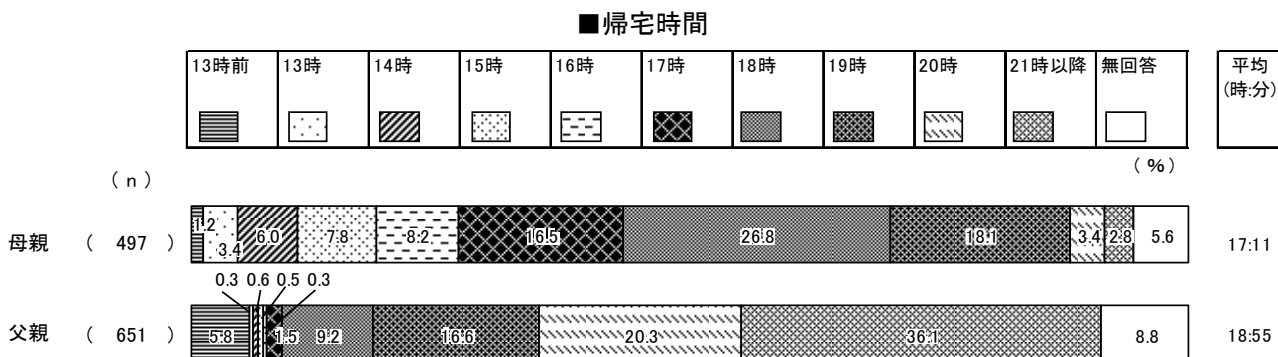
父親は「8時」が最も多く34.7%、次いで「7時」が28.3%、「9時」が12.1%となっています。平均時刻は7時48分となっています。



④帰宅時間

母親は「18時」が最も多く26.8%、次いで「19時」が18.1%、「17時」が16.5%となっています。平均帰宅時間は17時11分となっています。

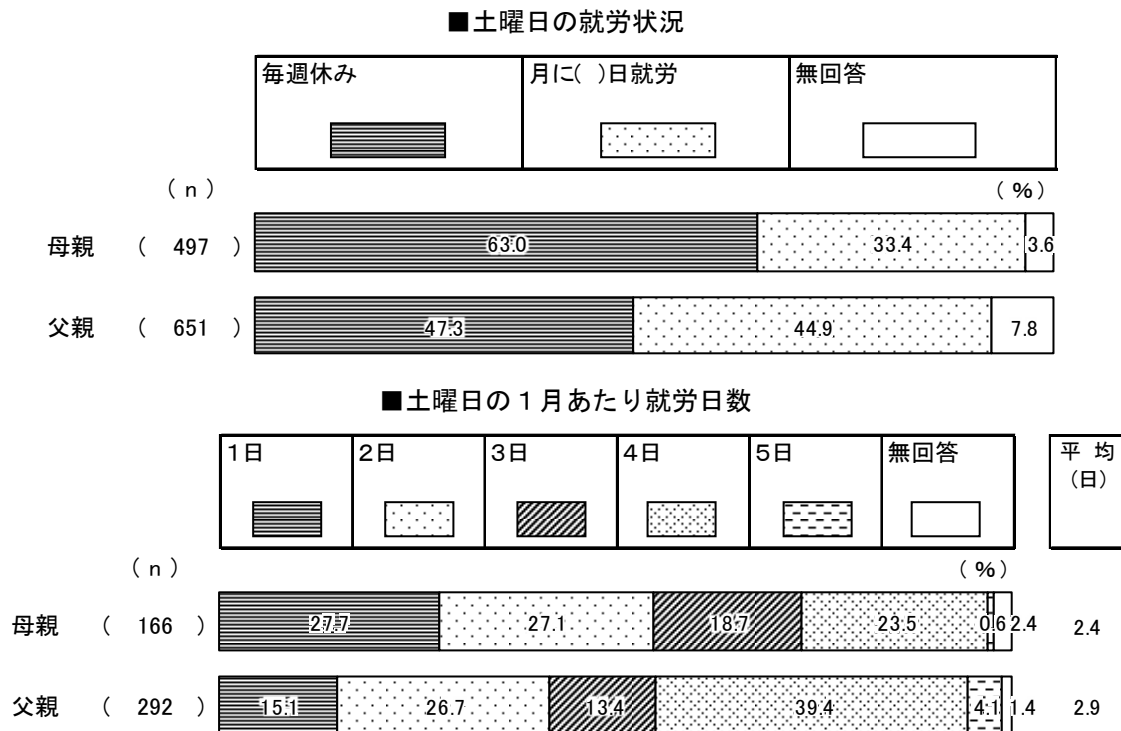
父親は「21時以降」が最も多く36.1%、次いで「20時」が20.3%、「19時」が16.6%となっています。平均帰宅時間は18時55分となっています。



⑤土曜日の就労

母親は「毎週休み」が63.0%、「月に( )日就労」が33.4%となっています。1月あたりの就労日数は「1日」が最も多く27.7%、次いで「2日」が27.1%、「4日」が23.5%となっています。平均就労日数は2.4日となっています。

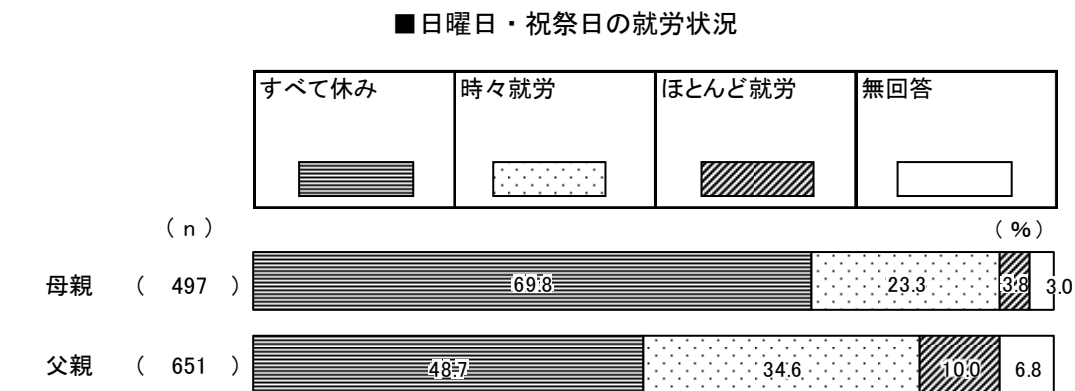
父親は「毎週休み」が47.3%、「月に( )日就労」が44.9%となっています。1月あたりの就労日数は「4日」が最も多く39.4%、次いで「2日」が26.7%、「1日」が15.1%となっています。平均就労日数は2.9日となっています。



⑥日曜日・祝祭日の就労

母親は「すべて休み」が最も多く69.8%、次いで「時々就労」が23.3%、「ほとんど就労」が3.8%となっています。

父親は「すべて休み」が最も多く48.7%、次いで「時々就労」が34.6%、「ほとんど就労」が10.0%となっています。

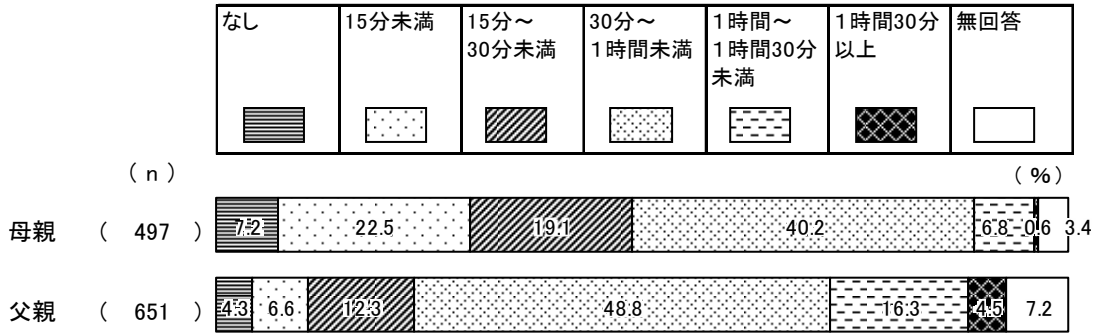


⑦通勤時間（片道）

母親は「30分～1時間未満」が最も多く40.2%、次いで「15分未満」が22.5%、「15分～30分未満」が19.1%となっています。

父親は「30分～1時間未満」が最も多く48.8%、次いで「1時間～1時間30分未満」が16.3%、「15分～30分未満」が12.3%となっています。

■通勤時間（片道）

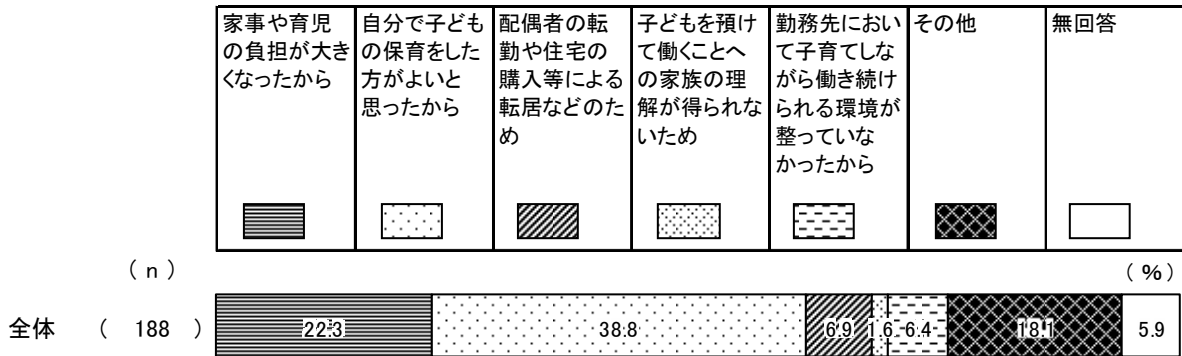


【問12の「母親」または「父親」で「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した方】

問12-2 その方（主にお子さんの身の回りの世話をしている方）が仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

「自分で子どもの保育をした方がよいと思ったから」が最も多く38.8%、次いで「家事や育児の負担が大きくなったから」が22.3%、「配偶者の転勤や住宅の購入等による転居などのため」が6.9%となっています。

■仕事を辞めた理由





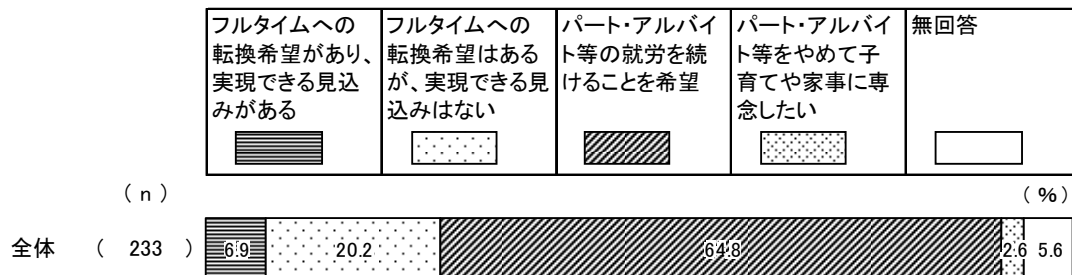
【問12の「母親」または「父親」で、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中含む）と回答した方】

問12-3 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く64.8%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.9%となっています。

父親は該当5件で「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が各2件でした。（無回答1件）

■フルタイムへの転換希望：母親



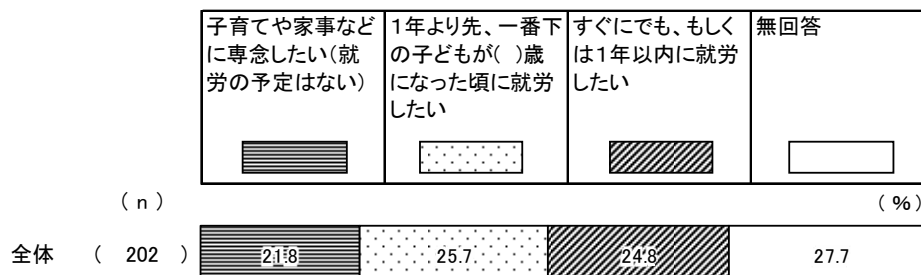
【問12の「母親」または「父親」で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方】

問12-4 就労したいという希望はありますか。

母親は「1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃に就労したい」が最も多く25.7%、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が24.8%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が21.8%となっています。

父親は該当6件で「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が3件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件でした。（無回答2件）

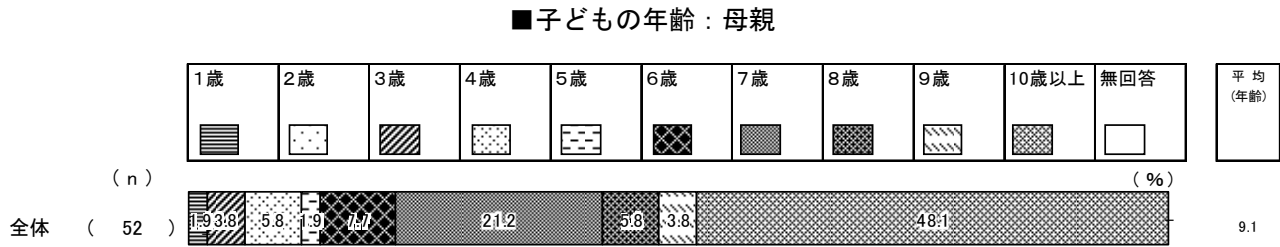
■就労希望：母親



第3章 調査結果  
II 小学生の保護者

①子どもの年齢（1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい）

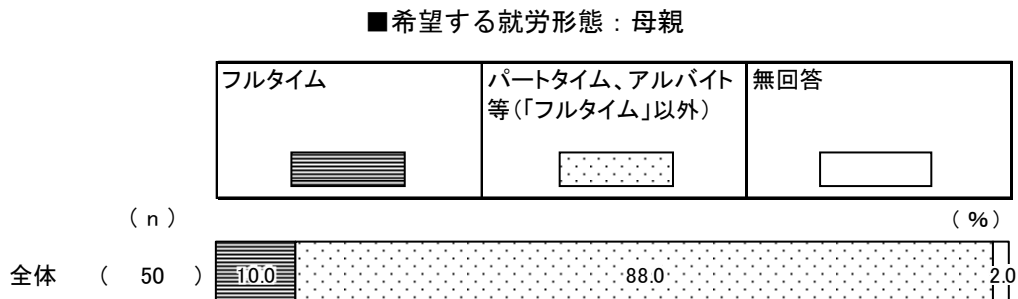
母親は「10歳以上」が最も多く48.1%、次いで「7歳」が21.2%、「6歳」が7.7%となっています。（父親は該当なし）



②希望する就労形態（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）

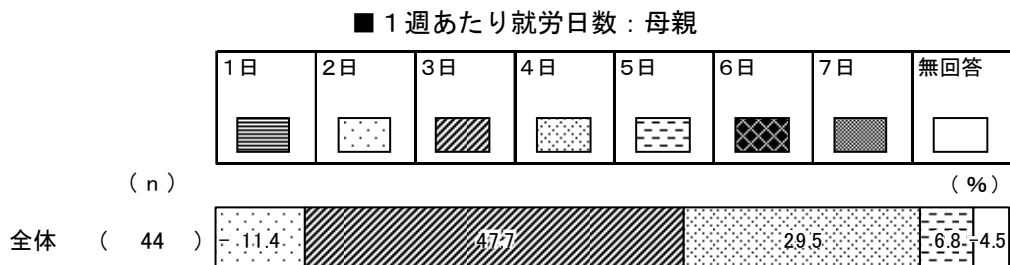
母親は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が88.0%、「フルタイム」が10.0%となっています。

父親は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が1件でした。



ア 希望する1週あたり就労日数

母親は「3日」が最も多く47.7%、次いで「4日」が29.5%、「2日」が11.4%となっています。父親は「5日」が1件でした。

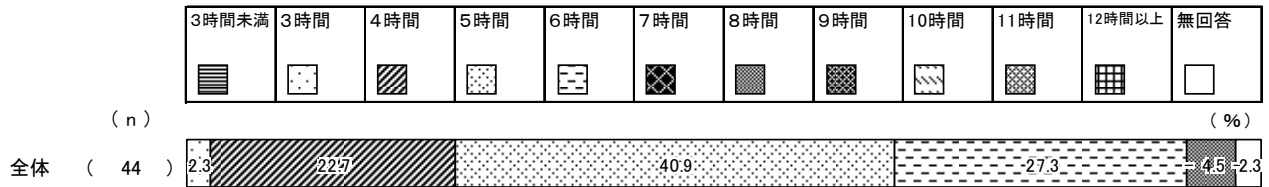


イ 希望する1日あたり就労時間

母親は「5時間」が最も多く40.9%、次いで「6時間」が27.3%、「4時間」が22.7%となっています。

父親は「6時間」が1件でした。

■ 1日あたり就労時間：母親

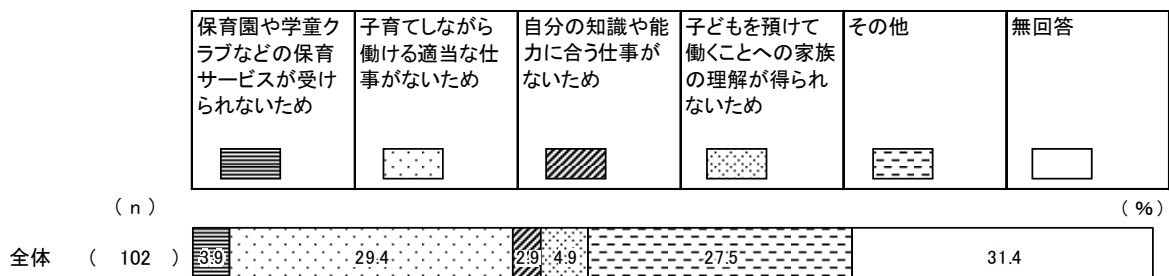


【問12-4の「母親」または「父親」で、「1年より先、一番下の子どもが( )歳になった頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方】

問12-5 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

母親は「子育てしながら働ける適当な仕事がないため」が最も多く29.4%、次いで「子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られないため」が4.9%、「保育園や学童クラブなどの保育サービスが受けられないため」が3.9%となっています。その他の回答では「今は子育てに専念したい」「体調がよくないため」「中学受験のため」などがありました。(父親は無回答1件)

■ 働いていない理由：母親



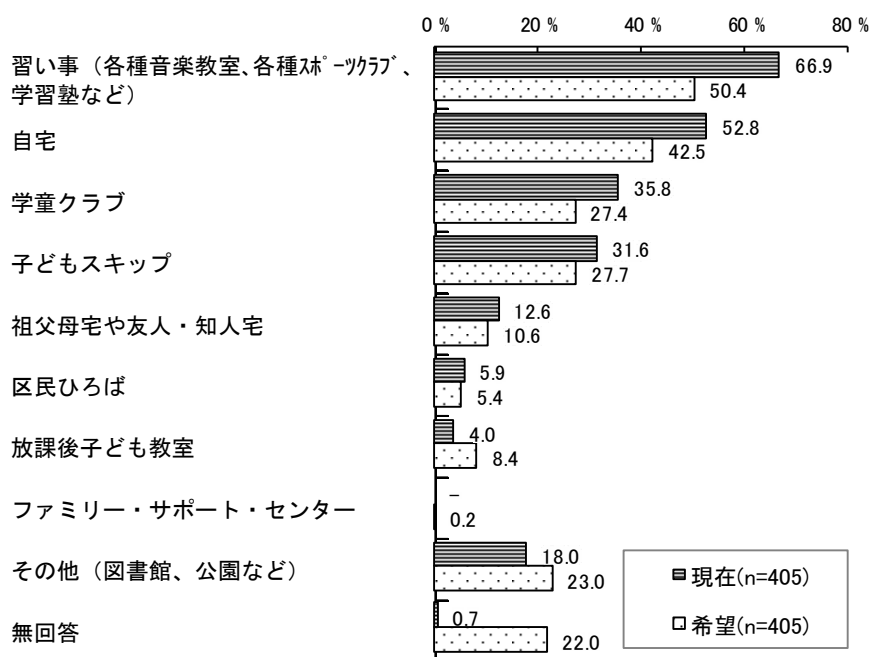
### 3 お子さんの放課後の過ごし方について

【あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方】

問13 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、小学校低学年のうちは、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

現在過ごしている場所は「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く66.9%、次いで「自宅」が52.8%、「学童クラブ」が35.8%「子どもスキップ」が31.6%となっています。過ごさせたい場所も同様の傾向となっています。

■放課後の過ごし方：低学年（複数回答）



【子どもの学年別】

現在は、学年が上がるにつれて「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が多くなっています。

希望は、すべての学年で「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く、学年が上がるにつれて「自宅」が多くなっています。

(単位：%)

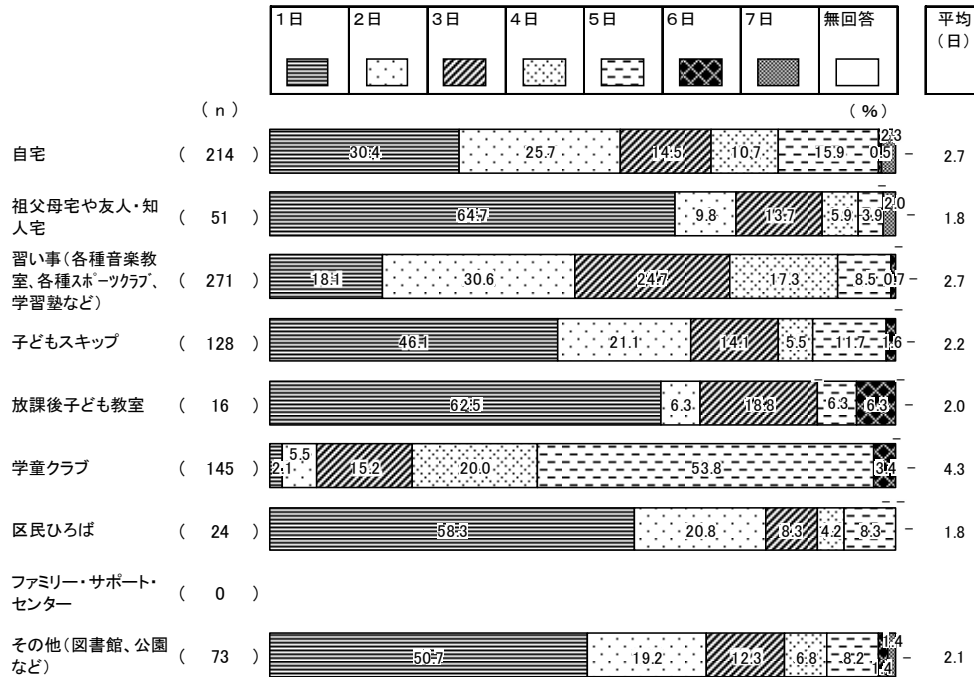
|    |       | 回答者数 | 自宅   | 祖父母宅や友人・知人宅 | 習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など） | 子どもスキップ | 放課後子ども教室 | 学童クラブ | 区民ひろば | ファミリー・サポート・センター | その他（図書館、公園など） | 無回答  |
|----|-------|------|------|-------------|-----------------------------|---------|----------|-------|-------|-----------------|---------------|------|
|    |       |      |      |             |                             |         |          |       |       |                 |               |      |
| 現在 | 全体    | 405  | 52.8 | 12.6        | 66.9                        | 31.6    | 4.0      | 35.8  | 5.9   | -               | 18.0          | 0.7  |
|    | 小学1年生 | 135  | 49.6 | 11.9        | 60.0                        | 41.5    | 4.4      | 35.6  | 3.0   | -               | 14.8          | -    |
|    | 小学2年生 | 141  | 49.6 | 12.8        | 69.5                        | 29.8    | 5.0      | 41.1  | 3.5   | -               | 17.0          | -    |
|    | 小学3年生 | 129  | 59.7 | 13.2        | 71.3                        | 23.3    | 2.3      | 30.2  | 11.6  | -               | 22.5          | 2.3  |
| 希望 | 全体    | 405  | 42.5 | 10.6        | 50.4                        | 27.7    | 8.4      | 27.4  | 5.4   | 0.2             | 23.0          | 22.0 |
|    | 小学1年生 | 135  | 34.8 | 11.9        | 48.9                        | 32.6    | 10.4     | 28.1  | 5.9   | -               | 23.0          | 23.0 |
|    | 小学2年生 | 141  | 40.4 | 9.2         | 44.7                        | 26.2    | 8.5      | 29.8  | 2.1   | 0.7             | 20.6          | 24.1 |
|    | 小学3年生 | 129  | 52.7 | 10.9        | 58.1                        | 24.0    | 6.2      | 24.0  | 8.5   | -               | 25.6          | 18.6 |

① 1週あたりの利用日数

ア 現在

“学童クラブ”は「5日」がもっとも多く5割を超えており、平均利用日数は4.3日となっています。“祖父母宅や友人・知人宅”“子どもスキップ”“放課後子ども教室”“区民ひろば”“その他（図書館、公園など）”はそれぞれ「1日」がもっとも多くなっています。

■ 1週あたり利用日数：現在

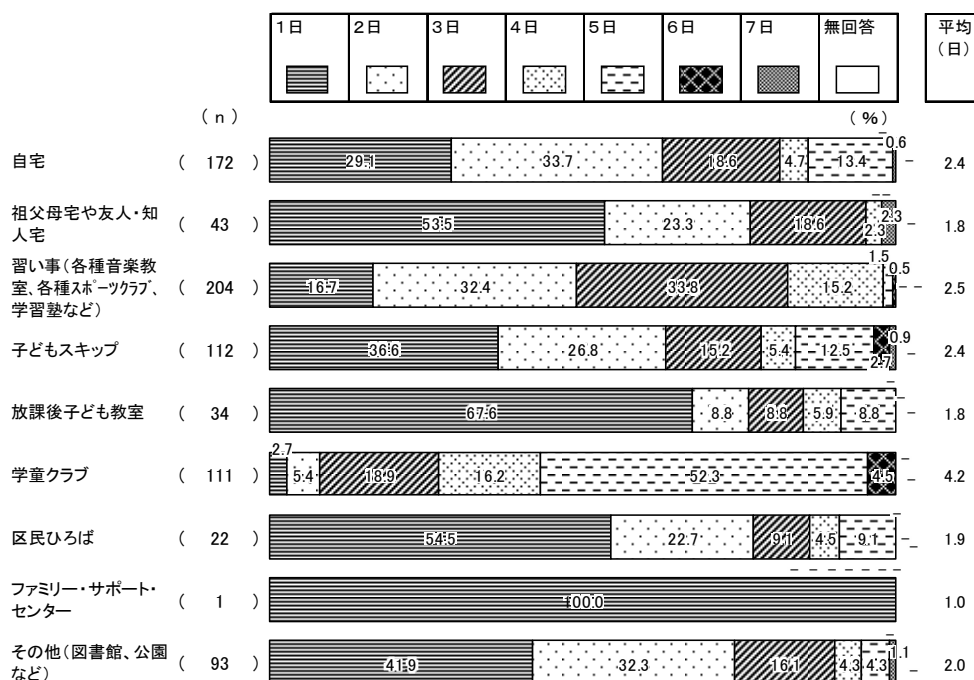


イ 希望

現在の状況と同じような傾向になっています。

“学童クラブ”の平均希望利用日数は4.2日となっています。

■ 1週あたり希望利用日数：希望



問14 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

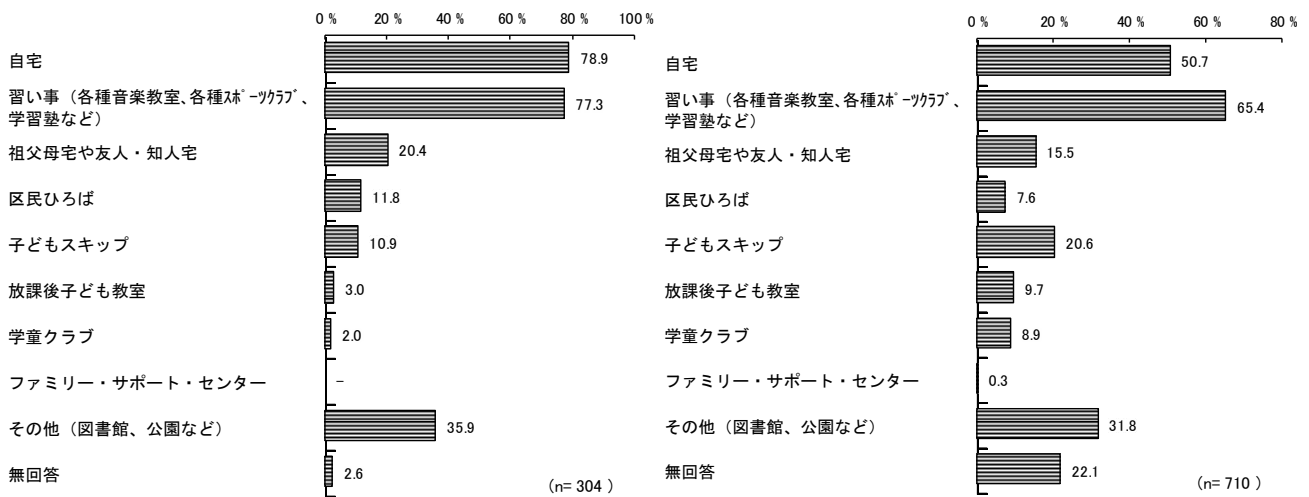
- ◎あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の方は利用状況（現在）と希望について
  - ◎あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方は高学年になった時の希望について
- あてはまるものすべてを選択し、それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。

現在の過ごし方（高学年）は「自宅」が最も多く78.9%、次いで「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が77.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が20.4%となっています。また「その他」も35.9%と多くなっています。

高学年のときの希望（低学年・高学年の合計）は、「習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）」が最も多く65.4%、次いで「自宅」が50.7%、「子どもスキップ」が20.6%となっています。また「その他」も31.8%と多くなっています。

■放課後の過ごし方：現在（高学年）  
（複数回答）

■放課後の過ごし方：希望（低学年・高学年）  
（複数回答）



【子どもの学年別：】

現在：学年が上がるにつれて「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」が少なくなっています。  
希望：高学年は低学年と比べて「自宅」が多くなっています。

(単位：%)

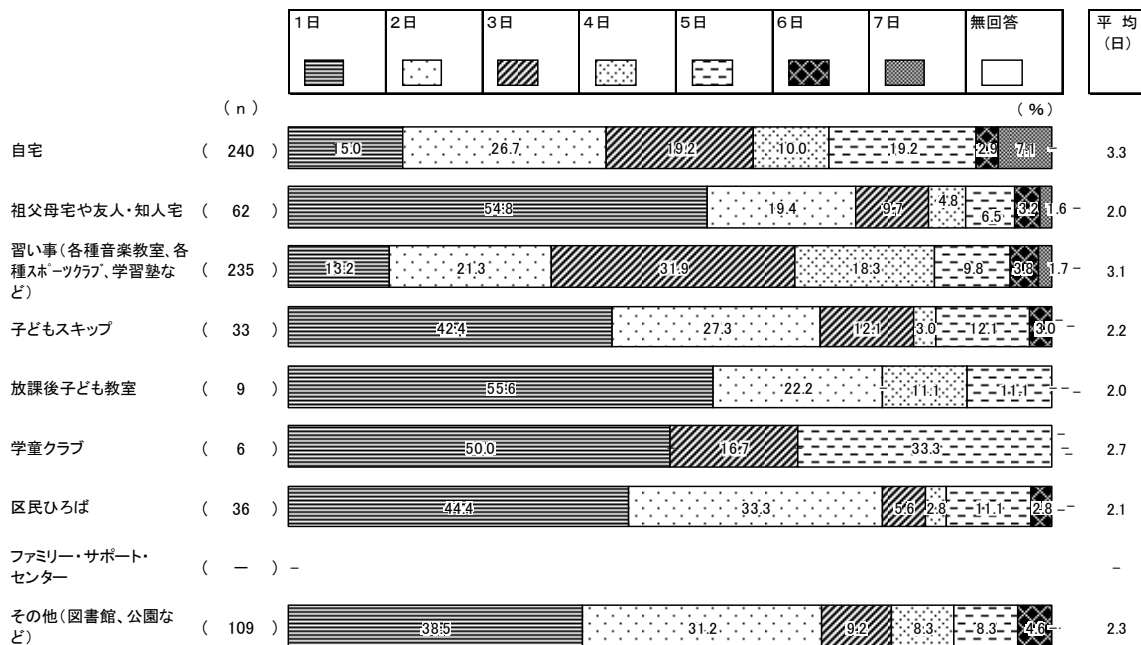
|    |       | 回答者数 | 放課後の過ごし方 |             |                             |         |          |       |       |                 |               |      |
|----|-------|------|----------|-------------|-----------------------------|---------|----------|-------|-------|-----------------|---------------|------|
|    |       |      | 自宅       | 祖父母宅や友人・知人宅 | 習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など） | 子どもスキップ | 放課後子ども教室 | 学童クラブ | 区民ひろば | ファミリー・サポート・センター | その他（図書館、公園など） | 無回答  |
| 現在 | 全体    | 304  | 78.9     | 20.4        | 77.3                        | 10.9    | 3.0      | 2.0   | 11.8  | -               | 35.9          | 2.6  |
|    | 小学4年生 | 100  | 83.0     | 24.0        | 81.0                        | 12.0    | 4.0      | 4.0   | 12.0  | -               | 40.0          | 2.0  |
|    | 小学5年生 | 106  | 79.2     | 21.7        | 70.8                        | 11.3    | 1.9      | -     | 11.3  | -               | 37.7          | 2.8  |
|    | 小学6年生 | 98   | 74.5     | 15.3        | 80.6                        | 9.2     | 3.1      | 2.0   | 12.2  | -               | 29.6          | 3.1  |
| 希望 | 全体    | 710  | 50.7     | 15.5        | 65.4                        | 20.6    | 9.7      | 8.9   | 7.6   | 0.3             | 31.8          | 22.1 |
|    | 小学1年生 | 135  | 41.5     | 14.1        | 66.7                        | 28.1    | 11.9     | 17.0  | 4.4   | -               | 23.7          | 24.4 |
|    | 小学2年生 | 141  | 43.3     | 9.9         | 65.2                        | 22.7    | 12.1     | 11.3  | 3.5   | 0.7             | 26.2          | 24.1 |
|    | 小学3年生 | 129  | 53.5     | 12.4        | 69.8                        | 21.7    | 5.4      | 14.0  | 9.3   | -               | 31.8          | 14.0 |
|    | 小学4年生 | 100  | 60.0     | 23.0        | 67.0                        | 23.0    | 11.0     | 5.0   | 11.0  | -               | 38.0          | 21.0 |
|    | 小学5年生 | 106  | 59.4     | 19.8        | 60.4                        | 15.1    | 5.7      | 0.9   | 8.5   | -               | 41.5          | 23.6 |
|    | 小学6年生 | 98   | 52.0     | 17.3        | 62.2                        | 9.2     | 12.2     | -     | 11.2  | 1.0             | 34.7          | 25.5 |

① 1週あたりの利用日数

ア 現在（高学年）

“自宅”が最も多く、平均利用日数は3.3日となっています。“習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）”の平均利用日数は3.1日、“学童クラブ”の平均利用日数は2.7日となっています。

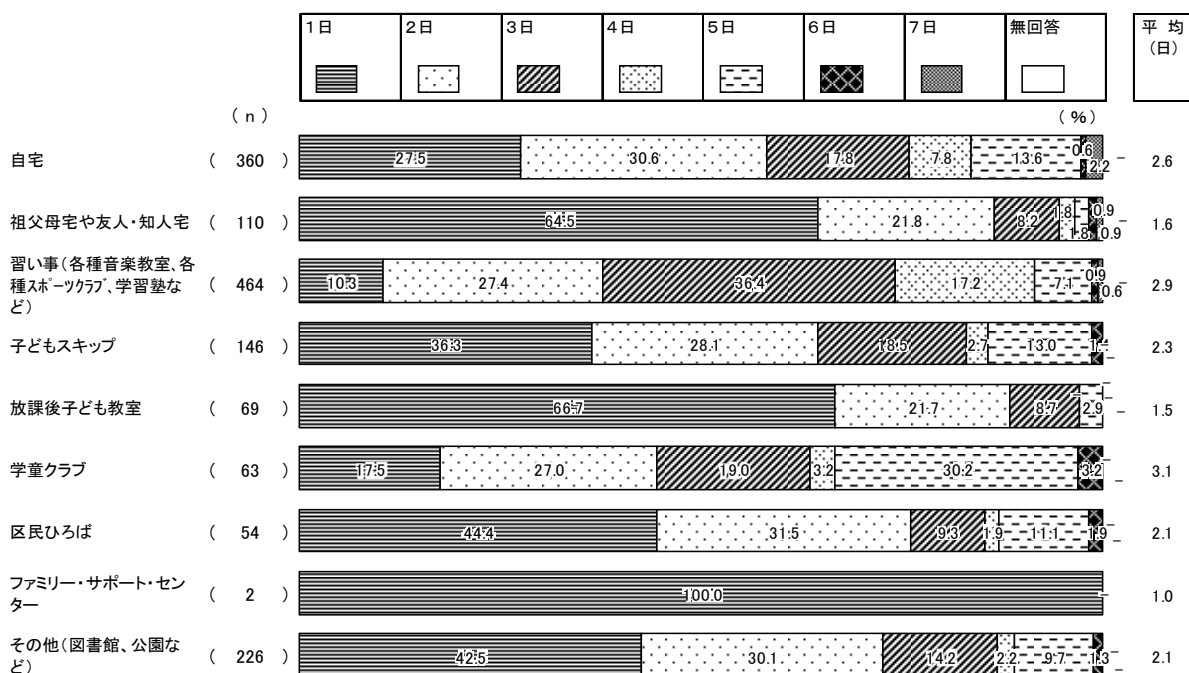
■ 1週あたり利用日数：現在・高学年



イ 希望（低学年・高学年）

“学童クラブ”で「5日」が多く30.2%、平均希望利用日数は3.1日となっています。“習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）”や“自宅”の平均希望利用日数は、それぞれ2.9日、2.6日となっています。

■ 1週あたり希望利用日数：希望（低学年・高学年）

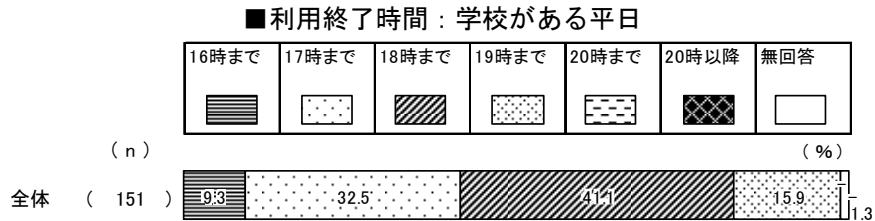


【問13・問14で「学童クラブ」を現在利用している方と利用希望がある方】

問15 学童クラブの利用時間について、「現在の利用時間」をお書きください。「利用時間の希望」については「1. 現在のままでよい」か「2. 希望の時間がある」のいずれかに○をつけ、「2」の場合は利用希望の時間をお書きください。

①現在の利用時間（学校がある平日）

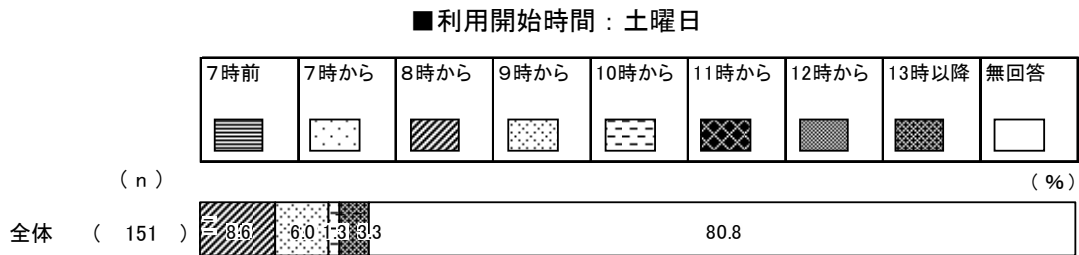
「18時まで」が最も多く41.1%、次いで「17時まで」が32.5%、「19時まで」が15.9%となっています。



②土曜日

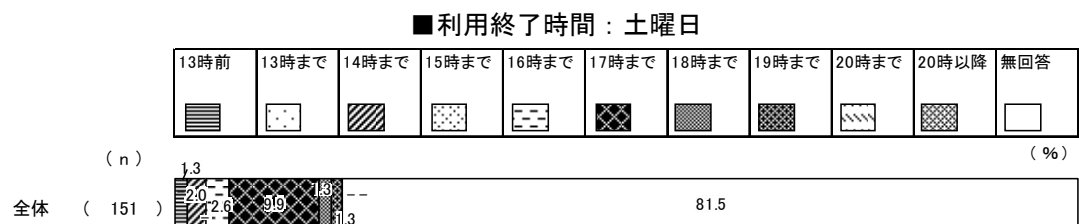
ア 利用開始時間

「8時から」が最も多く8.6%、次いで「9時から」が6.0%、「13時以降」が3.3%となっています。



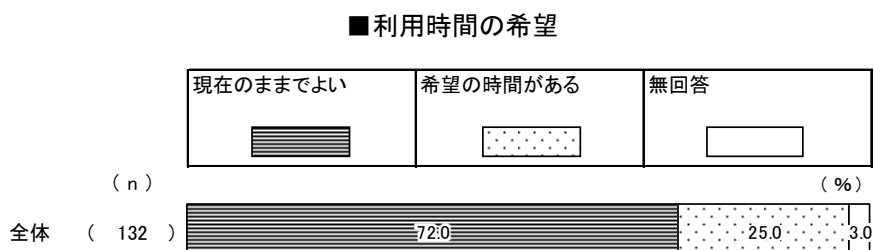
イ 利用終了時間

「17時まで」が最も多く9.9%、次いで「16時まで」が2.6%、「14時まで」が2.0%となっています。



③利用時間の希望

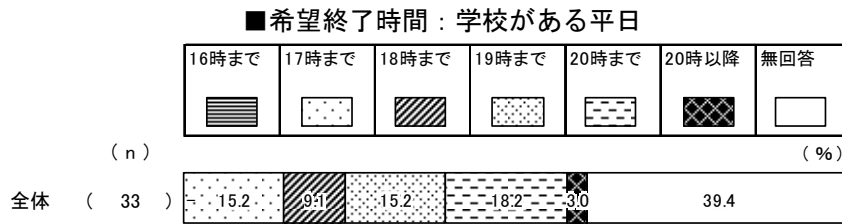
「現在のままでよい」が72.0%、「希望の時間がある」が25.0%となっています。





ア 平日の利用希望終了時間

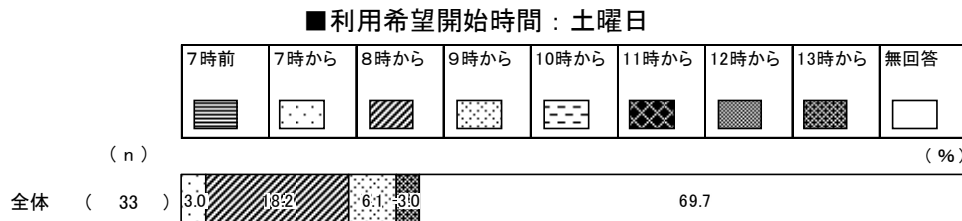
「20時まで」が最も多く18.2%、次いで「17時まで」「19時まで」がともに15.2%となっています。



イ 土曜日

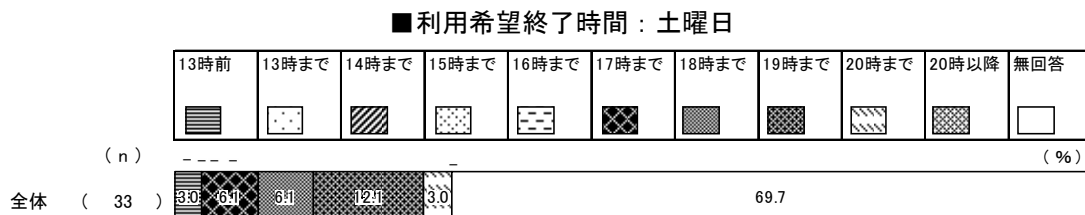
(ア) 利用希望開始時間

「8時から」が最も多く18.2%、次いで「9時から」が6.1%、「7時から」「13時から」がともに3.0%となっています。



(イ) 利用希望終了時間

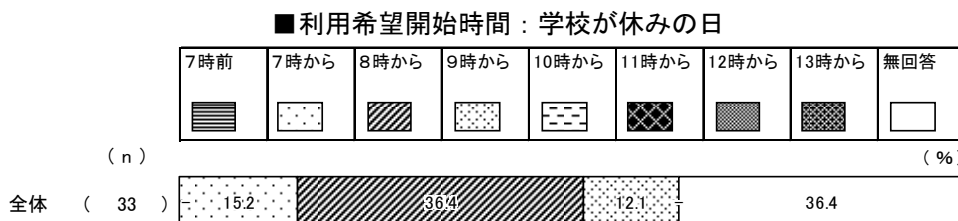
「19時まで」が最も多く12.1%、次いで「17時まで」「18時まで」がともに6.1%となっています。



ウ 学校が休みの日

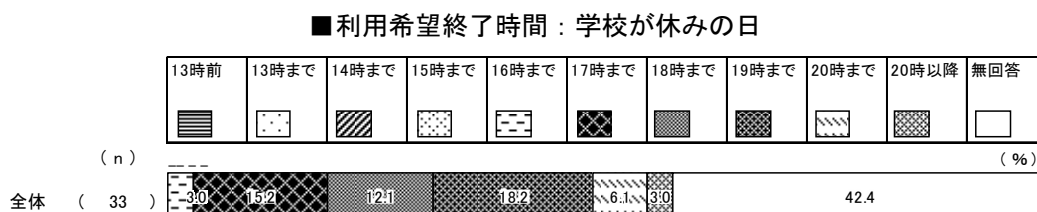
(ア) 利用希望開始時間

「8時から」が最も多く36.4%、次いで「7時から」が15.2%、「9時から」が12.1%となっています。



(イ) 利用希望終了時間

「19時まで」が最も多く18.2%、次いで「17時まで」が15.2%、「18時まで」が12.1%となっています。

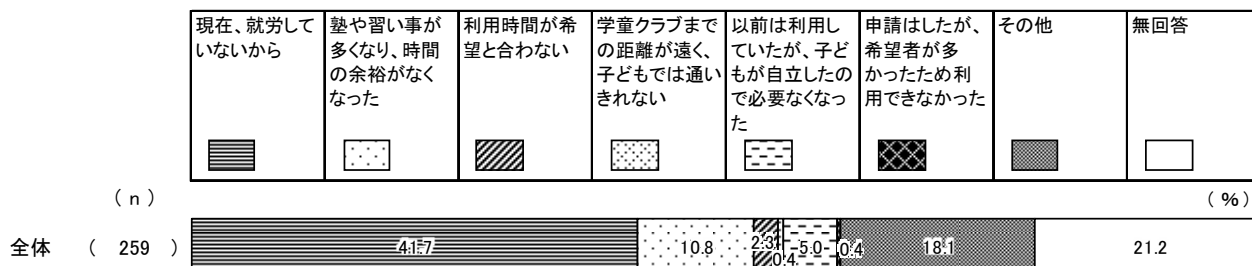


【問13（小学校1～3年生）で「学童クラブ」の利用実績がない方】

問16 利用していない理由は何ですか。主にお子さんの身の回りの世話をしている方の状況から、あてはまるもの1つに○をつけてください。

「現在、就労していないから」が最も多く41.7%、次いで「塾や習い事が多くなり、時間の余裕がなくなった」が10.8%、「以前は利用していたが、子どもが自立したので必要なくなった」が5.0%となっています。

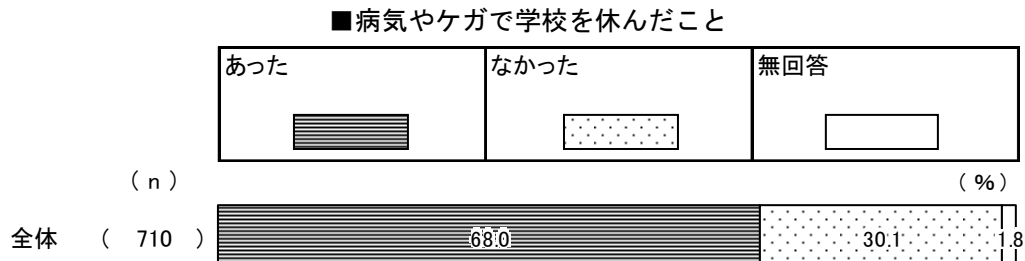
■学童クラブを利用していない理由



#### 4 お子さんの病気の際の対応について

問 17 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありましたか。

「あった」が68.0%、「なかった」が30.1%となっています。

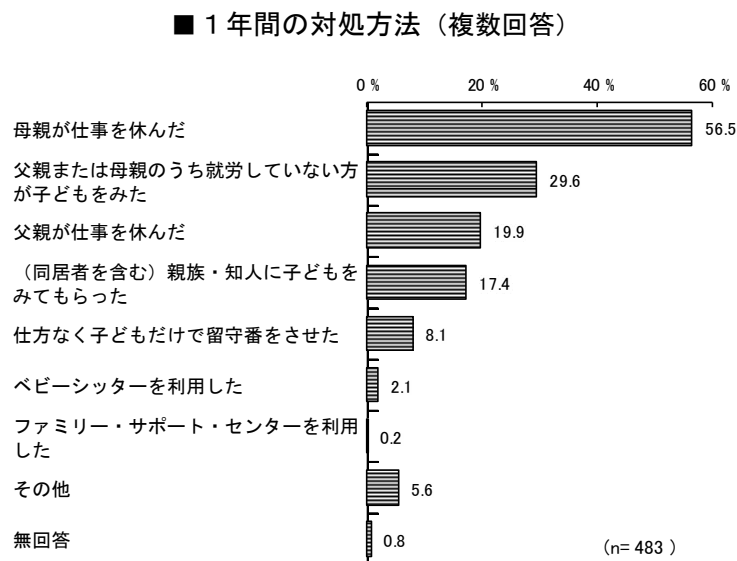


【問 17 で病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」と回答した方】

問 17-1 どのように対処しましたか。⇒この1年間に対処した日数もご記入ください。

##### ① 1年間の対処方法

「母親が仕事を休んだ」が最も多く56.5%、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が29.6%、「父親が仕事を休んだ」が19.9%となっています。

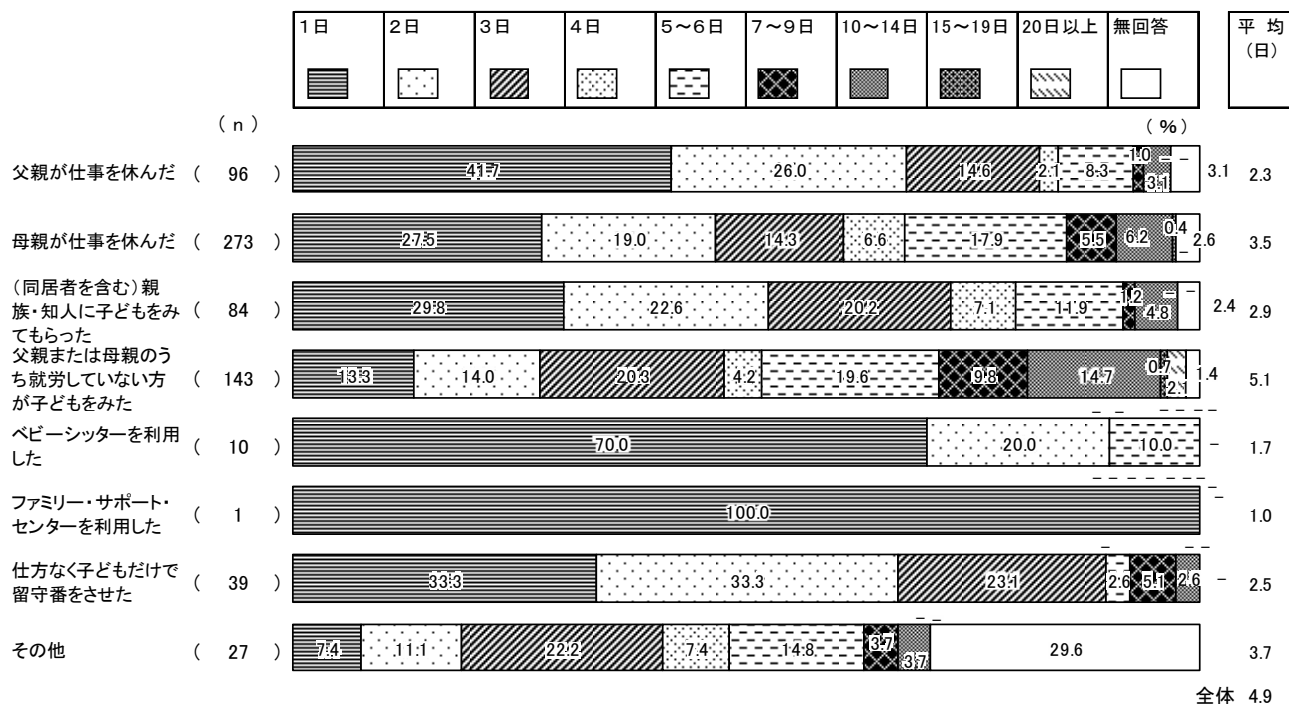


② 1年間の対処方法別日数

“父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた”の平均日数が最も多く、5.1日、“母親が仕事を休んだ”の平均日数は3.5日、“(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった”の平均日数が2.9日となっています。

全体の平均日数は4.9日です。

■ 1年間の対処方法別日数 (複数回答)

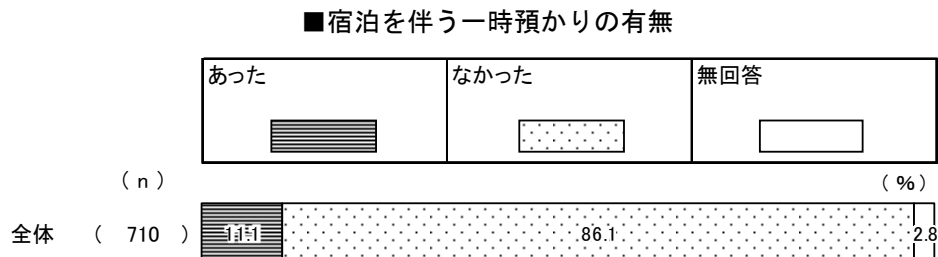


## 5 お子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。⇒あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの泊数もご記入ください。

### ①宿泊を伴う一時預かりの有無

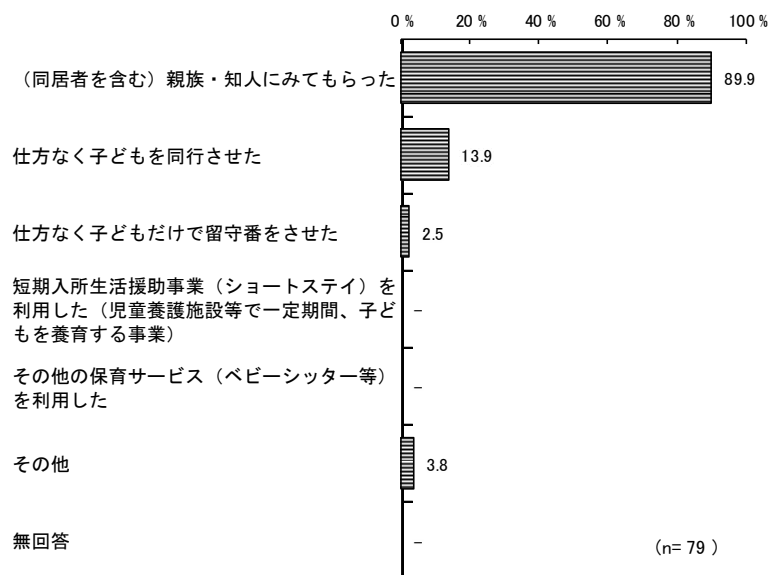
「あった」が11.1%、「なかった」が86.1%となっています。



### ②宿泊を伴う一時預かりの対処方法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も多く89.9%、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が2.5%となっています。

### ■宿泊を伴う一時預かりの対処方法（複数回答）



③宿泊を伴う一時預かりの対処方法別泊数

“(同居者を含む)親族・知人にみてもらった”は「1泊」が最も多く28.2%、次いで「2泊」が22.5%、「3泊」が19.7%となっています。

“仕方なく子どもを同行させた”は「1泊」「3泊」が最も多く36.4%、「4泊」が18.2%、「2泊」が9.1%となっています。

“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”は「1泊」が2件となっています。

“その他”は3件となっています。

(“短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した”“その他の保育サービスを利用した”は回答なし)

■宿泊を伴う一時預かりの対処方法別泊数

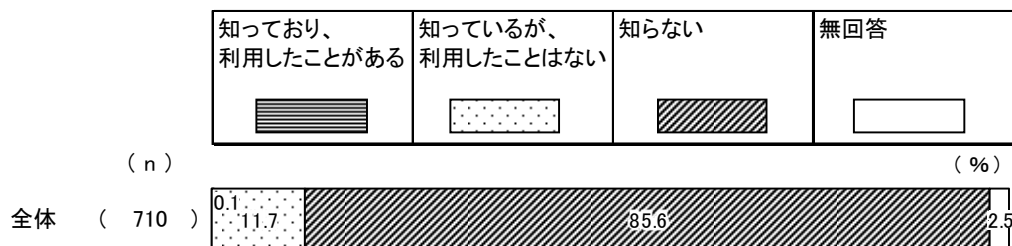
(単位：%)

|                           | 回答者数(人) | 1泊    | 2泊   | 3泊   | 4泊   | 5~6泊 | 7~9泊 | 10~14泊 | 15~19泊 | 20泊以上 | 無回答  |
|---------------------------|---------|-------|------|------|------|------|------|--------|--------|-------|------|
| (同居者を含む)親族・知人にみてもらった      | 71      | 28.2  | 22.5 | 19.7 | 4.2  | 8.5  | —    | 5.6    | —      | 8.5   | 2.8  |
| 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した  | —       | —     | —    | —    | —    | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| その他の保育サービス(ベビーシッター等)を利用した | —       | —     | —    | —    | —    | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| 仕方なく子どもを同行させた             | 11      | 36.4  | 9.1  | 36.4 | 18.2 | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| 仕方なく子どもだけで留守番をさせた         | 2       | 100.0 | —    | —    | —    | —    | —    | —      | —      | —     | —    |
| その他                       | 3       | —     | —    | —    | 33.3 | —    | —    | 33.3   | —      | —     | 33.3 |

問19 豊島区の宿泊を伴う「子どもショートステイ事業(短期預かり)」を知っていますか。

「知らない」が最も多く85.6%、次いで「知っているが、利用したことはない」が11.7%、「知っている、利用したことがある」が0.1%となっています。

■「子どもショートステイ事業(短期預かり)」を知っているか

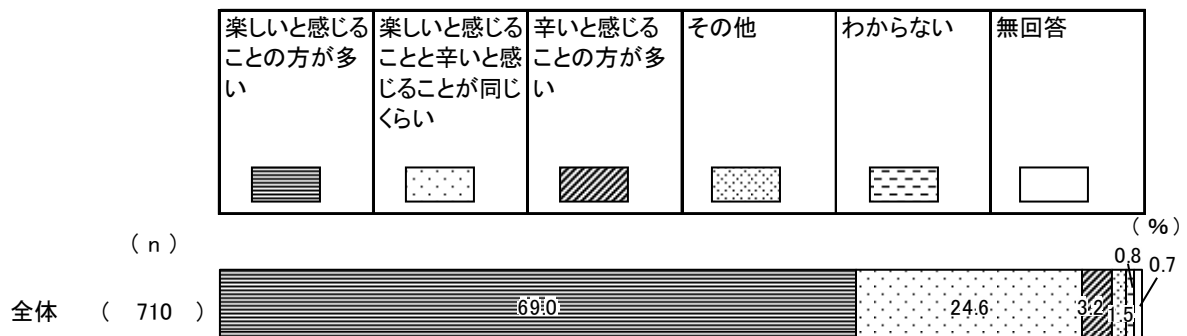


6 子育て全般について

問20 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。

「楽しいと感じることが多い」が最も多く69.0%、次いで「楽しいと感じることが多い」と「辛いと感じることが多い」が同じくらい24.6%、「辛いと感じることが多い」が3.2%となっています。

■子育ての楽しさ

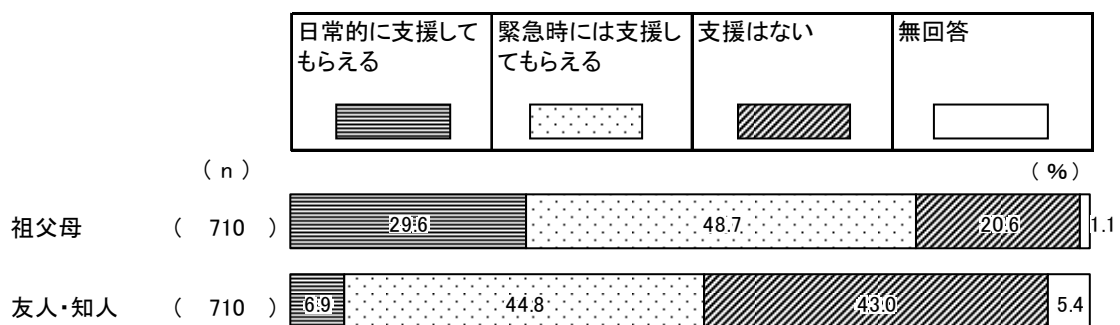


問21 あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれにあてはまりますか。それぞれの項目ごとに1つだけ○をつけてください。

祖父母は「緊急時には支援してもらえる」が最も多く48.7%、次いで「日常的に支援してもらえる」が29.6%、「支援はない」が20.6%となっています。

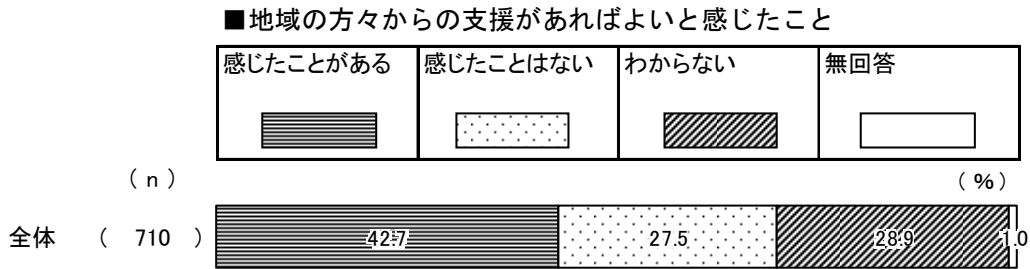
友人・知人は「緊急時には支援してもらえる」が最も多く44.8%、次いで「支援はない」が43.0%、「日常的に支援してもらえる」が6.9%となっています。

■祖父母や友人・知人による支援状況



問22 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。

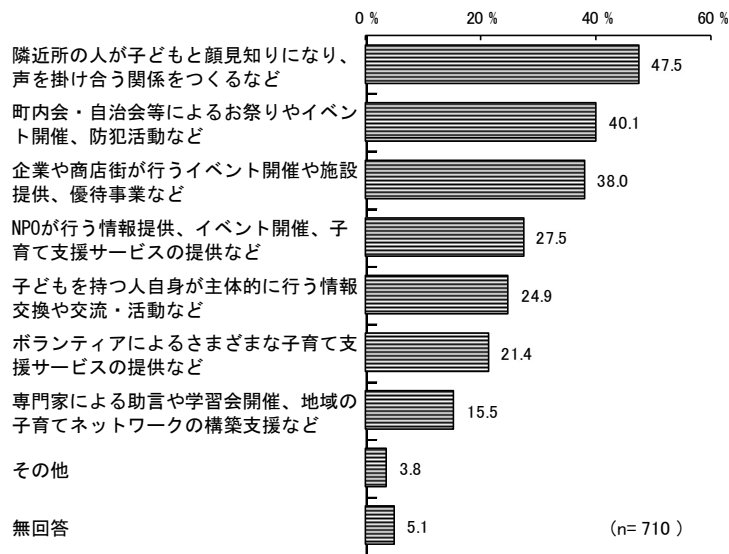
「感じたことがある」が最も多く42.7%、次いで「わからない」が28.9%、「感じたことはない」が27.5%となっています。



問23 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。

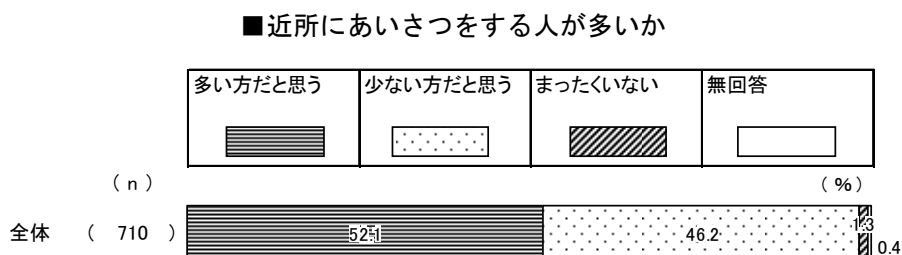
「隣近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど」が最も多く47.5%、次いで「町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など」が40.1%、「企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など」が38.0%となっています。

■地域の子育て力を向上させるために有効な取り組み（3つまでに○）



問24 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人が多い方だと思いますか。

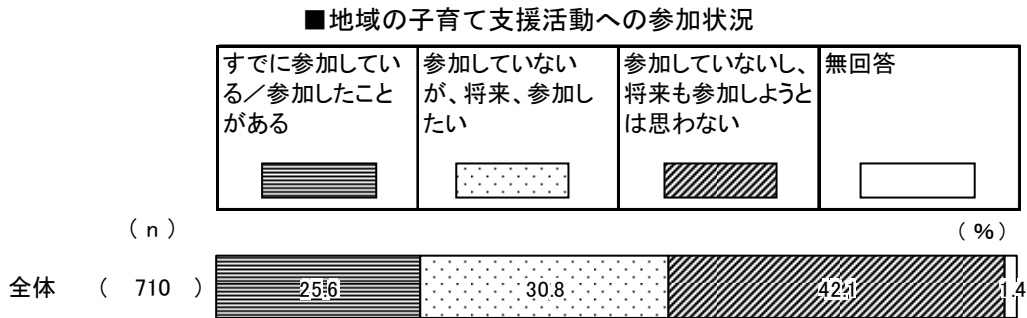
「多い方だと思う」が最も多く52.1%、次いで「少ない方だと思う」が46.2%、「まったくいない」が1.3%となっています。





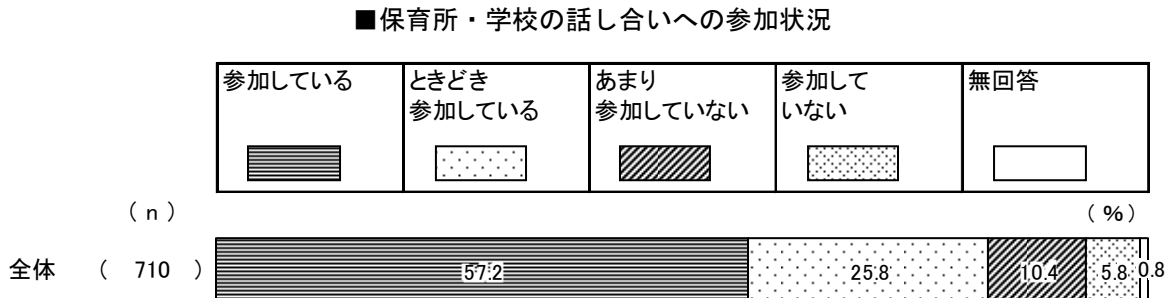
問 25 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。

「参加していないし、将来も参加しようとは思わない」が最も多く 42.1%、次いで「参加していないが、将来、参加したい」が 30.8%、「すでに参加している／参加したことがある」が 25.6%となっています。



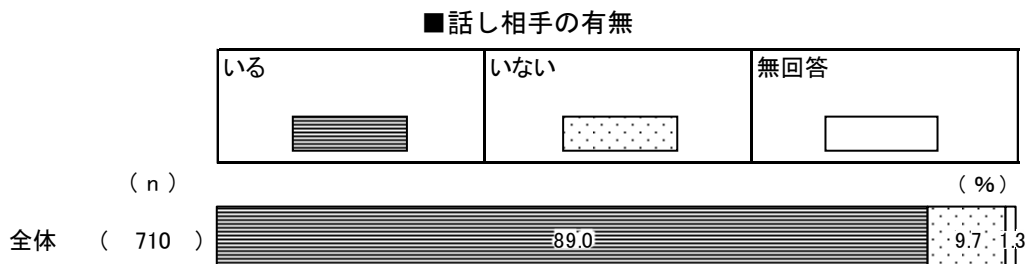
問 26 あなたは、保育所・学校の話し合い（たとえばPTAなど）に参加していますか。

「参加している」が最も多く 57.2%、次いで「ときどき参加している」が 25.8%、「あまり参加していない」が 10.4%となっています。



問 27 あなたの職場や地域など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人はいますか。

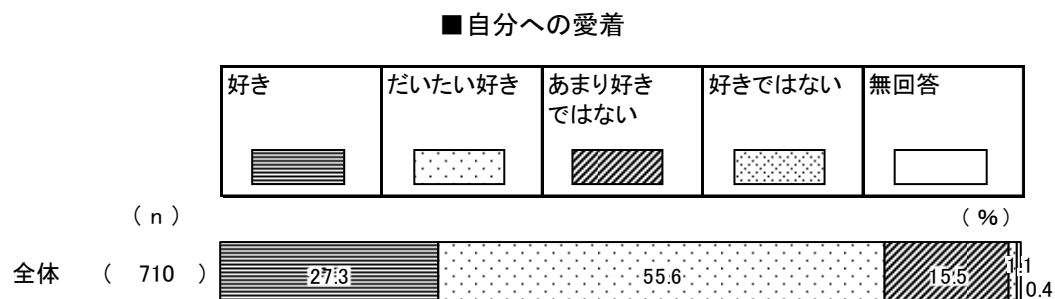
「いる」が 89.0%、「いない」が 9.7%となっています。



**7 あなたご自身のことについて**

問28 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く 55.6%、次いで「好き」が 27.3%、「あまり好きではない」が 15.5%となっています。



問29 あなたは、自分が周りの人から大切にされていると感じますか。

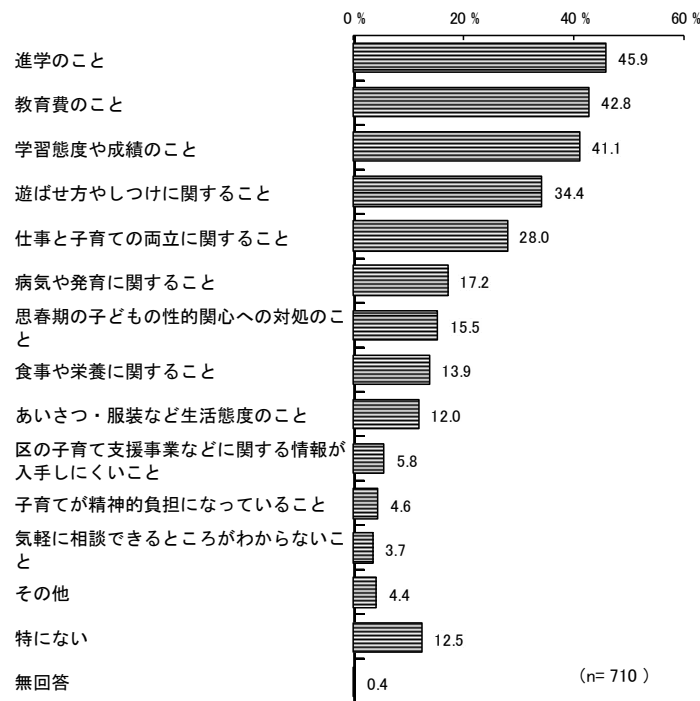
「だいたいそう思う」が最も多く 47.5%、次いで「そう思う」が 42.3%、「あまりそう思わない」が 9.0%となっています。



問30 子育てに関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。

「進学のこと」が最も多く45.9%、次いで「教育費のこと」が42.8%、「学習態度や成績のこと」が41.1%、「遊ばせ方やしつけに関すること」が34.4%となっています。  
また「特にない」が12.5%となっています。

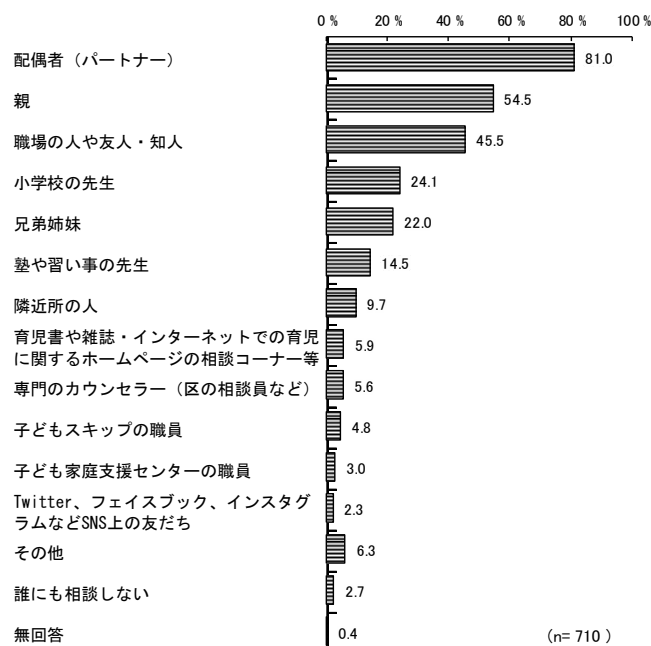
■子育てで不安なこと・悩んでいること（複数回答）



問31 子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。

「配偶者(パートナー)」が最も多く81.0%、次いで「親」が54.5%、「職場の人や友人・知人」が45.5%、「小学校の先生」が24.1%となっています。また「誰にも相談しない」が2.7%となっています。

■子育てについての相談先（複数回答）

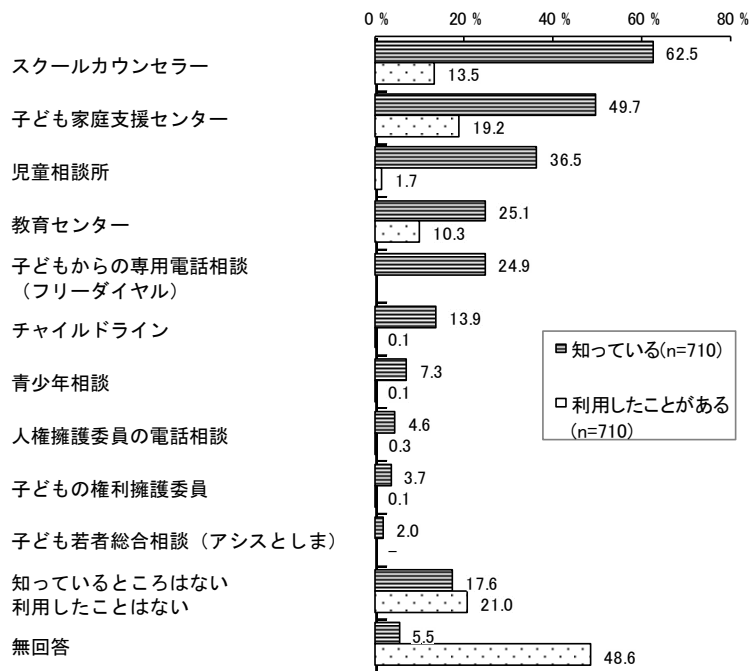


問 32 次のような豊島区の子どもの相談を受けてくれるところのうち、知っているところ、利用したことのあるところがありますか。

“知っている”は「スクールカウンセラー」が最も多く62.5%、次いで「子ども家庭支援センター」が49.7%、「児童相談所」が36.5%となっています。また「知っているところはない」が17.6%となっています。

“利用したことがある”では「利用したことはない」が最も多く21.0%となっています。利用したことがあるものは「子ども家庭支援センター」が19.2%、次いで「スクールカウンセラー」が13.5%、「教育センター」が10.3%となっています。

■子どもに関する相談場所の認知度と利用状況（複数回答）

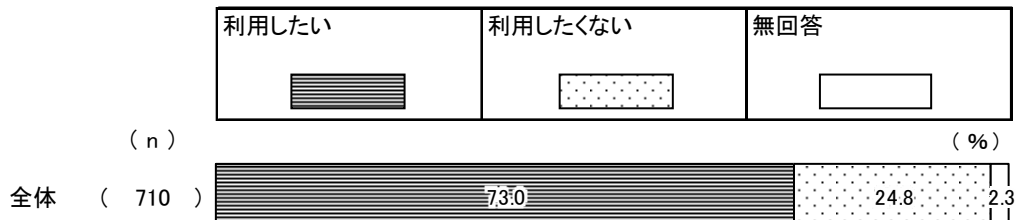


※保護者調査のため、“利用したことがある”の「子どもからの専用電話相談(フリーダイヤル)」は該当なし。

問 33 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、問 32 のような相談機関を利用したいと思いますか。

「利用したい」が73.0%と、「利用したくない」が24.8%となっています。

■相談機関の利用意向

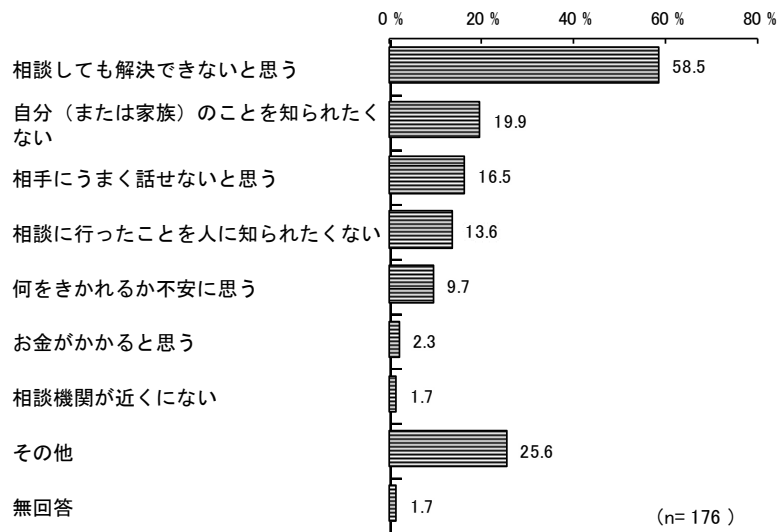


【問 33 で相談機関を「利用したくない」と回答した方】

問 33-1 利用したくないと思う理由は何ですか。

「相談しても解決できないと思う」が最も多く 58.5%、次いで「自分（または家族）のことを知られたくない」が 19.9%、「相手にうまく話せないと思う」が 16.5%となっています。

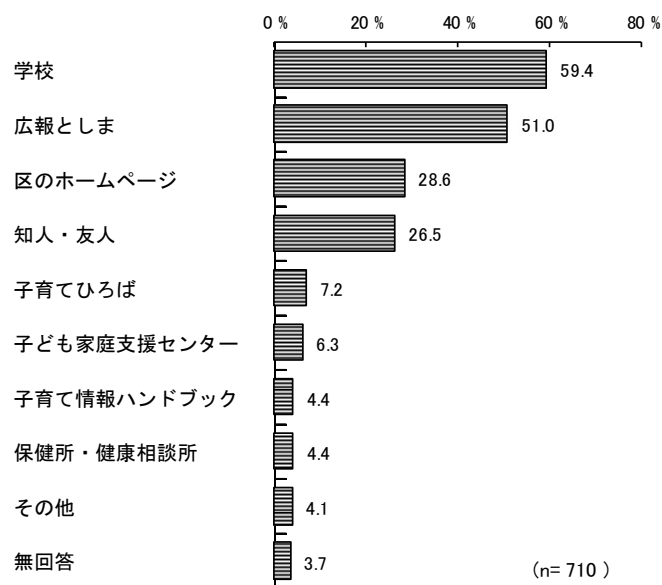
■ 利用したくない理由（複数回答）



問 34 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか。

「学校」が最も多く 59.4%、次いで「広報としま」が 51.0%、「区のホームページ」が 28.6%となっています。

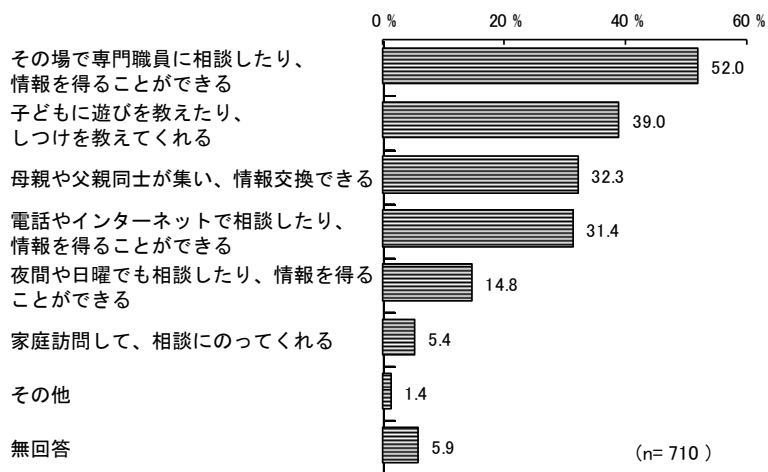
■ 子育て支援サービスに関する情報の入手先（複数回答）



問 35 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。

「その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる」が最も多く 52.0%、次いで「子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる」が 39.0%、「母親や父親同士が集い、情報交換できる」が 32.3% となっています。

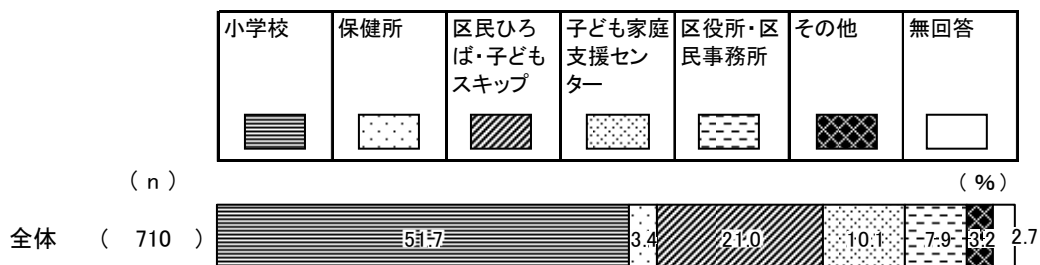
■ 育児に関する情報・相談の場に望むこと（複数回答）



問 36 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。

「小学校」が最も多く 51.7%、次いで「区民ひろば・子どもスキップ」が 21.0%、「子ども家庭支援センター」が 10.1% となっています。

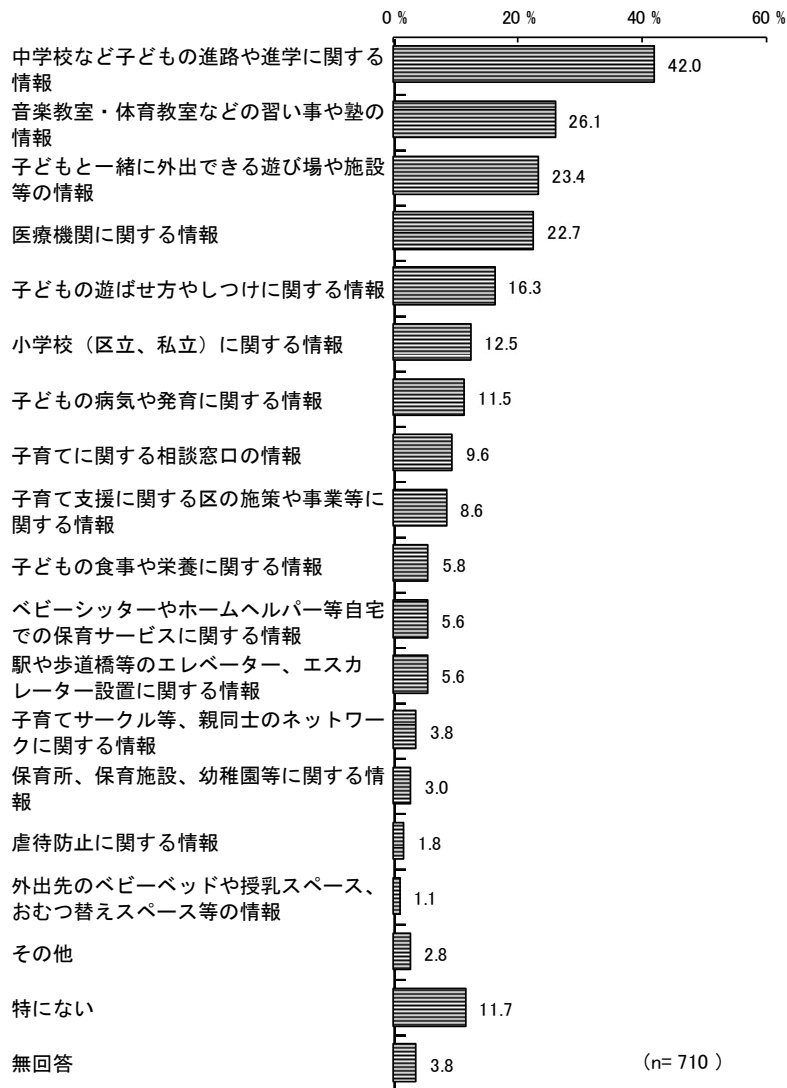
■ 子育てに関する情報・相談を気軽に受けたい場所



問37 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。

「中学校など子どもの進路や進学に関する情報」が最も多く42.0%、次いで「音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報」が26.1%、「子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報」が23.4%、「医療機関に関する情報」が22.7%、「子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報」が16.3%、「小学校（区立・私立）に関する情報」が12.5%となっています。

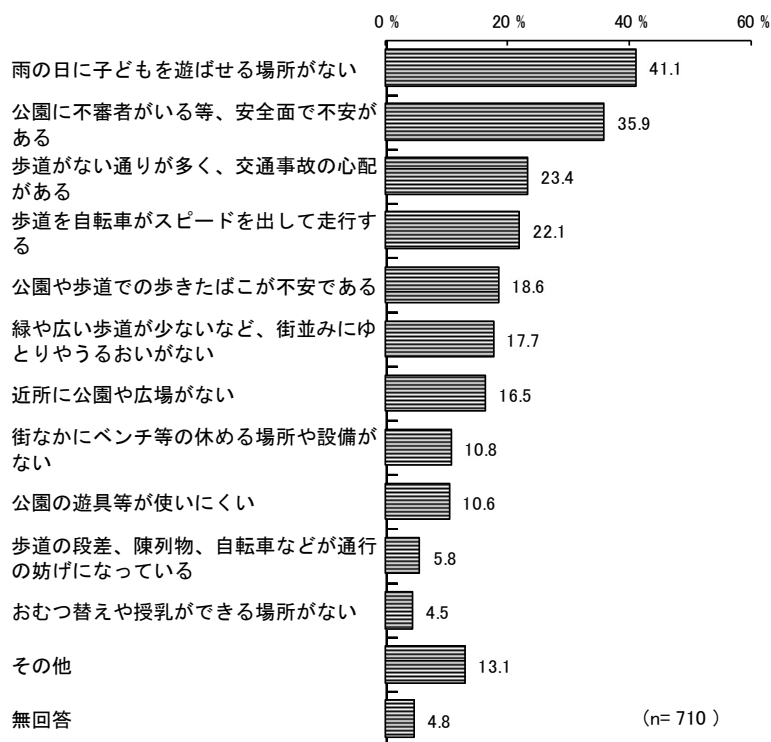
■子育てに関して欲しい情報・不足していること（3つまでに○）



問38 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。

「雨の日に子どもを遊ばせる場所がない」が最も多く41.1%、次いで「公園に不審者がいる等、安全面で不安がある」が35.9%、「歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある」が23.4%、「歩道を自転車がスピードを出して走行する」が22.1%となっています。

■子どもとの外出時に気になること（3つまでに○）



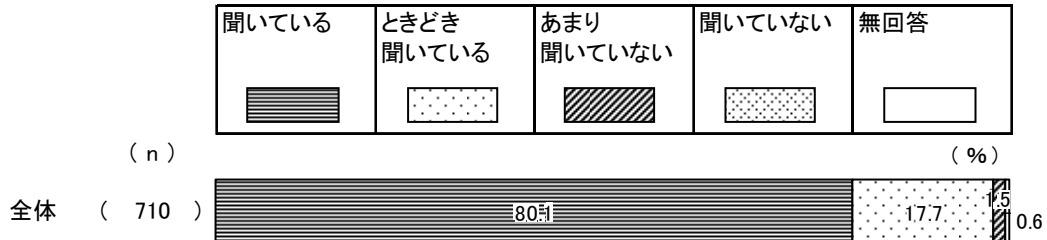


8 お子さんのことについて

問 39 あなたは、ふだん家で子どもの話を聞いていますか。

「聞いている」が最も多く 80.1%、次いで「ときどき聞いている」が 17.7%、「あまり聞いていない」が 1.5%となっています。

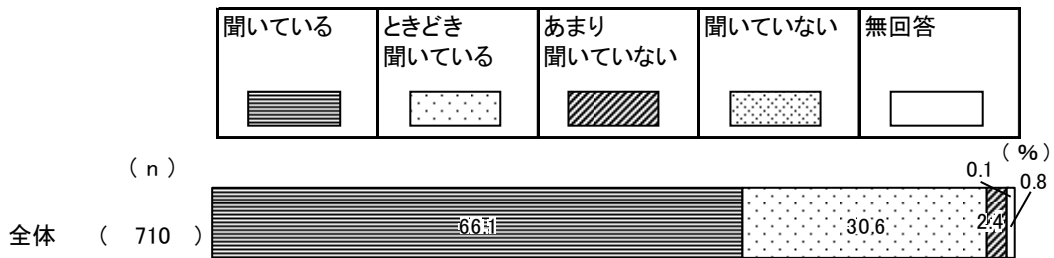
■家で子どもの話を聞いているか



問 40 あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。

「聞いている」が最も多く 66.1%、次いで「ときどき聞いている」が 30.6%、「あまり聞いていない」が 2.4%となっています。

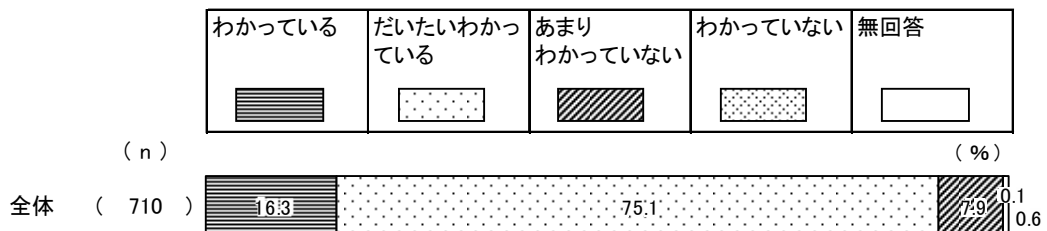
■家で子どもの意見を聞いているか



問 41 あなたは、子どものことをわかっていると思いますか。

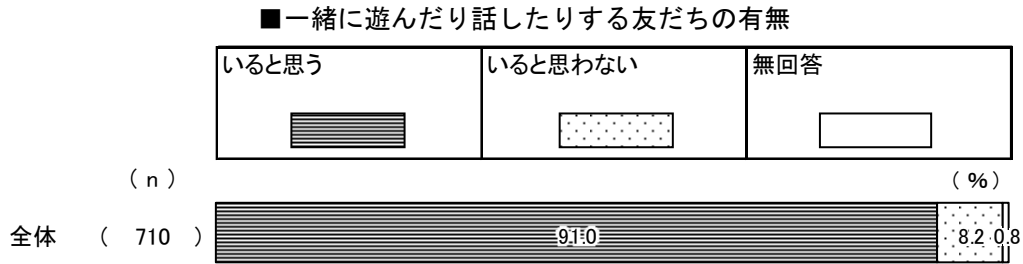
「だいたいわかっている」が最も多く 75.1%、次いで「わかっている」が 16.3%、「あまりわかっている」が 7.9%となっています。

■子どものことをわかっているか



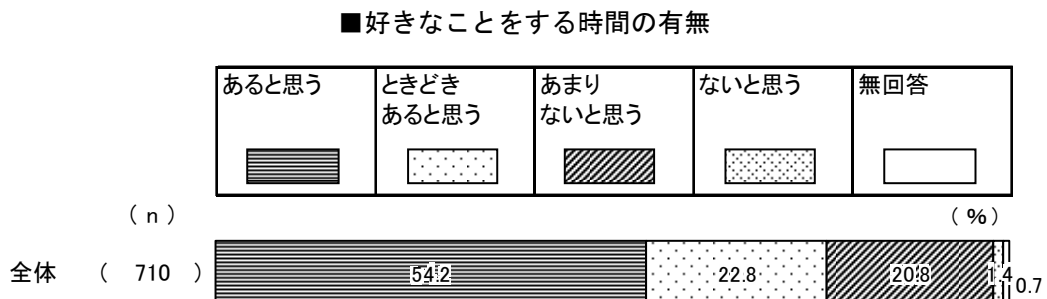
問 42 あて名のお子さんには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。

「いると思う」が91.0%、「いると思わない」が8.2%となっています。



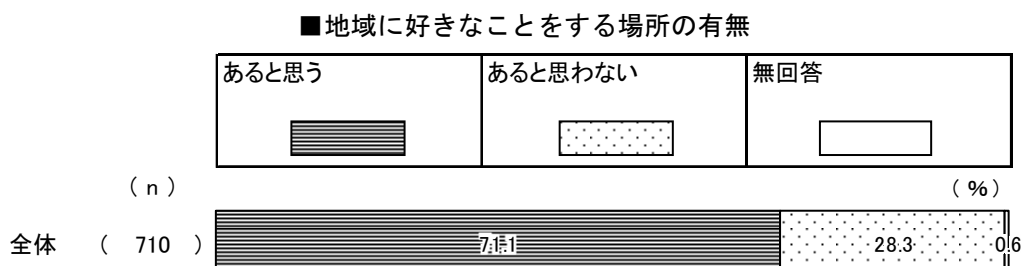
問 43 あて名のお子さんには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。

「あると思う」が最も多く54.2%、次いで「ときどきあると思う」が22.8%、「あまりないと思う」が20.8%となっています。



問 44 あて名のお子さんには、地域に、遊んだりスポーツをしたり自分が好きなことをする場所があると思いますか。

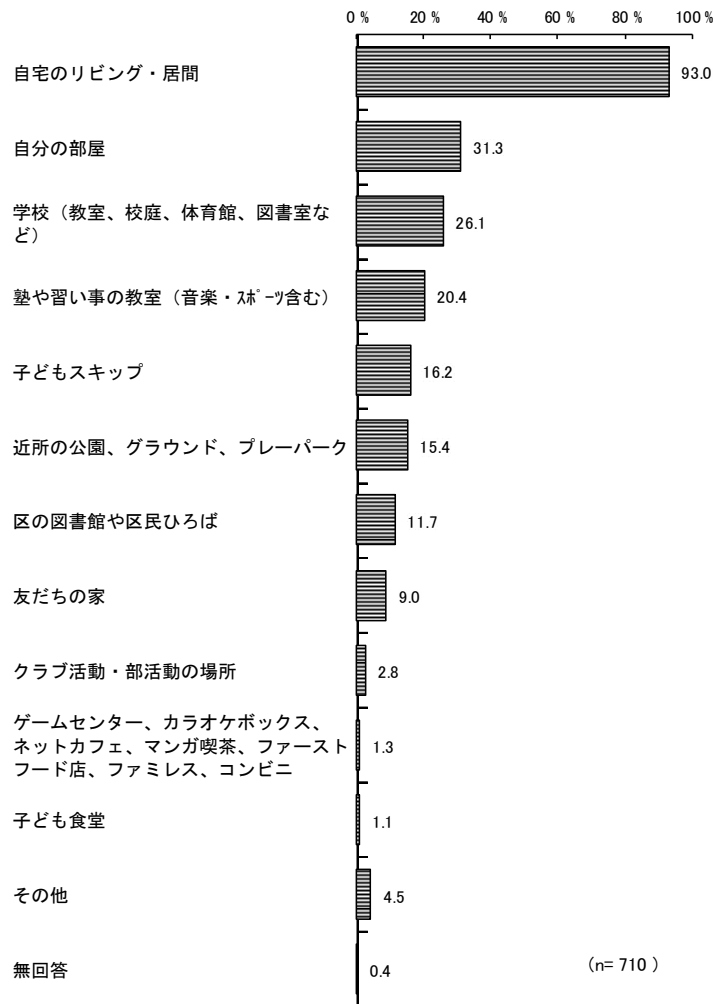
「あると思う」が71.1%、「あると思わない」が28.3%となっています。



問 45 あて名のお子さんにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。

「自宅のリビング・居間」が最も多く93.0%、次いで「自分の部屋」が31.3%、「学校（教室、校庭、体育館、図書室など）」が26.1%、「塾や習い事の教室（音楽・スポーツ含む）」が20.4%、「子どもスキップ」が16.2%となっています。

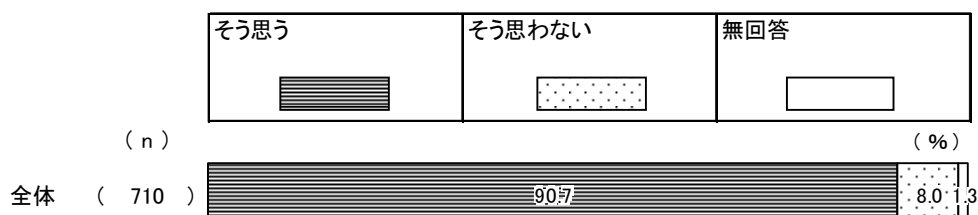
■ホッとできる場所（複数回答）



問 46 あて名のお子さんには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。

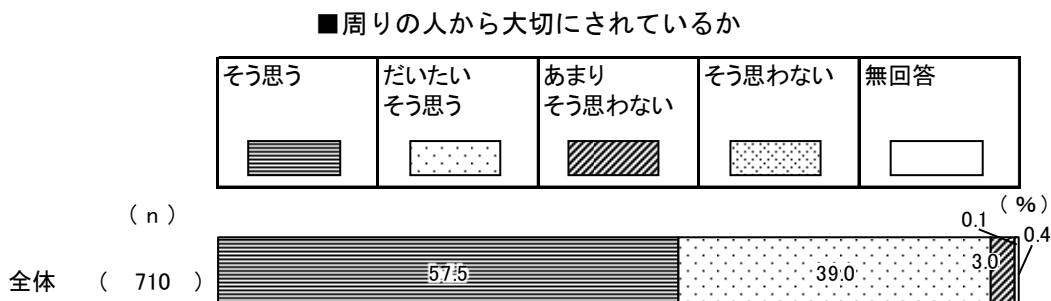
「そう思う」が90.7%、「そう思わない」が8.0%となっています。

■気持ちや悩みを話せるおとなの有無



問 47 あて名のお子さんは、自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じていますか。

「そう思う」が最も多く 57.5%、次いで「だいたいそう思う」が 39.0%、「あまりそう思わない」が 3.0%となっています。



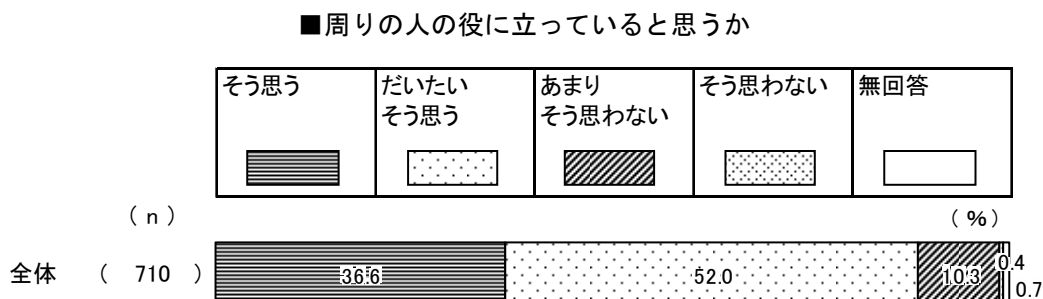
問 48 あて名のお子さんは、自分のことが好きだと思っていると、思いますか。

「好き」が最も多く 49.9%、次いで「だいたい好き」が 44.5%、「あまり好きではない」が 5.1%となっています。



問 49 あて名のお子さんは、自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思っていますか。

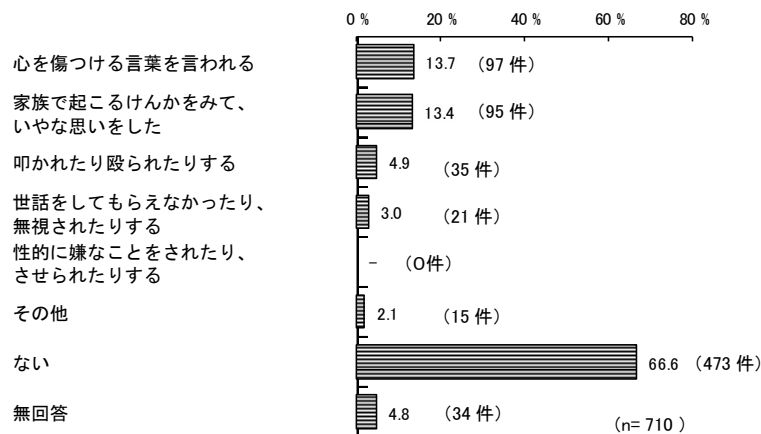
「だいたいそう思う」が最も多く 52.0%、次いで「そう思う」が 36.6%、「あまりそう思わない」が 10.3%となっています。



問50 あなたは、子どもがおとな（保護者や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。

「ない」が最も多く66.6%となっています。気づいたり聞いたりしたことは「心を傷つける言葉を言われる」が最も多く13.7%、次いで「家族で起こるけんかを見て、いやな思いをした」が13.4%、「叩かれたり殴られたりする」が4.9%となっています。

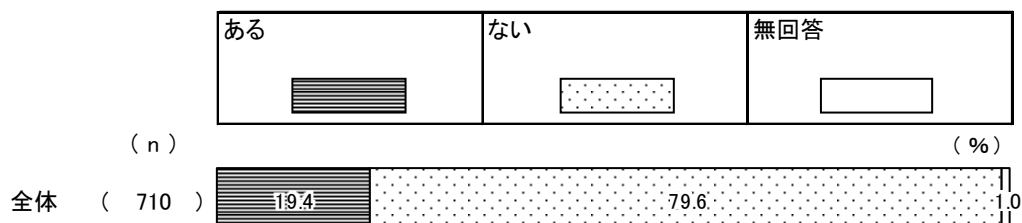
■最近、子どもがおとなにされたこと（複数回答）



問51 あなたは、最近、子どものいじめ（いじめられる・いじめているの両方を含む）に気づいたことがありますか。

「ない」が79.6%、「ある」が19.4%となっています。

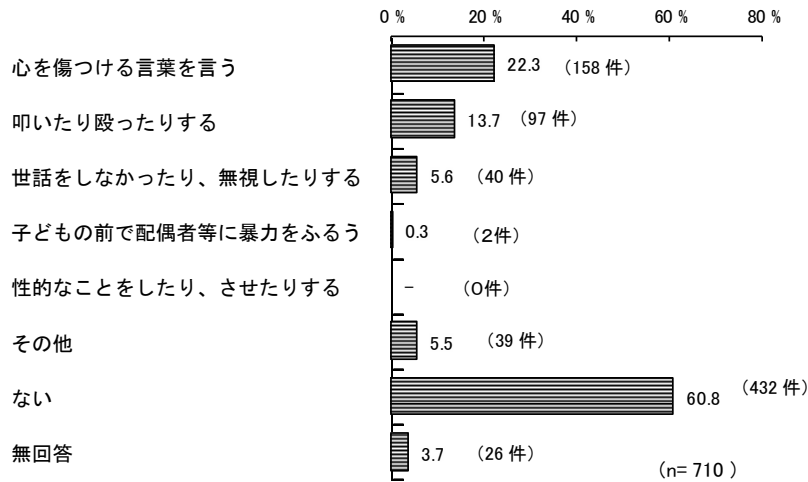
■いじめに気づいたことの有無



問 52 あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。

「ない」が最も多く60.8%となっています。したことがあるでは「心を傷つける言葉を言う」が最も多く22.3%、次いで「叩いたり殴ったりする」が13.7%、「世話をしなかったり、無視したりする」が5.6%となっています。

■子どもにしたことがあること（複数回答）

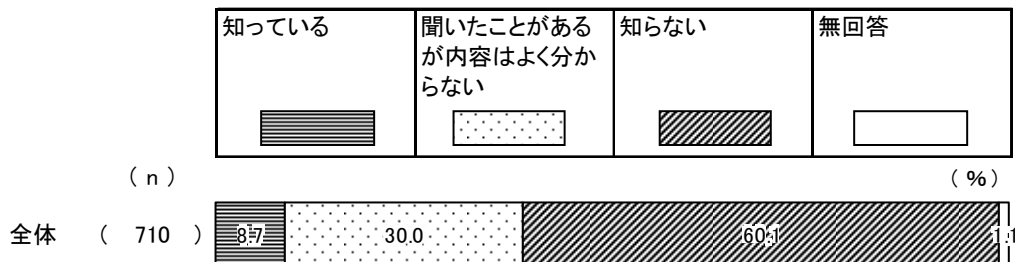


9 『子どもの権利条例』や豊島区の施策について

問 53 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知らない」が最も多く60.1%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が30.0%、「知っている」が8.7%となっています。

■『豊島区子どもの権利に関する条例』の認知度

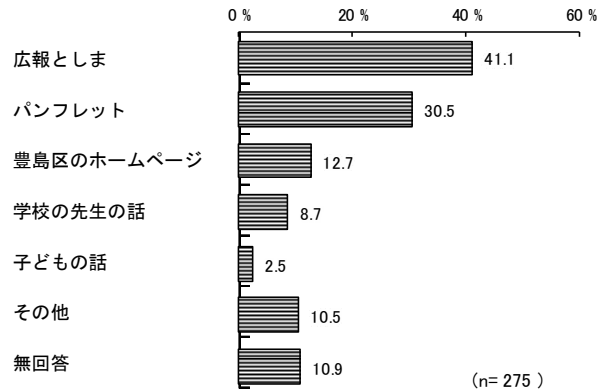


【問53で『豊島区子どもの権利に関する条例』について「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問53-1 どのように知りましたか。

「広報としま」が最も多く41.1%、次いで「パンフレット」が30.5%、「豊島区のホームページ」が12.7%となっています。

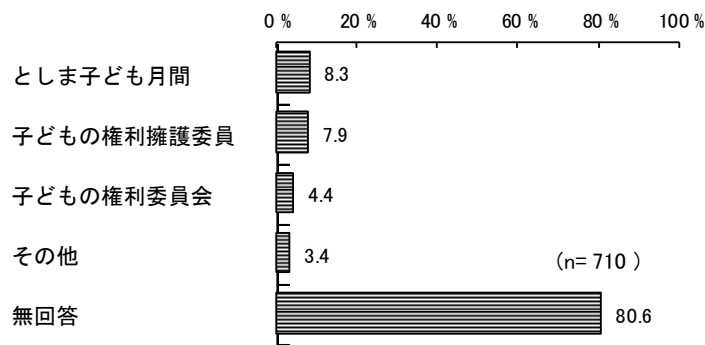
■『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問54 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

「としま子ども月間」が8.3%、「子どもの権利擁護委員」が7.9%、「子どもの権利委員会」が4.4%となっています。

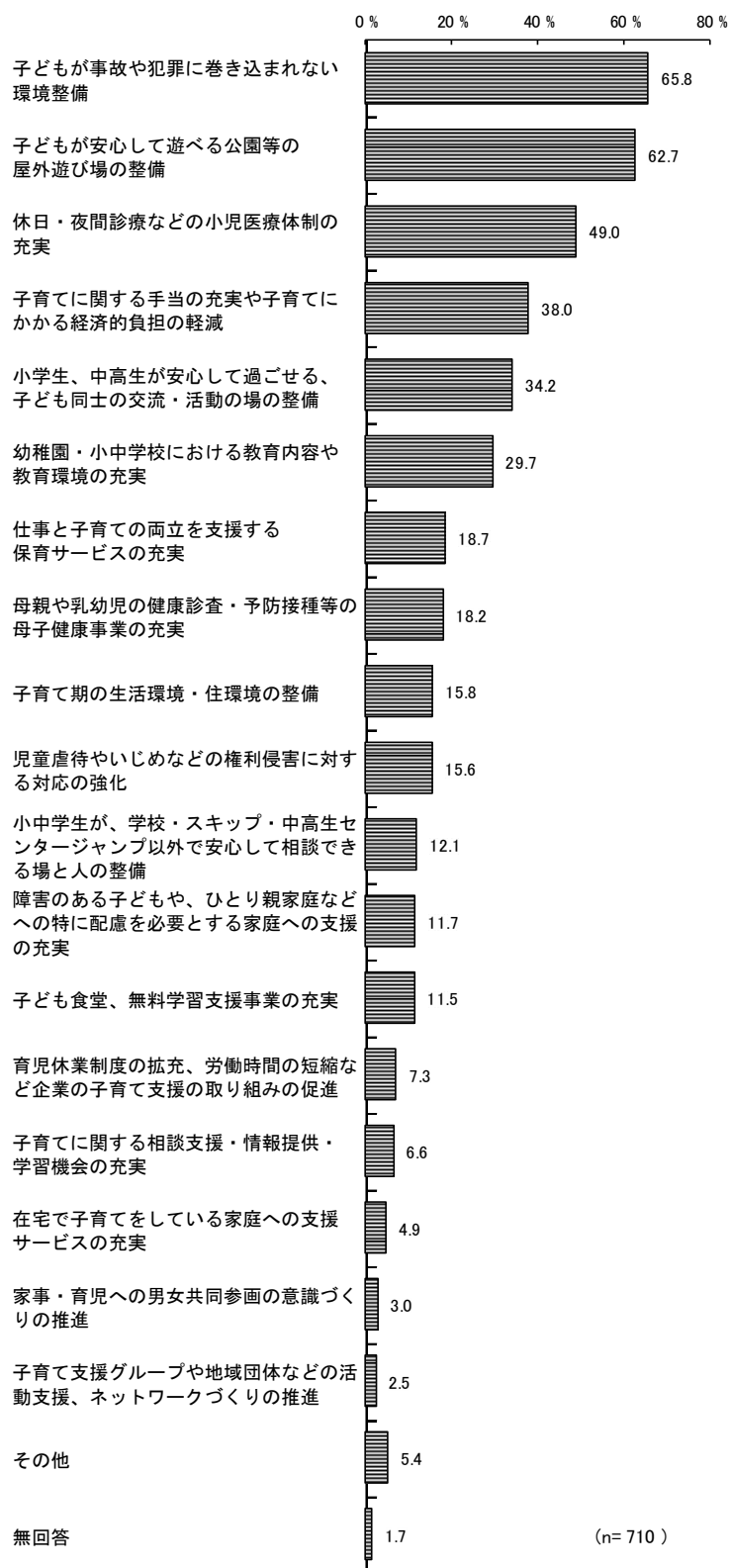
■子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問 55 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。

「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く 65.8%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 62.7%、「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」が 49.0%、「子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減」が 38.0%、「小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備」が 34.2%となっています。

■子育て支援・施策について望むこと（5つまでに○）



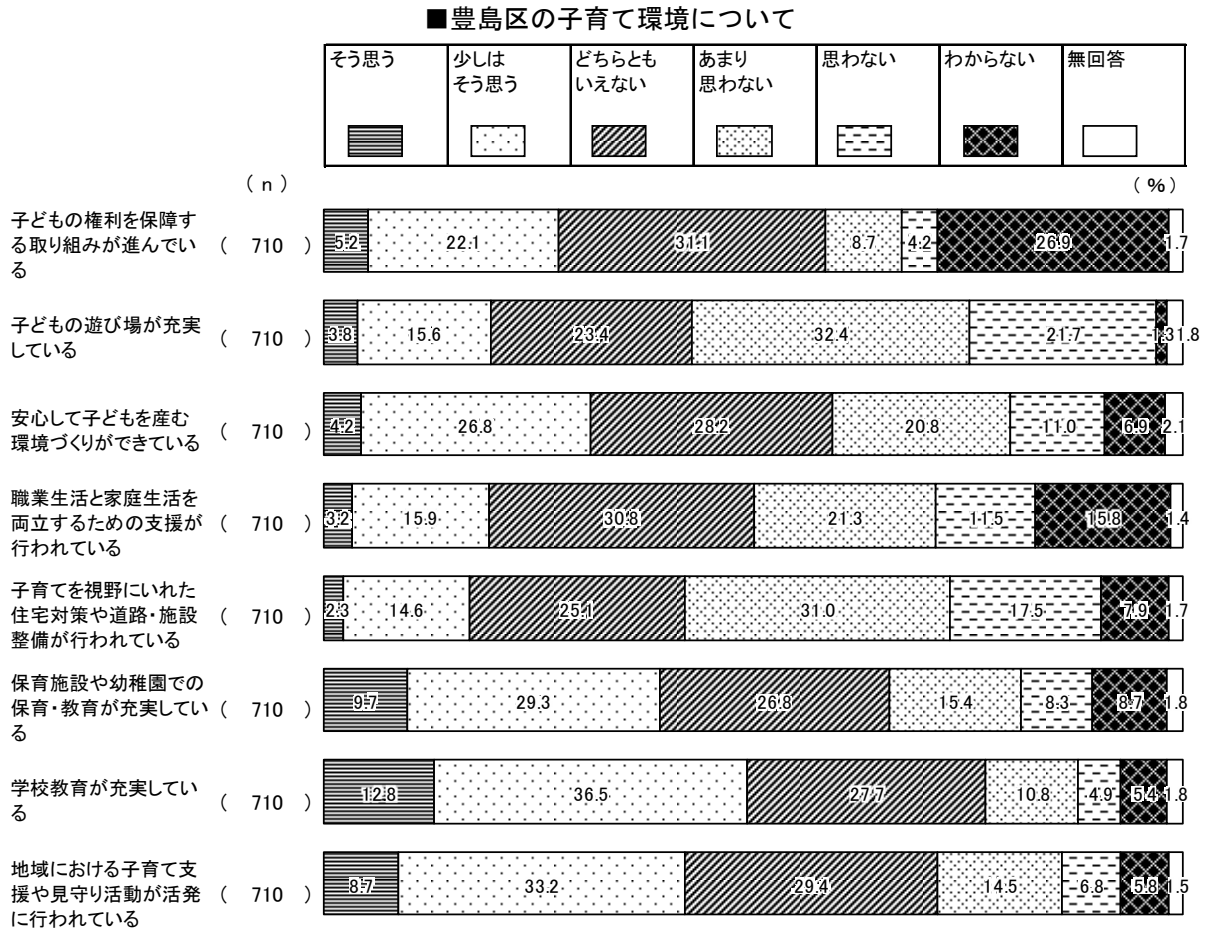


問56 あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにお答えください。

『思う』（そう思う+少しはそう思う）は、“学校教育が充実している”が最も多く49.3%、次いで“地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている”が41.9%、“保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している”が39.0%となっています。

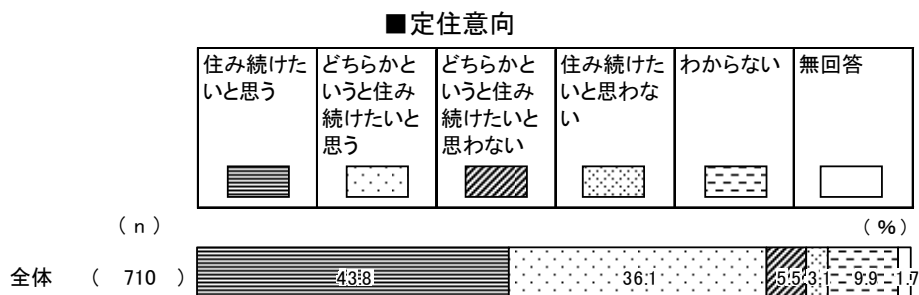
『思わない』（あまり思わない+思わない）は“子どもの遊び場が充実している”が最も多く54.1%、次いで“子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている”が48.5%、“職業生活と家庭生活を両立するための支援が行われている”が32.8%となっています。

“子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる”は、他の項目と比べて「わからない」が多くなっています。



問57 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」が最も多く43.8%、次いで「どちらかというに住み続けたいと思う」が36.1%、「どちらかというに住み続けたいと思わない」が5.5%となっています。

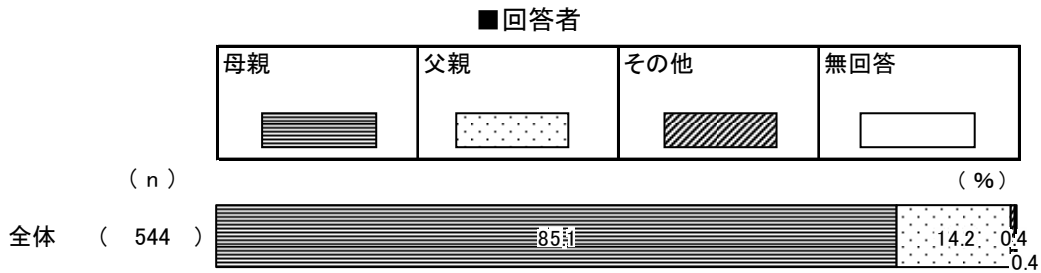


### Ⅲ 中学生・高校生の保護者

#### 1 お子さんご家族の状況について

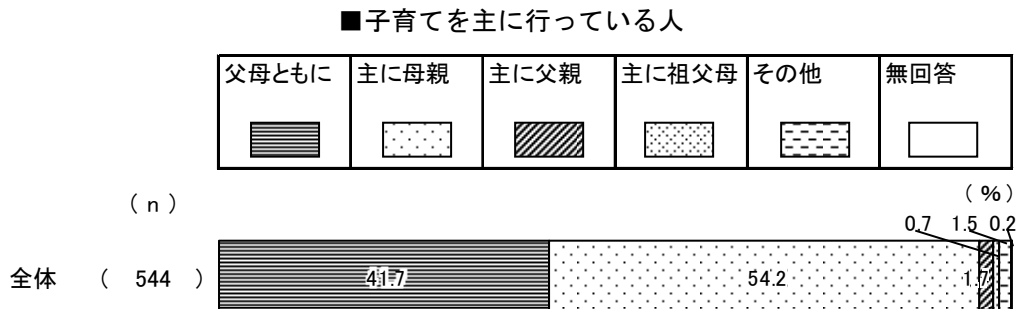
問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が85.1%、「父親」が14.2%となっています。



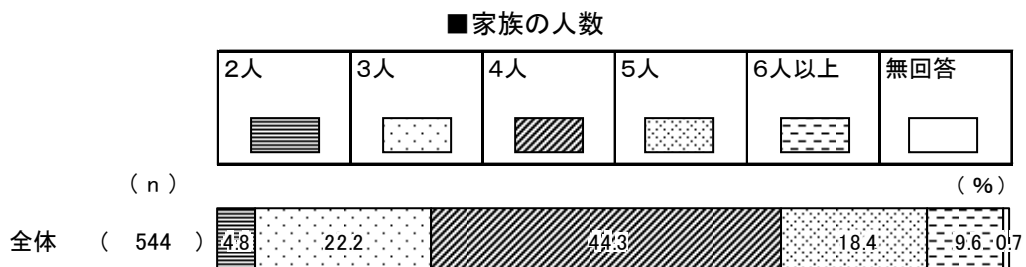
問3 現在、主にあて名のお子さんの身の回りの世話をしている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

「主に母親」が最も多く54.2%、次いで「父母ともに」が41.7%、「主に父親」が1.7%となっています。



問4 あて名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は同居しているものとみなして合計人数を書いてください。

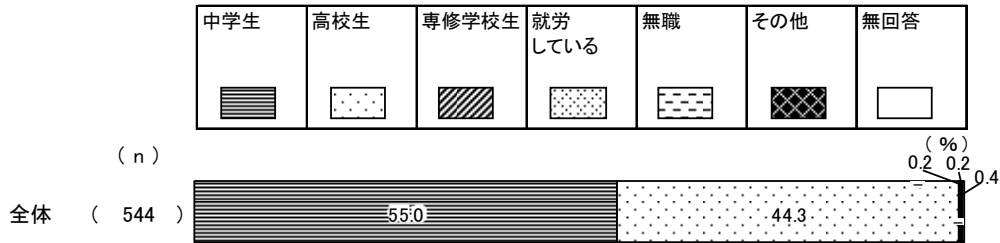
「4人」が最も多く44.3%、次いで「3人」が22.2%、「5人」が18.4%となっています。



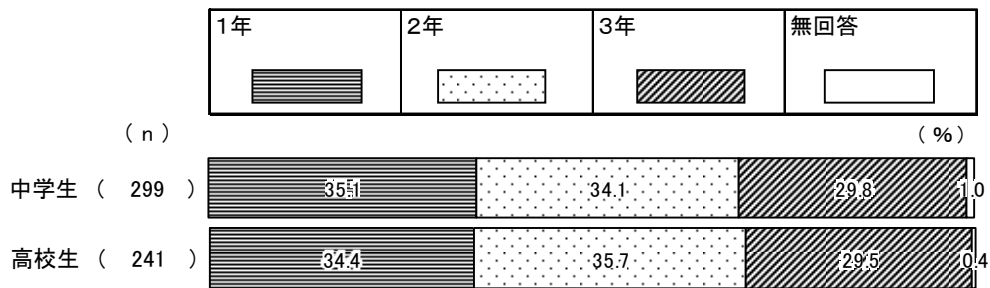
問5 あて名のお子さんの就学・就労状況について、あてはまるもの1つに○をつけ、学生の場合は学年を記入してください。

「中学生」が最も多く55.0%、次いで「高校生」が44.3%、「専修学校生」が0.2%（1件、1年生）となっています。

■子どもの就学・就労状況



■学年（中学生・高校生）



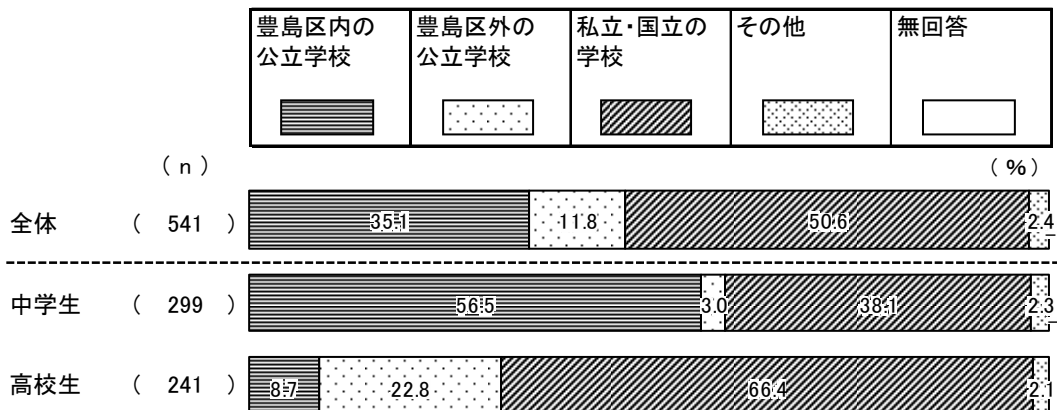
【問5であて名のお子さんが「中学生」、「高校生」と回答した方】

問5-1 お子さんが通っている学校の種類を選んでください。

全体では、「私立・国立の学校」が最も多く50.6%、次いで「豊島区内の公立学校」が35.1%、「豊島区外の公立学校」が11.8%となっています。

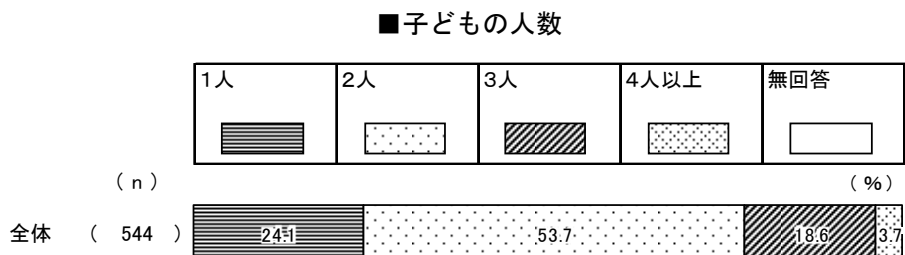
“中学生”は、「豊島区内の公立学校」、「高校生」は「私立・国立の学校」が最も多くなっています。

■学校の種類



問6 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。

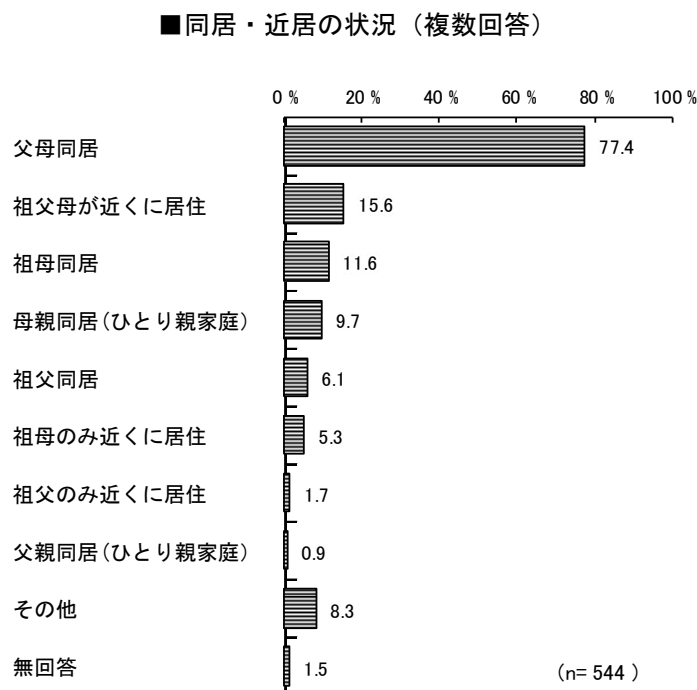
「2人」が最も多く53.7%、次いで「1人」が24.1%、「3人」が18.6%となっています。



問7 あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください（続柄はあて名のお子さんからみた関係）。

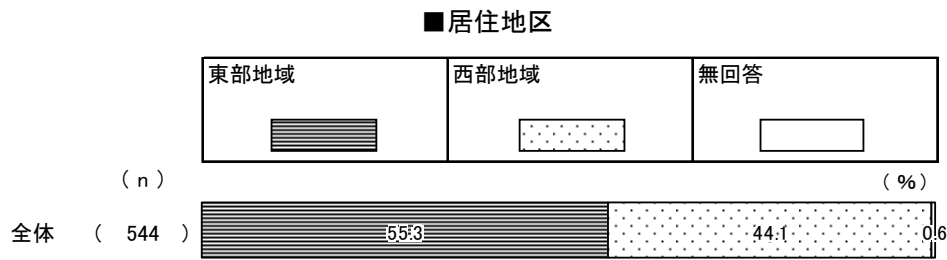
なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。（「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと）

「父母同居」が最も多く77.4%、次いで「祖父母が近くに居住」が15.6%、「祖母同居」が11.6%、「母親同居(ひとり親家庭)」が9.7%となっています。



問8 お住まいのまちはどちらですか。

「東部地域」が55.3%、「西部地域」が44.1%となっています。

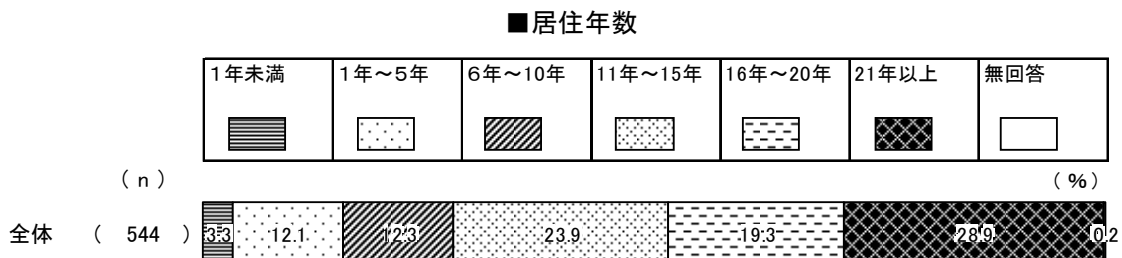


【居住地区】教育・保育提供区域による区域設定

東部地域: 駒込、巣鴨、西巣鴨、北大塚、南大塚、上池袋、東池袋、南池袋、雑司が谷、高田、目白(1・2丁目)  
西部地域: 西池袋、池袋、池袋本町、目白(3~5丁目)、南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川

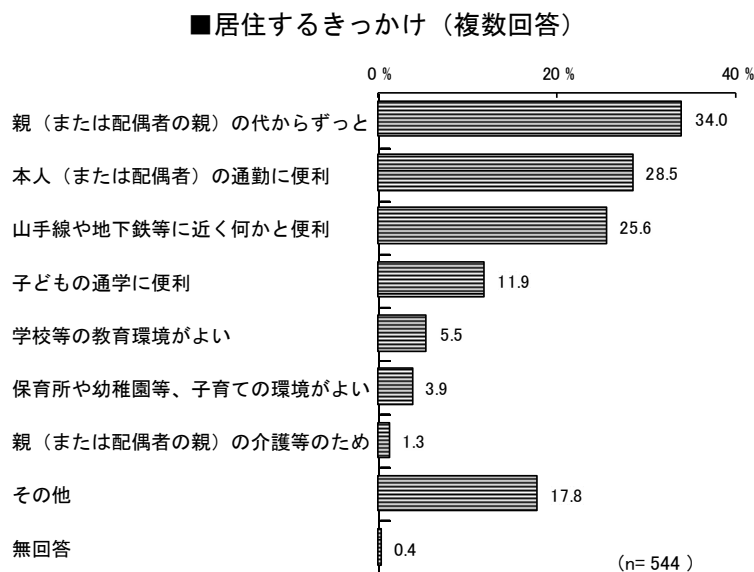
問9 豊島区に、通算何年お住まいですか。

「21年以上」が最も多く28.9%、次いで「11年~15年」が23.9%、「16年~20年」が19.3%となっています。



問10 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。

「親(または配偶者の親)の代からずっと」が最も多く34.0%、次いで「本人(または配偶者)の通勤に便利」が28.5%、「山手線や地下鉄等に近く何かと便利」が25.6%となっています。



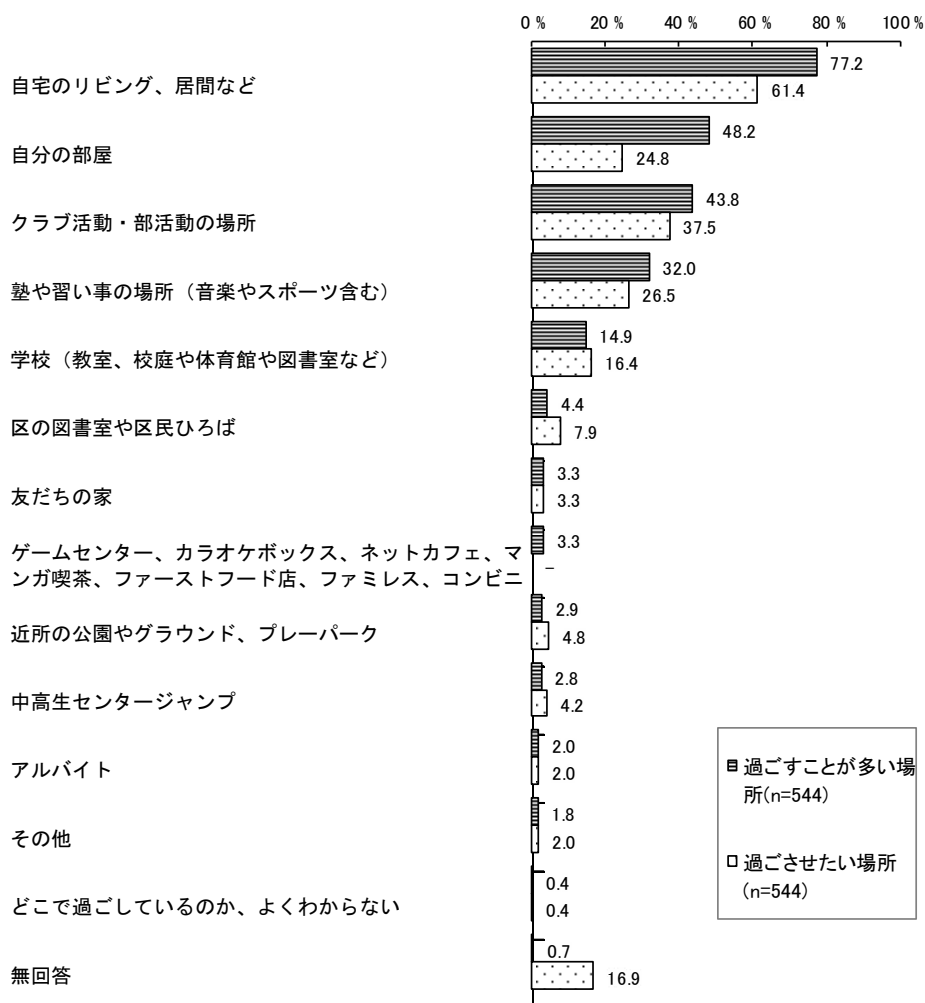
## 2 お子さんの放課後や自由時間の過ごし方について

問 12 あて名のお子さんは、放課後や勤務時間外の自由時間はどこで過ごすことが多いですか。また、過ごさせたいと思いますか。

過ごすことが多い場所は「自宅のリビング、居間など」が最も多く 77.2%、次いで「自分の部屋」が 48.2%、「クラブ活動・部活動の場所」が 43.8%、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツ含む）」が 32.0% となっています。

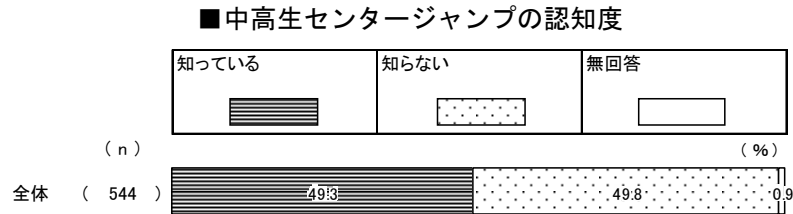
過ごさせたい場所は、「自宅のリビング、居間など」が最も多く 61.4%、次いで「クラブ活動・部活動の場所」が 37.5%、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツ含む）」が 26.5%、「自分の部屋」が 24.8% となっています。

■放課後や勤務時間外の過ごし方（3つまでに○）



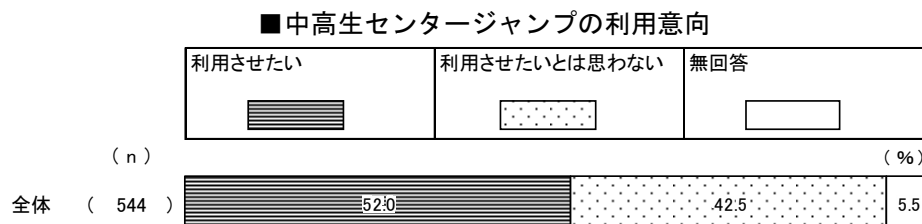
問13 中高生が放課後に利用できる居場所「中高生センタージャンプ」を知っていますか。

「知っている」が49.3%、「知らない」が49.8%となっています。



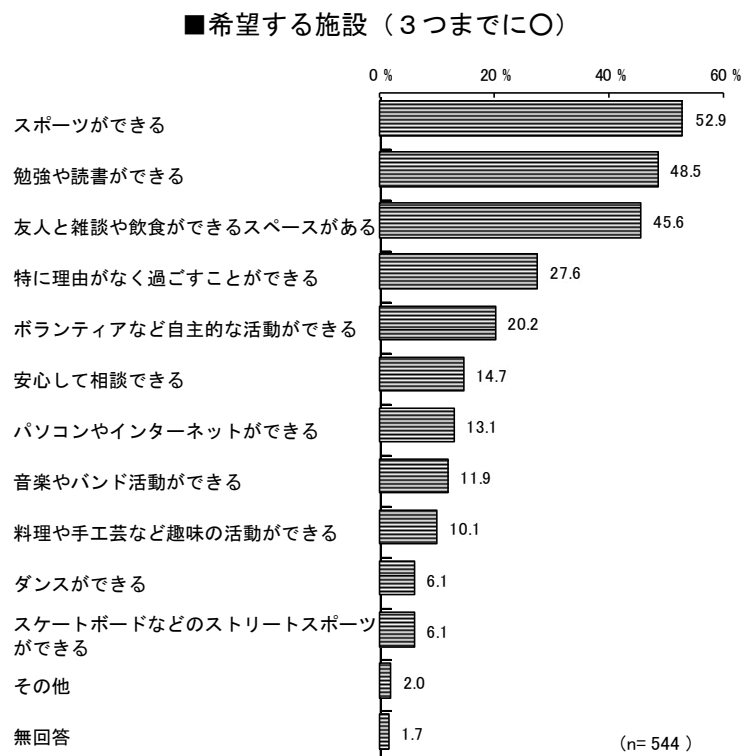
問14 中高生センタージャンプを利用させたいと思いますか。

「利用させたい」が52.0%、「利用させたいとは思わない」が42.5%となっています。



問15 今後、中学生や高校生が利用できる施設が整備されるとしたら、どのような施設ができるとういですか。

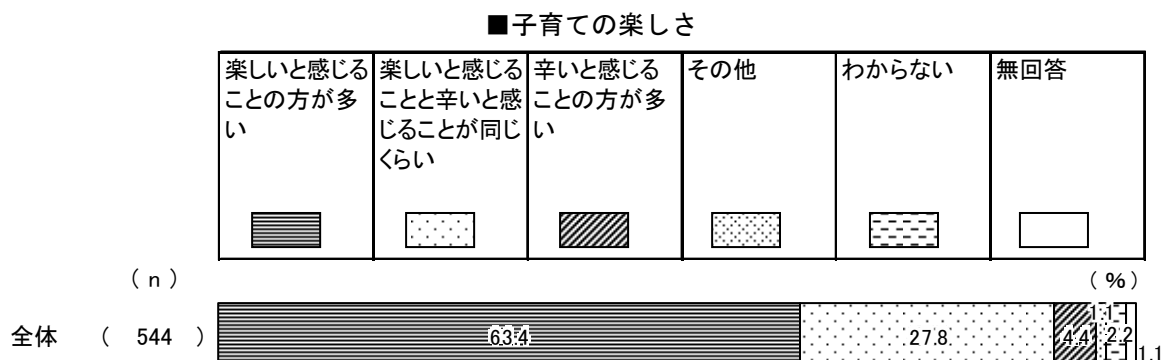
「スポーツができる」が最も多く52.9%、次いで「勉強や読書ができる」が48.5%、「友人と雑談や飲食ができるスペースがある」が45.6%、「特に理由がなく過ごすことができる」が27.6%となっています。



### 3 子育て全般について

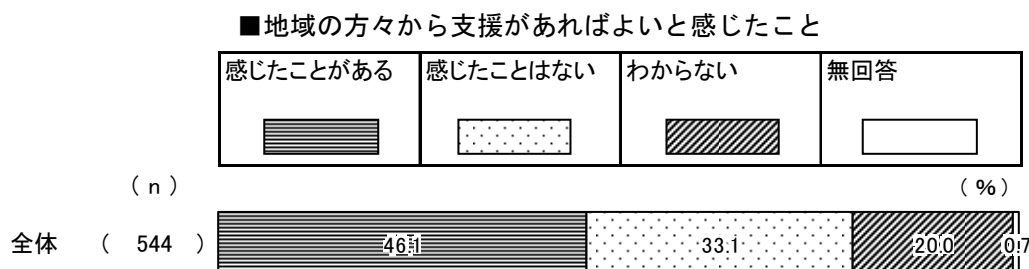
問16 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。

「楽しいと感じることが多い」が最も多く63.4%、次いで「楽しいと感じることが多い」と「辛いと感じることが多い」が同じくらい」が27.8%、「辛いと感じることが多い」が4.4%となっています。



問17 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。

「感じたことがある」が最も多く46.1%、次いで「感じたことはない」が33.1%、「わからない」が20.0%となっています。

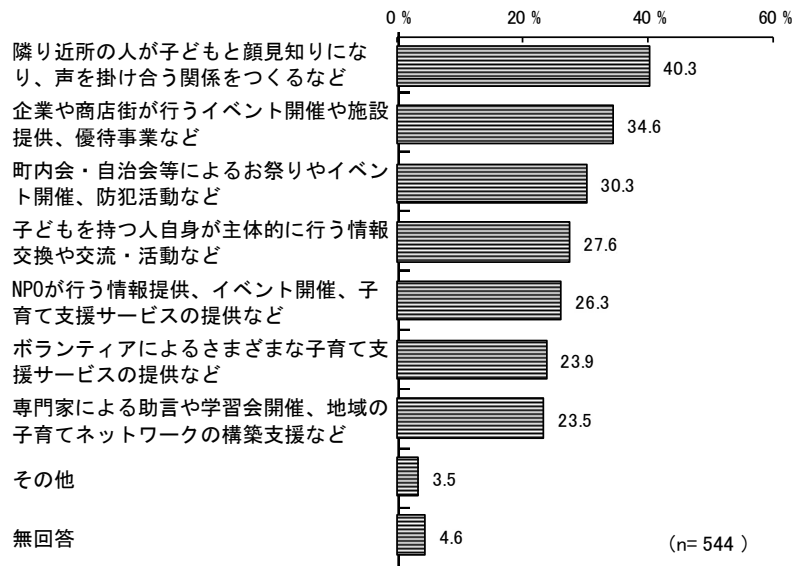




問18 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。

「隣り近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど」が最も多く40.3%次いで「企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など」が34.6%、「町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など」が30.3%となっています。

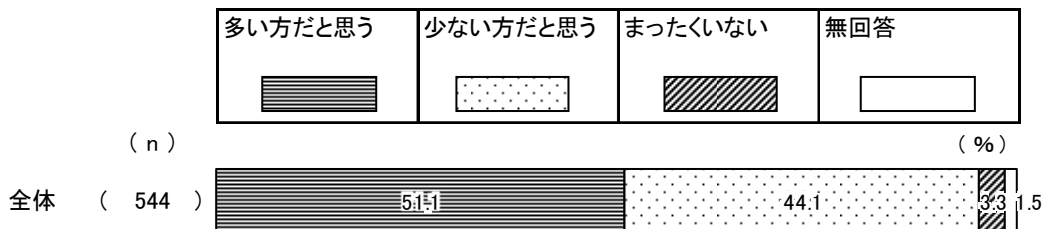
■地域の子育て力を向上させるために有効な取り組み（3つまでに○）



問19 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人が多い方だと思いますか。

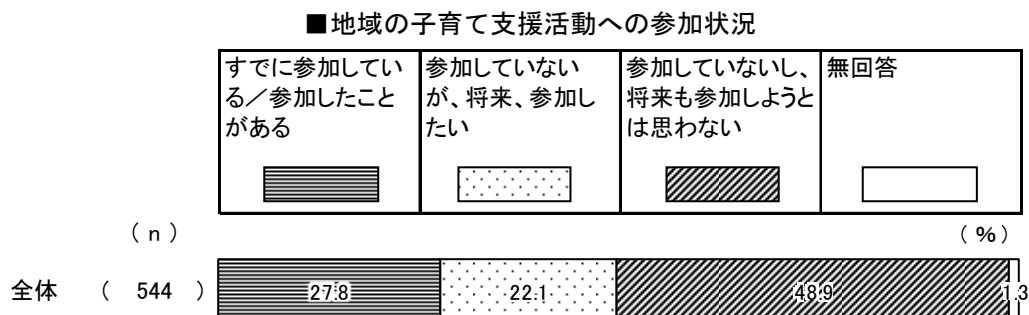
「多い方だと思う」が最も多く51.1%、次いで「少ない方だと思う」が44.1%、「まったくいない」が3.3%となっています。

■近所にあいさつをする人が多いか



問20 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。

「参加していないし、将来も参加しようとは思わない」が最も多く48.9%、次いで「すでに参加している／参加したことがある」が27.8%、「参加していないが、将来、参加したい」が22.1%となっています。



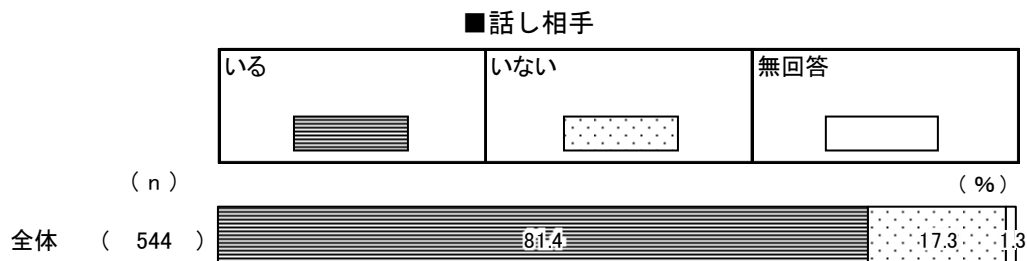
問21 あなたは、保育所・学校の話し合い（たとえばPTAなど）に参加していますか。

「参加している」が最も多く49.1%、次いで「ときどき参加している」が23.0%、「参加していない」が15.4%となっています。



問22 あなたの職場や地域など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人はいますか。

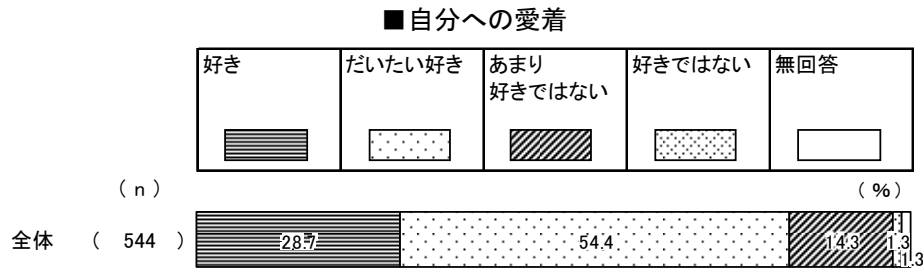
「いる」が81.4%、「いない」が17.3%となっています。



## 4 あなたご自身のことについて

問 23 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く 54.4%、次いで「好き」が 28.7%、「あまり好きではない」が 14.3%となっています。



問 24 あなたは、自分が周りの人から大切にされていると感じますか。

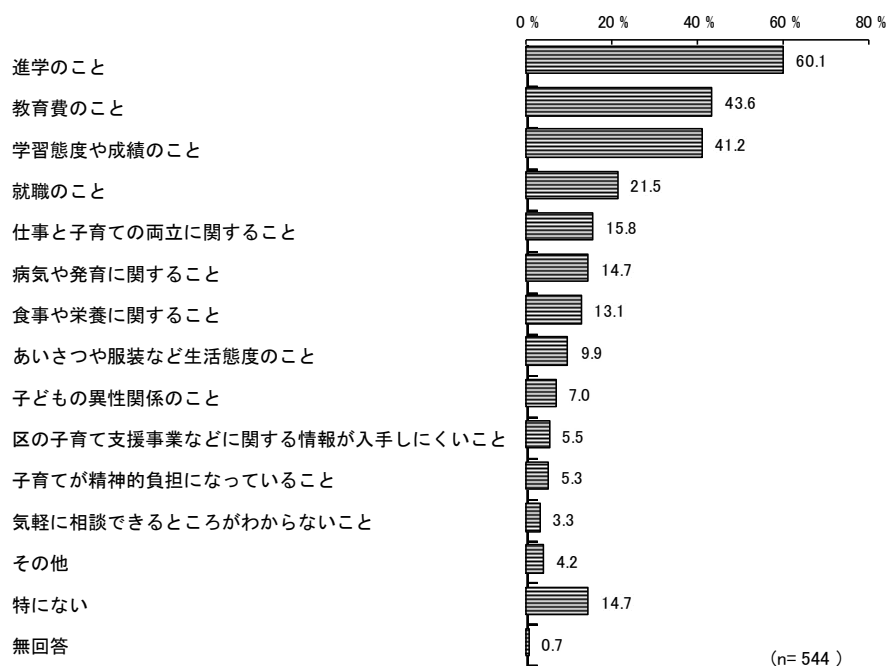
「だいたいそう思う」が最も多く 47.1%、次いで「そう思う」が 39.2%、「あまりそう思わない」が 11.4%となっています。



問 25 子育てに関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。

「進学のこと」が最も多く 60.1%、次いで「教育費のこと」が 43.6%、「学習態度や成績のこと」が 41.2%、「就職のこと」が 21.5%となっています。また「特にない」が 14.7%となっています。

■子育てで不安なこと・悩んでいること（複数回答）

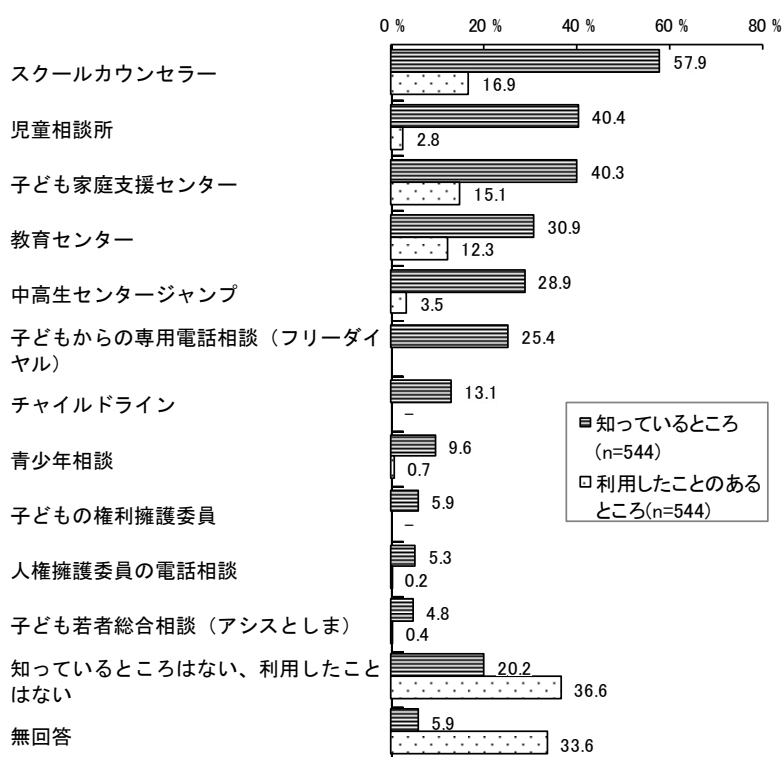


問27 次のような豊島区の子どもの相談を受けてくれるところのうち、知っているところ、利用したことのあるところがありますか。

知っているところは「スクールカウンセラー」が最も多く 57.9%、次いで「児童相談所」が 40.4%、「子ども家庭支援センター」が 40.3%となっています。また「知っているところはない」が 20.2%となっています。

利用状況は、「利用したことはない」が最も多く 36.6%となっています。利用したことがあるものは「スクールカウンセラー」が 16.9%、次いで「子ども家庭支援センター」が 15.1%、「教育センター」が 12.3%となっています。

■子どもに関する相談場所の認知度と利用状況（複数回答）

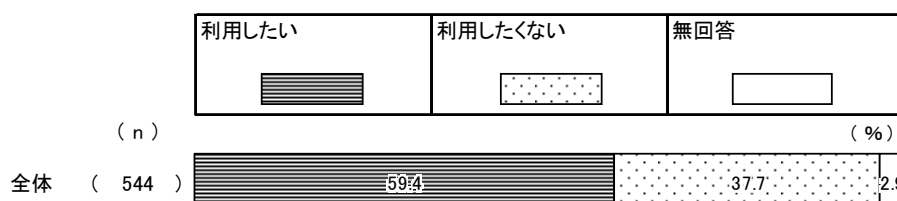


※保護者調査のため、「利用したところのある」の「子どもからの専用電話相談（フリーダイヤル）」は該当なし

問28 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、問27のような相談機関を利用したいと思いますか。

「利用したい」が 59.4%、「利用したくない」が 37.7%となっています。

■相談機関の利用意向

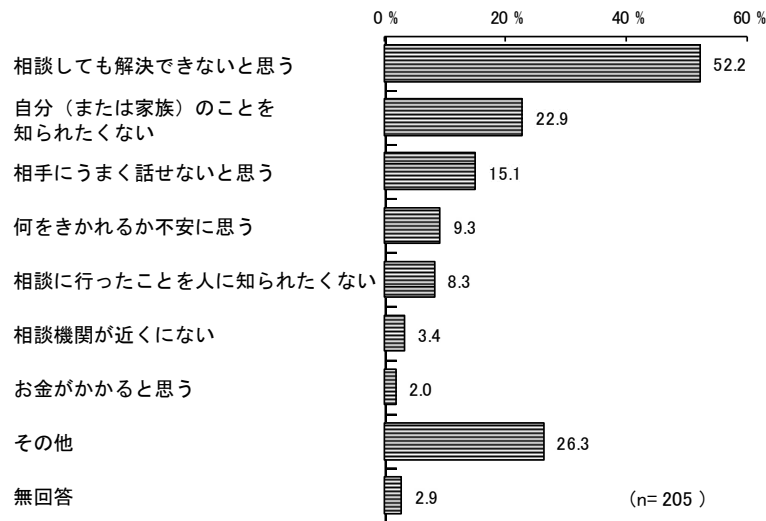


【問28で相談機関を「利用したくない」と回答した方】

問28-1 利用したくないと思う理由は何ですか。

「相談しても解決できないと思う」が最も多く52.2%、次いで「自分（または家族）のことを知られたくない」が22.9%、「相手にうまく話せないと思う」が15.1%となっています。

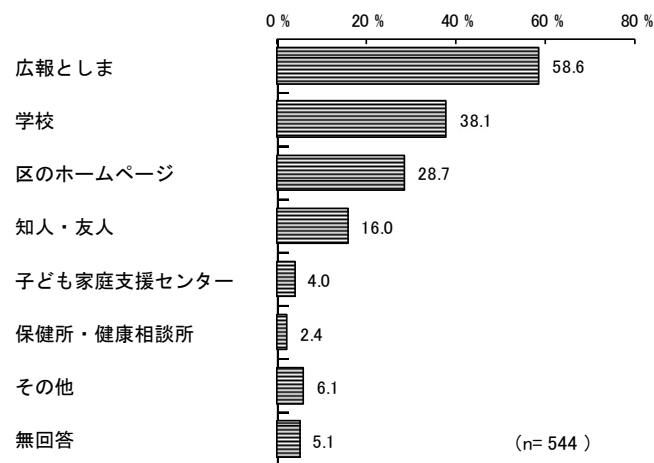
■ 利用したくない理由（複数回答）



問29 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか。

「広報としま」が最も多く58.6%、次いで「学校」が38.1%、「区のホームページ」が28.7%となっています。

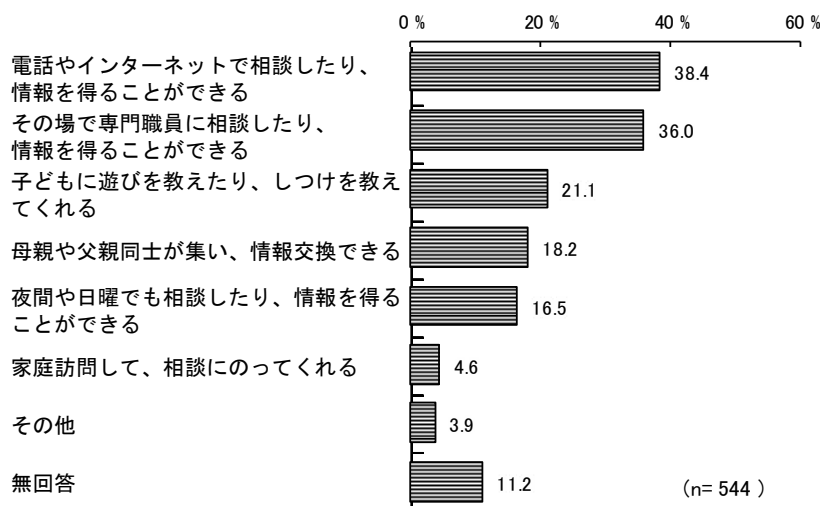
■ 子育て支援サービスに関する情報の入手先（複数回答）



問30 あなたは、身近な地域で、どのような情報交換・相談の場があったらよいと思いますか。

「電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる」が最も多く38.4%、次いで「その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる」が36.0%、「子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる」が21.1%となっています。

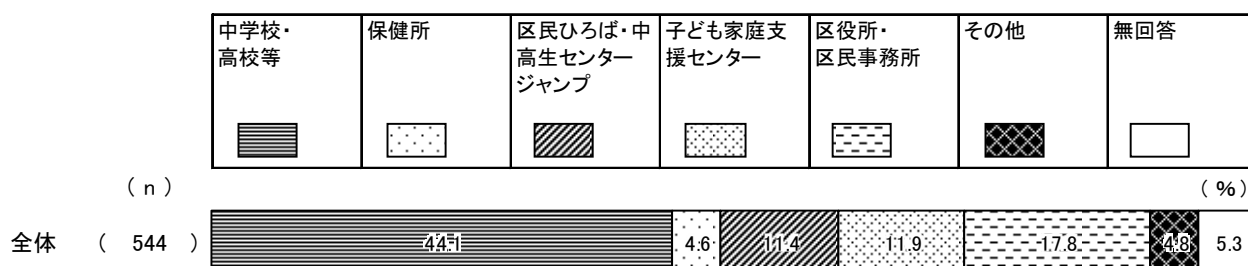
■育児に関する情報・相談の場に望むこと（複数回答）



問31 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。

「中学校・高校等」最も多く44.1%、次いで「区役所・区民事務所」が17.8%、「子ども家庭支援センター」が11.9%となっています。

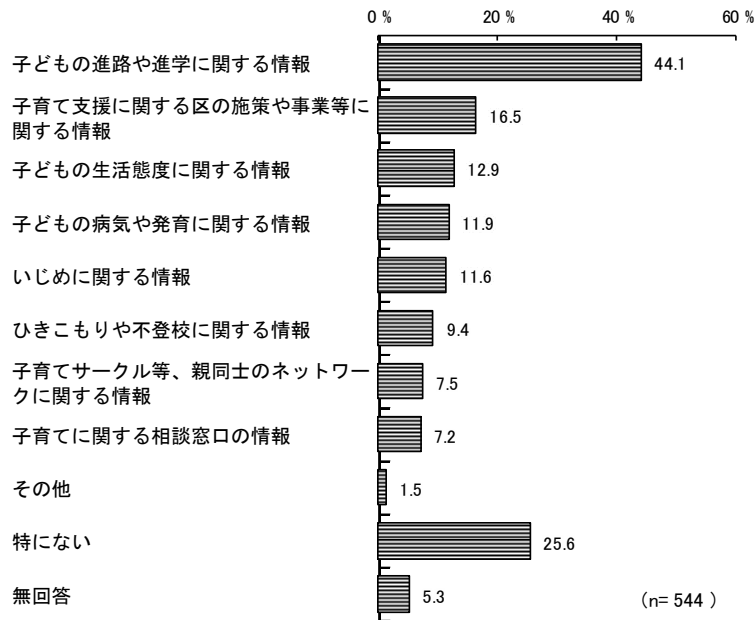
■子育てに関する情報・相談を気軽に受けたい場所



問32 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。

「子どもの進路や進学に関する情報」が最も多く44.1%、次いで「子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報」が16.5%、「子どもの生活態度に関する情報」が12.9%となっています。また「特にない」が25.6%となっています。

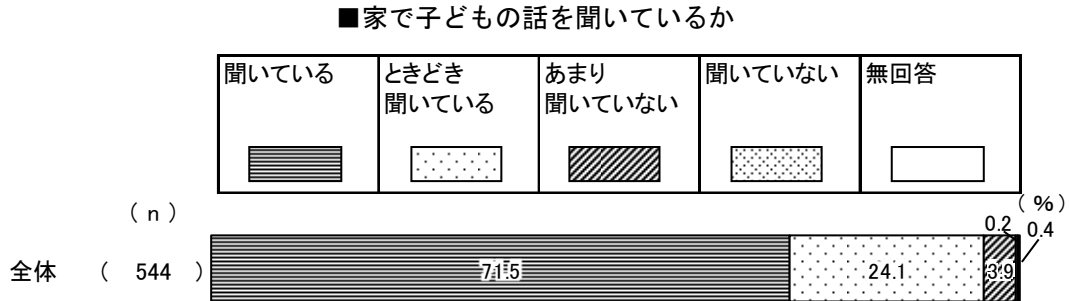
■子育てに関して欲しい情報・不足していること（3つまでに○）



5 お子さんのことについて

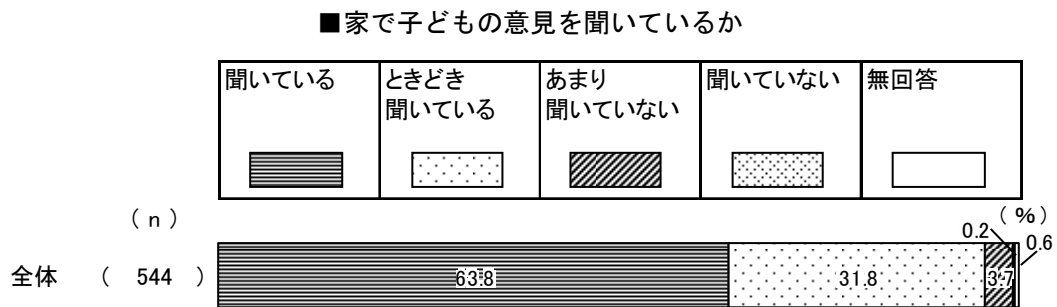
問 33 あなたは、ふだん家で子どもの話を聞いていますか。

「聞いている」が最も多く71.5%、次いで「ときどき聞いている」が24.1%、「あまり聞いていない」が3.9%となっています。



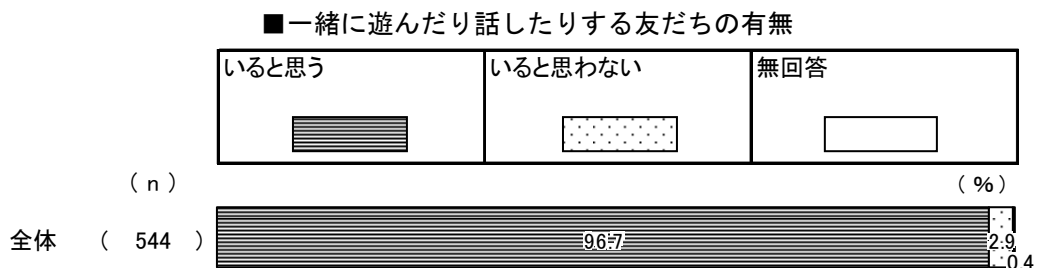
問 34 あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。

「聞いている」が最も多く63.8%、次いで「ときどき聞いている」が31.8%、「あまり聞いていない」が3.7%となっています。



問 35 あて名のお子さんには、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。

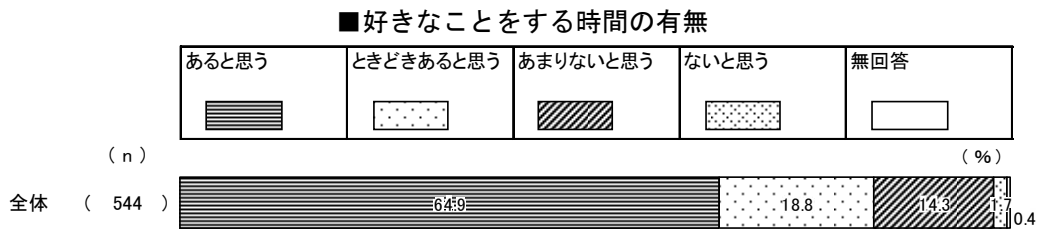
「いると思う」が96.7%、「いると思わない」が2.9%となっています。





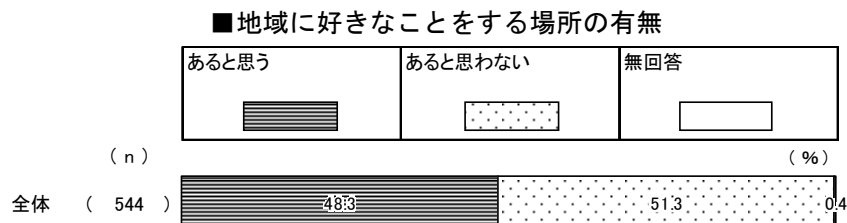
問 36 あて名のお子さんには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。

「あると思う」が最も多く64.9%、次いで「ときどきあると思う」が18.8%、「あまりないと思う」が14.3%となっています。



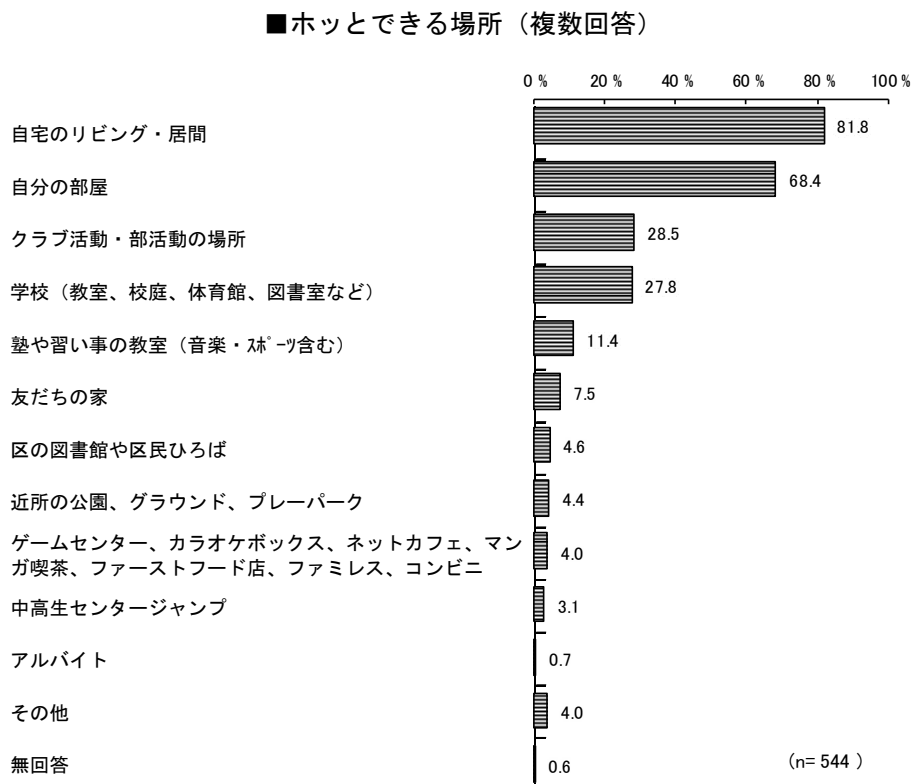
問 37 あて名のお子さんには、地域に、遊んだりスポーツをしたり自分が好きなことをする場所があると思いますか。

「あると思う」が48.3%、「あると思わない」が51.3%となっています。



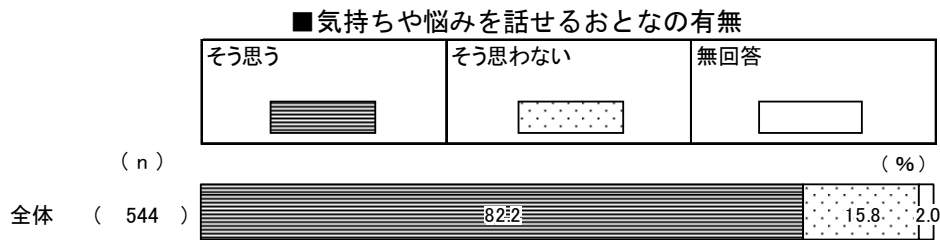
問 38 あて名のお子さんにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。

「自宅のリビング・居間」が最も多く81.8%、次いで「自分の部屋」が68.4%、「クラブ活動・部活動の場所」が28.5%、「学校（教室、校庭、体育館、図書室など）」が27.8%、「塾や習い事の教室（音楽・スポーツ含む）」が11.4%となっています。



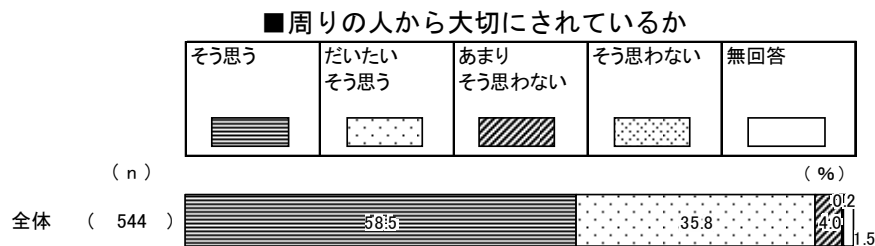
問 39 あて名のお子さんには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。

「そう思う」が82.2%、「そう思わない」が15.8%となっています。



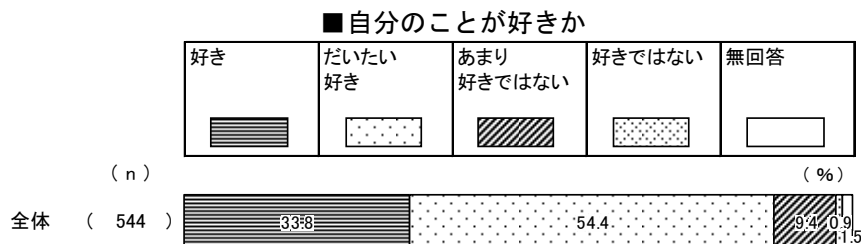
問 40 あて名のおさんは、自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じていますか。

「そう思う」が最も多く58.5%、次いで「だいたいそう思う」が35.8%、「あまりそう思わない」が4.0%となっています。



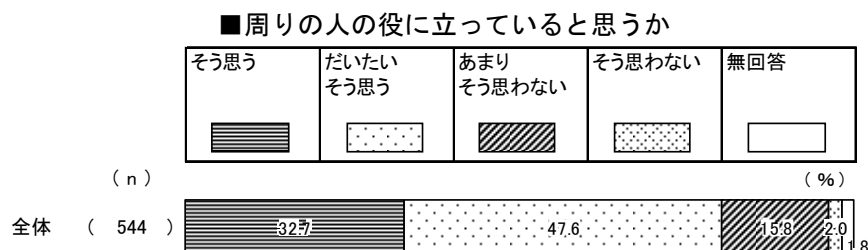
問 41 あて名のおさんは、自分のことが好きだと思っていると、思いますか。

「だいたい好き」が最も多く54.4%、次いで「好き」が33.8%、「あまり好きではない」が9.4%となっています。



問 42 あて名のおさんは、自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思っていますか。

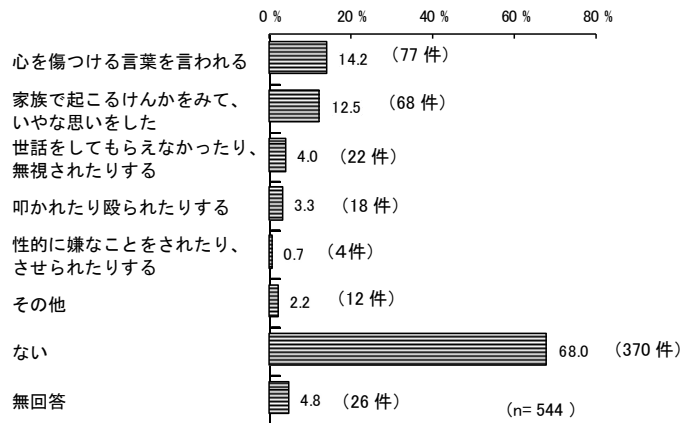
「だいたいそう思う」が最も多く47.6%、次いで「そう思う」が32.7%、「あまりそう思わない」が15.8%となっています。



問 43 あなたは、子どもがおとな（保護者や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。

「ない」が最も多く 68.0%となっています。気づいたり聞いたりしたことは「心を傷つける言葉を言われる」が最も多く 14.2%、「家族で起こるけんかを見て、いやな思いをした」が 12.5%、「世話をしてもらえなかったり、無視されたりする」が 4.0%となっています。

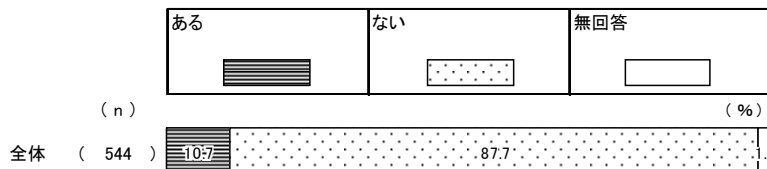
■最近、子どもがおとなにされたこと（複数回答）



問 44 あなたは、最近、子どものいじめ（いじめられる・いじているの両方を含む）に気づいたことがありますか。

「ない」が 87.7%、「ある」が 10.7%となっています。

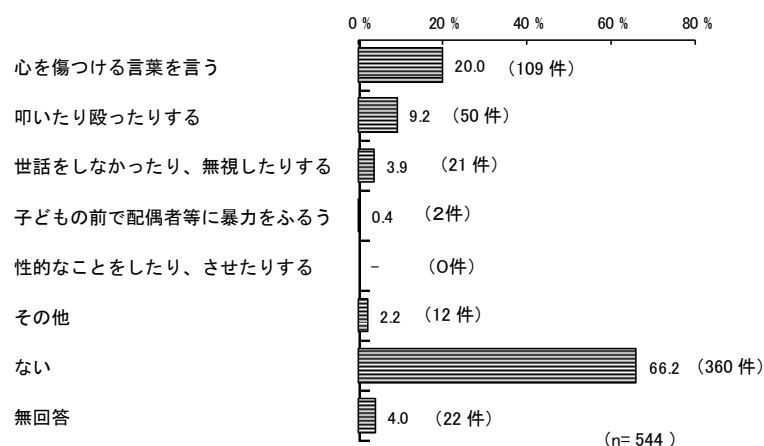
■いじめに気づいたことの有無



問 45 あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。

「ない」が最も多く 66.2%となっています。したことがあるでは「心を傷つける言葉を言う」が最も多く 20.0%、次いで「叩いたり殴ったりする」が 9.2%、「世話をしなかったり、無視したりする」が 3.9%となっています。

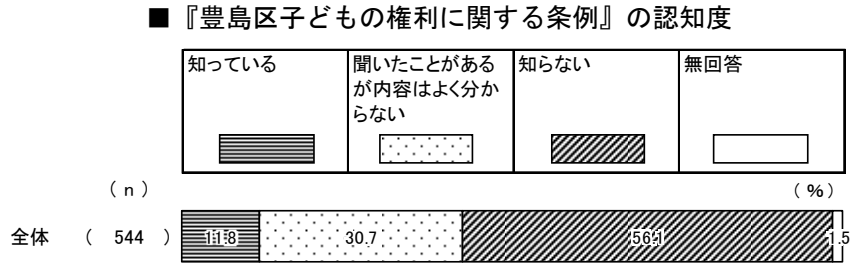
■子どもにしたことがあること（複数回答）



6 『子どもの権利条例』や豊島区の施策について

問 46 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知らない」が最も多く 56.1%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が 30.7%、「知っている」が 11.8%となっています。

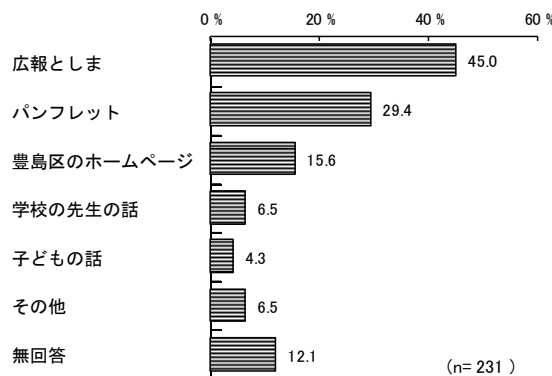


【問 46 で『豊島区子どもの権利に関する条例』について「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問 46-1 どのように知りましたか。

「広報としま」が最も多く 45.0%、次いで「パンフレット」が 29.4%、「豊島区のホームページ」が 15.6%となっています。

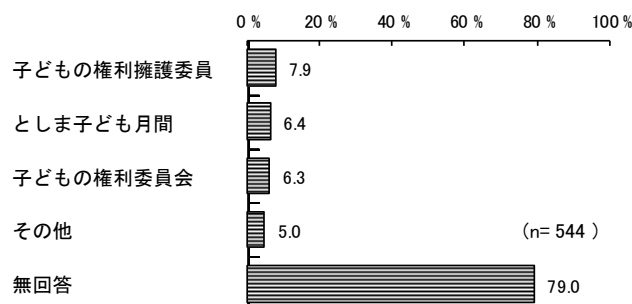
■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問 47 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

「子どもの権利擁護委員」が 7.9%、次いで「としま子ども月間」が 6.4%、「子どもの権利委員会」が 6.3%となっています。

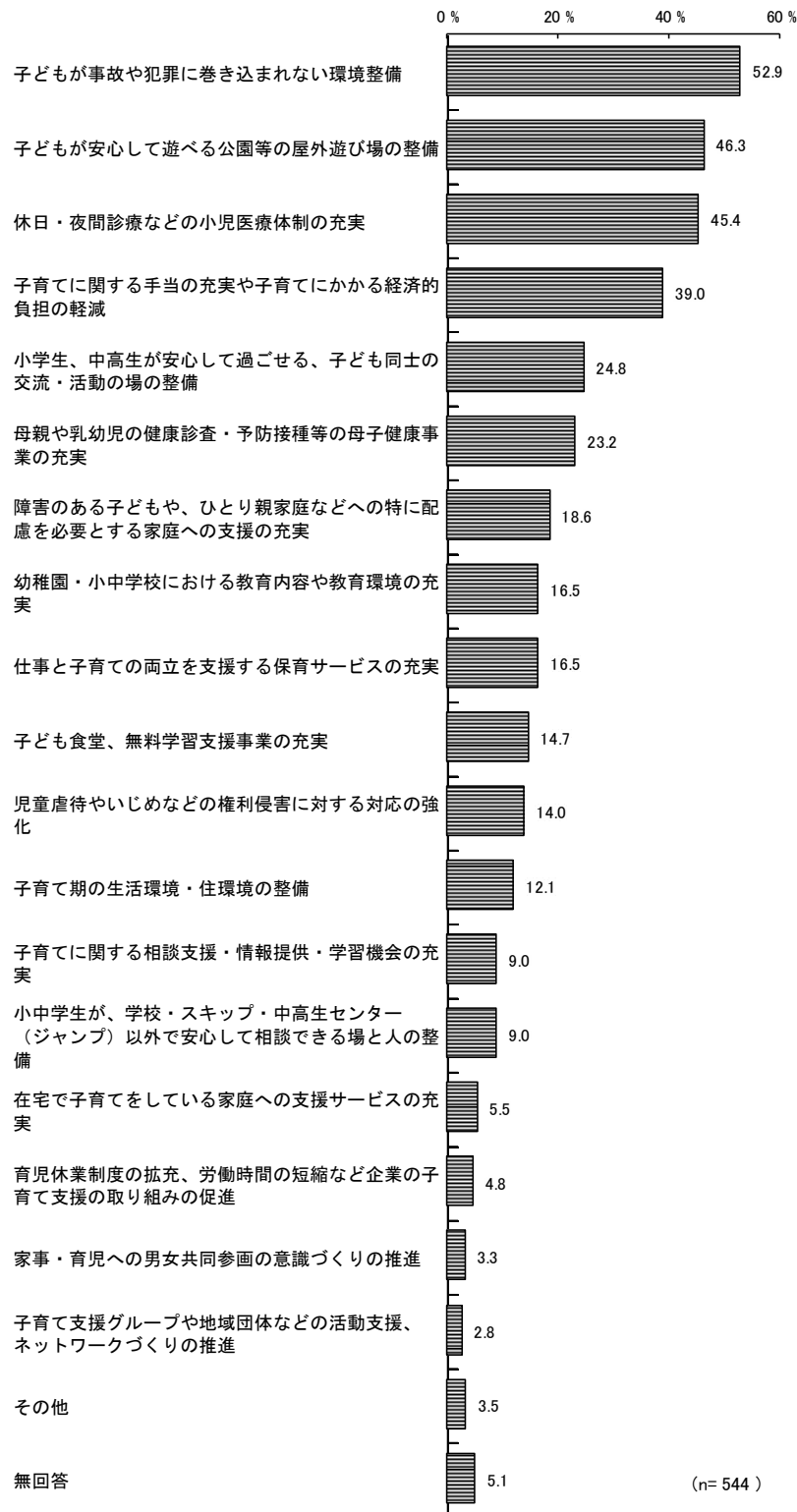
■ 子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問 48 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。

「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」が最も多く 52.9%、次いで「子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備」が 46.3%、「休日・夜間診療などの小児医療体制の充実」が 45.4%、「子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減」が 39.0%、「小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備」が 24.8%となっています。

■子育て支援・施策について望むこと（5つまでに○）



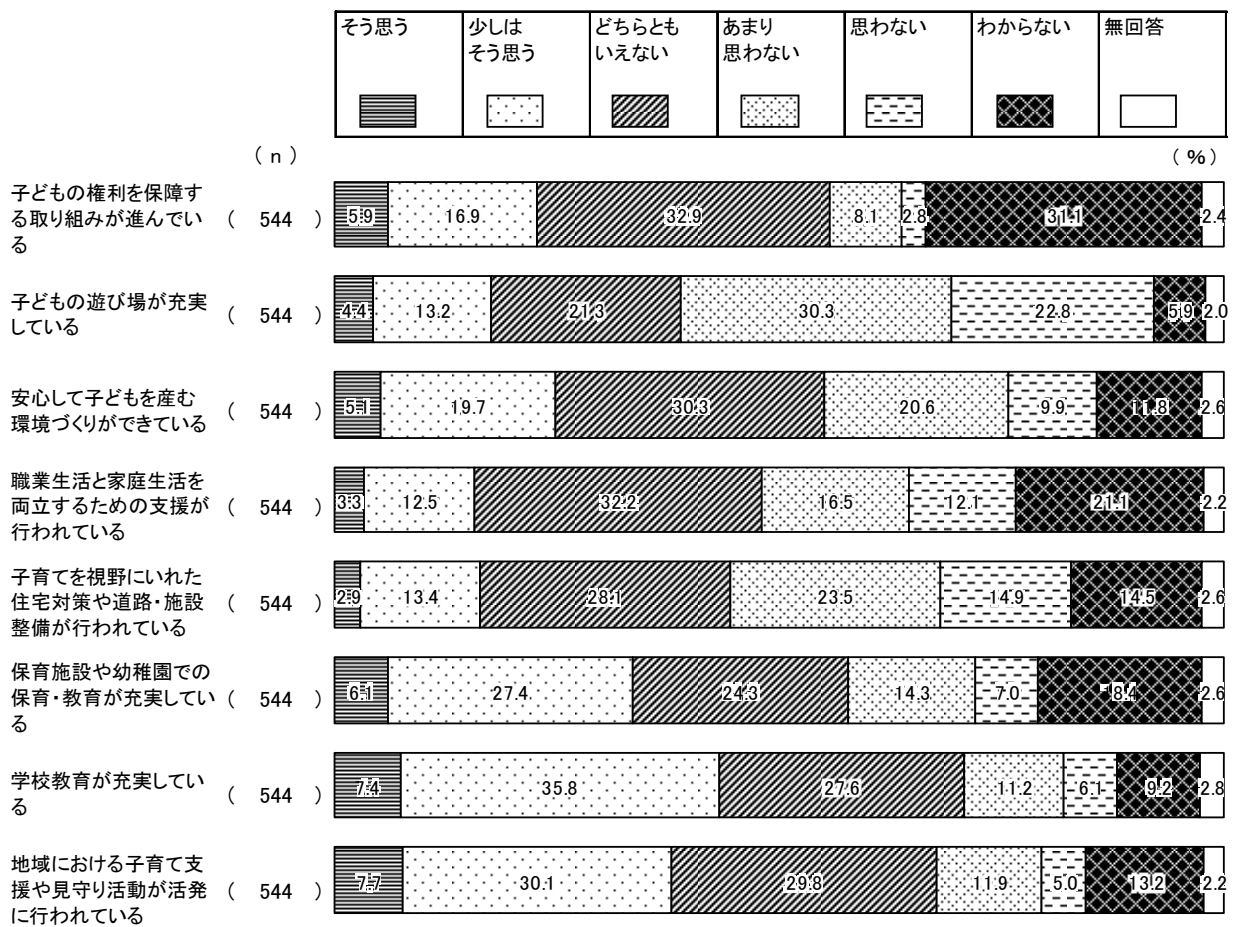
問 49 あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにお答えください。

『思う』（そう思う+少しはそう思う）は、“学校教育が充実している”が最も多く43.2%、次いで“地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている”が37.8%、“保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している”が33.5%となっています。

『思わない』（あまり思わない+思わない）は“子どもの遊び場が充実している”が最も多く53.1%、次いで“子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている”が38.4%、“安心して子どもを産む環境づくりができています”が30.5%となっています。

“子どもの権利を保障する取り組みが進んでいる”は、他の項目と比べて「わからない」が多くなっています。

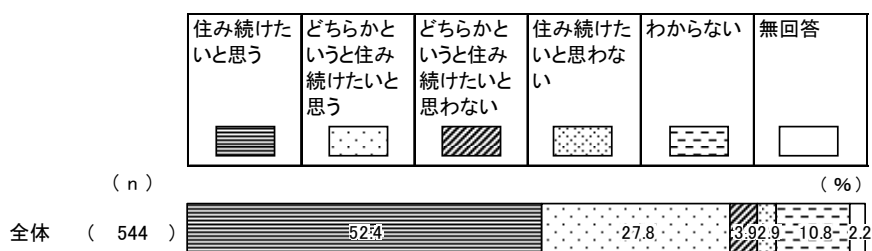
■豊島区の子育て環境について



問 50 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」が最も多く52.4%、次いで「どちらかというに住み続けたいと思う」が27.8%、「どちらかというに住み続けたいと思わない」が3.9%となっています。

■定住意向

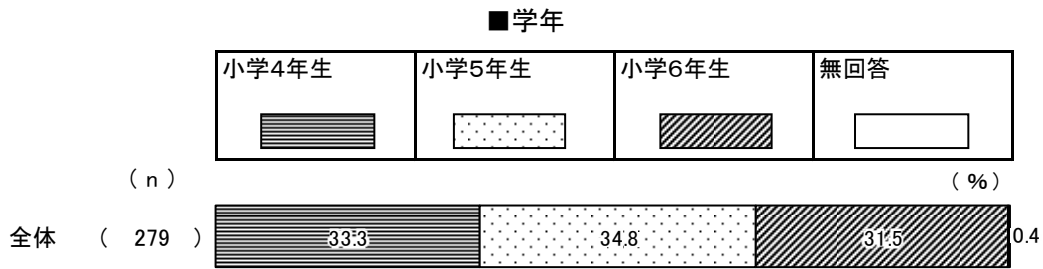


## IV 小学4～6年生本人

### 1 あなたのことについて

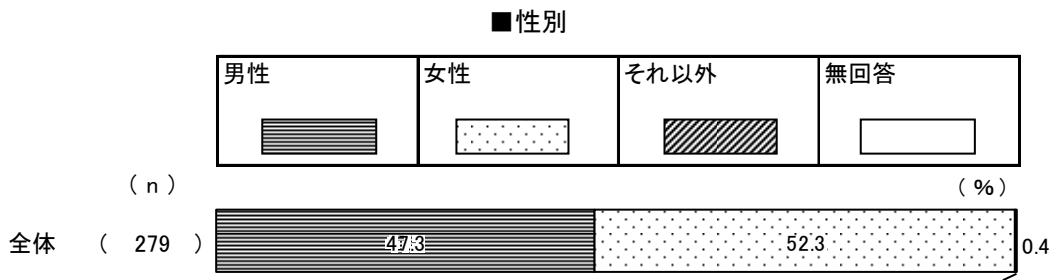
#### F 1. あなたは何年生ですか。

「小学5年生」が最も多く34.8%、次いで「小学4年生」が33.3%、「小学6年生」が31.5%となっています。



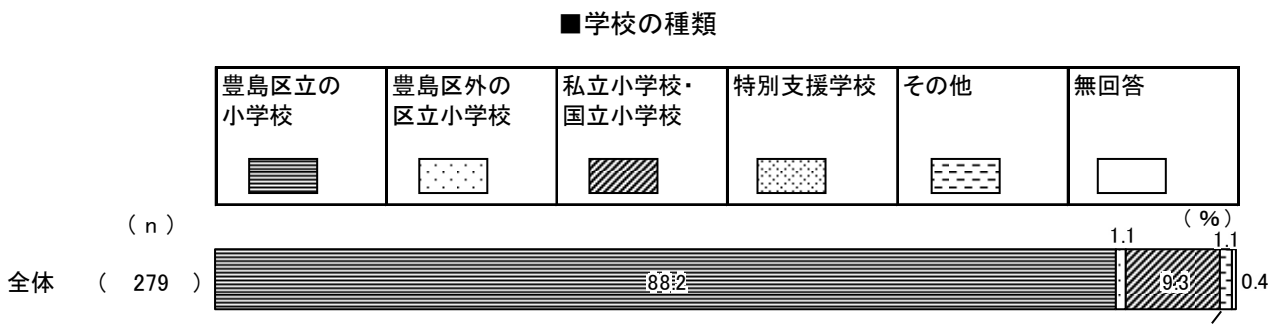
#### F 2. あなたの性別は。

「男性」が47.3%、「女性」が52.3%となっています。



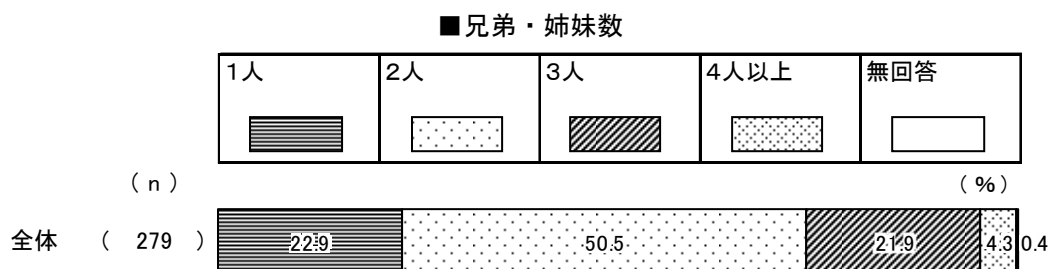
#### F 3. あなたが通っている小学校は、次のどれですか。

「豊島区立の小学校」が最も多く88.2%、次いで「私立小学校・国立小学校」が9.3%、「豊島区外の区立小学校」が1.1%となっています。



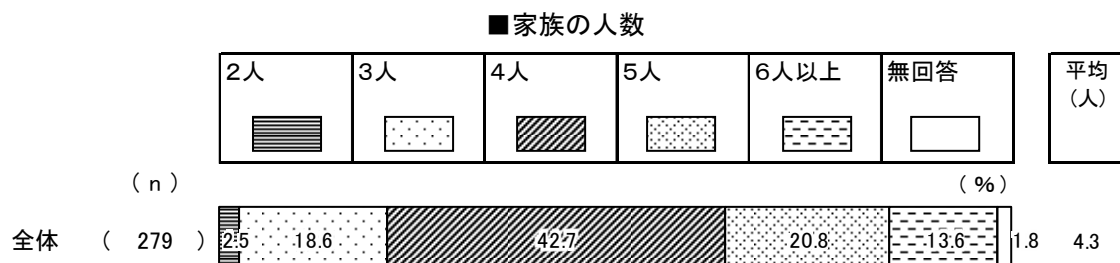
F 4. あなたは、何人兄弟・姉妹ですか。(あなたを含めて)

「2人」が最も多く50.5%、次いで「1人」が22.9%、「3人」が21.9%となっています。



F 5. あなたと一緒に住んでいる家族は何人ですか。玄関は別でも、となりあっていたり、2世帯住宅の場合は、同居しているものとして合計人数を書いてください。

「4人」が最も多く42.7%、次いで「5人」が20.8%、「3人」が18.6%となっています。平均は4.3人となっています。





## 2 ふだんの生活について

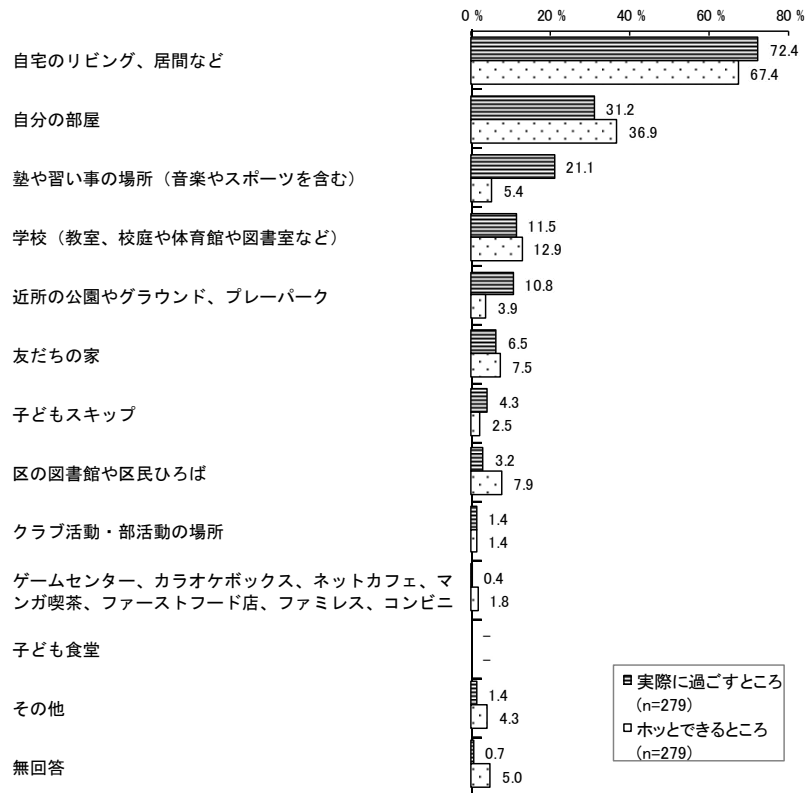
問1 あなたは学校が終わってから、次の場所のどこで過ごすことが多いですか。また、あなたにとってホッとできる場所はどこですか。

実際に過ごすところは「自宅のリビング、居間など」が最も多く72.4%、次いで「自分の部屋」が31.2%、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツを含む）」が21.1%、「学校（教室、校庭や体育館や図書室など）」が11.5%となっています。

ホッとできるところは「自宅のリビング、居間など」が最も多く67.4%、次いで「自分の部屋」が36.9%、「学校（教室、校庭や体育館や図書室など）」が12.9%、「区の図書館や区民ひろば」が7.9%となっています。

また、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツを含む）」は、実際に過ごすところでは21.1%、ホッとできる場所では5.4%と、差が見られます。

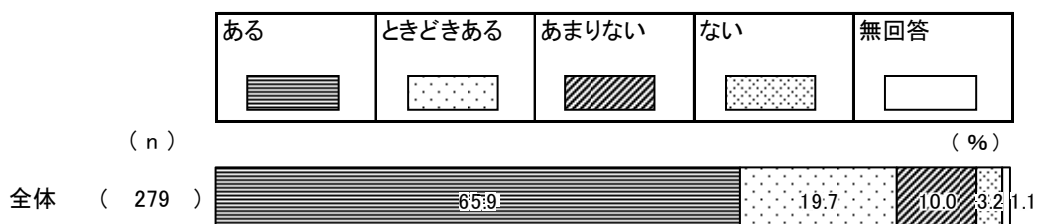
■学校が終わってから過ごすところ・ホッとできるところ（2つまでに○）



問2 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

「ある」が最も多く65.9%、次いで「ときどきある」が19.7%、「あまりない」が10.0%となっています。

■好きなことをする時間の有無



問3 友だちとは、だいたい週に何日くらい遊びますか。平日（月曜日～金曜日）・土曜日・日曜日ごとにお答えください。

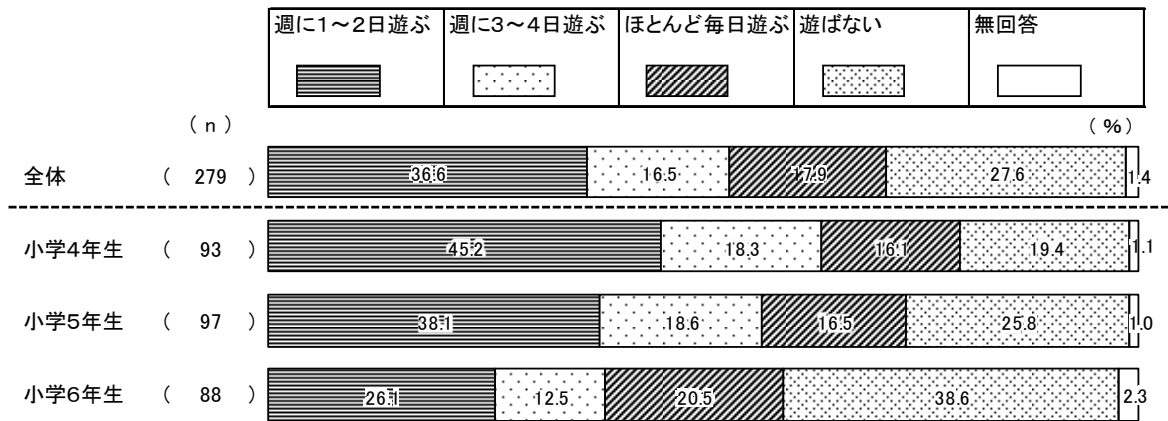
平日は「週に1～2日遊ぶ」が最も多く36.6%、次いで「遊ばない」が27.6%、「ほとんど毎日遊ぶ」が17.9%となっています。

学年別にみると、“小学4年生”“小学5年生”は「週に1～2日遊ぶ」が最も多く、“小学6年生”は「遊ばない」が最も多くなっており、学年が上がるにつれて、「遊ばない」が多くなっています。

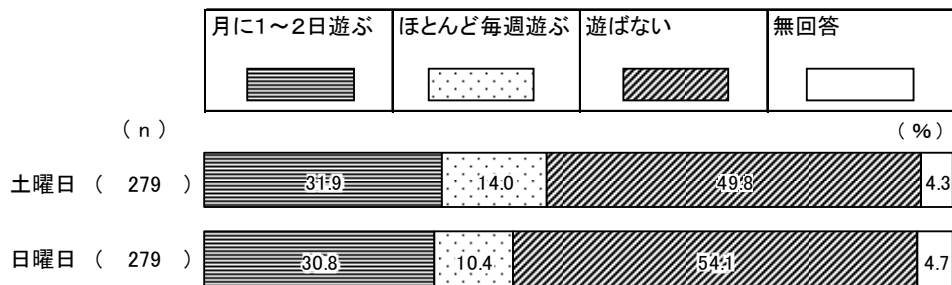
土曜日は「遊ばない」が最も多く49.8%、次いで「月に1～2日遊ぶ」が31.9%、「ほとんど毎週遊ぶ」が14.0%となっています。

日曜日は「遊ばない」が最も多く54.1%、次いで「月に1～2日遊ぶ」が30.8%、「ほとんど毎週遊ぶ」が10.4%となっています。

■友だちと遊ぶ頻度：平日



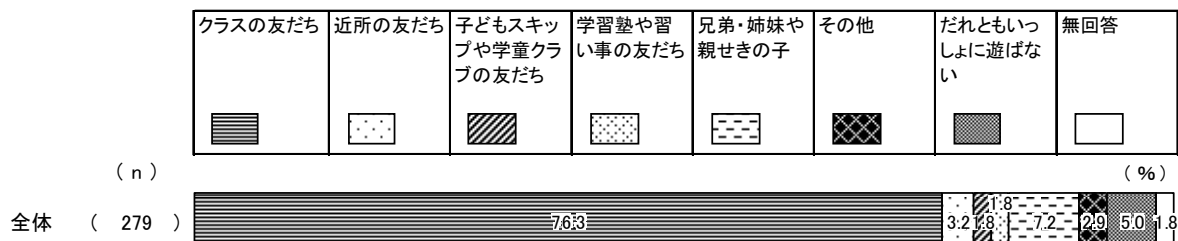
■友だちと遊ぶ頻度：土曜日・日曜日



問4 誰と遊ぶことが多いですか。

「クラスの友だち」が最も多く76.3%、次いで「兄弟・姉妹や親せきの子」が7.2%、「だれともいっしょに遊ばない」が5.0%となっています。

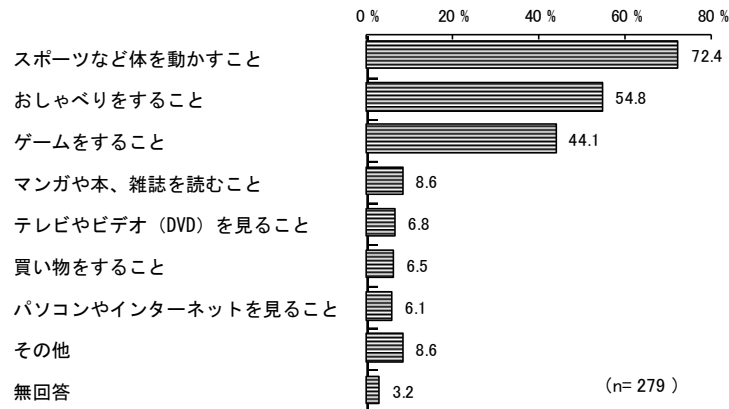
■遊ぶ友だち



問5 友だちとは、どのような遊びをすることが多いですか。

「スポーツなど体を動かすこと」が最も多く72.4%、次いで「おしゃべりをする事」が54.8%、「ゲームをする事」が44.1%となっています。

■友だちとする遊び（3つまでに○）



【学年別】

学年別にみると、全学年で「スポーツなど体を動かすこと」が最も多く7割以上となっています。

また、学年が上がるにつれて、「おしゃべりをする事」が増えています。

性別にみると、「男性」は「スポーツなど体を動かすこと」、「女性」は「おしゃべりをする事」が最も多くなっています。

(単位: %)

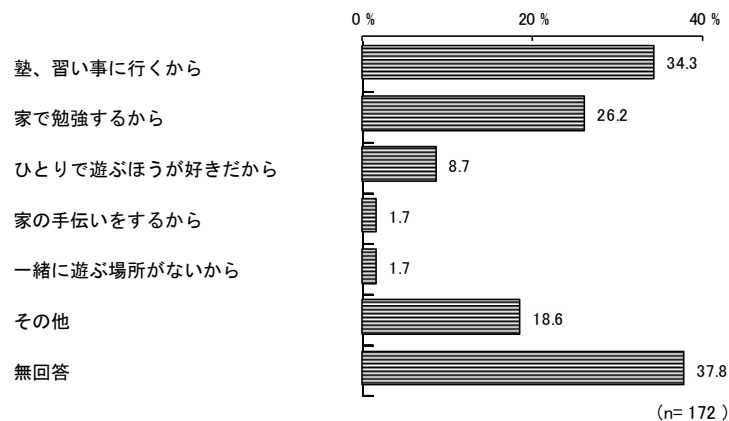
|    | 回答者数  | スポーツなど体を動かすこと | おしゃべりをする事 | マンガや本、雑誌を読むこと | テレビやビデオ (DVD) を見ること | ゲームをする事 | パソコンやインターネットを見ること | 買い物をする事 | その他  | 無回答 |
|----|-------|---------------|-----------|---------------|---------------------|---------|-------------------|---------|------|-----|
| 全体 | 279   | 72.4          | 54.8      | 8.6           | 6.8                 | 44.1    | 6.1               | 6.5     | 8.6  | 3.2 |
| 学年 | 小学4年生 | 93            | 73.1      | 46.2          | 7.5                 | 7.5     | 47.3              | 5.4     | 5.4  | 2.2 |
|    | 小学5年生 | 97            | 74.2      | 55.7          | 8.2                 | 9.3     | 46.4              | 6.2     | 5.2  | 3.1 |
|    | 小学6年生 | 88            | 69.3      | 63.6          | 10.2                | 3.4     | 38.6              | 6.8     | 9.1  | 4.5 |
| 性別 | 男性    | 132           | 77.3      | 39.4          | 6.8                 | 6.8     | 56.1              | 6.1     | 0.8  | 3.8 |
|    | 女性    | 146           | 67.8      | 68.5          | 10.3                | 6.8     | 33.6              | 6.2     | 11.0 | 2.7 |

【問3で友だちと「遊ばない」、問4で「だれともいっしょに遊ばない」と回答した方】

問6 友だちと遊ばないのはどうしてですか。

「塾、習い事に行くから」が最も多く34.3%、次いで「家で勉強するから」が26.2%、「ひとりで遊ぶほうが好きだから」が8.7%となっています。

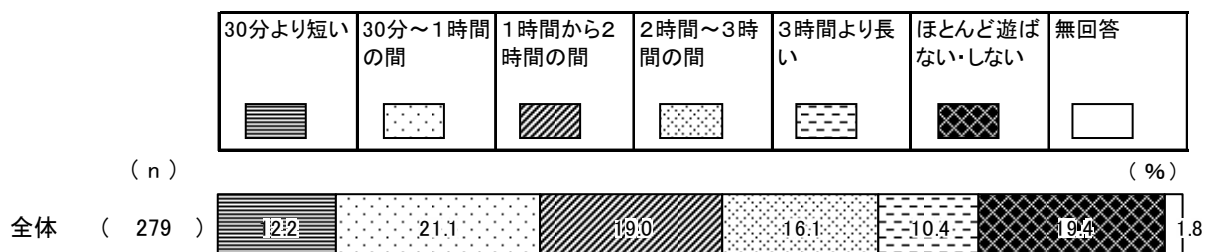
■友だちと遊ばない理由（複数回答）



問7 平日（月曜日～金曜日）に、ゲーム（テレビ、携帯電話、ポータブルゲーム機、パソコンなど）で遊んだり、友達などとメールをしあったりする時間は1日何時間くらいですか。

「30分～1時間の間」が最も多く21.1%、次いで「ほとんど遊ばない・しない」が19.4%、「1時間から2時間の間」が19.0%となっています。

■ゲーム・メールの1日あたり実施時間

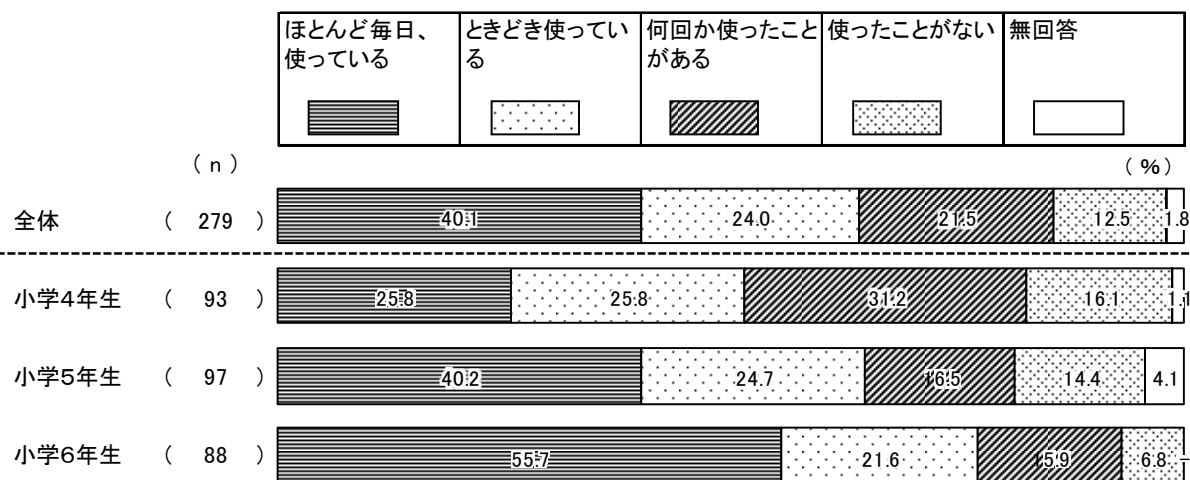


問8 学校以外で携帯電話（スマートフォン）やパソコンでインターネットを使ったことはありますか。

「ほとんど毎日、使っている」が最も多く40.1%、次いで「ときどき使っている」が24.0%、「何回か使ったことがある」が21.5%となっています。

学年別にみると、学年が上がるにつれて「ほとんど毎日使っている」が多くなっています。

■学校以外でのインターネットの利用経験

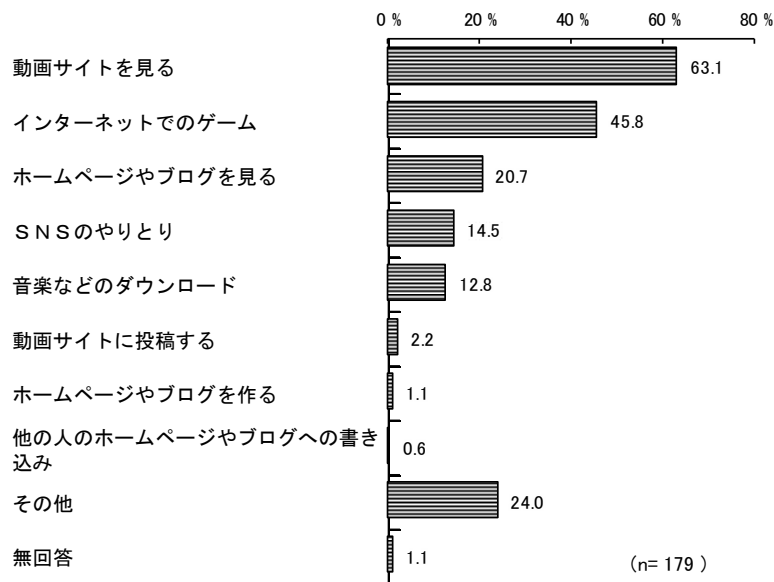


【問8でインターネットを「ほとんど毎日、使っている」と「ときどき使っている」と回答した方】

問8-1 インターネットでは、どのようなことをしていますか。

「動画サイトを見る」が最も多く63.1%、次いで「インターネットでのゲーム」が45.8%、「ホームページやブログを見る」が20.7%となっています。

■インターネットで行っていること（複数回答）



【性別】

“男性”“女性”ともに「動画サイトを見る」が最も多く6割以上となっています。“女性”は“男性”と比べて「SNSのやりとり」、「男性」は“女性”と比べて「インターネットでのゲーム」が多くなっています。

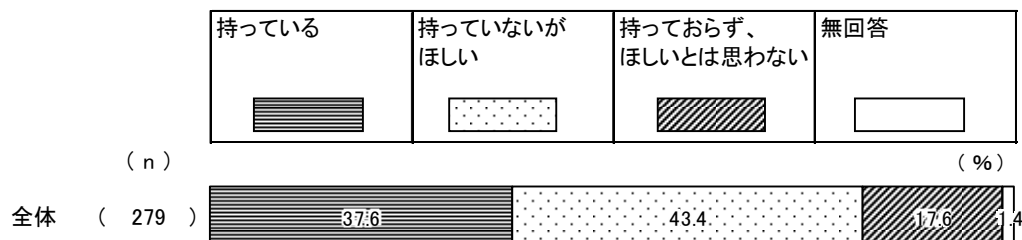
(単位: %)

|    | 回答者数 | SNSのやりとり | ホームページやブログを見る | 動画サイトを見る | 音楽などのダウンロード | ホームページやブログを作る | 動画サイトに投稿する | インターネットでのゲーム | 他の人のホームページやブログへの書き込み | その他  | 無回答 |
|----|------|----------|---------------|----------|-------------|---------------|------------|--------------|----------------------|------|-----|
| 全体 | 179  | 14.5     | 20.7          | 63.1     | 12.8        | 1.1           | 2.2        | 45.8         | 0.6                  | 24.0 | 1.1 |
| 男性 | 84   | 9.5      | 16.7          | 61.9     | 13.1        | 1.2           | 2.4        | 54.8         | 1.2                  | 15.5 | 1.2 |
| 女性 | 95   | 18.9     | 24.2          | 64.2     | 12.6        | 1.1           | 2.1        | 37.9         | —                    | 31.6 | 1.1 |

問9 あなたは、あなた専用の携帯電話（スマートフォン）を持っていますか。

「持っていないがほしい」が最も多く43.4%、次いで「持っている」が37.6%、「持っておらず、ほしいとは思わない」が17.6%となっています。

■自分専用の携帯電話の有無



【学年別・性別】

学年別にみると、“小学4年生”“小学5年生”は「持っていないがほしい」が最も多く、“小学6年生”は「持っている」が最も多くなっています。学年が上がるにつれて、「持っている」が多くなっています。

(単位:%)

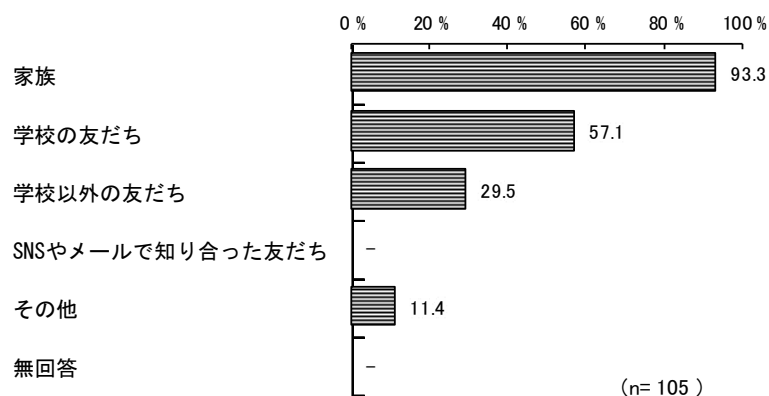
|    |       | 回答者数 | 持っている | 持っていないがほしい | 持っておらず、ほしいとは思わない | 無回答 |
|----|-------|------|-------|------------|------------------|-----|
| 全体 |       | 279  | 37.6  | 43.4       | 17.6             | 1.4 |
| 学年 | 小学4年生 | 93   | 30.1  | 46.2       | 23.7             | —   |
|    | 小学5年生 | 97   | 36.1  | 41.2       | 18.6             | 4.1 |
|    | 小学6年生 | 88   | 47.7  | 42.0       | 10.2             | —   |

【問9で専用の携帯電話（スマートフォン）を「持っている」と回答した方】

問9-1 電話やLINEの相手はどのような人ですか。

「家族」が最も多く93.3%、次いで「学校の友だち」が57.1%、「学校以外の友だち」が29.5%となっています。

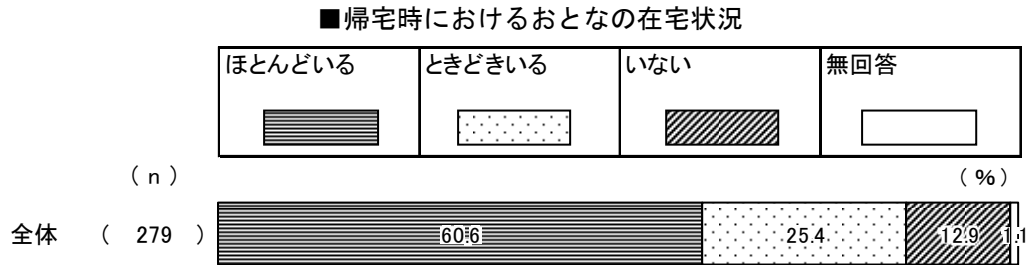
■電話やLINEなどの相手（複数回答）



### 3 家での生活やあなたの思いについて

問10 あなたが学校から帰ったときに、家におとながいますか。

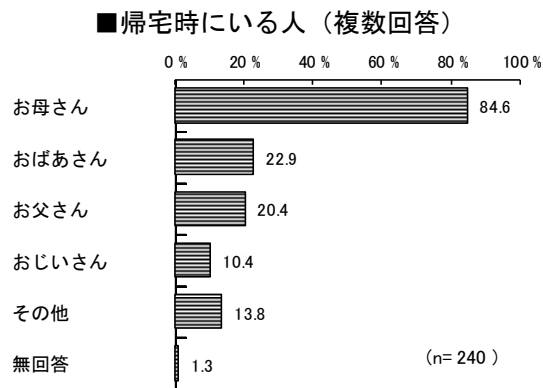
「ほとんどいる」が最も多く60.6%、次いで「ときどきいる」が25.4%、「いない」が12.9%となっています。



【問10で学校から帰ったときに、家におとなが「ほとんどいる」と「ときどきいる」と回答した方】

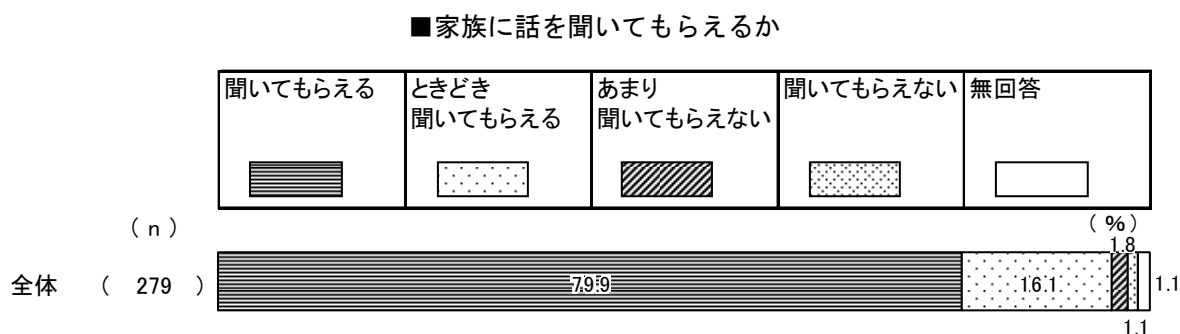
問10-1 あなたが家に帰ったとき、家にいるのはだれですか。

「お母さん」が最も多く84.6%、次いで「おばあさん」が22.9%、「お父さん」が20.4%となっています。



問11 あなたは、学校であったことなどについて、家族の人に話を聞いてもらえますか。

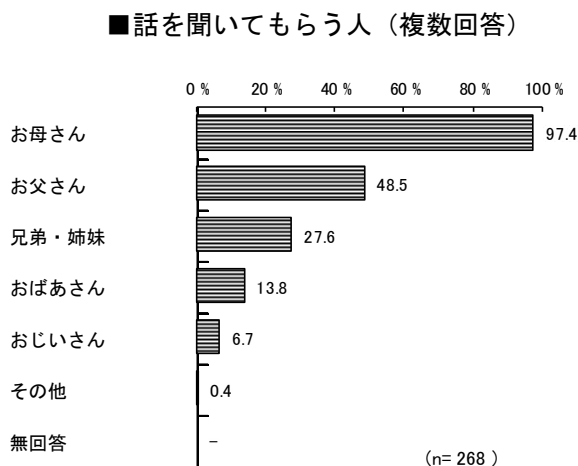
「聞いてもらえる」が最も多く79.9%、次いで「ときどき聞いてもらえる」が16.1%、「あまり聞いてもらえない」が1.8%となっています。



【問11で家族の人に話を「聞いてもらえる」と「ときどき聞いてもらえる」と回答した方】

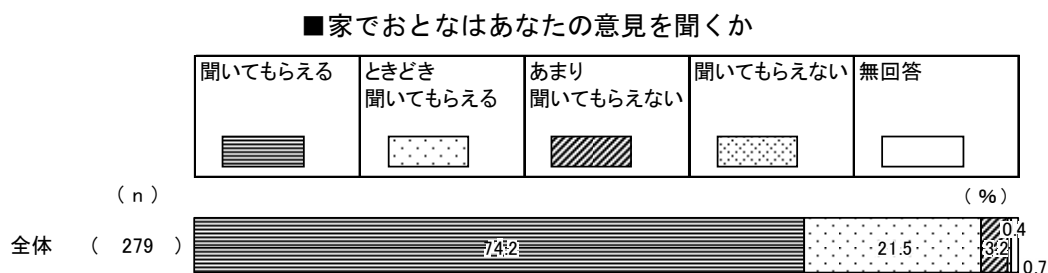
問11-1 おもにだれに話を聞いてもらっていますか。

「お母さん」が最も多く97.4%、次いで「お父さん」が48.5%、「兄弟・姉妹」が27.6%となっています。



問12 家で何かを決めるとき、おとなにあなたの意見を聞いてもらえますか。

「聞いてもらえる」が最も多く74.2%、次いで「ときどき聞いてもらえる」が21.5%、「あまり聞いてもらえない」が3.2%となっています。

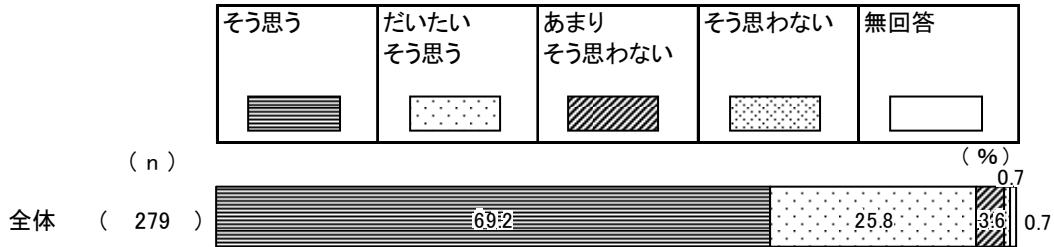




問13 あなたは、自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じますか。

「そう思う」が最も多く 69.2%、次いで「だいたいそう思う」が 25.8%、「あまりそう思わない」が 3.6%となっています。

■周りの人から大切にされていると感じるか



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分が“好き/だいたい好き”（以下「好き」）と回答した人は、「そう思う」が76.5%、「だいたいそう思う」が20.0%、“好きではない/あまり好きではない”（以下「好きではない」）と回答した人は「そう思う」が32.6%、「だいたいそう思う」が56.5%となっており、それぞれ大きな差がみられます。

(単位: %)

|           | 回答者数 | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまりそう<br>思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|--------------|---------------|--------|-----|
| 全体        | 279  | 69.2 | 25.8         | 3.6           | 0.7    | 0.7 |
| 自分が好き     | 230  | 76.5 | 20.0         | 2.6           | 0.4    | 0.4 |
| 自分が好きではない | 46   | 32.6 | 56.5         | 8.7           | 2.2    | —   |

問14 あなたは、自分が好きですか。

「好き」が最も多く 44.8%、次いで「だいたい好き」が 37.6%、「あまり好きではない」が 14.0%となっています。

■自分への愛着



問15 あなたは、自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 47.0%、次いで「そう思う」が 34.1%、「あまりそう思わない」が 14.3%となっています。

■周りの人の役に立っていると思うか



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う」が 39.6%、“好きではない”と回答した人は 8.7% となっており、大きな差がみられます。また、“好き”と回答した人は「あまりそう思わない」が 10.0%、“好きではない”と回答した人は 37.0%となっており、同様に差がみられます。

(単位: %)

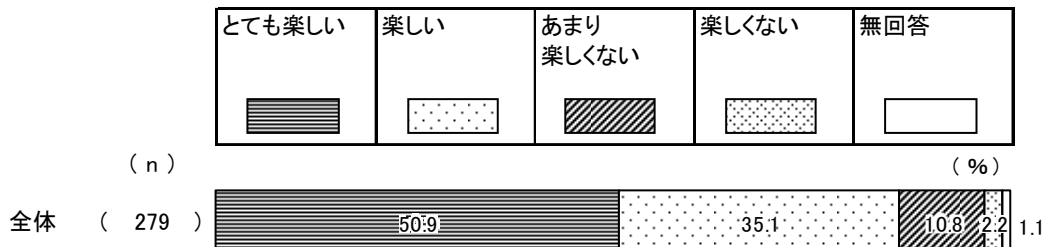
|           | 回答者数 | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまりそう<br>思わない | そう思わない | 無回答 |
|-----------|------|------|--------------|---------------|--------|-----|
| 全体        | 279  | 34.1 | 47.0         | 14.3          | 2.9    | 1.8 |
| 自分が好き     | 230  | 39.6 | 48.3         | 10.0          | 1.7    | 0.4 |
| 自分が好きではない | 46   | 8.7  | 43.5         | 37.0          | 8.7    | 2.2 |

## 4 学校でのことについて

問16 学校は楽しいですか。

「とても楽しい」が最も多く50.9%、次いで「楽しい」が35.1%、「あまり楽しくない」が10.8%となっています。

■学校の楽しさ



【問18「学校に何でも話せる友だちがいるか」とのクロス集計】

学校に何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は「とても楽しい」が55.4%、“いない”と回答した人は23.5%となっており、大きな差がみられます。また、“いる”と回答した人は「あまり楽しくない」が8.7%、“いない”と回答した人は26.5%となっており、同様に差がみられます。

(単位: %)

|     | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり<br>楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|-----|------|--------|------|--------------|-------|-----|
| 全体  | 279  | 50.9   | 35.1 | 10.8         | 2.2   | 1.1 |
| いる  | 242  | 55.4   | 35.1 | 8.7          | 0.8   | —   |
| いない | 34   | 23.5   | 38.2 | 26.5         | 11.8  | —   |

【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「とても楽しい/楽しい」が90.4%、“好きではない”と回答した人は69.6%となっており、大きな差がみられます。また、“好き”と回答した人は「あまり楽しくない/楽しくない」が9.6%、“好きではない”と回答した人は30.4%となっており、同様に差がみられます。

(単位: %)

|        | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり<br>楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|--------|------|--------|------|--------------|-------|-----|
| 全体     | 279  | 50.9   | 35.1 | 10.8         | 2.2   | 1.1 |
| 好き     | 230  | 57.8   | 32.6 | 8.3          | 1.3   | —   |
| 好きではない | 46   | 19.6   | 50.0 | 23.9         | 6.5   | —   |

問17 学校に行きたくないなと思うことがありますか。

「たまにある」と「まったくない」が最も多く31.9%、「ほとんどない」が26.5%となっています。

■学校に行きたくないと思うことの有無



【問18「学校に何でも話せる友だちがいるか」とのクロス集計】

学校に何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は「よくある/たまにある」が37.6%、“いない”と回答した人は64.7%となっており、大きな差がみられます。また、何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は「まったくない」が35.1%、“いない”と回答した人は11.8%となっており、同様に差がみられます。

(単位:%)

|     | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|-----|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体  | 279  | 8.6  | 31.9  | 26.5   | 31.9   | 1.1 |
| いる  | 242  | 6.6  | 31.0  | 27.3   | 35.1   | —   |
| いない | 34   | 23.5 | 41.2  | 23.5   | 11.8   | —   |

【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

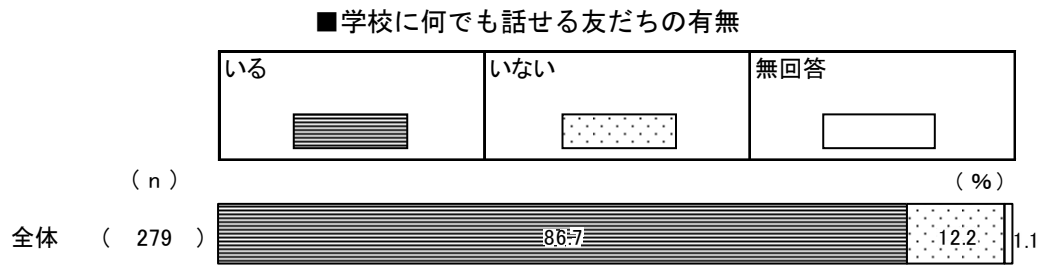
自分のことが“好き”と回答した人は「よくある/たまにある」が36.1%、“好きではない”と回答した人は65.2%となっており、大きな差がみられます。また、“好き”と回答した人は「ほとんどない/まったくない」が64.0%、“好きではない”と回答した人は34.8%となっており、同様に差がみられます。

(単位:%)

|        | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|--------|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体     | 279  | 8.6  | 31.9  | 26.5   | 31.9   | 1.1 |
| 好き     | 230  | 7.0  | 29.1  | 28.3   | 35.7   | —   |
| 好きではない | 46   | 17.4 | 47.8  | 19.6   | 15.2   | —   |

問18 あなたには、学校に何でも話せる友だちがいますか。

「いる」が86.7%、「いない」が12.2%となっています。



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

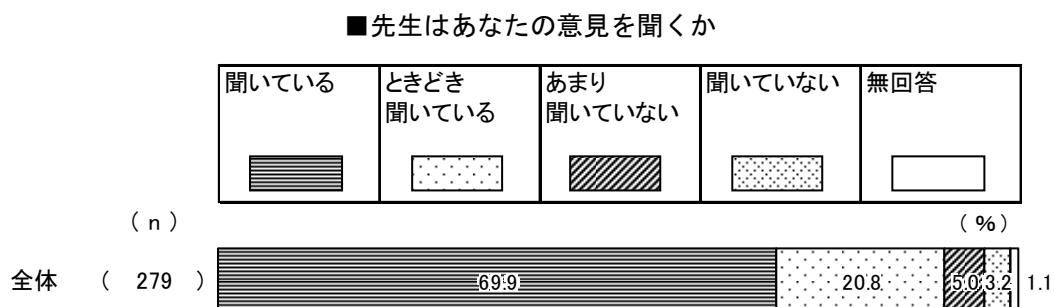
自分のことが“好き”と回答した人は「いる」が89.6%、“好きではない”と回答した人は78.3%となっており、差がみられます。

(単位:%)

|        | 回答者数 | いる   | いない  | 無回答 |
|--------|------|------|------|-----|
| 全体     | 279  | 86.7 | 12.2 | 1.1 |
| 好き     | 230  | 89.6 | 10.4 | —   |
| 好きではない | 46   | 78.3 | 21.7 | —   |

問19 学校で何かを決めるとき、先生はあなたの意見を聞いていますか。

「聞いている」が最も多く69.9%、次いで「ときどき聞いている」が20.8%、「あまり聞いていない」が5.0%となっています。



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「聞いている」が72.6%、“好きではない”と回答した人は60.9%となっており、差がみられます。

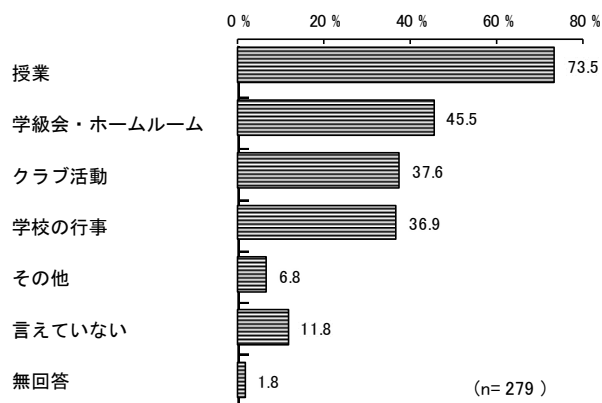
(単位:%)

|        | 回答者数 | 聞いている | ときどき聞いている | あまり聞いていない | 聞いていない | 無回答 |
|--------|------|-------|-----------|-----------|--------|-----|
| 全体     | 279  | 69.9  | 20.8      | 5.0       | 3.2    | 1.1 |
| 好き     | 230  | 72.6  | 20.4      | 3.9       | 3.0    | —   |
| 好きではない | 46   | 60.9  | 23.9      | 10.9      | 4.3    | —   |

問20 あなたは、学校のどの場面で自分の意見を言えていますか。

「授業」が最も多く73.5%、次いで「学級会・ホームルーム」が45.5%、「クラブ活動」が37.6%となっています。また「言えていない」は11.8%となっています。

■学校で自分の意見を言える場面（複数回答）



問21 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心して過ごせますか。

「過ごせる」が最も多く84.9%、次いで「ときどき過ごせる」が8.6%、「あまり過ごせない」が3.9%となっています。

■学校で休み時間や放課後に安心して過ごせるか



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「過ごせる」が89.1%、“好きではない”と回答した人は69.6%となっており、大きな差がみられます。

(単位:%)

|        | 回答者数 | 過ごせる | ときどき<br>過ごせる | あまり<br>過ごせない | 過ごせない | 無回答 |
|--------|------|------|--------------|--------------|-------|-----|
| 全体     | 279  | 84.9 | 8.6          | 3.9          | 0.7   | 1.8 |
| 好き     | 230  | 89.1 | 6.1          | 3.5          | 0.4   | 0.9 |
| 好きではない | 46   | 69.6 | 21.7         | 6.5          | 2.2   | 0.0 |

【問18「学校に何でも話せる友だちがいるか」とのクロス集計】

学校に何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は「過ごせる」が88.8%、何でも話せる友だちが“いない”と回答した人は64.7%となっており、大きな差がみられます。

(単位:%)

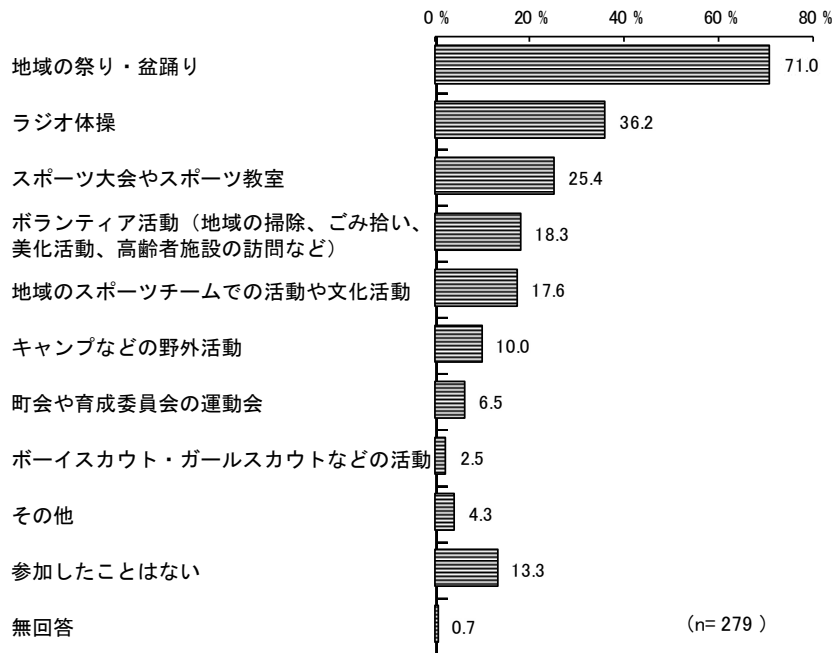
|     | 回答者数 | 過ごせる | ときどき<br>過ごせる | あまり<br>過ごせない | 過ごせない | 無回答 |
|-----|------|------|--------------|--------------|-------|-----|
| 全体  | 279  | 84.9 | 8.6          | 3.9          | 0.7   | 1.8 |
| いる  | 242  | 88.8 | 7.4          | 2.5          | 0.8   | 0.4 |
| いない | 34   | 64.7 | 17.6         | 14.7         | 0     | 2.9 |

5 地域でのことについて

問 22 あなたがこの1年間に参加した地域活動は、次のうちどれですか。

「地域の祭り・盆踊り」が最も多く71.0%、次いで「ラジオ体操」が36.2%、「スポーツ大会やスポーツ教室」が25.4%となっています。また「参加したことはない」は13.3%となっています。

■この1年間に参加した地域活動（複数回答）



【問 22 で「1 ラジオ体操」～「9 その他」（1年間に参加した地域活動がある）と回答した人】

問 23 地域で何かを決めるとき、おとなは、あなたの意見を聞いていますか。

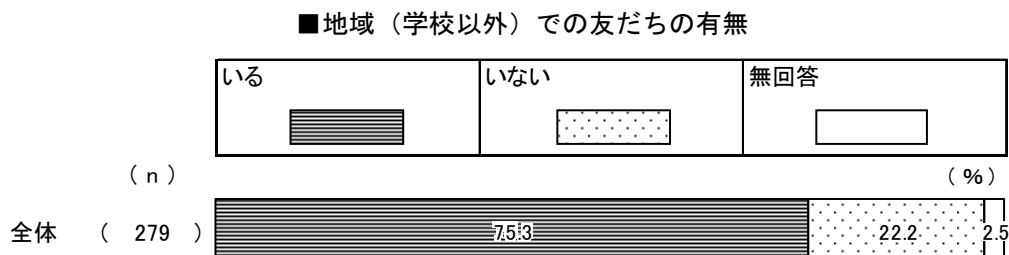
「聞いている」が最も多く36.3%、次いで「ときどき聞いている」が22.5%、「聞いていない」が20.4%となっています。

■地域のおとなは、あなたの意見を聞くか



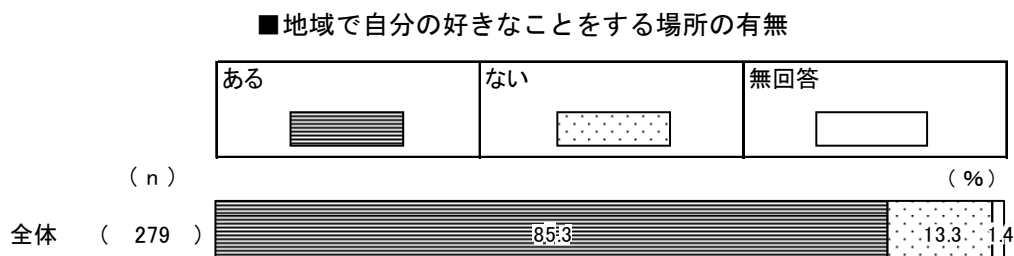
問24 地域（学校以外）に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。

「いる」が75.3%、「いない」が22.2%となっています。



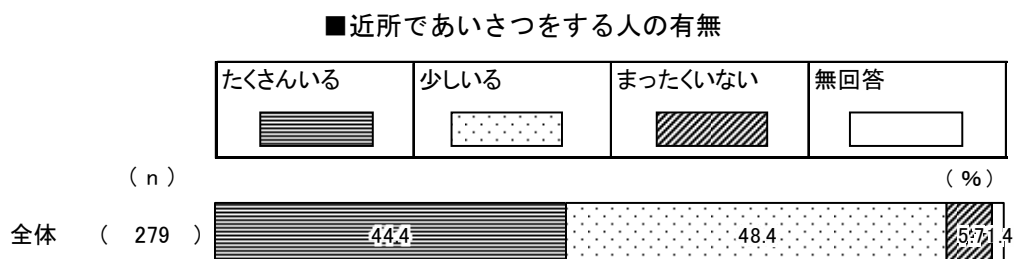
問25 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。

「ある」が85.3%、「ない」が13.3%となっています。



問26 近所に、会ったときにあいさつをする人がいますか。

「少しいる」が最も多く48.4%、次いで「たくさんいる」が44.4%、「まったくいない」が5.7%となっています。





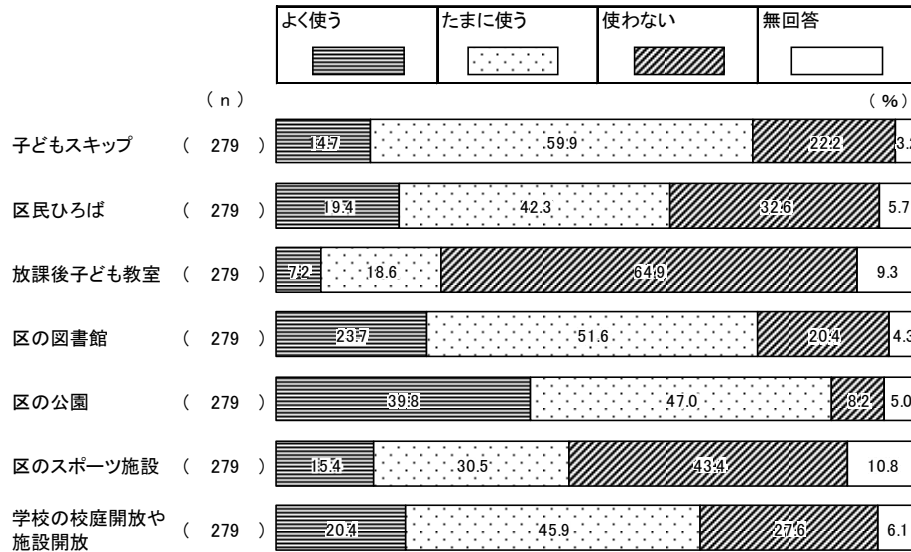
## 6 豊島区の施設について

問27 あなたは、次の豊島区の施設を使ったことがありますか。また使った人は、使った感想（満足したかどうか）についてお答えください。

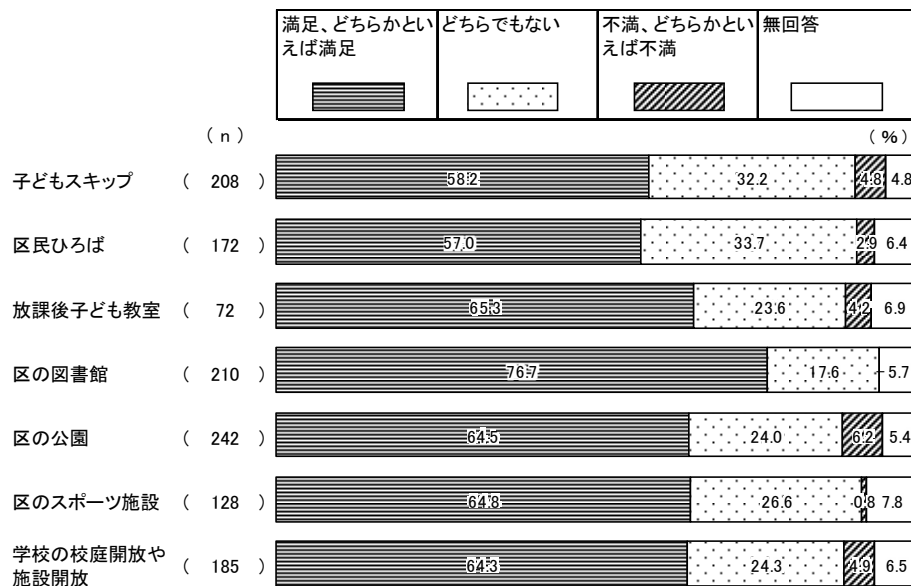
“子どもスキップ” “区の図書館” で「たまに使う」が5割以上となっています。また“放課後子ども教室”は「使わない」が6割半ばとなっています。

すべての施設で「満足、どちらかといえば満足」が最も多くなっています。

■ 区施設の利用経験



■ 区施設を利用時の満足度

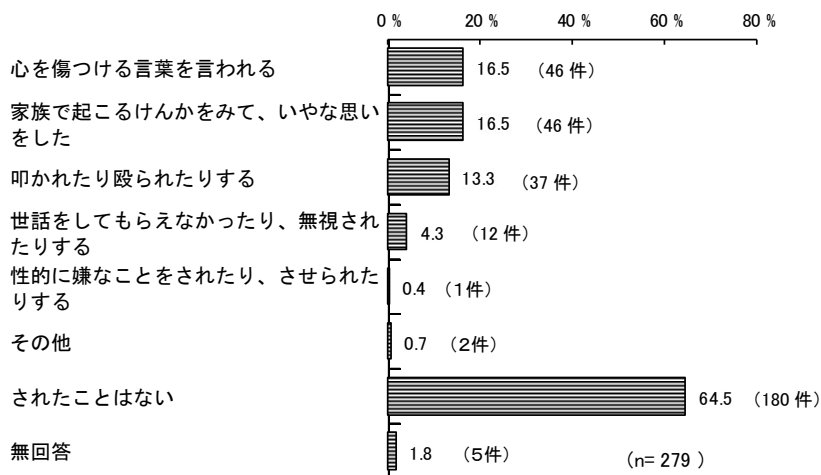


**7 困ったり、悩んだりしていることについて**

問28 あなたは、おとな（親や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことがありますか。

「されたことはない」が64.5%となっています。されたことでは、「心を傷つける言葉を言われる」「家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした」が16.5%、「叩かれたり殴られたりする」が13.3%となっています。

■おとなからされたこと（複数回答）



【学年別・性別】

“学年”“性別”ともに「されたことはない」が最も多く6割以上となっています。

されたことでは、「叩かれたり殴られたりする」が“男性”は“女性”と比べて多くなっています。また、「家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした」は学年が上がるにつれて多くなっています。

(単位: %)

|    | 回答者数  | 叩かれたり殴られたりする | 心を傷つける言葉を言われる | 性的に嫌なことをされたり、させられたりする | 世話をしてもらえなかったり、無視されたりする | 家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした | その他  | されたことはない | 無回答 |
|----|-------|--------------|---------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|------|----------|-----|
| 全体 | 279   | 13.3         | 16.5          | 0.4                   | 4.3                    | 16.5                  | 0.7  | 64.5     | 1.8 |
| 学年 | 小学4年生 | 93           | 11.8          | 16.1                  | —                      | 4.3                   | 9.7  | 71.0     | —   |
|    | 小学5年生 | 97           | 12.4          | 13.4                  | 1.0                    | 6.2                   | 16.5 | 62.9     | 3.1 |
|    | 小学6年生 | 88           | 15.9          | 20.5                  | —                      | 2.3                   | 22.7 | 60.2     | 2.3 |
| 性別 | 男性    | 132          | 18.9          | 16.7                  | —                      | 4.5                   | 12.9 | 60.6     | 2.3 |
|    | 女性    | 146          | 7.5           | 15.8                  | 0.7                    | 4.1                   | 19.9 | 68.5     | 1.4 |

【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「されたことはない」が66.1%、“好きではない”と回答した人は56.5%となっており、差がみられます。

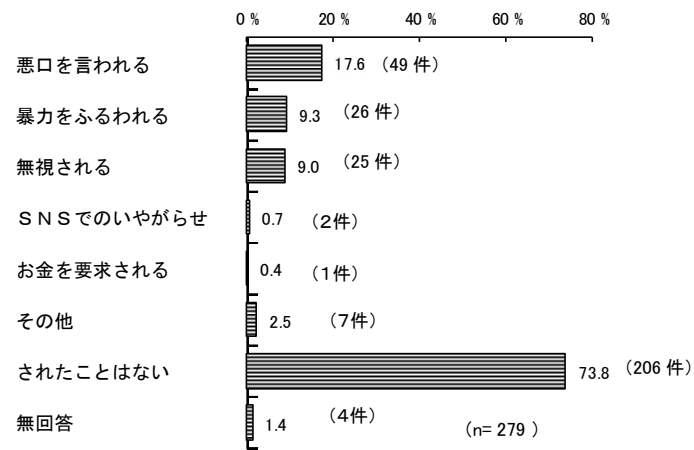
(単位: %)

|        | 回答者数 | 叩かれたり殴られたりする | 心を傷つける言葉を言われる | 性的に嫌なことをされたり、させられたりする | 世話をしてもらえなかったり、無視されたりする | 家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした | その他 | されたことはない | 無回答 |
|--------|------|--------------|---------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----|----------|-----|
| 全体     | 279  | 13.3         | 16.5          | 0.4                   | 4.3                    | 16.5                  | 0.7 | 64.5     | 1.8 |
| 好き     | 230  | 13.0         | 15.7          | —                     | 4.3                    | 15.2                  | 0.9 | 66.1     | 1.7 |
| 好きではない | 46   | 15.2         | 21.7          | 2.2                   | 4.3                    | 23.9                  | —   | 56.5     | —   |

問29 あなたは、友だちや先輩、後輩から次のことをされたことがありますか。

「されたことはない」が73.8%となっています。されたことでは、「悪口を言われる」が17.6%、「暴力をふるわれる」が9.3%、「無視される」が9.0%となっています。

■友だちや先輩、後輩からされたこと（複数回答）



【学年別・性別】

“学年”“性別”ともに「されたことはない」が最も多く7割以上となっています。されたことでは、「暴力をふるわれる」は“男性”が“女性”と比べて多くなっています。

(単位:%)

|    | 回答者数  | 無視される | お金を要求される | 悪口を言われる | SNSでのいやがらせ | 暴力をふるわれる | その他 | されたことはない | 無回答 |
|----|-------|-------|----------|---------|------------|----------|-----|----------|-----|
| 全体 | 279   | 9.0   | 0.4      | 17.6    | 0.7        | 9.3      | 2.5 | 73.8     | 1.4 |
| 学年 | 小学4年生 | 93    | 9.7      | 1.1     | 16.1       | —        | 3.2 | 74.2     | —   |
|    | 小学5年生 | 97    | 7.2      | —       | 19.6       | —        | 2.1 | 74.2     | 2.1 |
|    | 小学6年生 | 88    | 10.2     | —       | 17.0       | 2.3      | 9.1 | 73.9     | 2.3 |
| 性別 | 男性    | 132   | 8.3      | 0.8     | 19.7       | —        | 2.3 | 71.2     | 2.3 |
|    | 女性    | 146   | 9.6      | —       | 15.8       | 1.4      | 4.1 | 76.0     | 0.7 |

【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「されたことはない」が76.1%、“好きではない”と回答した人は63.0%となっており、差がみられます。

また、友だちや先輩、後輩からされた嫌な経験は「無視される」「悪口を言われる」は“好きではない”と回答した人の方が多くなっています。

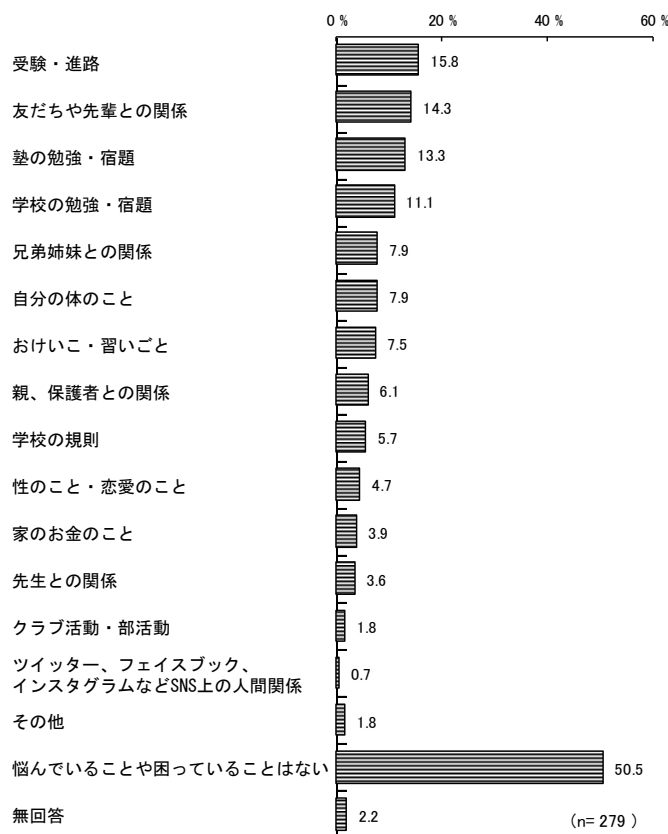
(単位:%)

|        | 回答者数 | 無視される | お金を要求される | 悪口を言われる | SNSでのいやがらせ | 暴力をふるわれる | その他 | されたことはない | 無回答 |
|--------|------|-------|----------|---------|------------|----------|-----|----------|-----|
| 全体     | 279  | 9.0   | 0.4      | 17.6    | 0.7        | 9.3      | 2.5 | 73.8     | 1.4 |
| 好き     | 230  | 7.8   | 0.4      | 15.7    | 0.9        | 8.7      | 2.6 | 76.1     | 1.3 |
| 好きではない | 46   | 15.2  | —        | 28.3    | —          | 13.0     | 2.2 | 63.0     | —   |

問30 悩んでいることや困っていることはありますか。

「受験・進路」が最も多く15.8%、次いで「友だちや先輩との関係」が14.3%、「塾の勉強・宿題」が13.3%、「学校の勉強・宿題」が11.1%となっています。また「悩んでいることや困っていることはない」は50.5%となっています。

■悩んでいることや困っていること（複数回答）



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「悩んでいることや困っていることはない」が54.3%、“好きではない”と回答した人は32.6%となっており、大きな差がみられます。また、“好きではない”と回答した人は“好き”と回答したい人に比べて、「親、保護者との関係」「兄弟姉妹との関係」「友だちや先輩との関係」「受験・進路」「自分の体のこと」が多くなっています。

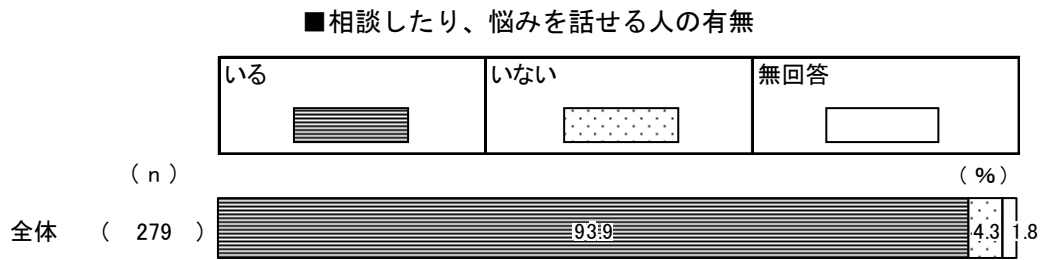
(単位: %)

|        | 回答者数 | 親、保護者との関係 | 兄弟姉妹との関係 | 友だちや先輩との関係 | 先生との関係 | 学校の勉強・宿題 | 学校の規則 | クラブ活動 | 塾の勉強・宿題 |
|--------|------|-----------|----------|------------|--------|----------|-------|-------|---------|
| 全体     | 279  | 6.1       | 7.9      | 14.3       | 3.6    | 11.1     | 5.7   | 1.8   | 13.3    |
| 好き     | 230  | 3.9       | 5.2      | 11.7       | 3.0    | 10.4     | 5.7   | 2.2   | 12.6    |
| 好きではない | 46   | 17.4      | 21.7     | 26.1       | 6.5    | 15.2     | 6.5   | —     | 17.4    |

|        | 受験・進路 | おけいこ・習いごと | 自分の体のこと | 性のこと・恋愛のこと | 家のお金のこと | SNS上の人間関係 | その他 | 悩んでいることや困っていること | 無回答 |
|--------|-------|-----------|---------|------------|---------|-----------|-----|-----------------|-----|
| 全体     | 15.8  | 7.5       | 7.9     | 4.7        | 3.9     | 0.7       | 1.8 | 50.5            | 2.2 |
| 好き     | 13.9  | 7.4       | 6.1     | 4.3        | 3.5     | 0.9       | 1.7 | 54.3            | 2.2 |
| 好きではない | 26.1  | 8.7       | 17.4    | 6.5        | 6.5     | —         | 2.2 | 32.6            | —   |

問31 あなたには、困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。

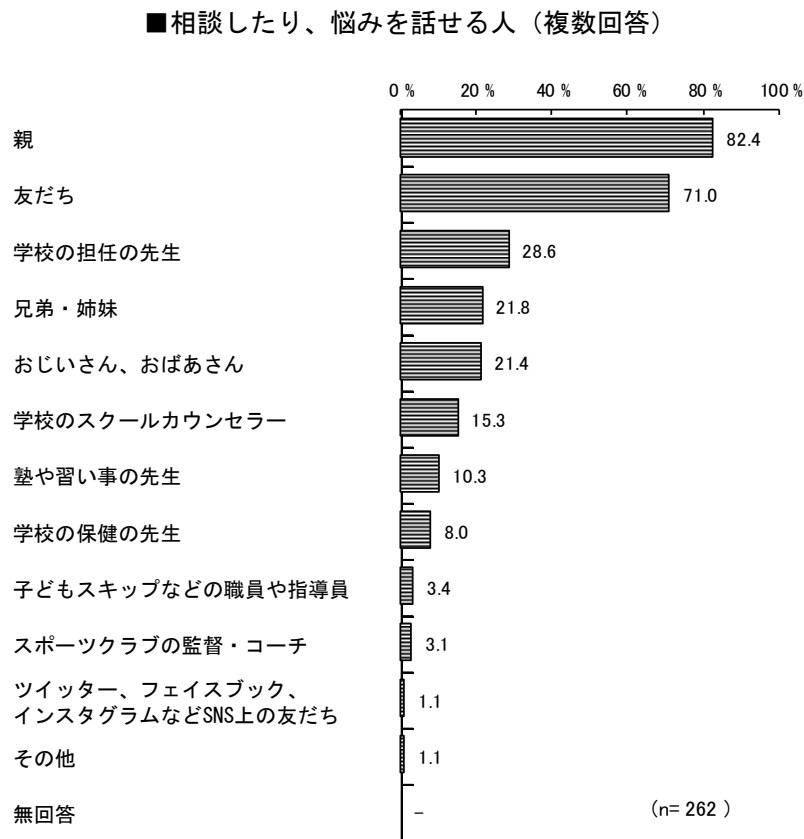
「いる」が93.9%、「いない」が4.3%となっています。



【問31で「いる」と回答した方】

問31-1 それは誰ですか。

「親」が最も多く82.4%、次いで「友だち」が71.0%、「学校の担任の先生」が28.6%となっています。

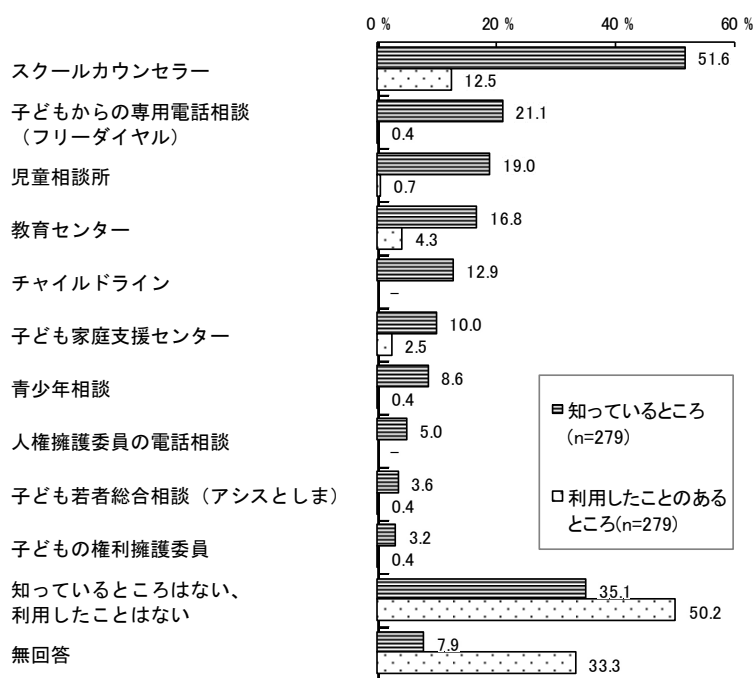


問32 次のような子どもの相談を受けてくれるところのうち、知っているところ、利用したところのあるところがありますか。

知っているところは「スクールカウンセラー」が最も多く51.6%、次いで「子どもからの専用電話相談（フリーダイヤル）」が21.1%、「児童相談所」が19.0%、「教育センター」が16.8%となっています。また「知っているところはない」は35.1%となっています。

利用したことがあるところは「利用したことはない」が最も多く50.2%となっています。

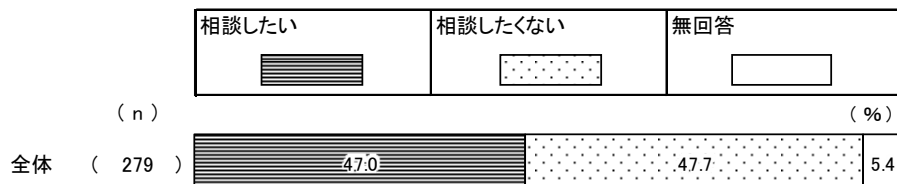
■相談場所の認知度と利用状況（複数回答）



問33 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、問32のような相談できるところを利用したいと思いますか。

「相談したい」が47.0%、「相談したくない」が47.7%となっています。

■相談機関の利用意向



【問14「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「相談したい」が50.0%、“好きではない”と回答した人は30.4%となっており、大きな差がみられます。

(単位: %)

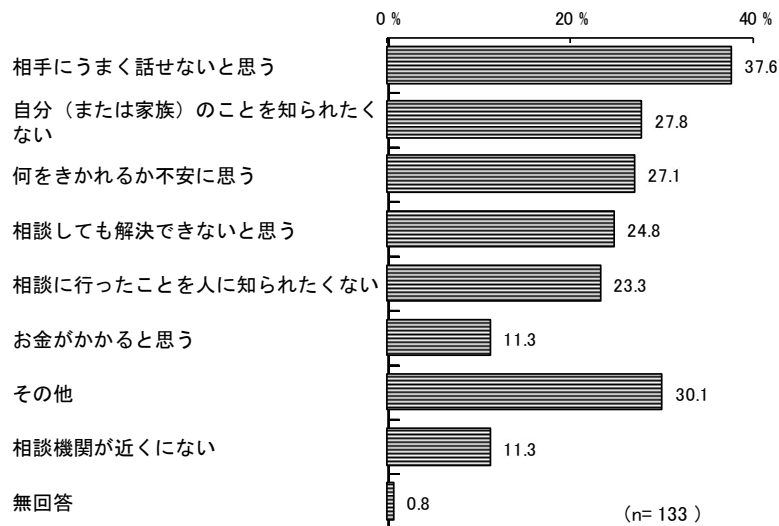
|        | 回答者数 | 相談したい | 相談したくない | 無回答 |
|--------|------|-------|---------|-----|
| 全体     | 279  | 47.0  | 47.7    | 5.4 |
| 好き     | 230  | 50.0  | 44.8    | 5.2 |
| 好きではない | 46   | 30.4  | 65.2    | 4.3 |

【問33で「相談したくない」と回答した方】

問33-1 相談したくないと思う理由は何ですか。

「相手にうまく話せないと思う」が最も多く37.6%、次いで「自分（または家族）のことを知られたくない」が27.8%、「何をきかれるか不安に思う」が27.1%となっています。また「相談機関が近くにならない」は11.3%となっています。

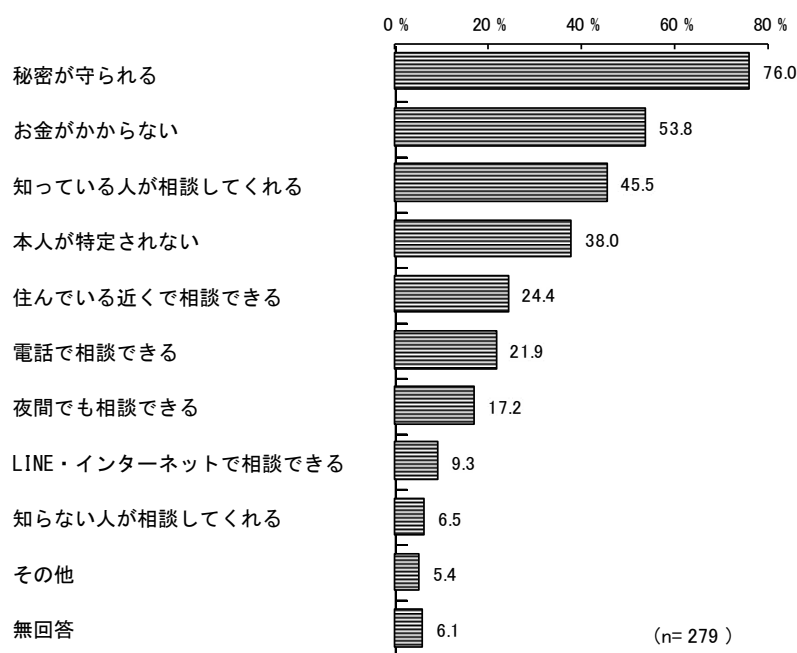
■相談したくない理由（複数回答）



問34 相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。

「秘密が守られる」が最も多く76.0%、次いで「お金がかからない」が53.8%、「知っている人が相談してくれる」が45.5%となっています。

■相談先に望むこと（複数回答）

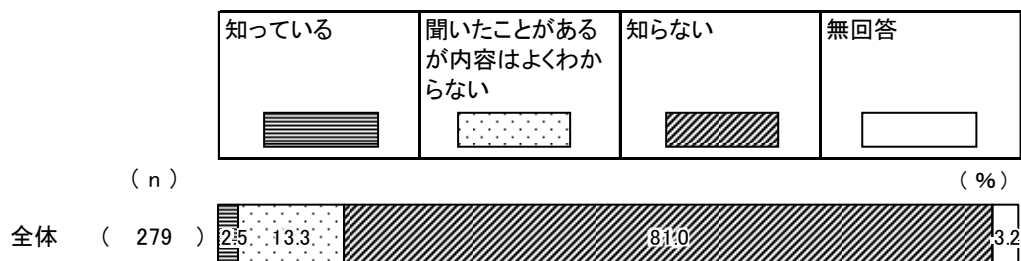


## 8 『子どもの権利条例』や豊島区のことについて

問 35 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知らない」が最も多く81.0%、次いで「聞いたことがあるが内容はよくわからない」が13.3%、「知っている」が2.5%となっています。

■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』の認知度

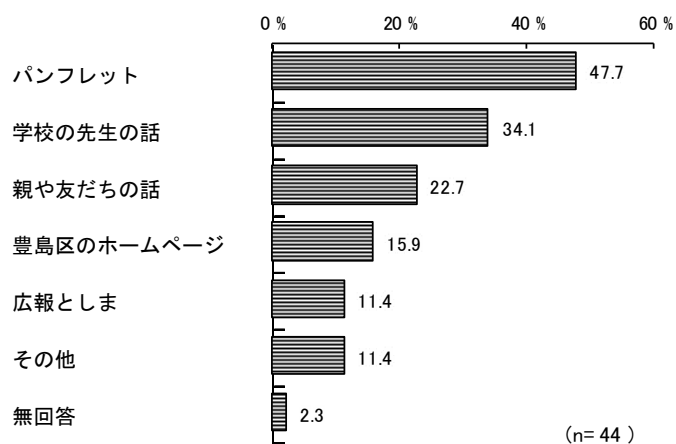


【問 35 で『豊島区子どもの権利に関する条例』について「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と回答した方】

問 35-1 どのように知りましたか。

「パンフレット」が最も多く47.7%、次いで「学校の先生の話」が34.1%、「親や友だちの話」が22.7%となっています。

■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）

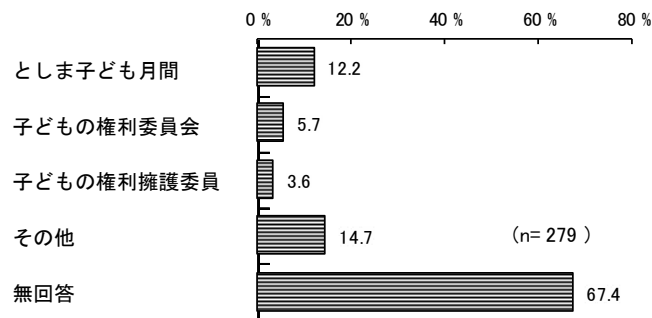




問36 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

「としま子ども月間」が最も多く12.2%となっています。

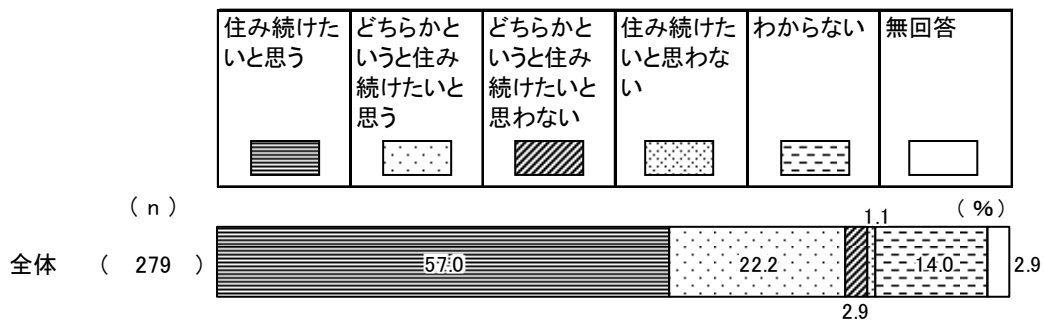
■子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問37 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」が最も多く57.0%、次いで「どちらかというに住み続けたいと思う」が22.2%、「どちらかというに住み続けたいと思わない」が2.9%となっています。

■定住意向

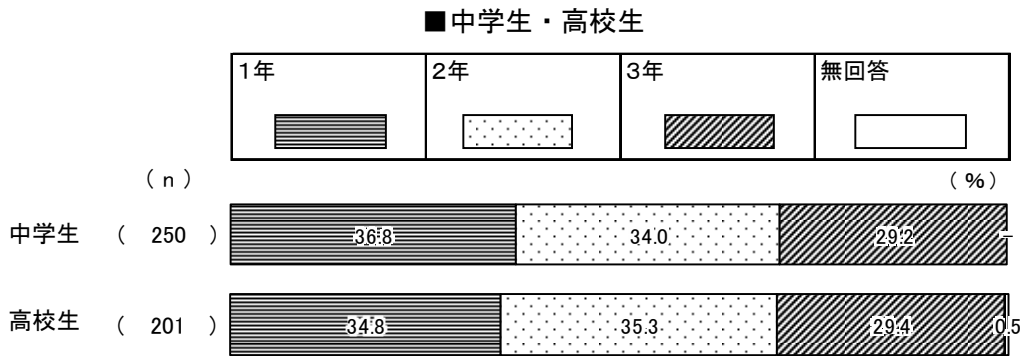
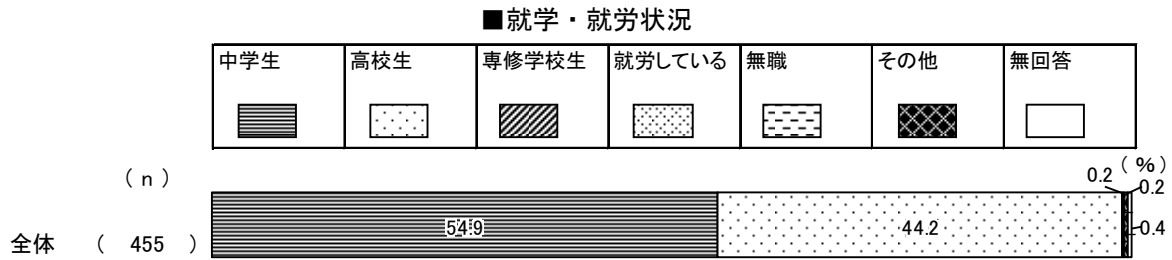


## V 中学生・高校生本人

### 1 あなたのことについて

F1. あなたは現在、次のどれにあてはまりますか。学生の場合は、学年も記入してください。

「中学生」が最も多く54.9%、次いで「高校生」44.2%、「専修学校生」が0.2%となっています。中学生は「1年」が36.8%、「2年」が34.0%、「3年」が29.2%となっています。高校生は「1年」が34.8%、「2年」が35.3%、「3年」が29.4%となっています。専修学校生は「1年」が1件でした。



F1-1 あなたが通っている学校の種類を選んでください。

「私立・国立の学校」が最も多く50.4%、次いで「豊島区内の公立学校」が34.3%、「豊島区外の公立学校」が11.5%となっています。



#### 【就学別】

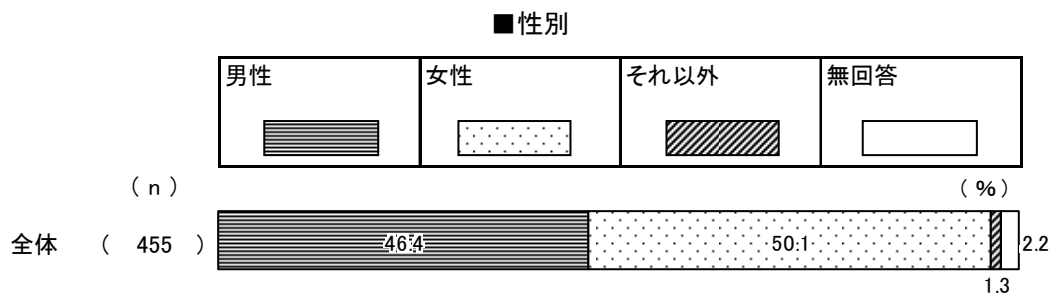
“中学生”は「豊島区内の公立学校」、「高校生」は「私立・公立の学校」が最も多くなっています。

(単位: %)

|       | 回答者数 | 豊島区内の公立学校 | 豊島区外の公立学校 | 私立・国立の学校 | その他 | 無回答 |
|-------|------|-----------|-----------|----------|-----|-----|
| 全体    | 452  | 34.3      | 11.5      | 50.4     | 1.5 | 2.2 |
| 中学生   | 250  | 55.6      | 2.4       | 38.0     | 2.0 | 2.0 |
| 高校生   | 201  | 8.0       | 22.9      | 65.7     | 1.0 | 2.5 |
| 専修学校生 | 1    | —         | —         | 100.0    | —   | —   |

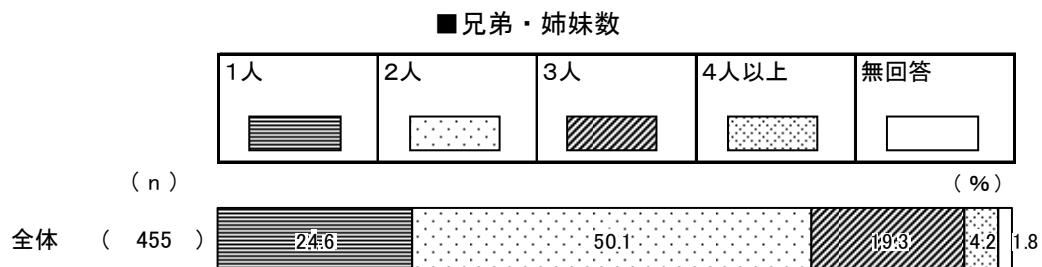
F2. あなたの性別は

「男性」が46.4%、「女性」が50.1%、「それ以外」が1.3%となっています。



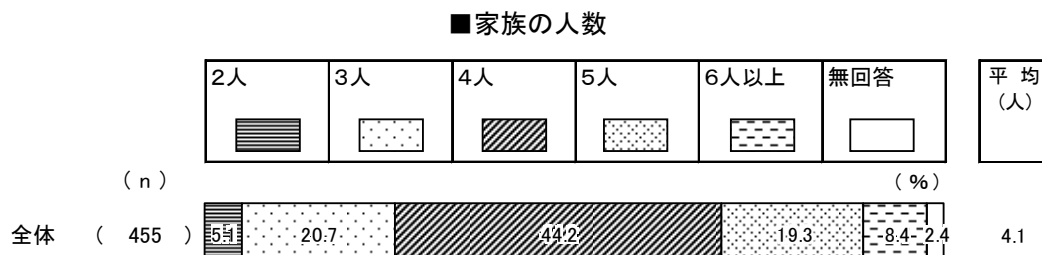
F3. あなたは、何人兄弟・姉妹ですか。(あなたを含めて)

「2人」が最も多く50.1%、次いで「1人」が24.6%、「3人」が19.3%となっています。



F4. あなたと一緒に住んでいる家族は何人ですか。

「4人」が最も多く44.2%、次いで「3人」が20.7%、「5人」が19.3%となっています。平均は4.1人となっています。

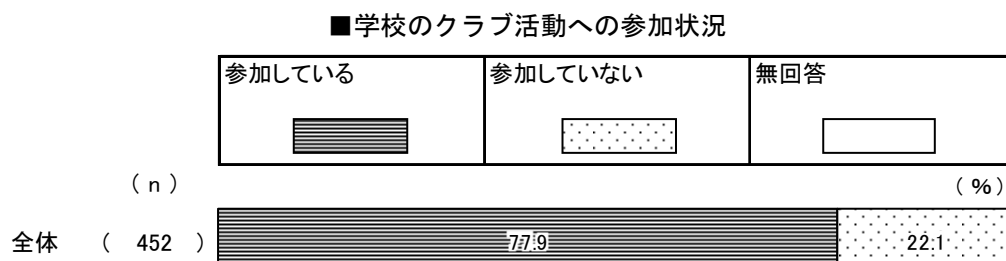


## 2 放課後や自由時間の過ごし方について

【F 1 学校の種類で「中学生」、「高校生」、「専修学校生」と回答した方】

問1 学校のクラブ活動に参加していますか。

「参加している」が77.9%、「参加していない」が22.1%となっています。



【問1で学校のクラブ活動に「参加している」と回答した方】

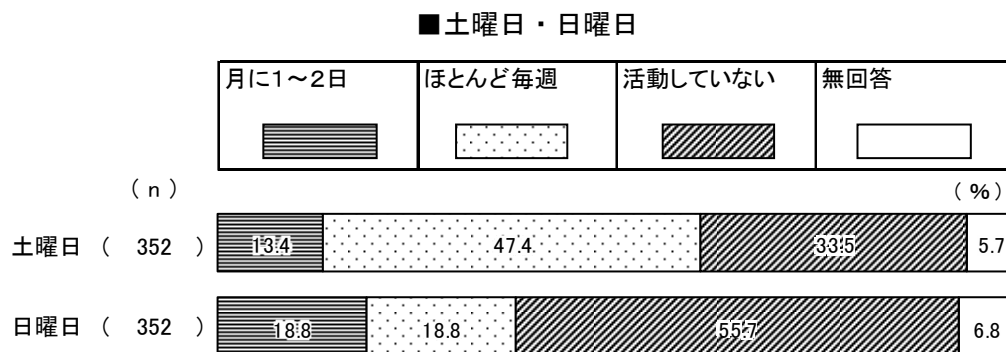
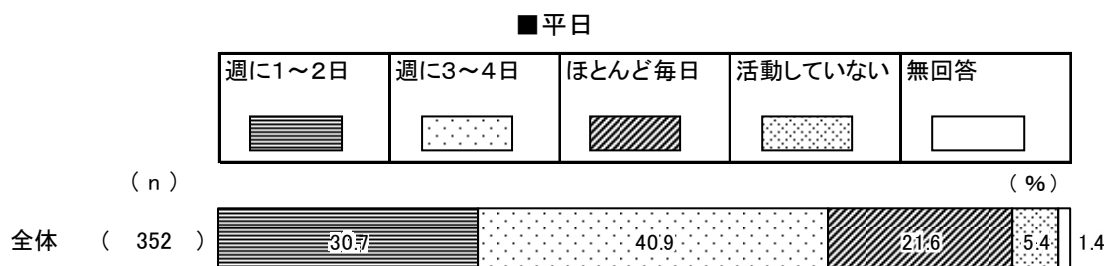
問1-1 クラブ活動は、だいたい週にどれくらい行っていますか。平日・土曜日・日曜日ごとで、日数と1日の活動時間についてあてはまるものを選んでください。

### ①クラブ活動への1週あたり参加日数

平日は「週に3～4日」が最も多く40.9%、次いで「週に1～2日」が30.7%、「ほとんど毎日」が21.6%となっています。

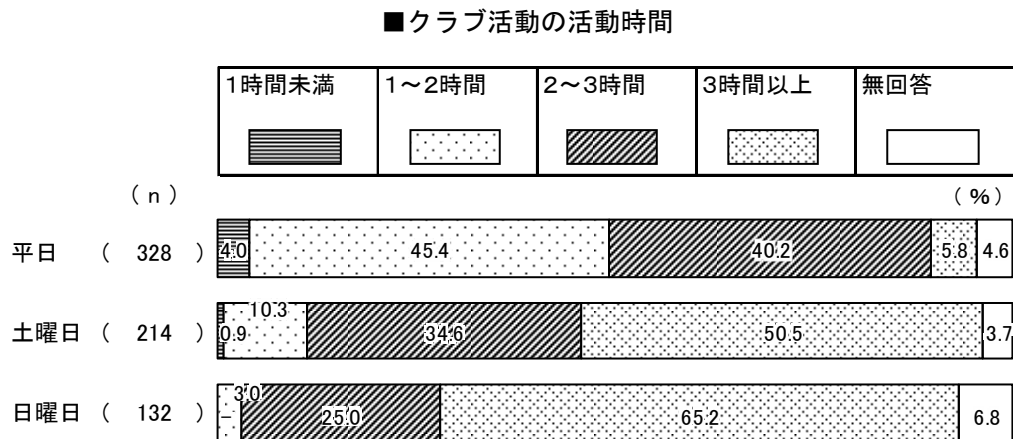
土曜日は「ほとんど毎週」が最も多く47.4%、次いで「活動していない」が33.5%、「月に1～2日」が13.4%となっています。

日曜日は「活動していない」が最も多く55.7%、次いで「月に1～2日」「ほとんど毎週」がともに18.8%となっています。



②クラブ活動の活動時間

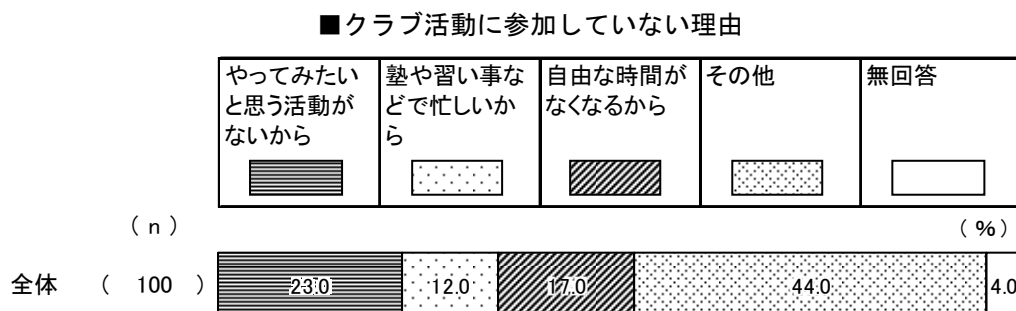
平日は「1～2時間」が最も多く45.4%、土曜日及び日曜日には「3時間以上」が最も多く、順に50.5%、65.2%となっています。



【問1で学校のクラブ活動に「参加していない」と回答した方】

問1-2 クラブ活動に参加していない理由は何ですか。

「やってみたいと思う活動がないから」が最も多く23.0%、次いで「自由な時間がなくなるから」が17.0%、「塾や習い事などで忙しいから」が12.0%となっています。その他としては、「クラブ活動は2年生まで」「3年生になると引退する」という回答が多くあげられていました。



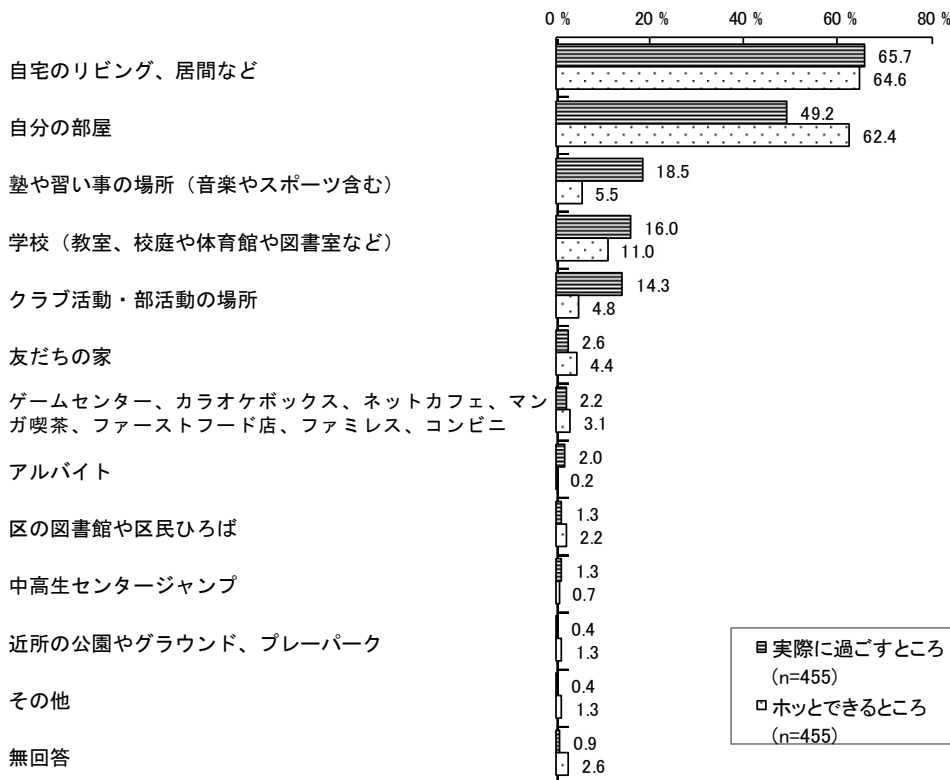
問2 あなたは放課後などの自由時間、次の場所のどこで過ごすことが多いですか。また、あなたにとってホッとできる場所はどこですか。クラブ活動に参加している人はクラブ活動がない日についてお答えください。

実際に過ごすところは「自宅のリビング、居間など」が最も多く65.7%、次いで「自分の部屋」が49.2%、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツ含む）」が18.5%、「学校（教室、校庭や体育館や図書室など）」が16.0%となっています。

ホッとできるところは「自宅のリビング、居間など」が最も多く64.6%、次いで「自分の部屋」が62.4%、「学校（教室、校庭や体育館や図書室など）」が11.0%、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツ含む）」が5.5%となっています。

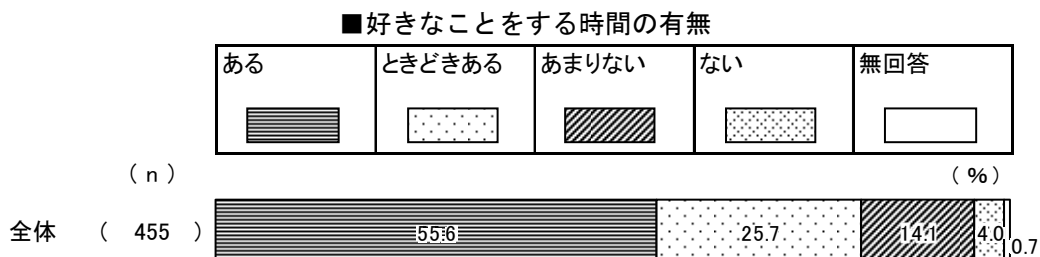
また、「塾や習い事の場所（音楽やスポーツを含む）」「クラブ活動・部活動の場所」では、“実際に過ごすところ”の回答が“ホッとできる場所”より多くなっています。「自分の部屋」では、“ホッとできる場所”の回答が“実際に過ごすところ”の回答より多くなっています。

■自由時間に過ごすところ・ホッとできるところ（2つまでに○）



問3 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

「ある」が最も多く55.6%、次いで「ときどきある」が25.7%、「あまりない」が14.1%となっています。

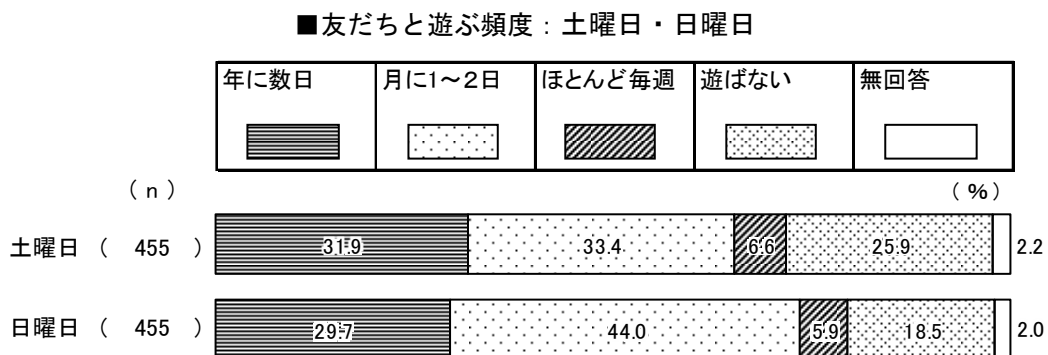
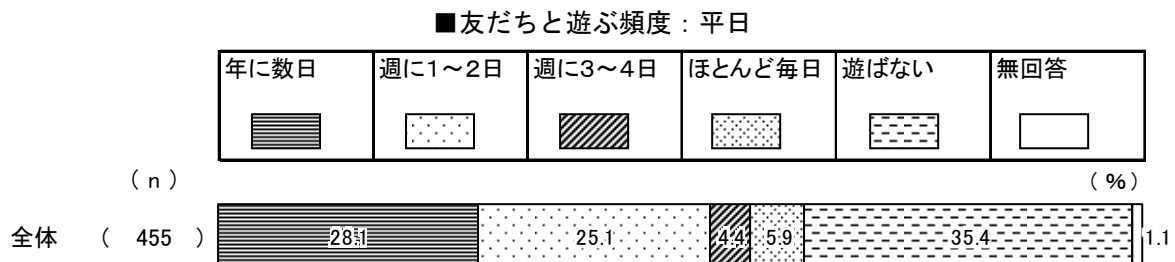


問4 友だちとは、だいたいどのくらいの頻度で遊びますか。平日（月曜日～金曜日）・土曜日・日曜日ごとにお答えください。

平日は「遊ばない」が最も多く35.4%、次いで「年に数日」が28.1%、「週に1～2日」が25.1%となっています。

土曜日は「月に1～2日」が最も多く33.4%、次いで「年に数日」が31.9%、「遊ばない」が25.9%となっています。

日曜日は「月に1～2日」が最も多く44.0%、次いで「年に数日」が29.7%、「遊ばない」が18.5%となっています。



問5 誰と遊ぶことが多いですか。

「クラスやクラブ活動の友だち」が最も多く81.5%、次いで「近所の友だち」が5.9%、「兄弟・姉妹や親せきの子」が2.6%となっています。

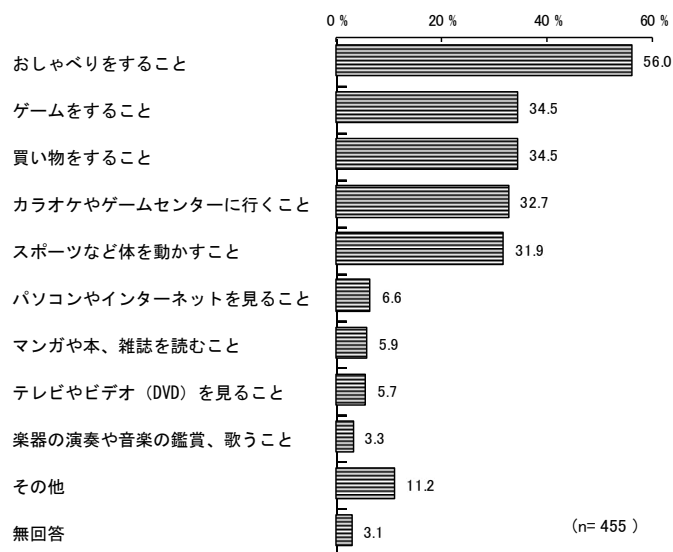
■遊ぶ友だち (単位：%)

|     | 回答者数 | クラスやクラブ活動の友だち | 近所の友だち | 中高生センタージャンプの友だち | LINEなどで知り合った友だち | 学習塾や習い事の友だち | 親せきの子 | 兄弟・姉妹や | その他 | 誰とも一緒に遊ばない | 無回答 |
|-----|------|---------------|--------|-----------------|-----------------|-------------|-------|--------|-----|------------|-----|
| 全体  | 455  | 81.5          | 5.9    | 0.7             | 0.9             | 0.7         | 2.6   | 1.8    | 4.6 | 1.3        |     |
| 中学生 | 250  | 84.0          | 4.4    | 0.8             | 0.8             | 0.4         | 3.6   | 1.6    | 2.8 | 1.6        |     |
| 高校生 | 201  | 78.6          | 7.5    | 0.5             | 1.0             | 1.0         | 1.5   | 2.0    | 7.0 | 1.0        |     |

問6 友だちとは、どのような遊びをすることが多いですか。

「おしゃべりをする事」が最も多く56.0%、次いで「ゲームをする事」「買い物をする事」がともに34.5%、「カラオケやゲームセンターに行くこと」が32.7%となっています。

■友だちとする遊び（3つまでに○）



【就学別・性別】

就学別にみると、「中学生」「高校生」ともに「おしゃべりをする事」が最も多くなっています。

性別にみると、「男性」は「ゲームをする事」、「女性」は「おしゃべりをする事」が多くなっています。

(単位:%)

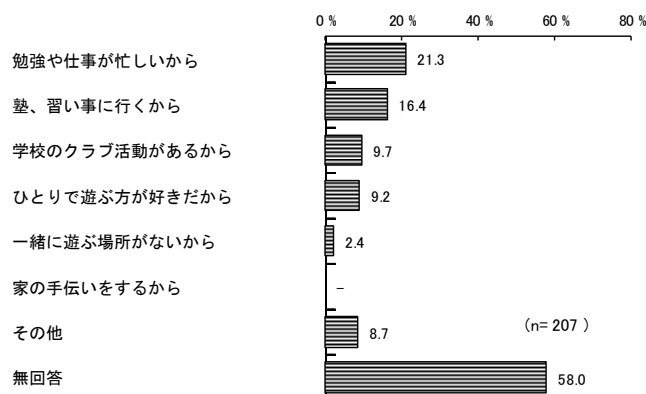
|    | 回答者数 | スポーツなど体を動かすこと | おしゃべりをする事 | マンガや本、雑誌を読むこと | テレビやビデオ (DVD) を見る事 | ゲームをする事 | パソコンやインターネットを見ること | 買い物をする事 | カラオケやゲームセンターに行くこと | 楽器の演奏や音楽の鑑賞、歌うこと | その他  | 無回答 |
|----|------|---------------|-----------|---------------|--------------------|---------|-------------------|---------|-------------------|------------------|------|-----|
| 全体 | 455  | 31.9          | 56.0      | 5.9           | 5.7                | 34.5    | 6.6               | 34.5    | 32.7              | 3.3              | 11.2 | 3.1 |
| 就学 | 中学生  | 250           | 40.4      | 53.6          | 7.6                | 5.6     | 43.2              | 8.8     | 26.4              | 2.4              | 8.4  | 2.8 |
|    | 高校生  | 201           | 21.9      | 58.2          | 4.0                | 5.5     | 23.9              | 4.0     | 40.3              | 4.5              | 14.4 | 3.5 |
| 性別 | 男性   | 211           | 48.3      | 37.0          | 7.6                | 5.2     | 56.4              | 7.1     | 28.9              | 3.3              | 10.4 | 3.3 |
|    | 女性   | 228           | 16.7      | 72.8          | 3.9                | 5.7     | 13.2              | 6.6     | 36.8              | 3.5              | 11.4 | 3.1 |

【問4で友だちと「遊ばない」、問5で「誰とも一緒に遊ばない」と回答した方】

問7 友だちと遊ばないのはどうしてですか。

「勉強や仕事が忙しいから」が最も多く21.3%、次いで「塾、習い事に行くから」が16.4%、「学校のクラブ活動があるから」が9.7%となっています。

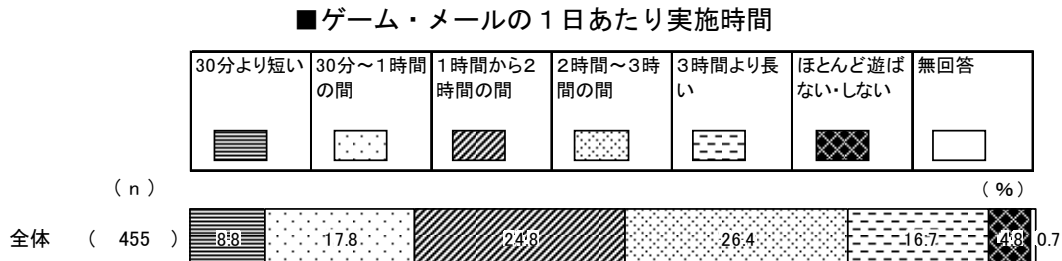
■友だちと遊ばない理由（複数回答）





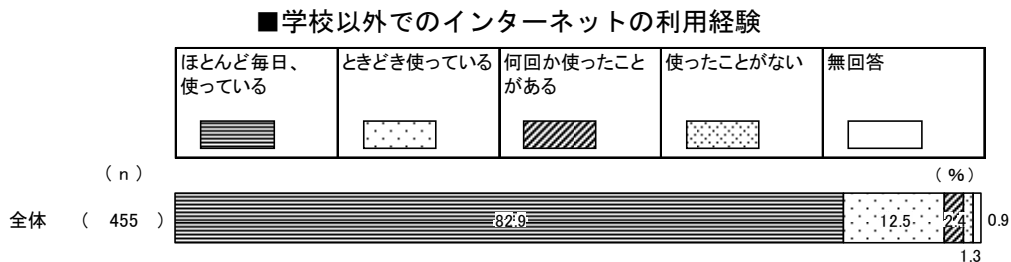
問8 平日（月曜日～金曜日）に、ゲーム（テレビ、携帯電話、ポータブルゲーム機、パソコンなど）で遊んだり、友だちなどとメールをしあったりする時間は1日何時間くらいですか。

「2時間～3時間の間」が最も多く26.4%、次いで「1時間から2時間の間」が24.8%、「30分～1時間の間」が17.8%となっています。



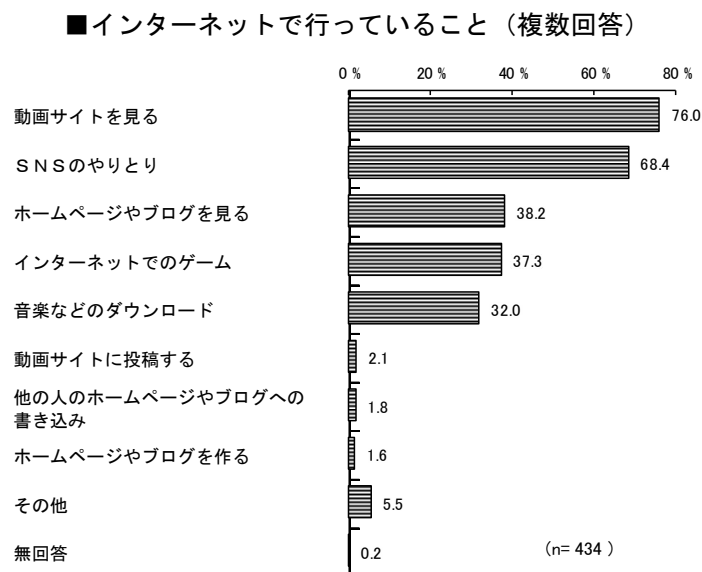
問9 学校以外で携帯電話(スマートフォン)やパソコンでインターネットを使ったことはありますか。

「ほとんど毎日、使っている」が最も多く82.9%、次いで「ときどき使っている」が12.5%、「何回か使ったことがある」が2.4%となっています。



【問9でインターネットを「ほとんど毎日、使っている」と「ときどき使っている」と回答した方】  
問9-1 インターネットでは、どのようなことをしていますか。

「動画サイトを見る」が最も多く76.0%、次いで「SNSのやりとり」が68.4%、「ホームページやブログを見る」が38.2%となっています。



【性別】

“男性”“女性”ともに「動画サイトを見る」が最も多く7割半ば以上となっています。“女性”は“男性”と比べて「SNSのやりとり」、 “男性”は“女性”と比べて「インターネットでのゲーム」が多くなっています。

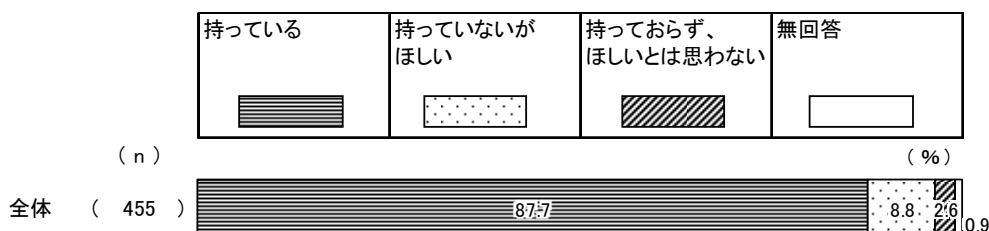
(単位:%)

|      | 回答者数 | り SNSのやりと | ホームページやブログを見る | 動画サイトを見る | 音楽などのダウンロード | ホームページやブログを作る | 動画サイトに投稿する | インターネットでのゲーム | 他の人のホームページやブログへの書き込み | その他  | 無回答 |
|------|------|-----------|---------------|----------|-------------|---------------|------------|--------------|----------------------|------|-----|
| 全体   | 434  | 68.4      | 38.2          | 76.0     | 32.0        | 1.6           | 2.1        | 37.3         | 1.8                  | 5.5  | 0.2 |
| 男性   | 198  | 61.1      | 36.9          | 76.8     | 31.3        | —             | 1.5        | 49.5         | 0.5                  | 5.1  | —   |
| 女性   | 221  | 76.5      | 39.8          | 76.9     | 33.5        | 2.7           | 2.3        | 27.1         | 3.2                  | 5.9  | —   |
| それ以外 | 6    | —         | 16.7          | 50.0     | 16.7        | 16.7          | —          | —            | —                    | 16.7 | —   |

問10 あなたは、あなた専用の携帯電話（スマートフォン）を持っていますか。

「持っている」が最も多く87.7%、次いで「持っていないがほしい」が8.8%、「持っておらず、ほしいとは思わない」が2.6%となっています。

■ 自分専用の携帯電話の有無

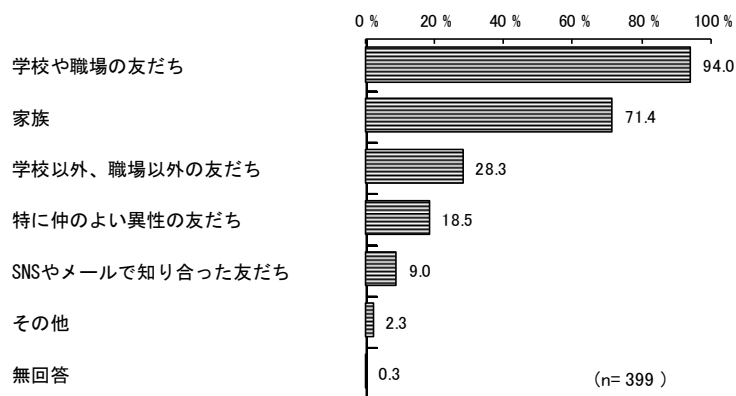


【問10で専用の携帯電話（スマートフォン）を「持っている」と回答した方】

問10-1 電話やLINEなどの相手はどのような人ですか。

「学校や職場の友だち」が最も多く94.0%、次いで「家族」が71.4%、「学校以外、職場以外の友だち」が28.3%となっています。

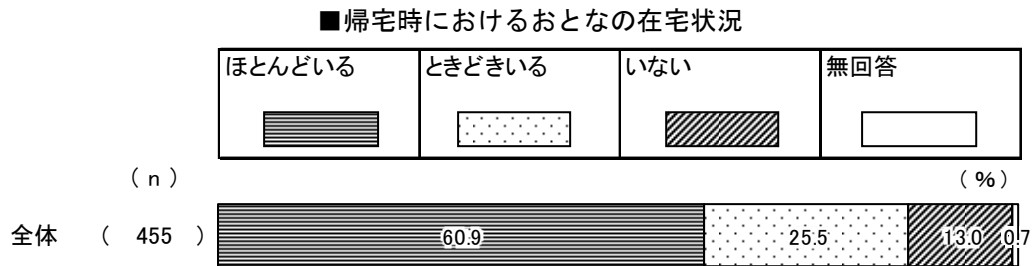
■ 電話やLINEなどの相手（複数回答）



### 3 家での生活やあなたの思いについて

問11 あなたが学校や仕事から帰ったときに、家におとながいますか。

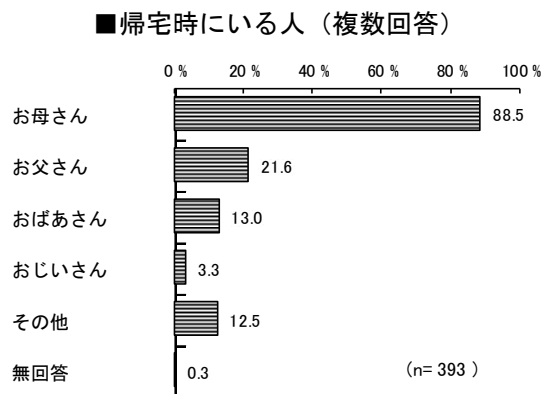
「ほとんどいる」が最も多く60.9%、次いで「ときどきいる」が25.5%、「いない」が13.0%となっています。



【問11で学校や仕事から帰ったときに、家におとなが「ほとんどいる」と「ときどきいる」と回答した方】

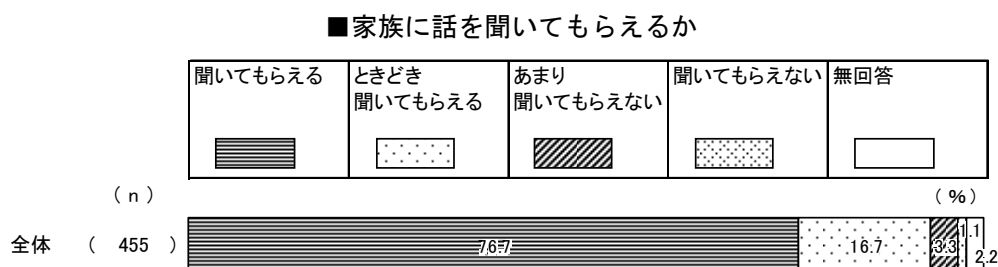
問11-1 あなたが家に帰ったとき、家にいるのはだれですか。

「お母さん」が最も多く88.5%、次いで「お父さん」が21.6%、「おばあさん」が13.0%となっています。



問12 あなたは、学校や職場であったことなどについて、家族の人に話を聞いてもらえますか。

「聞いてもらえる」が最も多く76.7%、次いで「ときどき聞いてもらえる」が16.7%、「あまり聞いてもらえない」が3.3%となっています。

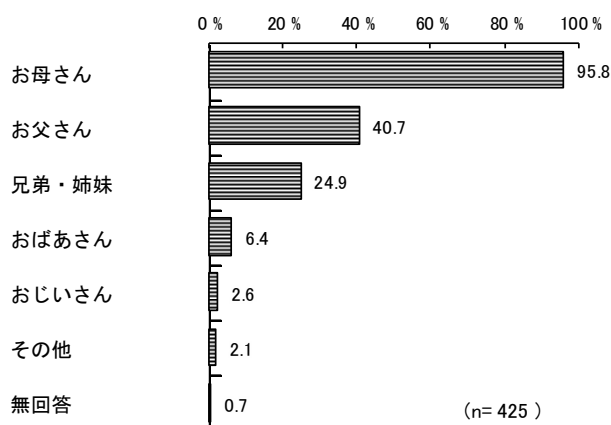


【問12で「聞いてもらえる」と「ときどき聞いてもらえる」と回答した方】

問12-1 おもにだれに話を聞いてもらっていますか。

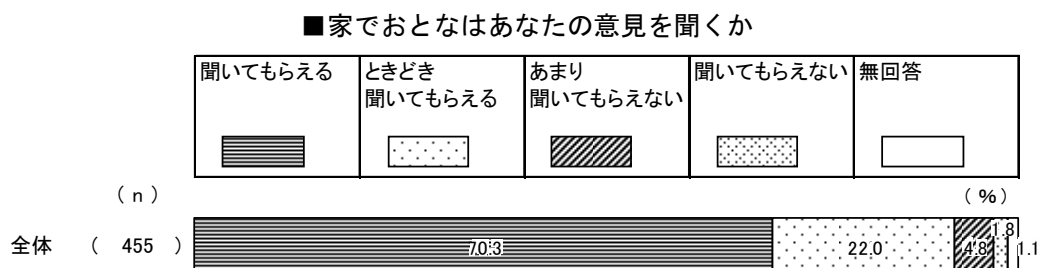
「お母さん」が最も多く95.8%、次いで「お父さん」が40.7%、「兄弟・姉妹」が24.9%となっています。

■話を聞いてもらう人（複数回答）



問13 家で何かを決めるとき、おとなにあなたの意見を聞いてもらえますか。

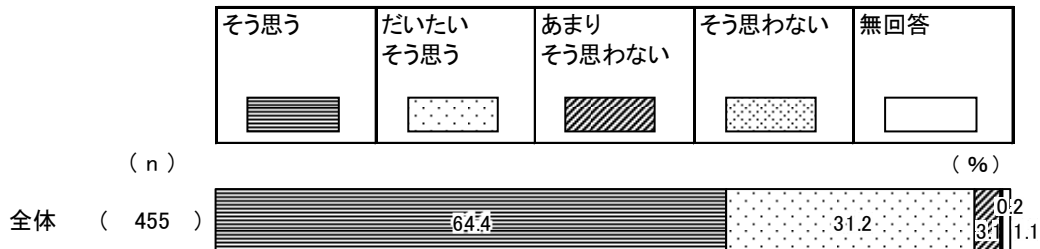
「聞いてもらえる」が最も多く70.3%、次いで「ときどき聞いてもらえる」が22.0%、「あまり聞いてもらえない」が4.8%となっています。



問14 あなたは、自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じますか。

「そう思う」が最も多く 64.4%、次いで「だいたいそう思う」が 31.2%、「あまりそう思わない」が 3.1%となっています。

■周りの人から大切にされていると感じるか



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き/だいたい好き”（以下「好き」）と回答した人は「そう思う」が72.3%、“好きではない/あまり好きではない”（以下「好きではない」）と回答した人は38.5%となっており、30ポイント以上の差となっています。また、“好き”と回答した人は「だいたいそう思う」が25.4%、“好きではない”と回答した人は54.2%となっており、こちらも約30ポイントの差となっています。

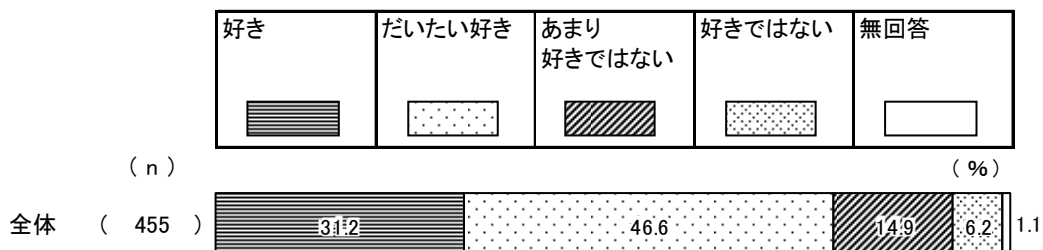
(単位:%)

|        | 回答者数 | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまりそう<br>思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|--------------|---------------|--------|-----|
| 全体     | 455  | 64.4 | 31.2         | 3.1           | 0.2    | 1.1 |
| 好き     | 354  | 72.3 | 25.4         | 2.3           | —      | —   |
| 好きではない | 96   | 38.5 | 54.2         | 6.3           | 1.0    | —   |

問15 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く 46.6%、次いで「好き」が 31.2%、「あまり好きではない」が 14.9%となっています。

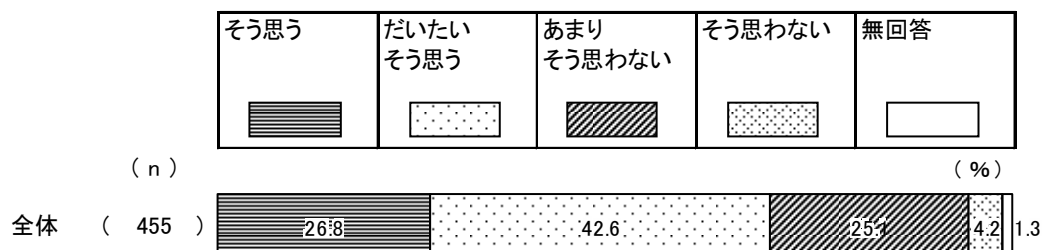
■自分のことが好きか、好きでないか



問16 あなたは、自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 42.6%、次いで「そう思う」が 26.8%、「あまりそう思わない」が 25.1%となっています。

■周りの人の役に立っていると思うか



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う/だいたいそう思う」が81.4%となっている一方、“好きではない”と回答した人は29.2%となっており、大きな差がみられます。また、“好き”と回答した人は「あまりそう思わない/そう思わない」が 18.3%となっている一方、“好きではない”と回答した人は 70.8%となっており、同様に大きな差がみられます。

(単位: %)

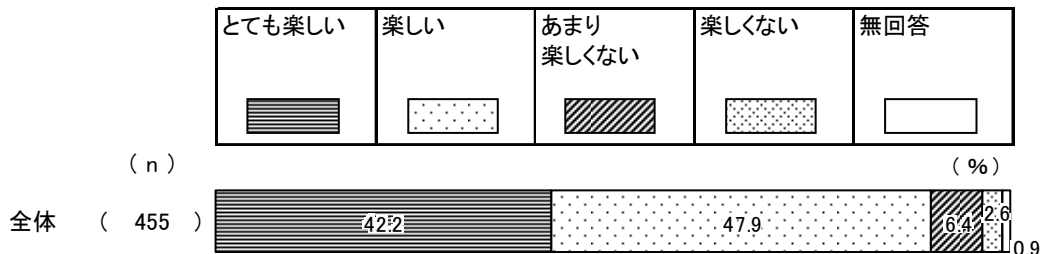
|        | 回答者数 | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまりそう<br>思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|--------------|---------------|--------|-----|
| 全体     | 455  | 26.8 | 42.6         | 25.1          | 4.2    | 1.3 |
| 好き     | 354  | 33.1 | 48.3         | 17.2          | 1.1    | 0.3 |
| 好きではない | 96   | 5.2  | 24.0         | 55.2          | 15.6   | —   |

## 4 学校や仕事でのことについて

### 問17 学校や仕事は楽しいですか。

「楽しい」が最も多く47.9%、次いで「とても楽しい」が42.2%、「あまり楽しくない」が6.4%となっています。

■学校・仕事の楽しさ



#### 【就学別】

「とても楽しい」が“中学生”46.8%、“高校生”35.8%で、約10ポイントの差が見られます。また、「あまり楽しくない」は“高校生”が“中学生”より多くなっています。

(単位:%)

|     | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|-----|------|--------|------|----------|-------|-----|
| 全体  | 455  | 42.2   | 47.9 | 6.4      | 2.6   | 0.9 |
| 中学生 | 250  | 46.8   | 45.6 | 4.4      | 2.8   | 0.4 |
| 高校生 | 201  | 35.8   | 51.2 | 9.0      | 2.5   | 1.5 |

#### 【問19「学校や職場に何でも話せる友だちがいますか」とのクロス集計】

学校や職場に何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は、「とても楽しい/楽しい」が94.4%、“いない”と回答した人は67.98%となっており、25ポイント以上の差がみられます。また、“いる”と回答した人は「あまり楽しくない/楽しくない」が5.6%となっており、“いない”と回答した人と比べて、少なくなっています。

(単位:%)

|     | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|-----|------|--------|------|----------|-------|-----|
| 全体  | 455  | 42.2   | 47.9 | 6.4      | 2.6   | 0.9 |
| いる  | 394  | 46.7   | 47.7 | 4.3      | 1.3   | —   |
| いない | 56   | 14.3   | 53.6 | 21.4     | 10.7  | —   |

#### 【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

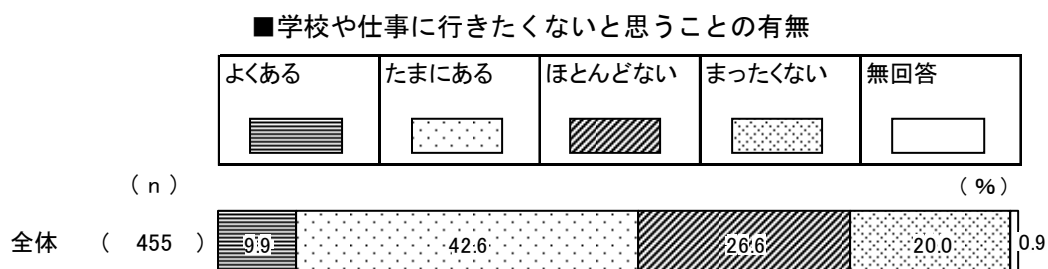
自分のことが“好き”と回答した人は「とても楽しい/楽しい」が93.8%、“好きではない”と回答した人は78.1%となっています。“好き”と回答した人は「あまり楽しくない/楽しくない」が5.9%、“好きではない”と回答した人は20.9%となっています。

(単位:%)

|        | 回答者数 | とても楽しい | 楽しい  | あまり楽しくない | 楽しくない | 無回答 |
|--------|------|--------|------|----------|-------|-----|
| 全体     | 455  | 42.2   | 47.9 | 6.4      | 2.6   | 0.9 |
| 好き     | 354  | 48.3   | 45.5 | 4.2      | 1.7   | 0.3 |
| 好きではない | 96   | 20.8   | 57.3 | 14.6     | 6.3   | 1.0 |

問18 学校や仕事に行きたくないと思うことがありますか。

「たまにある」が最も多く42.6%、次いで「ほとんどない」が26.6%、「まったくない」が20.0%となっています。



【就学別】

「よくある」は“中学生”6.8%、“高校生”13.9%で高校生の方が多く、「まったくない」は“高校生”より“中学生”の方が少なくなっています。

(単位:%)

|     | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|-----|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体  | 455  | 9.9  | 42.6  | 26.6   | 20.0   | 0.9 |
| 中学生 | 250  | 6.8  | 43.6  | 26.0   | 23.2   | 0.4 |
| 高校生 | 201  | 13.9 | 41.3  | 27.4   | 15.9   | 1.5 |

【問19「学校や職場に何でも話せる友だちがいますか」とのクロス集計】

何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は「よくある/たまにある」が50.0%、“いない”と回答した人は73.2%となっており、大きな差がみられます。また、“いる”と回答した人は「ほとんどない/まったくない」が50.0%、“いない”と回答した中学生が26.8%となっており、同様に大きな差がみられます。

(単位:%)

|     | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|-----|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体  | 455  | 9.9  | 42.6  | 26.6   | 20.0   | 0.9 |
| いる  | 394  | 7.4  | 42.6  | 27.7   | 22.3   | —   |
| いない | 56   | 28.6 | 44.6  | 21.4   | 5.4    | —   |

【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「よくある/たまにある」が45.7%、“好きではない”と回答した人は78.2%となっており、大きな差がみられます。また、“好き”と回答した人は「ほとんどない/まったくない」が54.0%、“好きではない”と回答した人は20.8%となっており、同様に大きな差がみられます。

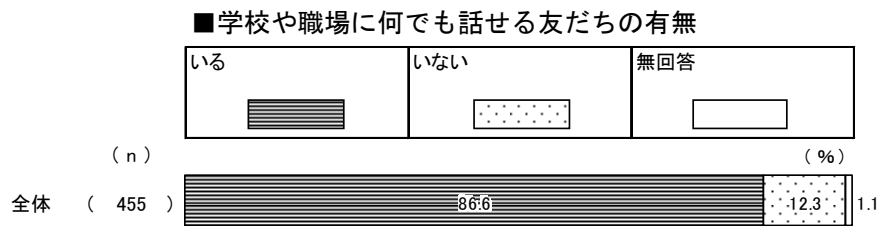
(単位:%)

|        | 回答者数 | よくある | たまにある | ほとんどない | まったくない | 無回答 |
|--------|------|------|-------|--------|--------|-----|
| 全体     | 455  | 9.9  | 42.6  | 26.6   | 20.0   | 0.9 |
| 好き     | 354  | 7.6  | 38.1  | 31.4   | 22.6   | 0.3 |
| 好きではない | 96   | 18.8 | 59.4  | 10.4   | 10.4   | 1.0 |



問19 あなたには、学校や職場に何でも話せる友だちがいますか。

「いる」が86.6%、「いない」が12.3%となっています。



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「いる」が89.8%、“好きではない”と回答した人は76.0%となっており、差がみられます。

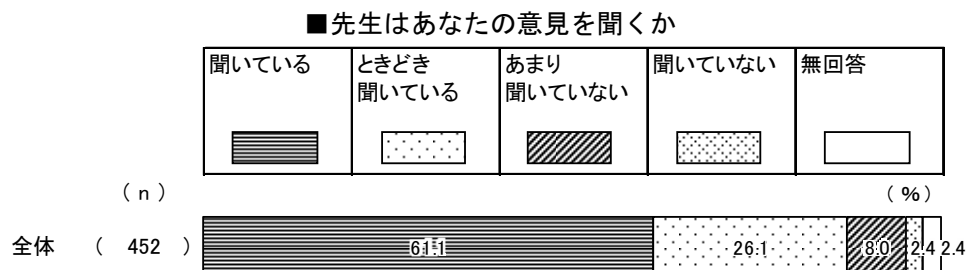
(単位: %)

|        | 回答者数 | いる   | いない  | 無回答 |
|--------|------|------|------|-----|
| 全体     | 455  | 86.6 | 12.3 | 1.1 |
| 好き     | 354  | 89.8 | 9.6  | 0.6 |
| 好きではない | 96   | 76.0 | 22.9 | 1.0 |

【問20～問22は、F1で「中学生」、「高校生」、「専修学校生」と回答した方】

問20 学校で何かを決めるとき、先生はあなたの意見を聞いていますか。

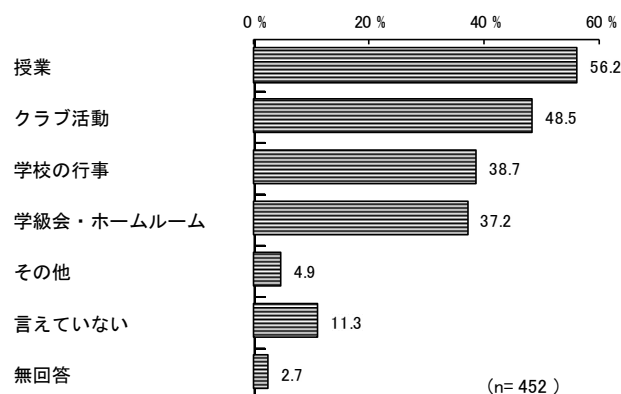
「聞いている」が最も多く61.1%、次いで「ときどき聞いている」が26.1%、「あまり聞いている」が8.0%となっています。



問21 あなたは、学校のどの場面で自分の意見を言えていますか。

「授業」が最も多く56.2%、次いで「クラブ活動」が48.5%、「学校の行事」が38.7%となっています。また「言えていない」は11.3%となっています。

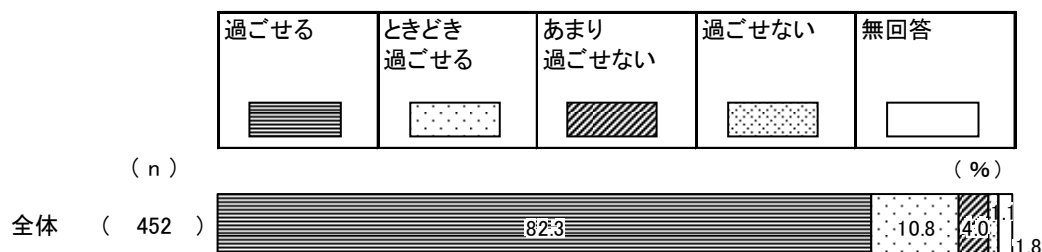
■学校で自分の意見を言える場面（複数回答）



問22 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心して過ごせますか。

「過ごせる」が最も多く82.3%、次いで「ときどき過ごせる」が10.8%、「あまり過ごせない」が4.0%となっています。

■学校で休み時間や放課後に安心して過ごせるか



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「過ごせる/ときどき過ごせる」が96.6%、“好きではない”と回答した人は82.3%となっており、差がみられます。また、“好き”と回答した人は「あまり過ごせない/過ごせない」が2.3%となっており、“好きではない”と回答した人と比べて少なくなっています。

(単位:%)

|        | 回答者数 | 過ごせる | ときどき<br>過ごせる | あまり<br>過ごせない | 過ごせない | 無回答 |
|--------|------|------|--------------|--------------|-------|-----|
| 全体     | 452  | 82.3 | 10.8         | 4.0          | 1.1   | 1.8 |
| 好き     | 352  | 87.5 | 9.1          | 1.7          | 0.6   | 1.1 |
| 好きではない | 96   | 64.6 | 17.7         | 12.5         | 3.1   | 2.1 |

【問19「学校や職場に何でも話せる友だちがいますか」とのクロス集計】

学校や職場に何でも話せる友だちが“いる”と回答した人は「過ごせる/ときどき過ごせる」が96.2%、“いない”と回答した人80.4%となっています。また、“いる”と回答した人は「あまり過ごせない/過ごせない」が3.1%となっており、“いない”と回答した人と比べて少なくなっています。

(単位:%)

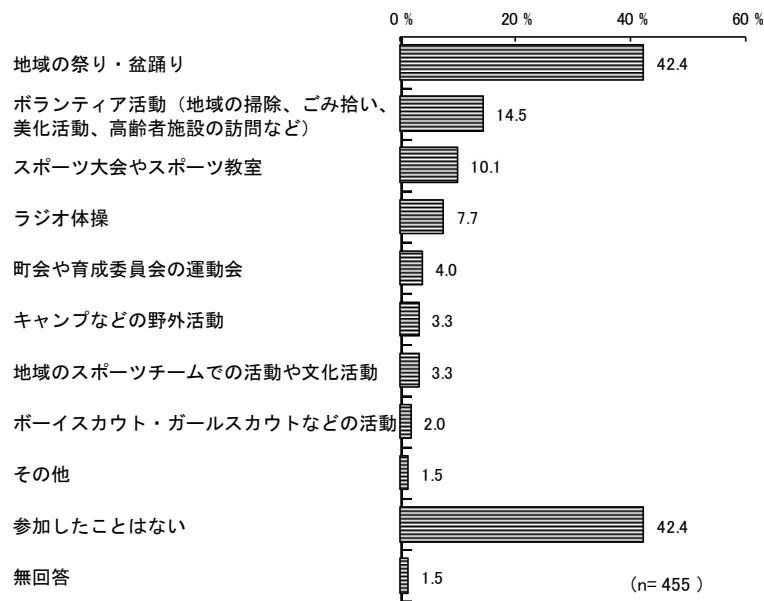
|     | 回答者数 | 過ごせる | ときどき<br>過ごせる | あまり<br>過ごせない | 過ごせない | 無回答 |
|-----|------|------|--------------|--------------|-------|-----|
| 全体  | 452  | 82.3 | 10.8         | 4.0          | 1.1   | 1.8 |
| いる  | 391  | 88.0 | 8.2          | 2.6          | 0.5   | 0.8 |
| いない | 56   | 50.0 | 30.4         | 12.5         | 5.4   | 1.8 |

## 5 地域でのことについて

問23 あなたがこの1年間に参加した地域活動は、次のうちどれですか。

「地域の祭り・盆踊り」が最も多く42.4%、次いで「ボランティア活動（地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、高齢者施設の訪問など）」が14.5%、「スポーツ大会やスポーツ教室」が10.1%となっています。また「参加したことはない」は42.4%で最も多かった「地域の祭り・盆踊り」と同じ割合になっています。

■この1年間に参加した地域活動（複数回答）



### 【就学別】

参加したことがある地域活動は、“中学生”“高校生”とも「地域の祭り・盆踊り」が最も多くなっています。また、「参加したことはない」は“中学生”は33.2%、“高校生”は53.7%と“高校生”の方が多くなっています。

(単位:%)

|     | 回答者数 | ラジオ体操 | 町会や育成委員会の運動会 | 地域の祭り・盆踊り | キャンプなどの野外活動 | スポーツ大会やスポーツ教室 | 地域のスポーツチームでの活動や文化活動 | ボーイスカウト・ガールスカウトなどの活動 | ボランティア活動（地域の掃除、ごみ拾い、美化活動、高齢者施設の訪問など） | その他 | 参加したことはない | 無回答 |
|-----|------|-------|--------------|-----------|-------------|---------------|---------------------|----------------------|--------------------------------------|-----|-----------|-----|
| 全体  | 455  | 7.7   | 4.0          | 42.4      | 3.3         | 10.1          | 3.3                 | 2.0                  | 14.5                                 | 1.5 | 42.4      | 1.5 |
| 中学生 | 250  | 11.6  | 7.2          | 49.6      | 4.0         | 13.2          | 4.8                 | 2.4                  | 16.4                                 | 2.4 | 33.2      | 0.8 |
| 高校生 | 201  | 3.0   | —            | 33.8      | 2.5         | 6.5           | 1.5                 | 1.5                  | 12.4                                 | 0.5 | 53.7      | 2.0 |

【問23で「1.ラジオ体操」～「9.その他」(地域活動に参加したことがある)と回答した人】

問24 地域で何かを決めるとき、おとなは、あなたの意見を聞いていますか。

「聞いている」が最も多く34.9%、次いで「聞いていない」が28.6%、「ときどき聞いている」が18.0%となっています。

■地域のおとなは、あなたの意見を聞くか



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

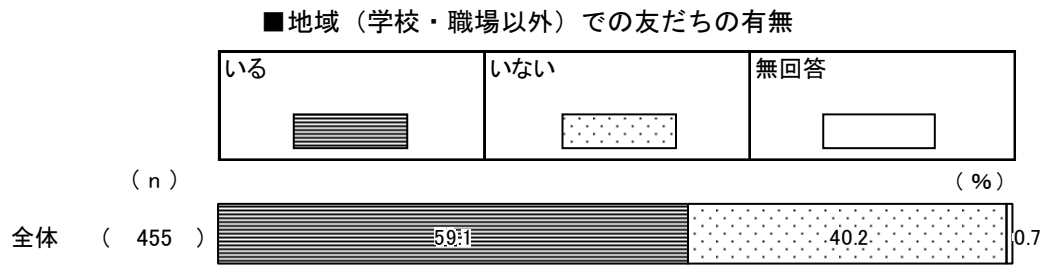
自分のことが“好き”と回答した人は「聞いている」が37.6%、“好きではない”と回答した人は25.0%となっています。また、“好き”と回答した人は「聞いていない」が25.2%、“好きではない”と回答した人は42.3%となっており、差がみられます。

(単位: %)

|        | 回答者数 | 聞いている | ときどき聞いている | あまり聞いていない | 聞いていない | 無回答  |
|--------|------|-------|-----------|-----------|--------|------|
| 全体     | 255  | 34.9  | 18.0      | 9.0       | 28.6   | 9.4  |
| 好き     | 202  | 37.6  | 18.8      | 9.9       | 25.2   | 8.4  |
| 好きではない | 52   | 25.0  | 15.4      | 5.8       | 42.3   | 11.5 |

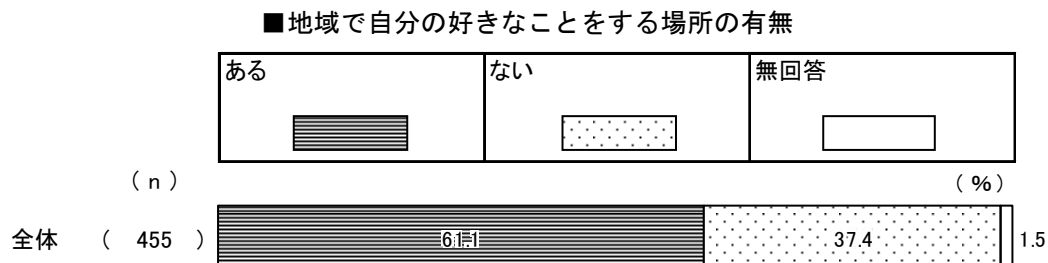
問 25 地域（学校・職場以外）に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。

「いる」が59.1%、「いない」が40.2%となっています。



問 26 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。

「ある」が61.1%、「ない」が37.4%となっています。



【就学別】

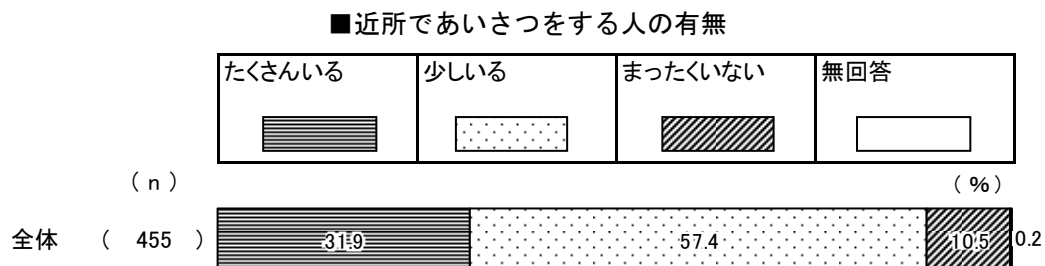
地域で自分の好きなことをする場所については、“中学生”が“高校生”より約10ポイント多く、「ない」は高校生が約10ポイント多くなっています。

(単位:%)

|     | 回答者数 | ある   | ない   | 無回答 |
|-----|------|------|------|-----|
| 全体  | 455  | 61.1 | 37.4 | 1.5 |
| 中学生 | 250  | 65.2 | 32.8 | 2.0 |
| 高校生 | 201  | 55.7 | 43.3 | 1.0 |

問 27 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人がいますか。

「少しいる」が最も多く57.4%、次いで「たくさんいる」が31.9%、「まったくいない」が10.5%となっています。

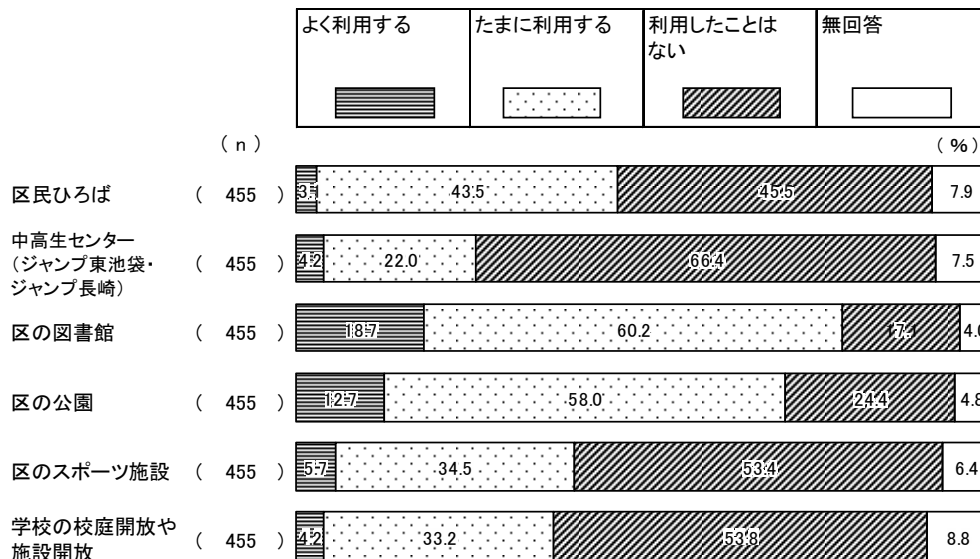


6 豊島区の施設について

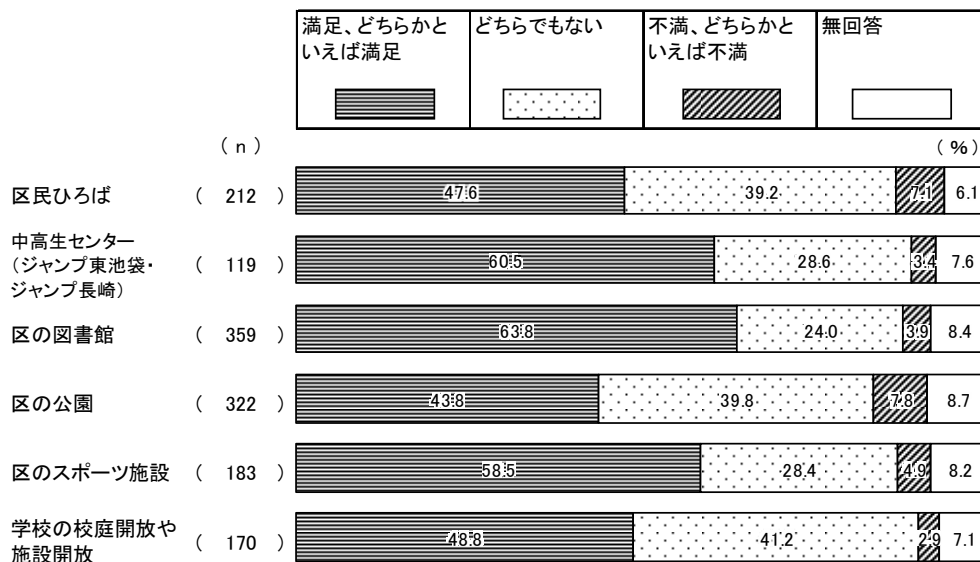
問 28 あなたは、次の豊島区の施設を使ったことがありますか。また使った人は、使った感想（満足したかどうか）についてお答えください。

“区の図書館”“区の公園”で「たまに利用する」が多く約6割となっています。また“中高生センター（ジャンプ東池袋・ジャンプ長崎）”は「利用したことはない」が6割半ばとなっています。すべての施設で「満足、どちらかといえば満足」が最も多くなっています。

■ 区施設の利用経験



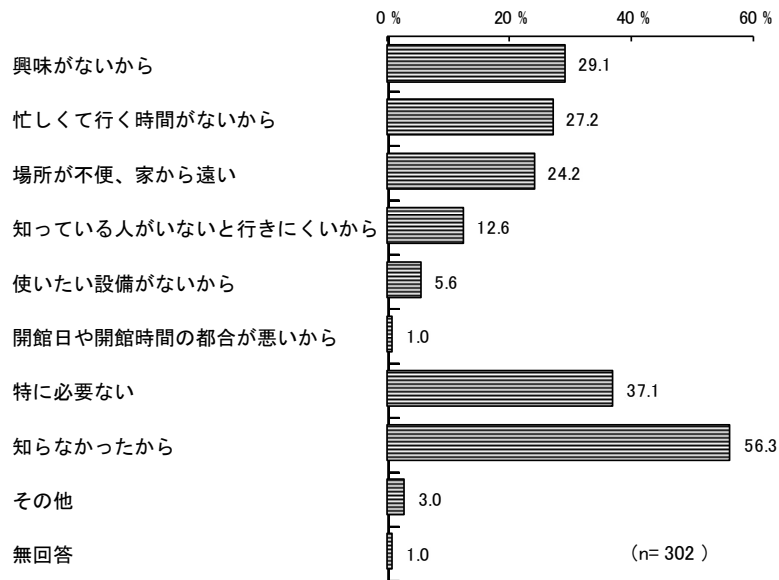
■ 区施設を利用しての満足度



【問28で“中高生センター（ジャンプ東池袋&ジャンプ長崎）”を「利用したことはない」と回答した方】  
問28-1 利用しない主な理由は何ですか。

「知らなかったから」が最も多く56.3%、次いで「特に必要ない」が37.1%となっています。

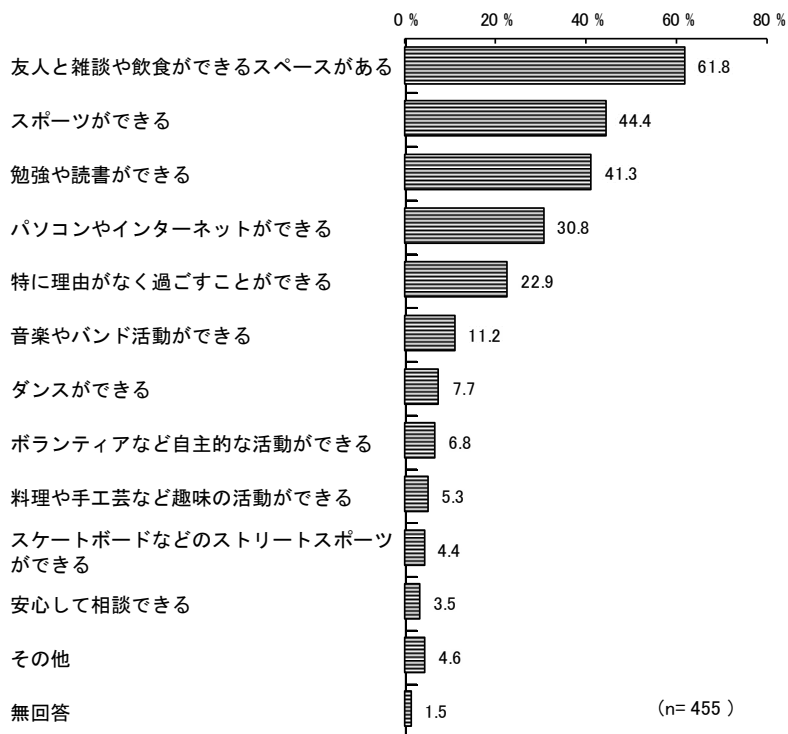
■ 中高生センターを利用しない理由（複数回答）



問29 今後、中学生や高校生が利用できる施設が整備されるとしたら、どのような施設ができるとう  
いですか。

「友人と雑談や飲食ができるスペースがある」が最も多く61.8%、次いで「スポーツができる」が44.4%、  
「勉強や読書ができる」が41.3%、「パソコンやインターネットができる」が30.8%となっています。

■ 希望する施設（3つまでに○）

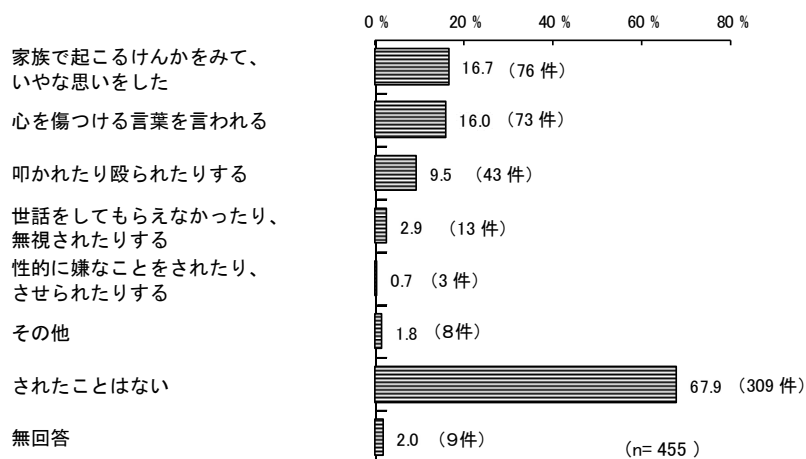


**7 困ったり、悩んだりしていることについて**

問30 あなたは、おとな（親や先生、スポーツの監督など）から次のことをされたことがありますか。

「されたことはない」が67.9%となっています。されたことでは、「家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした」が16.7%、「心を傷つける言葉を言われる」が16.0%、「叩かれたり殴られたりする」が9.5%となっています。

■おとなからされたこと（複数回答）



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「されたことはない」が70.3%、“好きではない”と回答した人は59.4%となっており、差がみられます。

また、おとなからされた嫌な経験はすべての項目において、“好き”より“好きではない”の方が多くなっています。

(単位: %)

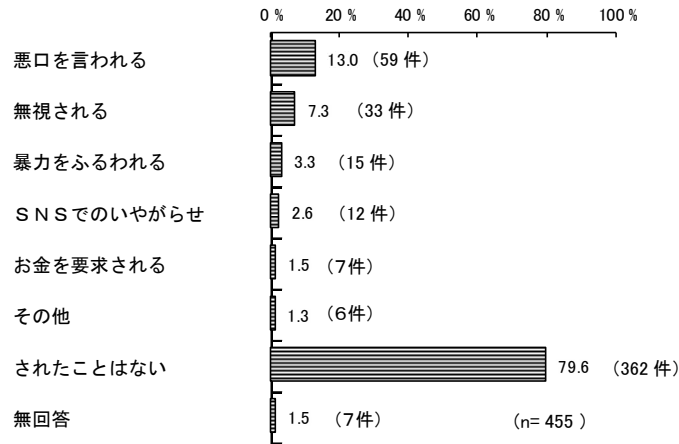
|        | 回答者数 | 叩かれたり殴られたりする | 心を傷つける言葉を言われる | 性的に嫌なことをされたり、させられたりする | 世話をしてもらえなかったり、無視されたりする | 家族で起こるけんかをみて、いやな思いをした | その他 | されたことはない | 無回答 |
|--------|------|--------------|---------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----|----------|-----|
| 全体     | 455  | 9.5          | 16.0          | 0.7                   | 2.9                    | 16.7                  | 1.8 | 67.9     | 2.0 |
| 好き     | 354  | 7.9          | 14.7          | 0.3                   | 2.3                    | 15.0                  | 2.0 | 70.3     | 2.0 |
| 好きではない | 96   | 14.6         | 20.8          | 1.0                   | 4.2                    | 21.9                  | 1.0 | 59.4     | 2.1 |



問31 あなたは、友だちや先輩、後輩から次のことをされたことがありますか。

「されたことはない」が79.6%となっています。されたことでは、「悪口を言われる」が13.0%、「無視される」が7.3%となっています。

■友だちや先輩、後輩からされたこと（複数回答）



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「されたことはない」が81.1%、“好きではない”と回答した人は74.0%となっており、差がみられます。

また、自分のことが“好きではない”と回答した人は、“好き”と回答した人に比べて、「無視される」{悪口を言われる}「SNSでのいやがらせ」で多くなっています。

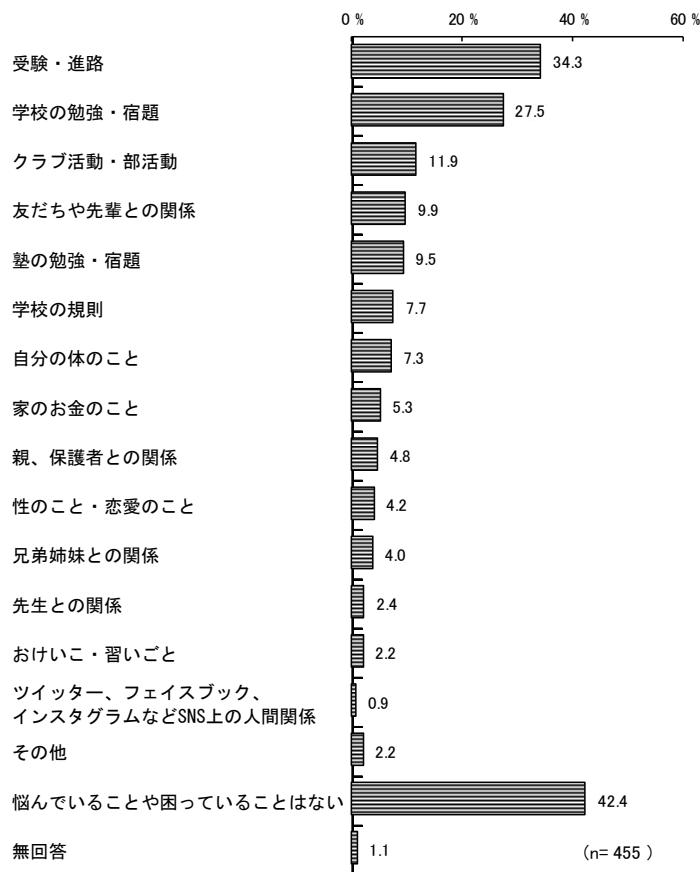
(単位:%)

|        | 回答者数 | 無視される | お金を要求される | 悪口を言われる | SNSでのいやがらせ | 暴力をふるわれる | その他 | されたことはない | 無回答 |
|--------|------|-------|----------|---------|------------|----------|-----|----------|-----|
| 全体     | 455  | 7.3   | 1.5      | 13.0    | 2.6        | 3.3      | 1.3 | 79.6     | 1.5 |
| 好き     | 354  | 6.5   | 2.0      | 11.6    | 1.4        | 3.7      | 0.8 | 81.1     | 2.0 |
| 好きではない | 96   | 9.4   | —        | 18.8    | 7.3        | 2.1      | 3.1 | 74.0     | —   |

問32 悩んでいることや困っていることはありますか。

「受験・進路」が最も多く34.3%、次いで「学校の勉強・宿題」が27.5%、「クラブ活動・部活動」が11.9%、「友だちや先輩との関係」が9.9%、「塾の勉強・宿題」が9.5%となっています。また、「悩んでいることや困っていることはない」は42.4%となっています。

■悩んでいることや困っていること（複数回答）



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「悩んでいることや困っていることはない」が47.7%、“好きではない”と回答した人は22.9%となっており、大きな差がみられます。

また、“好きではない”と回答した人は“好き”と回答した人に比べて、「親、保護者との関係」「友だちや先輩との関係」「学校の勉強・宿題」「受験・進路」が多くなっています。

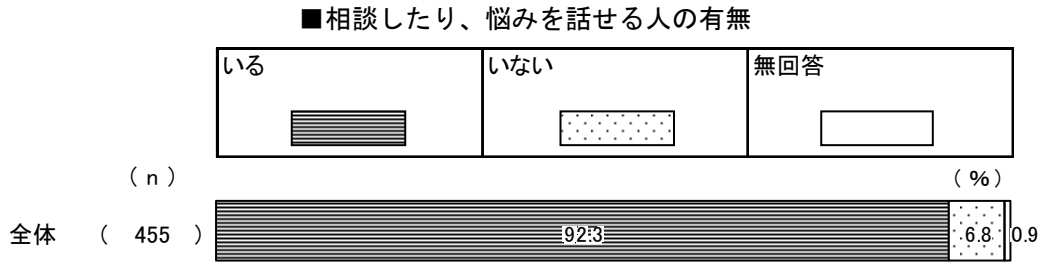
(単位: %)

|        | 回答者数 | 親、保護者との関係 | 兄弟姉妹との関係 | 友だちや先輩との関係 | 先生との関係 | 学校の勉強・宿題 | 学校の規則 | クラブ活動 | 塾の勉強・宿題 |
|--------|------|-----------|----------|------------|--------|----------|-------|-------|---------|
| 全体     | 455  | 4.8       | 4.0      | 9.9        | 2.4    | 27.5     | 7.7   | 11.9  | 9.5     |
| 好き     | 354  | 2.5       | 4.5      | 7.9        | 2.3    | 23.2     | 6.5   | 10.7  | 9.0     |
| 好きではない | 96   | 13.5      | 2.1      | 17.7       | 3.1    | 44.8     | 12.5  | 16.7  | 11.5    |

|        | 受験・進路 | おけいこ・習いごと | 自分の体のこと | 性のこと・恋愛のこと | 家のお金のこと | SNS上の人間関係 | その他 | 悩んでいることや困っていることはない | 無回答 |
|--------|-------|-----------|---------|------------|---------|-----------|-----|--------------------|-----|
| 全体     | 34.3  | 2.2       | 7.3     | 4.2        | 5.3     | 0.9       | 2.2 | 42.4               | 1.1 |
| 好き     | 30.2  | 1.4       | 5.6     | 2.5        | 3.4     | 0.3       | 2.0 | 47.7               | 1.4 |
| 好きではない | 50.0  | 5.2       | 11.5    | 9.4        | 11.5    | 3.1       | 3.1 | 22.9               | —   |

問 33 あなたには、困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。

「いる」が92.3%、「いない」が6.8%となっています。



【問 15 「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「いる」が94.9%、“好きではない”と回答した人は83.3%となっています。

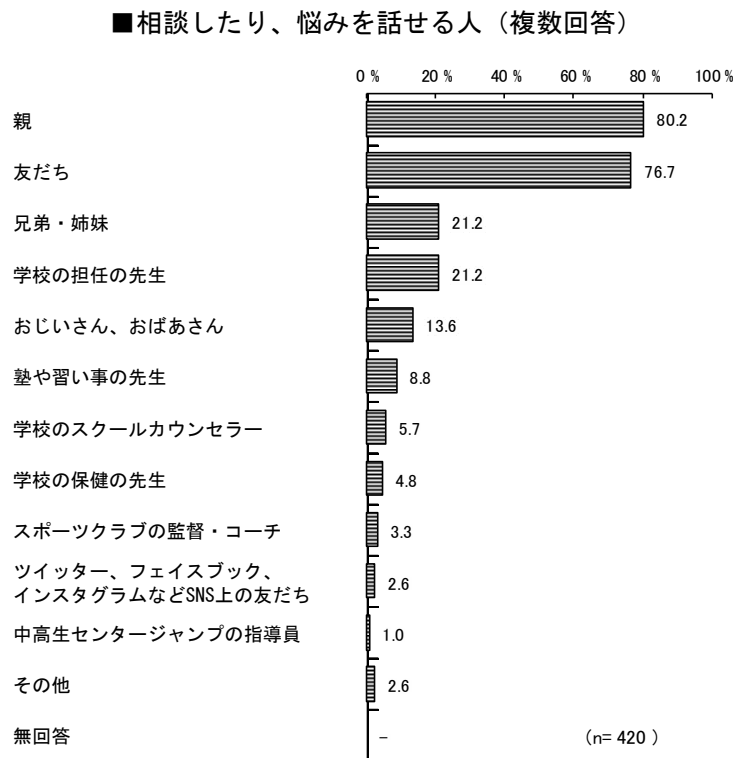
(単位:%)

|        | 回答者数 | いる   | いない  | 無回答 |
|--------|------|------|------|-----|
| 全体     | 455  | 92.3 | 6.8  | 0.9 |
| 好き     | 354  | 94.9 | 4.5  | 0.6 |
| 好きではない | 96   | 83.3 | 14.6 | 2.1 |

【問 33 で困ったときに相談したり、悩みを話せる人が「いる」と回答した方】

問 33-1 それは誰ですか。

「親」が最も多く80.2%、次いで「友だち」が76.7%、「兄弟・姉妹」「学校の担任の先生」がともに21.2%となっています。

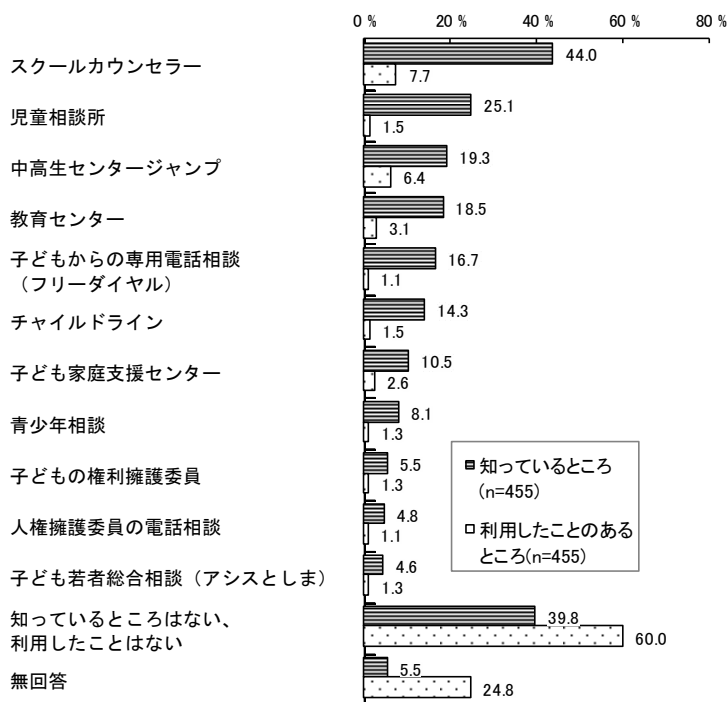


問34 次のような子どもの相談を受けてくれるところのうち、知っているところ、利用したところの  
あるところがありますか。

知っているところは「スクールカウンセラー」が最も多く 44.0%、次いで「児童相談所」が 25.1%、「中高生センタージャンプ」が 19.3%、「教育センター」が 18.5%となっています。また「知っているところはない」は 39.8%となっています。

利用したことがあるところは「利用したことはない」が最も多く 60.0%となっています。

■相談場所の認知度と利用状況（複数回答）



問35 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、問34のような相談できるところを利用したいと思いますか。

「相談したい」が 34.7%、「相談したくない」が 62.0%となっています。

■相談機関の利用意向



【問15「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「相談したくない」が 57.9%、“好きではない”と回答した人は 78.1%となっており、大きな差がみられます。

(単位: %)

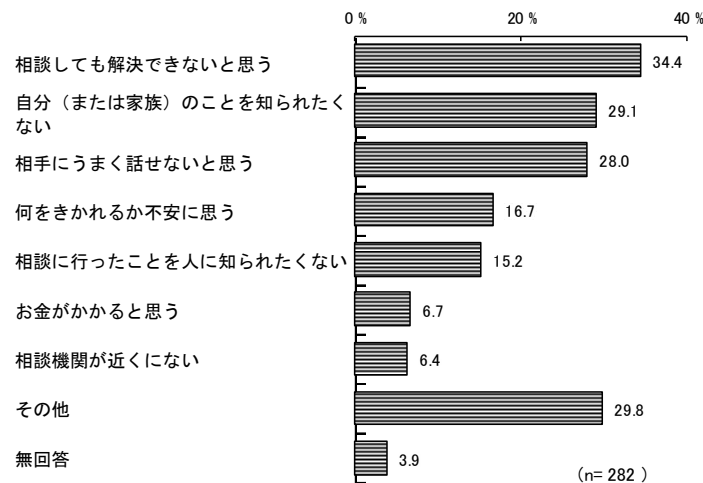
|        | 回答者数 | 相談したい | 相談したくない | 無回答 |
|--------|------|-------|---------|-----|
| 全体     | 455  | 34.7  | 62.0    | 3.3 |
| 好き     | 354  | 39.0  | 57.9    | 3.1 |
| 好きではない | 96   | 19.8  | 78.1    | 2.1 |

【問 35 で「相談したくない」と回答した方】

問 35-1 相談したくないと思う理由は何ですか。

「相談しても解決できないと思う」が最も多く 34.4%、次いで「自分（または家族）のことを知られたくない」が 29.1%、「相手にうまく話せないと思う」が 28.0%となっています。その他としては、「家族など相談できる人がいるので必要ない」「めんどくさい」が多くあげられています。

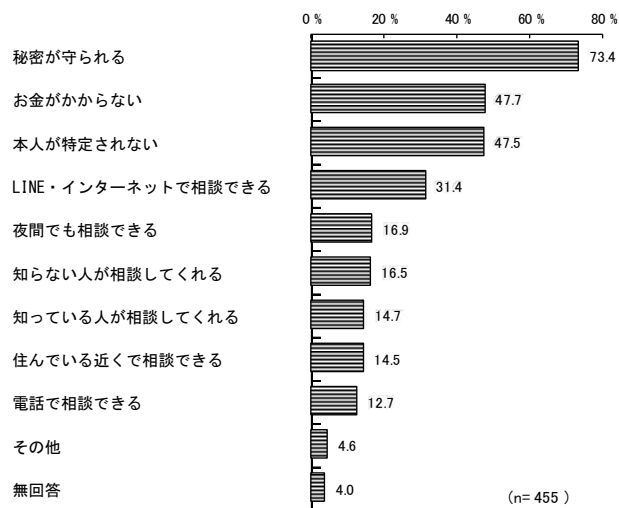
■相談したくない理由（複数回答）



問 36 相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。

「秘密が守られる」が最も多く 73.4%、次いで「お金がかからない」が 47.7%、「本人が特定されない」が 47.5%となっています。

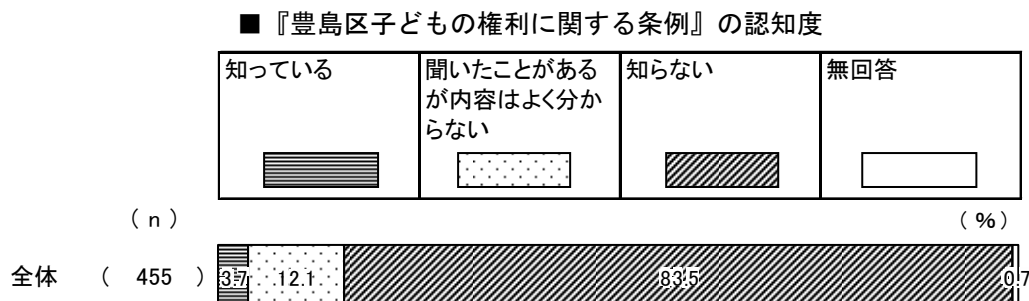
■相談先に望むこと（複数回答）



8 『子どもの権利条例』や豊島区のことについて

問37 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知らない」が最も多く83.5%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が12.1%、「知っている」が3.7%となっています。

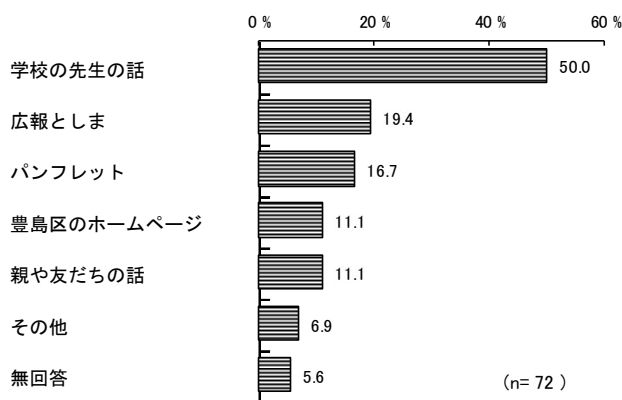


【問37で『豊島区子どもの権利に関する条例』について「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問37-1 どのように知りましたか。

「学校の先生の話」が最も多く50.0%、次いで「広報としま」が19.4%、「パンフレット」が16.7%となっています。

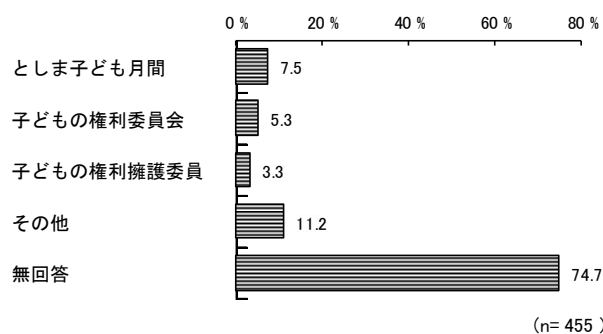
■『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問38 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

どの項目も1割未満となっています。

■子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問39 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」が最も多く51.2%、次いで「どちらかというに住み続けたいと思う」が20.9%、「住み続けたいと思わない」が3.7%となっています。

■定住意向

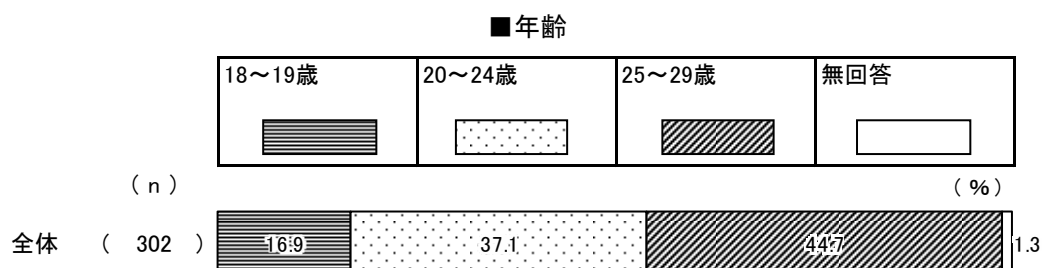


## VI 若者

### 1 あなたのことについて

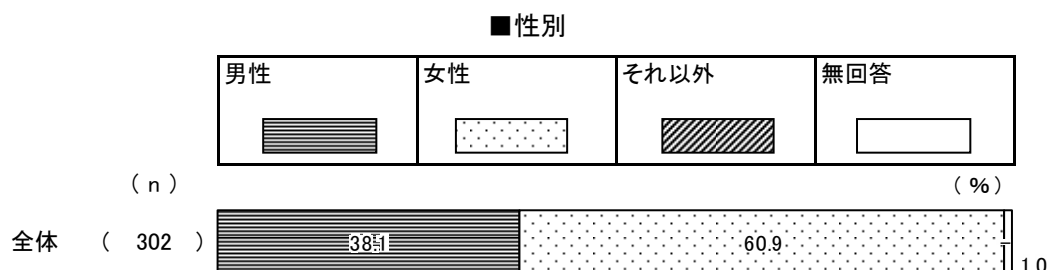
#### F1. 年齢

「25～29歳」が最も多く44.7%、次いで「20～24歳」が37.1%、「18～19歳」が16.9%となっています。



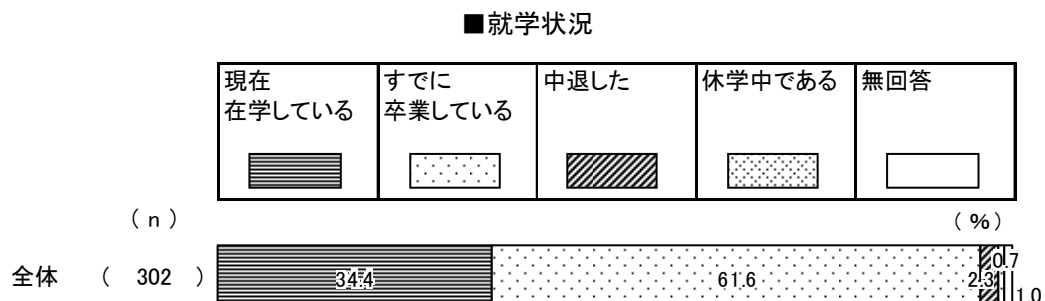
#### F2. 性別

「女性」が60.9%、「男性」が38.1%となっています。



#### F3. 現在学校に通っていますか

「すでに卒業している」が最も多く61.6%、次いで「現在在学している」が34.4%、「中退した」が2.3%となっています。

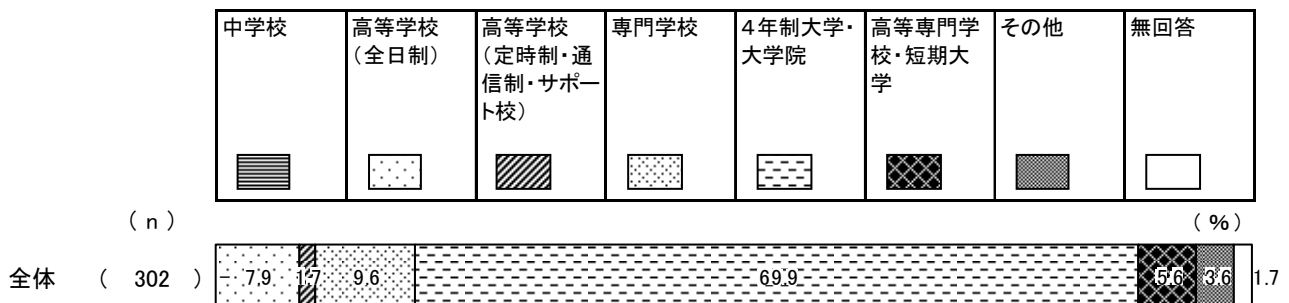




F4. 最後に卒業（中退を含む）した、または現在在学している学校

「4年制大学・大学院」が最も多く69.9%、次いで「専門学校」が9.6%、「高等学校（全日制）」が7.9%となっています。

■卒業した学校・在学している学校

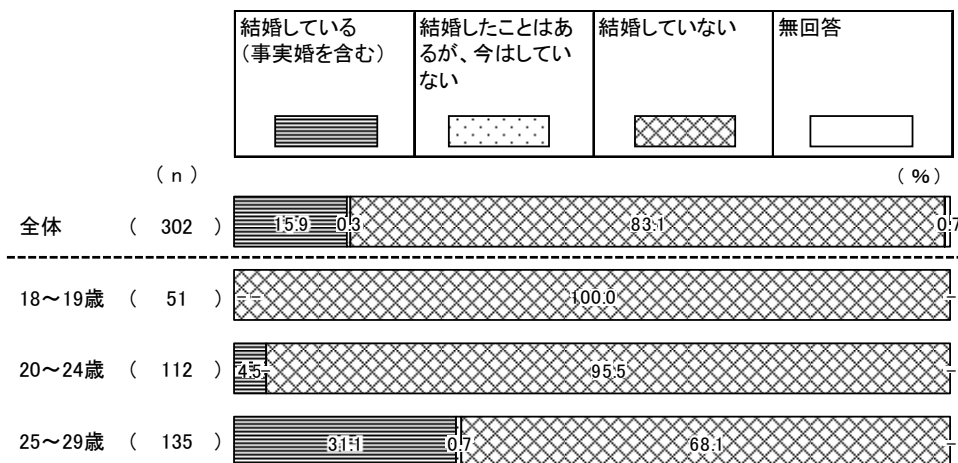


F5. 結婚していますか

「結婚していない」が最も多く83.1%、次いで「結婚している（事実婚を含む）」が15.9%、「結婚したことはあるが、今はしていない」が0.3%となっています。

年齢別にみると、「結婚していない」は「18～19歳」は10割、「20～24歳」は9割半ば、「25～29歳」は約7割となっています。

■結婚の有無

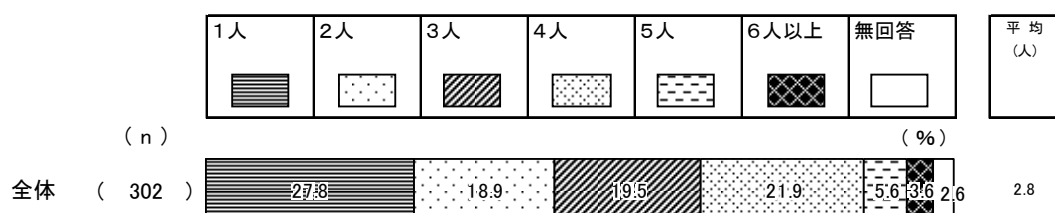


F6. 現在、一緒に住んでいる方について

(1) 何人の方と一緒に住んでいますか

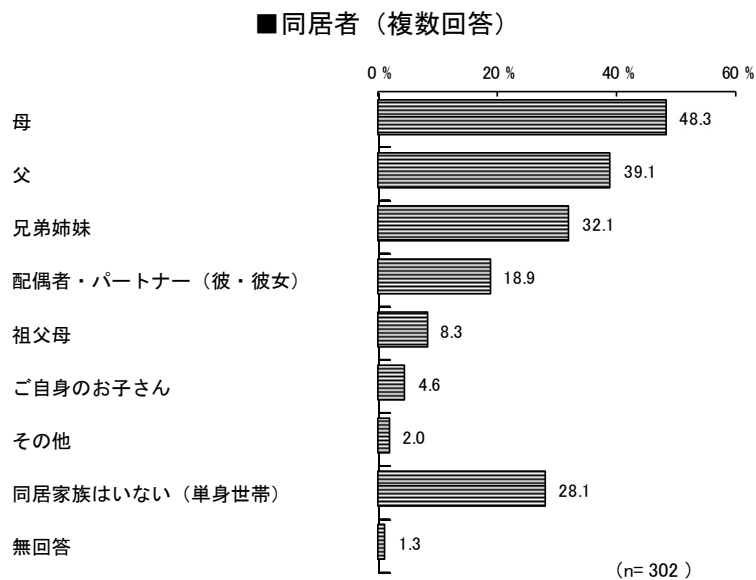
「1人」が最も多く27.8%、「4人」が21.9%、「3人」が19.5%となっています。平均は2.8人となっています。

■同居人数



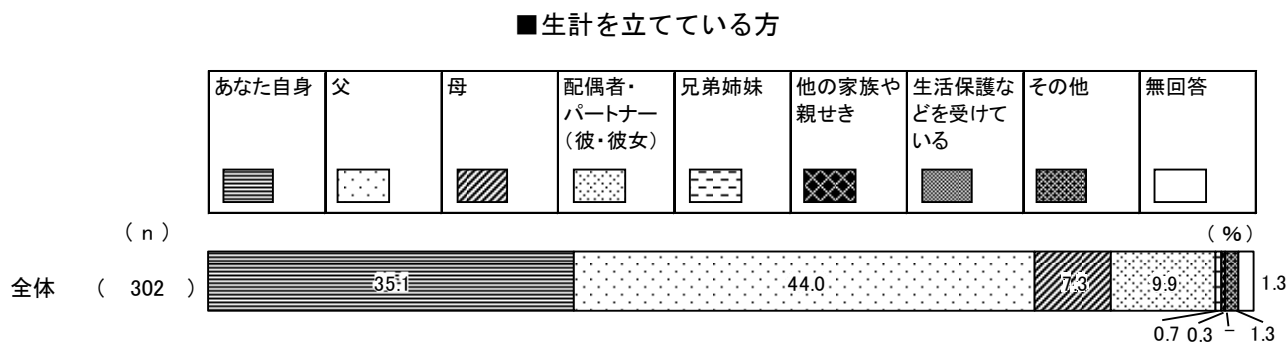
F6. 現在、一緒に住んでいる方について  
(2) 現在同居している方

「母」が最も多く48.3%、次いで「父」が39.1%、「兄弟姉妹」が32.1%となっています。また「同居家族はいない(単身世帯)」は28.1%となっています。



F7. あなたの家の生計を立てている方

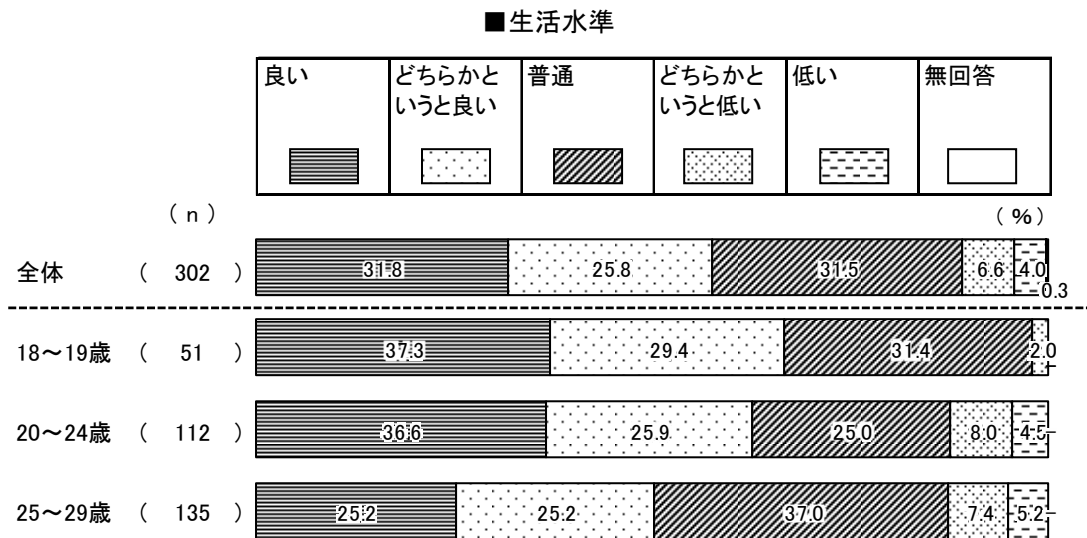
「父」が最も多く44.0%、次いで「あなた自身」が35.1%、「配偶者・パートナー(彼・彼女)」が9.9%、「母」が7.3%となっています。



F8. あなたの暮らし向き（衣食住、レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、どれにあたると思われますか

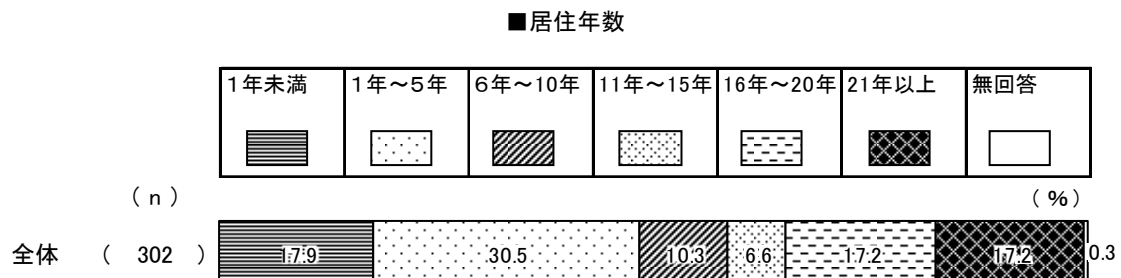
「良い」が最も多く31.8%、次いで「普通」が31.5%、「どちらかというが良い」が25.8%、となっています。

年齢別にみると、“18～19歳”“20～24歳”は「良い」が“25～29歳”と比べて多くなっています。



F9. 豊島区に通算で何年住んでいますか

「1年～5年」が最も多く30.5%、次いで「1年未満」が17.9%、「16年～20年」が17.2%となっています。



【年齢別】

年齢が上がるにつれて、「1～5年」は増加傾向、「16年～20年」は減少傾向がみられます。

(単位:%)

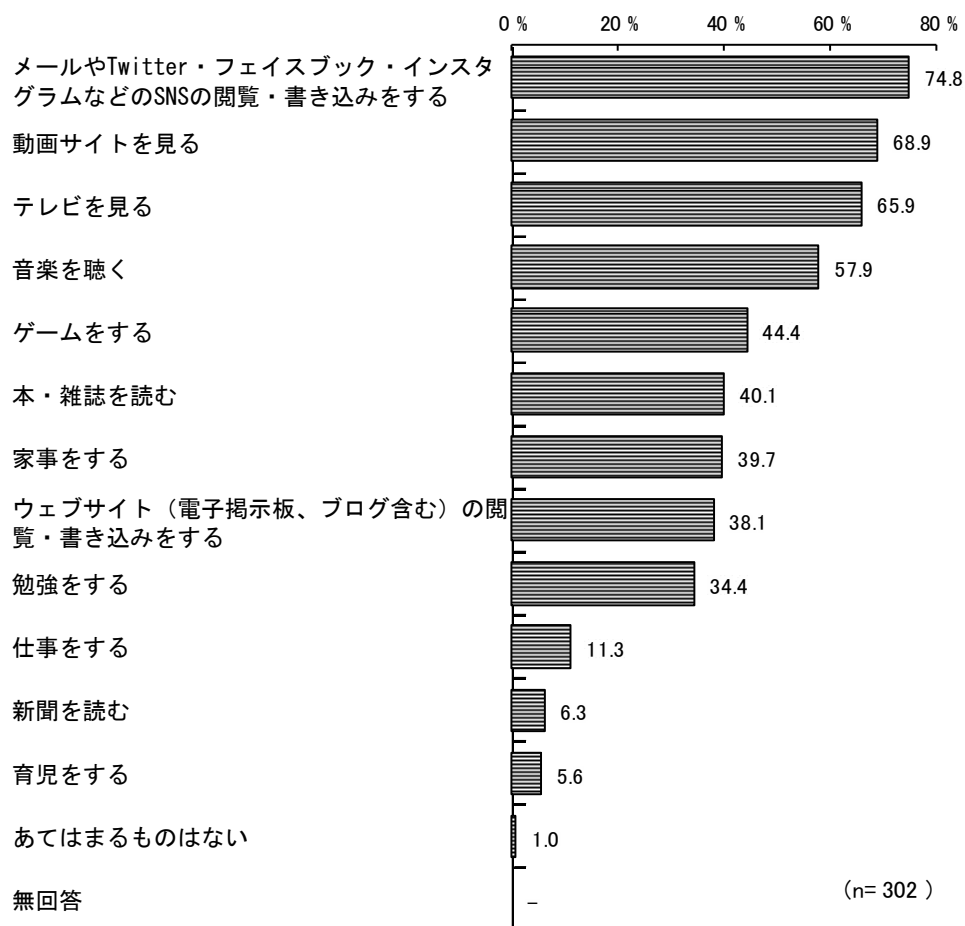
|        | 回答者数 | 1年未満 | 1年～5年 | 6年～10年 | 11年～15年 | 16年～20年 | 21年以上 | 無回答 |
|--------|------|------|-------|--------|---------|---------|-------|-----|
| 全体     | 302  | 17.9 | 30.5  | 10.3   | 6.6     | 17.2    | 17.2  | 0.3 |
| 18～19歳 | 51   | 17.6 | 7.8   | 5.9    | 13.7    | 52.9    | 2.0   | —   |
| 20～24歳 | 112  | 19.6 | 26.8  | 8.9    | 8.0     | 18.8    | 17.0  | 0.9 |
| 25～29歳 | 135  | 17.0 | 43.0  | 11.9   | 3.0     | 2.2     | 23.0  | —   |

## 2 ふだんの生活について

問1 あなたがふだん自宅にいるときによくしていることは何ですか。

「メールやTwitter・フェイスブック・インスタグラムなどのSNSの閲覧・書き込みをする」が最も多く74.8%、次いで「動画サイトを見る」が68.9%、「テレビを見る」が65.9%、「音楽を聴く」が57.9%、「ゲームをする」が44.4%となっています。

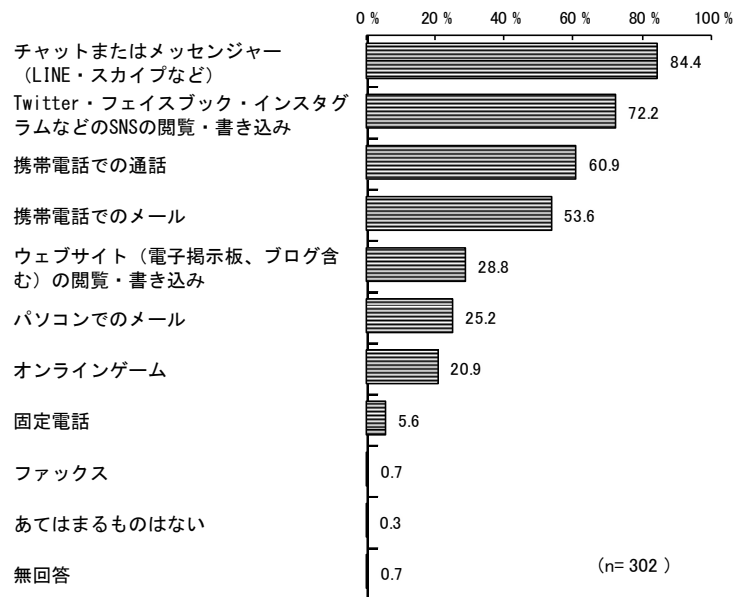
■ふだん自宅でよくしていること（複数回答）



問2 以下にあげた通信手段の中で、あなたがふだん利用しているものは何ですか。

「チャットまたはメッセージ（LINE・スカイプなど）」が最も多く84.4%、次いで「Twitter・フェイスブック・インスタグラムなどのSNSの閲覧・書き込み」が72.2%、「携帯電話での通話」が60.9%、「携帯電話でのメール」が53.6%となっています。

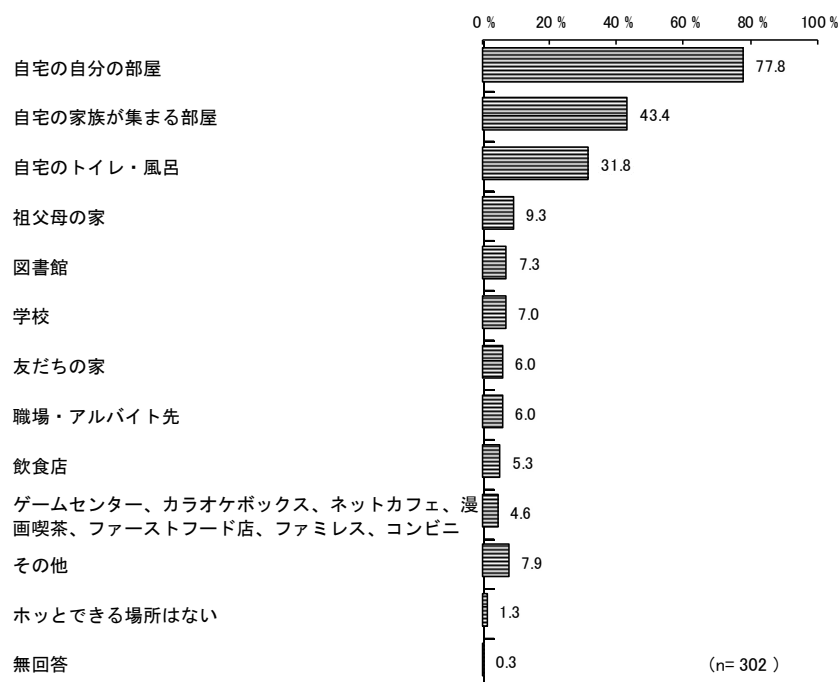
■ふだん利用している通信手段（複数回答）



問3 あなたが、ホッとできて、安心する場所はどこですか。

「自宅の自分の部屋」が最も多く77.8%、次いで「自宅の家族が集まる部屋」が43.4%、「自宅のトイレ・風呂」が31.8%、「祖父母の家」が9.3%となっています。

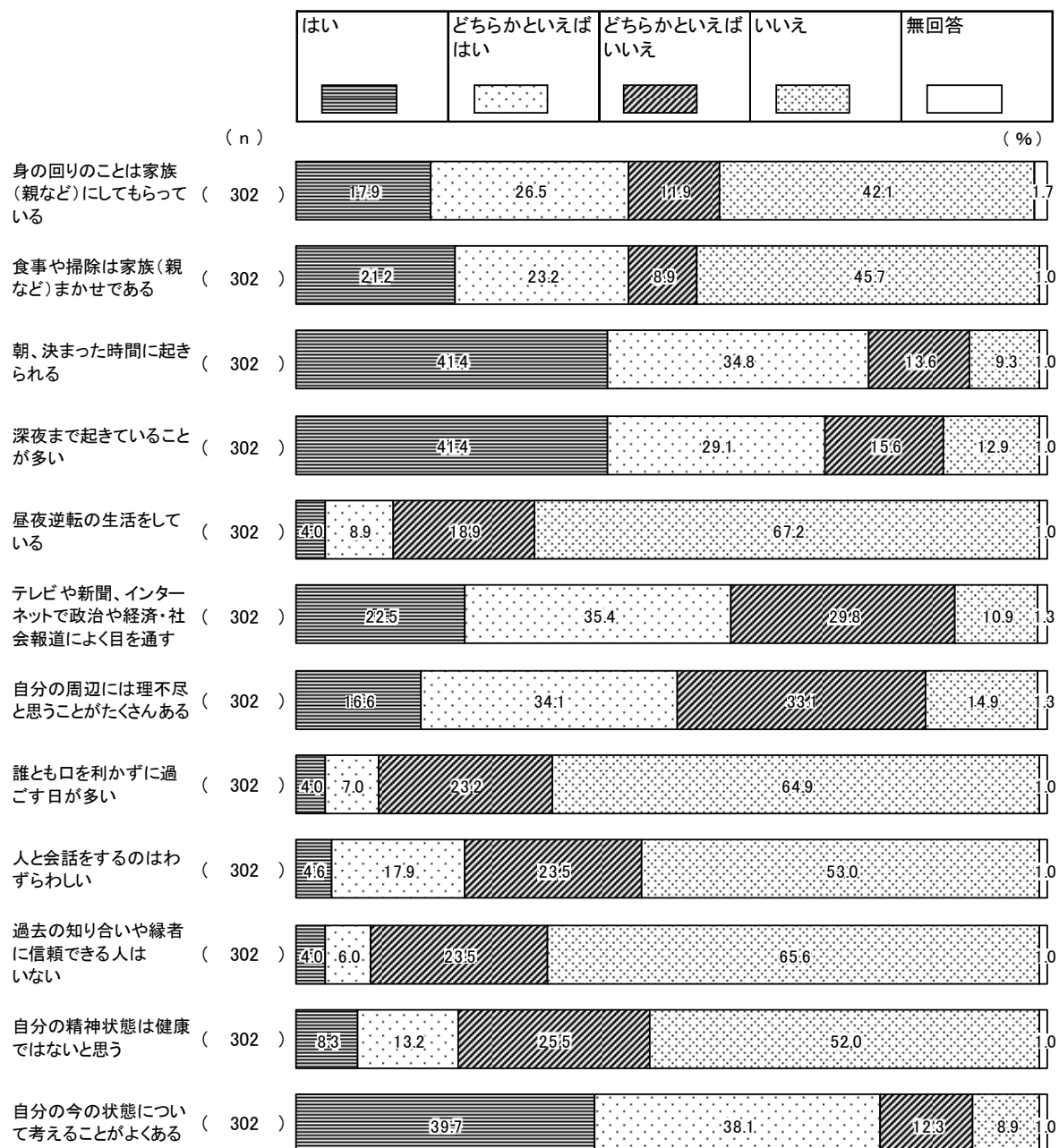
■ホッとできて、安心する場所（複数回答）



問4 次の各項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

“朝、決まった時間に起きられる” “深夜まで起きていることが多い” “自分の今の状態について考えることがよくある” で「はい」が約4割と多くなっています。

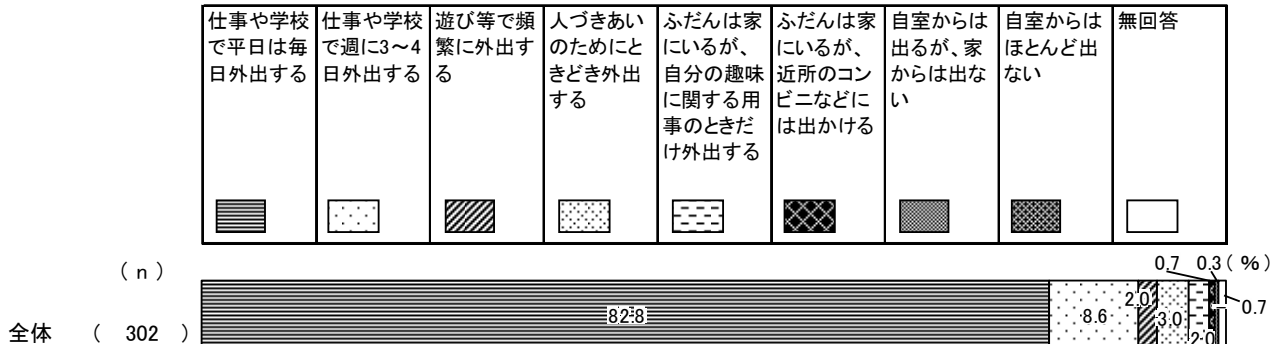
■あなた自身にあてはまること



問5 あなたはふだんどのくらい外出しますか。

「仕事や学校で平日は毎日外出する」が最も多く 82.8%、次いで「仕事や学校で週に 3~4 日外出する」が 8.6%、「人づきあいのためにときどき外出する」が 3.0%となっています。

■外出の状況



【問5で「5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「8. 自室からはほとんど出ない」（あまり外出しない）と回答した方】

問5-1 現在の外出頻度になったのは、あなたが何歳の頃ですか。

19歳以下が2件、20歳～28歳が7件でした。

問5-2 あなたが現在の状況になってどのくらい経ちますか。

「6か月未満」が3件、「1年～3年」が2件、「6か月～1年」「3年～5年」「5年～7年」「7年以上」が各1件でした。

問5-3 あなたが現在の状況になったきっかけは何ですか。（複数回答）

「友人との関係がうまくいかなかった」「病気をした」「妊娠した」が各2件、「高校生の頃に不登校になった」「家族との関係がうまくいかなかった」「わからない」が各1件、「その他」が4件でした。

問5-4 現在の状況について、あなたは相談機関に相談したいと思いますか。

「少し思う」が4件、「思わない」が5件でした。

問5-5 現在の状況について、あなたは相談機関に相談したことがありますか。または現在相談していますか。

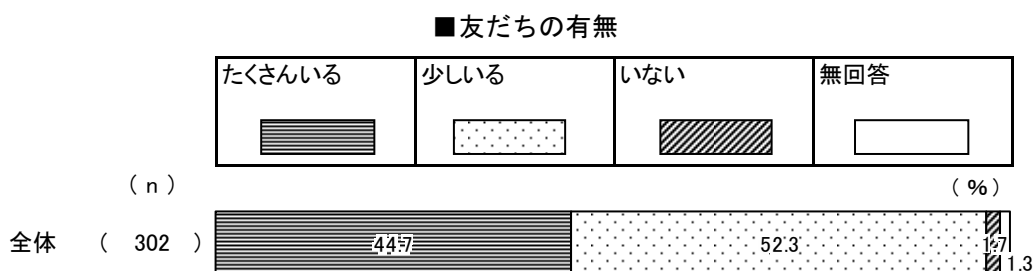
「いいえ」が9件でした。

問5-7 現在の状況について、きっかけがあれば変えたいと思いますか。

「少し思う」が3件、「あまり思わない」「思わない」が各2件でした。（無回答2件）

問6 あなたには、現在友だちがいますか。

「少しいる」が最も多く52.3%、次いで「たくさんいる」が44.7%、「いない」が1.7%となっています。



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き/だいたい好き”（以下“好き”）と回答した人は「たくさんいる」が55.7%、「少しいる」が42.3%となっています。自分のことが“好きではない”（以下“好きではない”）と回答した人は「たくさんいる」が22.4%、「少しいる」が73.5%となっており、“好き”と回答した人と比べ、「たくさんいる」と「少しいる」の差が大きくなっています。

(単位:%)

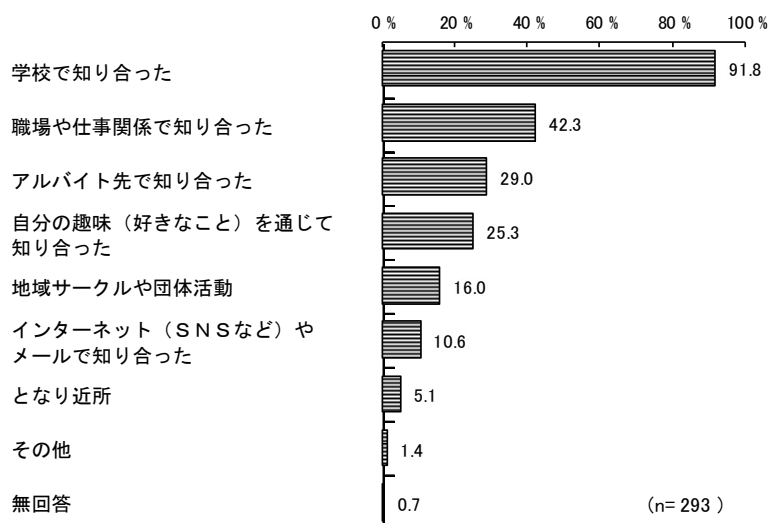
|        | 回答者数 | たくさんいる | 少しいる | いない | 無回答 |
|--------|------|--------|------|-----|-----|
| 全体     | 302  | 44.7   | 52.3 | 1.7 | 1.3 |
| 好き     | 201  | 55.7   | 42.3 | 1.0 | 1.0 |
| 好きではない | 98   | 22.4   | 73.5 | 3.1 | 1.0 |

【問6で友だちが「たくさんいる」と「少しいる」と回答した方】

問6-1 どのようなきっかけで友だちになりましたか。

「学校で知り合った」が最も多く91.8%、次いで「職場や仕事関係で知り合った」が42.3%、「アルバイト先で知り合った」が29.0%となっています。

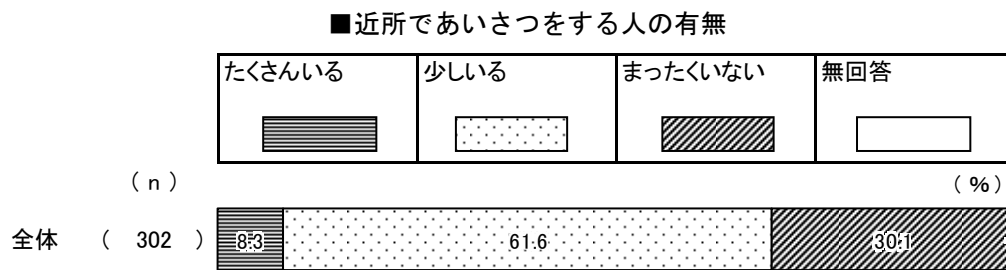
■友だちになったきっかけ（複数回答）





問7 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人がいますか。

「少しいる」が最も多く61.6%、次いで「まったくいない」が30.1%、「たくさんいる」が8.3%となっています。



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

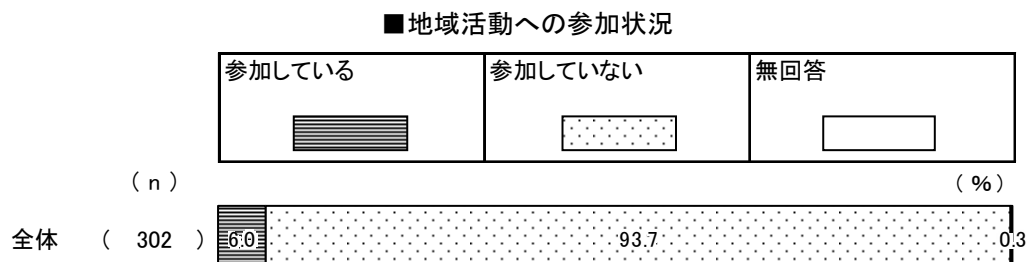
自分のことが“好き”と回答した人は「少しいる」が64.2%、“好きではない”と回答した人は55.1%となっています。また、“好きではない”と回答した人は「いない」が39.8%、“好き”と回答した人は25.9%となっており、差が見られます。

(単位: %)

|        | 回答者数 | たくさんいる | 少しいる | いない  | 無回答 |
|--------|------|--------|------|------|-----|
| 全体     | 302  | 8.3    | 61.6 | 30.1 | -   |
| 好き     | 201  | 10.0   | 64.2 | 25.9 | -   |
| 好きではない | 98   | 5.1    | 55.1 | 39.8 | -   |

問8 あなたは、現在、地域活動に参加していますか。

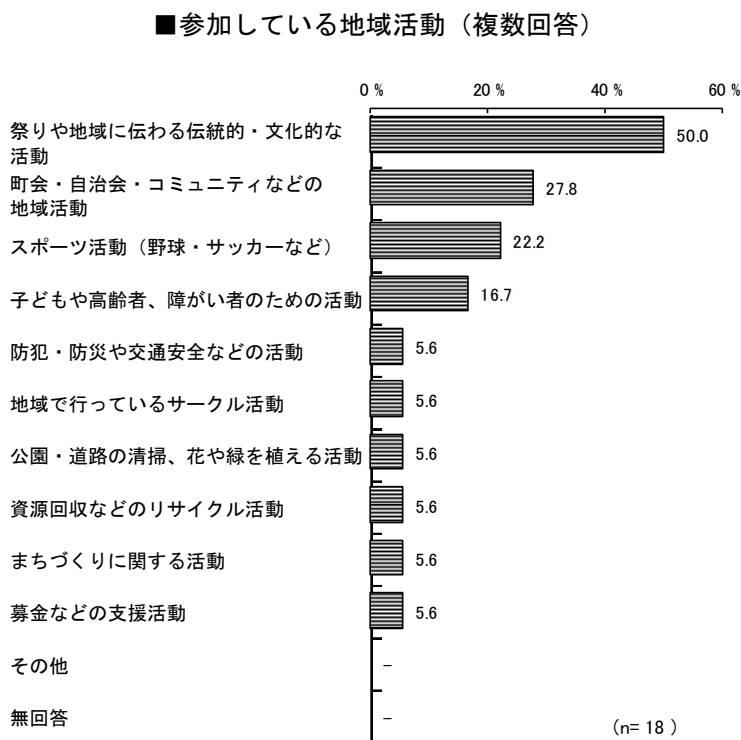
「参加している」が6.0%、「参加していない」が93.7%となっています。



【問8で地域活動に「参加している」と回答した方】

問8-1 その地域活動は何ですか。

「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」が最も多く50.0%、次いで「町会・自治会・コミュニティなどの地域活動」が27.8%、「スポーツ活動（野球・サッカーなど）」が22.2%となっています。

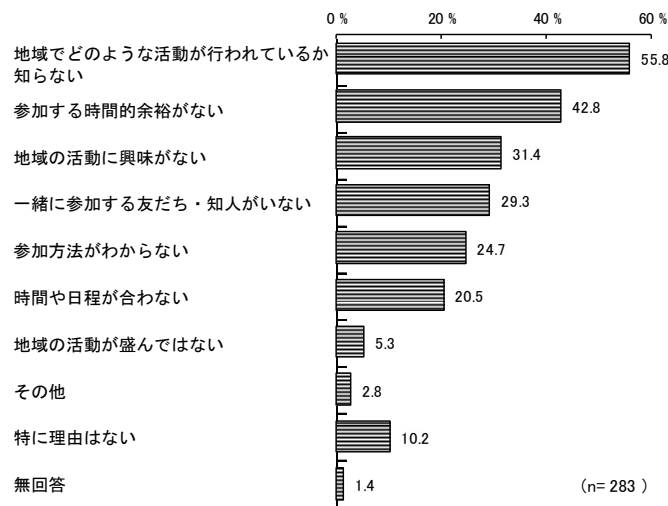


【問8で地域活動に「参加していない」と回答した方】

問8-2 地域活動に参加していない理由は何ですか。

「地域でどのような活動が行われているか知らない」が最も多く55.8%、次いで「参加する時間的余裕がない」が42.8%、「地域の活動に興味がない」が31.4%となっています。

■参加していない理由（複数回答）



問9 あなたは、これまでに国政選挙や地方選挙に行っていますか。また、今後行きたいと思いますか。

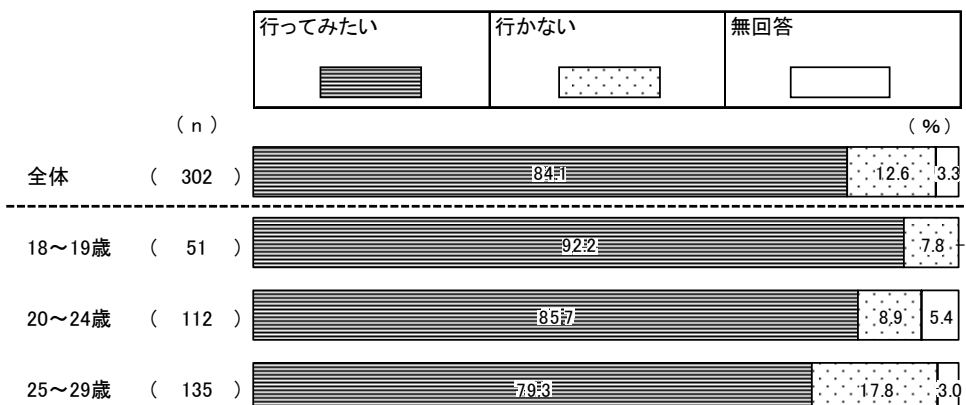
「毎回行っていた」が最も多く45.0%、次いで「ときどき行っていた」が27.5%、「行っていない」が26.8%となっています。

今後は「行ってみたい」が最も多く84.1%、次いで「行かない」が12.6%となっています。年齢別に見ると、年齢が下がるにつれて「行ってみたい」が多くなっています。

■選挙への参加（投票）経験



■今後の選挙への参加（投票）意向

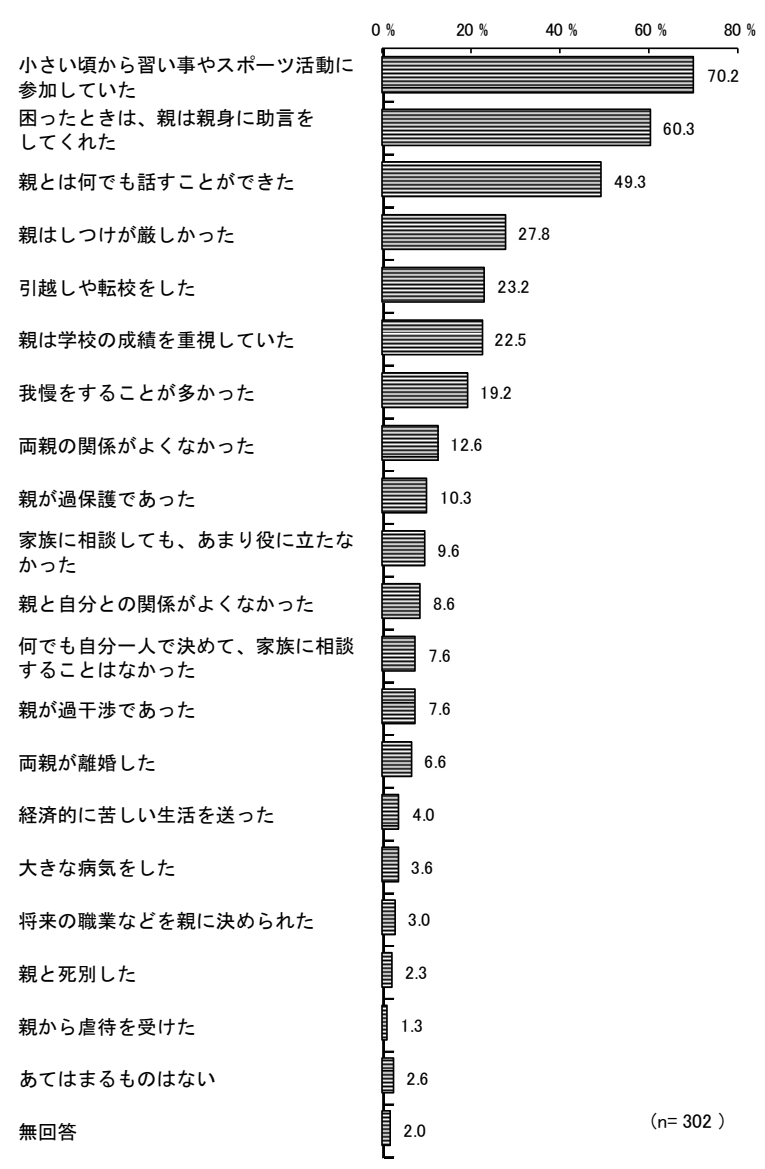


3 子どもの頃のことについて

問10 あなたが小学生・中学生の頃に、家庭で次のような経験をしたことがありますか。

「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」が最も多く70.2%、次いで「困ったときは、親は親身に助言をしてくれた」が60.3%、「親とは何でも話すことができた」が49.3%、「親はしつけが厳しかった」が27.8%、「引越しや転校をした」が23.2%となっています。

■小学生・中学生の頃の家庭での経験（複数回答）



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人、“好きではない”と回答した人ともに「小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた」が最も多く約7割となっています。

“好き”は“好きではない”と比べ、「親とは何でも話すことができた」「困ったときは、親は親身に助言してくれた」が多く、“好きではない”は“好き”と比べて「家族に相談しても、あまり役に立たなかった」「親と自分との関係がよくなかった」「両親の関係がよくなかった」「我慢することが多かった」が多くなっています。

(単位:%)

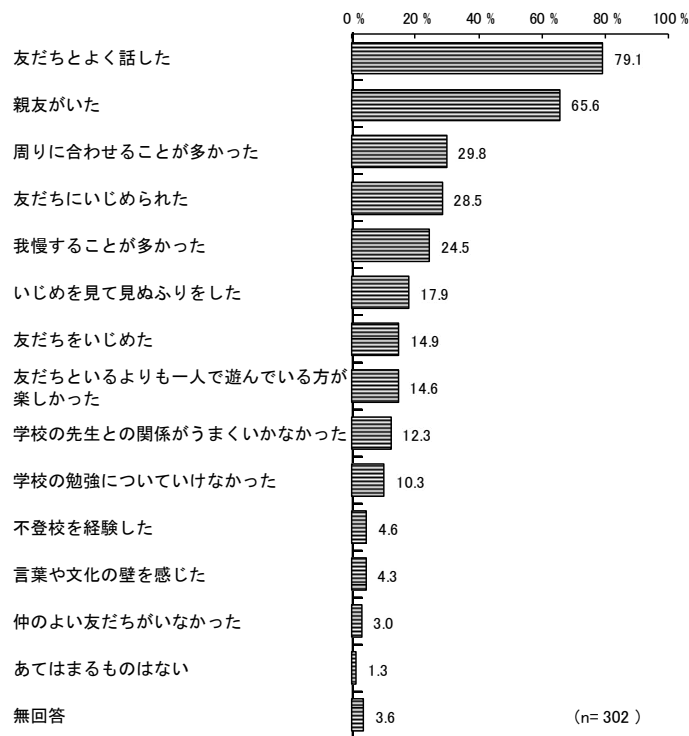
|        | 回答者数 | 親とは何でも話すことができた | 親はしつげが厳しかった | 困ったときは、親は親身に助言してくれた | 何でも自分一人で決めて、家族に相談することはなかった | 将来の職業などを親に決められた | 家族に相談しても、あまり役に立たなかった | 親は学校の成績を重視していた | 小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた | 親と自分との関係がよくなかった | 両親の関係がよくなかった |
|--------|------|----------------|-------------|---------------------|----------------------------|-----------------|----------------------|----------------|-------------------------|-----------------|--------------|
| 全体     | 302  | 49.3           | 27.8        | 60.3                | 7.6                        | 3.0             | 9.6                  | 22.5           | 70.2                    | 8.6             | 12.6         |
| 好き     | 201  | 56.2           | 25.4        | 65.2                | 6.0                        | 4.0             | 5.0                  | 21.9           | 71.6                    | 3.5             | 9.0          |
| 好きではない | 98   | 36.7           | 33.7        | 52.0                | 11.2                       | 1.0             | 19.4                 | 24.5           | 68.4                    | 19.4            | 20.4         |

|        | 引越しや転校をした | 大きな病気をした | 両親が離婚した | 親と死別した | 親から虐待を受けた | 親が過保護であった | 親が過干渉であった | 経済的に苦しい生活を送った | 我慢をすることが多かった | あてはまるものはない | 無回答 |
|--------|-----------|----------|---------|--------|-----------|-----------|-----------|---------------|--------------|------------|-----|
| 全体     | 23.2      | 3.6      | 6.6     | 2.3    | 1.3       | 10.3      | 7.6       | 4.0           | 19.2         | 2.6        | 2.0 |
| 好き     | 22.4      | 2.5      | 5.0     | 2.5    | 1.0       | 9.0       | 6.0       | 2.5           | 11.9         | 3.0        | 2.0 |
| 好きではない | 25.5      | 6.1      | 10.2    | 2.0    | 2.0       | 13.3      | 11.2      | 7.1           | 34.7         | 1.0        | 1.0 |

問11 あなたが小学生・中学生の頃に、学校で次のような経験をしたことがありますか。

「友だちとよく話した」が最も多く79.1%、次いで「親友がいた」が65.6%、「周りに合わせるが多かった」が29.8%、「友だちにいじめられた」が28.5%、「我慢することが多かった」が24.5%となっています。

■小学生・中学生の頃の学校での経験（複数回答）



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”“好きではない”と回答した人ともに「友だちとよく話した」が最も多く約8割となっています。

“好き”は“好きでない”と比べて、「親友がいた」が多く、“好きではない”は“好き”と比べて、「友だちというよりも一人で遊んでいる方が楽しかった」「友だちにいじめられた」「我慢することが多かった」「周りに合わせるが多かった」が多くなっています。

(単位: %)

|        | 回答者数 | 友だちとよく話した | 親友がいた | 友だちというよりも一人で遊んでいる方が楽しかった | 不登校を経験した | 友だちをいじめた | 友だちにいじめられた | いじめを見て見ぬふりをした |
|--------|------|-----------|-------|--------------------------|----------|----------|------------|---------------|
| 全体     | 302  | 79.1      | 65.6  | 14.6                     | 4.6      | 14.9     | 28.5       | 17.9          |
| 好き     | 201  | 80.6      | 69.7  | 11.9                     | 5.0      | 12.9     | 25.4       | 15.4          |
| 好きではない | 98   | 78.6      | 59.2  | 20.4                     | 4.1      | 19.4     | 35.7       | 23.5          |

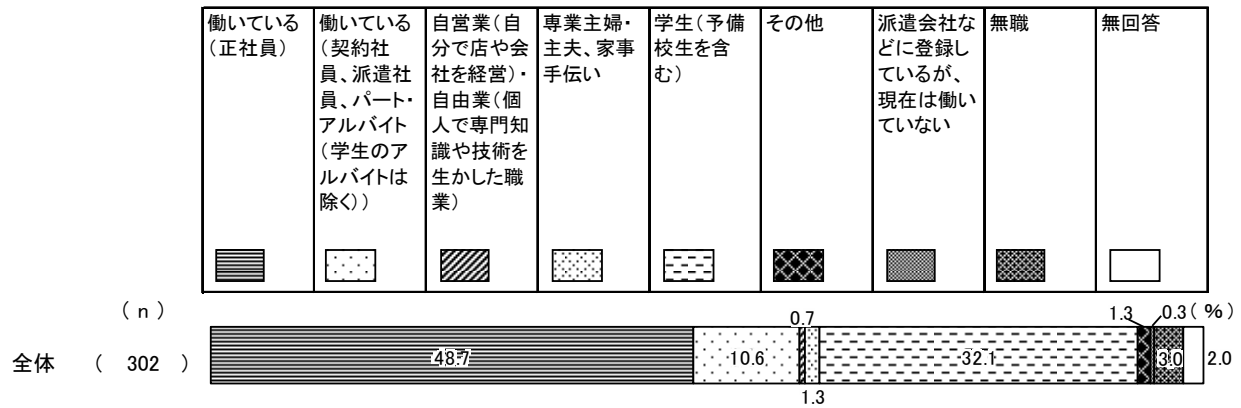
|        | 我慢することが多かった | 学校の勉強についていけなかった | 学校の先生との関係がうまくいかなかった | 言葉や文化の壁を感じた | 周りに合わせるが多かった | 仲のよい友だちがいなかった | あてはまるものはない | 無回答 |
|--------|-------------|-----------------|---------------------|-------------|--------------|---------------|------------|-----|
| 全体     | 24.5        | 10.3            | 12.3                | 4.3         | 29.8         | 3.0           | 1.3        | 3.6 |
| 好き     | 19.9        | 9.5             | 10.4                | 4.5         | 24.4         | 0.5           | 1.5        | 4.0 |
| 好きではない | 34.7        | 12.2            | 16.3                | 4.1         | 41.8         | 8.2           | 0.0        | 1.0 |

4 仕事、就職について

問12 あなたは、現在働いていますか。

「働いている（正社員）」が最も多く48.7%、次いで「学生（予備校生を含む）」が32.1%、「働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）」が10.6%となっています。

■就労状況



【年齢別】

“18～19歳”“20～24歳”は「学生(予備校生を含む)」、「25～29歳”は「働いている(正社員)」が最も多くなっています。

(単位: %)

|        | 回答者数 | 働いている(正社員) | 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト(学生のアルバイトは除く)) | 自営業(自分で店や会社を経営)・自由業(個人で専門知識や技術を生かした職業) | 専業主婦・主夫、家事手伝い | 学生(予備校生を含む) | その他 | 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない | 無職  | 無回答 |
|--------|------|------------|---|--|---------------|-------------|-----|--------------------------|-----|-----|
| 全体     | 302  | 48.7       | 10.6                                    | 0.7                                    | 1.3           | 32.1        | 1.3 | 0.3                      | 3.0 | 2.0 |
| 18～19歳 | 51   | 3.9        | 3.9                                     | —                                      | —             | 78.4        | 2.0 | —                        | 7.8 | 3.9 |
| 20～24歳 | 112  | 41.1       | 9.8                                     | —                                      | 0.9           | 45.5        | —   | —                        | 1.8 | 0.9 |
| 25～29歳 | 135  | 71.9       | 14.1                                    | 1.5                                    | 2.2           | 3.0         | 2.2 | 0.7                      | 2.2 | 2.2 |

【問12-1～12-4は、問12で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」または「無職（働いていない）」と回答した方】

問12-1 あなたはいままでに働いていたことはありますか。

「正社員として働いていた」が5件、「働いたことはない」が4件、「契約社員、派遣社員、またはパート・アルバイトとして働いていた（学生のアルバイト経験は含めない）」が1件でした。

問12-2 あなたは現在、就職または進学を希望していますか。

「就職希望」が7件、「どちらも希望していない」が2件、「進学希望」が1件でした。

問12-3 あなたは現在、就職活動をしていますか。

「していない」が7件、「している」が3件でした。

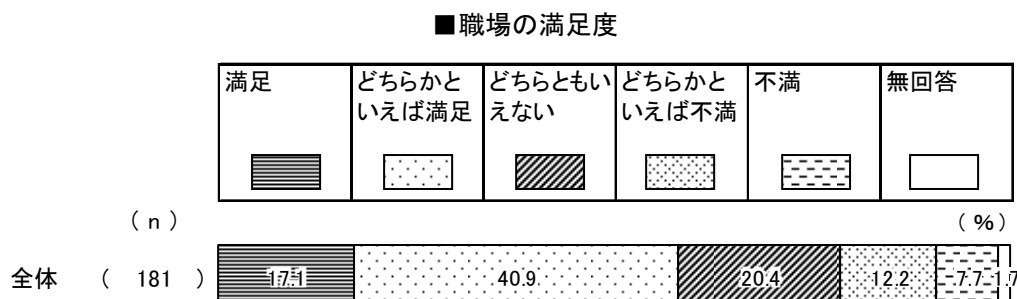
問12-4 あなたが現在、働いていない理由は何ですか。(複数回答)

「病気・ケガ、障害があるため」「メンタル的な問題や不安がある」「就職活動の方法がわからない」「労働条件・環境に関する不安がある」が各3件、「人間関係に不安がある」「どんな仕事につけばいいのかわからない」「やりたいことを目指して勉強中・修行中である」「知識・能力に自信がない」「家族からの経済的支援がある」が各2件、「希望する職種に求人がない」「資格試験などの準備のため」「家族の育児や介護のため」「働く意欲がわからない」「その他」が各1件でした。

【問12で「1.働いている(正社員)」～「3.自営業(自分で店や会社を経営)・自由業(個人で専門知識や技術を生かした職業)」(働いている)と回答した方】

問12-5 あなたは、あなたが働いている職場にどの程度満足していますか。

「どちらかといえば満足」が最も多く40.9%、次いで「どちらともいえない」が20.4%、「満足」が17.1%となっています。



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが「好き」と回答した人は「満足」が22.3%、「好きではない」は6.8%となっており、「好き」と回答した人の3分の1となっています。また、「好きではない」と回答した人は「不満」が20.3%となっていますが、「好き」と回答した人は1.7%となっています。

(単位:%)

|        | 回答者数 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらともいえない | どちらかといえば不満 | 不満   | 無回答 |
|--------|------|------|------------|-----------|------------|------|-----|
| 全体     | 181  | 17.1 | 40.9       | 20.4      | 12.2       | 7.7  | 1.7 |
| 好き     | 121  | 22.3 | 44.6       | 26.4      | 3.3        | 1.7  | 1.7 |
| 好きではない | 59   | 6.8  | 33.9       | 8.5       | 30.5       | 20.3 | 0.0 |

【問12の「就労状況」別】

“働いている(正社員)”と回答した人は「満足」が18.4%、“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は9.4%となっており、差がみられます。また、“働いている(正社員)”と回答した人は「不満」が5.4%となっていますが、“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は18.8%となっており、差がみられます。

(単位:%)

|                            | 回答者数 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらともいえない | どちらかといえば不満 | 不満   | 無回答 |
|----------------------------|------|------|------------|-----------|------------|------|-----|
| 全体                         | 179  | 16.8 | 40.8       | 20.7      | 12.3       | 7.8  | 1.7 |
| 働いている(正社員)                 | 147  | 18.4 | 43.5       | 17.0      | 13.6       | 5.4  | 2.0 |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 32   | 9.4  | 28.1       | 37.5      | 6.3        | 18.8 | —   |

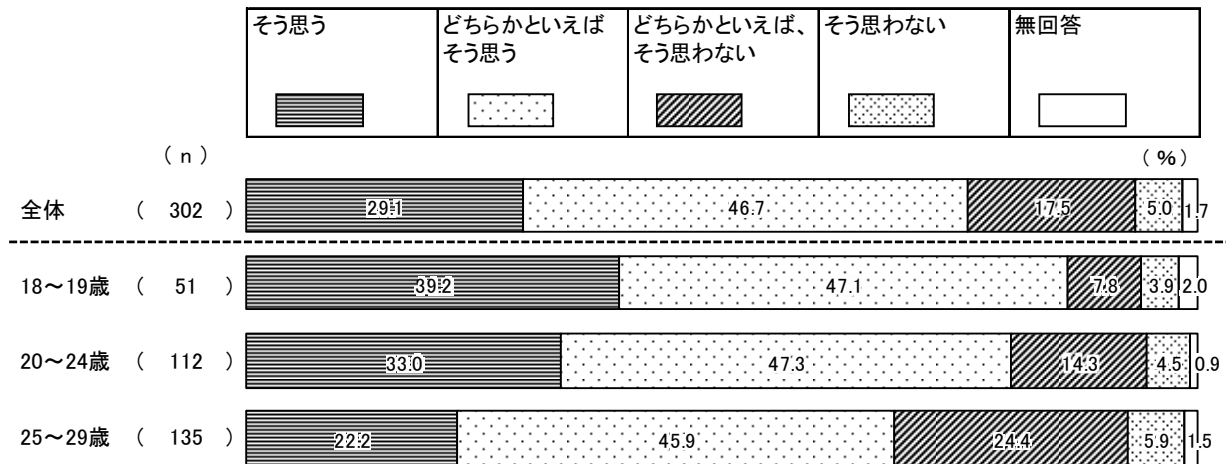


問 13 次にあげられたア～エの職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまる番号に○をつけてください。

ア いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

すべての年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、4割半ばとなっています。年齢が上がるにつれて「そう思う」が少なくなっています。

■職業についての考え（いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う）



【問 17 「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う」が36.8%、“好きではない”と回答した人は14.3%と、約20ポイントの差があります。

(単位: %)

|        | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ば、そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|------------------|---------------------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 29.1 | 46.7             | 17.5                | 5.0    | 1.7 |
| 好き     | 201  | 36.8 | 46.8             | 11.9                | 3.5    | 1.0 |
| 好きではない | 98   | 14.3 | 48.0             | 29.6                | 8.2    | 0.0 |

【問 12 の「就労状況」別】

“働いている(正社員)”“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は「そう思う」が2割半ば、“学生”と回答した人は3割半ばとなっており、差がみられます。また、“働いている(正社員)”“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は「どちらかといえば、そう思わない」が約2割となっていますが、“学生”と回答した人は約1割となっており、差がみられます。

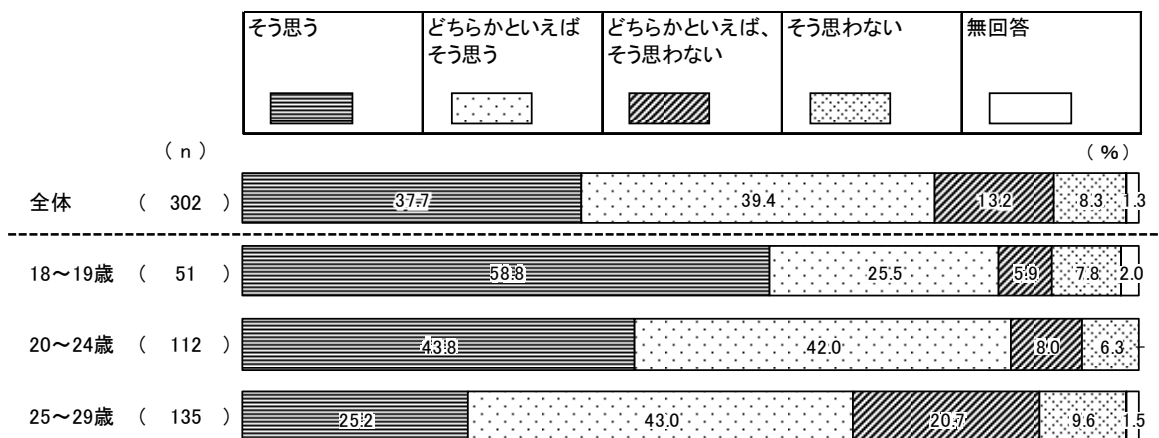
(単位: %)

|                                | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ば、そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------------------------------|------|------|------------------|---------------------|--------|-----|
| 全体                             | 276  | 29.7 | 47.1             | 18.1                | 4.0    | 1.1 |
| 働いている(正社員)                     | 147  | 27.2 | 46.3             | 21.1                | 4.8    | 0.7 |
| 働いている(契約社員、派遣<br>社員、パート・アルバイト) | 32   | 25.0 | 50.0             | 21.9                | 3.1    | —   |
| 学生(予備校生を含む)                    | 97   | 35.1 | 47.4             | 12.4                | 3.1    | 2.1 |

イ いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい

“全体”では「どちらかといえばそう思う」が最も多く、約4割となっています。年齢が上がるにつれて「そう思う」が少なくなっています。

■職業についての考え（いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい）



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う」が41.3%、“好きではない”と回答した人は30.6%となっています。また、“好き”と回答した人は「どちらかといえばそう思わない」が9.5%、“好きではない”と回答した人は21.4%となっています。

(単位: %)

|        | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 37.7 | 39.4             | 13.2               | 8.3    | 1.3 |
| 好き     | 201  | 41.3 | 41.8             | 9.5                | 6.5    | 1.0 |
| 好きではない | 98   | 30.6 | 35.7             | 21.4               | 12.2   | 0.0 |

【問12の「就労状況」別】

“働いている（正社員）”と回答した人は「そう思う」が27.9%、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は40.6%、“学生”と回答した人が52.6%となっており、差がみられます。また、“働いている（正社員）”“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は「どちらかといえば、そう思わない」が約2割となっていますが、“学生”と回答した人は1割未満となっており、差がみられます。

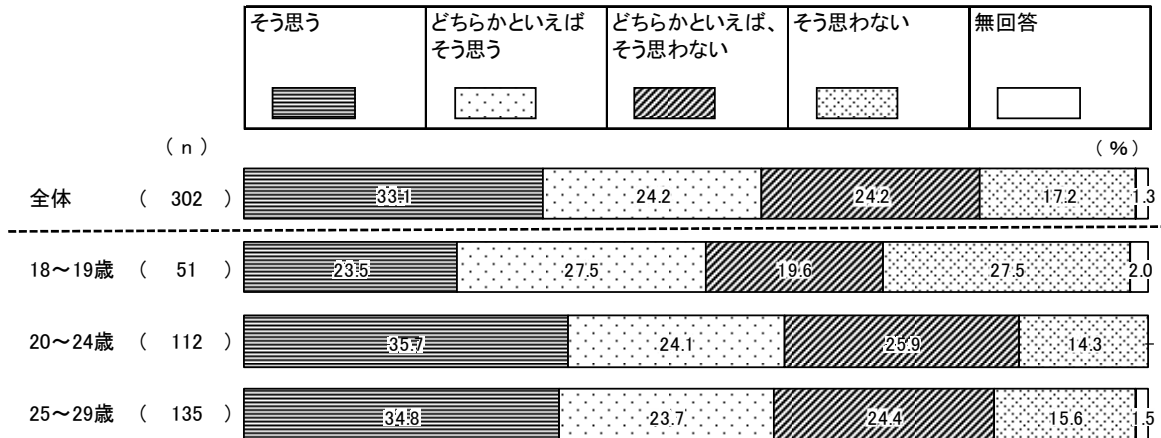
(単位: %)

|                            | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|----------------------------|------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 全体                         | 276  | 38.0 | 39.9             | 13.8               | 7.2    | 1.1 |
| 働いている(正社員)                 | 147  | 27.9 | 45.6             | 17.0               | 8.8    | 0.7 |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 32   | 40.6 | 31.3             | 18.8               | 9.4    | -   |
| 学生(予備校生を含む)                | 97   | 52.6 | 34.0             | 7.2                | 4.1    | 2.1 |

ウ 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

全体”では「そう思う」が最も多く、3割半ばとなっています。“18～19歳”は「どちらかといえばそう思う」、「20～24歳」「25～29歳」は「そう思う」が最も多くなっています。

■職業についての考え（仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない）



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う」が27.9%、“好きではない”と回答した人は44.9%となっており、“好きではない”と回答した人の方が多くなっています。

(単位:%)

|        | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 33.1 | 24.2             | 24.2               | 17.2   | 1.3 |
| 好き     | 201  | 27.9 | 25.9             | 24.9               | 20.4   | 1.0 |
| 好きではない | 98   | 44.9 | 21.4             | 23.5               | 10.2   | 0.0 |

【問12の「就労状況」別】

“働いている（正社員）”と回答した人は「そう思う」が36.1%、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”“学生”と回答した人は28.1%となっており、差がみられます。また、“働いている（正社員）”“学生”と回答した人は「そう思わない」が14.3%となっていますが、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は28.1%となっており、差がみられます。

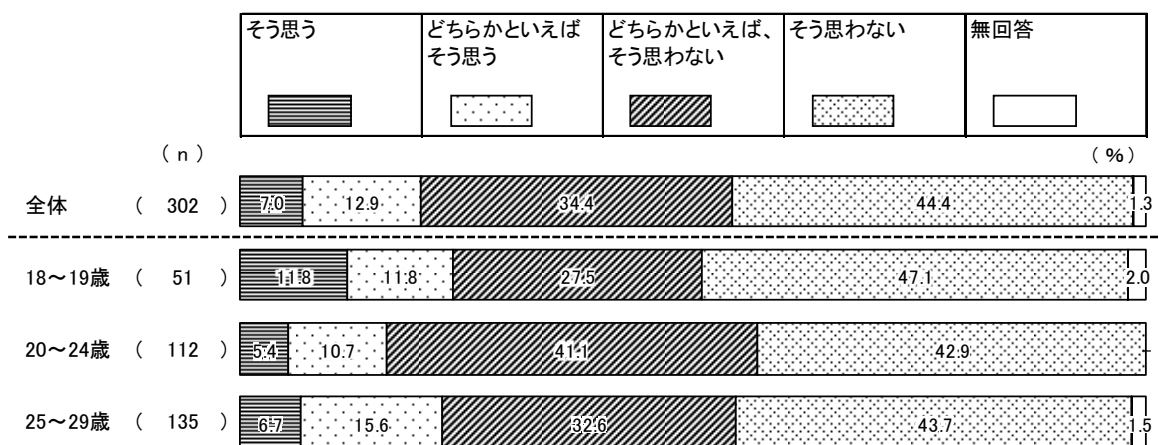
(単位:%)

|                                | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------------------------------|------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 全体                             | 276  | 33.0 | 23.9             | 25.0               | 17.0   | 1.1 |
| 働いている(正社員)                     | 147  | 36.1 | 23.8             | 25.2               | 14.3   | 0.7 |
| 働いている(契約社員、派遣<br>社員、パート・アルバイト) | 32   | 28.1 | 25.0             | 18.8               | 28.1   | —   |
| 学生(予備校生を含む)                    | 97   | 29.9 | 23.7             | 26.8               | 17.5   | 2.1 |

エ 職業についての考え（定職につかない方が自由でいいと思う）

すべての年齢で、「そう思わない」が最も多くなっています。

■職業についての考え（定職につかない方が自由でいいと思う）



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思わない」が最も多く47.8%、“好きではない”と回答した人は「どちらかといえば、そう思わない」が最も多く39.8%となっています。

(単位: %)

|        | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 7.0  | 12.9             | 34.4               | 44.4   | 1.3 |
| 好き     | 201  | 6.0  | 12.9             | 32.3               | 47.8   | 1.0 |
| 好きではない | 98   | 9.2  | 13.3             | 39.8               | 37.8   | 0.0 |

【問12の「就労状況」別】

“働いている（正社員）”“学生”と回答した人は「そう思う」が1割未満、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は1割半ばとなっており、差がみられます。また、“働いている（正社員）”と回答した人は「そう思わない」が約4割半ば、“学生”と回答した人は約5割、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は約3割となっており、差がみられます。

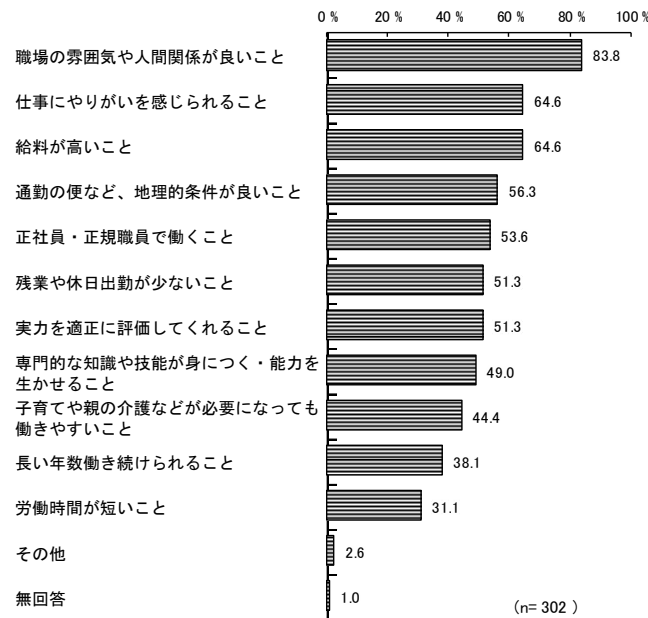
(単位: %)

|                            | 回答者数 | そう思う | どちらかといえ<br>ばそう思う | どちらかといえ<br>ばそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|----------------------------|------|------|------------------|--------------------|--------|-----|
| 全体                         | 276  | 5.4  | 12.7             | 36.6               | 44.2   | 1.1 |
| 働いている(正社員)                 | 147  | 5.4  | 11.6             | 38.8               | 43.5   | 0.7 |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 32   | 15.6 | 25.0             | 31.3               | 28.1   | —   |
| 学生(予備校生を含む)                | 97   | 2.1  | 10.3             | 35.1               | 50.5   | 2.1 |

問14 あなたが仕事を選ぶうえで重視していることはどのようなことですか。

「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が最も多く 83.8%、次いで「仕事にやりがいを感じられること」「給料が高いこと」がともに 64.6%、「通勤の便など、地理的条件が良いこと」が 56.3%となっています。

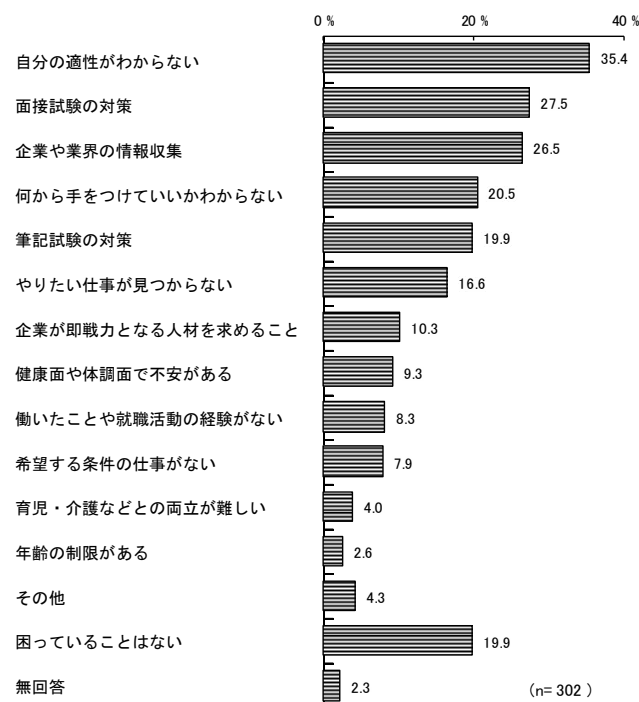
■仕事を選ぶうえで重視していること（複数回答）



問15 就職する上であなたが困ったこと、または困っていることは何ですか。

「自分の適性がわからない」が最も多く 35.4%、次いで「面接試験の対策」が 27.5%、「企業や業界の情報収集」が 26.5%、「何から手をつけていいかわからない」が 20.5%、「筆記試験の対策」が 19.9%となっています。また「困っていることはない」は 19.9%となっています。

■就職する際の困りごと（複数回答）

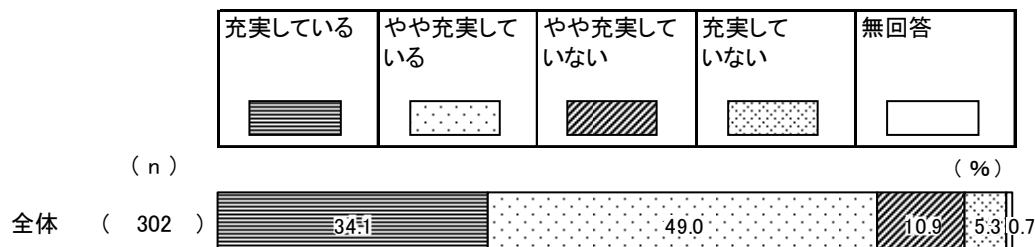


## 5 あなたの思いについて

問16 あなたは、今の生活が充実していると思いますか。

「やや充実している」が最も多く49.0%、次いで「充実している」が34.1%、「やや充実していない」が10.9%となっています。

■生活の充実度



### 【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「充実している」が46.3%、“好きではない”と回答した人は10.2%となっており、36ポイントの差があります。また“好きではない”と回答した人は「充実していない」が14.3%となっており、“好き”と回答した人よりも多くなっています。

(単位: %)

|        | 回答者数 | 充実している | やや充実している | やや充実していない | 充実していない | 無回答 |
|--------|------|--------|----------|-----------|---------|-----|
| 全体     | 302  | 34.1   | 49.0     | 10.9      | 5.3     | 0.7 |
| 好き     | 201  | 46.3   | 48.3     | 4.5       | 1.0     | —   |
| 好きではない | 98   | 10.2   | 51.0     | 24.5      | 14.3    | —   |

### 【問12の「就労状況」別】

“働いている(正社員)”と回答した人は「充実している」が32.0%、“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は18.8%、“学生”と回答した人は42.3%となっており、差がみられます。

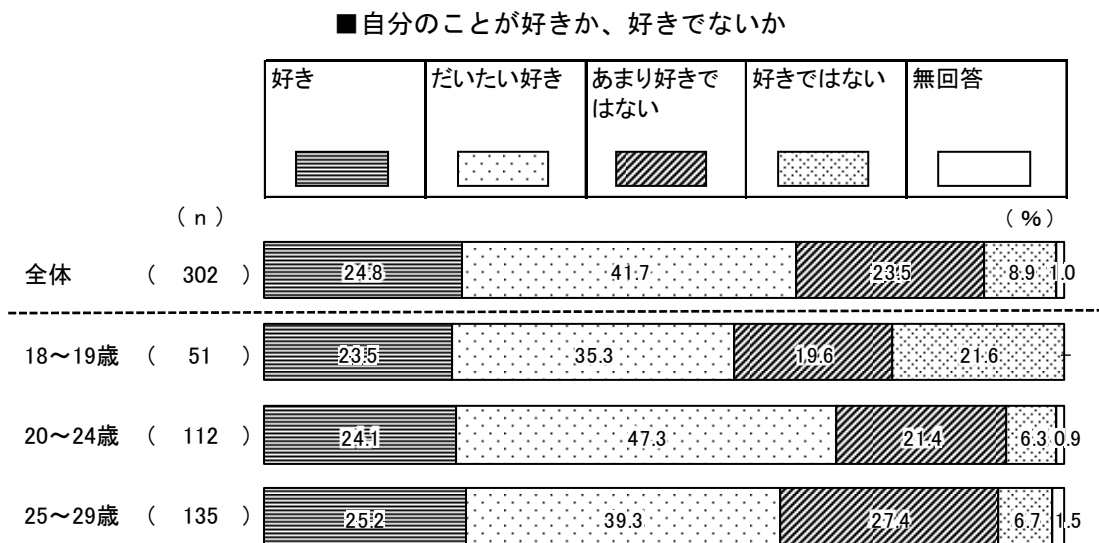
(単位: %)

|                            | 回答者数 | 充実している | やや充実している | やや充実していない | 充実していない | 無回答 |
|----------------------------|------|--------|----------|-----------|---------|-----|
| 全体                         | 276  | 34.1   | 50.7     | 10.1      | 4.7     | 0.4 |
| 働いている(正社員)                 | 147  | 32.0   | 53.7     | 8.8       | 4.8     | 0.7 |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 32   | 18.8   | 62.5     | 12.5      | 6.3     | —   |
| 学生(予備校生を含む)                | 97   | 42.3   | 42.3     | 11.3      | 4.1     | —   |

問17 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く41.7%、次いで「好き」が24.8%、「あまり好きではない」が23.5%となっています。

年齢別にみると、すべての年齢で「だいたい好き」が最も多く、3割半ば以上となっています。



問18 あなたは、自分が親や友だちなど、周りの人から大切にされていると感じますか。

「だいたいそう思う」が最も多く48.0%、次いで「そう思う」が42.7%、「あまりそう思わない」が7.9%となっています。



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う」が53.7%、“好きではない”と回答した人は21.4%となっており、約30ポイントの差があります。一方、“好きでない”と回答した人は「あまりそう思わない」が23.5%となっていますが、“好き”と回答した人は0.5%しかいませんでした。

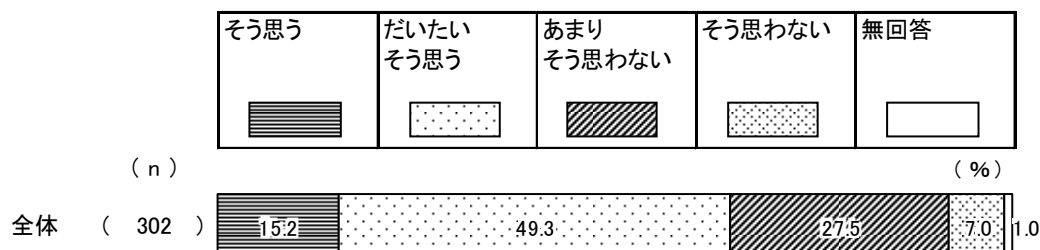
(単位:%)

|        | 回答者数 | そう思う | だいたいそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|----------|-----------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 42.7 | 48.0     | 7.9       | 0.3    | 1.0 |
| 好き     | 201  | 53.7 | 45.3     | 0.5       | 0.5    | —   |
| 好きではない | 98   | 21.4 | 55.1     | 23.5      | —      | —   |

問19 あなたは、自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 49.3%、次いで「あまりそう思わない」が 27.5%、「そう思う」が 15.2%となっています。

■周りの人の役に立っていると思うか



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「そう思う/だいたいそう思う」が81.6%となっている一方、“好きではない”と回答した人は31.6%となっており、大きな差がみられます。また、“好き”と回答した人は「あまりそう思わない/そう思わない」が 18.4%となっている一方、“好きではない”と回答した人は 68.3%となっており、同様に大きな差がみられます。

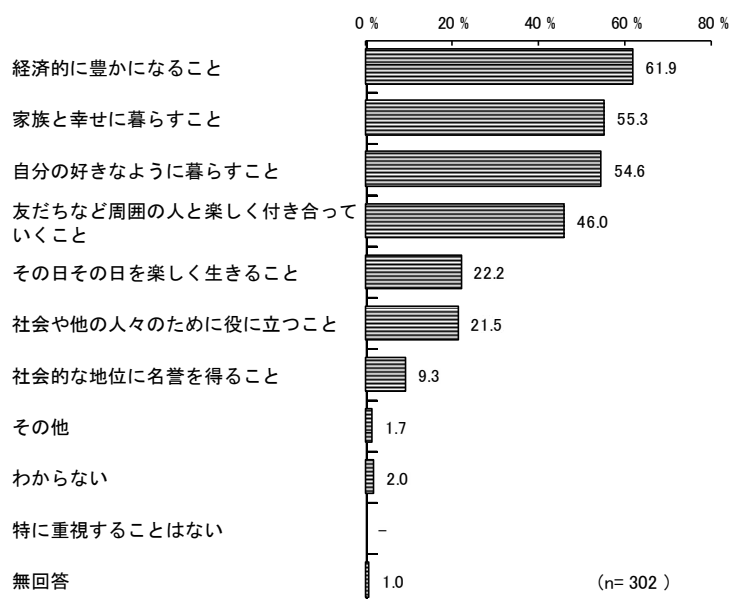
(単位: %)

|        | 回答者数 | そう思う | だいたい<br>そう思う | あまり<br>そう思わない | そう思わない | 無回答 |
|--------|------|------|--------------|---------------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 15.2 | 49.3         | 27.5          | 7.0    | 1.0 |
| 好き     | 201  | 20.4 | 61.2         | 16.4          | 2.0    | —   |
| 好きではない | 98   | 5.1  | 26.5         | 51.0          | 17.3   | —   |

問20 あなたの理想とする生き方について、次のうち特に重視することは何ですか。

「経済的に豊かになること」が最も多く 61.9%、次いで「家族と幸せに暮らすこと」が 55.3%、「自分の好きなように暮らすこと」が 54.6%となっています。

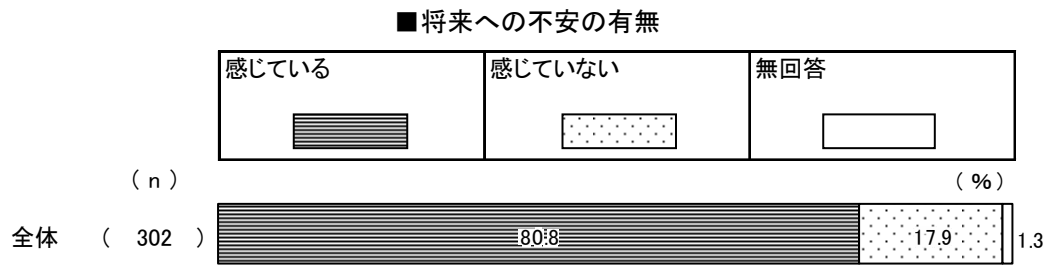
■理想とする生き方（3つまでに○）





問21 あなたは、将来に不安を感じていますか。

「感じている」が80.8%、「感じていない」が17.9%となっています。



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「感じていない」が25.9%、“好きではない”と回答した人は2.0%となっており、約20ポイントの差となっています。

(単位:%)

|        | 回答者数 | 感じている | 感じていない | 無回答 |
|--------|------|-------|--------|-----|
| 全体     | 302  | 80.8  | 17.9   | 1.3 |
| 好き     | 201  | 73.6  | 25.9   | 0.5 |
| 好きではない | 98   | 98.0  | 2.0    | 0.0 |

【問12の「就労状況」別】

“働いている(正社員)”と回答した人は「感じている」が78.9%、“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は87.5%となっており、差がみられます。また、“働いている(正社員)”と回答した人は「感じていない」が20.5%となっていますが、“働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト)”と回答した人は12.5%となっており、差がみられます。

(単位:%)

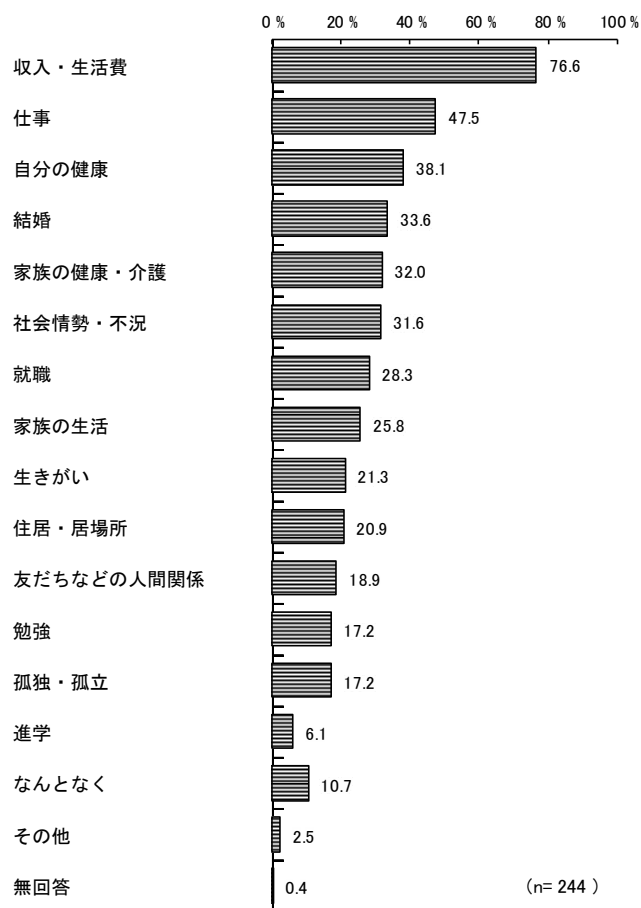
|                            | 回答者数 | 感じている | 感じていない | 無回答 |
|----------------------------|------|-------|--------|-----|
| 全体                         | 276  | 81.2  | 18.1   | 0.7 |
| 働いている(正社員)                 | 147  | 78.9  | 20.4   | 0.7 |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 32   | 87.5  | 12.5   | —   |
| 学生(予備校生を含む)                | 97   | 82.5  | 16.5   | 1.0 |

【問21で「1 感じている」と回答した方】

問21-1 将来への不安は何ですか。

「収入・生活費」が最も多く76.6%、次いで「仕事」が47.5%、「自分の健康」が38.1%、「結婚」が33.6%、「家族の健康・介護」が32.0%となっています。「なんとなく」は10.7%となっています。

■将来への不安（複数回答）



【問12の「就労状況」別】

“働いている（正社員）”と回答した人は「収入・生活費」が82.8%、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は89.3%、学生”と回答した人は61.3%となっており、大きな差がみられます。また、“働いている（正社員）”は「就職」が4.3%である一方、“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は25.0%、“学生”は61.3%となっており、大きな差がみられます。

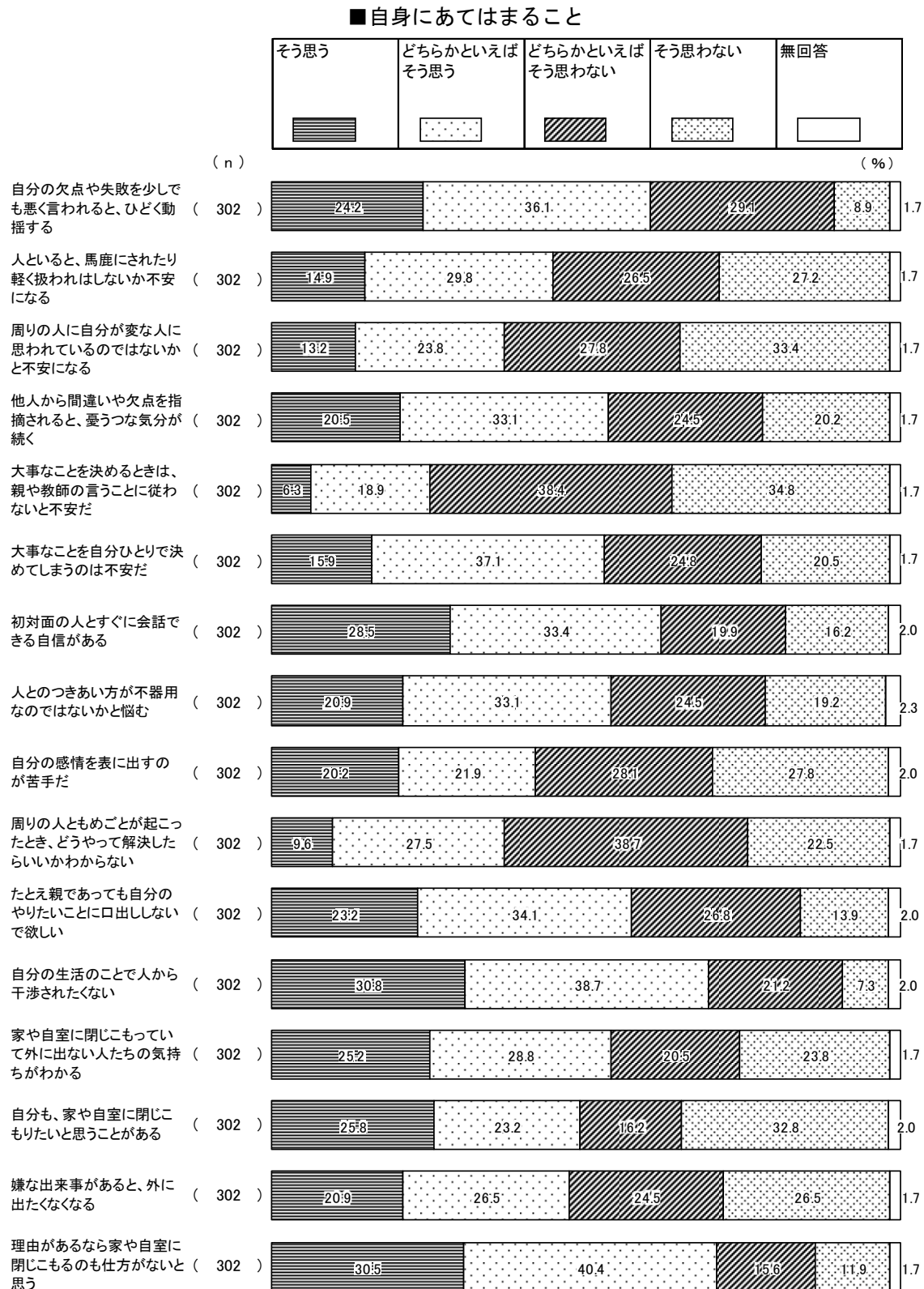
(単位: %)

|                            | 回答者数 | 収入・生活費 | 勉強   | 進学   | 就職   | 仕事   | 家族の生活 | 自分の健康 | 介護<br>家族の健康・ |
|----------------------------|------|--------|------|------|------|------|-------|-------|--------------|
| 全体                         | 224  | 75.9   | 17.9 | 6.3  | 27.2 | 47.3 | 25.4  | 37.1  | 30.4         |
| 働いている(正社員)                 | 116  | 82.8   | 6.0  | —    | 4.3  | 50.0 | 25.9  | 40.5  | 30.2         |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 28   | 89.3   | —    | 7.1  | 25.0 | 53.6 | 32.1  | 50.0  | 39.3         |
| 学生(予備校生を含む)                | 80   | 61.3   | 41.3 | 15.0 | 61.3 | 41.3 | 22.5  | 27.5  | 27.5         |

|                            | 結婚   | 生きがい | 孤独・孤立 | 友だちなどの<br>人間関係 | 住居・居場所 | 社会情勢・不<br>況 | なんとなく | その他 | 無回答 |
|----------------------------|------|------|-------|----------------|--------|-------------|-------|-----|-----|
| 全体                         | 35.3 | 21.9 | 17.9  | 17.9           | 21.0   | 30.8        | 10.7  | 2.7 | 0.4 |
| 働いている(正社員)                 | 43.1 | 24.1 | 23.3  | 14.7           | 25.9   | 32.8        | 12.9  | 0.9 | —   |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 25.0 | 28.6 | 7.1   | 10.7           | 32.1   | 28.6        | 7.1   | 3.6 | —   |
| 学生(予備校生を含む)                | 27.5 | 16.3 | 13.8  | 25.0           | 10.0   | 28.8        | 8.8   | 5.0 | 1.3 |

問22 次の各項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

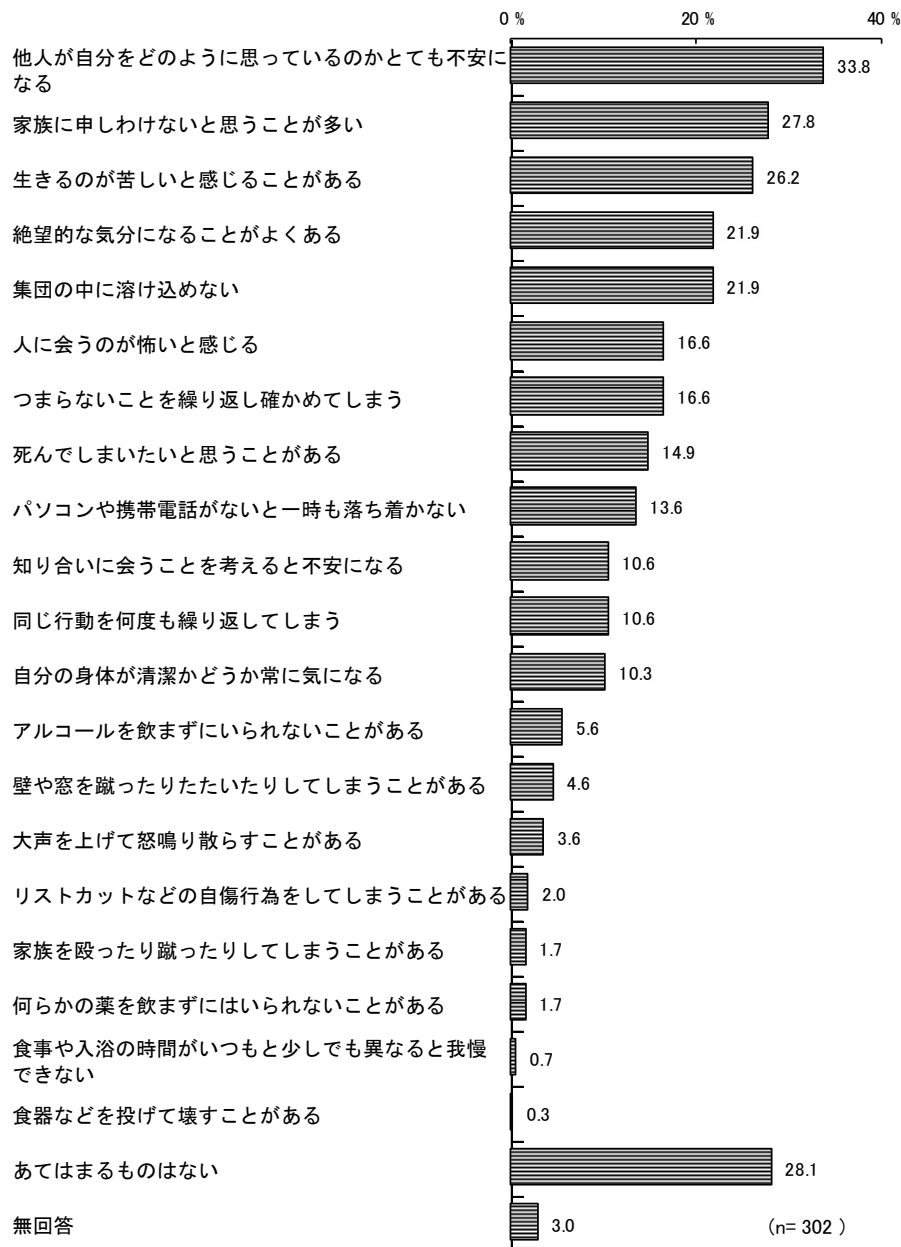
“大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ” “周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない” は「そう思う」が1割以下となっています。一方、“自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する” “自分の生活のことで人から干渉されたくない” は「そう思わない」が1割以下となっています。



問23 次にあげたことのうち、あなた自身にあてはまるものはどれですか。

「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」が最も多く33.8%、次いで「家族に申しわけないと思うことが多い」が27.8%、「生きるのが苦しいと感じることがある」が26.2%、「絶望的な気分になることがよくある」「集団の中に溶け込めない」がともに21.9%となっています。また「あてはまるものはない」は28.1%となっています。

■自身にあてはまること（複数回答）

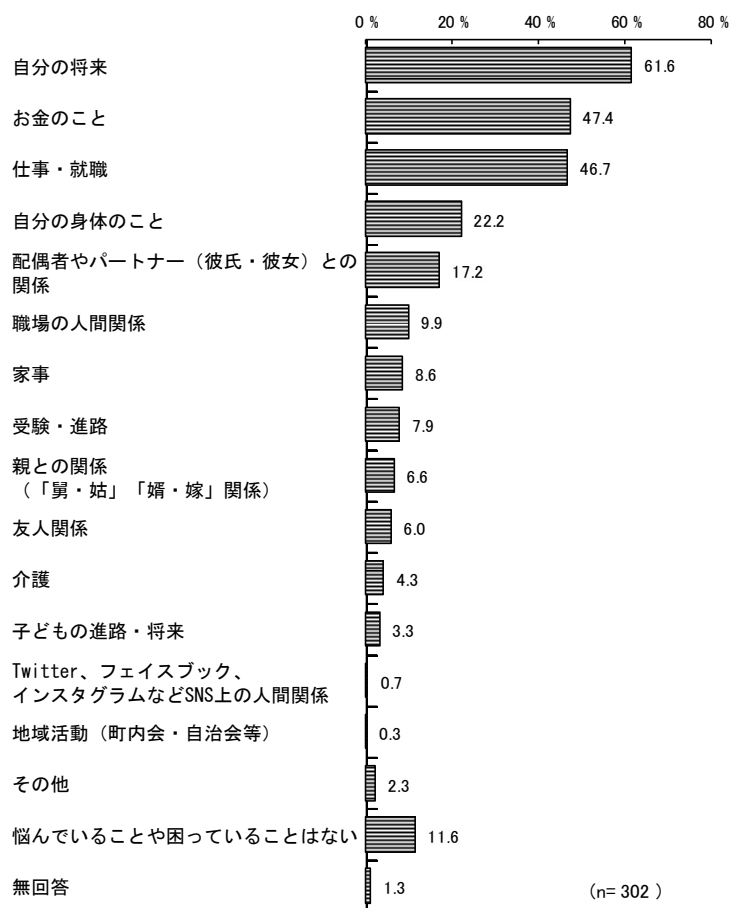


## 6 悩み・相談機関について

問24 あなたは次の中で悩んでいることや困っていることはありますか。

「自分の将来」が最も多く61.6%、次いで「お金のこと」が47.4%、「仕事・就職」が46.7%、「自分の身体のこと」が22.2%、「配偶者やパートナー（彼氏・彼女）との関係」が17.2%となっています。また「悩んでいることや困っていることはない」は11.6%となっています。

■悩んでいることや困っていること（複数回答）



【問17「自分が好きですか」とのクロス集計】

自分のことが“好き”と回答した人は「悩んでいることはない」が15.4%、“好きではない”と回答した人は4.1%となっています。

また、“好きではない”と回答した人は「お金のこと」「自分の身体のこと」「自分の将来」「仕事・就職」「職場の人間関係」で“好き”と回答した人より多くなっています。

【問12の「就労状況」別】

“働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”と回答した人は「お金のこと」が75.0%、“働いている（正社員）”と回答した人は46.9%、“学生”は39.2%となっており、差がみられます。また、働いている（正社員）と回答した人は「職場の人間関係」、働いている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）”学生”と回答した人は「仕事・就職」の割合が多くなっています。

(単位:%)

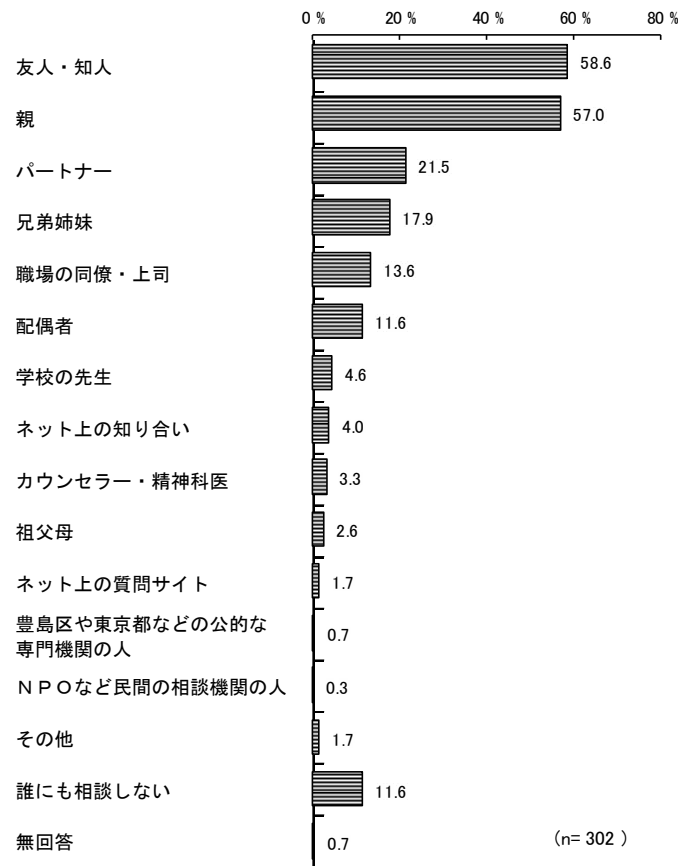
|                            | 回答者数 | 家事   | お金のこと | 自分の身体のこと | 自分の将来 | 仕事・就職 | 受験・進路 | 地域活動(町内会・自治会等) | 関係<br>  配偶者やパートナー(彼氏・彼女)との |
|----------------------------|------|------|-------|----------|-------|-------|-------|----------------|----------------------------|
| 全体                         | 302  | 8.6  | 47.4  | 22.2     | 61.6  | 46.7  | 7.9   | 0.3            | 17.2                       |
| 好き                         | 201  | 6.5  | 42.3  | 17.9     | 54.7  | 40.8  | 7.0   | 0.5            | 16.4                       |
| 好きではない                     | 98   | 12.2 | 59.2  | 30.6     | 76.5  | 59.2  | 10.2  | —              | 18.4                       |
| 全体                         | 276  | 8.0  | 47.5  | 22.5     | 63.4  | 45.7  | 7.6   | —              | 17.0                       |
| 働いている(正社員)                 | 147  | 10.9 | 46.9  | 21.1     | 61.9  | 38.1  | 1.4   | —              | 21.8                       |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 32   | 6.3  | 75.0  | 25.0     | 62.5  | 50.0  | 9.4   | —              | 15.6                       |
| 学生(予備校生を含む)                | 97   | 4.1  | 39.2  | 23.7     | 66.0  | 55.7  | 16.5  | —              | 10.3                       |

|                            | 「親との関係(「舅・姑」「婿・嫁」関係) | 介護  | 子どもの進路・将来 | 友人関係 | 職場の人間関係 | Twitter、フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の人間関係 | その他 | 悩んでいることや困っていることはない | 無回答 |
|----------------------------|----------------------|-----|-----------|------|---------|------------------------------------|-----|--------------------|-----|
| 全体                         | 6.6                  | 4.3 | 3.3       | 6.0  | 9.9     | 0.7                                | 2.3 | 11.6               | 1.3 |
| 好き                         | 5.5                  | 2.5 | 4.5       | 5.0  | 5.0     | 1.0                                | 2.0 | 15.4               | 1.0 |
| 好きではない                     | 9.2                  | 8.2 | 1.0       | 8.2  | 20.4    | —                                  | 3.1 | 4.1                | —   |
| 全体                         | 5.4                  | 3.6 | 2.5       | 4.7  | 10.5    | 0.7                                | 2.5 | 12.3               | 1.1 |
| 働いている(正社員)                 | 6.8                  | 3.4 | 3.4       | 0.7  | 16.3    | 1.4                                | 2.0 | 11.6               | 1.4 |
| 働いている(契約社員、派遣社員、パート・アルバイト) | 3.1                  | 9.4 | 6.3       | 6.3  | 9.4     | —                                  | 6.3 | 9.4                | —   |
| 学生(予備校生を含む)                | 4.1                  | 2.1 | —         | 10.3 | 2.1     | —                                  | 2.1 | 14.4               | 1.0 |

問25 あなたはふだん悩みごとがあるとき、誰に相談しますか。

「友人・知人」が最も多く58.6%、次いで「親」が57.0%、「パートナー」が21.5%、「兄弟姉妹」が17.9%、「職場の同僚・上司」が13.6%となっています。また「誰にも相談しない」は11.6%となっています。

■相談相手（複数回答）



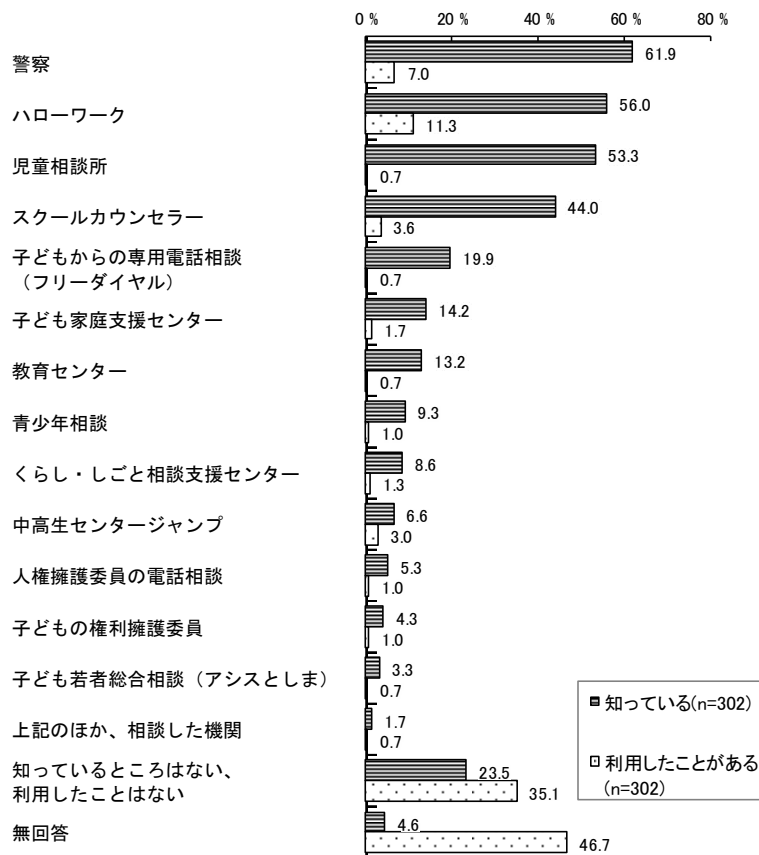


問 26 次のような子どもの相談を受ける機関等のうち、知っているところ、利用したことがあるところはありますか。

知っているところは「警察」が最も多く61.9%、次いで「ハローワーク」が56.0%、「児童相談所」が53.3%、「スクールカウンセラー」が44.0%となっています。また「知っているところはない」は23.5%となっています。

利用したことがあるところは「利用したことはない」が最も多く35.1%となっています。

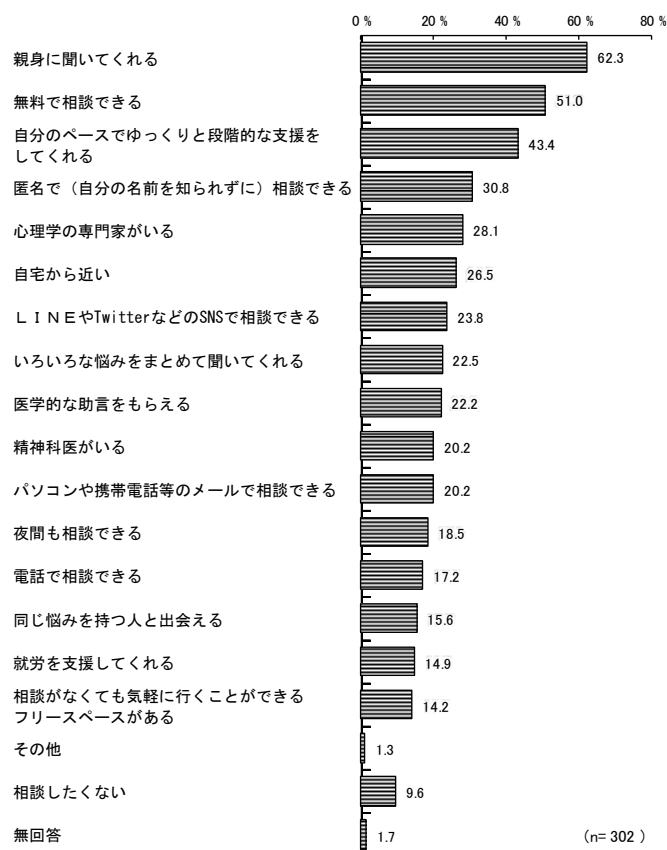
■相談場所の認知度と利用状況（複数回答）



問27 相談するとしたら、相談先にどのようなことを望みますか。

「親身に聞いてくれる」が最も多く62.3%、次いで「無料で相談できる」が51.0%、「自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる」が43.4%、「匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる」が30.8%、「心理学の専門家がいる」が28.1%となっています。また「相談したくない」9.6%となっています。

■相談先に望むこと（複数回答）

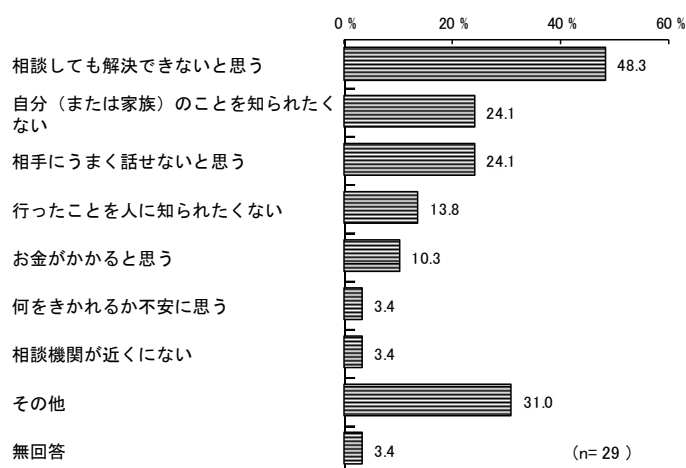


【問27で「18 相談したくない」と回答した方】

問27-1 あなたが相談したくないと思う理由は何ですか。

「相談しても解決できないと思う」が最も多く48.3%、次いで「自分（または家族）のことを知られたくない」「相手にうまく話せないと思う」がともに24.1%となっています。

■相談したくない理由（複数回答）



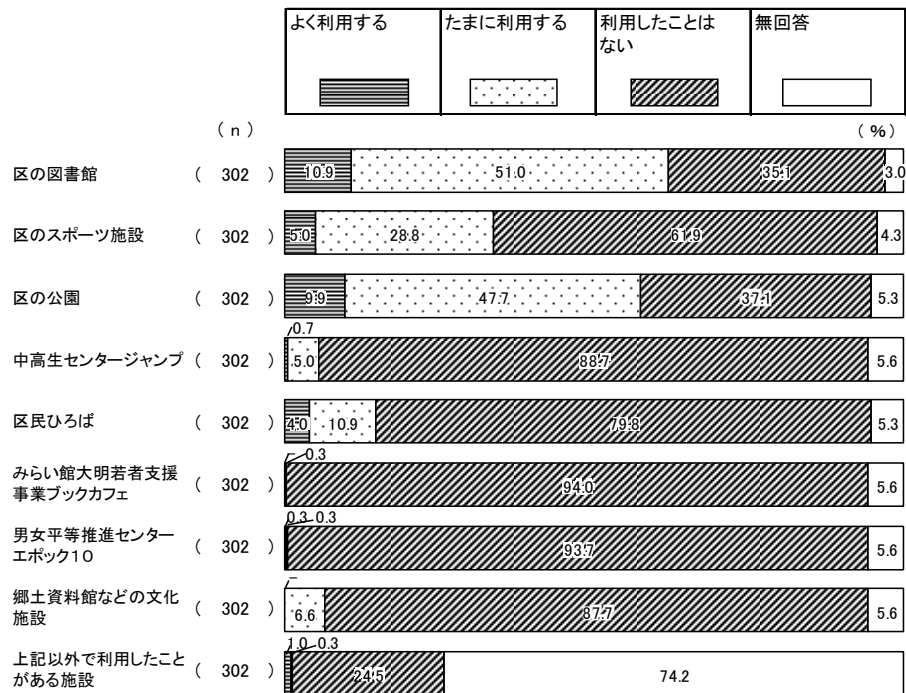
7 豊島区の子ども若者施策について

問 28 あなたは、次の豊島区の施設を利用したことがありますか。また、利用したことがある場合は、施設ごとに満足度をお答えください。

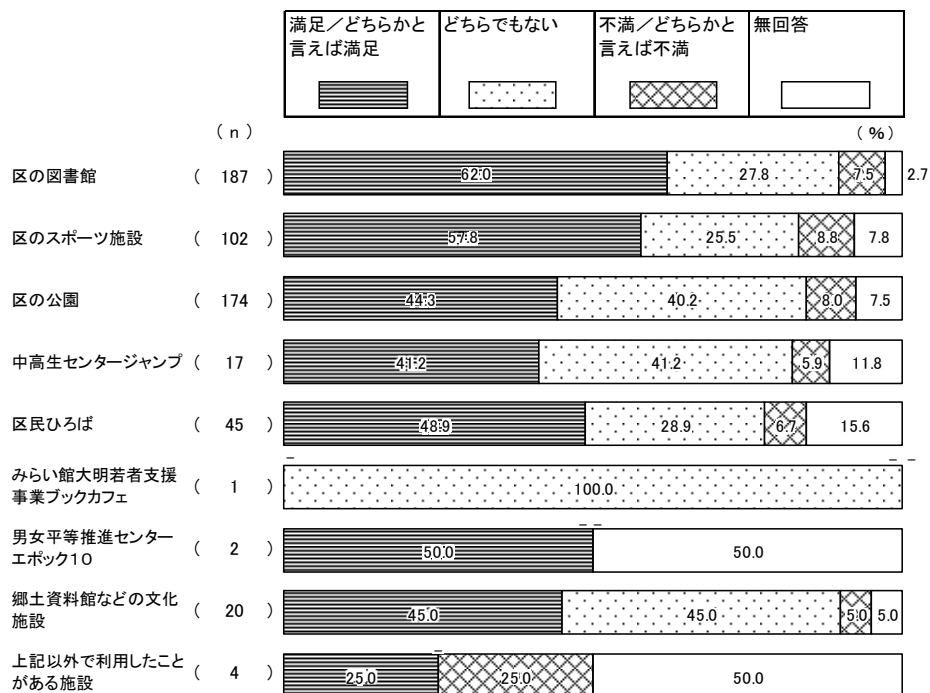
“区の図書館” “区の公園” 以外で「利用したことがない」が多くなっています。

“区の図書館” “区のスポーツ施設” で「満足／どちらかと言えば満足」が5割以上となっています。

■ 区施設の利用経験



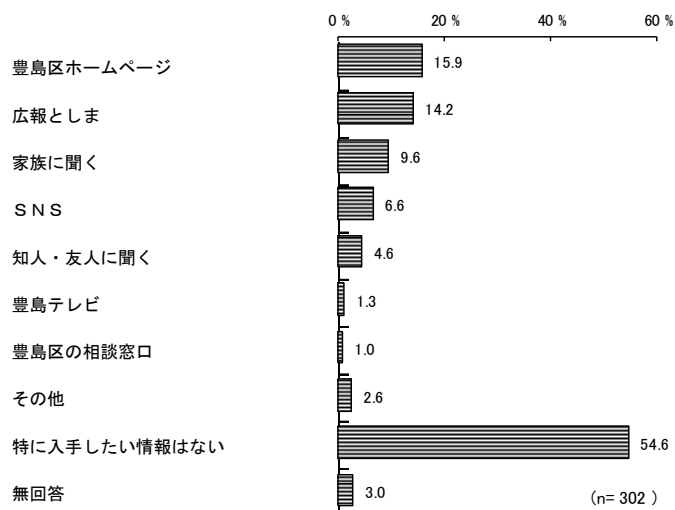
■ 区施設を利用しての満足度



問29 あなたは、豊島区の若者に関する施策の情報をどこから入手していますか。

「豊島区ホームページ」が最も多く15.9%、次いで「広報としま」が14.2%、「家族に聞く」が9.6%となっています。また「特に入手したい情報はない」は54.6%となっています。

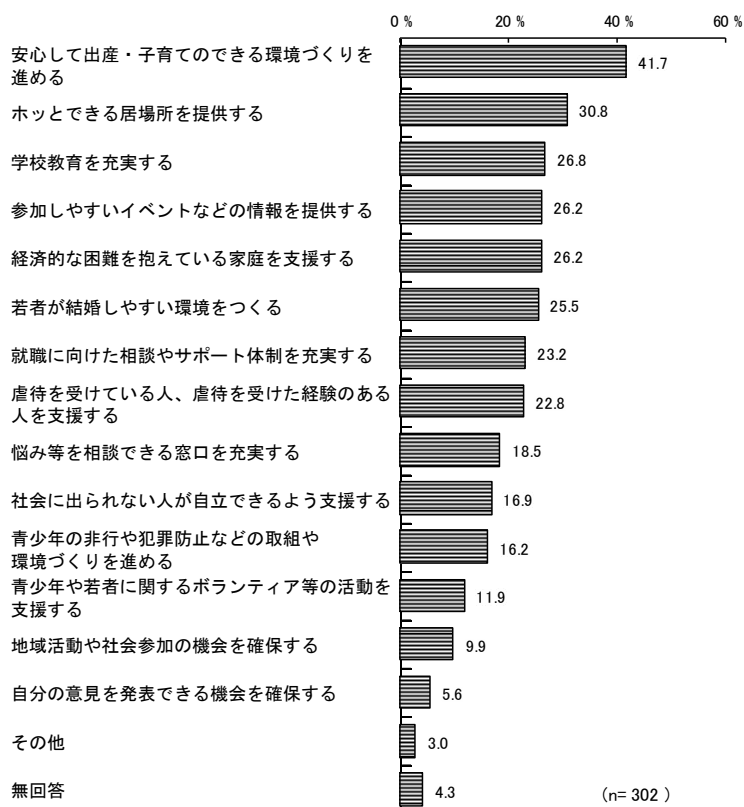
■若者施策に関する情報の入手先（複数回答）



問30 あなたは、豊島区が取り組む青少年や若者の施策にどんなことを望みますか。

「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が最も多く41.7%、次いで「ホッとできる居場所を提供する」が30.8%、「学校教育を充実する」が26.8%、「参加しやすいイベントなどの情報を提供する」「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」がともに26.2%となっています。

■青少年や若者施策として希望すること（5つまでに○）



【年齢別・性別】

年齢別にみると、“18～19歳”は「ホッとできる居場所を提供する」、「20～24歳」「25～29歳」は「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が最も多くなっていますが、25～29歳の「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」は他の年齢と比べて多くなっています。

性別にみると、“男性”は「学校教育を充実する」「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」「若者が結婚しやすい環境をつくる」が最も多くなっています。女性”は「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が最も多くなっており、“男性”と比べて多くなっています。

(単位：%)

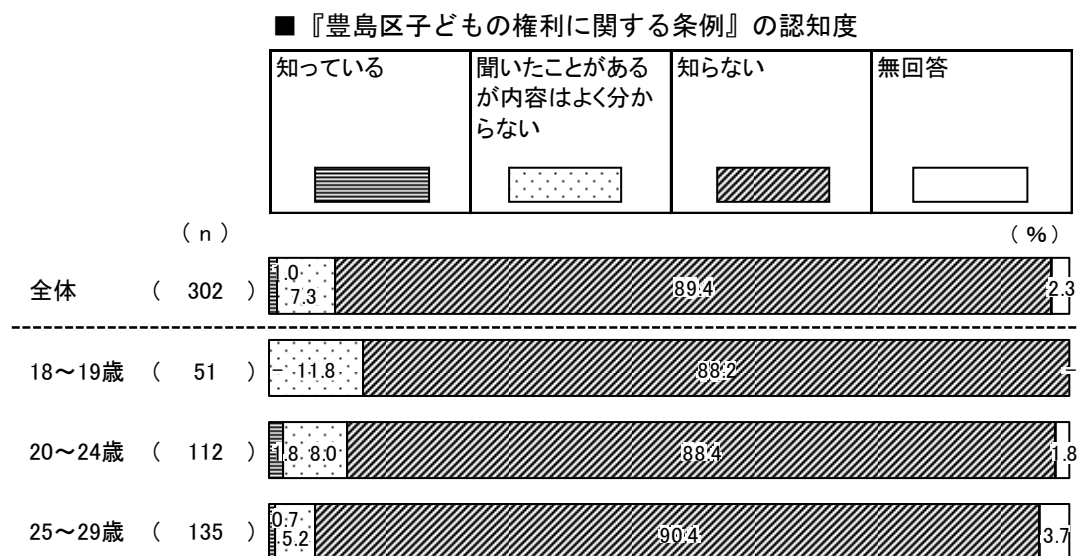
|    | 回答者数   | 参加しやすいイベントなどの情報を提供する | 自分の意見を発表できる機会を確保する | 地域活動や社会参加の機会を確保する | 青少年や若者に関するボランティア等の活動を支援する | 経済的な困難を抱えている家庭を支援する | 悩み等を相談できる窓口を充実する | 虐待を受けている人、虐待を受けた経験のある人を支援する | ホッとできる居場所を提供する |
|----|--------|----------------------|--------------------|-------------------|---------------------------|---------------------|------------------|-----------------------------|----------------|
| 全体 | 302    | 26.2                 | 5.6                | 9.9               | 11.9                      | 26.2                | 18.5             | 22.8                        | 30.8           |
| 年齢 | 18～19歳 | 51                   | 31.4               | 11.8              | 19.6                      | 21.6                | 27.5             | 21.6                        | 33.3           |
|    | 20～24歳 | 112                  | 20.5               | 4.5               | 7.1                       | 12.5                | 33.0             | 18.8                        | 31.3           |
|    | 25～29歳 | 135                  | 28.1               | 3.7               | 8.1                       | 7.4                 | 20.0             | 17.8                        | 28.9           |
| 性別 | 男性     | 115                  | 23.5               | 9.6               | 13.0                      | 10.4                | 25.2             | 9.6                         | 25.2           |
|    | 女性     | 184                  | 27.7               | 2.7               | 7.6                       | 12.5                | 26.6             | 24.5                        | 34.2           |

|    | 社会に出られない人が自立できるよう支援する | 学校教育を充実する | 青少年の非行や犯罪防止などの取組や環境づくりを進める | 就職に向けた相談やサポート体制を充実する | 安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める | 若者が結婚しやすい環境をつくる | その他 | 無回答 |
|----|-----------------------|-----------|----------------------------|----------------------|-------------------------|-----------------|-----|-----|
| 全体 | 16.9                  | 26.8      | 16.2                       | 23.2                 | 41.7                    | 25.5            | 3.0 | 4.3 |
| 性別 | 18～19歳                | 23.5      | 27.5                       | 15.7                 | 23.5                    | 23.5            | 2.0 | 5.9 |
|    | 20～24歳                | 13.4      | 27.7                       | 13.4                 | 18.8                    | 38.4            | 2.7 | 5.4 |
|    | 25～29歳                | 17.0      | 25.2                       | 19.3                 | 25.9                    | 51.9            | 3.7 | 3.0 |
| 年齢 | 男性                    | 20.9      | 27.8                       | 15.7                 | 19.1                    | 27.8            | 4.3 | 7.0 |
|    | 女性                    | 14.7      | 25.5                       | 16.8                 | 25.0                    | 50.5            | 2.2 | 2.7 |

問31 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

全体では、「知らない」が最も多く89.4%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が7.3%、「知っている」が1.0%となっています。

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」が最も多くなっています。

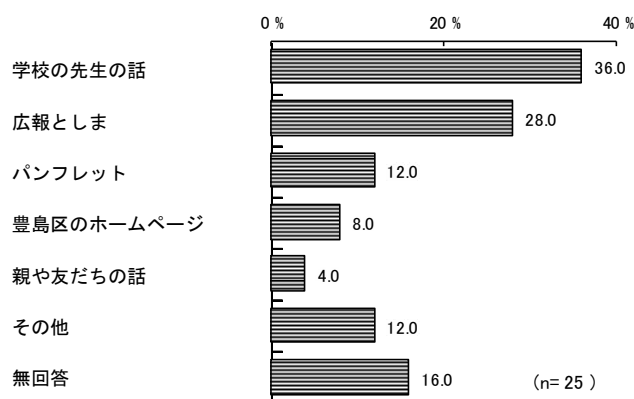


【問31で『豊島区子どもの権利に関する条例』について「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問31-1 どのように知りましたか。

「学校の先生の話」が最も多く36.0%、次いで「広報としま」が28.0%、「パンフレット」が12.0%となっています。

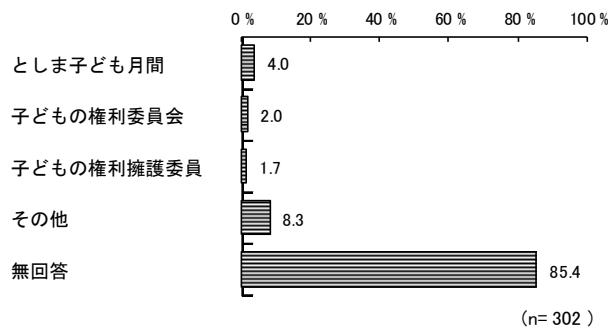
■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問32 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

どの項目も1割未満となっています。

■子どもの権利に関して知っていること（複数回答）

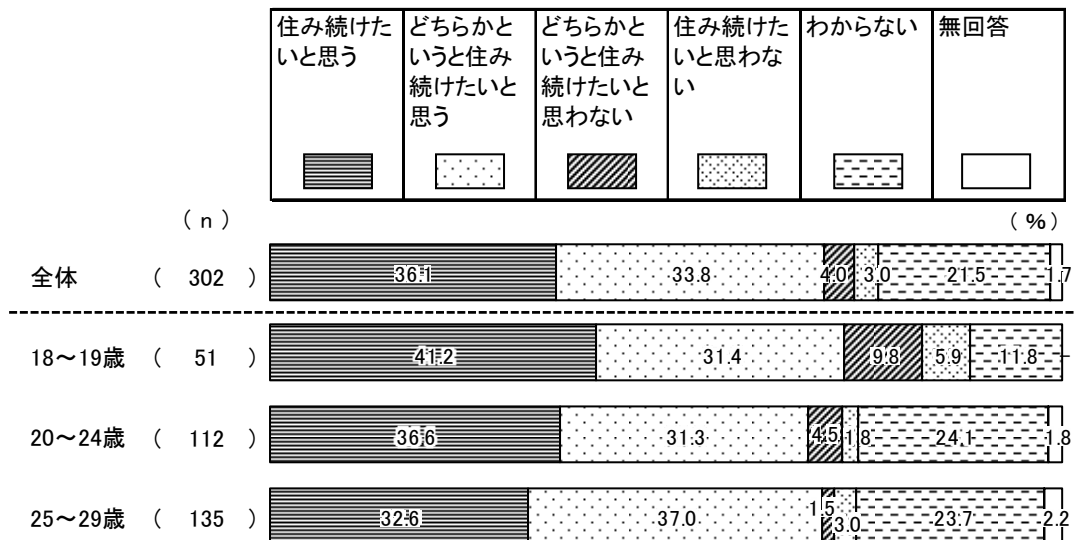


問33 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」が最も多く36.1%、次いで「どちらかというに住み続けたいと思う」が33.8%、「どちらかというに住み続けたいと思わない」が4.0%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「住み続けたいと思う」が少なくなっています。

■定住意向

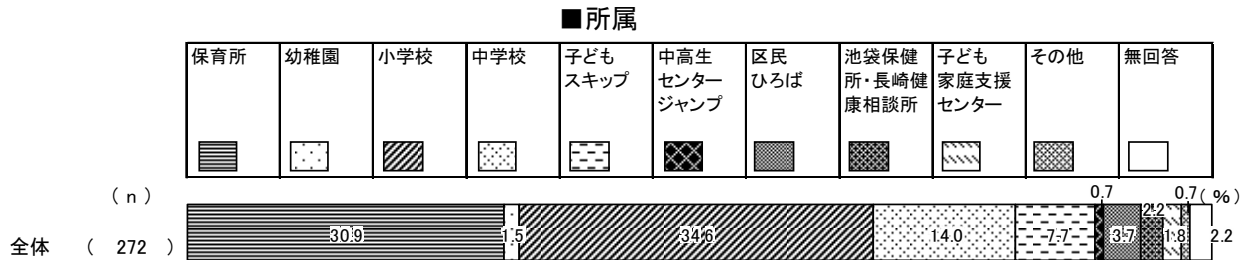


## VII 区施設職員

### 1 あなたのことについて

#### F 1 あなたの所属についてお聞きます。

「小学校」が最も多く 34.6%、次いで「保育所」が 30.9%、「中学校」が 14.0%、「子どもスキップ」が 7.7%となっています。

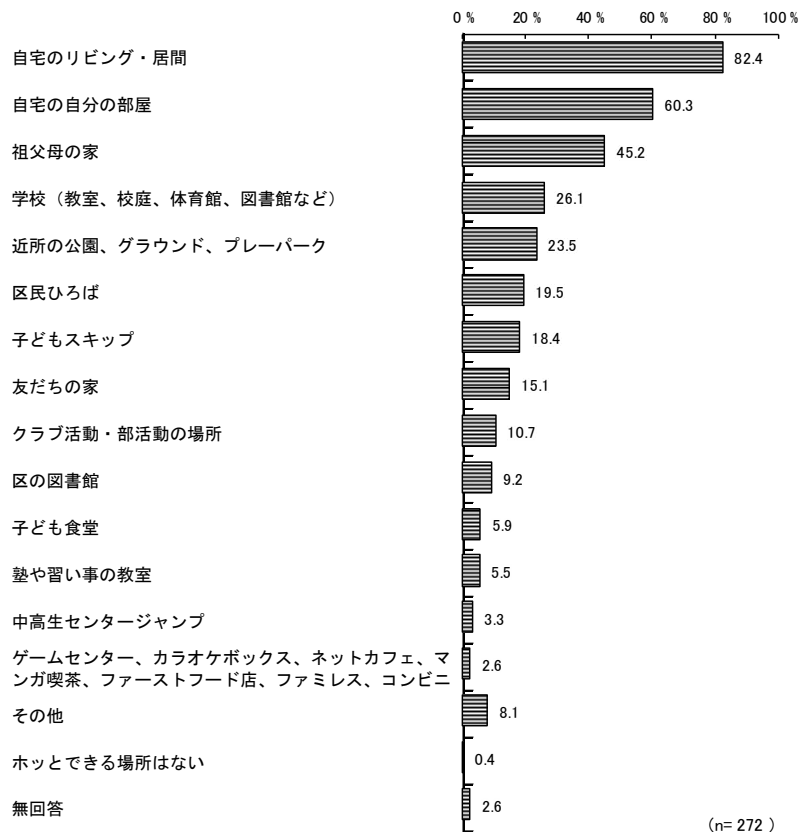


### 2 あなたの職場の子どもについて

#### 問 1 あなたの職場の子どもにとって、ホッとできる場所はどこだと思いますか。

「自宅のリビング・居間」が最も多く 82.4%、次いで「自宅の自分の部屋」が 60.3%、「祖父母の家」が 45.2%、「学校（教室、校庭、体育館、図書館など）」が 26.1%となっています。その他としては、「保育園」が多くあげられています。

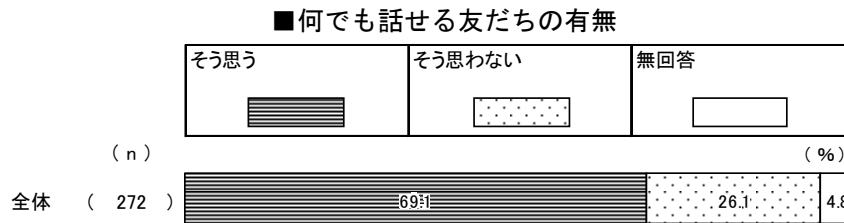
#### ■ホッとできる場所（複数回答）





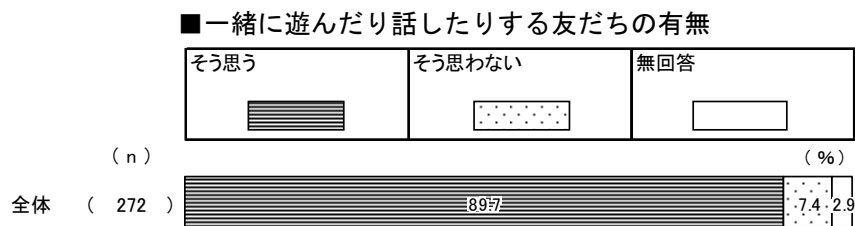
問2 あなたの職場の子どもには、何でも話せる友だちがいますか。

「そう思う」が69.1%、「そう思わない」が26.1%となっています。



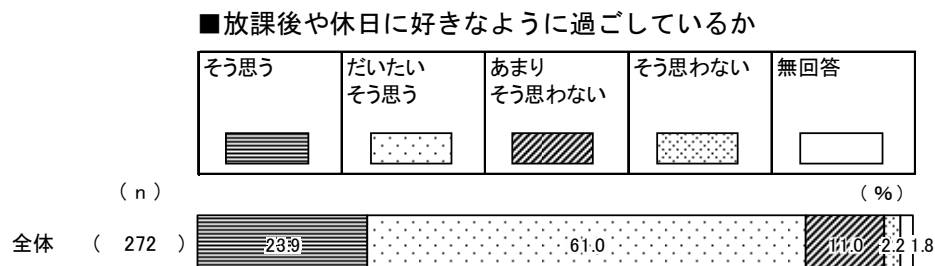
問3 あなたの職場の子どもには、地域に、一緒に遊んだり、話したりする友だちがいますか。

「そう思う」が89.7%、「そう思わない」が7.4%となっています。



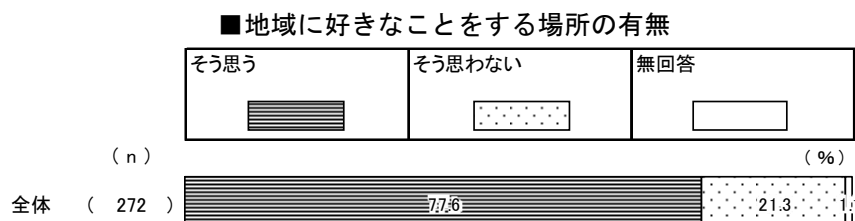
問4 あなたの職場の子どもは、休み時間や放課後、好きなように過ごしていると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く61.0%、次いで「そう思う」が23.9%、「あまりそう思わない」が11.0%となっています。



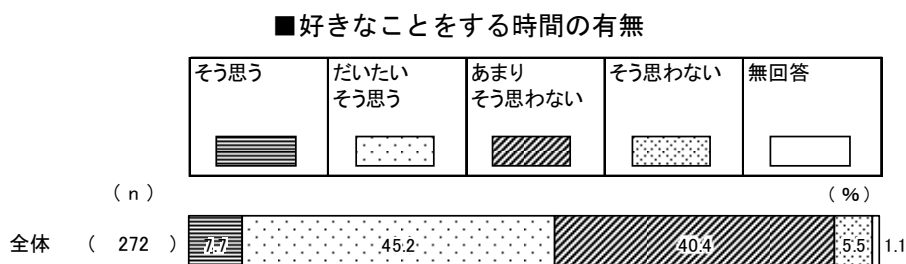
問5 あなたの職場の子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたり自分が好きなことをする場所があると思いますか。

「そう思う」が77.6%、「そう思わない」が21.3%となっています。



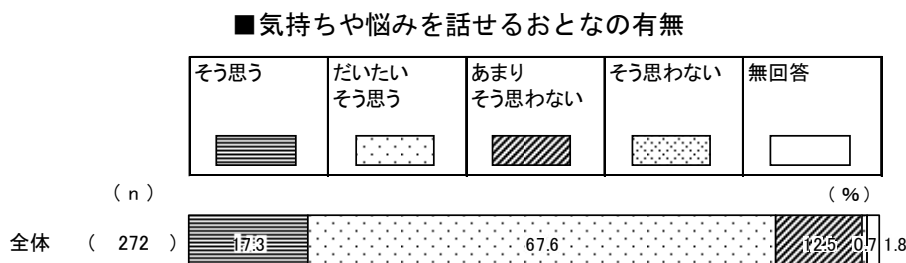
問6 あなたの職場の子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にあると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 45.2%、次いで「あまりそう思わない」が 40.4%、「そう思う」が 7.7%となっています。



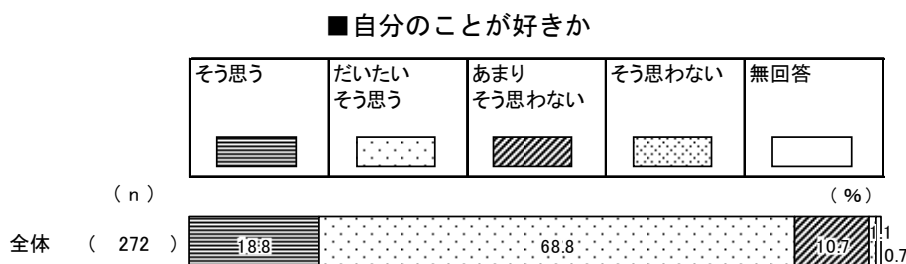
問7 あなたの職場の子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 67.6%、次いで「そう思う」が 17.3%、「あまりそう思わない」が 12.5%となっています。



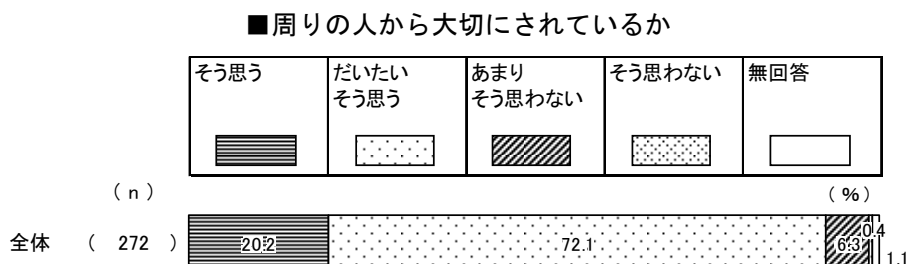
問8 あなたの職場の子どもは、自分のことを好きだと思っていますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 68.8%、次いで「そう思う」が 18.8%、「あまりそう思わない」が 10.7%となっています。



問9 あなたの職場の子どもは、自分が親や友だちなど周りの人から大切にされていると感じていると思いますか。

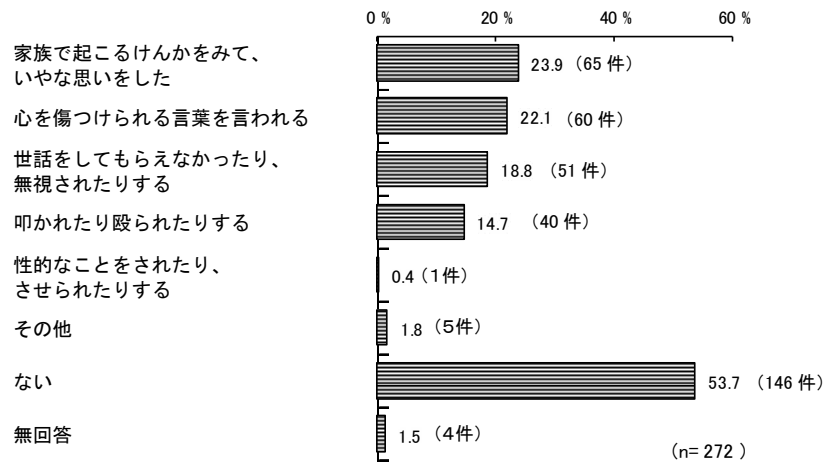
「だいたいそう思う」が最も多く 72.1%、次いで「そう思う」が 20.2%、「あまりそう思わない」が 6.3%となっています。



問10 あなたは、子どもがおとな（保護者や先生、スポーツの監督など）から、次のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。

「ない」が最も多く53.7%となっています。気づいたり聞いたりしたことは、「家族で起こるけんかを見て、いやな思いをした」が最も多く23.9%、次いで「心を傷つけられる言葉を言われる」が22.1%、「世話をしてもらえなかったり、無視されたりする」が18.8%となっています。

■最近、子どもがおとなにされたこと（複数回答）



問11 あなたは、子どものいじめ（いじめられる・いじめているの両方を含む）に、最近気づいたことがありますか。

「ない」が最も多く31.6%、次いで「あまりない」が29.8%、「ときどきある」が29.4%となっています。

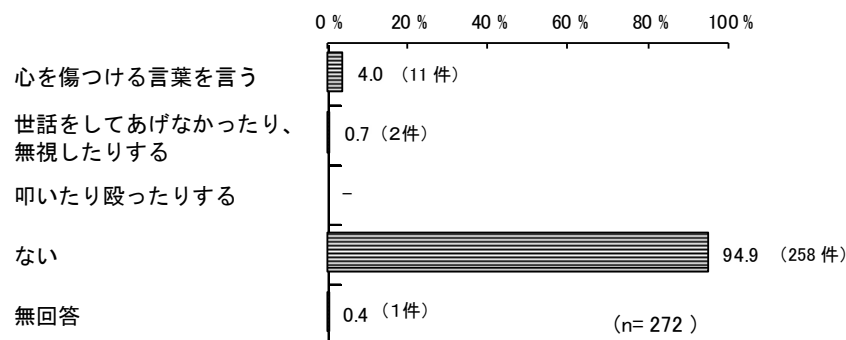
■いじめに気づいたことの有無



問12 あなたは、職場で子どもに次のことをしたことがありますか。

「ない」が最も多く94.9%となっています。

■子どもにしたことがあること（複数回答）

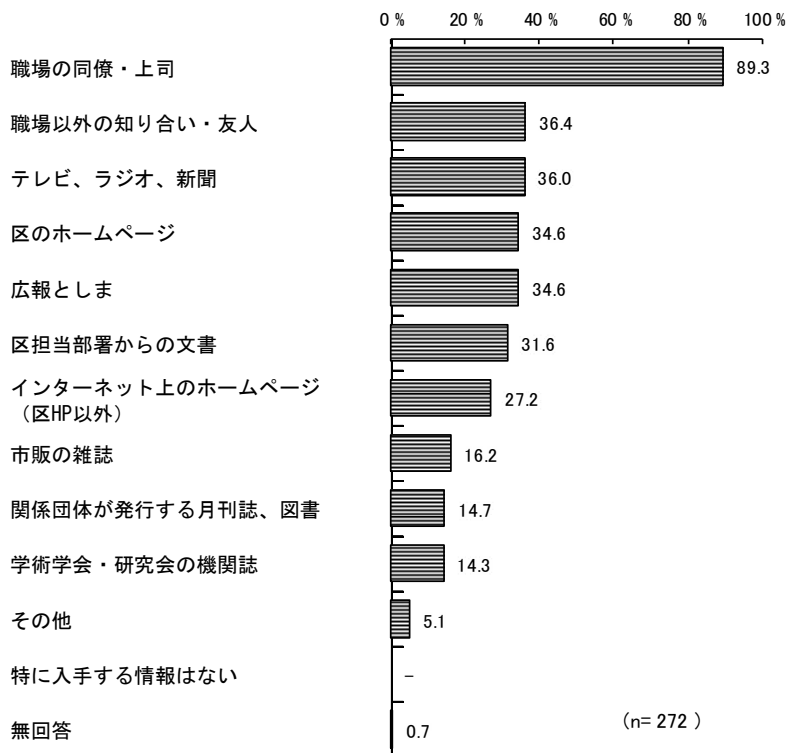


**3 子ども支援に関する情報・他機関との連携について**

問13 あなたは、子どもの支援に関する情報（生活支援、保護者支援、相談支援、学習支援など）を、どのようにして入手されていますか。

「職場の同僚・上司」が最も多く89.3%、次いで「職場以外の知り合い・友人」が36.4%、「テレビ、ラジオ、新聞」が36.0%、「区のホームページ」「広報としま」がともに34.6%となっています。その他としては、区の研修があげられています。

■子どもの支援に関する情報源（複数回答）



問14 あなたの職場で、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力することはありますか。

“日常的な情報交換”は「小学校・中学校」が最も多く50.4%、次いで「子どもスキップ(学童クラブ)」が40.4%、「保育所」が30.1%となっています。

“困ったことがあった時に相談”は「子ども家庭支援センター」が最も多く63.2%、次いで「児童相談所」が59.6%、「警察署」が59.2%となっています。

“困難事例のカンファレンス”は「子ども家庭支援センター」が最も多く32.7%、次いで「児童相談所」が20.2%、「教育センター」が16.2%となっています。

“プログラムやイベントの企画運営”は「区民ひろば」が最も多く41.5%、次いで「町会・自治会」が39.3%、「小学校・中学校」が33.8%となっています。

“連携・協力していない”は「中高生センタージャンプ」が最も多く53.7%、次いで「幼稚園」が29.8%、「池袋保健所、長崎健康相談所」が25.4%となっています。

■機関や地域団体等と連携・協力すること（複数回答）

(単位:%)

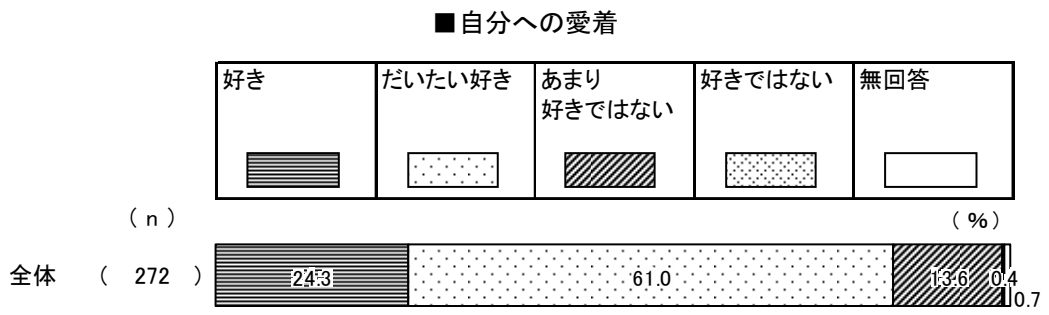
|                 | 回答者数 | 保育所  | 幼稚園  | 小学校・中学校 | 子どもスキップ<br>(学童クラブ) | 中高生センター<br>ジャンプ | 子ども家庭支援<br>センター | 区民ひろば | 区の関係課 | 教育センター |
|-----------------|------|------|------|---------|--------------------|-----------------|-----------------|-------|-------|--------|
| 日常的な情報交換        | 272  | 30.1 | 11.0 | 50.4    | 40.4               | 4.8             | 26.8            | 26.5  | 14.0  | 22.8   |
| 困ったことがあった時に相談   | 272  | 25.7 | 16.5 | 32.0    | 29.4               | 13.2            | 63.2            | 19.5  | 16.2  | 47.8   |
| 困難事例のカンファレンス    | 272  | 10.7 | 3.7  | 11.4    | 8.8                | 2.2             | 32.7            | 3.7   | 5.9   | 16.2   |
| プログラムやイベントの企画運営 | 272  | 31.6 | 30.1 | 33.8    | 24.6               | 8.8             | 12.5            | 41.5  | 4.4   | 5.1    |
| 連携・協力していない      | 272  | 13.2 | 29.8 | 3.7     | 11.4               | 53.7            | 1.8             | 13.2  | 11.0  | 14.7   |

|                 | 池袋保健所、長崎健康<br>相談所 | 町会・自治会 | 民生委員・児童委員 | 青少年育成委員会 | 社会福祉協議会(コミュニ<br>ティソーシャルワーカー) | 児童相談所 | 警察署  | その他 | 無回答  |
|-----------------|-------------------|--------|-----------|----------|------------------------------|-------|------|-----|------|
| 日常的な情報交換        | 12.1              | 26.1   | 27.6      | 16.2     | 14.3                         | 10.3  | 16.5 | 1.5 | 14.7 |
| 困ったことがあった時に相談   | 37.5              | 18.4   | 42.6      | 23.9     | 35.3                         | 59.6  | 59.2 | 0.4 | 6.6  |
| 困難事例のカンファレンス    | 8.8               | 2.9    | 7.0       | 6.3      | 9.6                          | 20.2  | 7.7  | —   | 46.7 |
| プログラムやイベントの企画運営 | 14.3              | 39.3   | 22.4      | 22.8     | 13.6                         | 1.1   | 15.1 | 0.4 | 27.6 |
| 連携・協力していない      | 25.4              | 13.2   | 7.4       | 24.3     | 23.2                         | 11.0  | 7.7  | 7.7 | 30.5 |

**4 あなたの思いについて**

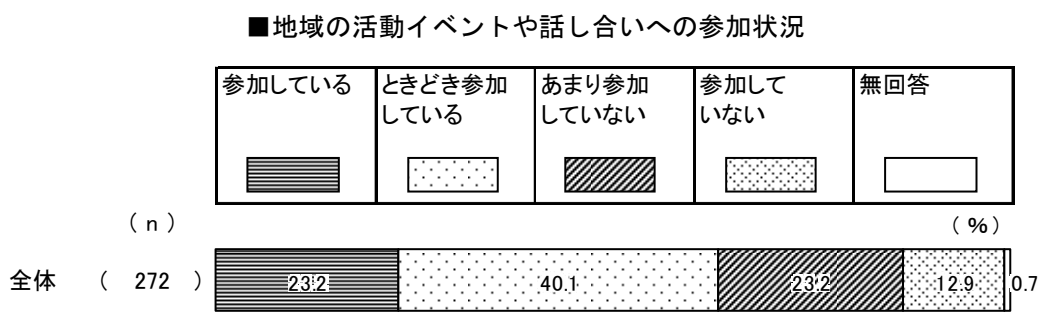
問15 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く61.0%、次いで「好き」が24.3%、「あまり好きではない」が13.6%となっています。



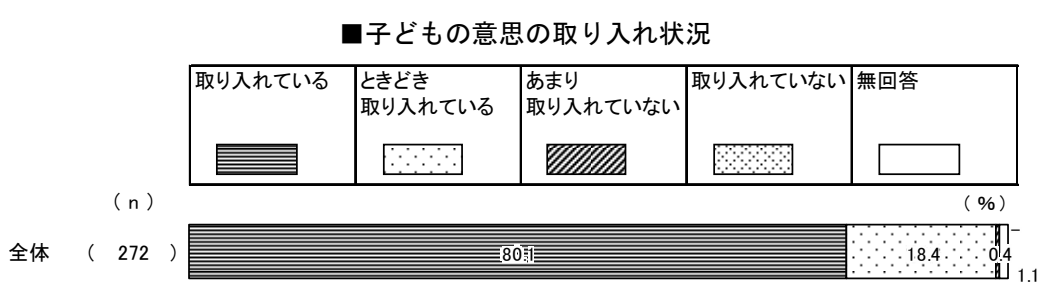
問16 あなたは、職場のある地域の活動・イベントや話し合いに参加していますか。

「ときどき参加している」が最も多く40.1%、次いで「参加している」「あまり参加していない」がともに23.2%となっています。



問17 あなたは、職場で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか。

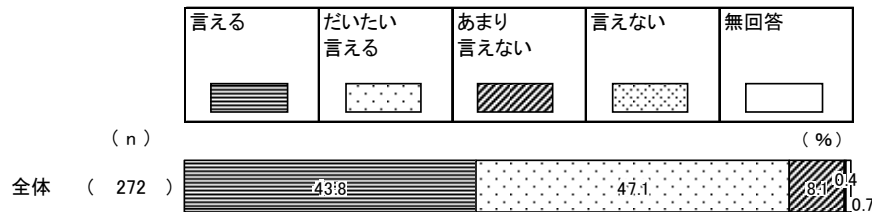
「取り入れている」が最も多く80.1%、次いで「ときどき取り入れている」が18.4%、「あまり取り入っていない」が0.4%となっています。



問 18 あなたは、職場で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えますか。

「だいたい言える」が最も多く 47.1%、次いで「言える」が 43.8%、「あまり言えない」が 8.1%となっています。

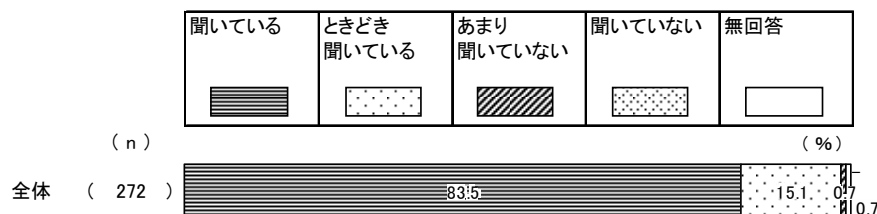
■自分の意思を自由に言えるか



問 19 あなたは、職場で子どもの話をよく聞いていますか。

「聞いている」が最も多く 83.5%、次いで「ときどき聞いている」が 15.1%、「あまり聞いていない」が 0.7%となっています。

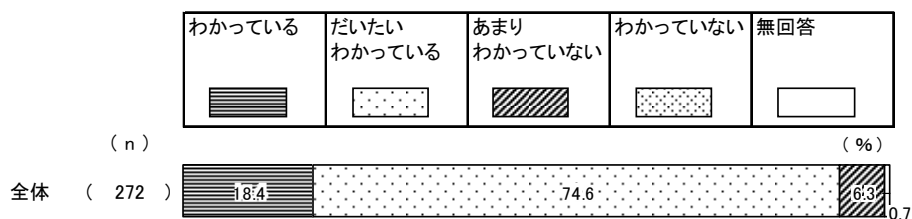
■子どもの話をよく聞くか



問 20 あなたは、職場の子どものことをわかっていると思いますか。

「だいたいわかっている」が最も多く 74.6%、次いで「わかっている」が 18.4%、「あまりわかっている」が 6.3%となっています。

■子どものことをわかっているか



問 21 あなたには、仕事上の悩みがありますか。

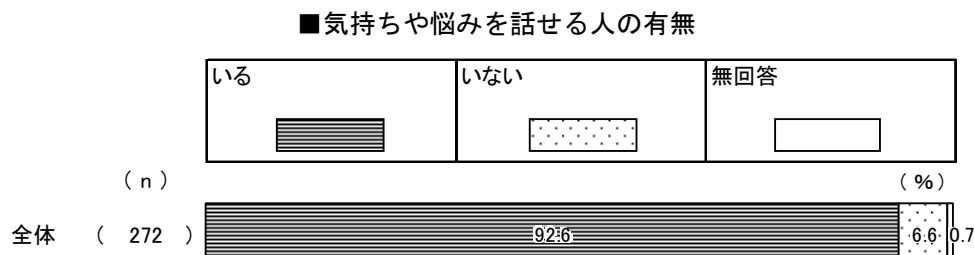
「ときどきある」が最も多く 47.4%、次いで「ある」が 42.3%、「あまりない」が 8.5%となっています。

■悩みの有無



問22 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。

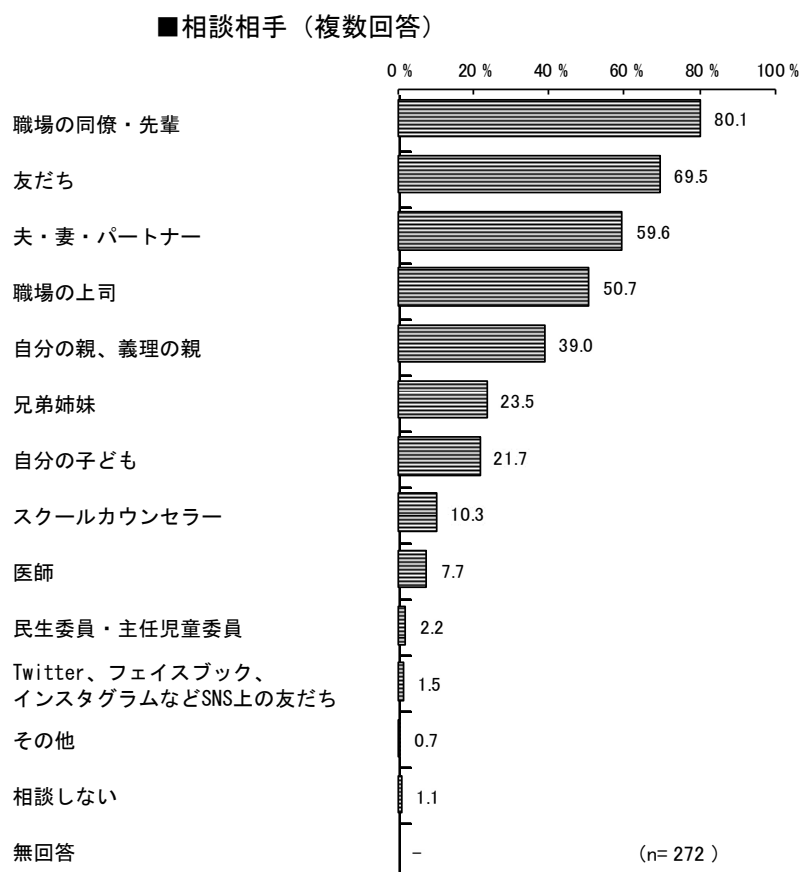
「いる」が92.6%、「いない」が6.6%となっています。



## 5 相談相手・機関について

問23 あなたは困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら誰に相談しますか。

「職場の同僚・先輩」が最も多く80.1%、次いで「友だち」が69.5%、「夫・妻・パートナー」が59.6%、「職場の上司」が50.7%、「自分の親、義理の親」が39.0%となっています。また「相談しない」が1.1%となっています。

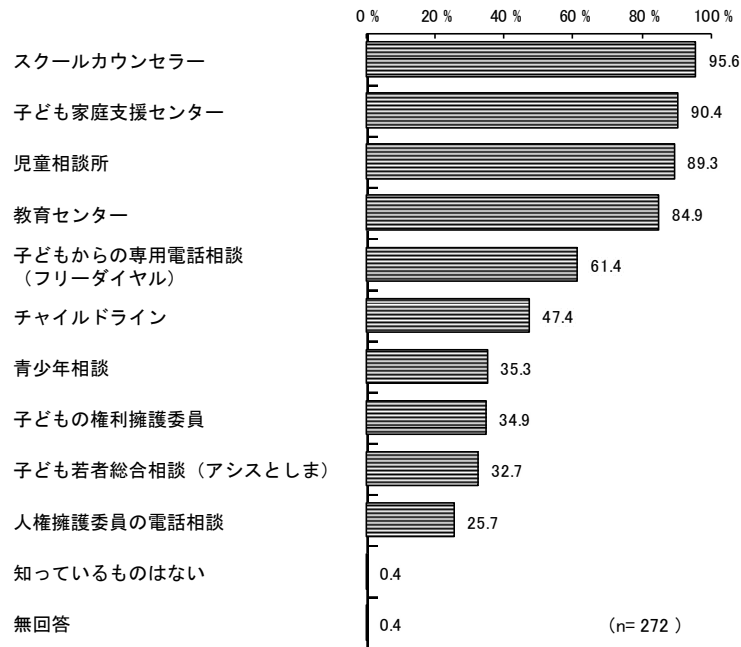




問 24 次のような子どもの相談を受けてくれるところを知っていますか。

「スクールカウンセラー」が最も多く 95.6%、次いで「子ども家庭支援センター」が 90.4%、「児童相談所」が 89.3%、「教育センター」が 84.9%、「子どもからの専用電話相談（フリーダイヤル）」が 61.4% となっています。

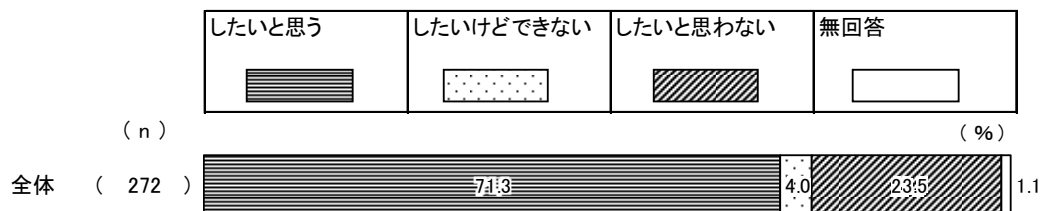
■相談場所の認知度（複数回答）



問 25 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。

「したいと思う」が最も多く 71.3%、次いで「したいと思わない」が 23.5%、「したいけどできない」が 4.0%となっています。

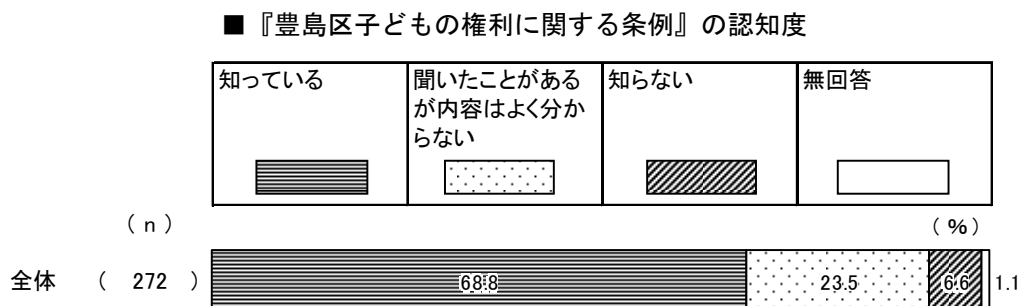
■困ったり悩んだりしたときの相談希望



6 『子どもの権利条例』について

問 28 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知っている」が最も多く 68.8%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が 23.5%、「知らない」が 6.6%となっています。

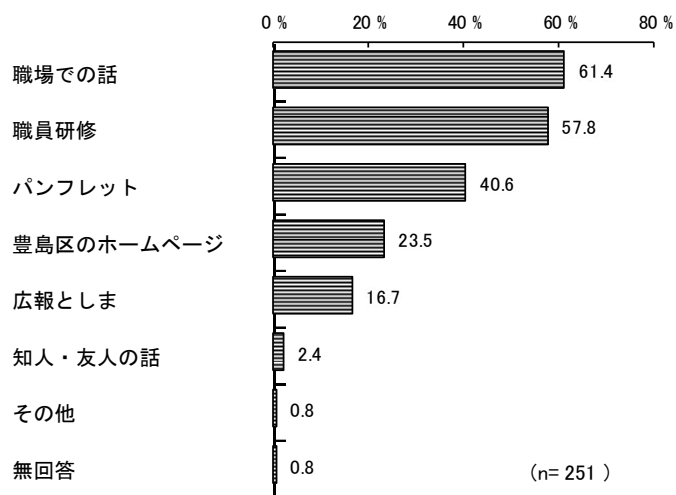


【問 28 で「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問 28-1 どのように知りましたか。

「職場での話」が最も多く 61.4%、次いで「職員研修」が 57.8%、「パンフレット」が 40.6%となっています。

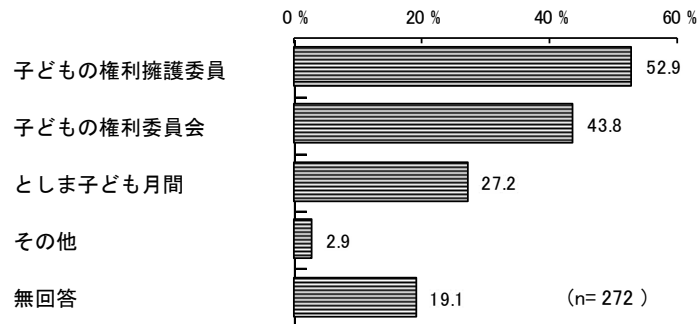
■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問 29 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

「子どもの権利擁護委員」が最も多く 52.9%、次いで「子どもの権利委員会」が 43.8%、「としま子ども月間」が 27.2%となっています。

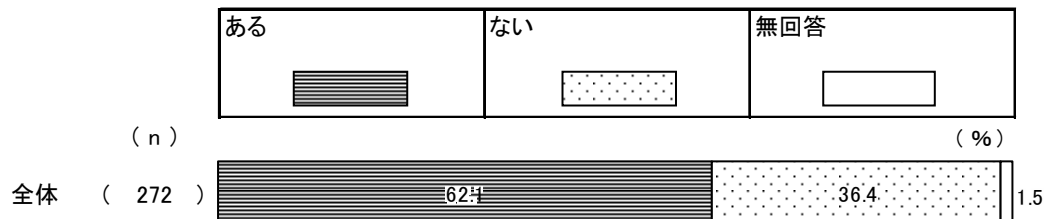
■子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問 30 あなたの職場では、あなたが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。

「ある」が 62.1%、「ない」が 36.4%となっています。

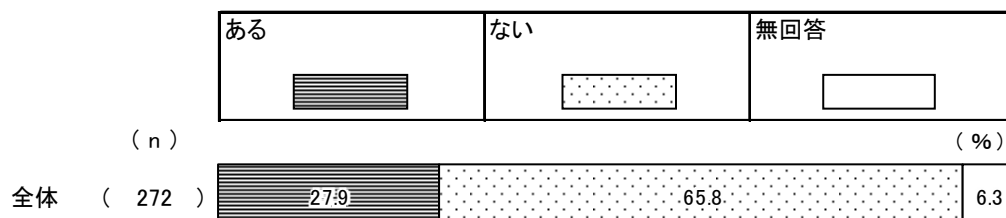
■あなたが「子どもの権利」を学ぶ機会の有無



問 31 あなたの職場では、子どもが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。

「ない」が 65.8%、「ある」が 27.9%となっています。

■子どもが「子どもの権利」を学ぶ機会の有無

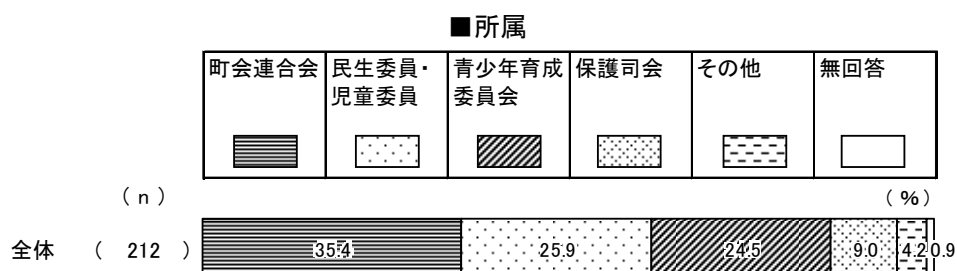


## Ⅷ 地域団体

### 1 あなたのことについて

F 1 あなたが所属する団体等についてお聞きます。

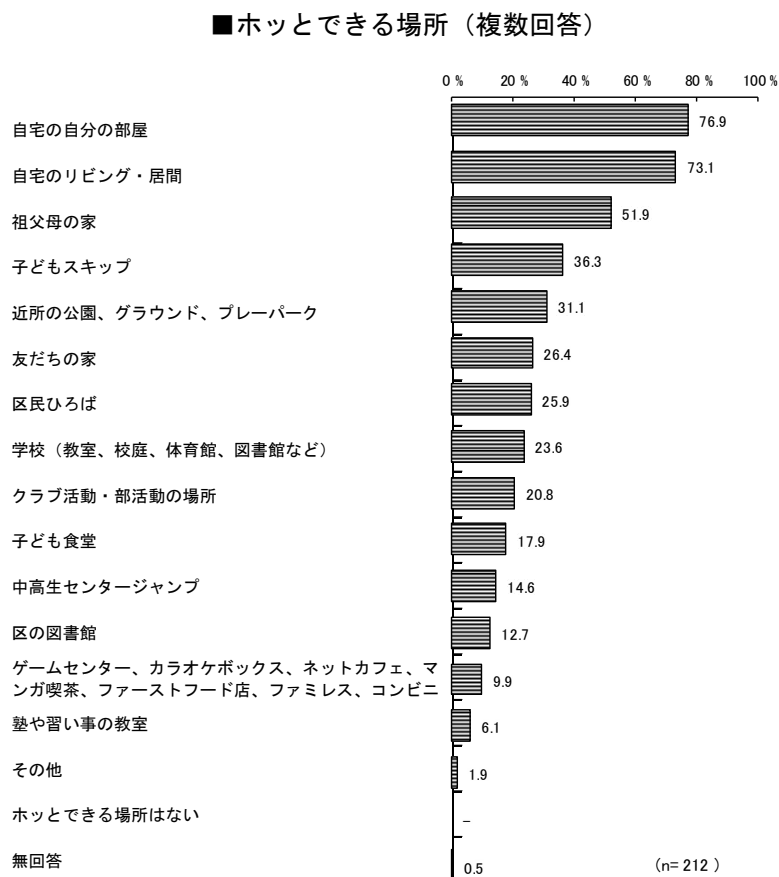
「町会連合会」が最も多く35.4%、次いで「民生委員・児童委員」が25.9%、「青少年育成委員会」が24.5%、「保護司会」が9.0%となっています。



### 2 あなたが地域や団体の活動で関わる子どもについて

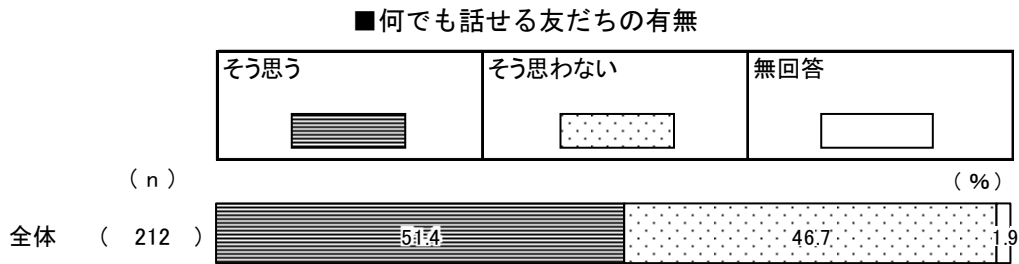
問1 子どもにとって、ホッとできる場所はどこだと思いますか。

「自宅の自分の部屋」が最も多く76.9%、次いで「自宅のリビング・居間」が73.1%、「祖父母の家」が51.9%、「子どもスキップ」が36.3%となっています。



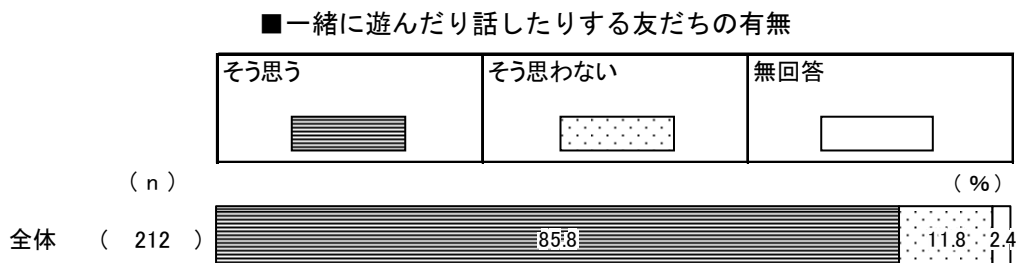
問2 子どもには、何でも話せる友だちがいますか。

「そう思う」が51.4%、「そう思わない」が46.7%となっています。



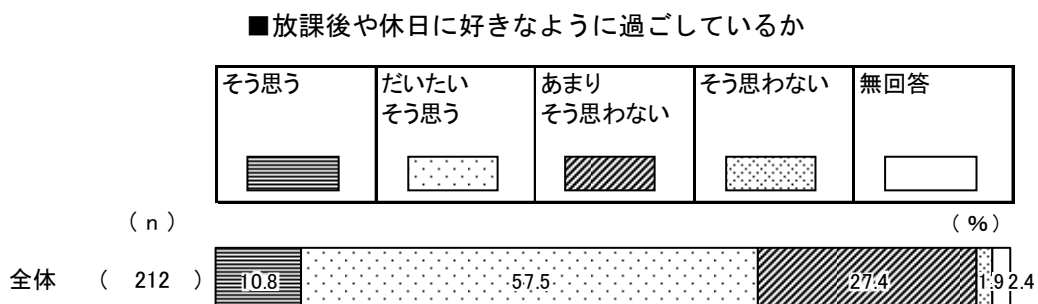
問3 子どもには、地域に、一緒に遊んだり、話したりする友だちがいますか。

「そう思う」が85.8%、「そう思わない」が11.8%となっています。



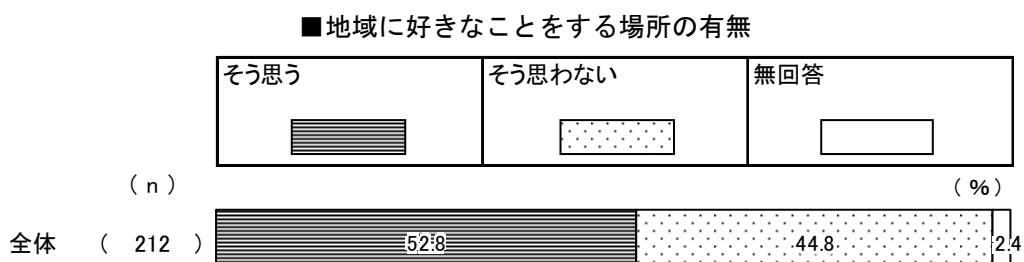
問4 子どもは、放課後や休日に、好きなように過ごしていると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 57.5%、次いで「あまりそう思わない」が 27.4%、「そう思う」が 10.8%となっています。



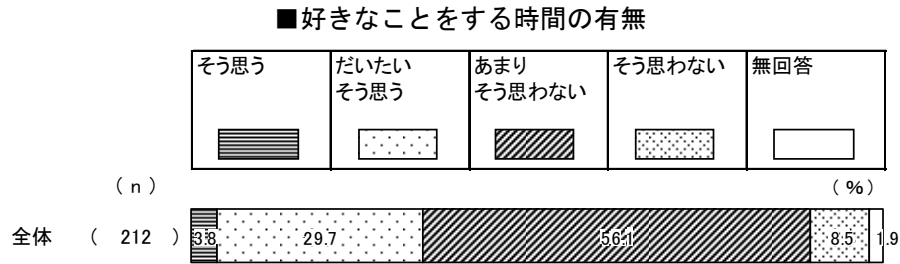
問5 子どもには、地域に、遊んだりスポーツをしたり自分が好きなことをする場所があると思いますか。

「そう思う」が52.8%、「そう思わない」が44.8%となっています。



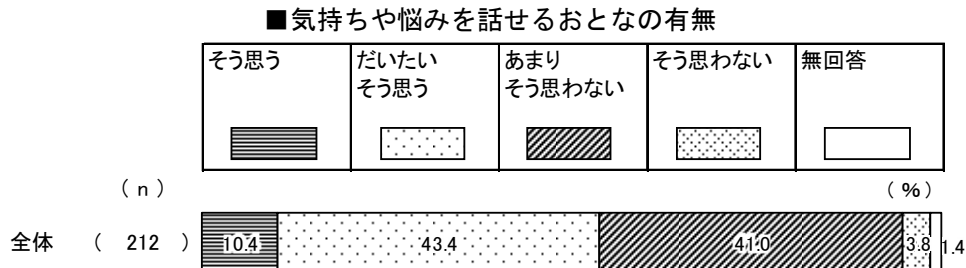
問6 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にあると思いますか。

「あまりそう思わない」が最も多く 56.1%、次いで「だいたいそう思う」が 29.7%、「そう思わない」が 8.5%となっています。



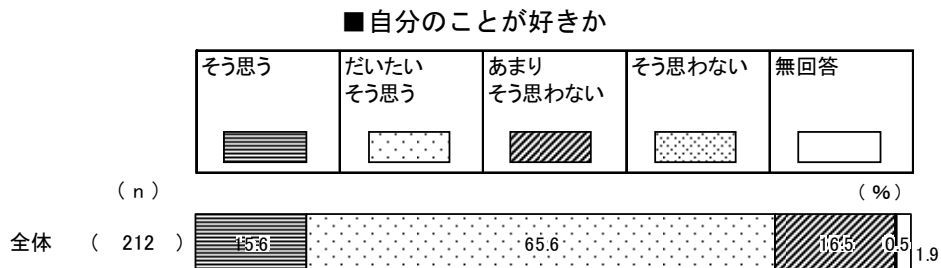
問7 子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 43.4%、次いで「あまりそう思わない」が 41.0%、「そう思う」が 10.4%となっています。



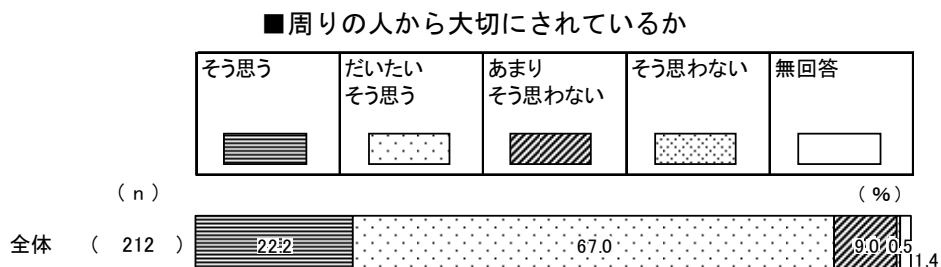
問8 子どもは、自分のことを好きだと思っていますか。

「だいたいそう思う」が最も多く 65.6%、次いで「あまりそう思わない」が 16.5%、「そう思う」が 15.6%となっています。



問9 子どもは、自分が親や友だちなど周りの人から大切にされていると感じていると思いますか。

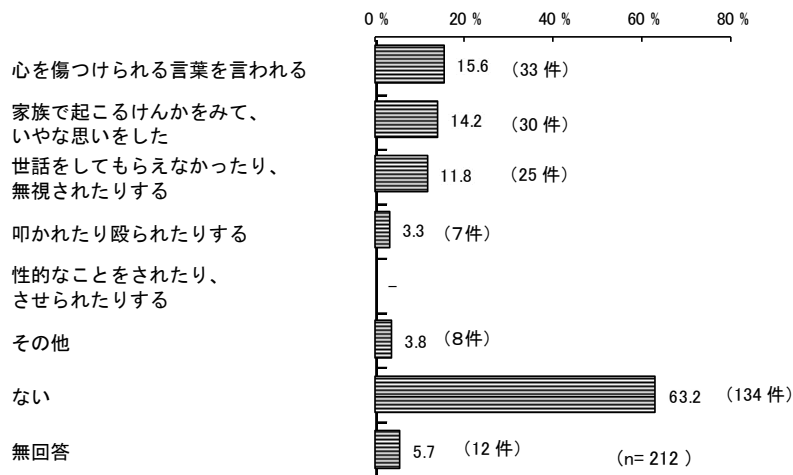
「だいたいそう思う」が最も多く 67.0%、次いで「そう思う」が 22.2%、「あまりそう思わない」が 9.0%となっています。



問10 あなたは、子どもがおとな（保護者や先生、スポーツの監督など）から、次のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。

「ない」が最も多く63.2%となっています。気づいたり聞いたりしたことは、「心を傷つけられる言葉を言われる」が最も多く15.6%、次いで「家族で起こるけんかを見て、いやな思いをした」が14.2%、「世話をしてもらえなかったり、無視されたりする」が11.8%となっています。

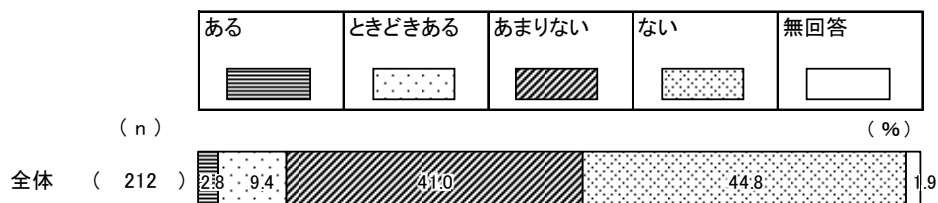
■最近、子どもがおとなにされたこと（複数回答）



問11 あなたは、子どものいじめ（いじめられる・いじめているの両方を含む）に、最近気づいたことがありますか。

「ない」が最も多く44.8%、次いで「あまりない」が41.0%、「ときどきある」が9.4%、「ある」が2.8%となっています。

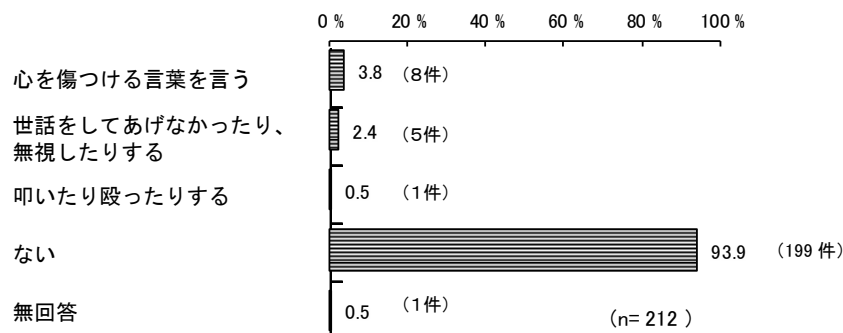
■いじめに気づいたことの有無



問12 あなたは、地域や団体の活動で関わる子どもに次のことをしたことがありますか。

「ない」が最も多く93.9%となっています。

■子どもにしたことがあること（複数回答）

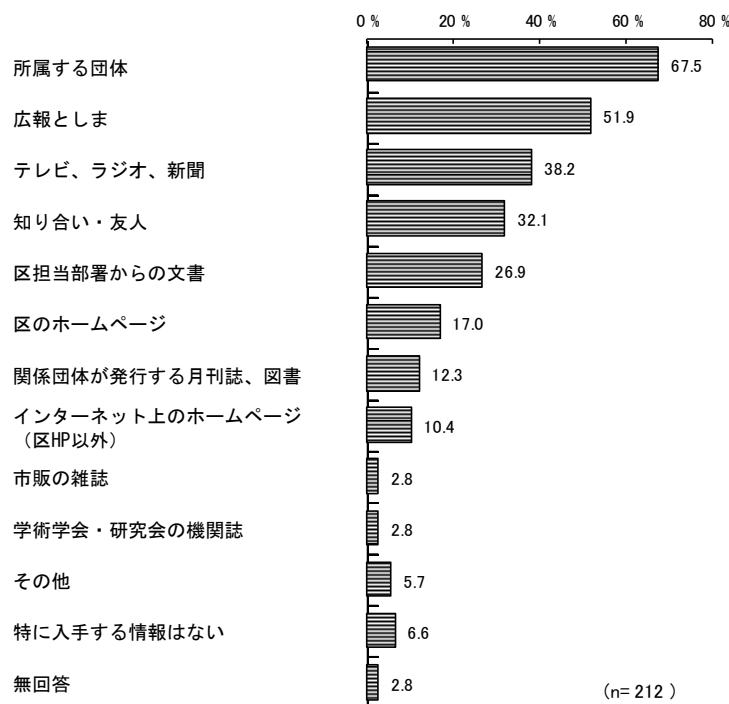


### 3 子ども支援に関する情報・他機関との連携について

問13 あなたは、子どもの支援に関する情報（生活支援、保護者支援、相談支援、学習支援など）を、どのようにして入手されていますか。

「所属する団体」が最も多く 67.5%、次いで「広報としま」が 51.9%、「テレビ、ラジオ、新聞」が 38.2%、「知り合い・友人」が 32.1%、「区担当部署からの文書」が 26.9%となっています。

■子どもの支援に関する情報源（複数回答）





問14 あなたの団体では、子どもの支援に関して、下記の機関や地域団体等と連携・協力することはありますか。

“日常的な情報交換”は「小学校・中学校」が最も多く54.2%、次いで「町会・自治会」が52.4%、「民生委員・児童委員」が50.0%となっています。

“困ったことがあった時に相談”は「社会福祉協議会（コミュニティワーカー）」が最も多く29.2%、次いで「民生委員・児童委員」が28.8%、「警察署」が27.4%となっています。

“困難事例の検討会”は「民生委員・児童委員」が最も多く10.8%、次いで「社会福祉協議会（コミュニティワーカー）」が9.4%、「小学校・中学校」が8.5%となっています。

“プログラムやイベントの企画運営”は「区民ひろば」が最も多く39.2%、次いで「小学校・中学校」が34.4%、「青少年育成委員会」が30.7%となっています。

“連携・協力していない”は「中高生センタージャンプ」が最も多く40.1%、次いで「教育センター」が38.2%、「幼稚園」が36.8%となっています。

■機関や地域団体等と連携・協力すること（複数回答）

（単位：％）

|                 | 回答者数 | 保育所  | 幼稚園  | 小学校・中学校 | 子どもスキップ（学童クラブ） | 中高生センタージャンプ | 子ども家庭支援センター | 区民ひろば | 区の関係課 | 教育センター |
|-----------------|------|------|------|---------|----------------|-------------|-------------|-------|-------|--------|
| 日常的な情報交換        | 212  | 14.2 | 10.4 | 54.2    | 31.6           | 7.5         | 14.2        | 46.7  | 19.8  | 2.8    |
| 困ったことがあった時に相談   | 212  | 11.8 | 7.5  | 18.4    | 12.3           | 8.0         | 21.7        | 10.4  | 12.3  | 12.3   |
| 困難事例の検討会        | 212  | 2.8  | 1.9  | 8.5     | 1.9            | 0.9         | 3.8         | 4.7   | 4.7   | 4.2    |
| プログラムやイベントの企画運営 | 212  | 10.4 | 8.5  | 34.4    | 24.1           | 5.7         | 5.7         | 39.2  | 11.3  | 2.4    |
| 連携・協力していない      | 212  | 31.1 | 36.8 | 2.8     | 17.5           | 40.1        | 25.5        | 6.1   | 10.8  | 38.2   |

|                 | 相談所<br>池袋保健所、長崎健康 | 町会・自治会 | 民生委員・児童委員 | 青少年育成委員会 | 社会福祉協議会（コミュニティワーカー） | 児童相談所 | 警察署  | その他 | 無回答  |
|-----------------|-------------------|--------|-----------|----------|---------------------|-------|------|-----|------|
| 日常的な情報交換        | 7.1               | 52.4   | 50.0      | 42.5     | 40.6                | 4.7   | 25.0 | 0.9 | 23.1 |
| 困ったことがあった時に相談   | 21.2              | 19.8   | 28.8      | 15.6     | 29.2                | 23.1  | 27.4 | 0.5 | 41.5 |
| 困難事例の検討会        | 2.4               | 4.2    | 10.8      | 6.1      | 9.4                 | 5.7   | 5.7  | —   | 73.1 |
| プログラムやイベントの企画運営 | 9.4               | 30.2   | 24.1      | 30.7     | 22.2                | 1.9   | 11.3 | 0.5 | 34.4 |
| 連携・協力していない      | 23.6              | 1.9    | 5.2       | 5.7      | 5.2                 | 31.1  | 12.3 | 3.8 | 46.2 |

## 4 あなたの思いについて

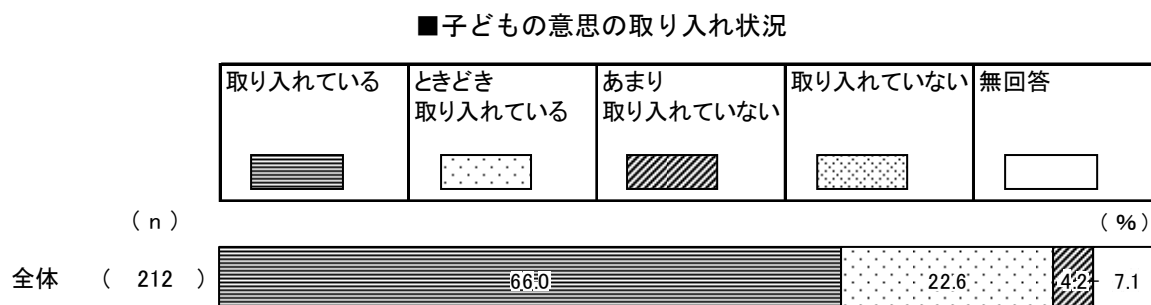
問15 あなたは、自分が好きですか。

「だいたい好き」が最も多く54.7%、次いで「好き」が37.7%、「あまり好きではない」が5.2%となっています。



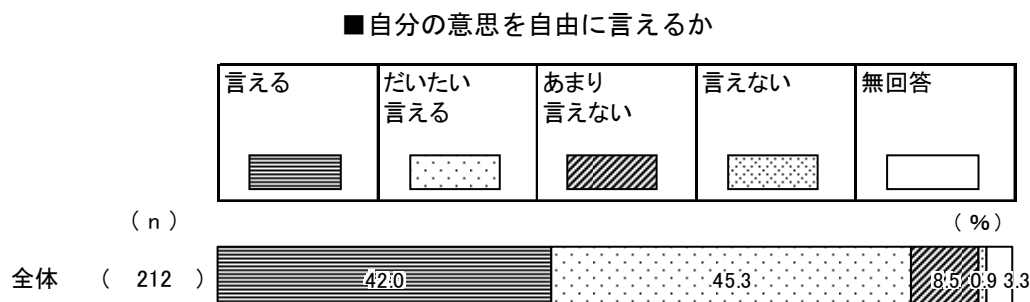
問16 あなたは、地域や団体で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを取り入れていますか。

「取り入れている」が最も多く66.0%、次いで「ときどき取り入れている」が22.6%、「あまり取り入っていない」が4.2%となっています。



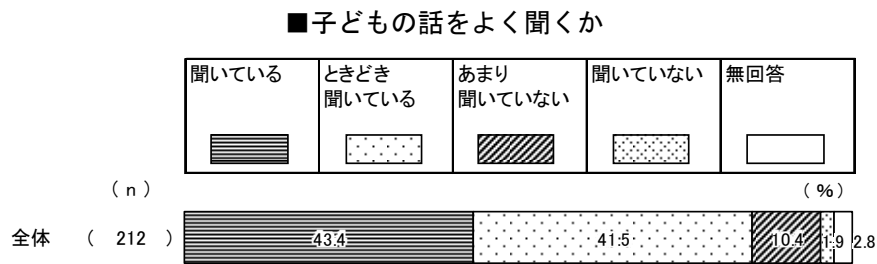
問17 あなたは、地域や団体で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、自分の思いや考えを自由に言えますか。

「だいたい言える」が最も多く45.3%、次いで「言える」が42.0%、「あまり言えない」が8.5%となっています。



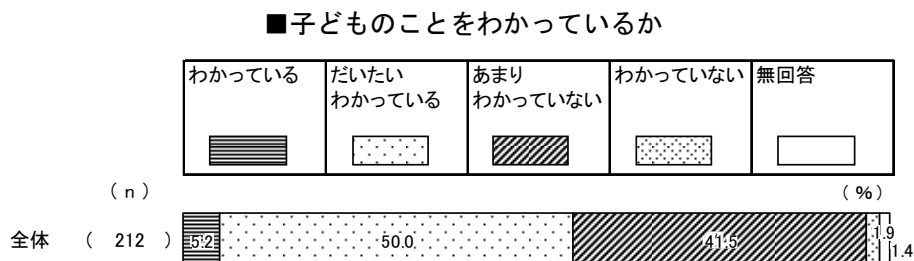
問 18 あなたは、地域や団体の活動で、子どもの話をよく聞いていますか。

「聞いている」が最も多く 43.4%、次いで「ときどき聞いている」が 41.5%、「あまり聞いていない」が 10.4%となっています。



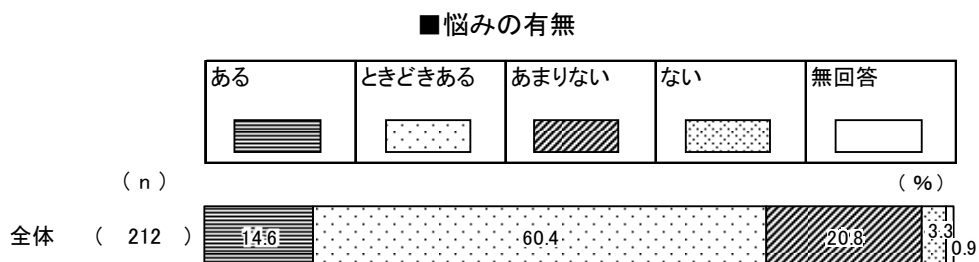
問 19 あなたは、地域や団体の活動で関わる子どものことをわかっていると思いますか。

「だいたいわかっている」が最も多く 50.0%、次いで「あまりわかっている」が 41.5%、「わかっている」が 5.2%となっています。



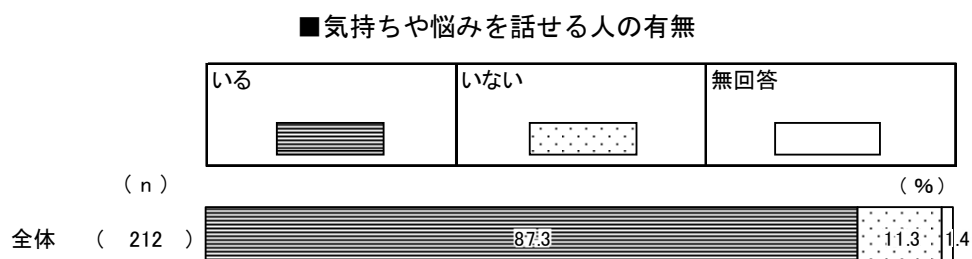
問 20 あなたには、団体の活動をする上で、悩みがありますか。

「ときどきある」が最も多く 60.4%、次いで「あまりない」が 20.8%、「ある」が 14.6%となっています。



問 21 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人がいますか。

「いる」が 87.3%、「いない」が 11.3%となっています。

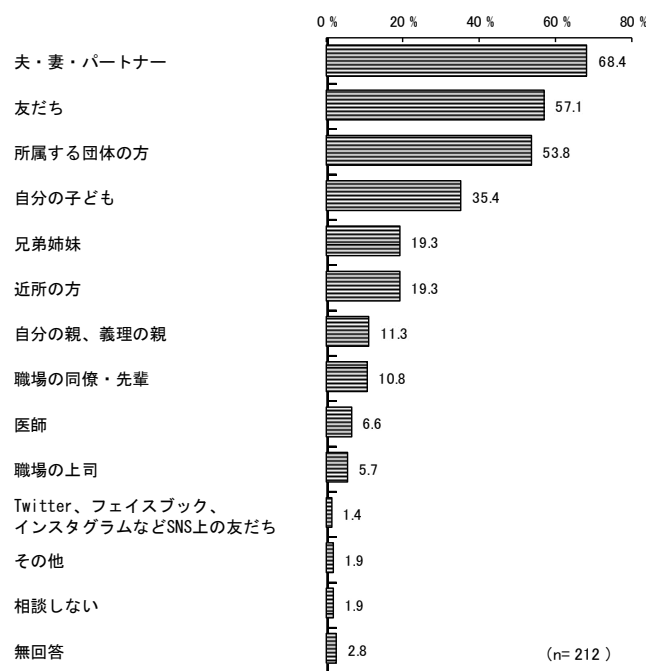


## 5 相談相手・機関について

問22 あなたは困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら誰に相談しますか。

「夫・妻・パートナー」が最も多く68.4%、次いで「友だち」が57.1%、「所属する団体の方」が53.8%、「自分の子ども」が35.4%、「兄弟姉妹」が19.3%となっています。また「相談しない」が1.9%となっています。

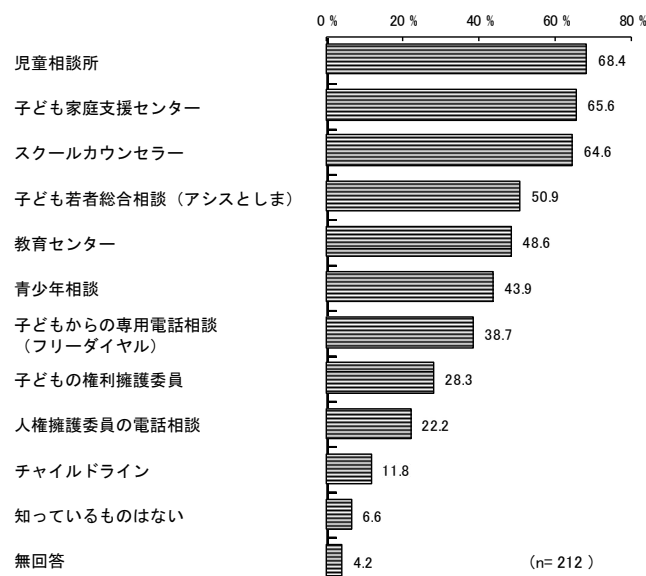
■相談相手（複数回答）



問23 次のような子どもの相談を受けてくれるところを知っていますか。

「児童相談所」が最も多く68.4%、次いで「子ども家庭支援センター」が65.6%、「スクールカウンセラー」が64.6%、「子ども若者総合相談（アシスとしま）」が50.9%となっています。

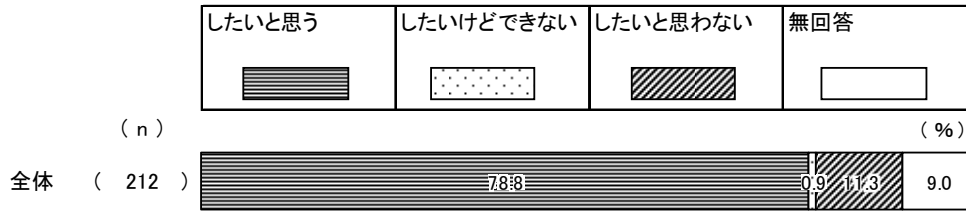
■相談場所の認知度（複数回答）



問 24 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。

「したいと思う」が最も多く 78.8%、次いで「したいと思わない」が 11.3%、「したいけどできない」が 0.9%となっています。

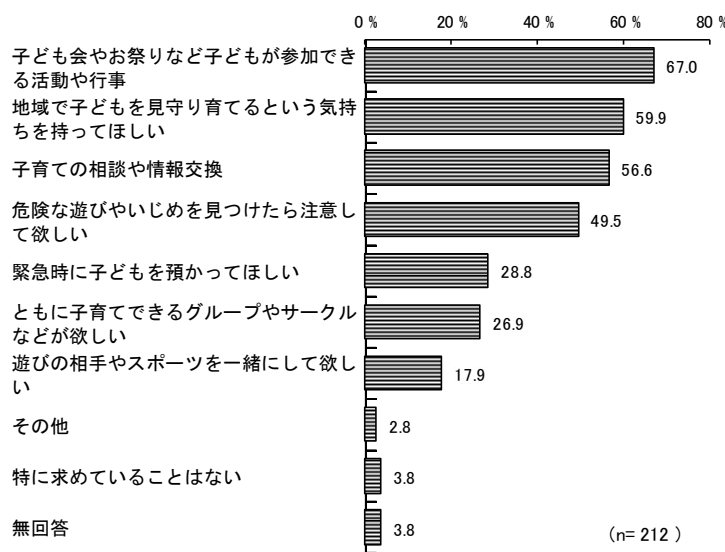
■困ったり悩んだりしたときの相談希望



問 26 地域や所属する団体の活動などを通して保護者の方と接する中で、保護者の方々が子育てをするにあたって地域に求めていることは何だと思いますか。

「子ども会やお祭りなど子どもが参加できる活動や行事」が最も多く 67.0%、次いで「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」が 59.9%、「子育ての相談や情報交換」が 56.6%、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意して欲しい」が 49.5%となっています。また「特に求めていることはない」が 3.8%となっています。

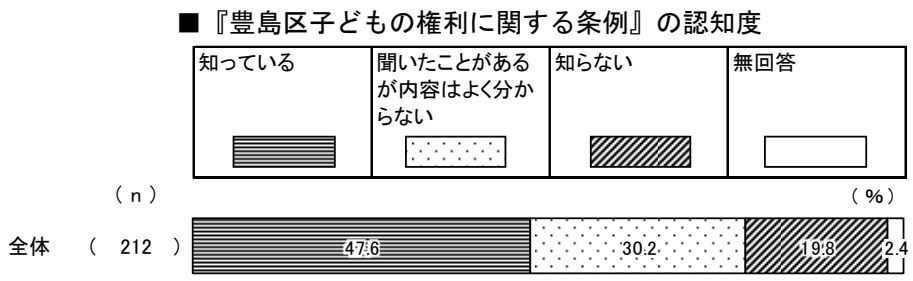
■保護者が子育てについて地域に求めるもの（複数回答）



6 『子どもの権利条例』について

問 28 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。

「知っている」が最も多く 47.6%、次いで「聞いたことがあるが内容はよく分からない」が 30.2%、「知らない」が 19.8%となっています。

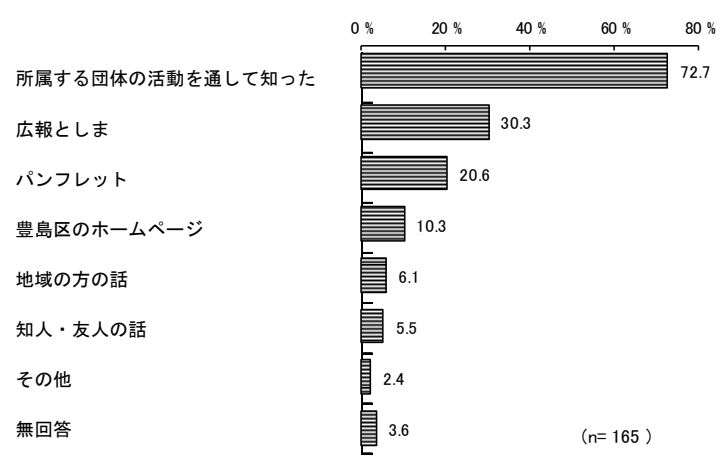


【問 28 で「知っている」と「聞いたことがあるが内容はよく分からない」と回答した方】

問 28-1 どのように知りましたか。

「所属する団体の活動を通して知った」が最も多く 72.7%、次いで「広報としま」が 30.3%、「パンフレット」が 20.6%となっています。

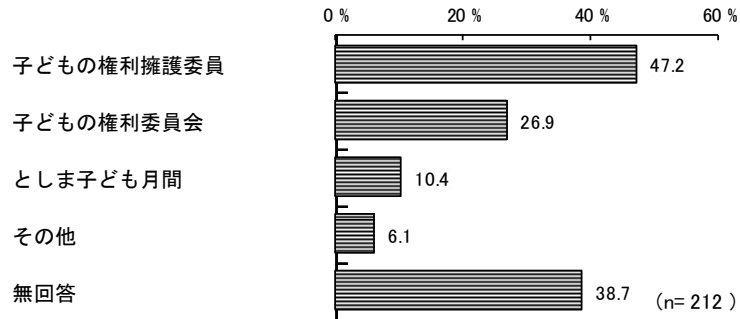
■ 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知った情報源（複数回答）



問 29 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。

「子どもの権利擁護委員」が最も多く 47.2%、次いで「子どもの権利委員会」が 26.9%、「としま子ども月間」が 10.4%となっています。

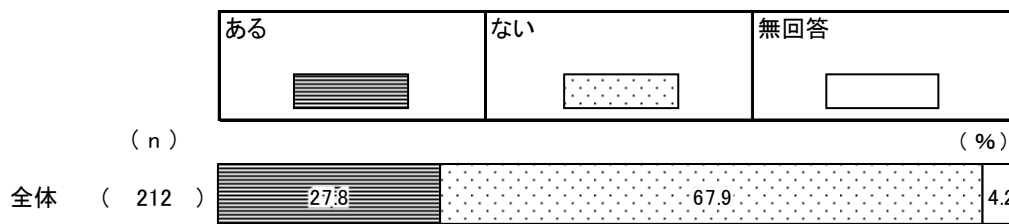
■子どもの権利に関して知っていること（複数回答）



問 30 あなたの所属する団体や地域で、あなたが「子どもの権利」を学ぶ機会がありますか。

「ない」が 67.9%、「ある」が 27.8%となっています。

■あなたが「子どもの権利」を学ぶ機会の有無



## IX 自由記述

調査の最後に、下記について自由に記載していただきました。

- ◎保護者…子育てに関して日頃感じていることや悩みごと、お子さんを育てている上で気をつけていること、豊島区への要望事項等
- ◎小学4～6年生・中高生…区役所にやって欲しいこと、あなた自身がやりたいことなど
- ◎若者…子ども若者施策について、ふだん感じていることやご意見・ご要望
- ◎区施設職員・地域団体…子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どのようなことが大切だと思いますか

それぞれ、項目ごとに分類・整理を行い、掲載しています。ひとつの記述が複数の項目に該当する場合、可能な限り、それぞれの項目に掲載していますが、分けられない場合ははじめのご意見の項目に分類しています。また、同じような趣旨の記述は、省略している場合があります。なお、記述から回答者が特定される可能性がある場合や特定の人に対するご意見は割愛させていただきました。

※原則、原文のまま掲載していますので、誤字や事実誤認が含まれている場合があります。

### I 就学前児童保護者

#### 1 子どもの権利

○子どもをひとりの人として、権利の主体として、できるだけ尊重するように接して子育てをしようと思っ  
ている。また、否定するのではなく、まずはやってみせ  
て、その後にほめたり、注意したり、一緒に考えたり  
するようにしている。子どもの安全に関しては特に気

をつけている。(車、自転車等)「子どもは親のもの」  
という意識・価値観から、「社会全体で育てる」「子  
どもひとりひとりも大人と同じ人であり、対等であるこ  
と、子どもの権利は尊重されるべきもの」という共通  
認識が社会全体に広がればよいと思う。

#### 2 いじめ

○これから小学校にあがるので、いじめの問題だけは心  
配、先生方に良く見ていただければ助かります。  
○小学校でのいじめは、大人が目につかない所でおきて  
います。それらを見抜けるスペシャリストのような方  
が定期的に学校に様子をみに来るなど、子供たちを助

けるシステムが増えたらいいです。

○子供には他人の気持ちを考えられる子になってほしい  
が、優しすぎると小学校以上でいじめられないか心配  
になってしまう。小・中学校でいじめに対してしっか  
り対策されているのか気になる。

#### 3 不登校・ひきこもり支援

○不登校児への支援はありますが、評価されないのが残  
念に思います。例えば適応指導教室に通って勉強や校  
外学習を頑張ったとしても、学校の通知表には評価が  
つかず空欄になります。出席日数にカウントしてい  
ただけるのはありがたいが、子どもは空欄の通知表では

やる気が出ません。学校と連携して通知表を作成する  
のが難しいのであれば、せめて指導教室で通知表を作  
成していただくなど、新たな場所で頑張ろうと思う子  
どもの気持ちを育てて伸ばしていけるような評価体制  
があったら良いなと思います。

#### 4 屋外の遊び場所

○公園の広さ、遊具の充実度は劣る。区民ひろばなどの  
乳幼児には環境は整っていると思う。安全ばかりが行  
き過ぎて、遊具が少なくなってきたのは残念だ。  
安全も大事だが、もっと高く登る、すべるなどの遊具  
が必要である。事故が起こるのは親の責任でもある。  
○ボール遊びができない公園ばかり。もっと子ども用の  
公園を整備してください。  
○大きめの公園は整備が行き届いているが、小さい昔か  
らある公園は、遊具など昔のままで、殺伐としている。  
小さい公園も、緑が多く、遊びたくなるような整備を  
してほしい。  
○北区の公園に遊びに行くことが多いです。豊島区の公

園で飛鳥山と同じくらいの規模と遊具がそろっている  
場所があればいいなと思います。池袋の造幣局跡地に  
期待します。

○子供と一緒に走って遊べるような公園がもっとあると  
よい。近所の公園はととも狭い。土の上を歩いたり、  
虫をつかまえたりといった体験を子供にもさせてあげ  
たい。

○公園の整備をお願いしたい。建物の裏で日陰だったり  
して冬は寒く夏は蚊が多く、働く人のタバコ休憩ス  
ペースとなっており、子供を安心して遊ばせられない。

○犬・猫など動物とのふれあいを積極的にもたせてあげ  
たいが、ドッグランなど外で子供と動物が楽しめる施



- 設が豊島区には少なく感じた。
- 公園が不衛生で、雑草も整備されていない。池袋病院の裏にある公園はホームレスがベンチで寝泊まりしており、遊具で洗たく物（衣類、下着）を干しているの、子供を遊ばせるのに不安がある。
  - 公園のトイレが汚すぎて使用できない。千早第二公園やフラワー公園など、早急に改修してほしい。
  - 子が安心して遊べる広い公園がほしい。南池袋公園は良い公園ですが、地下に高圧変電所があるのは安心できず、公園の面積に対し人が多すぎ、芝生の養生のため入れない期間が長すぎ、子どもの遊具がある場所は狭く、石のすべり台はケガする子が多い。
  - プレーパークのような見守りのスタッフが常駐しつつ、子供がのびのびと自由に遊べる場所をもっと多くつくってほしい。プレーパークの職員を増やすためにも、待遇をupしてほしい。・造幣局跡地の公園を、子供目線につくってほしい。野外コンサートなど必要なく、子どもがのびのび遊べるわくわくランドのような公園にしてほしい。大きな複合遊具をつくってほしい。
  - 池袋駅周辺は赤ちゃんや子供が遊べる場所が少ない。授乳スペースが少ないと出掛けるのも大変。
  - 自宅の近くには南谷端や北谷端公園があり、遊ぶのには充実している良い環境だと感じている。雨の日はサンシャインで過ごしている。
  - 最寄りの公園（巣鴨公園）は、夏になるとものすごい数の蚊が発生します。改善して頂けるとありがたいです。あと、巣鴨公園の時計がずいぶん前から時間がずれています。調整をお願いします。
  - アスレチックや巨大遊具のある公園があると良いと思う。電車に見える公園は広いのに遊具は小さいし、草がボーボーで走り回る事も出来ない。広場がかなり広いのでそこに巨大遊具を設置してほしい。
  - 公園の遊具の破損が気になります（高松第3公園）。すべり台等すべりにくく落ちそうになりました。
  - 近所の公園では、ボール遊び禁止ですが、いつも小学生たちが野球やサッカーをしています。2才の息子にボールが飛んできたらと思うと、こわくて遊べません。雑司が谷一丁目公園の砂場エリアのさくをもっと高くしてもらえると、砂場の中では安心して遊べるので、対応願います。
  - 駒込、巣鴨には子どもが楽しく遊べる公園がなく、あっても遊具が古い。ただ広場になっているだけの土地にはせめてブランコでも置いてほしい。
  - 水あそびできる公園が無くなってしまい悲しい。
  - 新しい公園ができて防災公園ばかりで楽しいアスレチックのある公園が少ない。
  - 住宅街にある小さな公園の整備が不十分で子供があそべないような場所が多々見受けられます。シニアボランティア等で地域の清掃をされてはどうか。通学時間以外は、人通りも少なく戸外で活動している人をあまり見ないので防犯の啓発にもなるのではないかと。
  - 自転車の練習ができるような広場（スペース）が欲しい。
  - ボールをけったり、お弁当たべたり、バトミントンしたりできる公園がほしい。あとBBQできるような設備も。
  - 近くの公園で、男性トイレには座ってする座器がないのか、普通の男性の方がオムツ替えトイレに入っていて、中々空かずに待つことがある。西池袋公園も遊具が増え、使いやすくなったが、ベンチが少なく、トイレが狭く、オムツを替えにくい。また砂場があると嬉しいです。
  - 公園におむつ替えスペースを付けて欲しい。
  - 子供用のトイレを公共の場に作ってほしい。
  - 公園で小学校高学年などと遊ぶ時間が重なるととても危険です。乳幼児スペースなどがあるとありがたい。
  - 目白の森のような所に、どろんこ広場をつくってほしい。
  - 南池袋公園は芝生が気持ちよいし遊具も使い易く、休日出かける先も増えてよいです。周辺でたまにやっているマルシェも楽しみです。
  - 上池袋周辺は公園が多く、あそび場には苦労しません。ぜひ利用しやすい公園を守ってほしいです。公園のトイレがどこもキレイなのでとても助かります。
  - 西池公園の日曜PMに、中国語交流団体が幼児の遊びスペースを占有しているの、下のスペースに移動してもらうことはできませんか。
  - 公園には警備の人を一人は置いてほしい。

## 5 居場所・活動の場の整備

- 豊島区にクラブ以外で使えるプールが無いことにビックリしています。区立のプールがあるスポーツセンターが西池袋付近に出来て欲しい。
- ボール遊びできる場、雨の日の遊び場（スキップは狭く、遊びにくい）が欲しい。他の区は、大きい児童館があります。施設も整っているので子どもたちも過ごしやすく（雨の日、真夏、真冬等）、親も安心して遊ばせられます。
- 豊島区と民間の企業等がコラボして、子供達が雨の日でも遊べる様な施設があったらと常々感じます。乳幼児、低学年・高学年と、子供のうちは、身体の差も大きく、皆が同じ場所だというのも無理なことです。これからも豊島区に、子育て世代の方達がたくさん入ってきて安心して子育てができ、子供からお年寄りも皆が参加し、関わり合いながら豊島区全体が活気のある街でありますように宜しくお願いします。
- 祝日に、ひろばが全て閉まっているので、交代で開館してほしい。
- 区民ひろばが土日開館していてとても助かります。気軽に育児相談ができれば、もっといいなと思います。
- 区民ひろばはイベントが充実しており、とてもありがたい場所です。
- 子ども家庭支援センターは遠いので、区民ひろばがもう少し乳幼児やその保護者が利用しやすいようになってくれるとありがたい。
- ママ友の集団が苦手。気を遣ってしまう。同じ月齢の子が集まれるようなイベントなどを区民ひろばで行っ

- てもらえると嬉しい。
- 育児休暇中、区民ひろばを利用したかったが、階段のある2階ばかりで、子が双子なので利用しづらかった。  
(インターフォンで呼んでもらえたら下まで迎えに行きますとは言われていましたが) 1階にするかエレベーターを設置してもらえると有難いです。
  - ひろばによってスタッフの方の差が激しいなど感じています。朋有のひろばのスタッフさんは、子どもの名前を呼んでくれたり、遊びに行くと1回は子どもに話しかけてくれます。子どもも、朋有のひろばが大好きです。
  - 妻が子育てひろばなどに行くと、不満をもって帰ってくる人が多い。職員の対応の未熟さがほとんどで非常にかかりしている。悩みをもっている、不安をかかえている人間もいることを意識した対応、区のサービスとしてホスピタリティの向上を求めます。
  - 区民ひろば清和第二は、とても居心地がよく平日はほぼ毎日利用させてもらっており、とても助かります。広くておもちゃも充実しており、同じ規模の区民ひろばがもっとあると嬉しいです。
  - 保育園に入る前までは、「子育てひろば」に大変お世話になりました。乳児期は、公園よりも屋内の方が安心して遊ばせることができ、また、育休中に一人でもんもんとしている時にひろばで出会ったお母さんたちとの会話はとても良い息抜きになりました。
  - 南池袋の区民ひろばを利用しています。三輪車などの乗り物に乗れる日が限られているのが疑問。2~3才になったら、体を使って遊ばせたいです。
  - 区民ひろばでの親同士コミュニケーションをとれる場、サークル等の実施を望みます。支援センターでは月1回ミッフィータイム等がありますが、内容の充実よりも、週に1度集まる場がある方が、顔見知りになり話がしやすいです。荒川区や新宿区は、週1の2才児クラスやサークル等が充実していると聞きます。豊島区では、ママ同士の交流の場が少ないと思います。
  - 未就園児に対してもっと参加できるプログラムを作してほしい。板橋の児童館は年齢でクラス分けをしていて毎日プログラムを実施しています。区民ひろばや支援センターは板橋児童館を見習った方がいいです。
  - 小学生と幼稚園児がいると、土日の遊び場に困る。区民ひろばは小学生になると遊べる時間が決まっているので、一緒に過ごせない。
  - 区民ひろば西池袋は年輩向けに充実しているが子育て世帯向けでない。紛失した区民ひろばカードを再発行しようとしたら作った区民ひろばでないと言われ、そこは家から遠いため作れず、足が遠のいています。何とかしてください。
  - 区民ひろばの職員の子供に対する対応の仕方、口調に厳しいものを感じる。ルールも大事だが、子供の経験不足にならないのかと疑問も残る。
  - もう少し、区民ひろばのプログラム(無料)が充実してほしい。
  - 近所のおばあちゃんおじいちゃんとの関わりはどうしたって減りました。保育園や区民ひろばなどで年配の方々に会えたり接すると助かりますね。
  - 子育て支援センターは利用したかったですが、近くにない上に駅から遠く、赤子を連れて行ける気がしませんでした。区からの選べるプレゼントは嬉しかったです。
  - 区民ひろばや支援センターのイベントは0、1歳向けがほとんどで、2、3歳児向けが極端に少ない。
  - 区民ひろばは大きくなると、小さい子へ配慮しなければならず、おもちゃも小さい子向けであり、利用しづらくなるなど感じる。
  - 区民ひろばは老人のいこいの場にはなっているが、児童館の時のように子どもが誰でもいつでも自由という雰囲気はなく、専門家もいない。スキップ以外で小学生くらいの子も達が自由に遊べる、学校と切りはなされた施設を検討してほしい。
  - 区民ひろばには小学生の居場所があまりない。スキップも手狭。小中学生が遊べる広い施設がほしい。
  - 支援センターにいくと体調を崩すので、利用する全ての人の体温を測定する等の対応をすると良いなと思います。(熱海市の支援センターでは導入しており、良い制度だと思いました)
  - 支援センター等で行われているイベントの定員を増やしてほしい。
  - 赤ちゃんの頃に子育てひろばを利用していたが、常連の方とかが固まって遊ばせづらいと思った。職員の方も少なく、相談したくてもなかなか言いづらい雰囲気もあり孤立していた時期もあった。
  - 図書館はイベントをたくさんしていてありがたい。
  - 遊ぶ場所があまりに少ないと思います。学校の校庭ですら工事中で使えず、子供たちがあまりにもかわいそうです。図書館も近づくなく、スポーツ公園のグラウンドも、開放日は大人や高校生が陣取っていて、小さい子、小学生が遊べません。
  - 足立区にあるギャラクシティのような、ホールや子供の為のあそび場・公園・図書館などの複合施設が豊島区にもあれば嬉しいです。
  - 休みの日に子供を遊ばせられる、新宿区のおもちゃ美術館のような場所ができてほしい。
  - 有料でよいので、子どもを安心して遊ばせられるきれいな公園や施設があるとよいと思います。
  - 区にある企業の子ども参加イベントや見学などの案内が欲しい。実施が少ないので区外に行くことが多い。区民ひろばもお年寄りが多く子ども向きとは感じられない。
  - 豊島区の子どもの会が少ない。双子をもつ母親にしか分かってもらえない悩みもあるので、もう少し交流機会があると良い。
  - 豊島区でまとめて、土地を借りて、じゃがいも掘りなどができる場所があってもいいと思います。

## 6 保育園

- 上の子の時にはずっと自宅から離れた認証保育所に通っていたため、下の子を2才から自宅そばの認可保育所に通わせることができ、感謝しています。延長保育にとっても助けられています。特に学童保育を19時まで

- でやっていただけるのは、とてもありがたいです。なかなか難しい問題ですが、過酷な日々の仕事の時間をもう少し短くして、父母共平日子どもに接する時間をとれるようにできたらと思います。
- 保育園に入りやすかったので助かりました。区役所の人の対応もよく、親切でした。おかげさまで4月より新生活をはじめられています。
  - 現在上の子を3才までの保育園に通わせています。が、転園先の保育園で3才児クラスの枠が増えていない所が多く、転園しづらいという印象です。3才児クラス枠も増えたらありがたいです。
  - 認可保育園から自宅まで距離があり、非常に負担に感じています。0歳で入所するため、徒歩で15分以内まではと思って選択しましたが、毎日往復で30分は大変です。保育園に不満はなく、むしろ一度入れた園をわざわざ変えるのはさらに負担感が強いので、最初から近い園に入れておけばよかったと今でも思っています。
  - 下の子の保育園が遠く送迎に苦勞している。転園届を出しているが、待機児童が優先されるという偏った制度の為、まだ希望が受け入れられていない。例えば、兄の保育園に枠が空いて、その枠に下の子が入り、下の子が前に居た保育園に待機児童を入れれば、1つの枠で2名分の要求が満たされる。1つの枠に待機児童を優先させてしまうと、1名分しか解決出来ず、転園希望者は増える一方である。マニュアルにとらわれず、フレキシブルに対応してほしい。
  - 日曜も時々仕事があるので、本当は日曜も保育園がやっていたらうれしいですが、先生達の負担を考えると仕方ない気はします。休日保育の場があることも知っていますが、慣れない場所での保育はまだ心配で利用したことはありません。
  - 保育園がたくさん新設されていくが、保育の質について不安な点もある。認可保育園でも、年度の途中に保育士の人数が減ったりするのは、安心して預けられない気がする。
  - 共働きなので、豊島区が保育園整備に力を入れていることをありがたく感じています。3歳の子は現在小規模園ですが、丁寧にみていただいていると日々感じますし、来年度の転園も近くのいずれかの保育園には行けそうかと安心していきます。都内の他自治体に住む会社の同僚や友人とくらべて、安心して仕事と家庭を両立できるところだと思います。
  - 区で保育園の整備をすすめてくれたおかげで、待期児童になることなく保育園に通うことができ、とても助かっています。また、通っている保育園の先生方、施設もとてもよく感謝しています。今年度からおむつの持ち帰りもなくなり、ありがたいです。
  - 働いているママだけでなく、働いていないママも保育所へ入れるようになってほしい。働いていないママも、求職中だったり、介護や家庭の事情を抱えている場合があるから。
  - 区立の保育園での知育教育を充実させてほしい。(英語・リトミック・体操 e t c) 週2の会社の休みに習い事についてしまうと子供と遊ぶ時間をもてないので、預ってもらう時間を有効的に使いたい。
  - 保育園がたくさんできたのはよいかもわからないが、園庭がない多数の保育園が公園などを午前中に利用しており、公園の遊具や運動場が保育園の子に占領されてしまい、親子で来ている一般の子が遊べない。保育園の子にいじわるをされても保育士さんは見ていない。保育園は保育園で遊び場を作るべき。
  - 自営業の方が虚偽の労働時間を提出して保育所に預けて、日中、お出かけしたりして自由にしている。しっかり調査して正しく判定してほしい。
  - 保育園の考え方によっては「就労している日以外は預かりません」という方針のところも多いようだが、平日の休み(有休含)にリフレッシュや用事をすませたい時に快くあずかってもらえる雰囲気があると良いと思う。・私は非常勤で育休を取得しましたが、育休給付金はもらっておらず、そのため認可保育園入園の際に“育休ポイント”がつかせませんでした。給付金はなくとも、きちんと法律で認められた休みなもので、多様な働き方に配慮した点数設定をしてほしかった。・仕事で忙しく、子育て情報を調べる気がなかつたりするので、園からのおたより等、強制的に目にふれやすい形で子育て情報を発信してもらえると有難い。
  - 休日保育可能な保育園を増やして欲しい。日曜日でも保育可能な園が自宅から遠く、送迎や仕事場までの移動距離を含めると難しい。また、お願いしたい時もなかなか予約が確定せず、結局予定がたてられなく、ほとんど休日保育を利用できなかったことがない。また18時終了を考えると、移動時間も含めて迎えは難しく、仕事の両立が出来ない。
  - 認可保育園を利用させていただいていますが、リフレッシュ時間や仕事・通勤時間以外は保育してくれない事が精神的にプレッシャーです。先生方がおっしゃる「子供を預けるのは親の勝手です子供は1分でも長く親と過ごすべき」というのもわかりますが、小規模や認証では対応が違いすぎる様に思えます。先生方も沢山の児童をみているためかイライラし、言葉態度になって表れている事も多く思えます。先生方の処遇改善をお願いします。2才になる前に担当の先生から「発達障害」と言われ、かなり落ち込んだ時期がありました。活発すぎ、先生方には手のかかる子なのでそう言って切り捨てたい気持ちもわかりますが、私も時々イライラし口で言ってもくり返す時は手をペチンとたたく事もあり反省してしまいます。
  - ワンオペ育児がキツイ。保育園も、預ける事に対して、罪悪感を持たせるような発言をしてくる。認可保育園は、子供におもちゃを与えて部屋で遊ばせているが、教育的な事(文字、音楽、運動等)は家庭で、というスタンスなので、私立ほどの内容は無く、習い事をさせる為に、家族の時間が減る一方です。お金もかかります。
  - 実質的な待機児童がゼロになるようにしてください。年度途中にも入園できる制度にしてください。
  - 保育園に関する情報が少ない。直接園に電話するなどシステムが旧態依然としている。申込みも、手書き、直接窓口へ申込み、連絡は電話など、大都市を抱える自治体にしては大変アナログな印象を受ける。
  - 保育園選びがもう少し楽になるように、各園の見学可能日、申込などを区のHPなどでまとめてできるようにしてほしい。書類の書き方や、FAQなどもHPにのせておいてほしい。

- 保育園が増え続けている事は良いですが、特に0、1、2、3才児の保育士を増やして頂きたいです。公立の保育士の年齢が高いので、均等に分けて頂きたいです。
- 双子を育てていますが、別々の保育園に通っている状況で、保育の教育方針が違いすぎて成長に差が出ているのが悩みです。同一園への転園申請は出し続けていますが、別の子が同じ園から希望の園に転園しているのをまのあたりにし、すごく気になりました。
- 特に雑司ヶ谷に保育園が少ない。新しくできて園庭がない。旧高田小学校を公園にするなら雑司ヶ谷公園を保育園にしてほしい。
- 豊島区の保育園もバス希望！北区の園が、池袋を循環している。
- 認可保育園の配置について、区内でもかなりのバラツキがある。入所予約制度について、メリットが中途半端であり、意図が不明確。2月4日以降に生まれる子に対するの救済はないのでしょうか？早生まれが保育園入園に不利な状態を改善すべき。入所予約制度の意味がない。その1人の枠をより有効にするべき。
- 年中、水筒を持って行くようになり、おやつも年少は手作りの時もあったが、今は市販品。調理員の負担軽減のために親に負担をかけているようにしか思えない。
- 来年のGW10連休は開園していただけるのでしょうか。保育がなければ失業にもなりかねない。日祝を受け入れできるように考えて下さい。子供の健康の為に身体にやさしい食べ物を提供して下さい。歯垢染色剤は、添加物です。他の区のように事前に使用可否を親にきいてからやって下さい。
- 保育所の待機児童ゼロを達成いただいたことが、非常に心強く、仕事（親の自己実現としての）を続けながらいつか第2子を出産したいと安心して思えるのでありがたいです。
- 巣鴨駅付近は、区境のせいか認可保育所が少なく、また最低内定指数も高い。巣鴨駅付近に新規の認可保育所を強く望みます。
- 希望した保育園に入れずで悲しいです。以前テレビでも取り上げられたように暴言吐きたいくらいです。新設園はどんどんできて良いが、保育士の人数が少なかったり、若い先生が多く、保護者対応がしっかりしてもらえず、公立園は年配の方が多く若い人が少なくがっかりです。もっと色々な風を吹き入れてほしい。
- 保育園は希望園に入れる場合だけではないので、区役所に苦情をきいてくれるところがあってもいいのではないかと。園に直接言うと角が立つので。4月末で産休に入る方がクラスのリーダーの先生だなんて正直びっくりした。もう1人は新任の先生。豊島区は必死で待機児童問題にとりこんでいるが、園の質がおちているのでは？ 転園したくてもできない。
- 保育料の無償化はいらぬので、保育施設の充実、保育士さんの待遇改善をしてほしい。
- 子（第2子）が居宅型保育を利用しているが、質が低い。区役所に何度相談しても改善されず、親としては精神的にかなり負担になっている。早く保育園に入園させて頂きたい。
- 保育園が選べないのに、保育園毎の環境や保育者の人数や質、イベントなどが違いすぎる。区である程度決めてほしい。申し込みの際に保育園入園グループの担当者によって対応が違うと不公平感がある。保育園は、育休中に転園（上の子の）ができない。転園したい園に空があるのに、育休中で転園できず、区外の人がある希望園に入園できるのは、おかしいと思う。
- 子供が小さいうちは、短時間勤務を希望していますが、認可保育園には指数が不足し入園できそうもありません。自由な働き方が出来る様、認証保育園を増やして欲しいです。
- 保育園が増えているなど、本気で取り組んでいただいている実態があります。これからも期待しています！
- 保育園での英語に触れる機会の創出を望みます。
- 保育園で入退室のIT化がされてから、先生達がスマホやタブレットを見ている事が増えて疑問。導入を補助したからにはその後の使用方法についても指導して欲しい。保健所の指導で園内水遊びがなくなった。他園と協力してでも行ってほしい。
- 保育園の延長保育を20時までにしてほしい。
- 小規模保育施設より6歳まで通える保育所を作ってほしい。第一子が認可保育所に通っていて、第二子出産後2カ月で保育所が決まらないと第一子が退園になる制度はできれば廃止してほしい。
- 保育園の園庭は開放できないか？
- 自営業の保育所申し込み書類の準備が大変すぎる。

7 幼稚園

- 豊島区の幼稚園は区の方針で園バスがないですが、不便に思います。園バスがない理由は、親とのスキンシップの為なののでしょうか？でもお友達や先生と一緒にバスに乗って、というのは幼稚園の時にしか経験できないことだと思うのですが。せめていくつかの園だけでも、園バス通園のある幼稚園があればと思います。
- 現在子どもは私立幼稚園に通わせていますが、家から歩いていける距離に公立幼稚園があれば、公立に通わせたいと思っていました。公立幼稚園がなくなった区もあり、将来的には認定こども園が増えていくのだと思うのですが、公立幼稚園の教育のよさを感じますので、ぜひ増やしていただきたいなと思っています。
- 南池袋、東池袋に幼稚園が少ないです。幼稚園が音大附属1園しかないのに、インターナショナルが5園もあることが変だと思えます。幼稚園の選択肢がなかったのが残念でした。
- 幼稚園の情報が少なく、数自体も少ない。また、園バスもないため通うのが大変。北区のように、HPに幼稚園の情報の一覧をまとめて載せ、園バスのある幼稚園を増やして欲しい。
- 保育施設は増えているが、幼稚園が少なすぎる。私立幼稚園は少ないし兄弟枠があり一人目はきびしい。近くに幼稚園がないから、どうせ遠くに通わせるなら園バスのある北区か自転車か公共交通を利用する文京区へ流れてしまう。私立幼稚園の補助金も少ない。
- もう20年近く豊島区に住んでおり、これからも豊島

区に住み続けるつもりです。このところ、たくさん保育所ができていますと思いますが、保育所を必要としない、幼稚園へと考えている親からみたら、幼稚園への支援も必要なのではないかと思います。母親が働きやすくする区作りより、母親が、働かなくても安心してすごせる区作りをしてほしいです。

- 区立幼稚園を増やし、2年ではなく3年保育にして欲しいです。
- 幼稚園の預かり保育の時間が短く、申し込みできない家庭も少なくありません。
- 今年は上の子の幼稚園探しに非常に苦戦致しました。公立の幼稚園を希望していましたが近くにはなく残念でした。公立・私立共にまずは情報の入手方法がわかると助かります。現在の環境は、近隣も落ち着いており気に入っております。
- 以前、子どもを幼稚園に入れたいと思ったことがあり、プレ教室に入った後の面接で「保育園に入っていて就労しているのであれば、それがお子さんにとっても幸せで、幼稚園には向かない」と言われた。共働きの親は、幼稚園に入れたいと思うこと自体を否定されたよ

うに感じた。

- 保育園から幼稚園利用に切替えるか検討中なので、幼稚園の預かり保育、教育の充実、幼稚園バスの利用などにも、充実したラインナップが欲しい。幼稚園もお弁当持参が当たり前、親が交代で給食を作るなど、親の負担が大きい。親は子供の保育に関わるのは当然という姿勢でなく、幼稚園も保育園のような連絡体制、受入体制を整え、もっと親のここと子供のこことを考えてほしい。
- 幼稚園の園庭がどこも狭く、自由時間にもう少しお友達みんなまで走りまわって運動を通してのコミュニケーションが出来るといいなと強く感じます。体を使った遊びのふれ合いがもう少し多くあれば、友達関係も変わるかなと思う今日このごろです。
- 幼稚園教育にもっと力を入れて下さい。全員が保育園を希望しているわけではありません。
- 幼稚園の数が保育園に比べると少ないので、選択肢が増えると良いと思います。区立と私立で費用が異なるので、差が縮小すると良いと思います。

## 8 子育て支援サービスの充実

- 親の就労状況の変化に関わらず幼児を同じ環境（園）に通わせられるとありがたい。→認定こども園をもっと増やしてほしい。
- 保育園は増えても、園庭があり、教育内容が充実している園は少なく、幼稚園やこども園が全く増えない。幼稚園に通う家庭には支援が少ない。せっかく大きな土地が空いても、増えるのは老人ホームや学校ばかりという印象がある。園庭があり、保育的事業も充実したこども園をつくってほしい。通える場所に公立幼稚園も欲しい。
- 働くママが増えている中で、学校のPTA、幼稚園保育園のお手伝いなどは、昔より子どもの数が減っているのにそのままではないかと感じました。子ども達が入学する頃には、もっと合理的になっていてママたちの負担が減ることを願います。
- 優秀な職員を集める為にも、保育園などの職員の賃金を上げて下さい。
- 保育園に通う子どもと幼稚園に通う子どもでは、教育の幅が違うことを感じます。幼稚園は屋過ぎに終わるため、その後習い事をしている子どもが多く、保育園児でも出来れば幼稚園に通う子と同じような「教育」を受けさせてあげたいが、習い事は土日になってしまう、土日はゆっくり子供と過ごしたいのが本音です。もちろん、保育園でもプールやダンス等のご指導をいただいていることは知っていますが、もし平日の保育園で、外部講師を招くような習い事的なことをしていただければ、お金を払ってでも参加させてあげたい。
- 入園前は、私自身がカゼをひいても、子供をつれて病院に行く事ができず、健康診断にも行けませんでした。気軽に、2～3時間子供を見てもらいたい時に、簡単に、直前まで予約できる様な環境があったら嬉しかったです。大きな病院の中に、当日預かりのサービス（診断中に待合室で子供と一緒に待っていてもらう）などがあったら助かります。
- 子ども家庭支援センターの一時保育だけでなく、近所の保育所などで一時保育が利用しやすくなると良い。ほとんど空きがなく予約がとりづらい。
- 多胎児の母親でも、仕事探し、保育園探しをもっと気軽に出来るよう、子供をハローワーク内や区役所内で預かってくれるような支援が欲しい。
- 母親が病気にかかったときなどに、預けることが出来る緊急シェルターがあればいいと思う。フルタイム家庭の支援を望む声も多いと思うが、私の家庭で感じたのは、スキマ保育的な充実です。
- 子供を叱る時に叩いたり、心を傷つける様な言葉をしてしまうのはなるべくしたくないとは思っているのに、どうしてもイライラすると「何で何度も同じ事を言ってるのに分らないの」と思ってしまいやっしまいます。心に余裕が無くなるとそうなる事が多いので、母親（父親）側の心理的相談を受け止めてくれたり、リフレッシュする為の一時預かりやサービスがもっと手軽に利用できたら良いなと思います。
- 現在待機児童の場合のみベビーシッターを斡旋してくれているようだが、その他の目的でも使えるようにしてほしい。支援センターの一時保育に空きがなく、また親も頼れない場合、民間のベビーシッター斡旋団体に依頼しベビーシッターを呼んでいるが、民間なのでやはり信頼性に不安がある。（ファミサポはあくまで“見守り”というスタンスなので頼りない）
- 多子家庭で上の子の土曜公開授業の為に下の子を同行させるが、グズってしまいゆっくり授業の様子が見られない。一時的にでも預けられるといいなとも思います（学校内で30分～1時間位）
- 給食、補食の献立が古く、牛乳やパンが多い。A型保育園が多く2歳以後の預け先に不安を感じる。
- 日曜、祝日、年末年始の保育を行ってくれるところが欲しい。
- 保育所の土曜や延長などをもっと利用しやすくしてほ

- しい。アンケート中で親の都合やリフレッシュなどの項目があったが、現状ではそういった利用は許可されておらず、保育所からのプレッシャーがあり、つらいおもいをすることもある。
- たまにリフレッシュしたいと思っても、一時保育施設が少し遠いので、利用しにくい。1 km圏内にそのような施設があるととてもありがたいです。
- 妊娠中、母親学級が平日午後早めという、仕事をしている女性は参加しにくい時間帯だった。両親学級は土曜なのに。せめて午前中なら半休で済むのと思う。
- 東部子ども家庭支援センターの一時保育は、予約が取れません。500円で安心して預けられる場所を作ってほしいです。又、ファミリーサポートも育児支援ヘルパーも800円～900円は高くして利用できません。専業主婦に1h800～900円は無理です。
- 仕事以外の理由で子供を預ける施設が少ない、給食のメニューが2週間ローテーションであることは不満。夜間保育やお泊りで預けられるような施設が身近にあるととても安心できるが、今（巣鴨周辺）住んでいるところにはないので改善してほしい。
- 一般的に、悩みを抱えている場合、「聞いてほしい」もあると思うが、「今、2時間だけ預かってほしい」という切実な思いがあると思います。1ヶ月前に予約しなければとれない一時保育と緊急性の高い児相の一時保護との中間的な位置づけの対処が望まれます。
- 気をつけたいと思うことはたくさんあるが、現実できていない。子どもがいる人に優しい目でみってくれる人、そうでない人がいて、気がつけばいつも「すみません」と言っていてストレスをたくさんかかえているような気がする。
- 時々、支援センターなどの一時保育を利用しているが、全ての保育園（認可）でも受け入れてほしい。
- 子供を育てるのは大変ですが楽しみもあります。でも心のゆとりが無いとどんな人でも子供に優しくできません。心のゆとりは人によって違いますが、お金や愛情・自身の欲でしょうか。それを満たす事が出来れば皆、基本的に納得して楽しく子育て出来るのではないかと思います。私は親や主人に頼り、リフレッシュしていますが、世の中には難しい方もいます。なので、もっと子育て世帯の手当を手厚くすべきと思います。言い方は悪いですが、お金があれば大抵の物は解決出来ます。経済的な支援が無いのならば、その方の気持ちのフォローが大切だと思います。でもそれは、児童館や子供サークルに入って皆と分かち合うとか、そう言うことでは無いのです。孤立した育児は良くないと
- 言われますし、児童館などの利用を勧められますが、コミュニケーションが苦手・育児が大変・ご自身の子供が多い・育児で大変なのに人に気を遣うのが嫌など色々な方がいます。だから、ベビーシッターやホームヘルパー等を強化したり、区のカウンセラー等が在宅訪問してお家のお手伝いをしながらお話を聞く、気軽に相談が出来る環境作りがあると良いと思います。産後と1歳の時に区の方が来てくれますが、それ以降も2歳くらいまで何回かあると嬉しいです。何度か来て頂いていると自然と相談できる場合もあります。
- 区立保育園の一時預かりは、ひとつの園につき定員が1日1名なので枠が少なすぎます。なるべく経済的負担が少なく、希望する日に預けられるような場が増えることを望みます。
- 日頃は子育て支援センターにお世話になっていますが、スタッフの皆さんがどなたも優しく、とても助かり安心して行けます。
- ファミリーサポートに登録しているが、事前申請が必要とのことで、急に頼みたい時に利用しづらい。サービスを利用したい時は、緊急なことが多いです。
- ファミリーサポートは事前に登録が必要だったり、利用料がそれなりに負担で積極的に活用できるものではありません。
- ファミリーサポートという良い制度があるのに、登録している人が少なく、希望日にどなたにも断られるケースが続いている。どうにかならないか。
- 不定期の就労のための一時保育を利用したいとも思うが、(保育園に入園できない場合)月3回までの予約では足りない。予約できる回数を増やしてほしい。
- 西部子ども家庭支援センターしか利用したことがないが、もう少し駅に近いととても助かる。
- 土日祝に保育をしてもらえる所が少なく、仕事をセーブしないといけないう状況。フリーで働く人が子供がいても働きやすい区になってもらえたら嬉しいです。
- 緊急に頼める所がないので不安があります。子育て支援室(たんぼぼ)に登録はしていますが、前日までに依頼しないといけないので、直前にでも子どもを預けられる場所があると安心します。
- 2人目を希望しています。これからは高齢出産になるので妊娠できるかも不安です。バースデー訪問など1対1でお話を聞いてくださる活動はとてもありがたいです。
- 外国人の子供も多いので、日本の風習や習慣等文化的なところも親のフォローがあった方がいいと思います。

## 9 病児・病後児

- 在宅病児保育の援助はとても助かっているのでこれからも是非続けていただきたい。
- 病気の子どもの兄弟への支援をもっと充実させて欲しいです。病気の子は急な入院等で母親がつきっきりになってしまうので兄弟をどこに預けようか悩みます。保育園入園を優先させたり、急でも預けられるようなところがあればいいなと思います。また、病気の子の入院の医療費は助成されていても部屋代は助成されないで困ります。私の子のかかりつけ専門の病院は母子同室が絶対で、大部屋でも1日8000円くらいかかります。
- 病児・病後児保育所数・枠を増やしてください。
- 病後保育を利用したいと思いホームページを見たら事前登録していないとダメとのことで断念した。保育園に入っているのだから情報等は区から共有できるのではないかな？。病後児保育は急に利用したいもの。フリーで働く者には有休がないので平日に登録も難しい時もあります。保育園入園の登録時に一緒にしておけばよかったのかと今になって思いました。入園の際に区役所の人に教えてもらえたらよかったと思います。

- 現在通っている保育園は、前日の保育中に1度でも38℃の熱が出ると、次の日登園できないと言われます。これまで、2回ほど家に帰って熱を計ると平熱で翌日も平熱で病院でも風邪の症状ではないと判断されました。病気でないのに保育園から拒否されてしまうと非常に困ります。保育園のリスクを軽減するためだけのルールは、区から注意して欲しいと思います。
- 夫婦共働きで3人の子どもは同じ保育園に通っていません。要望としては、病児・病後児保育の拡充を望みます。

体が弱い子どもだと年間10日程度会社を休むことになり、熱性けいれんを患った子どもだと少しの熱でも保育園から呼ばれるため、さらに負担が増えます。子どもが複数いる場合は仕事にならない月もある程です。子どもを設けたことは自分たちの選択でありその負担を受け入れることは当然ですが、可能であれば、当日の朝連絡すれば受け入れてくれる病児・病後児施設があれば安心して働けます。

- 病児保育が利用しやすくなると嬉しいです。

## 10 障害児への支援

- 上の子が小学生で知的障害がない発達障害で支援級に通っています。豊島区は情緒級が1つしかなく、希望しても入るのが難しい状況です。よって、多くの場合、知的障害の子と混在した支援級になっています。一言に障害といっても、知的障害のみと、それが伴わない子では全く性質が違い、支援の内容も180度違います。ただ支援の仕方によって力が発揮できる子が多いのも事実です。どうか情緒級を増やしていただき子どもが少しでも過ごしやすい環境をつくってもらえればと願っております。
- 就学済みの微妙な発達に問題のある子への教育や放課後過ごせる場所などの支援や情報がかなり足りないと思います。授業での、特殊機材（タブレット等）の使用など、もう少し柔軟になってほしいのでは、と思います。
- 子どもが区立幼稚園に通い出しましたが、伝えられていた登園月に登園できずだいぶ遅れての登園になり、今年度は週1回の登園です。病気を持っているので、安全を考えての判断とは思いますが、慎重すぎて、子

供の成長のためにならないと思います。障害や病気の子でも、健康児と変わりなく通えるような、そんな保育所が、増えることを願っています。

- 子どもに心疾患があり、現在も治療中ですが、保育園の先生がいつも温かく保育してくださり、大変感謝しております。障がい枠で入園希望を出し、区立園には入れなかったのですが、結果としてはよかったと思っています。しかしながら、今の園は2歳までの園なので、再来年には転園しなくてはなりません。現在の園のように、転園先でも、次女の個性・体調に合わせて保育をしていただけたらありがたいです。
- 保育園も増え、子育てしやすい環境が整ってきていると思います。ありがとうございます。娘は持病があり通園、通学に支援を要することが出てくるかもしれません。そういった子、家庭も暮らしやすい区になってくれると嬉しいです。
- 障害のある子とのふれ合い、交流の機会が増えるとういと思う。

## 11 放課後対策(学童・スキップ)

- 待機児童解消の行政努力は見えますが、その後の小学校、学童への対応は十分とは感じません。小学校区など含め、区民がライフスタイルに合わせて、選択決定ができる様にして頂きたいです。
- 子どもスキップの中の学童が、せまい部屋に大量の子どもが居て、とても丁寧にてもらえるとは思えない状況。経済的に余裕のある家庭は民間に行かせていますが、区の学童に行かせる我が家は心配です。場所が狭いことが、子のストレスにもなっているようです。
- 保育園に通っている間は時短で働いていますが、小学校に入学したら、放課後のことや夏休み、冬休みのことを考えなければいけないと思っています。
- 小学生の学童保育の中身（質）が充実する様、豊島区がバックアップして頂けるとありがたいです。
- スキップの環境をもう少しよくしてほしい。特に雨の日などに遊ぶ部屋のじゅうたんが、不衛生のようでバルサンを焚いてほしい。ノミ等が気になる。
- 小学校中学年になると学童クラブに行きたがらなくなるので、中学年～高学年でも安心して平日日中にあずけられるような場所があると嬉しい。
- 学童保育からの帰り道特に冬は暗いので、親がいなくても家に先に帰らせて家で親を一時間以上待たせてし

まうので、集団下校、ボランティアの送り迎えが必要なので、ぜひお願いしたいです。

- 現在、学童保育について指導員の人数等が緩和されるとの事ですが、月額利用料が高くなったとしても、人員・施設等安全に運営していけるようご配慮頂ければと思います。また、学童も待機児童が出ないよう整備をすすめて頂きたいです。
- 学童・スキップも素晴らしい。
- 小学校に入った時の不安が大きい。特に学童は18時までと短く、民間学童に頼らざるを得ません。その場合費用も高く、経済的な負担が増えます。多くの保育園を新設してくださったが、その子供達が小学校にあがる日も近づいています。学童の充実をお願いします。
- 小学校の放課後、子どもたちが自由に遊べるよう、夕やけチャイムまで毎日校庭開放してほしい。そのための見守り人員を区で配置していただきたいです。
- 学童クラブでの宿題・勉強への取り組み強化・スキップと学童クラブの分離（親が家にいる時間・子と接する時間が長い子と短い子では家でできることが違うので、過ごし方も変えていただけた方がよい）
- 夏休み、冬休みの学童での有料お弁当の取扱いが出来るとう助かる。

## 12 学校・教育

- 公立小学校の先生のレベルや教育方法に大きくバラつきがあるように感じます。研修による先生のレベルの向上に努めていただきたいと思います。(ipad を用いたプログラミング教育では、まったく授業になっていませんでした。)
- 駒込は非常に住みやすく、人の目も多く、子育て世代も多いため安心してはいますが、公立小学校の評判や環境があまり良くないと思います。できれば公立小に進学させたくありません。学力の情報や教師の質について公開していただければ、安心できますのでお願いします。また、校舎改築の予定がまったく見えてきませんので、予定を公開してください。
- 保育園、小中学校等、子どもが安心して、あたたかく見守られながら育てていく為に、人員を各施設1人ずつ増やしてほしい。先生方が心にゆとりがあることが、子どもたちにとって一番大切だと思います。
- 小学校の設備(ハード・ソフト・両方の面で)をより充実させてほしい。区立の中学校が特色ある教育をしたり、情報がより多くあるといいと思います。
- 小学校の学力が学区により差が激しいです。全体の底上げを望みます。
- 公立学校のトイレの洋式化・美化、冷暖房の充実、荷物負担の軽減をお願いしたい。
- 学校教育については学区で通学校が決定するのであれば近隣校での教員のレベルの統一化を図ってほしい。また、学校教育は連絡方法などアナログ方針をとっていることが多いので、企業に近づくような方法をどんどん取り入れて親と先生との連携がより強くなることを願います。他の区との格差を気にしてほしい。
- 小学校、集団登下校してほしいです。
- 個人的には、小・中学校の夏休みを8月31日までに戻してほしいです。帰省や旅行がゆっくりしたいし、家族の時間も欲しいです。
- PTA役員、クラス役員のあり方について世論も踏まえて改善してほしい。土日しか子供とゆっくり過ごせないのに、役員になるとそれすらもつぶれてしまう。だからといって専業主婦の方ばかりをお願いするのも申し訳ない。
- PTAの負担が大き過ぎるようなので不安です。
- 保育園から小学校への入学で、朝の登校時間が限られているのは、非常に不便と感じます。
- 教室を外部に貸して、習い事を充実させてほしい。

## 13 医療・健康

- 双子妊娠だったので妊婦検診のサポート(券を多めに配布する)などがあればと思いました。結果的には管理入院になり、単胎児と変わらない数の券で足りましたが、最初は通院の回数も多かったのが心配でした。
- 妊娠検診の無償化(保険がつかえないので3人分の費用は本当に大変でした。)
- 休日診療(科ごと)を増やして欲しい。
- 任意の歯科健診の案内が届いたが、平日朝の通勤ラッシュ時に双子を連れて電車に乗らなければならない時間帯だったので、参加を諦めた。午後開始など、もっと乳児連れで出掛けることを考えた時間設定をお願いしたい。
- 3才検診へ行きましたが、1時間以上かかりとっても疲れました。事前に、視覚と聴覚のテストを家でやりましたが、これも正直よく分からなかったです。もう少し1人1人に時間をかけて、ゆったりとした空間で検診を受けたいです。
- 友人が休日診療で長崎休日診療所を利用した時、「小さい子は診察できない。」と言われた。
- 小児専門病院や、子の預りがあって、親が診療をうけられる病院が欲しい。
- 地域の小児医療の充実をお願いします。保育園からお迎え要請を受けて夕方仕事終わりに駆け込める病院は少なく、曜日によっては0(ゼロ)のときもあり、つな渡りです。小児科を標榜して7時頃までやっている内科もありますが、症状が長びくと小児専門医への受診を進められて受診を嫌がられたり、かぜに対してしつぷ薬を処方されたり、かかりつけ医として信頼できる小児科医が少ないです。共働き家庭が安心してかかれる医療体制をよろしく願います。
- 長崎保健所を利用しています。検診の待ち時間、何とかありませんか?もっとスムーズにしてほしいです。
- 子育てをしていると、自分のことはつい後回しになってしまいます。健康診断を受けようとしても幼子連れで行きにくい施設もあります。例えば区役所等で、託児をしてもらいながら、必要な検診が出来るようになると、とても助かります。
- 定期検診を家から遠く離れている保健所に設定され、しかも平日しかないのも、会社を休むことになりとても困る。休日設定も考えてもらわないと時流に合っていない。
- 子供の全てのワクチンの無償化(インフルエンザも子供は2回打つので助成してほしい)。
- 予防接種の助成種類が少ない。

## 14 ひとり親家庭への支援

- シングルで子供を育てており区の助成は大変ありがたいが、想定年収が低すぎるのではないかと。また、違う課ごとにひんぱんに呼び出され、仕事を休むと収入が減り困るので、区でまとめて呼び出して欲しい。
- 一人親なので、今後、教育費等、不安がいっぱい。
- シングルマザーの為、子どもがまっすぐ成長してくれたいなと思っています。フルタイムになると、夕方遅くまで学童で預かってもらうことになるのでそこでの過ごし方や近所の方との関わりも大事にしていきたいです。



## 15 経済的支援

- 健康保険料が高いです。子供4人居てパートナーの収入だけでは生活が苦しく、パートを始めました。ここ2年間位は、保険料を滞納していて期限の短い保険証を取りに行っています。子沢山は豊島区に住むと言われていている様に感じます。
- 子育て期だけでも、収入にかかわらず家賃補助があったらとても助かる。
- 私のまわりには、3人子供のいる家庭がたくさんあります。皆、経済的な問題に頭をかかえています。また、経済的な問題で、1人、2人までしか産まない人も多くいます。お金がなくて子供が産めない。これが現実です。
- 周辺の区と比較して、幼稚園の補助金が少ない。
- 児童手当や保育料、幼稚園補助金、幼児教育・保育の無償化、子育て手当等のすべてのものに所得制限があり、一定の所得があるとほとんど恩恵がなく、子ども3人の子育てが金銭的に苦しく感じます。所得はあるのに生活は苦しい。児童手当だけでも1人年間6万~12万の差額、その上に保育料や補助金の差額、それが3人分となると手取りで年間100万近くの差があり、それが何年もです。不公平を感じます。
- 保育料の値下げなど、区民福祉のさらなる向上を図ってほしい。文化政策は区民への還元が少ないので、文化だけでなく子育て予算も拡充してほしい。
- 保育料が2人在園している時よりも、1人が小学生になった現在の方が高くなっています。年齢に関係なく子供の人数により判断してほしい。
- 1LDKの賃貸マンションで子ども3人と生活していますが、家賃が高い上に手狭でとても困っています。ファミリー向けの賃貸物件が上池袋にはとても少なく感じます。また子ども3人以上の世帯にもう少し経済的な支援があると助かります。
- 私立幼稚園の補助金や例えば子育て世帯向けのクーポンなど経済的な支援を増やしていただきたい。
- 親子ふれあい助成金が年間一人2千円は安い。年一回しか利用できないのもつらい。
- 豊島区は他の区に比べて、子供に関する補助金が少ない！もっと子育てしやすい環境を整えていかないと本当に豊島区は無くなると思います。
- 先の話ですが大学費用への不安があります。
- 親の収入に関係なく教育や習い事を（なるべく）平等にさせてあげたい。
- 世帯年収による保育料や給付金の格差が大きく、わが家は恩恵を受けられていないと感じる。幼稚園無償化などは我が家には関係しないので、どうしても無関心となってしまふ。税金を多く収めている世帯にも子育てのサポートや経済的な面でも優遇してもらいたいと強く感じる。
- 産後に子育て応援券のようなものがない。
- おむつ助成など、他の区の良い所をもっと取り入れてほしい。
- 板橋区で出産した時には、板橋区の事業所でサービスが受けられる利用券を頂きました。一番下の子は豊島区で出産したのですが特典がなく残念でした。
- 児童手当の所得制限のため、我が家では頂ける額が大幅に少なくなり、いずれもらえなくなるとの事でした。勿論、こういった手当はお一人で育てている方や所得の少ない方が優先であるべきかと思いますが、所得がある分、税金も多く払っています、子供を育てると言う事の大変さは変わりません。自営業なのでほぼ一人で育児・家事・主人の仕事のサポートをしています。老後はサラリーマンの方と違い保証がありません。たしかに書面上は所得は多いですが、実際の大変さは変わらない部分もあります。値段が少なくなったり何も手当が無いのは少し不満です。
- 私立幼稚園の補助金や例えば子育て世帯向けのクーポン

## 16 情報提供・相談支援

- NPOの子育て支援サービスの情報をもっと欲しいです。現在豊島区のサービスのことがよくわからなく、区外のサービスをよく利用しています。
- そこに行かなければ得られない情報では意味がないので、情報提供を工夫してほしい。
- 情報提供の機会がとても少ないと思います。共働き世帯が多い中で、平日しか開いていない保健所や区役所はとても利用しづらく、平日の相談も無理です。
- 仕事をもっていると、平日の集いなどは難しい事もあるので、小学校の行事等の知らせを早く伝えてほしい。就学前健診のお知らせも遅すぎる。
- 数あるサービスの中で、自分たちの家庭ではどれが一番フィットするのか、色々と説明を聞いても結局分かりにくい時がよくあります。
- 区主催だけでなく、営利も含め区で開催されるイベントをすべて集約し、年齢、日別に検索できるサイトがほしい。としまScopeだけでは全てを網羅できていなくて残念。
- 隣人より子供の足音のクレームを半年近く受け、引越しを決めました。こういう事を相談したり、対処して頂くところはあったのでしょうか。子育てが落ち着いたらまた豊島区へ戻って来たいと思います。
- 子育てに対しての講演会を増やしてほしいです。専門家の話をきける機会がほぼありません。子育て相談は1ヶ月以内に相談できるようにしてください。予約が先だとその間モヤモヤ期間が長く辛いです。
- 未就学児に対する話しは良く聞かすが、小学生に上がった時や小学校に関する情報が少ないように感じます。保護者の関わりが少なくなる小学校だからこそ、各学校の情報がほしいです。
- ホームページを見ても、あんまり得たい情報が得られません。分かりにくい。電話で問合わせても、結局区役所へ足を運ばないといけない事が多く、以前の区役所より通いにくい場所なので不便。
- 子育ての悩みを相談出来る場所がもっと分かりやすく身近にあってほしい。(食事、しつけ、日々色々出てくる不安、ママ友との関係、子供との距離感など)
- 情報格差が子育てに大きな影響を与えていると思う。

地域の祭りやひろば、幼稚園や保育園のイベント情報を一括して参照できるサイトを行政が運営すると非常に盛り上がると思う。

- 夫と私のみで頼れる人がいない中、3人目を妊娠中です。社会資源の情報があっても、組み立てるのは大変で、漠然とした不安ばかりです。また、どの支援も緊急時の対応は厳しく、ギリギリの中子育てをしている状況です。元気があれば相談することもできますが、酷いつわりや体調不良などの時は、相談する気力もないです。常に誰かに助けてほしいと思っています。
- 子どもを怒っている親をよく見かけます。教育内容などではなく、接し方の情報などを提供した方が良いのではと思うことがあります。
- 施設やサービスがあるのに、マンパワーが不足していると思う。区役所へ保育園や障害のある子について質問に行っても、担当が不在でと言われた。専門窓口があるならきちんと全員対応できるようにしてほしい。
- 民生委員や児童委員さん等も身近な支援者としてはとても有効と思うが、どうしても守秘義務の部分で心配がある。そのあたりの強化もお願いします。
- 区から定期的にお手紙等が届くと良いです。生まれてすぐと1才に来て頂いた後に、出来れば同じ方が2歳ごろにも連絡してくさだと良いです。それから、今回書いたアンケートのようなものもあると良いと思います。アンケートがあるとそこに意見などを書くことができると良いかと思えます。
- 今は子供が保育園に通っていますが、小学校に上がったからの生活の情報(学童、PTA活動など)がなく、仕事との両立がとても不安です。特にPTA活動が負担にならないか心配で、とても憂うつになっています。小学校の情報やPTA活動の負担軽減など、区の方で

動いていただけるとありがたいです。

- 公園の遊具の情報(遊具の写真)を区のホームページにのせてほしい。
- 小学校入学の2年位前から当該学区の小学校の情報(イベント関連)が入ると、安心して入学を迎えられるのではないかと思う。現状では、何もわかっていません。
- 塾や習い事の情報になかなか見つからない。あっても月謝がいくらか、どこでやっているかなど、電話で問い合わせが必要だったりする。まとめて閲覧できるサイトなどがあると助かる。
- 保健所の育児相談を利用したいと何度か思ったが、日時や予約の要不要がよくわからず利用していない。
- 区民ひろばにも相談できるワーカーを置いてほしい。子ども家庭センターは2ヶ所しかないの、なかなか行けません。区民ひろばの充実をお願いします。
- 幼稚園入園までの間、孤立することが多いのではない。子どもが好きでも、自分に余裕がなくなると子どもにきつく当たってしまう事もある。子育てに対する情報を得る機会、イヤイヤ期の対応など、集団健診時に伝えたり、必ず誰もが受けられる機会を増やして欲しい。
- 仕事と育児の疲れからイライラすることも多く苦しいときもあったが、保育園の先生のアドバイスなどでもって救われている。気軽に相談できるツールがあると(LINEのような)救われる人も多いと思います。
- 区役所内でも、子育てインフォメーションセンターなどで、役所での手続の間だけでもあずかってもらえる、情報収集など非常に楽になると思います。

17 住環境・まちづくり

- 池袋駅をよく利用しますが、その辺りがよい(明るい)雰囲気になって欲しいです。
- 子の面倒を見てくれるので親の近くで家を買いたい、豊島区だと高くてせまいので、離れて見つけるべきか悩む。
- 未永く豊島区(というか池袋)で暮らしたいのに、ファミリー用の賃貸物件が少なく困っている。
- 高速道路下(東池袋~護国寺周辺)のゴミとホームレスに困っています。
- 街が汚いような気がする。ゴミや缶など、よく落ちている。また、手入れのされていない古い家があり、ブロックが崩れていたり草木が生い茂っていて、危ないものもある。
- 仕事をしていると、たまには、夕食のおかずを買ってラクをしたい時がありますが、要町駅付近はお店が少なく不便です。パン屋さんありません。
- 子どもの生活用品、食品等、育児に関する商品を扱う店が近隣に少ないのは困っています。
- 道路・幅が狭い所が多いので、電柱を地下化してほしい。
- JR巣鴨駅前の駐輪場についてです。電動子乗せ自転車を使ってる人がこのあたりは多いのですが、駅前の

駐輪場(立体式の所)は電動は機械に乗せる事ができず、外に置くしかなく、いつも満車で自転車で駅前へ行くのが不便です。

- 大塚駅周辺がきれいになる一方で、居酒屋などが増え、子育て世代にとっては、治安などが心配である。また外国人が増え、他の敷地へ入ったり、路上に車をとめてしゃべっていたり目にあまる行為が多い。昔から住んでいる人や今まで地域を支えてきた店などをもう少し大事にすべきではないか。子育て世代よりも単身者や外国人を重視しているように思える。もう少し子育て世代を考えてもらえたらうれしい。
- 雑司が谷エリアは住宅街という事もあり道路の幅が4m以下の所が多い上に、街灯が少ない事もあり、夜間暗いと感じる事が多い。また高齢者も多く空き家も散見されるため、子供にとって潜在的な危険があると感じる。区が主体となって子供が安心して暮らせるまちづくりを、地域住民、東京電力等に対して一定の強制力を持って積極的に行って行って欲しい。
- 踏切の高架化(子供の移動の安全を確保するため)・歩道を広く作ってほしい(自転車との接触を懸念)・板橋駅(JR埼京線)に豊島区口(ブラウドシティ池袋本町、シスナブ池袋本町側)を作ってほしい(電車を子供が利用する際の移動時の安全確保)
- 豊島区の観光政策の一環として民泊事業があるかと思

- います。民主主義に則って発効された条例かとは思いますが子育て環境の充実とは相反するものがあるように思います。海外からの観光客が民泊を利用して、周辺住民と国際交流というのも全くみかけたこともなく、むしろ騒音やルール・マナーの悪さが目立ちます。せめて、小・中学校周辺での管理者不在型の民泊事業には制限はかけられないのでしょうか。
- 西池袋在住の者です。西口から東口へ自転車で移動する際に警察署横～メトロポリタン～西武を通る道が渡れず（道が十分に整備されていない）北口～P' パルコの道を使っています。警察署横の道も整備してほしいです。
- 池袋の治安が良いとは言えず、保健所は古い。朝の通勤ラッシュの時間帯に子供を電車に乗せていかないといけないのが、嫌です。駒込は豊島区の端なので、長崎とかに比べて支援サービス等が足りないと思う。陽あたりの良い公園、芝生のある公園を作ってほしい。
- アニメの文化を推進するのをやめてほしい。池袋に行くとコスプレをした者が多数おり（特にサンシャインなど）、子供に悪影響です。ベンチを占領されて、子連れやお年寄りなど、本当に必要としている人が使えない。
- グリーン大通りの雰囲気や、定期的で開催されているイベントも大好きです。豊島区の「顔」であったり、アイデンティティになり得ると思います。
- できればずっと住みたいですが、マンションの高騰により難しいと感じています。
- 単身者向けのマンションばかり新設され、ファミリー層の住宅がほとんどなく、困っている人が多い。もっとファミリー向け住宅の新設を後押しして欲しい。今のままではライフスタイルの変化に住環境を変えることがむずかしく、引越し（他区へ）も考えなければならぬ。
- 小学生2人、幼稚園児1人を育てています。普段の生活で、習いごと、お出かけなどの際に、子どもと自転車で移動することが多いです。小学生が走行しにくい道が多々あったり、駐輪できる場所が無くて困ることがよくあります。自転車で生活しやすい街になるとありがたいな、いつも感じています。
- 駅、バス、道、施設内で、ベビーカーが肩身の狭い思いをしないで済むようにしたいです。
- 子連れでほっとできるカフェが増えてくれたらうれしいです。
- 交通機関（駅など）の赤ちゃんへの配慮をもっとしてほしい。
- 西巣鴨駅の方も、もう少し栄えてほしい。施設や、子どもの習い事など。
- 区ざかいに住んでいて、公立中学校が1ヶ所しか選べないので、自転車通学も許可できるように道路整備を望みます。
- 商店街等活気があり、住みやすさはとても良い。
- 人口密度が高いことで有名だが、地域コミュニティの衰退、空き家問題など、区民にとって身近な問題からすぐに取りかかってもらいたい。
- 池袋駅や公園周辺などエレベーターが利用しにくい、どこにあるかわからない。道路に段差が多くベビーカーがひっかかってしまい危険。段差をなくすなど検討してほしい。
- 木密地域での道路拡張事業や再開発などで、結果として子どもが安心して通れる道が増えたり、遊び場が増えるといいなと期待しています。
- 池袋東口方面と同様に西口（北口）方面も都市開発・地域健全化を推進していただきたい。
- 東口←→西口の行き来がしづらいので早くデッキを完成させてほしい。
- 建物自体の劣化や廃校になった保育園や学校等の再活用への動きが延ばし延ばしになっている様に感じられる。（例：旧高松保育園や豊島区立第十中学校）住み続けたいという思いもあることから、今後の展望も期待しています。
- 池袋駅以外、小さい子供連れへの設備（エレベーター、エスカレーター、授乳室、キッズスペースなど）が不足していると感じます。
- 子どもを連れて外出しやすくなるには、子連れウエルカムなお店が（ファミレス以外で）増えることで、そうなる、社会でも子どもがいるのが普通となっていくと思います。ちょっとした段差、階段だけの構造、ベビーカーでは入れない広さ、など、ほんの小さいことが障壁になるので、改善してくれると嬉しいです。
- 外国人ばかりで街も汚いし、保育園・公園でもマナー悪い。長くは住めない町だと思う。
- 歩行道路、公園の街灯はもう少し明るいといいなと思う。・南長崎花咲公園のトキワ荘建設が始まりますが、子育て世代としては遊具等を作って頂いた方が嬉しかったです。多くの方々に来て頂いても、近付で立ち寄れる店などが少なく、地域活性化につながるのか疑問です。まず商店街を生き返らせるべき。
- せっかく開発されて、キレイになっている地域や雑司が谷の様な歴史の地、目白のような教育熱心な地があるので、全面的に整え地域を素敵にしたいです。
- スーパーでベビーカーで入れるところが少なく困る。
- 大塚駅近辺で生活しているが、駅周辺は風俗街となっており、子どもと歩くのに抵抗を感じる。

## 18 交通安全・防犯

- 道路に歩道が整備されていない箇所が多く、車や自転車もスピードを出すのでとても危ないと感じる事が多いです。
- 以前より、生活安全パトロール（青ランプ）をよく見かけるようになったと思います。安心できるので、ありがたいです。
- みだけ通りが危ないです。自転車が信号を無視して
- る。池袋幼稚園前の道路をスクールゾーンにして欲しい。池袋幼稚園の前の公園におじさんが我が物顔で缶などの私物を広げている。子供に怒鳴るので注意して欲しい。
- 学校の通学路が安全とは言えない。白線の内側を歩くように指導しているが白線の内側が狭い。大阪でコンクリートが転落したように通学路の安全確保が必要。

- 大通りは自転車専用ロードが必要。歩きスマホやイヤホンをつけている人が多いので接触しやすい。
- いつ子どもを巻き込んだ交通事故が起きるかすごく不安です。特にタクシーと土木系の社用車が過速、幅寄せ多いです。折角安心して遊べる場があっても、子どもだけで行かせることは、現状出来ません。
- 池袋でのせまい道や暗い道も多いので街灯を多くしてほしいと思うこともあります。
- 普段の買い物はほとんど自転車移動だが、駐輪スペースがなかったり、せまかったりで置けない時が多々ある。・裏道や細い道の十字路等、ミラーがなくてぶつかりそうになる所がある。(自転車同士で)
- 狭い道幅のところに高層マンションが建設されていて圧迫感もあるし何より事故などがこわい。車が行き来する道路で子供たちが遊んでいるのを見ると、何よりかわいそうで危ない。
- 主要な通学路には、せめて、ガードレール設置を徹底してほしい。
- 狭い道路が多く、子供が自転車に乗ることが不安。
- 仰高小の前の通りが車の対面通行可はおかしいと思います。一方通行にしても、支障が無いと思いますが、なぜ実行されないのでしょうか？歩行者の後ろをあおる様に車が通り抜ける道に、小学生・未就学児が歩かなければいけない状態です。一定の時間だけ制限をかけて対策しているというのは、おかしいと思っています。事故が起こるまで、今のままなのでしょうか？
- 意外に保育園の通園道路となり得そうな場所に歩道がないように思います。子供が安心して豊島区を暮らしていけるようになるとういなぁと思いました。
- 未来の豊島区の為に、子供達を大切にしてほしいです。良い環境に身を置く事により、未来に希望が持て成長した際に、故郷として記憶に残り豊島区を大切に思うと思います。新しい施設も大切ですが子供は見慣れた風景、行き慣れた場所に愛着を感じます。そのような場所で、事件事故に合わないよう大人が守らないといけません。悲しい記憶の場所にならないように、様々な方向から検討し対策をお願いしたいです。見守り等マンパワーの確保も宜しくをお願いします。
- 雨の日のマンホールが滑りそうで怖い。道が狭くてマンホールの上でプレイキをかけざるをえない場合、電動自転車子どもを前と後ろに乗せているとバランスがとりづらくて危ない。雨の日にこどもがマンホールの上などでスピードを出して転倒しそうでこわい。
- 自宅近くの生活道路が、自動車のぬけ道となっており、交通事故が心配。(目白古道)なんとかしてほしい。
- 明治通りがあるので、車や自転車に気をつけています。信号無視をする車が多いので、子供が小学生になったら心配です。横断歩道を渡らない歩行者もいるので、交通ルールを守ってほしいと思っています。
- 自転車専用レーンが車道につくられているが路上駐車が多すぎてかえって危険(春日通、明治通)・歩きスマホ、歩きタバコが多すぎる・コスプレイヤーが子供に与える影響をもう少し考慮の上、イベントは限られた場所で実施して欲しいと思う。
- 駒込小学校までの道のりは交通量も多く、駅も超えるため、まだ息子は3才ですが小学校入学が不安です。小1の壁とも呼ばれる夏休みや冬休み期間中を考えると小1~小3くらいまでは仕事を変えようかとも考えています。通学路がもっと安全度が高くなればいいなと思っています。集団登下校でもいいのではないかと思います。
- 朋有小の回りでポケモンGOをやっている大群を見かけます。せまい歩道に多くの人がスマホに熱中している姿が怖いです。規制してほしいです。タバコやゲームに熱中する大人から子供を守りたいです。
- 公園の周辺のラブホは何とかならないものか。
- 歩道をすごいスピードで自転車が走ります。歩道を走らない様に押して歩く様にしたいです。
- 西池袋通りを走行する自転車のスピードが速く危険である。
- 子供の見守り隊を増やしてほしい。よりよい町づくり、子供に対する町づくりを頑張っているのはよく分かります。今後も頑張ってくださいたく、よろしく願いいたします。
- 外国人の数が増えすぎているので、治安が心配。・交番が少なく、いざとなった時に助けを求める場所がない。警察官の巡回など多くしてほしい。
- 地藏通りでは、郵便局前を子どももよく通るが、お酒を飲んだりたまっている老人たちがいて気分が悪いし怖い。
- 18時のチャイムでは遅いと思います。春分の日~秋分の日期間も17時を希望したいです。子どもたちは、親の決めた時刻より、チャイムで動きます。防犯のためにも、17時(1年中)を希望します。
- 家の近所に外国人学校のような所があって、その生徒たちのマナーの悪さに困っています。歩きタバコ、ポイ捨て、自転車の2人乗り、大声でさわぐ、車道に大幅にはみだして歩く等々。長男が小学生になりますが、通学がとても心配です。上記のような人達もいたり、近年おこる事件(つれさり、殺害、ブロック塀)が怖くてたまりません。登下校時に見守りボランティアのような方を配置していただくことは可能ですか？
- 子どもに関する区内の事件・事故(保育所も含む)トラブルなどの一覧(ヒヤリハットも含む)を参照できる一覧があると、啓発になると思います。子どもを育てる上で気をつけていることは、家庭の状況を必要な範囲でオープンにし、見守りを依頼しています。また、自己肯定感と意欲面での支援を重視しています。

### 19 路上喫煙対策

- 歩きたばこが本当に多い。一度、区に問い合わせたことがあるが、期待する答えを得られなかった。公園も禁煙になったはずなのに、関係なく吸っている。千早フラワー公園、椎名町公園、吸いガラもたくさん落ちている。取り締まりの強化をお願いしたい。
- 歩きタバコ、自転車タバコの多さに怖くなりながら子育てをしています。子育てだけではないですが、治安や生活環境自体の改善が必要だと思います。
- 遊具のある公園に喫煙所を併設することに違和感を感じます。ブランコに乗っていても煙たいことが何度か

ありました。

○公園内でポイ捨てされているタバコを子供が触ってしまったりして非常に危ない。

○路上での喫煙スペースを減らして欲しい。

○今後豊島区の公園が段階的に禁煙になるのはとても良いと思います。

## 20 地域の子育て支援

○子どもがうるさいとき、飛んだりねたりして下の階や隣りの住人の方へ迷惑をかけていると思うので、顔を合わせる度にあやまっています。幸い皆さん良い方で“気にならないですよー”と言って下さり助かっています。

○抱っこしながら買い物をしていると、周りの方々が声をかけてくれたり、時には手伝ってくれたりするのは

嬉しい。

○虐待までひどくはないが、手を上げている母親を何度も見かける。しかしみんな見て見ぬフリ。

○ボランティアで登下校の見守りをして下さっている方は非常に感じが良く一生懸命やって下さっており感謝しています。

## 21 ワークライフバランス

○女性が産後の社会復帰がしやすい社会となれば、復帰を願う方が増えると感じます。幼稚園での教育を受けさせたい場合、現状ではかなり困難です。外国の方の雇用は増えていると感じますが国内女性の産後の雇用増加は、環境整備が整わない限り難しいと思いました。

○子育てをしながら働ける職場を提供してほしいです。

○妊娠中、出産後の時点で仕事に就いていなくても、将来再就職を考え始めた母親へ、ハローワークからのイベント案内や、区役所から保育園探しの時期や手順についての案内などがあると、職探しへの一歩を踏み出しやすいのではないかと。

○育児休業制度、時短の充実などを各企業にまかせるのではなく、国主導で行って頂けたら働きやすさ、取得しやすさにつながると思います。もちろん、仕事を中心にという考えの方はその意志表示をすることで働ければと思います。どうしても、まだまだキャリア志向を重視する働き方モデルしかありません。現実的に仕事中心になっていますし、それが子どもがいても頑張っているという様な間違った捉え方につながっている様に思います。

○取り戻せない子供との時間とこれまで20年以上勤めた会社、自分のキャリアを天びんにかけ、キャリアを失う、仕事を失う方を選択せざるを得ません。もっと自由に働き方を選び、子供との大切な時間を過ごせる選択肢を与えて頂きたいと強く願います。

○働きながらの家事・育児がこれほど大変だとは思いませんでした。夫との分担が必須だと感じています。古い考えの夫は「可能な範囲」でしか協力してくれません。母親側は保育園や病院で受動的もしくは必要に迫られて情報を受け取りますが、男性側はもともとそういう思考がなければ、全く情報を受け取ることはありません。児童給付金を受け取る際に、保護者（父母ともに）の参加必須のセミナーでも開催してもらわないと、いつまでたっても男性の考え方は変わらないと思います。

○国は女性にばかり、子供を産み、育て、働けと言っているが、そんな環境は整っていない。フルタイムで働いているママ友はとにかく睡眠時間を削って、毎日へらへらになって働いて、子育てしています。余裕がなく、毎日やり過ごしている家庭は山ほどあります。男性の働き方を変えないとムリ。豊島区が先頭切ってどれか改革してモデルケースになる事を期待しています。

(区に言う話ではないが、期待を込めて)

○夫がいてもほとんど子どもの面倒をみない為、私が体調を崩した時にみてもらえる場所がなく、無理をして余計に体調を悪化させる場合が多いです。そういったケースの支援がほしい。夫が強制的に育児に参加できるような制度（仕組み）がほしい。

○就労時間の短い人への保育事業が抜けている。一時保育事業は以前より充実するようになったが、週2-3回保育園に預けたい（定期的）人を無視した政策としか思えない。ゼロサムの考え方ではなく、パートタイム就労でも定期的に安定した保育の利用を求めたい。

○子供とふれあう時間が少ないと感じています。もっと一緒にいる時間、ゆっくり遊んであげる時間を作りたいと思いつつも、経済的理由などから、仕事を減らすわけにもいかず、日々バタバタと過ごしています。

○3人の子供を育てながら、仕事をしています。夫の協力も多分にあります。3人の面倒（食生活の他にも学校や保育園の日々の持ち物・宿題準備など）をみるのは、最低限のルーチンワークだけでもそれなりにあり、バタバタとした日常で余裕はありません。土日は習い事などで忙しいです。どうにかならぬかなあと思っていますが、決定的な解決策は見つかっていません。子供が成長することで部分的には解決していき、勤務体制を変えることで大きくは変わるのでしょうが、仕事も好きでやっている中で暗中模索です。

○働きながら通える幼稚園が少なく、保育園は園庭がないなど、子どもの成長にあわせた環境が選べないことが残念です。ワーク・ライフバランスとは言われますが、まだまだ働くことで子育ての理想をあきらめたり、子供に我慢をさせたりしなければいけない現実を感じています。

○日々、無事に過ごせていることに満足していますが、共働きで育児をすることの多忙さに追われていることは実感しています。もう1人（弟・妹）も考えられるといいですが、そうした余裕はありません。

○共働き家庭への保育園の充実がよく取り上げられますが、仕事を辞めざるを得なかった母親や、一時休んで育児している母親もいます。全ての子どもに共通の支援を一緒に提供されると、心の支えになります。

○女性の活躍を本当に社会が考えるのであれば、出生率の8割位の保育所・幼稚園等の整備をする位の気持ちがあればそのような社会にはなりません。

## 22 豊島区の子育て環境の充実

- 隣区より、出産前に転入してきましたが、豊島区の子育て支援の充実ぶりには正直驚いています。公園もひろばも綺麗だと思いますし、何より保育施設の急速な拡充は素晴らしい、ご担当の方々には本当に感謝しきりです。並大抵のご苦労ではなかったと思います。人の流入、流出の動きも多く、保育ニーズの把握も困難なことと思いますが、今後の豊島区の躍進に期待しています。アンケートの回答を通じ微力ながらも計画策定のお手伝いができ光栄に思います。
- 他区から引っ越してきて、豊島区の子育て環境の充実ぶりに驚き、感謝しています。区民ひろばが日曜も開館しているので遊ぶ場所に困ることがないですし、保育園にも入れていただけてありがたく思っています。
- よく子ども（8ヶ月）と外に出かけますが、駅や歩道等、階段が多かったり、エレベーターがなかったり、おむつ替えスペースがなかったり、ミルクのためのお湯を補充できる場所がなかったり（区役所の授乳室内にもお湯が出るところがありませんでした。）、離乳食をあげられるスペースがなかったりします。もう少し整備されていれば、もっと保護者が外に出ていると思います。
- 子育てにやさしい町とはあまり言えないと感じます。幸い、家の近所は皆様やさしくて子供にもやさしく接していただけていますが、公園に行けば、走りまわっているだけでうるさいと言われ、ボールも使えず、これと言った遊具もあるわけではない。本来の子供がのびのびと過ごせる安心な場所が少ない気がします。ただ、小学校はしっかりしている気がします。大都市だけの問題なのか？心にも時間にも余裕がなく、この子育て環境が良いのか悪いのかさえ、親としても不安に感じています。幼児時はあっという間ですが、住んで良かったと思える豊島区になる様、税金の使い方等考えてほしいです。
- おむつ替えは増えてきたように感じたが、いざおむつが外れると、子供用の便座や手を洗える場所が少なく不便を感じる事が増えました。スロープのない所も多く、ベビーカーを担いでいくなるともあたり前です。でも都心に住んでいるから仕方ないのかなとあきらめることしか出来ませんでした。特に子育てに手厚いとは思った事はないです。
- 豊島区が保育施設を充実させたり、オムツを回収したり、公園のトイレの整備など他の区に比べて理解があるように思う。
- 医療費の無償化など基本的には満足しています。出生率が上がる方向の施策に取り組んで頂ければと存じます。（保育園入園問題がありますが、本来の入園条件を満たさない人が騒いでいると感じます。）
- 私は豊島区に産まれた時から40年住んでいて、非常に愛着があります。何かあれば地域の活動に協力したいと思っており、以前100人女子会にも参加してTVの取材にも出たことがあります。周りのママたちも言っていますが、ここ数年、豊島区は、待機児童対策も力を入れたり、区役所も親切になったり、ますます豊島区を好きになりました。有言実行の豊島区！
- 私は子どもの保育園入園を機に豊島区へ引越してきた者です。区の子育て支援に関しては、保育園の増設や  
ロタワクチン接種の助成金補助、区民ひろばの土・日開放、訪問型病児保育での10万円助成、今回のアンケートがあったりと、目に見えるかたちでしっかり取り組まれており、日々、心強く感じています。お陰様で仕事をしながら子育てとの両立ができています。区長をはじめ、職員の方々にはとても感謝しています。
- 共働きなので、常に急いでいて、子供にも無理をさせているので申し訳ないと思っています。なので、土日を利用して親子で充実した楽しい時間を過ごすようにしています。近所の雰囲気（お祭りや見回りなど）もとても良いので、子供にとっては良い環境だと思います。
- あまり期待していなかったけれど、豊島区は子育てしやすいと思います。東部子ども家庭支援センターの職員の方はいつも親切で寄り添ってくれている感じがして、いつも安心できます。ありがとうございます。
- 現在豊島区雑司が谷に住んでいますが雑司が谷周辺は子育てがとてもしやすく環境も良いです。
- 結婚を期に住んだのがたまたま豊島区でしたが、子育てするのにとても恵まれた地域で、良いところを選んだなととても満足しています。今の一番の悩みは保活で、来春4月に入園できるかどうかがとても気になります。待機児童ゼロの豊島区の取り組みに期待しています。支援センター、区民ひろばのイベント参加を経て、たくさんのママ友ができました。孤独になりがちな育児期に、友人ができるイベントを開催して頂けたことに感謝します。どうもありがとうございました。
- 豊島区が子育て政策に力を入れている姿勢はとても良いと感じています。一区民として、これからも継続していただけることを望みます。
- 仕事をしながらの子育てには豊島区は少々きびしいように感じています。
- 子どもを産みたくても産めない。仕事復帰も難しい。まったくもって子育てしやすいとは言えない。子育てしながら仕事はとても辛い、と感じているのは女性だけだと思う。母親手当てが欲しい。
- 保育所や小学校などで、親の意見などをもう少し受け入れてほしいと思う。
- 今後は、子ども向けのイベントや、子どもが体験できるもの（舞台、音楽、ダンス等）を更に充実させてくれると嬉しい。
- 定年退職された方などに教育の場で活躍できるような社会をぜひお願いしたいです。
- 現在無料で行なわれている行事に参加したりしているが（体操教室）、料金が発生してもいいので回数を多くしてもらいたい。
- 実際に別の区から豊島区に転入してきて、子育てや保育園関係の区の対策や現状は良いと感じた。ただ、イメージ（子育てしずらそう）が先行しているように感じた。
- 基本的には豊島区で子育てできてよかったと思っています。今後の施策にも期待しています。
- 保育園送迎時の満員電車が辛すぎる。バスもほんの少しでも待ってくれない。子連れより高齢者を優先しすぎでフラストレーションたまる。「妊婦さん、子ども大

切！」という意識を社会に植え付けてほしい。働きながら（納税しながら）の育児、どれだけ社会に貢献してると思ってるの！と怒り心頭になることが多い。こ

のようなヒアリングの機会には、大変感謝しております。

## 23 その他意見

- 豊島区大好きです。がんばって下さい！！
- 日頃、区のサービスや保育所、教育センターなどの公共施設で担当者の皆様には大変お世話になっています。
- 中国から来たので、言葉がうまく使えず、子供同志のコミュニケーションが心配。
- どこかでひっかかれればネットワークはつくれるはず。チャンスがたくさん転がっているほうがよいと思います。心がけに近い小さなアクションが無数にあることで、大きな安心が生まれます。「子どもの幸せのため」は「大人が幸せ」でないと成立しませんよ。
- 夫の両親（子供達の祖父母）とほぼ同居のため、自分が体調の悪い時など子供を預かってもらえるので助かっていますが、教育に関して干渉が多く、方針が違ってても反論できず、ストレスがたまっています。
- 豊島区に限ったことではないが、一般の人の小さな子どもや子連れへの思いやりの意識の低さを感じる。例えば、デパートや駅ビルに優先エレベーターが設定されていても誰も降りてゆずろうとしない。バスや都電で席をゆずってもらおうと思わないが、一歩ずれてくれればベビーカーを邪魔にならない位置に置けたりするのに、なぜか立ち位置を絶対に変えようとしない人が多い（特に年輩の人と男性）。社会全体の意識が変わってほしい。啓蒙の必要を感じる。
- 3歳になりましたが、その頃からすぐ怒る様になりました。怒るとなかなか機嫌がよくなり、すねている事が多いです。気をつけている事は何か話しかけられたらなるべく反応して対応している事です。
- 自分の中で子供は2人と決めていたのに3人目が生まれ、3人の母である事実が、ストレスになっている。2人が保育園から帰ってきて3人揃うと意味もなくイライラしてしまう自分に困ってしまう。
- 区の質問コーナーに訴えたことがあります。解答が区役所なりの返答で落胆した。子供のために十分に伝えた内容であったが、役所だと通感した。子供中心と考えるならば、動くのが正義かと思う。区民の税金で、仕事をしているのだから、将来を担う子供を大事にしてほしい。
- ふるさと納税の方の区への課税が下がり、不公平を感じます。区民だからこそ、区への納税が義務だと思います。

- 国全体で三歳児神話を脱却した子育ての仕組みを構築すると良いと思っています。（0歳児から集団生活をする方が、脳の発達に良いとの結果が出ている北欧の国では、WL Bも安定しています。）子供の世話を全部家庭ですることも、預けることも各人の選択肢の一つと捉えて、選べる社会であると良いと思います。
- 行政に対して反発する人間は必ずいると思う。直接、行政が行うのではなく、民間企業が地域活性するような手段も増えていくと良いと思う。
- みんな、ちゃんとした子にしないで！と気負いすぎている気がする。もう少しのびのびゆったり子育てした方が自分も子供もお互い楽なのになぁ…と思っています。
- 文京区の方が治安が良く、外国人が少ないので住みたいです。子育て支援センターでも外国人のマナーの悪さが目立ちます。（1人でおもちゃを全部私有化、他の人におもちゃをゆずらないなど。）それに対するスタッフの対応が見て見ぬふりで注意しない、マナーが悪い人が多く行くのをためらいます。
- 常にスキンシップを心がけています。子供から目をはなさないようにしています。自分が悪いと思う時は心から謝ります。
- 子どもに当たってしまう自分が嫌になるし、子どもがかわいそうだとも思うが、怒りをコントロールすることができず爆発させてしまう。でも仕事が忙しくて、相談する時間も日にち（平日）もない。自分では虐待のレベルではないと思っているが、第三者から見たらこれは虐待なのかなーと不安になる。子どもはかわいいと思うが、頭に来ることがあると一瞬に暮らしていて、たまらなくなる時がある。
- エレベーターも、障害のある方やベビーカーの人が優先されるべきと思いますが、そうでない人が乗って満員になり、エレベーターを見送る事が多くあります。ルミネ池袋のエレベーターの優先の取り組みは非常に良く、エレベーターから降りてくれる人が多いです。このようなエレベーターが増えると嬉しいです。
- 区役所の対応が悪い（5年前に豊島区に引越を考えたことがあり、子育て支援について問い合わせをしたが、対応してもらえなかった。）

## 24 本調査について

- 調査にウェブ上でも回答できるようにしてほしい。
- アンケートの量が多すぎます。とても見にくく、しんどかったです。子育てで皆さん疲れています、これは大変です。正直に申しあげてすみません。
- 返信用封筒が小さい。
- このアンケートが回答しにくい。選択肢が似かよっていたり、多すぎてすべてを読む気にならないです。

質問が漠然としていて、これがどう子育て支援に結びつくのかわからない。

- この回答が結果につながりますように。
- 子ども、子育てに向き合ってくださいること、うれしいです。
- こういった調査などは、できる限りご協力します。子供たちのためによりしくお願いします！

## II 小学生の保護者

### 1 子どもの権利

○今回のお手紙で初めて豊島区子どもの権利条例を知り、さっそくインターネットでリーフレットを見ました。ユニセフでの子どもの権利条約は知っていましたが、10年豊島区に住んでいても知らないことだらけでしたので、とても良い条例をつくって下さり良いことだ

と思います。ぜひ小学校のおたよりを通して、大人にもっと知ってもらいたいと切に願います。

○子どもの権利に関する条例には1部考えのかたよりがあると思う。

### 2 いじめ

○今はありませんが、子育てをする上でいじめの問題がとても心配です。いじめが起きにくい学校や地域の環境整備が進むことを願います。

のポジションを上げようとしたり、保とうとする行為は、心の弱さの表れでカッコ悪いんだと、そんな文化を根付かせてほしいと思います。

○いじめの有無を常に監視(複数の異なるチーム)してほしいです。いじめの『見える化』を促進して学業と学校生活に集中できるようにお願い致します。

○上級生にからかわれた程度でしたが、担任の先生に相談したところ、すぐに対応して下さいました。豊島区のお陰で安心して子育てが出来ています。ありがとうございます。主人の仕事で豊島区に住み続けられるか分かりませんが、これからも住みたいと思っています。よろしくお願い致します。

○中学上がったとき、周囲の素行の悪い生徒による暴力・いじめがとても心配です。

○誰かをいじめたり、蔑んだりすることで集団内の自分

### 3 不登校・ひきこもり支援

○不登校の子が外出できる場(遊べる場所、体育館など)特にスポーツが出来る場所があったら良いと切に願います。またそのような子たちが通うフリースクールの学費がもっと安くなると良いと思います。

もありそう。カウンセラーが家庭訪問するサービスもあると救われる家庭があると思います。

○フリースクールのような場が教育センター1カ所だけでは、不足している気がします。私立のフリースクールは、いろいろありますが経済的理由で使えない家庭

○友人関係で悩んでおり学校の先生にも相談しているがなかなか解決しない。自己肯定する気持ちが下がってしまっているように感じる。気持ちが繊細で些細な事で落ち込んでしまい、学校へ行きたくないと思うようになってしまっているのが心配。

### 4 屋外の遊び場所

○子どもの外遊びで公園を有効に使えないような気がします。例えば、息子は野球をやっているのですが、球技ができない場所(公園)が多く、練習はしたいけれどもできません。また、大人に外で遊べといわれても、木登りや、基地などを作るような子ども自身で工夫して遊べる公園が少ないです。

ぎるし、芝生は人で埋まっていた子どもが走れない。共働きで高収入で高い住民税も払っているのに、子どもを公園で安心して遊ばせられないなんて大変不満。東池袋の再開発が進んでいるが、公園の整備を組み込んでください。

○今年(2018年)に入ってから、小学校の校庭開放が在校児童に制限されています。小学校の校庭開放というのは、幼児も含め、他の小学校に進んだ児童同士の貴重な遊び場であり、ボール遊びができる環境が非常に少ないこともあり、他の小学校では他の児童を受け入れています。対応の検討をお願いしたいです。

○下校後、子どもが集まって団体で遊ぶ中で様々なルールや危険を勉強するものなので、現代の子供は、そういった意味では機会損失かと思っています。

○近くに公園があっても、遊具がないor少ないなどで、遊ばせるには不十分だった。豊島区は、大型遊具が少なすぎる。

○高齢者へはけっこうお金が使われていますが、子どもの活動について補助金が少ないと感じます。ボール遊びについて、全面的に禁止になっている公園ばかりです。場所確保が難しいならば、例えば子どもが下校した後の14~18時まではボールOKと、時間制限などで工夫していただけるようお願いしたいです。限られた土地、お金で工夫した運用をお願いします。

○思いっきりボール遊びができる公園が欲しい。

○数は少なくともよいので、明るく安心して遊べる公園が欲しい。(新宿区白銀公園、落合公園、文京区新大塚公園のような公園)

○子どもの遊び場があるようでない。ボール、自転車、タイヤのついたものの使用NGなどのルールが多く、遊びの制限を感じる。公園は大人の利用も多く、「うるさい」とどられる事もあり、昔のように公園は子供がのびのび遊ぶ場ではなくなっているように思う。

○南池袋公園のような公園がもっと増えるといい。

○「子どもの遊べる公園を強く要望します」豊島区は児童公園が少なすぎます。南池袋公園は、遊具が少な

○うちの子供はスケートボードをするのですが、どこですべていても大人に注意されて遊ぶことが出来ません。弟はBMXをやるのですがやはり同じく思い切り練習することができず、横浜や横須賀、足立区の方まで通っています。子供が思い切り好きなように遊べる場所が豊島区には少なすぎます。生まれも育ちも豊島区なので住み続けてはいますが、引っ越しも考えてい



ます。芸術、オタク文化もいいですが、体を動かせる施設を充実させて下さい。

- 子供が外遊びを積極的にするよう促しているが、スケートボードやローラーボードを出来る所がなく子供の外遊びがかなり制限されている。花咲公園においては、トキワ荘関連のものが建設予定で遊び場が減る。保育園の数等を増やしていることは知っているが、小学生の外での遊び場についてももっと考えてほしい。
- うんていや鉄棒の様な単純だけど自分の体を感じて遊べる遊具があれば、子供は結構工夫して遊ぶと思う。あと昆虫が集まる緑ももっと増やして欲しい。今ある公園も、一つ一つ近所の声を聞いて改善していくべき。遊具が有効に使われていなかったり、昔のブロック塀が残る危なかったり、区はなかなか対応してくれないとの声も聞こえてきます。新しい施設も良いが、古い施設も有効に活用されるよう、細やかな対応をしていただきたい。またその窓口を、もっとオープンにして欲しい。
- 地面（土）のみえる所が全くなく、子供・人が住む環境でないと感じます。
- きれいな水が噴いたり流れたりするような、北区の飛鳥山公園のような規模の公園があるといいです。
- サッカーチームが練習する場所がとても少ない。豊島区民が1人でもいれば他区のチームでも豊島区内の施設を借し出して、ほとんど全員が豊島区民のチームの方が施設を使えないというのは、よくわからない。
- 交通公園がほしい。

- 公園の遊具（すべり台やブランコなど）が危険だからと、どんどん撤去されてしまい、子どもたちが身体を使う遊びができなくなっています。危険だからとなくすだけでなく、危険を回避する能力をつけさせることも大事だと感じます。
- 安心して遊べる安全な公園が近所に無いと、非常に不便を感じています。池袋駅周辺には開発に力を注いでいるようですが、あの辺の公園や図書館を徒歩or自転車で利用出来る人々は、ごく限られた住民です。区民全体に還元される街作りを考えて欲しい。
- 公園では子供より大人、高齢者が多く、酒を飲んだり、はとにえさをあげたり、安全ではない。
- 近所にある公園は大通りから裏に入ったところで、喫煙所があるため、大人も多く出入りし、夕方からは不審者も来るので、せめて通りからすぐのぞけるように木をとり除くなど配慮して欲しい。
- 池袋周辺は、公園に大人（大学生・ホームレス）が多く、子供が安心して遊べる公園に限られてしまい、自転車で遠くの公園まで行かなくてはならない。
- 公園の電気が切れている事があるのですぐ直してほしい。
- 公園に木が多すぎて、見通しが悪い。公園、広場での喫煙をやめさせてほしい。
- 公園にボランティアの方とか大人がいてくれると共働き家庭としてはうれしい。
- プールがなく、夏は外で遊ぶことも出来ない。

## 5 居場所・活動の場の整備

- 子供が参加できる物を増やして頂けたら積極的に参加したい。
- 南長崎に住んでいますが、この地区には図書館がありません。マンガの街・トキワ荘に力を入れている地区ですし、子どもと一緒に歩いて行ける図書館（分館でもいいので…）を建ててほしいです。
- 板橋区立教育科学館の様な施設が欲しいです。
- 近くに温水プールがあるとよい。豊島体育館も、気軽に子供が遊びに行けるように開放されているとよいと思う。
- 子ども会やジュニアリーダーなど子どもが主体となって活動できる場がほしい。区民ひろばなどは親も集まれる場所であっても、結局は知らない人と話す雰囲気ではないので1人になってすぐ帰ってしまいました。楽しい場所だと思って行ったが、気を遣うだけでとても疲れたので、残念でした。
- 子供が国立に通っていることから、地域の子供との交流がないのですが、親としては地域にも友達を作りたいと思っています。
- 未就学児に比べ小学生は遊べる場所や夏休み、冬休みのイベントなどが少ない気がします。池袋に集中しすぎ。
- 特別なイベントではなく、いつでも身近に安心していられる場所がほしいです。
- 中、高校生も遊べたり話したりのスぺースがもっと必要。
- 幼稚園の数が多いわりに子供向けの児童館のような施設が異常に少ない。子育てをする世帯にとって、豊島区は住みやすいのか住みにくいかわからない状況。
- 体育館の利用を充実させて欲しい。
- 区民ひろばは高齢者には手厚いが小学生が遊べるようになっていない。
- 区民が自由に安全にいつでも（予約なしで）利用できる場所を希望します。学童などのように予め申込の必要なものではなく、小学生以上の子供がいつでも、好きな時に利用できる室内の場所など。例えば区立体育館は常に時間毎にプログラムが決められており、区民がフリーでいつでも利用できる時間設定がないため、決まった人しか利用できません。
- 区民ひろばは小学生が行くとあまりいい顔はされない。私の小さい頃みたいに児童館があればいいのに。
- 上が小学生で下が乳幼児の時は、子どもひろばを同時に利用できず困りました。夏休みなど上の子の宿題をみてやりつつ下の子を遊ばせるのは不可でした。利用していた子どもひろばは、小学生は図書室のみの利用でした。
- 区が主導する、スポーツクラブの種類を多くしていただきたい。例えば、小学生が週日かできるジュニアクラブ。サッカー、野球といったメインのクラブはありますが、ややマイナーなものも欲しいです。
- 南スポーツ公園遊具付近に時計がほしい。図書館を増やしてほしい。子供が参加できるイベントをたくさん増やしてほしい。（スポーツイベント、ボードゲーム大

会、おまつり、将棋大会、プログラミング、工作、防災e t c…)

- この辺ではお金がないと遊べない感じで困る。無料のこどもカフェがあると良い。図書館に中高生の読む本が少ない。ヤングアダルト向けの本を増やしてほしい。
- 区民ひろばが土日も開放されている所が増えた事はとても良いと思う。
- 中学生が集える、ちょっとしたたまり場や、小学生が大人の干渉をうけずに自分達で遊べる自由な場が必要

です。監視することや世話することに、自治体は躍起になっていますが、お節介です。中学生に勉強を教える場や、ただのんびりできる場があればいいのと思います。

- 区民ひろばやスキップ・ジャンプは充実していて感謝。ジャンプがもっと増えると中学生が繁華街へ行かずに安心して友人とすごせると思う。
- 図書館にカフェを併設していただきたいです。子どもスキップが大変助けになっております。

## 6 学校・教育

- 豊島区は近年、保育園事業に力を入れていて、待機せずとも保育園に入れやすい区として、親世代からも評判よく豊島区に引っ越したなどの話も聞いています。しかし反面、公立幼稚園や小学校では残念ながら教育の質が落ちていると評判です。学級崩壊や担任が休職、退職するなど、現場の問題が起きています。難しい子供が増えていることともあると思いますが、教員の質もムラが激しく、ただ時間さえ過ぎればよい、といった教員もいて、幼稚園・小学校の子供達及び保護者は学校に不満を感じる人達も少なくないです。来る教員を選べない事情はわかりますが、なんとか豊島区の方で、安心して子供を預けられる幼稚園・小学校にしたいです。また、支援員も十分でなく、他の区では支援員の時給もよく、良い人材を雇える工夫がみられます。豊島区も期待しています。
- 長男は隣接校選択で朋有小に入学しました。次男は隣接校の選択ができず、今のところ巣鴨小です。なぜこんな大事なことを8月中旬に決まったと言って9月に通知したのでしょうか？もっと前に予告をして下さい。今回の件で弟と一緒に学校に通えると喜んでいた長男は落ち込み次男は泣いていました。区の都合で子供の心を傷つけている事に全く理解がない豊島区にがっかりです。近くにマンションが建つためといいますが、ずっと住んでいる人の事は無視ですか。突然のこの通知に、住民票だけを移して朋有小に入ることを決めた子もいます。「ちゃんと調べて入学できないようにする」と言っていたのに結局調べもしないでそうしたお子さんを入れていきます。「兄弟は絶対入れます」と回答できない自治体業務に疑問しかない。子どもの権利なんて無視していますよね。
- 学校と子供との距離が自分達の年代に比べて疎遠になったような気がする。先生達にはもっと子供達との距離を縮めて学習・生活を見てもらいたいと思う。
- 小学校の体育館の冷暖房を早くつけて欲しい。
- 習い事で行っている小学校の算数、国語の理解度の違いから、すでにスタートラインが違うと感じました。
- 子どもロボット工学やIT、英語に興味をもってもらいたいと思うが、そのような機会にめぐまれていないと感じている。
- クラス崩壊、問題行動、授業妨害といったトラブルにまき込まれたことがあります。主犯格の子の親は感覚が鈍すぎて、問題意識が低く、結果的に同じクラスになった生徒みんなが、残念な時間を過ごすことになってみんなが可哀想。ユニバーサルデザイン教育の理念でみんな平等にというのはわかりますが、真面目に楽しく学習したい子にとっては不平等ではないでしょう

か。荒れ方が度を越えているときは、教育委員会が問題を察知した時点で、医療的介入を積極的に勧めてほしい。(精神科、心療内科等)

- 公立小学校について、出産・育児休職の先生が4人もいて、代替え教諭のレベルが低すぎる。すごく心配。区・教育委員会、学校でもっと連携し、対応して欲しい・ISS活動はいいが、ケガが少なくないといけないようで、保健室の利用にルールができた。小さなケガは教室の救急箱で対応するらしく子どもが気軽に保健室に行けなくなった。担任が不安だから保健室へ行くのに、他に頼れる先生もいなくなり心配。
- 無料の学習支援があるといいです。
- 小学校で子どもが使う備品を購入の際、なぜ学校によって購入金額が違うのでしょうか。
- 中学受験率が高い地域なので、小学校の宿題は自主的に塾でやったものを出してもOKにして、漢字の強制はやめてほしい。下校時間ももっと早くしてほしい。
- 先日、池袋本町小学校へ行く機会があり、とても整備が整っていて子供もうらやましがっていました。同じ区立の小学校なのにこんなにも違うのかと実感してしまい、他の小学校の整備も、もう少し充実したらいいなと思いました。
- 小学校の数、中学校の数が少ない。子ども達が長距離を歩かざるを得ない。
- 通学距離が約1 kmあり、帰路の最後数百mは独りになることが心配。近所の人たちは親切で、子供に目を向けてはくれているが、通学路の要所に防犯カメラがあったり、下校時間における警官の見回りなどがあればより安心できると感じる。
- 第三者の方による公立小中学校のチェックを希望いたします。担任が独裁者にならない様願います。また、塾に通っていることを前提にしての授業の進め方は、早々に止めていただきたいです。教科書を使用せず、過去問を取り組ませ、解けた子どもに解説させる、これでは授業とは言い難いです。義務教育である以上、必要最低限の教育は受けさせて下さい。又、子ども達に学校教育の充実度を問うアンケートは、学校側に内容が分からぬ様回収していただきたいです。子どもの正直な気持ちを汲み取る際はその点に十分ご配慮下さいませお願いします。「豊島区の学力が良くなった」との報告があったかと思いますが、「塾に通っている子の学力」が向上したのかと思われます。豊島区の教員が勘違いしない様、結果を開示して下さい。
- 先生の質が落ちていると思います。いい先生に当たれば子供はのびのびしますが、悪い先生にあたれば、子

- 供は悪い方へ行ってしまう。中学の先生にはがっかりしています。生徒に無感心すぎる。一番大切な時期を見る資格はないです。
- 学力の格差がとても大きいと感じます。親の経済力によって子どもの学力に差が出るのは、子どもたちにとって良い環境とは言えないと思います。頑張っている子どもが、経済力に関わらず、安心して進学し、学ぶことができる環境づくりを望みます。
  - 小学校の年間の学校行事が多く、1つ1つの完成度が高く、いい経験をさせていただいて感謝していますが、その分先生方が忙しく、子供一人一人に対して目が行き届いていないと感じます。子供たちは色々なことを見て感じています。学校という組織の中では規律が基本で集団行動を求められますが、特に低学年でいわゆる「手がかかる子」は厳しく叱られるだけで、なかなかその子を理解しよう、とまではいけないようです。「活弁でいい子」として居心地のよい場所になっている様に思います。もう少し個々が尊重される場になってくれるといいなと思います。
  - 区立中学校の教育レベルを上げるべき。進学実績も公表すべき。これらが実現されないと、私立中学を選ぶ家庭は減らず、結局のところ、所得による教育格差が生まれる。
  - 最近の子ども達は、少し贅沢すぎる気がします。食べ物を平気で残したり、高価なゲーム機を買ってもらって、当然のように遊んでいたりと、平和ボケしているように思えます。今の小学生の祖父母は、戦中、戦後間もなく生まれた人達です。祖父母年代の方たちにご協力いただき、今の子供達がどれほど恵まれているのか、何か災害などの危機に直面したらどうしたらよいか、考える機会を作っていただきたい。
  - 区立小（中）へのスクールカウンセラーの派遣頻度を増やしてください。月1回で、頻繁に異動があると、カウンセラーの方と信頼関係が築けません。
  - 3年から41名以上いないと2クラスにならないが、区の裁量で2クラスにできるようにしてほしい。子どもをのびのびと育てられるように、学校のあり方も見直して欲しい。ルールや行事が多すぎる。行事が多いと教師も子どもたちも大変そう。学力、体力向上は大切だが、子どもたちの心の奥行きを広げることが何より重要と考える。自分は受け入れられていると確認できないと、前向きに頑張ることもできないだろう。子どもの思い、言葉を受け取る余裕は、忙しすぎる先生には難しいと思う。
  - 学校の授業もつめこみ的な内容に感じるので、ゆとりある質の高い教育が必要だと思う。子供のうちに学ぶのは得点を得る内容ではなく、生活を向上させる幸せだと思う、自分で選べる内容にして欲しいです。
  - 土曜公開授業が多すぎて、子どもも先生も親も負担な気がする。半減してよいのでは。学校の先生、いつも忙しそうで話しかけにくい、相談しにくいと子どもが言っています。もっと勉強を教えることに専念してもらい、雑事から解放してあげてほしい。
  - 幼児教育にもっと力を入れてほしい。
  - 学校のお友達は塾に行く子が多く、塾で勉強していれば…の意識が先生方にもあるように思う。放任主義の先生が多い。
  - 読み書きが苦手な子ども達への理解がまだ進んでおらず、小・中でも未だ電子パッドを使った授業が進んでおらず悲しく思います。相変わらず、「ノートをとること」が優先。ノートをとれる子が評価される。
  - 毎日6時間授業で下校時刻も遅く、宿題や家庭学習(学年×10分＝4年生40分)、家で毎日する学習をこなすと家で自由にできる時間はほぼ無いのがかわいそう。それに比例してテストの成績が良い訳でもなく思案中。
  - 保育園、小学校の先生達、我が家は非常にめぐまれ感謝しています。すべてがそうなるとうれしいです。
  - 一部の小学校で集団登校をしているが、列が長く、せまい道を占有していたり、交差点のジャマになっていたりとするため、やめてもらいたい。
  - 学校への不審者侵入を防ぐ為にも、玄関のオートロック化を義務付けて頂きたいです。学校設備の充実(トイレ改装や校庭の整備等)は、必要な事ではありますが、それ以前に子ども達の安全を守る為にも、最優先して頂きたいです。
  - 小学校の先生の質に偏りがある。先生とはいえ、社会人である以上、常職をもって生徒や保護者に接するべき。先生の資格を持っていても、人格者として異常がある先生がいます。保護者の意見がきちんと校長先生より上層部に伝わるような、評価制度を設けるべきと考えます。保護者の学校へ対する不満や要望などは、どこを通して伝えるべきなのか明確にしてほしい。
  - セーフティスクール認定校なので仕方ないかもしれないが、当番で強制的にまわってくる登校班のつきそいが負担である。
  - 小学校に入学後は、時間短縮勤務が取得できませんが、小学校の開門時間が限られており、父母が出勤する時間と小学校に入れる時間の差がありすぎ困りました。入学直後は早朝のファミリーサポートを利用していましたが、毎日のことで経済的にも大変でした。少数なのかもしれませんが、他にも校門前で待っているお子さんがいるようです。安全に、経済的にも負担が少ない学校開門前のサポート体制をぜひ整備して頂きたいです。
  - ランドセルが重すぎます。文科省より9月に「置き勉」を認める通知が出されたのに学校現場ではいまだに禁止されています。子どもの健全な身体の育成や通学時の安全を考えると、大変な負担です。週末には、体育着やエプロン、うわばき等荷物一杯両手に帰ってきます。子どもに持ち帰りを任せる等、親身に検討して頂きたいです。宿題もプリント学習にする等学校側の工夫も必要です。学校毎への対応ではなく子どもの立場から子ども健康、通学時の安全等から「置き勉」を具体的に認めるよう進めて頂きたいです。
  - 上ばきを毎週持ち帰らせるのはやめてほしい。月1回洗えば十分。絵の具セット、習字セット、音楽セット、さいほうセットは1年間おきっぱなしにしてほしい。防災頭巾は学校の備品にしてほしい。夏休みを8/31までに。手紙はwebで見たい。
  - 小学校の活動などに参加することが多く、学校の先生方が普段から忙しい中、子どもたちのために夜遅くまで学校にいたり、とても頑張っている姿をよく見ます。とてもありがたいですし、頭があがりませんが、先生方の働き方の改革も考えていただけているのでしょうか。

か。先生方の体も心配です。

- 小学校の先生達の帰宅時間が遅すぎると思う。同じ子育て世代なので、もっと早く帰宅すべきだ。
- 学校での先生方への負担が多く感じます。その為PTAへの仕事の協力も増えている状況が続いています。親同士のつながりが増えると解決できる内容もあるので、町内や学校内での大人のつながりが増える事を望みます。保育園や幼稚園に通っているうちから子育ての責任は親にある事を自覚してもらえば、モンスターペアレント等も減るのかと思います。母親・父親を育てられる環境が整っていく事を強く望みます。
- 区立小の通知表評価基準が学校によって違うと聞いたことがあります。80点でAをもらえる学校もあればほぼ100点でないとAはもらえない学校もあるとのこと。受験を考えているので、評価基準は統一させて

ほしい。学校の休み時間に、必ず外に出て遊ばなくてはならないそうで、外遊びの苦手な子どもたちにとっては苦痛でしかなく、このことで学校へ行くのを嫌がり始めています。一つの価値観を全ての子どもに押しつけるのは止めてほしい。給食を食べる時間が短いので、もう少し長くしてほしい。食べたくても時間が足りないそうで、食べ物ももったいないし、本人もかわいそうです。

- 小学校では昔と違い連絡網がないので、ママ友が作りづらく、どうやって子供達の遊びの約束をしづらいのか困る事が多い。
- 学校の行事など親が出て手伝うことが多い。土・日・祝日も。仕事を持つ人の意見は聞かないのか。○大学等の施設で、参加できる勉強になる企画があれば参加したいと思う。

## 7 放課後対策(学童・スキップ)

- 以前よりも子育て支援に力を入れていると実感できることが多くなり、感謝しています。現在感じているのは、今まではあまり話題にならなかった小学校高学年～中高生への支援も必要だということです。学童は、基本的に3年生までですが、4年生になったから急に自立できるわけではなく、むしろ心が荒れていくのはこの時期からです。高校生までの継続的な支援が、子どもの非行を防ぎ、地域の安全・安定につながっていくと思います。
- 学童クラブをもっと充実させて欲しい。指導する大人の人数を増やす。夜間8時迄、夕食の対応など。料金はもう少し高くても良い。より充実した学童が必要な人と、そうでない人と料金も別にして、それぞれの家庭に合った学童クラブができると良いと思う。フルタイムで働いているサラリーマンと自営業等の人では必要としている内容は違うと思う。
- スキップの土曜の利用時間を6時にしてほしい。日曜の預り先がないのでスキップを開放してほしい。
- 学童クラブの利用が4年生になると制限されてしまう点が心配です。スキップは入退室などが自由で不安。
- スキップが子ども一人でいける場所にあることは大変ありがたいことです。駒込は大きな通りが少なく車も低速で走るし、狭い路地が多く、小さい子供を持つ親にとっては安心です。子どもをスキップ等に預けている間に充実したプログラムを組んでいただいていることに感謝しています。高学年になりスキップに通わなくなった時、親の就労時間中に塾だけでなく充実して過ごせるものが見つけられるかどうか不安です。
- 小学6年生まで学童クラブで預かって頂きたい。現在の制度では、小学4年生以降は、週4日、18時までいなくてはいけない等の制限があると聞きました。習い事とか、仕事の都合で早くお迎えに行けることもあるので、制限なく預かって頂くことを希望します。働きながら子供を2人目、3人目と安心して産めるためのサポート体制をつくって頂きたいです。女性が働きながら子育てをし、しかも会社で働くということはとても大変であり、子どもを欲しいと思いながらも、あきらめてしまったりする方が結構多いのではないかと思います。子供を産むために、長期の入院を必要とする方もいます。その際の上の子を学童クラブのような

安心できる場所で、8時や9時ころまで(父親が迎えに行ける時間)預かって頂けたらいいと思っています。

- 時々学校内のスキップを利用しますが、最終利用時間(18時)になると下校をうながされます。冬は暗くなるのが早く、18時前にはもう真っ暗になり、心配なので迎えに行きますが、誰もいない校門前に一人でいることも多く、不審者等が心配です。
- 学童のおやつ時間の改善。他区でも17時に出す所はなく、子どもが空腹の時間が長くなるので15時半や16時にしてほしい。学童の先生方は本当によく子どもを見て下さっているが、子どものいじめは大人のいない所で起こる為、学校と同じく定期的に“子どもいじめアンケート”を実施していじめの未然防止をしてほしい。
- 小学校と学童の連携強化。子どもが体調不良等で休みや早退となった時、同じ建物内の学校側からスキップへ連絡してほしい。子どもの通院等をする中、電話が間に合わないこともある。
- 保育園の下の子と、上の子が通う学童が遠くて学童のむかえの時間に毎日ギリギリか、雨の日で自転車が使えない日は間に合いません。しかし終業時間が17時との理由で延長申請できないのできついです。学童の迎え時間に間に合わず、上の子を暗い中、1人で帰らせる時もあるので心配です。
- 学童の一部の職員の質が悪い(子への対応・口の聞き方も悪い)ため、子が行きたがらなくて困っている。どうかして欲しい。
- 私は専業主婦なので、放課後も子供と過ごし、遊びに出ても決まった時間に帰宅するよう指導しています。通っている小学校は共働きの方が多く、フルタイムでお仕事をされている方もいます。学童を出ても親が帰宅しておらず、家の外で同じような環境のお友達と19時頃まで走り回っている一年生を見ることが多いように思います。万が一事故にあったら、地震がきたらどうするか心配になります。共働き世帯が安心して働ける多様な取り組みを考えてもらいたいです。
- 子供が私立に通っているため、公立とは異なる日にお休みがあります。父母ともフルタイムで働いているため現在は学童で朝から見ていただいておりますが、4年生からは学童を使えない(週3日も18:00まで利

用しないため)のでどうすればいいか困っています。一人で朝から家においておくことは不安です。4年以上の学童利用条件の変更か、スキップで朝からの対応の検討をお願いします。

- 育てている子どもの年齢によって要望は変わっていくものですが、わが家はすでに乳幼児期を過ぎたので、学童期の子どもたちに優しいまちであってほしいと願います。具体的には、放課後、安心して集える場所をもっと増やして下さい。
- 学童で宿題をする時、人が多くさわいでいる子がいて、集中して勉強できない時がある。地域の人子どもに教えてくれる放課後子ども教室がもっと増えると良い。今は親の見守り送迎が必須となっているものがあるが地域のサポートが増えて親がいなくても利用できるよくなるとうと良い。月に3000円程度お金を払っても良いものがあれば利用したい。
- 夏休みなどの長期休業中、学童を利用していますが、給食が出ないので、とても負担に感じています。平日はお弁当作り、土日は一緒に遊んであげる必要があり、夏休みはとても大変です。
- 放課後はスキップへ、先生もいるし友達もいるので安全だと思います。できるだけ通ってほしい。しかしながら同じ方向に帰る子供がいないので毎回お迎をして

います。働くということは、迎えができなくなるので考えてしまいます。

- 学童の朝の預りを是非お願いしたい。
- 長期休みの際、スキップ利用でも早朝から利用できるようにしてほしい。
- スキップが狭すぎて子どもが嫌がる。雨でも広々と子ども同士が遊べる児童館は必要だと感じている。
- スキップの存在には感謝している。私立小に通学しているが、放課後に地域のお友だちと安心して遊べる場となっている。時々提供される放課後教室も子どもがさまざまなことを体験できる良い機会になっていると感じている。
- 子どもスキップは、毎月いろいろなイベントがあり楽しそうではじめは行っていました。飽きて行ってくれなくなりました。行事の回数ではなく、行事の種類を増やして欲しいです。
- 子供スキップで働いている人達の教育をしっかりやってほしい。理由も聞かずにすぐ怒る人がいて子供達は、そのスタッフに会いたくないからとスキップの利用をやめてしまう事がありました。1度、嫌な思いをするとう子供達は集団で利用しなくなります。

## 8 保育園

- 保育園にもきちんと園庭を完備してほしい。
- 保育園の保育の「質」がちがすぎる。
- 兄弟同じ保育園で預けられたら助かる。
- 近所に保育園がどんどん出来ているが、量産されすぎて、保育の質が心配。

○現在の保育園は、低年齢(0才~)が1番入りやすくなっているが、2、3才以降の子が入りやすいように高年齢の子の定員を増やすことはできないでしょうか。企業の育休は長くなっているのに保育園に入るために0才から保活をするのはおかしいと思います。

## 9 幼稚園

- 豊島区東池袋は1~5丁目まであり、子供も沢山いるのに、幼稚園が全くありません。うちは北区まで通っていました。幼稚園作って下さい。
- 大塚にも私立の幼稚園ができてほしい。バスで北区まで通わせてる方が多いので、家の近くで通わせること

ができると近くでお友達もでき、そのまま区立の小学校に行く場合、一緒にの学校に通って知ってお友だちもいて、子供にとって良いんじゃないかなと感じました。

○区立幼稚園が少ない、遠い。

## 10 子育て支援サービスの充実

- 仕事の日に、子どもがインフルエンザ等で学校を休まなければならない時、病児保育のサービスがあると嬉しい。
- 働いていなくても気軽に子どもを預けることのできる保育サービスの充実を希望します。専業主婦だと自分の病院に行くこともままならないので。
- ファミリーサポート会員です。助けてほしい時、依頼してもなかなかマッチングせず、援助会員が少ないのでは、と思っています。結局、民間の家事やシッターサービスを利用していますが、こちらも区からの補助やクーポンがあればうれしいです。
- 子供の医療費の負担金がなかったり、健診・予防接種が多いなど、友人と話して初めて気づき、大変嬉しく思いました。
- 杉並区で出産しましたが子育てイベント(有料)のも

のに区の助成がでていてうらやましかった。

○我が家は祝日に子供を預ける場所がなく困っています。ファミリーサポートさんやベビーシッターさんをお願いしていますが、小学生も祝日に預ける場所があるとありがたいです。

○育児の母親にかかる負担が大きすぎると思う。自由時間が全くないので、最近シッター事業者に登録し、利用しようと考えている。豊島区のボランティアの方にも夏休みに手伝っていただいたが、安い料金で悪いなと思ってしまい、送迎の送りだけ手伝っていただいた。ただ、とても良い方なので知り会えて本当に良かった。家に父親じゃなくて、母親がもう一人いたらいいのにと思う。

○徐々に病児保育への補助制度や認可保育園利用者への手当などが改善されてきており、すごく良かったと思います。

- 3人の子どもを育てていますが、1人目の時より2人目、2人目の時より3人目の方が子育て支援が充実して来て助かるなと思っています。区が力を入れてくれているのが分かり、とても感謝しています。
- インフルエンザ等、学級閉鎖せざるを得ない時の就労対策が厳しい。本人がインフルエンザになる→約1週間休み。学級閉鎖→約1週間休みで計2週間休まなくてはならないことになり、対応が大変。保育園は閉鎖する事がないので、小学校等での学級閉鎖は本当に必要なか疑問。
- ファミリーサポートの支援員さんに病気の時でも対応できる体制を作って欲しい。
- 子育て支援は保育園を増やすことではないと思う。子育てを自分でしていない人は、子どもの思春期に向き合うことは難しいと思う。私も仕事はしているが、安心して働けるのではなく、安心して子育てができるような社会になると良い。

- 埼玉県に住んでいた時は、子育て支援サービス（カード）があり、飲食店やドラッグストアなどで割引きのサポートがあった。豊島区でもそのようなサポートがあると助かります。
- 夏休み、冬休み、春休み中の子どもを預けられる場所が少なくて困っています。幼稚園に行っている妹は、お預かりがありますが、休みの時は1日2千円と高いですし、7才と4才を家で5時間以上待たせる事も出来ず困っています。○保育園は病児保育があったが小学校になると利用できない。1年～2年くらいまでは利用できるが良い。
- 豊島区近隣の区では、“区民限定・優先”のイベントが多く、豊島区は全受け入れ、不公平感を感じる。近隣の区のイベントにも、豊島区民が参加できるようにして頂きたい。
- 日曜、夜間に子供を見てもらえる所がほしい。

## 11 障害児への支援

- 子供に生まれつき障害があり入退院を繰り返して育って来ました。近所の小学校に支援級がない為、毎日自転車で学校まで送り迎えしています。健常児よりも弱い体なのに遠くまで通学しなければならない現状、支援学級での学習は、先生が少ないこともあり本人に合ったものでないように思い、放課後デイケアに通わせたいと思いましたが、定員オーバーで入れず、自費でかなり高額なお金を支払い学習塾へ週1回だけ行っています。普通の小学生が習うことを学ばせたいだけなのに、なぜこんなにお金がかかり仕事の時間を割いて通塾しなければならないのか。同じ権利があるはずなのに、かなり頑張らないと情報も教育も獲得できない現状に不満があります。支援級の子どもが増えていると聞きます。1人1人が主人公になれる楽しく夢を持つ将来の為に、区としての助けをお願いしたいです。
- うちの子は特支と公立で別の小学校に通っており、母子家庭なので家や収入の悩みは尽きません。放デイの利用可能時間の関係で、フルタイムや正社員で勤めることが出来ません。区営住宅に申し込んでも倍率が高く当たらず…解決は出来ません。出来るだけ自分の力で生活がしたいと思っていても、国のお世話になっている状態で、恥ずかしく感じています。私自身も無理が重なり難病になるほどで将来のことも心配です。
- 発達支援の情報をわかりやすく教えて欲しい。未就学の時に受けていた支援サービスをスムーズに就学後も移行させたいが難しいことも多い。
- 軽度発達障害がありますが、子育て支援センター、教育センター、小学校での特別支援教育が他区に比べ充

実し、丁寧な対応をしてくださると感じました。

- 発達障害の為に学校とのすれ違いも多く、トラブルが絶えずに保健室登校となっています。IQは低くないので障害手帳はもらえず大変困っています。学校からも他の保護者たちからも、悪い子としつけのできない親と言われ、陰口も言われているので私も精神的につらい状況ですが、障害認定もされていないし療育のフリースクールのようなものがなく行ける所（学校にも居場がない）がありません。金銭的にも苦しく絶望しています。
- 幼少期の頃より吃音があり悩んでおりましたが、通っていた保育園の先生方や家庭支援センターの職員の方がいつも親身に相談に乗って頂いて支援を受けさせて頂いていました。小学校へ上がってもことばときこえの教室に通わせてもらい、在校している担任の先生と連携を取って下さり本当に感謝しております。
- 子どもに発達障害があり、通級を利用していますが、週1の数時間ではあまり意味がない様に感じます。特別支援が充実する事を望みます。療育や病院での受診の情報等も公の支援があるとありがたいです。できる親はいいですが、できない親の子はどんどん支援が遅れて行きます。
- 発達障害のある子どもたちが、他の子どもたちと共に学校生活を送れるように、子どもや先生方への教育を進めてほしい。理解と支援・配慮が、できるだけ適切に実現することを望みます。
- 発達障害の子でも習い事やイベントなど、気軽に参加できるものがあれば良いと思います。

## 12 情報提供・相談支援

- 子育てに関する事をもっとわかりやすく、SNSなどを利用して伝えられたらよいと思う。
- 情報の発信も大事だと思いますが、発信することにお金をかけるより、内容、頻度、場所など具体的なことにお金を使っていたらいいと思います。
- 子育て等で悩んでいるのに区の職員の言葉に悲しみとショックを受けた。こんな失礼な事なくなってほしい。

立場が違うのに。相談できる場所が減るので二度とそのようなことが起きないでほしい。

- 子どもの中学校への進学などについてほとんど情報が得られない。どのような進学の道があるのか、公的機関から説明してもらおう機会を設けてもらいたい。
- 子供の発達障害について相談したいのに、相談できる施設が少ない上、自宅から遠いため、仕事をしている

とまず行けないし通えない。もっと施設を増やして欲しい。予約をしたくても、ものすごく待つ。

- 母子手帳をなくし、かかりつけの小児科が昨年いつのまにか閉院していたので、予防接種の状況がわからないが調べる術もなく、平日は仕事もあるので相談もできずどうして良いかわからず困っています。
- 日曜、夜間に相談に行ける場所がほしい。
- 在学している小学校のスクールカウンセラーの方が、前年度は週2回来校していましたが、今年度は週1回になりました。子どものことで相談したい時にすぐ相談ができない状況です。
- 母と兄の関係が微妙な時があって、弟の彼は、気を使っていると思います。まわりに相談できる人がおらず、いつも不安です。
- 近くの区立中学校の進学に関する情報が得られず区立中に行かせることがよいのか、私立中学や都立中学を受験させた方がよいのか判断できない。
- 子育て支援に関する相談や講習会は平日日中が多いと

思うので、仕事をしている親達にとっては利用しにくい。

- 以前子どもの発達障害を疑い学校のスクールカウンセラーの方に相談したことがあったのですがあまり親身になってくれている印象はうけず、カウンセラーとは名ばかりで結局は何も解決せず、その後のフォローもなかったように思います。担任の先生や保健の先生はとても協力的で良くしてくれているのでスクールカウンセラーって何?と思いました。せめて同世代の子をもつ年齢の方に在中していただいて話を親身に聞いてもらうだけでも救われる方が増えるのではないのでしょうか?
- 子供が通っている学校に不審者情報を伝えたが、小・中ともメールの発信がなく、不安な時もあった。
- 食物アレルギーへの配慮が区のイベントなどで不足していると思う。
- ノーマライゼーションのマインドが薄い区のように感じるので是非改善を。

### 13 医療・健康

- 予防接種を無料にしてほしい。(大人も子供も)
- 近くのかかりつけ医が高齢で、近い将来身近に通うことのできる医院が近所になくなりそうなことが気になる。
- 休日・夜間診療の充実。
- 昨年、豊島区へ越して来ましたが、病院探しがしが大変でした。病院の一覧表などがほしいです。
- 3才児検診へ行き、そろそろ母乳はやめた方がいいと

歯科衛生士に言われた上、保健師との面談で、あたかも問題のある母親のように扱われ侮辱されているように感じた。WHO・ユニセフでは、2才までそれ以上も子供がほしがるといっている。母乳育児を推進すると確実に医療費は下がります。長い目でみて、政策に組み入れてほしい。保育園で月に1回(0歳は3回)検診・計測はあるし、歯科検診等もあり、予防接種も近所で受けるようになった昨今、3才児検診に行く必要性を感じない。

### 14 ひとり親家庭への支援

- 現在、別居中です。豊島区はひとり親への支援が充実していると感じていますが、別居だと支援が受けられず、苦しい状態です。ただ昨年未豊島区に越してきた時には子育て支援課の方が親切に相談に乗ってくれ

てとても心強く、感謝しています。これからも豊島区に住み、区民として様々な場面で活動できる機会が得られたらと思っています。○父子家庭は不利です。子供医療保障を高校、大学まであげて欲しいです。

### 15 経済的支援

- 子育て、特に教育費の負担が大きいと思います。学校の授業についていけない子をフォローするのももちろん大切ですが、やりたいこと、できる子が伸びていく環境、そして豊島区に住み続けていくようになってほしいと思います。
- 医療費の給付など、年度ではなく満年齢で区切って欲しい。不公平感がある。
- 子育てに関わる区の補助金などは大変ありがたいが、所得制限などが少々疑問です。少子化対策が必要なのであれば、3人目以降は全て無料化などの思い切った策が必要だと思います。所得も単純に収入だけを見るのではなく、支出の部分を見ないといけないと思います。3人以上の子育てに不安のない様々な策を実施して頂き、子供の多い区を実現してもらいたいと思います。
- 私の三人の子供(小学6年、3年、幼稚園)がおりませんが韓国人の為、言葉が上手ではありません。現在韓国の学校に通っていますが、学費が高く困っています。私はIT会社勤務ですが、妻もアルバイトしたいと思

- っています。学費や就労などで援助はないのでしょうか。
- これから中高大と進学していくにあたり、教育費がどのくらいかかるのか、不安に思うことがあります。私立に進んでも、支援があれば嬉しいです。
- 多子世帯の給食費補助を行ってほしい。
- なぜ新宿区で助成されているインフルエンザのワクチン助成が豊島区にはないのか。近隣の区に比べて、子育てや、生活に対する支援が少ないのが不満。
- 「待機児童問題」について、何故こんなに子供を預けたいと考えている家庭があるのか、親が仕事をしてお金を稼がないと、子育てできないからです。子供への手厚い支援があれば、安心して子育てできると思います。少子化も解消されていくと思います。子育て中(高校卒業まで)の全家庭への十分な育児手当を希望します。
- 子供の貧困問題が気になっています。貧困で進学できない子供たちをなくす対策をして下さい。
- 持病があり母親が働けません。(身体障害者です)子ど

もは2人おります。働けない分生活が厳しいです。もう少し、身体障害のある母親や父親に区として手当てなどがあると、子どもたちを育てる上で助かります。

○共働きで日々、忙しい生活をしている人の方が税金を頑張って払っていて、母子家庭の人はゆっくりと優雅な生活をしていたりして平等とは思えない。もう少し厳しく審査してもらいたい。母子家庭と言っても、実はお父さんも一緒に住んでいる等もよくあります。はじめに頑張って子育てをしている家がばかを見ている気がしてなりません。

○DV夫のために離婚出来ず大変つらい。いろいろ生活費がかかるのに障害もあって働けない。愛人側はひと

り親制度を使っているのに、私は妻ということでひとり親制度が使えず困っている。苦しいのはこちらなのに、制度の見直しをしてほしい。

○ヘルメットを購入する際の補助金を、サイズ変更の度に受けられるようにしてほしい。

○ひとり親家庭や低所得の子育て中の家庭への支援が不足しているように思います。家賃の助成を受けようと問い合わせたら、部屋の面積が規定以下と言われ助成を受けられませんでした。広い部屋に住める経済的余裕があれば、助成を利用する必要もありません。現在1DKの狭い部屋に子供と2人で住んでいます。文京区の方が、低所得家庭に手厚いように思います。

## 16 住環境・まちづくり

○フアミリー向けの賃貸マンション、アパートがないと思います。たいていは2DK、子供部屋は難しく、音楽を学ばせようにもピアノ不可、まして自転車置場も不十分で、子供に自転車を買っていません。

○外国人学生が近年多くゴミの収集が全く守られず、不法投棄で荒れた住宅街になってきたことが気がかり。外国人向けのごみの出し方など配付すべき。

○椎名町駅周辺に吐いたものが大変多く、子どもの登下校時がかわいそうです。

○大塚北口の橋の下のいかかわしいお店が無くなれば嬉しいです。

○住む所に困っています。外国人で子供ありでなかなか住む所がない。

○歩道や自転車道の整備を進めてほしい。

○自転車で塾に通えるように、敷地のない塾などの子供を対象として路上駐輪ができるようなシステムがあると、少しは安心です。

○東口←→西口往来が不便。

○子供を乗せた電動自転車の置き場に困ることが多い。雑司ヶ谷駅はほとんどないし、池袋西武側は、南池袋公園まで行かないと置けない。路線バスが走っていないような所をコミュニティバスが走ってくると嬉しい。区役所も西口方面からアクセスしにくいし、自転車を使っても駅を越えるのは大変なので、東西の行き来をもっとよくしてほしい。特に、西武線を越えるガード下は、子乗せだと車道を行くしかなく、車もギリギリなのであづま通りに抜けるのは本当に大変。

○池袋西口付近は、ここ最近、外国人の日本語学校が増え、歩道を沢山の外国人の方が歩いています。文化が違うせいか、大人数で横に並んで歩かれると、小学生の娘は通れずに困る事も多々あります。歩きタバコもまだまだ多いのが現状です。もう少し子供が暮らしやすい街になるといいなと思います。

○道路計画により池袋本町では建物の解体も多く、工事している場所や建築している場所が非常に多く思います。子供たちにとって通学しづらくならない様に今後道路計画をすすめていって頂きたいです。

○公園や池袋駅周辺にも、アニメおたくのような大人がたくさんいて、子供をのびのび育てたい環境とはほど遠いと思います。マンションやビルなどを、どんどん建てることもよいが、緑の多いゆりのある街作りを優先してほしい。

○池袋がもっとおしゃれな街になってほしい。

○区としての取り組みは頼りなくても、市民が自発的に色々な取り組みをしていて、それは強みだと思うので、市民活動のバックアップに力を入れていくのがいいと感じる。ダメダメな人を批判し排除するのではなく、ゆる〜く見守って、社会の中で生かされている方が、結局のところリスクが少なく安心な社会だと思う。高みを目指すのではなく、底を支える支援が優しいだけでなくコスバもいい。区立の学校環境を良くするのは区だけでは難しいのもわかりませんが、やっぱりもう少し頑張るべきだと思う。

○豊島区の本庁舎は大変素晴らしい取り組みだと思います。池袋について少しずつ、昔の古き池袋から新しい池袋にイメージを変えていけたらよいと思っています。また、子供が学校からもらってくる手紙では様々な活動の経験ができる機会を与えてくださっている印象です。今後も豊島区の発展に期待しています。

○都心での移動は自転車が多いので、主要な施設、駅付近や役所以外のショッピングや遊び場の駐輪場を増やして欲しいです。

○子ども用品を売る店がない（例えばイオンやイトヨーカドー等）。

○普段着る服や、下着を買うお店が無いなど、子供を育てるには、良い環境とは思えません。

○空室をファミリー層に安く貸出して欲しい。

○池袋に新しい施設を建築中ですが、とても楽しみにしています。

○一番切に願うのはコミュニティバスの検討です。豊島区は区役所にいくのも保健所にいくのも、人ごみの池袋駅を通らないといけなくて、小さい子など連れていくのは大きな苦痛です。他区はコミュニティバスが充実しています。区の端から主要な区の建物までバスが連れて行ってくれます。羨ましいです。



## 17 交通安全・防犯

- 路上で子どもに声をかけるなどする、不審者が気になります。のびのびと外遊びをさせたいですが、公園に子どもだけで行かせるのが不安です。
- 不審者が多いので、学校の登下校もなるべくつきそうようにしていますが、もう少し防犯カメラがあると抑止力になると感じます。
- 通学路がスクールゾーンになっていないので朝の登校、帰りの下校時車の往来が多くて心配。
- 学校周辺の街灯が暗い・道が狭い・公園に人がいない・死角が多いなど防犯上、不安な点が多い。
- 細い道（4m）で交通量が多く、困惑している。劇場通りの延長を早くして欲しい。
- 南大塚は古い街なので、歩道が狭い所が多いです。そこを、自転車がかなりのスピードで走っていることが多く危ないことも多々あります。
- 小学校の通学路で街灯がなく暗い道がある。冬等、日が暮れると真っ暗で怖い。小学校の校門前なのに車やバイクの逆走が多い。
- 小学校の地域安全マップづくりに引率しましたが、子ども110番に協力しているお宅が少ないように感じました。公園の木々がうっそうとしている所は、剪定して見晴しを良くしてほしい。
- 通学する時に古い壁や塀があるので、地震等が起きた時危険なので整備してほしい。
- 白線がない歩道への自転車の乗り入れを通学時間は禁止したらよい。例えば、目白小近辺ならば、目白通りの目白小側の歩道は歩行者のみとし、学習院側歩道や目白通りが一本中へ入った道路（目白幼稚園前）の車道を自転車は通るなど。
- 春日通りは一部車道ワキに自転車用レーンがあるが、運送会社のトラック等常に駐車された状態なので、歩道を走行せざるをえない場合が多い。
- 歩道を通る自転車がとて多く、通学中の子供の事故が心配です。自転車ロードの拡充を希望します。
- 夕焼けチャイムの時間が遅い。板橋区のチャイムより豊島区の方が遅く、冬期はもう完全に日が落ちて辺りが暗くなっています。もっと早くしてほしい。
- 真っ暗になっても低学年の男子は児童公園や区民ひろばで遊んでいます。近隣にお住いの方へご迷惑になる事や、安全が気がかりなので、地区のチャイムの際に公園や区民ひろばにモスキート音を流すという即効性のある対策を区からやって頂けることが出来たら大変助かります。
- 以前（20年前など自分の子供時代）に比べ、ずいぶん治安は良くなったと思います。でも、まだ歩きタバコ、ホームレス、ゴミのルールが守られていない等を見受けます。西池公園は子供が遊びたくても遊べないくらい、大人の集会があり近づけないです。
- 目白駅前で若者が数人座わり込みアルコールを飲んで大声をだしている事があり、子供が怖い思いをしています。飲食したゴミもそのままで缶やビンが散乱しています。至急対策をお願いします。
- 南長崎は全体的に外灯が少なく暗い道が多いので、外灯を増やしてほしい。
- 歩道を猛スピードで走る自転車や、歩きタバコの取り締まりのようなものがあつた方がよい。
- 豊島区立高南小学校の一方通行の道路の逆走車が多すぎに登下校の児童があぶない。明治通りから、都電荒川線の踏切を渡って進入する逆走車と、通称「のぞき坂」を下って灯油屋さんを左折して進入する逆走車と2パターンあります。早急な対応をお願い致します。
- 車の通りが多い道は、ガードレールをつけるなどの対策をしてほしい。
- 近所のお寺の和尚様が小学校の校門での朝のご挨拶・パトロール等に参加されていて、とてもありがたいです。墓地が多く、夜は暗いので、街灯を増やしてくれると嬉しいです。
- 日頃から、不審者情報など、迅速にメールを配信して下さって大変ありがたく思っております。成長と共に行事範囲が広がり最終的には、自身の身は自分で守るしかないので、常に注意して言い聞かせています。学校で、子どもでも出来る簡単な護身術講座など、ひらいていただけると嬉しいです。
- 電信柱で通りにくく、道にはみ出さねばならない道などは、電信柱を埋めてほしい。

## 18 路上喫煙対策

- 公園で「禁煙」の看板の前で堂々と喫煙している人がいて、こちらがその公園で遊ぶことをあきらめることが何度かあります。自分の家族や周りに子供がいなくて関心がないし、ルールを守るなんて考えないのだと思います。
- 歩きたばこ、公園内たばこ禁止になっているのに吸っている人が結構いることがとても不快です。子どもにも害があると思います。飲食店全面禁煙も実施してほしい。そうすると、たまに食事作りから解放されて外食する選択肢が増えると思います。
- 公園は子供達を遊ばせる場なのに、喫煙所があるのは理解できません。

## 19 地域の子育て支援

- 地域の方々へ、近所の子供達への見守り活動をもっとしてほしいし、自分が子育てを終えた時にも、地域の子供達を見守っていただけるような仕組みにしてもらいたい。
- 他の家庭の子供でも、したらいけない事をしたら注意するようになっています。地域の大人が、子供をしっかり見ていられる環境が希望です。
- なるべくご近所さんや小学校の行事には参加するなど、様子をうかがうようになっています。子供達とも先生方とも触れ合うきっかけがあるといいと思います。

- 皆、気を遣いすぎているように思う。騒いだらいけないとか、近所迷惑とかが子供のストレスになると思う。子供の考えや思いを、型にはめこまないように、子育ては人によってさまざま。同じ世代同志が集まるより、子育て世代や独身者や老人など、さまざまな人達が集まる交流の場があった方が、考え方や思考、視野が広まり良いと思う。
- 高齢者の方が、子供達へ冷たい態度をとるのをよく見かける。高齢者を敬うことはもちろん大切だが、子供を温かく見守ることを区からも呼びかけてほしい。
- 外国人の居住が多いため、そうした方々とうまく共生していている実感がなく、子どもだけの時にそういう方々との接触があると親としては心配になったりもします。
- 町内会の方や地元の方々はとても良く接して下さいますが、街中で子どもが少し騒ぐと、必要以上に気にしてしまいます。個人の考え方は様々ですが、区全体で子どもを育て、区の未来を作っていくという雰囲気になると嬉しいなと思っています。
- 地域の子育てについて、町内会やボランティア・お祭り・PTAを積極的にしすぎると、家事の時間がなくなり負担です。「地域の子育て力」を向上させるのは賛成ですが、子育てをしている当人達の負担が増えるの

- は良い事とは思えません。新しい事を始めるのであれば、活動の見直しも考えてほしい。
- 学校のPTA役員・育成委員、ひろばの事業部会に所属していますが、どの団体も同じ人が所属していて地域の子育て等に片寄りがあるのではと思います。もっといろんな人がそれらの活動に関われば良いと感じました。
- 民族学校に通っています。日本学校とあまりふれ合いがないです。
- 学校や地域の行事に参加する家、全くしない家があり、参加していれば、地域の方々に支えられている事を感じることができます。顔見知りの子供には、外であうと、必ず挨拶したりするようにしています。
- 以前、子供と一緒に公園で遊んでいると、公園の前に住んでいらっしゃる方が出てきて、「うるさい」と遊んでいた子供達に怒っていました。「こんな子達ではダメだ」と言っていたのを聞いて悲しい気持ちになりました。
- 色々な組織が活動しているものの、例年同じ様な内容で血が通った活動に感じられない。安全、安心パトロールはとても頻りに巡回してくださっていてありがたい。今の時代は近所付き合いが薄いので、つながりを作る取り組みがあるといいと思う。

## 20 ワークライフバランス

- 祖父母が区内に住んでいる事もあり、何かあればサポートして貰っている環境下にあるが、もし、祖父母が居なくなったら、ワークライフバランスを取るのが難しいと思われる。勤務状況に影響が大きいのが悩み。
- フルタイムの母親が育児していく上では、夫をはじめとする家族の協力が大切だが、フルタイム勤務の夫は仕事で忙しく協力しづらいという問題がある。男女とも、育児・介護（他の理由でも）などで忙しい時期のみ降格し軽減された勤務体系につき、その時期が過ぎたら再び昇格しフルタイムの責任を果たすというような働き方ができてほしい。
- 保育園入園に際し、芸術家という職業に理解がない。産休・育休もほぼなく危険物も扱う作業の中で子育てをしているのに、保育園に入れず製作時間も削減される。豊島区は芸術や美術を推奨している区と謳っているがそんなことはない。

- フルタイムで働きながら子育てができる環境をつくってほしい。保育園、学校の行事（保護者会等）が平日に行われるので困ることがある。もちろん職場の理解も必要だが、毎回は参加できないし、参加しないと仲間はずれになるおそれがある。
- 日頃から保育園、小学校、学童クラブにお世話になっており仕事と育児の両立ができていることを感謝しています。周りを見ても子育て世帯が増えているのを感じています。「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」は一朝一夕にできるものではなく時間がかかるものと考えています。各種セミナー等も開催されているのを広報等で目にしますが、残念ながら平日は参加できません。単発でのセミナー実施の効果を見るときも、息の長い環境整備に重点を置くことなどもご検討いただけると幸いです。

## 21 豊島区の子育て環境の充実

- 児童館へ遊びに行ってもお友達はなかなか出来ない。毎週決まった曜日に活動があればお友達も出来やすいと思うが、習い事でもしないかぎりママ友も、子供にお友達もなかなか出来ない。子ども家庭センターのイベントの参加条件も、1才を過ぎれば参加出来ず、1才～3才のイベントもあればいいのと思った。幼稚園が少ないので、他区頼みで、近所の友達はバラバラの幼稚園へ行くことになり小学校へ上がっても、付き合いはほぼない。生活していて、子育てしていてもつまらない区と思っている。お祭りも、大人の為のお祭りばかり。埼玉に運動場があったり、板橋区の区境に総合体育館があったりと利用しづらい。
- ここ3年ぐらいで、子育てのしやすさがぐんとupし

- た気がします。保育園の補助関係等が充実した。
- 幼児期も小学生になってからも、上の娘の時より更に子育て事業に力を入れて発展しているイメージがあります。ただ、現場の保育士や教諭の負担が増えていないか心配になったりします。行政の目のあり方もそうですが自分達保護者の連結が支配的になったり、個人の志向に傾いたりしてないのか、不安になる時もあります。PTAの影響が子供たちと親どうし、地域の方々との交流につながる文化活動を圧迫している現場に今悩んでいます。
- 日頃より子どもの健やかな成長や子育てを支える活動をしていただきましてありがとうございます。子育ての喜びを社会全体で共有できるようなもっともっとあ

ただかい区となりますことを願っています。

- 都会にありながら何故か田舎のようにホッとする環境と、区としての子育て支援も積極的で、街の人たちも優しく、本当にラッキーだなと感じています。
- 表面上の数字での待機児童を減らすことには成功しているが、全く子育てしやすい状況にはなっていない。兄弟で卒園まで別園に通園することになったり、転園希望も何年も通らないままである。諸事情あって認可外園に通わせていた時に途中で認可園になるからと強

制的に退園させられたが「区主導ではないので対応できない」の一点張りだった。

- 夫の転勤のため、いろいろな土地に住んできましたが豊島区が一番子育てがしにくい土地と感じています。遊び場、自然が少ないからです。仕方ないとは思いますが、屋上緑化や廃校の学校などに木を植えるなど子供がほっとできる場所を増やしていただきたいです。外国人と子育ての融合など豊島区らしさを生かした環境づくりをお願いしたい。

## 22 その他意見

- 子沢山で家事労働が多い上、学校でのPTA活動などの負担も子供の人数分多いなど子沢山にはまだまだやさしくない環境だと日々思う。
- 子供に対して無関心な親が多すぎる。小学校低学年くらいの子供の遊び方や、行動範囲の広いことに驚く。自分の子供が、どんな遊び方をしているのか、知っているのだろうか、他の親が心配になるほど。地域の見守りも大切で、ありがたく思っていますが、まずは各家庭のモラル教育、学校でももっと保護者に対して家庭がしっかりするように、うながす機会があるとよいと思います。先生の負担は増やせませんので、区の専門家、警察など、協力していただき、社会のルールを親子で学んでいきたいです。
- 子供へのしかり方やほめ方などを教えて頂きたい。
- どこまで1人で行動させていいかが不安。いずれ1人で行動しなければいけないので、どの年齢でどこまでやらせていいのが不安です。
- なるべく子供と向き合う。子供が在宅時にケータイをあまり見ないようにしている（ケータイ依存の子供になってほしくないから）土日はなるべく家族で過ごす。
- 顔見知りでも注意すべき人物がいる場合の身の守り方を教えるにはどうしたら良いか悩んでいる。
- 健康で優しい大人に成長してくれればよいと思っています。あいさつや礼儀に気を付けて育てています。
- 豊島区内ボーイスカウトと少年野球チームに所属しています。上記の様な地域団体に属し、活動することの大切さを感じます。このようなチーム、団に助成金などが出ると、いいと思います。
- 不要な事業に手を出さず、今すべき事にしぼって実行して下さい。学校教育、保育園、幼稚園等は、その中で各自で対応できているので、口を出さないで欲しい。勤めている企業の努力のおかげで職業と家庭の両立ができており、区の努力ではありません事を理解して下さい。税金をムダに使わず、使わなかったら、区民に還元するなどしてください。
- 行政と壁というか距離を感じる。もっと住民側に踏み込んでほしいと思う。
- 愛していることは伝えるようにしています。コミュニケーションがお互いに下手だと思うので、抱きしめて、謝まることもあります。ほめてから、できていないことを言います。自分に自信を持ってほしいので、できるだけ寄り添って同じように考え、自分で解決できるようにしています。
- 幼稚園の時は同じ様な環境で育っている方が多かったが、小学校は色々な家庭があり、子供も色々で親子共

に考えさせられる事も多い。ポジティブにとらえて、生活していく様にしている。

- 旧高田小の工事の話し合いなどもいつも平日の19時からで、主人が帰ってれば行けるのですが、子育て世代には、子供を家において出られる時間ではなく、逆に意見は求められていないのでは…とってしまうことがありました。
- PTA、町会、子ども会が強制参加（ノルマ制）で子育ての負担になっています。プライベートを割く時間が多く、子どもとの時間がとれないです。また無駄な作業が多く、やっている意味が分からないです。
- 区に提出する書類で子ども関係のもの、郵送が必要なものに切手をはらなければならないことが負担です。フルタイムで働いているので届けに行くこともできず毎回切手を貼って出していますが、こういったアンケートが切手不要なら、提出必須のものも切手不要にしてください。
- 気をつけていることは、友達にも自分自身にも良い所と悪い所があること。良い所だけ見習うように心がけること。腹が立つことが続けば良い所を思い出してみようと話しています。子供ともっと話しがしたいけど最近は反抗期のせいかなかなか沢山話してくれなくなっています。私も子供を楽しませるのがヘタなので難しいです。
- 子供も6年生でちょうど反抗期と中学受験と重なり、色々な意味でお互いにストレスがあったりと大変ですが、まずは、しっかり毎日勉強をさせて中学受験を乗り越えてほしいです。そして終わったら少し羽をのばさせてあげたいです。今は公園では遊んでいないのですが、幼稚園の時は毎日のようにお友達と行って遊んでおりました。今は犬の散歩の時に利用させてもらっています。
- 習い事がなく天気の良い日は公園で遊ぶこと。子供が相談しやすい存在である事。毎日就寝前には今日の良かった事を3つ以上言うこと。カッとなって手を挙げそうになった時は子供の様子を動画に撮ると笑いに変わる。どうしても時はオシリをペンペンすること等を心掛けています。
- 受験のため子どもの自由・気分転換・友達とのあそびを制限してかわいそうだと思うことがある。なるべく励まし受験まで乗り切りたいが、正直イライラしてしまうこともある。受験をすることがよいのか子どものためになっているのか、悩む事がある。
- 私は、普段車イスを使用している。体の不自由な親も子育てをするのだが、それに対する支援の意識が低いと思う。だいぶ良くなったが、学校生活で理解を得る

のが大変だった。

○子供を育てる上で気をつけていることは、人としてのマナーを身につけるということです。公共でのマナーを守ったり、交通ルールを守ったり、困っている人が目の前にいたら、声をかけたり、手をさしのべられる人になれるように育てたいです。

○子育てにおいて、親である自分が子供のお手本となる努力し、一生学んで行く姿勢が大切だと思っています。例えば子供に勉強してもらいたいなら、自分が勉強する姿を子供に見せる、「あいさつ」は親である自分がまず元気にあいさつするなど。子供の躰は親がやるべきで、学校は集団として学ぶところなので、全てを先生におしつけるのは、おかしいと考えます。

○我が家は、毎日子供との会話を大切にしています。小さい頃から、いろいろな事を話しています。もちろん、子供が学校での嫌な事、不満な事は、出来るかぎり私が出向いて解決してきました。なので、今でもこれからも、私が“出来る事が”あれば全力で助けてあげたいと思っています。通学している小学校には不満が多々ありますが、我が子は友達も多く、楽しく暮らせているようなので、子供が不満を言ったら同感してあげ、学校生活(大人、子供がいる生活)で勉強だけでなく、いろいろ学んで欲しいと思います。

○障害者や虐待児支援等ばかりが目立っているが、成績の良い子、優秀な子、経済的に恵まれている子供への援助や仕組みが全く無く、不公平だと思う。頑張って働いた税金がそういうお金に使われるなら、優秀な子供達に使いたい。日本がダメになっている理由だと思う。

○何かあってもじっくり向き合って話す時間がない。子どもが悩んでいることに気が付くまで時間がかかる。気が付いた時に聞いても、終わったことだからと話してくれない。親も子どもも、どのように発散すればいいのかわからない部分が多い。子の父が全く子育て、教育、家のことに無関心。妹がよくしゃべるため兄の話を聞いてあげられない。一人で育てることに限界を感じる。

○娘が祖父になつきすぎていて、自宅に帰ってこない。祖父が亡くなった後の娘の精神が不安。一緒に暮らしている息子はかわいいが、娘のことはあまりかわいいと思えなくなっているのがつらい。

○だんだん、親の言うことを素直に聞かなくなってきた年頃で、どうしたら素直に聞いて理解してくれるのか日々考えながら子育てしています。また自分の意見をハッキリ言える「嫌なことは嫌だ。」と言えるように自分の意志を強く持つように日々伝えています。

## 23 本調査について

○アンケートについて、質問が多すぎると思います。かなり時間がかかりました。子育て世帯、仕事をしている世帯にこれだけの量の質問は酷かだと思います。意図のわからない質問もありました。もう少ししほりこむなどしていただければと思います。A3、2枚の両面が限界と思います。

○私立小に通わせていると、地区との関わりは全くなく、こういうアンケートも全くピンとこない。

○幼児のことに重点をおいたアンケートになっています。子育て期間において、幼児であるのはたかだか5年。あとは小～中の9年あり、そちらの方がよっぽど重要です。

○このアンケートはオンラインでした方がお互いに良いのではと思います。

### Ⅲ 中学生・高校生の保護者

#### 1 いじめ

- 小学校より国立へ通学しているので豊島区在住への支援のあり様がわからない。教員より嫌がらせ(いじめ)を受けた(元々はこちらが悪い)が、どこへ相談するか友人に聞いたところ、国立だから豊島区は対応できないと助言を受け、弁護士に相談し、一応の解決を得ることはできた。“子どもの権利擁護委員”を初めて知ったが、国・私立に通う全ての子に対してなら、もっとアピールすべきだと思う。いじめとは、子供同士だけでなく力を持った教師が行ってしまうこともある。
- 小学校時代、とてもひどいいじめにあいました。学校

にも民生委員にも教育委員会にも児童相談所にも相談しましたが、だめでした。どれだけのことをして下さったのかもご返答頂いていません。いじめの子の親も、たいがいひどい対応をする人達でした。また、うちの子に対して態度が悪い子は、親である私に対しても平気で失礼なことを言ったり態度をとったりでした。なんと未だにそうです。いじめの問題はみなさんが考えているより、はるかに恐ろしいという現実を知って下さい。

#### 2 不登校・ひきこもり支援

- 不登校児引きこもりの子の居場所をたくさん整備して下さい、今行き場がどこにもありません。
- 中学生の子どもが現在不登校で、教育センターへ、週1日のペースで通ってます。小学生が最近多くいるとの事で足が遠のいています。最初は、居こちがよかったのですが、小学生が増えて行っても、つまらないとなり、家にいる事が多くなりました。せっかく、良い施設なのですが、年齢を分けて、対応頂けると、も

っといいのかなと思います。

- うちの子供は体が弱く、体力がない為、毎日学校へ登校することができませんでした。義務教育の期間からも通信制の学校教育を受けれたら、ありがたいと思います。たくさんの不登校児童がいる状況の中、学校に行かなくても、家庭学習で学べるシステムを作ってください。

#### 3 屋外の遊び場所

- 野球の出来る環境(金網など)を増やして欲しいです。
- 都心なので仕方ないですが、子供が遊べる(球技スポーツ系)場所が少ないと思います。また初心者が気軽に参加できる機会がなかなかないです。区が主催や後援しているイベントに参加しましたが、主催団体が日頃行っているスポーツチームの子ばかりで、(レベルが高く)とても初心者の子が楽しめるものではなかったです。
- 子どもがボール等で自由に遊べる公園希望。遊び場がなくてかわいそうでしょうがないです。ひろばも全然使えないし、校庭(サッカー、野球、テニスに三分割されてる。)も使えないし、公園は基本的に大人向け。
- 子供が、幼児から小学生にかけては、不満がたくさんありました。公園で遊んでいれば(特にボール遊びが出来るカゴの中等)長時間占有していると、ご老人の方に文句をいわれたり、家の前で遊んでいれば子供の声がうるさい、じゃまだとクレームを入られたりと、地域で子供を育てるというあたたかい気持ちはないのかと思う事もかなり多くありました。最近も、わが家の近所で遊んでいた小学生が「ここで遊ぶな!!」と大人に言われて、どこか別の場所に移動していく姿を見かけました。あーまだいるんだな、そういう人と思いました。子どもの居場所はどんどんけずられている感しかしません。ビルの中や場所を作っても、そこで居場所をみつけれない子は行きません。少しぐらいの大声や、走りまわる音には寛容であってほしいと思いますが、区政ではどうにもなりませんよね。ボール遊びくらいは、もっと自由にさせてあげたいです。
- 日頃から身近に樹木、昆虫、土に触れるという子どもにとって大切な経験をする場が、少ないと思います。学校へのピオトープ整備が見られますが、立入り禁止のことが多くふれあう体験の場としてはほとんど意味

がないようです。区役所庁舎もあまりに人工的でとても異和感があります。空き屋の撤去跡地に粗放的(過度に整備しない)園地がつけられるとよいなあと思います。

- 小学校中学年以上の子どもが遊べる場所がほとんど無いと感じます。子どもスキップでも禁止事項が多く、公園では近所から学校へクレームが行くので、公園での激しい遊びは学校からの指導で禁止となりました。子どもは友人の家を行き来してゲームに興じるようになりました。残念に思います。かと言ってどうすれば解決できるのか、私自身に良案がなく、申し訳なく思います。
- サッカーをしていたのですが、中学生は、豊島区内でのグラウンドが少なく、大きな大会は、三芳まで行かなければならなかったもので、スポーツ施設の充実を望みます。
- 旧高田小跡地の整備が進まず、子どもたちの遊び場がどんどんなくされています。跡地はとても良い遊び場でした。工事が終わる頃はもう遊ばなくなってしまう年齢になると思うと残念です。
- 中高生が遊べるサッカーグラウンド(ラグビーも使用可能な)グラウンドがあると良い(野球のグラウンドはあるのですが…)公園は増えたと思いますが夜になると暗い。公園の外灯は切れている時もあり、安全、安心とはいえない。
- 子供の遊び場が少なく危険だということでボールの使用ができなく犬の散歩の人達が集まりすぎていて嫌な感じです。
- 我が家は北区と隣接しています。そのため北区の公園にはよく行きますが、駒込の公園に行くことはなかったように思います。小さい子供の遊べる公園はやはり少なく感じます。バスケットコート(ゴール)がある

といいなと思いました。

- 児童館が狭く体を動かせない。中学生は半端な年頃なので行く所をふやしてほしい。公園も体をおもいっきり動かせない。オリンピック種目にもなるスケボー広場がほしい。ゲームもあまりさせたくないが、かといって体を動かせる所もない。行き場がないと思う。だから公園に行っても結局ゲームをする。子供が楽しく体が動かせる設備がほしい。(近くに)
- ボールの使える公園がない。学校の校庭もボール持ち込みがNGだったりするので整備してほしい。
- 公園や学校での子どもの声などが騒音と苦情が出たりして、子どもたちが、のびのびと遊んだり活動できる場所が少なくなっていると感じ、とても残念に思います

す。

- 子どもの遊ぶ場所や遊び方((例)ボール遊び禁止)を制限されるばかりで、子どもたちが気の毒だ。地域住民の苦情は聞き入れられるが、子どもたちの希望や自由は、後回しにされているように思う。もっと子どもがのびのびと自由に外で遊べる環境を整えた方がいいと思う。
- ボールを使った遊びができる所が少なくて非常に残念。中学生が遊べる場所はもっと少ない。
- 子供が球技できる場所が少なすぎる。あっても使えなかったり(前の人がずっと使っていたり)する。公園は沢山あるけど、小さい子しか遊べない。

#### 4 居場所・活動の場の整備

- 他区から転入して、子供に係る予算が少なく大変驚きました。最初に感じたことは、広報誌に子供に関する記事がとても少ないことでした。(今は大部改善されました)高齢者の記事が多く、子供のイベントがほとんどなかったのも、転入したことを少し後悔した感じでした。その後区が消滅するかもしれない話題になった時に、やっぱりな…と思ったことを覚えています。例えば、スイミング教室、走り方教室、英語教室など空いている学校や施設を利用して安い値段で参加出来るような取り組みをもっと増やしてほしいと思います。ゴルフ教室やスケボー教室、クライミング…など何か誇れるもの1つでも良いと思います。子供達の未来の為に思いきって予算配分を変えてみるのはいかがでしょうか。
- 子供が放課後、体を動かして遊べる広場のような場所。及び、安心して自習などができるスペースがもっと必要です。図書館は常にいっぱい、閉館時刻も早いとのこと。公園も少ない上に常に不審者情報が回ってくる状態。
- 中学生と小学生、幼児の3人の子供がいます。区の施設を利用する時に、小学生しか使えない場所、幼児と保護者だけで、小・中学生は使えない施設が多く、家族で利用したり、上の子が下の子を連れていっしょに遊んだりできる施設がなく残念です。校庭開放でも、5才半の子供に保護者が必要で、中学生の上の子がつきそえないことや、幼児は保護者同伴でも4時半まで(小学生は5時までの時)しか遊ばせてもらえないことなど、複数の子供を持つ親にとってはあまり子供を育てやすい環境とは言えません。少子化になるのも分かる気がします。
- (1)スポーツの設備を学生が満足に使用できない。(2)豊島区の公園が少なすぎ+小さすぎる。(3)文化活動が少なすぎる。
- 学校、部活でほとんど休みがありませんが、たまに、休みが出来ても、お友達と遊ぶ所がなくてかわいそうです。私が、中学生の頃は、ハタボーリングやトーホーボール、夏は豊島プールがあったのですが…昔ながらの子育てを目指していますが、この辺りでは無理なのかと思います。
- 子どもが放課後に運動したり、スポーツする場がないので、充実させて欲しい。
- 中高生センター「ジャンプ東池袋」と「ジャンプ長崎」

は、中高生の保護者としては、とてもありがたい存在だと思います。学校以外の居場所として、又、自主的な活動をする場として。ただ、残念なのは、この2ヶ所しかないことです。この2ヶ所ほどの規模でなくても良いので、是非、区内にあと6ヶ所、つまり、中学校区にひとつ作っていただきたい。中学生は、学校でのがんじがらめの生活とは違う自由な場所として。高校生は、他区に通学している子の方が多いと思うので、地域での居場所として。それが地域の力、セーフコミュニティへとつながっていくと思います。

- 一人親の家庭の子供、共働きで帰宅した際親がいない子供が安心して過ごす事ができるスペースを作って欲しい。
- 中学生同士がお茶する場としてファミレスやファーストフードに行っていますが、中学生が大人のしっかりとした目のあるところで自由に飲食できる場を作って欲しいです。ジャンプだけでは足りないと思う。
- 本格的に毎週習い事としてやるのではなく、学校で少し習った剣道をもう少しだけやってみたい、というような時にできる所があると良いと思いました。
- 中学生になると小学生の時のように地域の行事などには親子とも参加する機会が減ります。中学生以上の子を持つ世代の人が利用できる施設または活動があると地域の活動にも参加しやすいと思います。
- 芸術劇場の公演内容をより幼~高向けプログラムを充実して欲しい。未来の芸術も今の子供達が創造するのですから。
- 中学校のテスト勉強を友達とする時、図書館では教え合いながら勉強できないので、コンビニのイートインコーナーでする事がある。このアンケートで、ジャンプで勉強できる事がわかったが、遠いので、もう少し近場に件数を増やしてほしい。
- 図書館の本がすくない。最寄駅近辺に図書館がなく不便な場所にあると思う。池袋近くにあれば便利。自習室なども作ると中高生が集まり、そこで料理教室プログラミングスポーツもできると、若者が集まりやすくなると思います。
- 夫や、夫の親は、全く子育てに感心がありません。とても悲しい子育てでしたが、友人がたくさんいたことで乗りこえられました。そのために、区民ひろばや、公園は、本当に役に立ち、助けられました。これから

- も公園や、区民ひろばをなくさないで下さい。
- 子どもが幼い時は、ひろばのイベントを利用させてもらいました。更なる充実、発展を応援します。
- 『ジャンプ』ですが、中学生の時に行ってたのです

- が、高校生がいると、行きたくないと言ってた。中学生、高校生の交流がうまくできればよいのでしょうか。
- 芸術の街となっていく池袋たくさんのイベントを行なって下さい。絵画展開いて欲しいです。

## 5 学校・教育

- 子どもの通う小学校は、若手の先生ばかりになっています。子どもたちを安心してまかせられる環境を整備して欲しい。学級崩壊してしまうと先生一人(担任)だけでは対応が難しい。学校まかせにせず、区の教育委員会からベテラン(指導できる)教員経験者を派遣して欲しい。
- 子どもが安心して勉強し、思う進路を選び取れる環境が得られるよう心を尽くしています。
- 中学生の部活動は、教師によるボランティアに頼るのではなく、今の外部コーチの制度を拡充することで地域スポーツの場として参加できる形になればと思います。外部コーチのいない部、指導能力のある顧問のいない部は、近隣校の部活動と合同で活動するなどしていけたらと思ったりします。
- 子どもは、塾に通っていますが、無料で魅力ある補習授業を受けられる。(動画を見る時間+テスト)があると、平等に成績があがると思われます。
- 昨年まで区立中学校に通ってましたが、先生の質が悪く本当がっかりしました。中学から私立に行かせるべきだったと後悔しました。点数化することだけで判断し、子供の個性を見ないのでは学校の意味はありません。勉強を教えるだけなら塾の方が優秀ですし、勉強以外のことが学べるのが学校だと思っていましたが、違っていたようです。画一的に生徒を管理するだけで、学ぶものが何ひとつなく、三年間を本当に無駄に過ごさせてしまいました。学校本来の意味をもう1度、考えてはいかがでしょうか？
- 学校教育を考えてほしい。(豊島区に限らず)塾に通うのが、あたり前の学校の学習がどうしたものかと思えます。これは、全く違う分野と思えますが…教育が変われば、子供の時間の使い方・経済、家庭はもっと、暮らしやすくなるのではないかと思います。
- たくさんの方からの移住者・労働者の増加で公立小中には、その子供たちが通っているため、言葉や生活習慣の違いからトラブルが増えた気がします。親同志のトラブルもありました。いろいろな国の人と交流をもつのはいいことですが、いじめやトラブルにならないように中国をはじめいろいろな国の先生を増やし、お互い理解し合えるよう、間に立つ大人をもっと学校や施設に配置してほしい。
- 最近部活動の時間が問題になっていますが、一律に少なくするのは反対です。子どもも言っていますが、吹奏楽部で、自宅に楽器のない場合、部活動でしか練習する事ができません。やる気はあるのに練習できないのは親としても申し訳なく思います。やりたい子はたくさん、そうでない子はそれなりにできるといいなと思います。体育館にエアコンをつけて下さい。子どもの通っている公立中学校は今は3クラスですが、2年生からは2クラスになると言われています。一学年上はギリギリ2クラスで人数が多いからか落ちつきがなく不登校の子も多いと聞きました。先生の負担軽減の

- ためにもできるだけ今のまま3クラスにしてください。
- 近隣の公立小からの中学進学にあたり、他校の様子を耳にしたことがあり、(うわさが先行してしまいましたが)公立への進学がすすまず、受験させました。公立中を否定するわけではありませんが、どういったことで小学校のよくないうわさが出てしまうのかなと、疑問でした。中学校での部活動も学校によって活発さが異なるように思い、私立中の方が充実しています。スポーツを頑張りたい理由もあり、中高一貫に進学していますので、公立中の部活動がもっと盛んだといいなと感じています。
- 現在の子供達は、判断力がつく前に多量のネット情報に触れ、情報の真偽や正誤についての考察が足りていないと感じる。ネットを通じた情報発信時及び受信時のリスク等について、もっと学校等での教育が必要と思う。
- 特色のある学校教育、英語へのとりくみ、増加する外国人との交流、理解、共存についての子への教育。また、トラブルに巻きこまれない為の教育。文化の違いによるところ…。
- 学校教育と家庭教育の乖離。「学校は学校」「家庭は家庭」といった教育環境のちぐはぐさ、一体感のない施策に手詰り感があり、抜本的改革が望まれる。
- 公立学校の進路指導の無責任さが残念である。特に教員個々の資質というより、学校教育全体としての感があり、教育行政の指導のあり方に若干の不安がある。学校側が「地域、地域」と連呼する様になっているが、その事がかえって学校側に重荷を背負わせていることになってはいないか？教員のやる気喪失となって教育環境崩壊しない様対策が必要だと思う。
- 中学受験に失敗して区内の中学に通っている子がいます。先生方は一生懸命ですが、私立に比べて教育内容があまりに古くて心配になることがあります。学校の中だけ昭和時代でとまっているような感じです。自主性、グローバル…に関してもう少し考えられてはどうでしょうか？このままでは私立との格差がどんどんひらいていくように感じています。モデル校として、千代田区のごうじ町中学校のような学校があっても良いのではないのでしょうか。
- 中学から区外に通学しているため、学校の情報は入ってきませんが、地元の中学校は2クラスと聞いています。もっと魅力的に活発な学校であれば子供たちも多く集まるのではないのでしょうか。これからも区民のためにどうぞ宜しくお願いします。
- 学力も低く、中学の先生方の言葉にもびっくりする様な事が多い(あくまで子供の話から聞く事ではありませんが…)結果として部活も活発でなく、学力も体力も残念な位置にいる気がします。
- 小・中学校での教員の指導や目的について疑問に思うことがあります。塾任せの授業内容や提出物の目的・

量に生徒の学習意欲を向上させるものだと思えません。伸ばす教育ではなく、芽を摘んでしまう方向に考えているような方法や言葉ととれる事も多いです。個性と言いつつ型に押しこめる方法に自覚していない先生もいらっしやると思います。情報量が多いことで子供を圧迫する危険も少なからずあり、子育ての中でも多岐にわたる必要以上の情報を整理するだけで一苦労です。親がこんな状況で子供に偉そうな事は言えませんし、次から次への来る壁にとまどう子供達が心配です。要望を聞くより、現在処理しきれない問題を区民が納得のいく方法で解決してほしいと思います。

- 板橋区からの「越境」入学者が多い、板橋区の子どものために豊島区に区民税を納めている訳ではなく、また、豊島区の税金が使われることについて納得できない。板橋区を例に挙げたが、区外からの越境入学についてはき然たる姿勢で拒否していただきたい。区外の子どものために納税している訳ではない。区外から越境して入学する場合は実費相当額を徴収すべきである。
- 最近感じますのは小学校での問題のある子への対応の仕方です。以前は子供が暴言を吐いたり、暴力を振るったり振るわないまでもそういう行為を繰り返し行ったりする子供が居る場合は保護者会で、こういう事がありました等の指導的なお話が先生からありましたが、昨今は全体的な子供達の様子(良い事のみ)、行事等の説明にとどまり本当にクラスに問題が無いのか?子供

の様子や他のお子さんの話を聞く限り、問題がある児童が居るようなのに学校や学年、クラスとして問題にちゃんと対応してくれているのか疑問に思う事があります。友人と話しますと他校でも学年が上に上がること子供達の中で問題があるようで、学校だけに問題解決を図る事は無理だと思いますので、家庭や他の御家庭にも伺って早急に問題を解決していく必要があると思います。

- 豊島区で受けたWISC検査が漏れていないかどうか、不安を感じています。同じ通級出身でも、WISCの提出を要求される家庭とされない家庭があるという差別感を、子どもが感じていることが残念でなりません。豊島区には「個人情報保護」「差別のない教育」を心から願っております。
- 公立、小・中学校の先生が忙しすぎると思います。信頼のおける良い先生ばかりなのですが、とても忙しそうに感じます。もっと、先生方に余裕があれば、もっと、相談する機会や、信頼関係をきづける時間がとれると思います。学校の様子の事は、お聞きできるのですが、勉強の事、性格の事までは、なかなか相談していいものか、悩みます。
- 学校教育で、生徒間の競争を避けている感がある、社会に出たら、競争社会なのに、心の面が強くなれないのでは?

## 6 保育園

- 在宅ワークや通信で勉強している人でも子供を保育園にあずけられるようになってほしい。
- 豊島区立の保育園で2人共お世話になりましたが、本当に良い保育園で恵まれていたと思います。今や、大きく成長しましたが、小さい頃から安心して預けられる保育園でした。先生方も本当に素晴らしかったです。誇りをもって働いていらっしやった先生達です。ずっと良い環境のまま保って欲しいです。やはり、子育ては最初が肝心ですね。○才児クラスから、きちんとし

た先生に教わり、周りの友達も良く、そのまま小学校へ、通えたので豊島区の小学校、保育園で良かったです。

- 待機児童問題の解決に向けての区の努力はすばらしかったと思いますが、多くの新設園の保育の質の問題は見逃げせないと感じます。公園などで、散歩中の様子を見て、不安になることもあります。業者を選ぶなどの対応はできるのでしょうか。

## 7 子育て支援サービスの充実

- ショートステイ等の充実による、子育て支援と虐待防止。子ども達への教育として、セカンドステップやCAPプログラムの導入。親への支援としてCSPやCAREプログラムの当り前の受講制度。
- 最も重要なのは、夫婦ともに働いていて、子どもが小さい時に遅い時間まで子ども(←特に乳幼児~小学校低学年)を見てくれる場所があることだと思います。中、高生になってしまえば、公的な施設の重要性は大幅に低下します。
- ずっと以前に当時のこども支援センターで我が子について相談し、その場で病院を紹介していただき、とても助かった記憶があります。(実際にその大学病院で手術を受け現在にいたります)子育てはほぼ終わったと考えていますが豊島区に住む数少ない子どもたちが将来に渡り適切な保護を受けられますように心から願います。ぜひぜひ若い方に手厚い保護をおねがいいたします。年寄りとは若者どちらかにしかお金をつかえないならぜひ若者に。老人には(私の今後を含めて)過度なら(今ですら過度です)保護はいらないと考えます

- 約1年半前に埼玉県から引越してきて、子供も中学生なのでまだあまり知らない事が多いです。また、利用することもなかったりと、あまり大きな病気もしていないので、困ることがないように思います。(祖)父母も同じ家にいるので、何でも話せるので、困る事も少ないのだと思います。子供医療費が中3までなので、もう少し長ければ、ありがたいと思うこと位でしょうか。

- 息子が小学生の時、1/2成人式がありました。同じクラスの男の子(学年は下)の家庭が複雑(親の協力が得られない)で、彼だけ1/2成人式に参加していないのを見て、学校の行事は、色々な状況の子どもがいることに思いを馳せてほしいなあと当時感じました。子育て支援には、お金も人手もかかりますが、豊島区=障害のある子もない子育てやすい街!!といわれるようになるくらい、区にはがんばってほしいです!!

- 文京区など他区では土日の一時保育を区が行っているが、豊島区も同じくしてほしい。文京区の土曜などの



一時保育を豊島区民だけが利用しています。保育園児は土曜も預かってもらえるらしく、小学校の参観（土曜月1回有）時に下の子がいなくてゆっくり上の子の学校の様子をみられていいなと思ってしまいます。幼稚園は土曜に一時預りがないので。

○すぐ近くの北区では、学童さん（小学校低学年）が帰宅する時は、ひとりひとりにシルバー人材の方が付き添って下校しています。季節によってはまっ暗ですの

で、お家の方も安心かと思います。豊島区でも導入されてはいかがでしょうか。まっ暗な道を小さい子がチヨロチヨロ歩いているのは、いろいろな意味で危ないと感じています。

○残業が多いため、子供の夕食に困った。保育園や学童保育とカフェテリアが一体になっているような施設があるとよい。（港区で見たことがある）

## 8 障害児への支援

○小学校までは特別支援学級の通級が充実しているが、中学校からは予算の関係で通級の指導する先生が少ないと聞いています。発達障害を持つ母親としては、中学も区立中学でも他の子供達と学力や行動で差がひろってしまうので学校内での支援を行ってほしい。

○介護タクシーを利用する事が多いので、介護タクシー手当代をもう少し考えてほしいです。障害児で、医療で必要な消耗品（使い捨て手袋等）こちらも手当の充実を望みます。よろしくお願いします。

○障害児の就学・就職の道の充実

○何ごとも、子どもや自分自身が元気で、心の健康があってこそのこと。子ども（3人（1人は別の場所で暮らしています））発達障害があり、働ける時間に働き、できることをやって過ごすだけの毎日です。どうしようもありません。どうにもなりません。夜間に働くようになってまだ、仕事をしているというだけで、気持ちには楽になりましたが、それでも、心や時間に余裕ができるわけではありません。子どもが動き出せるようになるわけでもなく、また、動き出せるようになっても一緒に動きまわる体力ももちあわせていません。規

格外の家庭は、そのことを話そうと思う人も、友達とも関係を絶ち、余計な情報が入って苦しまないようにし、プロのカウンセラーに話を聞いてもらっても、楽になることも心が晴れることもありません。子どものためと思い、動けるうちは動いていますが、通院することも、カウンセラーの所に行くことも、SCやSSWと関わることも、しんどいことです。たとえ仕事でも、話を聞いてくださる人が居てくれることには感謝していますが、どうにもなりません。

○発達障害のある子どもを育てています。小中と支援学級だったのですが、小学校の時は、支援級には不向きな教員が担任になったり、支援員がなかなか配置されずに学級崩壊したりと、色々大変でした。小学校も中学校も、支援級教員と通常級教員の間に壁があるように感じます。支援級教員だけでなく通常級教員にも障害のある生徒への理解がひろがってほしいなと思います。発達障害に関しての相談窓口がいくつかありますが、できれば、課を越えて連携してほしいなあとあります。障害のある子ども達が、安心して過ごせる場所や参加できるイベント、親が気軽に相談できる場所がたくさんあると、嬉しいのですが…。

## 9 医療・健康

○息子が20歳の時に、ピロリ菌検査の無料がありました。封筒には胃がんの検査としか書かれてなく、「20歳で胃がんの検査?!」と異和感を感じすぐに関封をしませんでした。しばらくして、開封するとピロリ菌の検査とわかり受診したので、封筒の表にもその旨を記入すると安心出来ると思います。他の区や市町村ではこの検査が実施されてないようで、驚きました。（周りの友人との話でわかりました）とても良い取組みだと思いますので、継続してほしいと思います。

○質の高い医療を受けられるか心配です。夜間も心配。

○救急医療を充実してほしいです。今年2月に子どもが

自転車で転倒し顔面をケガした際、豊島区内の病院の3病院に電話をしたが受け入れてもらえなかった。理由：外科医が不在、他の患者がいっぱいで診れない等…仕方なく他区の病院をさがし、新宿区の大学病院を受診した。（夜、20時半頃の事です）

○共働きの家庭が増え、土、日の病院の利用が混みます。土、日に利用できる病院を増やしてほしいと思います。

○任意の予防接種の助成をもっと充実させるべきだ。

○インフル注射の補助があるとよい。1人、千円でもよいので。高くても、子供しか打たせられない。

## 10 情報提供・相談支援

○区内にある様々な民間団体が子育て支援に関わる活動をしていると思いますが、社会福祉協議会による情報などで知ることはあっても、区側の情報には載っていないように感じます。受けとる側にとっては、表示で区別さえつければ、同じ媒体に載っている方が利用しやすいと思うので改善が必要だと思います。

○8年程前、子供が赤ちゃんの時の健診時だと思いますが、長崎健康相談所で保健師さんに相談できる場が設けられていて、思いきって2度相談したのですが、2度とも同じ保健師さんに当たり、軽く受け流され、逆に心がモヤモヤし、残念な気持ちになりました。現在

はどうかわかりませんが、相談できる場を設けるならば、専門的な方をきちんと入れたり、対応できないのであれば、専門の方へ紹介するようになれば良いと思いました。

○子どもが高3のため、いまの乳幼児を育てている方々のご苦労は分かりませんが、私の子どもが乳児の頃は、近所に同じ月齢、年齢の子どもが少なく、友達づくりに苦労しました。また、幼稚園に入園してからも、文京区の幼稚園で、そのまま小、中学校と文京区でしたので、地元のお友達が非常に少ない現状です。豊島区の学校に通学していない為、地域の行事の情報も得に

くく、広報など毎回必ず読んで情報収集していました。今は、サービスとしてあるのか分かりませんが、地域の行事や小学校などで配布されているイベント案内など登録している保護者へメールなどで案内出来るサービスがあってもいいのかなあとと思います。地域の行事に参加する事で、ご近所の方との交流もうまれ、活性化につながると思います。今は、当時より共働きの多いので、保育園や学童保育でコミュニティがあるのかもかもしれませんが。情報は多い方がいいと思います。

○子供が小さいうちは区の子育て支援やいろいろな情報を得ようと思いますが、ある程度大きくなってくると子育てについてというより教育上の悩みが主である。高校受験のことなどで大きくなってくると、学校へ行く機会も減り、そういった大きい子供を持つ母親などのネットワークづくりが難かしいように思います。そういう中高生以上の子供をもつお母さん方のネットワークが作れるような場ができればうれしいです。

○駒込地区に、子育てに関して気軽に相談できる場所が少ないと感じています。平日日中に時間をつくるのが難しい保護者も多いと思うので、土曜日対応、夜間対応、遠隔地からテレビ電話（Skypeなど）での相談など、拡充して頂けたらと思います。発達に心配事のある子どもがいますが（あて名の子どもではなく）、教育センター、スクールカウンセラー、病院すべて平日中メインで、もっと就業日を増やしたくても「万が一の為に空けておかななくては」と思うと、ちゅうちょしてしまいます。

○子どもも高校生になり落ちついてきましたが、反抗期の頃、孤独を感じる事が多くありました。母親ひとりでもどうにもできない時、話を聞いてもらえる場所があればよいと思います。私は問27で初めて知りましたが、多くの場所でサポートして頂ける、ということを知っているだけで心強いと思います。

○仕事をしており、相談等十分な時間を取れないため、窓口に出向かずネットである程度の情報を得られたらと思います。手続き等の不明点はtelで問い合わせますが仕事中に折り返しの連絡があると職場では気まずい。

○母子手帳や予防接種の案内のような、書いてあるとおりに行動すれば必要なことが完了するようなものがあると理想的。

○同じ年の子供をもつ方々と交流がほぼないため（交流があっても家庭環境が違いすぎて…）割と常に困って

います。「友達に聞いていって！」と言っても「みんな分からないって〜」と…。

○広報誌（としま）をもっと活用（区の見組み情報の発信）して欲しいです。

○あまり大ごとでないことでも、気軽に相談出来る場所や機会があれば嬉しく思います。今では、たくさんの方が深刻な子育てに対する悩みや障害を持っていると思うので、うちのようなささいな悩みなどは相談しに行っては悪い気になってしまい、そういう場所には相談には行けないのが今の現状です。気軽に話せる、小さな相談ごと、悩みを話せる場所が1つあれば嬉しく思います。

○中学の後半から生活態度が悪く、今もなんとか学校に通っている状況。思春期だからなのか、どこまで介入していいのかわかりませんが非常に悩んでいるものの、基本は主人と相談するのみ。あまりに情けない話ばかりなので、友人にも打ち明けられないし、祖父母にも心配をかけたくない。気軽に話を聞いてもらえる場所があったら利用してみたい。

○子育て中の親について、子供が見ている前でも平気で赤信号を渡る、自転車のマナー、携帯のマナーなどが悪い方々が多く、見ていて不愉快です。保健所、保育所、小学校等にて、親に向けての啓蒙活動が必要ではないかと思えます。

○我が子は大学受験を控えているが、願書の提出、受験票の受取などが、ネット環境（印刷含む）ありきの大学が増えている。親がネットにうとい家庭、PC環境が整っていない家庭では、受験さえも難しい。期間限定でもいいので、受験書類の印字、提出等について、相談できる場所が必要ではないか。

○区内の幼稚園・小学校に通っていないので子どもは、友人は近くにおらず、私にもママ友がいないのが淋しく感じています。

○子供は他の地区の私立の学校へ通学しているため、あまり豊島区の情報が入ってきません。

○子育て支援について、知らない事が多かった。役所とかは、こちらから聞かないと教えてくれないけど、聞く以前に知らないから聞かなくて損した事が多かった。

○高校を辞めてしまったのですが、大学の進学は希望しています。学校からの情報がなくなってしまい、どこから情報を得るかとか、本人が相談できる所がない場合、どの様にしたらよいのかと思っています。

11 ひとり親家庭への支援

○父子家庭は不利です。子供医療保障を高校、大学まであげて欲しいです。

○豊島区にも都営住宅はありますが、今住んでいる近くにはあまりない。あるのは区営住宅ですが、なかなか、空きもでないし、もっと区営住宅（母子家庭の人

たち）が入れる住宅をふやしてほしい。池袋駅に母子像がたってるけど、もっと母子家庭にやさしい町になるとよいのに。これから、消費税もあがるし、生活が本当に厳しい。子供にはいつも我慢をさせているから。

12 経済的支援

○医療費を20歳まで無料にしてほしい。所得制限なしで水道料、粗大ゴミ、交通機関の割引など子育て家庭に助成してほしい。文化的な生活ができるよう映画や博物館などの料金の助成

○隣接する新宿区に比べて、保育料の補助やインフルエンザ予防接種の補助など、子育てにかかる費用の補助が少ないと感じます。子どもは成長するにつれ、かかる費用も増えるので、補助が手厚いと安心して子ども

- を育てられると思います。
- 貧困により進学できない子供を救って下さい。
  - 特に妊娠期から幼稚園期まで、お金がかかる。この期間のお金の給付を充実したい。子供が大きくなると、住宅が狭くて郊外に住まいを移す人が多いと感じる。住宅手当？があれば出ていく人が少なくなるかもしれません。欲しい情報は、提供されなくても自分で探し出すことができます。箱ものを造ることにお金を使わず、人にお金をかけてほしいです。
  - 男の子3人を育てながら、共働きで生計をたてています。子ども達は明るく元気に育っていると思います。今の時代、公立よりも私立学校への進学を希望し、勉強に取り組む子供も多く、我が家においてもそうです。本人たちが希望して私立受験をしたいと言いつつ、親としては、学費の心配をぬぐえませんが、世帯年収が比較的高くあっても子どもの人数によっては、学費が重くのしかかります。子供の人数に応じて、何か保障が受けられるような制度はあるのでしょうか？中学校であれ、高校であれ、自分の身を置く場所を真険に考え、そこで生活を送れるよう希望を持ち、勉強に取り組む子供を学費の面であきらめさせることのない、保障制度を望みます。
  - 子育ての経済的支援が不足していて、これでは、安心して住むことができず、移転検討中。未来を支えるのは、老人ではなく子供です。至急対応を。
  - 子どもが小学生の間は、子どもの時間を最優先にしたいとパートタイムで仕事をしておりましたが私立中学への入学を機にフルタイムに切りかえました。区立中学への進学も考えましたが、やはり突出した魅力を感じることができませんでした。色々な選択をしながら親として子育てと向きあっていくことが必要です。“女性が輝く区に”というキャッチフレーズは耳にしましたし活動の様子も区報などで拝見しますがやはり“ひと握りの起業した女性”などへの支援というイメージがぬぐえませんが、普通の親たちが常識のある人間として生きることがまず大切です。色々な面で潤おうことが思いやりをもって他者に接する余裕を生み、その豊かさが女性の本来の活躍や輝きを生むのではないのでしょうか。とすれば、区独自の区民への経済的な支援もあってよいのではと思います。配るのではなく、割引くことからでも始められます。ゆとりがないと心もゆとりがなくなり、街の魅力もなくなると思います。
  - 習い事や塾に行かせてあげられない。他の子と同じように好きなものを自由にやらせてあげたい。歯ならび悪くて虫歯になりやすい我が子、矯正してあげたくてもお金がない。
  - 今年度、娘が私立高校へ入学し、初めて私学助成金の申請を致しましたが、その際に年収のみが基準になっており、子供の数は考慮されないのかと疑問に思いました。
  - 就学援助、医療費を高校生までとして欲しい。
  - 住環境がますますいいことは子供にとってとても大切な事です。しかし、家賃相場が高すぎます。子育てにはお金がかかります。地元の方ならともかく、外から移ってきた者にとっては家賃の負担が大きく、その十分な習い事へ回すことができません。もう少し住民税、家賃e t c 下げることはできませんか。
  - 子供がやりたい事を全てやらせてあげたいが、お金がかかりすぎる。教育にお金を使い果たし、自分の老後資金が無くなる不安。
  - 相談に行く際の交通費に補助を出してほしい。定期的に通うと、負担を感じる。
  - 日本の大学の入学金や授業料の高さにおどろきます。国立大学でも教材費等もろもろの必要経費を入れると80万円程かかります。今や、先進国では必須とも思われる大学教育を受けるために、まだ未成年で就労もままならない18才や19才の子供が、年間100万円近い金額を支払えるはずがありません。北欧やヨーロッパの国々では、すでに大学の授業料の無償化が始まっています。日本でも優秀な人材の育成のために、大学教育の無償化を実現することが大切だと思います。
  - 区には、教育費を給付してほしいです。塾代が高く困っています。学校の授業についていけず、塾も集団ではついていけないので、個別対応の塾しかいけず、お金がないので、2教科しか習えません。(月3万円位)
  - 家賃補助
  - 子育て支援に関しての意見として大学の学費が一番負担が重いのでここを支援していただきたいと思います。年収にかかわらず補助があればと思います。
  - 子供の医療費の助成制度を18才までにしてもらいたいです。高校に通っても、病気をすることは減っても部活動などが、増々盛んになりケガなどがふえて病院に通う事も多くあります。また、歯科に通う事もあり、学生という事もあり、負担は親になります。18才までの医療費助成を要望します。
  - 子供の手当等は助かりますが、小さい時より、中学高校～という年齢の方がお金がかかるので、その時にいただける親も助かると思います。
  - 豊島区在住の外国人のお友だちが経済的な家庭の事情で、移動教室も遠足も、修学旅行も全て欠席していました。お金の支給ではなく行事に参加できる援助を区はしてあげて欲しいなと思いました。
  - 給食、制服等支援していただけて助かるのですが、部活にお金がかかる。習い事をさせられない。オープンなスクールがあれば良いのに…など…
  - 低所得者がもっと区民住宅や都営住宅に入れるようにしてほしい。

### 13 住環境・まちづくり

- 子供達が帰宅する時間には暗くなる冬の時期は、高架下などに寝泊まりされている人達がこわいと言っていたことがありました。
- 災害時に避難する場所が少なすぎる。染井基地に避難となっていると思うが、墓石の倒壊も心配だし、現実的ではない。
- 休日に近所の公園に子供を連れて行っても、路上生活者の方が多く、環境が良くない。警察署が近くにあるのに残念である。
- 特に池袋駅周辺の駐輪場が少ない。あっても場所が不

便で女の子が夜利用するには、不向きな場所にある。

- 道路のゴミのポイ捨てが目立ちます。(北大塚山手線線路沿いの道)車が通る道ではなく、住宅街の道です。道の端がなぜか土になっていて雑草が生え、そこにみんな捨てて行きます。土では無くきちんとしたコンクリートにして雑草や朝顔の花を無くせば少しは変わるのでは。サンシャイン周辺はきれいに整備しているのに区民の生活の道が整備されて無くては意味が無いと思います。とにかく汚いです。
- 子どもは周囲の大人や環境で左右されます。池袋駅前(西口)の無駄なスペース!ふくろまつりのためにあんな空間を作ったことで、援交などはじめ良くない声かけがあるのを何回も見かけています。池袋が子どももお年寄りも安心して歩ける良い環境にならないと豊かな子どもたちは育ちません(うちの子は海外にしまいました)駅前環境をまず整備して下さい!!ベビーカーで大荷物の時も、タクシー乗り場まで歩かなければならなくなって最低です。よろしくお願いします
- 南長崎6丁目公園でアライグマがハクビシンを目撃して大変恐い思いをしました。木が大きすぎており、暗くなりすぎているので、伐採をしてほしいのでよろしくお願いします。イチヨウの木だけは切りましたが他の木はそのまゝの状態です。遊んでいる子も減ってしまいました。公園の整備、セットバックをお願いします。

○若い親子の住める住宅づくり。

- 道が広ければマラソンコースなどもいい。自転車の道も必要だと感じます。自転車専用があったとしても車が停まっているなんて、しょっちゅうです。住みやすいとはあまり思いませんが、便利だから住んでいるのではないのでしょうか。どこに行くにも豊島区駒込は便利ですが、子供には住みにくいと思います。
- 池袋本町4丁目は、鉄道の駅に近く、今後もすみつけたいと思っています。とても便利だと思います。G MARCHがすぐそばにあり、教育の観点でも不満ありません。
- 受験のための教室も多くきちとしたご家庭の方が多いためか犯罪などが少ない印象があります。しかし、池袋へ向かうと一気に暗い道が増えます。街灯をもう少し増やして下さい。
- 外国の方が多く、マナーが悪くて困る。外灯が少なく感じるので、これからの冬、子供の帰宅が心配です。
- 豊島区の外国人の問題も、取りしめりや、ゴミ出しなどの徹底をはかってほしい。
- アニメを文化っぽくしてるのが、嫌。
- 住宅地には細い道路が多く、車が通るときなどに危険を感じる事が多々あります。狭い路地を優先して電柱の地中化を進めてほしいです。
- E a o n等大型スーパーが無い分、他の形(もしくは新しい形の食住が充実するSHOPを作ってください)

#### 14 交通安全・防犯

- 大塚駅前のちょうちん横丁が柄が悪く、明るすぎる。夜に子どもを通らせたくない・中学生になると、行事の打ち上げで、焼き肉屋、ファミレスなどに子ども同士で行っています。私は娘には禁止にしていますが、親の意識が低すぎると感じています。乳幼児を連れて居酒屋に行くことも普通になっており、酒やタバコへの垣根が低くなり、犯罪へ誘いこまれるのも仕方ない世の中になっています。一行政だけでは解決しない問題ですが、犯罪や非行が増えていくことに歯止めをかけたいです。
- 夜遅くに外出しない。SNSなどの利用の仕方や、お友達への接し方など、犯罪に巻き込まれないように気をつけてはいます。思春期に入る頃なので、様子を見ながら注意するように声かけをしています。
- 子どもが、事故や犯罪に巻き込まれないことを常に気をつけています。豊島区の治安の悪さは、子育てに向かないと思われがちなので、治安を良くし、良いイメージの区にしてほしいです。
- 大塚駅(北口側)が最寄り駅ですが、子育てをする環境でないの一目瞭然です。夜間だけならともかく、昼間から昼キャバの呼び込み等、本当になくなってほしいです。また、近所に外国人が集団で住んでいるのですが、ゴミ出しのルールも守らず、小学生の通学路にゴミが散乱していたり、カラスがいたりする等、目に余る状態です。子どもの権利や相談支援も大切だと思いますが、とにかく治安が悪いのをどうにかしてほしいです。
- 最寄りの駅が大塚なのですが、子どもにあまり見せない風俗店が多く、治安もあまり良いとは思えません

ん。せめてパトロールの強化などして、安全・安心な街にして頂きたいと思います。

- 地域の子どもへの見守りパトロール(お年寄りなどが当番のたすきを着けて家の前にいすを出して座っているだけでも犯罪防止になると思う)
- 風俗の看板が堂々と道路に立てられていたり、交通量の多い六日又交差点から春日通りへ出る所の信号が赤でも突破する車が一台どころか何台も通ったりするのを目撃したりとか、随分様変わりした北口の中国街とか、決して安全な街とは正直思いませんが、学生の頃から住み始めて長いつきあいになると、もっときれいな安心できる所になるといいなと。上記の事柄は高齢者や観光客についても対策すると良いと思うので、ぜひ変えて頂きたいです。(防犯カメラの増設をお願いします)
- 文京区に近い豊島区内に在住しています。近くに交番があることで犯罪発生率が低いと思うので子育て中の身としてはありがたいです。生命、身体の安全が守られるということは、区内居住者の生活の基本的欲求が満たされているということで、これからも犯罪発生率の低いことを望みます。
- 豊島区は池袋という巨大繁華街があり、性を売りものにする商売(犯罪)があふれている。そういうものから子供達を守ることをしてほしい。
- 高校生の娘は、池袋駅やサンシャイン通りで、若い男性によく声をかけられるそうです。無視して走って帰ってきますが、やはり怖いそうです。援助交際、ナンパか、ナンパに見せかけたキャバクラの勧誘のようです。小学生の頃から体が大きかったので、キャバクラの勧誘テッシュをよく渡されました。駅構内の見回

り警官や警備員をお願いしたいです。サンシャイン通りも、普通の人と見分けるのが難しいですが、かなりキャブクラの勧誘があるので、なんとかならないでしょうか？こちらでも警官や警備員の配置をお願いしたいです。あと、東池袋駅周辺の公園に、ホームレスらしき人がいて布団を干したりしていて、とても怖いです。前よりはなくなりりましたが、家財道具らしき荷物があるのでやはりまだいるのだと思います。丈の短かい木があると茂みにいます。タバコ公園になっている公園もまだたくさんあります。若者が気らくにタバコに手を出すのは、見るに堪えません。環境から変えて下さい。タバコ禁止の立てふだや芝生にすれば、いかがでしょうか。

- 小・中・学校の帰りに痴漢被害（未遂）をよく耳にします。娘も以前家の前の通りで年配の男性に声をかけられました。『ちょっとトランクを見てほしいんだ』と声をかけられたみたいです。娘には知らない人に声かけられても近づかないように言ってあったので大丈夫でしたが、他の子にも同様に声をかけていたという事例がありました。住宅街の為、人の通りが少ない事もあり、少し不安な部分もあつたりします。区でどうにかというの難しい所ではあると思いますが、警察などと協力して頂けるといいかなと思います。
- 治安の良さを継続する為にワンルームマンションを増やさないで欲しいです。

- 駅構内、道路の歩道：右側通行か左側通行に統一して下さい（2020もあります）自転車通行の法制度を確立して下さい：気分によって車道を走ったり歩道を走ったり、信号無視したり、すごく危険で、子供を一人歩きさせられません。
- 巣鴨駅前にタバコ屋があり、多数の大人がタバコを道ですい、ポイ捨てしています。そこを通る小学生や子供達はけむりの中通らなければならず、また、ポイ捨てのタバコをきれいにひろうのは仰高小学校の生徒達が授業できれいにしています。毎日通るところにタバコ屋があるのは困ります。きれいにすべきなのは大人達なのにもかかわらず、はずかしいものです。
- 小、中、高校生のスマートホンの所持を区として制限して欲しい。（健全な子供の成長のため）
- 中高生のスマホ依存が今もそしてこれからも大きな社会問題だと思います。こちらが黙っていればずっとスマホとにらめっこで休日など一日中ですから。いったいどうしたらよいのでしょうか。家庭と行政両方で考えていく必要があるように思います。
- ネットワークゲーム（スマホ）についても何度言っても止めてくれません。依存症についてどこに相談して良いか、わかりません。思春期・反抗期・中2病、全部まとめてきてしまい、困っています。

## 15 地域の子育て支援

- 普段、小学校を中心にボランティア活動をしております。（小学生の子を持つ親として）サービス（公共教育等）を受けている恩恵を感じるからこそ、自分のできることでお返ししたいと思うからと、自分の都合ばかりを優先させる生き方はしたくないからです。行政と個がwinwinになる社会、個と個がwinwinとなる社会が理想です。与えるばかりのサービスでは、待っているだけの人が増える気がします。少し金銭面でも人力でも負担があるサービスも良いかと思ひます。変えよう、変わろうとする豊島区の取り組みは素晴らしいと思ひます。ただ現場で、うまくまわっていたり、いなかったりだと思ひます。動ける人が動けない人の仕事をにない、動ける人が悲鳴をあげてしまうようだと良い人材が辞めてしまいます。リーダーとなる人、なれる人は手当をつけるなど、やる気、維持のインセンティブも早急に考えられるべきだと思ひます。
- 少子高齢化が急速に進む日本において、子育ては、地域（国）全体において行うべきことだと思ひます。特に最近では老人の子供達への不寛容が多いと感じる。（電車やバス等公共交通機関での態度）子供は、国の宝として

長い目で見守り育てていく寛容が必要だと思ひます。

- 豊島区内の保育園小学校に子供を通わせましたが、いずれにおいても先生方、保護者の皆様から沢山助けて頂き、仕事と育児の両立ができました。感謝しております。いつかはお手伝いする側に回りたくと思ひます。最近では反抗期で、自分がティーンエイジだった時と環境も変わり、どう接すればよいかわからない時もあります。
- 自身の出身地方に比べると地元の自治会や商店街みなさん熱心でありがたいです。だから子供もここが大好きです。しかし最近では疲れてる大人が多いのかすぐに苦情を言われる大人（お年寄も）多いですよ。子供でいられる時間は人生においてとても短いので伸びのびすこせるように、またこの時間が素敵な大人を作ると思っていますので、他のお子さんもあたたかく見守っていきたくと思ひます。
- 気軽にボランティアとして参加できるシステムがあると、時間のある時に手伝いたいと思ひている大人や、勉強を教えてあげたいと思ひている学生も参加し易いと思ひます。

## 16 豊島区の子育て環境の充実

- 自分自身は小学生まで、娘は豊島区内の公立の教育機関に通ったことがない為、地域の取り組み等に関しては全く知らない。もしくはほとんど知らないことばかりです。娘が生まれた当時は、散歩する場所や公園もあまりなく、子育てにはあまりむいていない場所だと感じることは多くありました。今後、そのような環境を整備して、子育てのしやすい、人口の増える区になつて欲しいと思ひます。

- 兄弟が多い上に、教育に必要な以上に費用がかかることをとてもとても負担に感じています。今回該当した子は私立中学に通わせてみました（本人の希望により）。公立に通わせるのと費用は3年間を通すとほとんど変わらず、内容は私立の方がはるかに充実して教師の教育、学習等に対する考えのレベルの違いをまのあたりにしました。教育とは何だろう？と改めて考えさせられました。また、発達障害の子が数名います。子

どもに対応していきたいので、パート勤務を続けています。そろそろ限界を感じています。時間も費用もちかも苦しくなっているからです。夜間、休日に相談できるところは少なく、また探するのに必要以上に時間がかかっています。いろいろと述べましたが、子育ては楽しいと感じています。不思議ですが、子供の話を聞いていると頑張ろうという気持ちになります。子供達が私を育ててくれていると思います。豊島区の子育

てに関する支援の遅さは他区に比べて歴然です。もう少し早く取り組めないものでしょうかと思うこともありました。

○地域の活動が活発なのはいいところだと感じています。豊島の箱モノを充実させる前に、教育の質の充実。地域の良さを広くアピールしてはどうでしょうか。

17 その他意見

○中国人の率が多く、価値感の違いが子供を育てる上で悪影響になっている。文化を融合させるために、対策を立ててほしい。日本語学級のある学校だと特に目立つ。

○子供2人とも勉強ができないので将来が心配。特に高1の息子の勉強嫌いがひどく、進学できるのか、就職するにしても仕事が務まるのか、など考えているときりが無い。最終的に一人前にしないといけないという重圧を感じており、心の負担になっている。でも学校や実家も相談にのってくれるのでこれ以上他に相談する必要はないと思っており、後は本人の成長にまかせしかない。

○全てにおいて子供の環境は大人が作っている。その大人の心に問題があるから子供に影響する。大人の心のケアにも目を向けないと犠牲になってる子供が多い。子供の心は周りの大人が作ってる。本当に子供を想うなら、アダルトチルドレンな大人をどうにかして欲しい！！被害者は子供達だ。

○子供が17才ですが、ひとりっ子だったので、手をかけすぎてしまい、今だに親の私が子ばなれできない。他の親はどのタイミングでどの様に子ばなれしていくのかと…。

○近所の人に挨拶をすること。子供の話は忙しくても聞く。ニュースやその日の出来事を家族みんなで話す。

○世帯収入が少ない為、子供に欲しい物を買ってあげられないことが申し訳ない。友達は洋服、ゲームなどプレゼントが豪華。我が家は何も買ってあげられないことが、かわいそう。

○子育て中の親と子の支援の前に支援員、先生など教育や支援をする方々の心の充実、人数の充実をお願いしたいです。発達障害の息子の相談をする立場ですが支援をする方の立場の方から相談めいた事を受けた事が何度もあります。支援を受ける側からのクレームに対策を講じても支援者の方が苦しんでいるのであれば悪影響でしかありません。出身小学校の先生同士のもめ事も非常に問題だと思っています。先生を助けてあげてください！！

○執行（受け身的）機関としての行政から、データを整理活用して、考える・提案できる・行政機関へと変化

してもらいたい。全てが平等はありえない。だからこそ、優先順位を決め、素速く動き、効果を上げ、次々問題解決して欲しい。※変革に期待しています！！

○時々、家事を手伝ってもらった時は必ず感謝の言葉を伝えている。

○広報資料を見て利用しようと思っけても利用していません。子供が小さい時は、親のいうことをきいてくれましたが、もう小学生以上になると親のいうとおりに動きません。そういう意味で、家庭の努力が足りないと思っています。(放課後教室など親は参加させたいと思いますが子供は行くと言いません…)

○子は親の鏡。子供は将来を担う宝もの。望まれ、生まれるべき自分の子供として授かりし命。子供の心をつも見つめ、頑張った時はホメ、困難に合った時は、一緒になって考え、悟し、社会で生きて行く上でのマナー、心構え、考え方、知恵、を通して経験をさせ、それについて、色々と話を広げ、表と裏がある様に、自分だけでなく相手がいる事や、物の見方、考え物の一つではない、360度色々な角度がある事や、失敗は大成功の始まり、くよくよ悩むなんて、もったいない。悩むなら、自分の殻を打ち破って、目前の力ベをこわすか、よじのぼらせ、問題解決力を身に付けさせ、子供自身に自信と誇りを持たせ立派な人間に成長しました。学校での評価、担任の先生の評価は、かなり高いです。社会人になるまで、あと一息！！最後の仕上げまであと少し！！頑張って生きたいと思います。

○区役所が遠くなって不便。

○子ども達には、心身ともに健やかに育てて欲しいです。高齢化が進む時代に向け若者達には、頑張っけて欲しいです。

○子育てが母親の仕事でなく、夫婦+αの、みんなの手助けでできているという、常識を広めてほしいです

○ファミリー世帯が増えてきているし、再開発も進んでいて、人口も増え、活気が出てきている感じがしてとても良いと思う。これからも、安全・安心な生活ができるようにながらんでほしい。

○子育てするために働いているように感じる。税金など多すぎ。きちんと何につかわれているのかしりたい。子供うむのにお金かかりすぎて次ほしくても勇気ない。

18 本調査について

○返信用封筒が小さい

○アンケートの記入は少々面倒だとも思いましたが、少しでも今後の豊島区の為になればと思いましたが。現在特に不満はありませんが、可能な限り子育てしやすい環境を作って頂ければと思います。

○アンケートは必要と思いますが、下の子供が中3とあって、該当するところがあてはまらない所が多かったので困りました。

○中高生の親への設問ではないものもありました。子どもの子育ての思春期ならではの悩みがきけるようなも

のにしてください。

○子供は受験前で余裕がないので、アンケートの協力は、今回はパスさせて下さい。時期と対象者をよく考えた方がよいと思います。

○3ヵ月前に都外から転入したばかりで、豊島区の子育て環境についてよく知りませんでした。このアンケートをきっかけに子どもと話して様々な取り組みなど知ることが出来て良かったです。

○前回のこのアンケートにも医療充実を求む、と記した覚えがあるが、読んでおられるのでしょうか？そもそもこのアンケート自体に医療についての項目が少ないですが、問題意識が低いのでしょうか？それから、○相談所、○○センター、○○相談といろいろあるようですが、違いが全くわかりません。1つに統合したらいかがですか？コスト削減にもなります。ご担当者様、もっと他区をベンチマーキングしてください。改善を求めます。

#### IV 小学4～6年生本人

##### 1 いじめ

- いじめをなくしてほしい…。
- いじめを見つける調査をもっと厳重に回数を多くしてほしいです。また、調査の内容を変えてほしいです。
- いじめを見つけない調査をもっと厳重に回数を多くしてほしいと思う。

##### 2 屋外の遊び場所

- ボールが使える公園をふやしてほしい
- 公園をふやしてほしい。
- 公園の整備（とくに鶯鴨の）
- 豊島区に、アスレチックなどの施設や、大きな公園などを作ってください。
- 公園を明るくしてほしい。学校が移転するから通学路が変わるから安全に行けるようにしてほしい。
- 公園などでサッカー、野球（ソフトボール）などができるようなグラウンド？を作してほしい。
- さくら公園に、ブランコをつける。鉄棒や、シーソーや、大きな遊具。
- 一部のところですが、公園で、使えなくなった遊具を「禁止」というふうにかいてあります。けれど、直されないで、なるべく早めに、直してほしいと思います。公園の名前は伏せておきますが、ボール等禁止とかいてあるのにもかかわらず、やっている人がいます。でも言うのには少し勇気がありますのでどうしたらいいかと思います。区役所にいうのは、ちょっと変かもしれませんけど教えてください。私もなるべく頑張りたいと思いますが、お願いします。
- 公園でボールが使えるようになってほしい。
- 池袋地域にサッカーグラウンドを作してほしい
- スポーツ（野球）ができる環境をもう少し増やしてほしい。
- サッカーをやっているのに、サッカーができる広いところをたくさんふやして欲しいです。
- 地域のサッカー教室。
- キャッチボールをしたい。
- ボールで遊ぶ公園がない。どこでも怒られる。ちゃんと作って下さい。
- アスレチックできる場所がいっぱいあってほしい。
- 公園のブランコをふやしてほしい。鉄道をもっとみたい。
- 公園にターザンロープをつけてほしい。
- 公園の清掃。
- 長崎三丁目公園や千早フラワー公園などの公園のトイレをきれいにしてほしい。
- テニスを無料でできる場所を造ってほしいです。
- 公園にホームレスや子供たちをずっと見てくる人などいるので子供たちが遊ぶ場所なのでやめてほしい。すごく怖いのでいきたくなくなり、遊ぶ場所がなくなってしまう。
- サイクリングロードをつくってほしい。

##### 3 居場所・活動の場の整備

- ウォークラリーなどの行事をもう少し増やしてほしい。
- 雨の日でも、みんなが仲よく遊べる場所をふやしてほしい。
- 図書館にもっと多くの本とフリースペースがあると嬉しいです。フリースペースがカフェのような雰囲気だと、ゆったりして、過ごせるかなと思いました。
- バスケのできる所がほしい！！
- おちつけれる場所（しずかな場所）がほしい。ALVARK東京のホームアリーナをつくってほしい。
- 近くに図書館がほしい。近くに中学校がほしい。近くにボーリング場がほしい。近くにテニスコートがほしい。スポーツ公園に時計がほしい。電灯がたくさんほしい。子どものイベントがたくさんほしい。（プログラミング、将棋大会、アスレチック大会）おもちゃ屋がたくさんほしい。ありがとうございました。
- 地域の運動会をやってみたい。地域に料理教室がないから、あると、とってもうれしい。
- 屋内の最新アクティビティーができる施設がほしい。  
←屋内でカーリング、サッカー、乗馬、アーチェリーなどが体感できる。
- 豊島区で新体操の教室があったら習ってみたい。
- 区役所で、犬（動物）にふれあえるイベントをしてほしいです！！（絵）
- ジャンプ長崎の小学生の高学年が利用するときいちいち票を書くのがめんどうだから、登録できるようにしてほしい。
- 千早図書館の児童コーナーで、その場で読める、丸いイスをふやしてほしい。
- 公園がせまい、少な過ぎる、遊具がほとんどない。科学館や博物館といった教養をえられる施設が少なすぎる。治安がよくない。アニメやオタクの町にするのはやめてほしい。ハロウィンで大人のコスプレイベントをやるのは恥ずかしい。ハロウィンは子供のイベントだと思う。
- なにかのイベントをやってほしい。たとえば、ミュージカルだったり、スポーツイベントとか。豊島区に住んでいる小中学生に、手紙を送り、無料もしくは有料でやってほしい。スポーツが好き！アスレチックをつくってほしい（難しい）あと、緑を増やしてほしい。緑についてのキャンペーン活動をやってほしい。緑の大切さをわかってほしい！豊島区に住みたい、豊島区にいきたいと言ってもらえるようなまちをつくってほしい。豊島区を有名にしたい。そんな活動をしたい！おねがいします。みんなが来やすいまち、来てもらえるまちにしたいです！！豊島区がもし、この活動をはじめるとすれば、参加します！豊島区のすばらしい



ところをみせてあげて下さい！！私の夢がかなうのを、ずーっとまっています。

- 図書館の本を増してほしいのと、中学生になった時の休憩できる所がほしい。
- 遊べる所を増やしてほしい。
- スポーツができるような所を作って下さい。
- もっと行事をふやして欲しいです。
- 私は本が好きなので、よく駒込図書館に行きます。(夏休みなどの連休)なので、これからも続けてほしいの

が一番やってほしいことです。

- ハロウィンイベントやお祭りをしてほしいです。
- たくさんおもしろいイベントをふやしてほしい！！
- 区民が参加できるようなイベントを増やしてもらいたいと思う。
- 区役所でイベントをやってほしい
- 遊ぶ場所を増やしてほしい。ポールを使っていい公園を作ってほしい。区のプール施設を増やしてほしい。区のスポーツ施設を増やしてほしい。

#### 4 学校・教育

- 双子の兄が母に宿題を手伝ってもらっていたので、もう少し、子ども自身で宿題をやらせるような環境にしてほしいと思いました。
- 学校の校外学習
- 学校の授業を、出来ない人のレベルに合わせないでほしい。合わせるなら、出来る子のレベルに合わせた授業もほしい。先生の数を増してほしい。(副担任がいたほうが良いと思う。)←(理由)授業中に寝たり、騒いだりしている子に先生の手がかり、授業が進まないから。
- ISSはやめてほしい。理由は、それによって、遊びの時間や遊ぶ遊び、遊ぶ場所がどんどん制限されているから。
- 一人親の学びなどを手伝ってほしい。
- 高松小学校は、防火扉がなんにも起きてないのに、開くから、いざ災害があった時、困る。
- 小学校の工事を夏休み中にやってほしかった。廊下がせまくて、不便だった。
- 戦争のことを子どもの授業にしてほしい。(知らない人すべてに知ってほしい。)→そのために、自分は…戦争のおそろしさを知らない人に戦争のことを教えたい。選挙のできる年になったら、戦争を反対する党に、選

挙したい。広島原爆ドームに、できるだけ多くの人に行ってもらうために、よびかけたい。

- 小学生のランドセルをリュックサックにして、軽く、安くしてほしい。
- ランドセルがすごく重いので肩が痛いです。手さげなどに教科書をいれている人は先生に注意されます。おき勉強できるようにしてほしいです。
- 給食をうまい物にしてほしい。・温かいごはん・黒毛和牛・アイス(スーパーカップ)(パニョ)・暑い日は冷たいおちゃ・寒い日は温かいおちゃ・マカロン
- 授業の時に発言するのに不安になってしまうので、そこを何とか工夫してほしいです。
- 無駄な英語の時間を減らし、その分帰りを早くしてほしいです。学校で犬(ラブラドール)を飼うのを推しようし、ニワトリとかを飼うのはやめてほしい。ただの自己満足になっている学校のとび箱などがとにかく古い。新調してほしいです。余計な手紙を配るのをやめネットで公開などにしてほしい。特に「エコチル」はゴミとして捨てることになるので、逆に環境に悪い。夏休みをもっと延ばしてほしい。クーラーを実際に使わせてほしい。あいさつ当番はただの自己満足になっている。土曜授業お楽しみ会をなくしてほしい。

#### 5 放課後対策(学童・スキップ)

- スキップの先生がいちいちうるさくて行きたくなくなった。もっと行ったら楽しく過ごせる場所にしてい

しい。

#### 6 情報提供・相談支援

- 相談できるネットでは、LINEなどで、相談したいです。親に迷わくかけたくないから。
- 気軽に相談出来る場所をふやしてほしいです！
- 親には言いたくはないけれど、自分では、相談を受けてくれるところに連絡したり、行ってみたりしたいと思いました。親に言っても、「私に相談して」としか言ってもらえないので、どうしたらいいかわからず、悩みがたまっていきます。なので、そこを考えてほしいと思いました。
- 学校、友達、家族、勉強などに苦しんでいる人に気持ちを楽にできる場所をそういう人達に教えてあげてほしいです。(家族に、そういうことを言えなくても)(1人でも信頼できる人がいる場合)その人と話して、家族や親にどうするかを、その人と一緒に伝えるような流れを自分でやりたいです。それで相談した後に家族

に話して、出たことを、一緒に伝えてもらいたいです。その後、家族に怒られたりする家庭もあると思います。そこをどうするかは思いつきませんでした。そういう辛いことを経験したからこそ、できること、話せることも広がると思うので、それを自分でやりたいです。安心できる所がないとすごく辛いと思うので、そういう人達を、助けていきたいです。1人信頼できる人がいるだけで、ものすごくかわると思います。この区の施設のお陰で、僕の家族が救われたこともありま。本当に感謝しています。ありがとうございます。こういうことを区に伝える機会も少くないのでこの機会を設けて頂きありがとうございます。

- 友達や知らない人でも誰にでも相談できる場所を作ってほしいです。私がやりたいことは、しっかりと相手を見て話を聴いてあげることです。

○スクールカウンセラーの先生が男じゃなく女がいい。

## 7 住環境・まちづくり

- 町がもっときれいになってほしい。犬のふんが多すぎるからそれがなくなるといいと思う。
- カラスが何びきも道を歩いているのでこわいです。
- 公園のホームレスがうるさい。
- 公園の整備。街路樹が台風災害時に倒れてこないように補強。区立小の整備・改修工事（安全に使えるよう）特に植木。
- トイレの美化・学校へのマンガのもちこみ・ボールの使用をできる公園・静かな所・自然増加
- 公園などにごみがおちていないように、ごみなどのことについて、区全体でやってほしい。
- 生き物が泳ぐ池をいれてほしい。
- 自然を多くしてほしい。そしたら虫、動物などがくるから。公園の数を巣鴨地区の方に増やしてほしい。朝日小学校の前の朝日通りを通交止めにしてほしい。
- 工事が多すぎます。
- 駄菓子屋さんを作ってもらいたい（あたりつきや、いきやすい、入りやすいところ）本、マンガ屋さん
- もう少し食べ物のお店を増やしてほしい。
- 街にごみが捨てられている所があるので、なくすように活動をしてほしい。
- 東長崎駅の近くに学校、またはオリジン弁当さん、駄菓子屋さんをつくってほしい。
- 文京区みたいな「ビーグル」のようなバスがあったら、

便利です。

- お年寄りから、小さい子まで全員がふれあうことのできる場をもっと増やしてほしい。理由は2020年東京オリンピックに向けて豊島区全体が仲良くなり東京オリンピックを向かえたいから。歴史の資料館を増やしてほしい。（豊島区以外の所にも）理由豊島区の歴史を今以上にたくさんの人に広めて豊島区のよさを知ってもらいたいから。
- 豊島区役所が遠い人もいるのでコミュニティバスを走らせてください。
- もっと祭があるとよいと思う。
- 環境問題（緑を増やす）
- 雑木林や丘陵地など自然があり昆虫や野生動物がすめる町にしてほしい。水田や池も増やして欲しい。
- 区役所でやってほしいことは、お祭りが、やってみてほしい。
- ゴミが落ちている事がある→ゴミ拾いに参加したい！
- 気軽にいけるボランティア活動をふやすこと。自分がやりたいことは、ボランティア活動、地域のイベントに積極的に参加したい。お祭りなどがあつたらできるだけ行く。
- 地球温暖化が進んでいるので少しでも緑を増やす取り組みをしてほしいです。動物とかも、減ってきているし、人だって熱中症などで死んでしまっているから、緑を増やす取り組みをしてほしいです。

## 8 防犯

- 区役所にやってほしいことは、夜道が暗いので外灯を増やすこと（→最近私のいる場所で不審者がでるといふことがよくおこっているから。）OPM6～8時の見守り。
- 塾などで帰りが9時くらいになるとき、ときどき変な

人がいるので警備を強化してほしい。

- 豊島区は夜でも混む事がある（池袋）ので、子どもにとっては迷惑、と感じる時があるので警備員さんなどがいてほしい。

## 9 その他意見

- 絵がうまくなりたいたいです。
- もっと発言が出来るようになりたい。時間をもっと有意義に使って、あまり時間がなくて遊べない友達と遊びたい。
- 十分満足なので特にやってほしいことはありません。
- 個人情報ばらさないようにしてほしいです！
- 小説かきたい…。一人ぐらししたい…。
- これからもこんなアンケートをしてほしい。（理由）変わる（意見）かもしれないから。よろしくおねがいします。
- イラスト・絵をかくこと。
- 植物などをたくさん育てたり、少しだけ動物や昆虫なども飼ったりしてほしいです。
- もうちょっと友達と遊ぶ時間がほしい。
- わたしは区役所にあまり行ったことがないので、そん

なわたしでも優しく接してほしいです。

- 芸能人が区役所に来て、握手会やら、なんやらしたい。  
※芸能人とは、あまり知られていないような人ではなく、そこそこの人気のある人。
- 受験終わったら、友達とあそびまくりたい。
- いろいろなものをつくってみたい。また、つかってみたい。
- トキワ荘の小池さんモニュメントでラーメンを出してほしい。
- 友達ともっと仲よくなりたいたい。特別でいたい（日本になじみたくない…？）
- これからも楽しく学校生活を送っていきたい。これからも豊島区に住み続けたい。
- 消滅都市第1位の豊島区を、消滅されないでほしい。
- 豊島区はよく、「田舎者の集まり」などと馬鹿にされる

けれど、私は誇れるものがたくさんあると思います。池袋みたいな都会がありながらも緑が多かったり、サンシャインのような観光地があったり、あと、子育てがしやすいというのも、聞いたことがあります。だから、もっと他の区や県にアピールして、「消滅都市」なんて言わせない豊島区をつくってほしいです。

○犬や猫が好きな人が増え、「殺処分」をしない豊島区になりたい。なぜなら、殺処分か、最近多くなってきているから。そして、犬の命も、猫の命も「灰」になるために、生まれてきたんじゃないから。犬や猫が安心・安全で、ゆったりとすごせる場、犬も猫も、人間も、人々の「憩いの場」をもっと作ってほしいです。そして、緑が、たくさんあり、空気がとてもきれいで新鮮な豊島区にしてほしいです。犬や猫だけでなく、人間

だって、とてもより良く今後を過ごせる方法だと思ったからです！

○犬を飼いたい。

○毎日カルピスゼリーを給食につけてほしい

○ないけど（ないけれど）心がすっきりしました。ありがとうございました。

○今のままで大丈夫です。

○満足してるから、特にない。

○特にないです。今のままで大丈夫です。

○普段、あまり、考えたことがない。

○特にありません。これからもそのまま続けて下さい。

V 中学生・高校生本人

1 不登校・ひきこもり支援

○弟が中学校で、不登校になってしまいました…。あまり家から外に出ることもない感じなので、区からもそ

ういった人達に対する支援をいただけると幸いです。

2 屋外の遊び場所

○公園を増やしてほしい。ボール遊びができるところを増やしてほしい。

○サッカーなどができる場所を増やしてほしい。(子供専用・無料)

○総合体育館の野球場を18歳未満(特に高校生)のみでも使えるようにしてほしいです。

○安心してバスケットができる公園を増やしてほしい。

○南長崎スポーツセンターの空き地にバスケットゴールを6コ設置してください。4コでもいいです。とにかくバスケットがしたいです。

○公園を広くしてほしい。ボールやバットを使える公園をもっとつくってほしい。グラウンドを整備してほしい。

○私もふくめた子ども達への遊び場の提供。もっと自由になりたい。

○球技ができる公園が欲しいです。

○テニスの壁打ちが無料でできる広場を作ってほしい。

○小学生の子どもなどが遊べる公園をもう少し増してあげてもいいのではないのかなと思います。公園がないからと道で遊ぶ子どもが増えていて通行人にとっても迷惑です。

○公園で自由にスポーツができない。

○ボール(スポーツ)ができるところをふやしてほしい。

○スケボーパークの設立を強く願う。

○公園でサッカーをしようとしたら、犬を散歩している人に、サッカーなんてやらないでと起こられた。公園はなにをするためにあるのか。ふしぎ～。”

○南池袋公園のような整備された公園が増えれば、もっと住みやすくなると思う。

○公園でキャッチボールができる所を作って欲しい。

○子供目線で考えた公園造りをお願いします。南長崎6丁目公園は木が大きくなりすぎて明るい公園だったが、暗くなってしまい子供が遊ぶのに防犯的にもよくないと感じています。

○もっと広くて、サッカーゴールがある公園を作ってほしい。遊具がたくさんあっても嬉しいです。

3 居場所・活動の場の整備

○好きな時に自由に利用できる体育館。

していただきたい。

○テニスコートやバドミントンやバレーボールができるコートがある広いところがほしい。中学生が通えるトレーニングジムがほしい！！

○中高生センタージャンプを利用してみたいと思うけれど、場所が遠かったり、行く時間が無かったりするから、手軽に行けるようにもっと増やしてほしい。

○勉強するところと飲食が可能な場所を作ってほしい。特に無料で飲食可能な所が図書館のリフレッシュスペースしかなく、その場所の衛生面はあまりよくない。

○池袋や長崎の方にしかジャンプがないから、2ヶ月に1回くらいしか行かないけれどピアノやバンド等の練習はしたいので使用できるようなスペースを作ってほしいかな、とは思っています。

○千早地域文化創造館多目的ホールの、バドミントンネットをまた使わせて欲しい。

○日曜日や祝日にジャンプがやっていないのは繁華街で遊べということですか？

○もっとたくさんの人に「スポーツのつどい」について知ってもらいたいです。

○ぼくは、中3の時に「エール」で大学生の方に勉強を教えてもらいました。この輪が広がって多くの大学生が参加し、もっと勉強会の日が増えたらいいなと思います。ぼくも大学生になったら是非参加して恩返ししたいと思っています。

○図書館にもっと沢山勉強できるスペースを作って欲しい。読みたいと思う本が圧倒的に他区より少ないのでもっと充実させて欲しい。

○友達とゆっくりできる所がほしいです。

○中学生の遊び場が少ないように感じます。児童館の様な施設が池袋まで行かないとないのは大変です。僕の住んでいる高田の地域では旧高田小学校の教室を使わせていただけないのでしょうか。施設は池袋のものほど大きくなくていいです。中学生、高校生が無料で集まれる場所がほしいです。おねがいします。

○豊島区の中央図書館に荷物をたくさん持ちこんで来ているくさいふうろ者がいる。座席数を増やしてほしい・区内に遊園地がもっとあるといい

○中高生センタージャンプの数を増やしてほしい。高校生でバンドを組んでいるが、お金がないため、無料でスタジオを利用できるのはありがたい。が、東長崎と東池袋にしかないのは不便だ。豊島区は意外と広いのに2つしかないのは不便。東池袋のジャンプのスタジオを増やし、防音にしてほしい。正直利用者が多いのに、一部屋しかないので十分な練習ができない。増や

○もう少し、スポーツができる施設を増やしてほしい。また、北池袋や池袋に公園や、相談所、自習スペースがほしい。

○図書館などに大学生などが常にいるような自習スペースや、図書館でなくていいから、とにかく自習スペース(学習ルームetc)をつくってほしい。どうしても図書館がいっぱいだから。駒込図書館の自転車置き場がなくなり、自転車が置くのにお金がかかり、行く

- 頻度がかなり減った。また置き場をつくってほしい。
- 高校生ですが、区の図書館の閉館時間が早く困っています。数時間でも延長していただくと幸いです。
  - 区民ひろばの利用時間を増してほしい
  - 図書館を増やしてほしい。
  - 室内でスポーツが出来る施設が欲しいです。
  - 中学生の遊ぶことのできる場所が少なすぎる！本当に、わざわざ自転車に乗って他の区までいかなければならない。近くだとゲームセンターやショッピングセンターなどお金を使わないと遊べない場所ばかり。そこらへんは真剣に考えてほしい。
  - w i f i が使える施設を作って欲しい・飲食をしながらか居できるスペースが欲しい。
  - 中高生用の勉強専用の施設をつくってほしい。
  - 中学生では部活がありますが、中学生でもならえるスポーツ教室などもふやしてくれとうれしいです。
  - 豊島体育館などの設備では本当に感謝しています。できれば、バンドがやりやすい環境がほしいです。
  - 中央図書館の本の配置が分かりにくいのももっと分かりやすくして下さい。
  - 自習スペースを設けてほしい。
  - 図書館などに、だれでも気楽に利用できる自習室を併設してほしい。
  - 私はバレーボール部で、バレーボールができる施設ができたらいいな、と思っています。夏休みなどの長い休みには、部活の友達を誘ってバレーボールをしたいです。部活の学校の体育館は時間も場所も限られてい

- るので、伸び伸びできず、上達しないとみんなで考えていました。なので、楽しくできる場所が欲しいです。
- 勉強ができるスペースが欲しいです。(朝早くから夜遅くまでやってる所)
  - 部活動(バレーボール)以外で気軽にバレーボールなどができる場所を設置してほしい。男子バレーボールの大会を増やしてほしい。
  - 中央図書館を長時間利用すると、空腹感、そして眠気がよく自分を襲ってきます。そこで一つ提案です。中央図書館があるビル内、もしくは近くにブックカフェの様なものを設置するのはいかがでしょう。理想は図書館内にカフェの様な場所が確保されることですが、それは場所、余っている場所の問題上、難しいと思います。不可能であれば最低、飲食ができる場所を確保してもらいたいと思っています。
  - まわりの目が気にならないような、個室の自習室みたいな所で勉強がしたい。
  - 子どもがもっと遊べるようにもっと楽しい施設をつくってほしい。遊ぶところが高すぎる。
  - 無料でスポーツ(バドミントンなど)ができる施設をつくってほしいです。
  - 広いところでスポーツができる場所がほしいです。中高生でもできるジムみたいなのがほしいです。
  - スポーツ施設を作ってほしい。
  - スポーツを出来る場所を増やしてほしい。お年寄りしか使用していない気がする。
  - 勉強をするスペースがない。高校生だけの勉強をできる空間を作ってほしい。机・いす、飲食OK、室内。

#### 4 学校・教育

- 中学校の部活で外部コーチの枠を増やして、先生の部活の負担を減らしてほしい。
- 駒込中学校の校舎が古いのでたてかえてほしいです。
- 豊島区は外国人(主に中国人)が多く住んでいて、良いとは思いますが、年々増えてきて、小学校の日本語学級の先生が足りていないような感じがする。

- 学校でI S Sをやらされた。めんどいし、だるいからやりたくない。
- 区で留学を支援するシステムを作ってほしいです。
- 大学進学にお金がかかるが、少しでもいいから支援してくれる制度があると助かる。

#### 5 情報提供・相談支援

- 外国の高校を卒業し、日本の大学に入る留学生が年々増えている。これらの人々はほぼ日本語学校に就学しており、中高生センターや子供若者相談などをほとんど知らない。これらの外国人留学生(ほぼ17~18歳)に区の施設を伝えたら、留学生と日本人の学生たち話し合うことができ、お互いに異文化を理解することができるようになるのいいのではないかなと思う。
- 来年高校に行けているのなら自分のやりたいことを見つけようと思っているので、そのようなものがわかりやすくなっているとありがたいなと思う。
- このアンケートを通して、豊島区にはこれほどの施設や相談所が知れたが、もっと前から知っていたかった。メール配信やチラシ、SNSなどでどのような施設があるのか、行事があるのかを知ることができるようにしてほしい。学校が区外にあるので、豊島区の情報があまり入ってこないため、情報をもっと得たい。

- 高校生活がうまくいなくて、退学やそれを悩んでいる人達が心をひらける様な場が増えると良いと思う。きれい事だけではなくフレンドリーで歳が近い人なら尚。絶対に手をさしのべてほしい人はいると思うから。
- 広報としまに、中高生の興味をひきつける様な企画を定期的に行って欲しいです。目に入っても、読みたいと思う事が少ないので公立学校へ行かない身からすると地方自治は縁の遠い話で、関係ないと思ってしまいます。もっと読みたくなる広報紙になると興味もわいてくると思います。
- 子供の相談をきいてくれる場所や「子どもの権利条約」がどんな内容なのかを知らなかったから、それを広める活動をもっとしてほしい。
- 区や地域でなにか出来る事があるなら積極的に参加したいです。ただ高校生になって区や地域の情報がほとんどありません。もっと情報があると参加しやすいの

ではないのでしょうか。

○学生には区が何をやっているのか分からないのもう少し情報を知りたい。

6 住環境・まちづくり

- 家の近所の野ら猫やはなし飼いをしている人の猫が私の家の敷地内でうんちをしたりとても迷惑なので、対処してほしいです。
- 小篠坂の美化:高速道路下なので、ホームレスが多い。昼はうす暗い。夜は電灯が少なく、高速道路の裏のライトはオレンジ色で見にくいためとても暗い。又、ゴミのポイ捨ても多い。坂の下の方は本浄寺の塀が続き、首都高の雑司が谷基地の周辺は大変暗く鳥の糞等とても汚いため拾おうとする人もいない。清掃、電灯の増加、付け換え等と、ポイ捨て、ホームレスの空き缶とお金の交換の厳しい取り締まりをしてほしい。
- シャッター通りをどうかかしいほしい。(暗い)
- いなり公園(豊島区)にゴミ箱を設置してほしい。トイレは新しくなったので便利!!
- 今、住んでいる近くには都営住宅があまりないので、区営住宅をもっと増やしてほしい。なぜなら、母子家庭なので、都営住宅や区営住宅などに住みたいからです。できれば豊島区にこれからも住んでいたいから。
- 駐輪場の充実。
- 犬が住めるマンションをふやしてほしい。
- 夜、暗い所があるので、街灯をふやしてほしい。東池袋の駅のエレベーターの工事はやく終わらせてほしい。いちばん使っていたから、なくなると不便になった。
- びっくりガードの西口側出口のあたり、たまに鼻が曲がりそうなくらい硫黄臭い時があるんですけどどうにかありませんか。時間帯は朝が多いです。
- 朝、登校の際にカラスがゴミをつついてる所をよく見かけますので、ゴミ置き場を改善していただきたいです。街にもっとベンチを置いていただけると幸いです。
- 先日、夜にアライグマがハクビシンを目撃したので改善を早急をお願いします。又、公園の周りの家がセットバックをされず道路が狭いまです。
- 豊島区に緑を増やしてほしい。
- 公園のホームレスがこわい。
- 古い住宅街に空き家があり、中につたがはっている家がある。
- 公園に老人(ホームレス)がたくさんいて幼い弟を一人で遊ばせられない。
- 区役所の駐輪場はタダにすべき。(文京区はタダ)

- マックを造ってほしい、昔まであったから。
- 池袋の近くに住んでいるので、池袋をきれいにしたいし、高齢の方が多いい区だからこそ、年の幅があっても多くの人から愛される街になってほしいです。もっともっと豊島区に活気があってほしいです。これからも、住みやすい街であってほしいです!
- 千川駅をもっと便利にしてほしい。特に一番口のエスカレーター最後までしてほしい。
- 民泊を積極的に行っている影響もあるのか、街中で戸惑うアジア系の外国人の方をよく見かけます。駅の改札付近や、細い道で大きい荷物を持って立ち止まられてしまうと地域の人達も困ってしまいます。街中に英語だけでなくアジア系の方々の理解できる表記のある標識を多く作って頂きたいです。池袋だけでなく、北池袋でもよくあるので困っています!
- 大きいファッションビルを作ってほしい。おしゃれな町にしてほしい。
- 活気、知名度。大きいビルで人をよぶ。カフェ、おちつける場。イオンをつくってほしい
- もっとスポーツに力を入れて欲しい
- 池袋にアニメイト等のアニメグッズを売っている店はあると言えばあるのだが、少ないから増やしてほしい。ゲーセンの数も増やして欲しい。ゲーセンとは一筋に言っても音ゲーの機材が完備されたゲーセンを増やしてほしい。あとは池袋駅西口側の治安を良くしてほしい。坂道を減らして。
- 何でも池袋に作らないでください。駒込図書館をもっと充実させてください。
- 道路を広く・チャリ用の道路でも歩いている人がいるので意味なし。
- スターバックスが欲しいです。カフェをしながらくつろげる(長時間)ところが近くにあると良いです。
- 目白駅に南口がほしいです。厳しいかもしれませんが、高田馬場駅の戸山口のような形でいいのでお願いします。もし不可能なら、都バスの転車場にもバス停を設けてほしいです。
- 中高生が参加できるイベントをもう少し作って地域友好を深めたい。
- 大塚にゲームセンターを増やして下さい
- 大型スーパーがほしい。ゲームセンターもほしい。

7 防犯

- 治安の向上:豊島区に住んでいるというだけで治安が悪い所に住んでいると思われる。最近池袋が開発されてきて渋谷や新宿に追い付けるかな、とも思うが、渋谷より規模が小さいのに、治安が悪い区ランキングで渋谷区より上位なのはどうかと思う。
- 雑司ヶ谷霊園の電灯が少なく、夜は危ないので整備してほしい。

- 電車や駅でいやなことをする人がいるから、見守り隊をつくってほしい。駅の前にキャバクラのよびこむ人がたくさん立っててやだ。(巢鴨駅)
- 客引きの度が過ぎています。
- 自宅前の通りが暗くて夜歩くのが怖いので、街灯を増やしてほしいです。お願いします。

## 8 路上喫煙対策

- タバコを道で吸っている人をなくしてほしい。
- 歩きタバコを取り締まっただけだと、うれしいです。
- これは都会の地域に限るが、たばこのポイ捨てが多く、禁止された今でも、路上喫煙をしている人が多く、これは受動喫煙が後に自分達に悪影響を及ぼすことはわかっているのに、路上喫煙されると、本当に迷惑でしかない。もう少し厳しく喫煙についての対応をしてい

ただいた方が良くと思いました。特に私の家はちょうど公園の喫煙場所側に窓、ベランダがあり、たばこのにおいが衣類についたり、換気する時にたばこのにおいが気になるなど、普段家にいてリラックスしたい時でも、不快に感じます。

- 登下校のとき、歩きタバコをしている人たちがいて毎日いやな思いをして学校に行っています。とても苦しくなり、学校も行きたくないです。

## 9 その他意見

- やりたいことは、ずっと友達や彼氏と遊んでいたい。(平日も)学校なんて、なくなればいいと思う。なぜかという、友達関係がむずかしくて、セクハラもされているから、早く退学したいとおもった。それが毎日、セクハラをされているから、やめてほしいです。それをまだ親に聞いていなくて、はずかしくていえません。
- 中学校の食器に丼ぶりを追加して下さい。
- 生きているのが辛い…。
- みんなで勉強するとなかなか集中できない
- 宿題制度禁止・生徒の支持を受けている先生が別の学校へ行かないでほしい。
- イラストや絵を描きたい(ポスター、手紙など)
- 消滅可能性都市にならないように頑張ってください！空き家問題解決頑張ってください！
- 連合陸上を平日に行ってほしい。
- 将来、障害があっても一人暮らし出来るようなサポートがほしいです。
- 国立高校を受験する外国人の要求を緩和する。日本語は本当に難しいです。でも頑張ります。駒辺周辺の国立高校に行きたいと思っています。頑張ります！
- 部活で演奏している楽器が、もっと上手になりたい。定期テストで5教科合計450点以上とりたい。
- 一昨年の夏に引っ越してきて、高校3年間で豊島区で過ごしました。生まれてから、ずっと中野区で暮らしていて保育園・小・中学校の友達と離れてしまう寂しさもあったけど、意外と近いことに気づき、また、中野区とは違う豊島区の良い所も大変見つかりました。特に、とても静かな事。中野区では、大通り沿いに住んでいたという事もあり、登下校中沢山のライト、車の光に照らされながら多くの人とすれ違ったので不審者等の心配をする事はなかったけど、家に着くまでリラックス出来ませんでした。でも豊島区に来てか

らは、落合南長崎駅前にあるお気に入りの公園の空(特に夜は、中野区よりずっときれいでほっきりとした沢山の星を見る事が出来て、とても幸せです。)を見ながら鼻歌を歌って歩いても恥かしくない程、快適な登下校が出来ます。

- 自分の住んでいる所は落ち着いていて住みやすく、少し電車に乗れば池袋という大きな町にも行ける。豊島区は便利さもあり住みやすさもあり、良い町だと思う。
- 数週間前に放送システムのエラーかなにかで、予定時刻から5分後くらいにいつもと違う「ふるさと」(←防災無線のメロディー)が流れましたが、むしろこちらの新しいメロディーの方がカッコよく、市民により好かれると思います。研究医になって難病の治療法等を発見したいです。
- パワハラしてくる先生いて悲しいです。
- ボランティアを実施したことないので、ぜひやってみよう。
- 高校生が歩道を歩いたり、自転車で歩道を走ったり、少し逆走していたり(安全な範囲で)すると、大人(地域の大人)がすぐに学校にクレームを言いにくるが、その地域の大人でくられる人も上のような迷惑行為をしているのにもかかわらず、高校生(学生)だけが注意されるのはおかしい。大人だからいいのか、とさえ思えてきて、あのような大人にはぜひともなりたくないと思う。
- 住民の要望の声に、いち早く行動にうつす区役所であってほしいと思います。よろしくをお願いします。
- 新しい道路建設も、すべてムダ。作りおえる前に災害がおきたらダメだし、作るとしても、自分は区を信用していないから計画通りに進まないと思う。
- 私は子どもが大好きなので、0才から5才まで受け入れてくれる保育所を増やしてほしいです。
- いつも安心して暮らせてます。ありがとうございます。これからもよろしくをお願いします！

## 10 本調査について

- 豊島区には長く住んでいますが、今のところ区に対して不満に思うことはほとんどありません。そして、このようなアンケートを積極的にとっていることなど、豊島区をよりよいものにしていくという努力が感じられ、大変好印象です。区長をはじめとした区職員の皆様のお陰で大好きな豊島区に快適に暮らせています。本当にありがとうございます。私も一学生としては

ありますが、陰ながら応援しています。

- もう少しアンケートを短くしても良いと思いました。
- アンケートの中で、質問している意味が全く分からないところがある。答える部分の選択する部分が少ない。アンケートの内容が長い。もう答えたくないという気持ちになる。とても時間の無駄に思えてくる。

## VI 若者

### 1 いじめ

- 小中学校でのいじめや教師に対する態度は本当にすごい悪かった。もし、自分が結婚して子どもができれば豊島区からおそらく引越すと思う。
- 同じ地域の小・中学校でも、付近の民度の違いや地元の良し悪しによって教師の対応の悪さが著しくみられることがある。私の中学校では反発しない生徒を重点的に処罰し、態度の悪い生徒がおとなしい生徒に

対しいじめのような行動をしていてもあまり注意をしておらず、問題が起きた際にはケンカとして対処し明るみに出ないようにしていた。現在の社会環境ではいじめなどの問題が発覚した時には厳しく処罪しているように見えているが、実際摘発されていないものがほとんどであり、本当にいじめをなくしたいのであれば生徒を管理する教師だけではなく教師陣を監視する役割を請けたほうがよいと考える。

### 2 屋外の遊び場所

- 公園等は整備されていて、こちよく利用できてよいなと思います。
- 小さい公園で十分だがもう少し色身があってキレイな公園にすればいいと思う。
- 子供が伸び伸びスポーツを行える環境がない。ただでさえ、身体能力は低下しているにも関わらず、豊島区

として環境を整えていないのが20年住み続けて感じている。特に野球ができる環境がまったくない。この状態では豊島区スポーツ選手の輩出や、大会などを開催できない。子供の能力低下を支援するような形に見える。とりあえずはグラウンドを作ってほしい（硬式ボールも可）

### 3 居場所・活動の場の整備

- 最近引っ越してきた為、施策や施設などをよく知りませんが、以前住んでいた区では図書館は児童が使いやすく興味を持ちそうなレイアウトになっていたりと子どもが楽しめるように工夫されていて良いと思いました。
- ジャンプいいね、大学生になっても利用したい。
- 「中高生センタージャンプ」について…私が高校生だったら行ってみたいと思った。
- また、学童？児童園？も他区に比べて施設がよくなった。よくなると良いと思います。
- 子ども若者施策への要望。悩みを抱える子どもやその家族への支援はもちろんだが、楽しいイベントの企画運営等もやっていただけたらうれしい。
- 図書館の利用に関して、満足度を低く解答した理由として、ホームレスの方々が寒さあるいは暑さを凌ぐために利用していて、お手洗い等心地よく利用できなかったからです。対処が困難であるとお察し致しますが、できる限りの対応、呼びかけの方をお願い致します。

○自主学习をする時、大学のレポート課題をする時、どこの場所で勉強しようかまず最初に考える。カフェか図書館か。パソコンを使う場合はパソコンが無料で使えるカフェを探す。豊島区の図書館を利用するという選択肢がけずられてしまうのは、大学生向けの環境作りが欠けているからとってしまう。東池袋の中央図書館へ高校3年生の受験期に行った際、席を利用して時間が管理され長居できない席があった。高校生・大学生専用の座席スペース（中にはマックやウィンドウズパソコンが設置されている席もある）があれば私は通っていたと思う。以前ジャンプへ自習室目的で行ったことがある。（中3の時）その際は自習室にいる時に集中できたが、自習室の外であそぶ声、地元の子もたちがさわく声に意識がいき、通いつづけることはなかった。私は小・中・高と他の区の学校に通っていたこともあり、地元には友だちがいない。そのこともあり、ジャンプは自分にとってアウェーな環境であった。だから私は豊島区の図書館に期待している。

### 4 情報提供・相談支援

- 学生などは、LINEやメールなど手軽な形で相談できる場があれば良いのかなと思います。自分自身、豊島区が区として子ども若者施策で何をしているのかわからない（情報を得ようとしていないので）ため、これからは気にしていこうと思いました。「こんなことやっている」とわかる場（SNS上など）があれば良いと思いました。（もうあるのかもしれませんが…）
- 昔、無料の電話相談に勇気出して、電話したら、全くつながらず、つらい気持ちが増しました。私は大学で心理学を学んでいる身です。利害関係ない人に悩みを話すことはとても精神安定につながります。大変だとは思いますが、ぜひそちらの制度をより充実させて頂ければと思います。よろしくお願致します。
- 子宮頸がん検診が無料でできる書類をもらった。婦人

科に行くことがなく、検診するお金もないのでありがたかった。しかし、勉強が忙しく、検診する必要性を感じなかったため、受診しなかった。その後、友人から、ピルを処方してもらうためには子宮頸がん検診が必須だと聞き、後悔した。ピル処方のために検診を受けなければならないので、検査したほうが良いと書類に載せたらどうであろうか。若者を定着させるために様々なプロジェクトがなされているように思われる。頑張ってください。

- 上京して4年経ち、社会人生活にも慣れてきたため、地域活動に参加してみたいと思っておりますが、どうすればよいのかわかりません。教えてほしいです。
- 子ども若者施策について、情報が手に入りにくいように思います。誰でも必要な人の所にそういった情報が、手に入れられるようなしくみがあると良いと思います。



- 今回このアンケートが届いて初めて「豊島区子ども・若者計画」について知りました。豊島区役所が移転してから利用する機会は増えましたが、知らなかったのでもっと若者に周知されるべきだと感じました。具体的にどのようなことを行っている機関なのかは分からないので、もう少し説明が書いてあるとなお良いかと思いました。
- 今回このようなアンケートを頂くまでは、豊島区の若者に対する取組みを知りませんでした。豊島区は若者が集まる場所が多く存在する区です。そのためこのような取組みはおもしろいと思い、またもっと周知をすすめ、推進していくべきだと感じました。
- こういった活動について知る機会が少ないので、もっと啓発活動をしたらいいと思います。
- 豊島区が豊島公会堂を建て直したり、公会堂で書道などの作品を展示したりなどの取組みをやっていたのは知っているが、学生だったころにイベントだったりなどの情報が入ってくる機会が少なかったし、あまり興味もなかった。だからこそ今の時代SNSをもっと力用していったほうがよいと思いました。ホームページもデザインが良くないし、正直見にくい。Twitterもあまり頻ぱんに投稿してないし写真も雑だったり暗くて何をうつしてるのかよくわからない。子

も、若者施策といっているが具体的な内容が何も入ってこない。忙しい学生だったらただの偉い人が喋るだけのイベントに参加するのは時間のムダだし、何の得もない。学校にも得があり、学生を動かせられるような集り(部活動などを通して)ならまだしも他は、食べ物だったり、特典がないと厳しいと思います。いっそTwitterでの写真のイベントでもひらいて豊島区のホームページに使うとかいろいろやってみればいいのじゃないかと思います。今の時代子どもですらスマホを使ってるのだから簡単にできるそこからやってみればいいのに。あとはアートななにかをとりにいれるとか、芸術肌な人が作品を残していけるようなクリエイターを発掘するイベントとかやればいいのに。掲示板だったりパンフレットとかじゃ効果はうっすいから学校を巻きこんで子どもから親までターゲットにして、親がまず積極的に子どもを参加させたいって思わないとだめなのでは？

- 正直、子ども若者施策について何をしているのか、全くわかりません。もっとホームページ等で何をしているか公開しても良いと思います。
- みんな興味がないのではなく、知る機会がすべてにおいて少ないと思う。もっとみんなの目のつく場所で、広報をするべき。

## 5 経済的支援

○演算速度の速いノートパソコンと自宅のデスクトップを遠隔操作出来る通信速度を持つ契約に切り換えたいが資金力がない、未成年は契約行為を自身の意思のみで行えないため援助を求めます。

○不妊治療への所得に限らないサポート(←共働きが多い今600万以下などは少なすぎると思います。)若い人が子供を産んで豊島区で育てたい!と思えるようにさらにがんばってください。

## 6 住環境・まちづくり

- 区役所の跡地にできるハレザ池袋に、宝塚を誘致して下さりありがとうございます。カルチャー面を充実してくれるのは嬉しいです。
- 副都心というだけあり、非常に栄えている新しい街というイメージが強かったが、住んでみると古い建屋住宅や商店などもあり、住み心地の良さを感じる。反面、古い建屋が多い=地域の結び付きも昔からあるもの、という印象も抱き、地域の活動に「単身者」の「若者」が参加することには非常に高いハードルがある。引越してきた者はいつまでも余所者のままで、また次の区へ越していくようなイメージ。

- 若者、女性としてもっと安全な街づくりを心がけてほしいです。
- この町にはカフェが少ないです。というのも、思春期の若者が集まって話す場があまりない。カフェでなくても何でもいいのですが、親世代と話すところこの喫茶店でよく皆で集まってしゃべったりしたと聞くとそういうなんとなく行って集まれる場所があると嬉しいなあと思いました。
- 豊島区はとても住みやすい場所です。とても好きです。
- もっと区の住宅を増やしてほしい→いっぱいでも申し込めなかった。

## 7 防犯

○個人的に池袋をよく小さいころからつかってました。東口のサンシャイン通りは、当時よりキャッチやセールスが減って健全な感じになったと思いましたが、その分西口にキャッチやセールスをしている人が増えた

と思います。あやしい雰囲気の人が中高生に声をかけているところを何度か目撃した事があります。性犯罪も増えている様なので、もっとパトロールしてもらえると安全でクリーンなイメージのはんか街になって良いのではと考えます。

## 8 路上喫煙対策

○私自身がらだん感じていることは、若者施策とは関係ないかもしれませんが、歩きタバコへの取り締まりを強化してほしいです。以前、区役所周辺を歩いている時に4、5人の歩きタバコの煙を吸わされ、とても不快な思いをしたことがありました。そういったことも

若者が離れていく1つの原因になっていると私は思います。

## 9 地域の子育て支援

- このようなとりくみがあることを知りませんでした。家庭をもっていないと中々知るチャンスがないと思うのですが、気軽に若い世代（単身や子どものいない夫婦等）が参加できる地域の交流のチャンスがあればいいと思います！
- 生まれてから27年、豊島区に住んでいます。地域の施設やイベントも子供たちが参加できるものが多くこの町が大好きです。たまに感じるのですが、地域住民のつながりが濃いぶん新しい家族が若干参加しにく

いように見えます。

- 池袋には「若い中華街」がある。中国の若者と交流できたら嬉しい。近所に日本語学校がある。その留学生と地域を結びきっかけが欲しい。「外国人は定住するか分からない、何年も居てくれるのか？」という声があるかもしれない。しかし、東京に出てきた全国各地の学生も同じようなものである。たかが数年かもしれないが、豊島区という地域に帰属しているという意識を少しでも育てたら幸せだと思う。

## 10 豊島区の子育て環境の充実

- 子ども政策については子供に関わることもあるので親を通じて耳にしますが、普段はHPも見ないので知りません。豊島区がより素敵な町になるよう願っています。宜しくお願い致します。
- 近所には保育園が増えて子供への支援がふえているような気がします。
- 保育園や幼稚園などの施設がより充実すること
- 夜間保育のできる所を作ってほしい（区立保育園で）
- 今は子供について1番関心があります。保育園を増やすなどはもちろん20-30代はどれぐらい補助や応

援してくれる市があるかよく調べているので豊島区もよりがんばってほしいです！宇都宮市みたいに妊婦への医療費助成制度など・江戸川区のような産後のママへのサポート（1日体を休める）

- 社会での集団行動や厳しさを子供の頃に知っておいた方がいい
- iPadやタブレットを学校教育の中で、必要な子供（学習障害や、ASD、ADHD等の発達障害の子供）が、普通に使えるようになると良いと思います。理想は、誰でも使いたい人が使えると良いと思います。

## 11 その他意見

- 税金が高い。
- 今後将来に不安を感じているが、漠然としたことで解決法が分からない。お金のこと、結婚のこと、このまま一人だと思うと不安しかない。地元をはなれて東京にいて独身で、東京で働く意味が分かりません。だから地元に戻ります、政治や国に何も期待はしてません。一個失敗したらみすてる世の中では若者は希望も持てないです。だから両親に親孝行をして生きていきます！
- 豊島区に申し上げることではないかもしれませんが、夫婦別姓が認められれば、若者の結婚へのハードルが少し下がります。
- 住民税安くして下さい。中華街はよその区が作ればいいので、池袋に作らないで下さい
- 流石に、これだけのアンケートをしたのですから（お金もかかってますよね）このアンケート結果がどのように計画策定反映されたのかをまとめた資料が公開されるものと思います。楽しみにしております。（公開されなければ責任問題ですよ。）ただ一方、計画策定はそれはそれで大事ですが、なにより、きちんと事業化することが大切に思います。今の行政は批判を恐れる余り、ちゃんと一歩を踏み出していない印象があります。計画で夢を語るだけなら、だれも文句を言わないでしょう。でも、それで終わっていいのか？何かを行うということは、何かの批判を受けることです。批判

されないことばかりでは何もやっていないのと同じです。ちゃんと批判、批評されるようなことをして下さい。それが行政の役割でしょう！私は豊島区が好きです。腰の引けた案ではなく、失敗を恐れずにしっかり踏み込んだ施策がされることを期待すると共に、私も勉学にはげみ、区のために役立てる人間になろうと思います。

- 社会全体が子供に冷たい気がする。電車の中でも近隣でも、子供の泣き声に不快感を示す人が多い気がする。政策としては、抽象的ではあるが、「子供にやさしい(寛容な)社会、都市」のイメージをPRしていく必要がありそうな気がする。
- 研究（主に電気、電子回路の設計（製作）にかかる資金の）援助又、契約行為を行う際、未成年は保護者同意書の提出を求められとても困った事があるので選挙同様18以上は成人とし自身のみでの契約行為を認めてほしい。
- ルール・マナーに関するチラシの提供、セミナーなどの開催をしてほしい。→歩きタバコの禁止や、電車の中での過ごし方などについて。
- 近所には保育園が増えて子供への支援がふえているような気がします。
- LGBTの若者とかもいるので、渋谷区や世田谷区みたいに、パートナーシップの制度を検討してみてもどうでしょうか。

## 12 本調査について

- 自分から情報をキャッチしにいったこともなく、また、情報が入ってくることもないので、施策について尋ねられても「何も感じるところはない（興味なし/無関

心）」です。

- 今回、あまり時間がなかった為、深く考えることが出来ず、アンケートに答えました。申し訳ありませんが、

参考になればと思います。

- 子ども若者施策について今回のアンケートではじめて知った。豊島区の政策としてもっとアピールして我々若者の認知度を上げていくべきだと感じた。調査ありがとうございます。私のアンケートが役に立てれば幸いです。よろしくお願いします。
- 豊島区が若者を大切に育てようとはしていない。老人や池袋開発のみにしか目がいていないように思える。このように紙で調査するくらいなら、現場で体感して未来の子供が生活しやすいように改善して頂きたい。
- 本アンケートは生きることに苦しんでいる人、悩んでいる人には、回答しづらい内容が多く、返送率を低下

させる要因とならないかと思った。また、アンケート調査の目的が不明確でもう少しどのような施策を検討しているか等の情報を開示してほしいと感じた。アンケート内容も、解が決まった上での質問なのでは？と感じるものもあり、意味のあるアンケートなのかと疑問に思った。

- 具体的な政策内容に関するアンケートも行ってほしいと思います。
- 若者向けのアンケートが今後もあるとすれば、ぜひインターネット上で回答できる仕組みを検討いただければと思う。

## VII 区施設職員

### 1 子どもの権利

○子どもの権利条約を中学生の生徒手帳に載せていくべきだと考えます。知らなかったでは、人権意識も育ちません。申し訳ありませんが、教員自身の人権意識がとても低いです。そうさせているのはブラックな労働環境が当たり前のもので、あきらめ、受け入れられ、それに慣れてしまうことで、権利意識が働かず、主権者として子どもの悪い見本になってしまっています。抗えない教員が、社会のブラックな体質を再生産していると考えます。自戒も込め、良い労働環境、健全な学校現場から、良い社会、健全な市民を育てるべく、声を挙げていきたいです。

○子どもが小さいときから権利をもち自由に保育されること。

○子ども自身が安全や人権について知り、正しいことや

間違っていることの判断力をつけること。

○まずは大人が、子どもの権利を学ぶことが重要だと思う。年令層も広く知っていれば、子どもは守られて、安心して生きられるのではないか。子どもに関わる職業の人だけではなく、世間一般に学べたらもっといい。子どもと大人が関わるイベント(?)共に企画、運営できるようなものがあったら、子どもは自然に大人の(家族以外の)背中を見るでしょうか…

○子どもをとりまく社会、大人が権利などについてもきちんと理解して、子どもたちへ伝えていくこと。

○職員全てが子どもの権利について学び理解することが大事。子ども自身も学校で学び知ることが大事。

### 2 いじめ

○小さいうちは、人の個性がうまく容認できずそれで「いじめ」たり「いじめられたり」が生まれる事がありま

す。「みんな違ってみんないい」をどう理解させていくのかも必要だと思います。

### 3 屋外の遊び場所

○子どもが子ども同士遊べる場、時が必要。

○子どもが野球で、素振りをする場所もない…しっかり親がついてますが(文句言われる)公園で、ボールあそびもできない(ネットのある公園少ないですね)元気にあそんでいてもクレーム(声大きいなど)が多いらしいです…割とびくびくしながら遊んでいる子が多いのではないのでしょうか。

○豊島区は子どもの遊ぶ場がほとんどないので、充実させてあげたい。

○体育施設の開放(安心してサッカーやバスケットボールなどができる場所、体を動かせる場所)

○安全にすごせる環境、あそび場。事故なく不審者の心配なく。プレーパーク的な場所がもう1ヶ所あってもよい。

### 4 居場所・活動の場の整備

○自分が安心して遊んだり、生活したりできる場があること。家族以外に守られていると感じられる大人が周りにいること。

○小学生をみていると、時間に追われて生きているのを感じます。自分の好きな事に、時間を忘れるほど夢中になってできるスペース、仲間、相談にのってくれる大人がいる環境を整えてあげたい。

○子どもは自分が好きで物事にも積極的にとりくめるようバックアップできる環境がととのっている。

○何でも大人が手をかけるのではなく、子どもが考え、動いて、失敗したりする経験を見守ってあげられる環境や、子どもが困まるときに手をさしのべてあげられる大人が必要である。子どもは大人をみて成長するので、しっかりとした大人であることが大切である。

○自分らしさを大切にすること。地域のイベント等で家族で参加し受け入れてもらえる場所があることなどがあるといいと思う。親も教師も、子どもの個性を受け入れ認めることができること、自尊感情を高めることができるよう日々子どもに接して行きたい。

○子どもにエネルギーがないように感じています。又、自分は何をしたら楽しめるのかすらわからない利用者もいます。1人ひとりに対して関係をつくり話しをすることで、行事や活動につなげています。まずは、自

分は必要とされている存在なのだと感じる、感じられる環境が必要だと思っています。

○保育園、小学校など子どもが学んだり日中過ごす場所が余裕のある環境(関連する職員の質・人数など含む)が大切だと思う。(一人一人の子どもに対しての援助が十分でない。)子どもを中心にまわる世界、社会が必要。危険リスクのある制限は必要だがのびのび遊ぶ環境が少ないし、プレーパークにしてもその場所でない自由や遊びができない気がする。そういう作られた社会ではなく誰でもが自然にすごせるようにする工夫が必要だと思う。

○子どもが個々持っている自分らしさや、自分の得意なことなど、その子自身が持っている個性や能力が認められ、尊重され、その力が社会の役に立つことを実感できる場が保障される機会が数多くある生活環境。

○親や学校以外で、子どもが何でも話したくなるようなリラックスして活躍できる場や人の拡充。

○安心して過ごせる場所(1番が家庭であって欲しいが、そうでない子がたくさんいる事を見聞きするので、その子にとって一番安心して過ごせる場所)を作っていかなければならないと思う。

○子どもの居場所(安心して過ごせる場所や心が休めたり思いを話せる人)が必要だと思います。

- まずは子どもが安心してすごせる場所があるということが大切。基本は家族が安定しておりそこに居場所があることだと思います。そこに居場所が見つけれないならば、何か安心してすごせる場所を作る必要があると思います。そして、信頼できる大人がいることで、きっと社会へも目が向いていくのではないのでしょうか？
- 自分たちの意見が言える場が必要。仲間づくりのためのプロセス、環境作りが必要。居場所づくり、見守る大人の指導。
- 子ども達がのんびりと楽しく友達と過ごすこと、色々な経験をする事、子ども達の居場所を確保すること。
- 子どもにとって、安心して過ごせる、ありのままの自分を認め受け入れ、ときには叱られても、“この人なら

大丈夫”と思える人、居場所があることが大切だと考えます。“自分のことを見てくれている”と子ども自身が実感できることで周りの人にも目を向けられるのだと思います。

- 共働が多い中で放課後の居場所作り、また夕方・夜1人で家にいる子供へのケアを充実させてほしい。
- 中学生が小学生の放課後の面倒をみるというような場があるとよいと思う。
- 放課後をすごすスペースの充実。
- 子どもの居場所が複数、保障されること。→スキップ、ひろば、プレーパークetc・子どもに接する職員が研修等を通して、子どもの権利を理解し適切な対応スキルを身につけられるようにする。

## 5 学校・教育

- キャリア教育の充実。社会人になるため、なった時に必要な力は何か、子どもが知識として学び、そのために小学校、中学校で何を身につければ良いのかを考え実感させること。日々の生活でゆとりがあり、自分自身の良さも課題も安心して出せるような環境づくり。人権感覚やいじめを失くす取り組みも含めて。
- 家庭教育や学校教育が、積極的に学ぶ機会を増していかなければならないと思います。
- 子どもの成長を一貫して支えていける体制づくり。保育園→小学校→中学校がもっと連携していくべきと思う。
- ソーシャルスキルの向上とスキル向上プログラムを学ぶ機会を学校以外の場でももつこと。
- 感覚的なもので伝えるだけでなく、〈学〉として子どもに分かりやすく伝えられるプログラムを導入するのも良いと思う。CAPプログラムは子どもだけでなく、保護者、教職員も巻きこむので、有効だと思う。余談であるが、お茶の水大学附属幼稚園でも取り入れており、紀子様も受講されたと同っている。幼い頃から、〈あなたは唯一無二の大切な存在であり、それを主張するのは大事なこと〉と、正しい権利主張を伝えてあげることは有効だと考える。
- 学校での授業時間の削減が必要。1年生でも5時間授業があたり前。高学年は毎日6時間授業。放課後も塾、習い事に追われ、自由に自分のやりたいことを楽しめる時間が保障されていない。
- 家庭の中だけにいる子どもの状況はわかりにくい。保育園や幼稚園、小学校等、保護者以外の目で子どもの困った状況を早期に発見し改善できるとよい。
- 学校行事の充実化と行事精選。(授業時間数との関係もありますが…)
- 社会に参加という面で、子どもを他県へ学習させたり

式典へ参加させるなど取り組みが見られるが、学校行事が立て込む中、教員の余裕がなくなる。職場体験も、とても充実した学習とは思いますが、校内にこういったものの統一して系統立てて学びを向上させる専門のコーディネーターがいれば、もっと意義のあるものにしていけるのではないかと思う時がある。

- 小、中学校の多すぎるカリキュラム、(教科化)をもう少し減らす。もしくは内容を精査する。
- 貧困による困窮した生活が続く現状を改善できる施策・人権について学んだり、世界に目を向け、様々な人がいていいという考えを構築していくプログラムを実施する。
- 社会に出て困らないソーシャルスキルの向上・集団生活の難しい児童・生徒については、保護者が希望しなくても支援員などの人的支援をお願いしたい。課題のある子ども、課題のない子ども、安全に安心して授業を受ける権利はあるので、支援や配慮の必要のない生徒がきちんと学校生活を送れるようにしてあげたい。SC、SSW、スクールサポーターの学校常駐をお願いしたい。
- 社会勉強の世界を広げる職場体験を毎年実施するなどアルバイト禁止の学校に通った子どもたちに社会で学ぶ場を作る。
- 生きるために必要な情報をあたえることが大切だと思う。→・生活するのにかかる「お金」のこと・仕事の種類・性について。知ったうえで、自分らしく生活をおくるにはと考えることができる。
- 子どものことを認めてあげられる環境をつくる・教師が子どもの意見を取り入れながら、学級を運営する。
- 生きる力を育める環境や教育施策。
- 職場体験の充実。

## 6 情報提供・相談支援

- 孤立せず、地域など身近に相談できたり子育てができるようなハードルの低い機関がたくさんあると良いと思う。
- 悩みや不安にすぐ気づいて、話を聞いてもらえる存在が近くにいることが大切だと思う。

○家族や友達、学校の先生など、関わる周りの人から認められたり、ほめられたり、ありのままの自分でも受け入れられたりする経験が大切だと思います。間違ったことをしたときには、厳しく叱ってくれる人や、相談にのってくれる存在がいることも、重要だと感じま

す。

- 子どもが悩みを抱えたときに、助けを求めることができる機関が充実していけばいいと思います。
- 悩みを相談し、解決に向けて支援してくれる存在が必要。

- どんなことでも認められる場があること。そのためにも、個別対応ができる環境が必要だと思います。
- 不安や困ったことがあった時、スクールカウンセラーをはじめ、気軽に相談できる大人が周りにいる環境を整え、子どもに周知すること。

## 7 経済的支援

- まずは経済的に満たされていること。と思う。
- 子育て世帯への金銭的、制度的支援。

- 子どもの貧困対策を強化する。職員が安定した雇用状態でいられること、そうすることにより子どもへの継続した支援ができると思う。

## 8 地域の子育て支援

- 親が子どもをしっかりとしつめる。・地域が親を支える。・親が学校を信頼する。などのように、親、学校(園)、地域がよい連携を図ることが大切だと思う。
- 子どもが育っていく地域が、安心・安全であること。地域の伝統文化を尊重する態度を育てるため伝統文化の継承に取り組んでいく。その中で、地域との交流が生まれていく。成長していき、自分も地域の一員であるという自覚を持つ。
- 地域の人たちがあたたかくも厳しく子どもたちを見てくれることが大切だと思います。両親とも仕事で、あまり見てあげられていない家庭も増えてきているような気がするからです。
- 地域清掃やボランティアの機会を増やし参加していく。
- 社会、地域全体で子育て支援に取り組み連携していくことが大切だと思います。また親が孤立せず、楽しく子育てをしていけるように地域でつながっていけるような取り組みをさらに行っていくことが大切だと感じます。
- 大人が全て決めてしまうのではなく、子どもが選択することのできる機会を設けていくこと。そして、子どもの成長を見守る温かい目が大切だと思います。何かがあった時、そばに相談できる、また頼れる大人がいることも大切なのだと思います。そのような大人が、園や学校の中だけにとどまることなく、近所の区民の力もかり人とのつながりがもてたなら社会にも参加できるのではないのでしょうか？
- 親(保護者)の意識の改革。親がラクになるための子育て法ではなく、子どもに生きる力をつけさせるような、親も、工夫などをしながら子育てをしていけるような地域ぐるみの共育で…のような意識。
- 子ども達を見守る大人の存在。周囲の大人の関わり方によって人生が変わるといっても過言でないので自己肯定感がのびるような関わりができる大人が身近にいるといいと思います。
- 地域全体で子供たちに気軽に声をかける関係。
- 公園は公共の場ですのでルールは大切です。声がうるさいとかのクレームは…子どもはどこであそべばいいんですかね？地域等にも理解をもって見守ってくれる、

- 一緒に子育てを見守ってくれる大人が沢山いえるといいですね。学校にうるさいとクレームを言う人もいるとか…。
- 社会を生きていく上でのマナーや善し悪しを知らせ導びいてくれる人的環境。それが保護者であったり先生、友だちであったり。地域の方の見守りや時には注意してもらえる機会も重要である。
- 小学生までは地域の行事に参加できることも多いのだが親の手伝いなども多く親の負担のことも考えてほしい。親の中でも他人とのコミュニケーションをとっていくのが苦手な人やわずらわしく感じる人も多いので、地域とつながるのはあたりまえで自然な事なんだと思えるコミュニティ作りが必要。地域の自治会の考え方や自治会長の言動により嫌な思いをすることも多くストレスに感じる人もいる。風通しの良い環境に改善できるよう指導も必要。
- 保護者や教員、地域の方々など、多くの人が見守ることのできる環境やネットワークが必要だと思います。
- 地域とのかかわり。コミュニティ力の強化。
- 顔のみえる距離にある地域とのつながり、コミュニティの形成。
- 親の姿を見て子は育つは昔の事となったが日々の生活の中で育っていく、会話も食生活も同様であるが、時代、社会の子という考え方も有りで、やはり子育ては地域のカも必要。
- 大人が地域全体で見守り、育てること
- 子どものまわりにいる大人が、関心をもって、その子たちに接し、見守っていく事が大切。地域での子育て協力。
- 関係機関が自由に連携をとり、その子にとって何が大切かを地域で考えてあげられるようなしくみ作り。
- 社会に参加しながら成長していくため、親や学校が社会と関わり合う機会を充実させること、また子どものお手本となるよう、大人が率先して、社会参加している姿を示すことが大切だと思います。
- 地域全体が様々な行事を用意し、子どもが自由に参加できる環境の整備。

## 9 ワークライフバランス

- 大人の働き方改革。仕事に対してネガティブな印象が強く自己実現がしにくい日本社会において、明るい未

来を描くのは、難しいように思える。一人一人が自分らしく輝ける社会を築けば、子どもも安心して生活できるに違いない。

○子どもをとりまく環境だけでなく働く保護者の働き方の支援も必要だと感じる

○働き方の考え方の見直し。

## 10 その他意見

- 一番長く過ごす家庭への支援が大切。保護者が安定すれば、子どもも安心できる。
- 複雑な家庭環境や、経済的に苦しい家庭でもサポートできる社会全体の体制づくりが大切だと思います。
- 困難を抱える親への支援。これらが大切であると思う。
- 特別に配慮、支援が必要な家庭へのサポートができる環境を整えることが必要であると考え。
- まず、子どもより前に大人がしっかり大人にならなければいけない。環境の充実。
- 大人の暮らしに余裕があること。
- 家庭が落ち着いていることが重要。そのために保護者の愛情のみならず、安定した生活水準や保護者の良識も大切。←最も難しい面でもあり、指摘、改善できない場合が多い。これをフォローできる機関の存在がほしい。
- 安心・安全に、健康的に生活できる家庭環境。ある程度落ち着いて学習できる環境。安心に安全にスポーツに親しめる環境。安心に安全に芸術に親しめる環境。子どもを取りまく環境の整備が大切である。生活の基盤をしっかりさせることが成長につながると思う。
- 子ども自身が親とゆっくり過ごせるような環境が大切だと思う。そのために、子どもが小学校まで通っている間は、何かしらのサポートが必要な家庭があると思う。
- 幼年期における、親の躰や教育が道徳心を育むと思う。そのためには、親が親になるための学びが必要である。それが、結果的に子どもが安心して自分らしく生きれる社会をつくれるのではないのでしょうか。
- 生活の基盤が安定していること。親をふくめ周りの大人へ信頼感を持ってすごしていくこと。思いをしっかり受けとめてもらい返してもらう経験、育ちを経ていくこと。
- 過保護になりすぎず、見守れる大人を育てること。そして子どもの手本となれる大人になること。
- 子どもに負担がかからないような、共働き家庭への支援の充実・働き方改革の推進実施・子どもたちの体験学習の充実
- まず親が心身ともに健康でいること。
- 親への支援も大切であると思う。親の安定している中で子どもを育ててほしい。
- 本当の子どもの幸せをしっかりと考える。子どものために行っているかどうかを考えて施策を練る。
- 子どもたちと保護者をサポートする人員の増加が必要。求められる教育・サポートは高くなってきている中、人員が不足していると感じる。特別の配慮を必要とする子どもたちが増加してきているので、それに合わせた体制を整えていくことが大切。
- 時代の流れに合わせて、制度を早期に変更していくこと。
- まずは家庭で、愛情を受ける事により、自信を持ち他

- 者や社会に積極的に関わる事が出来る。しかし、その家族に、精神的、身体的、金銭的に余裕がなく、子どもに愛情をそそぐ事が出来ない場合もある。その支援をする事によって、子どもの健やかな成長に期待ができると思う。
- 保育士を増員し、保育体制を充実する。学童期の子どもの預かり保育園と同じ施設にするなど。
- 保育園のような施設に通所できているお子さんはいろいろと補償されているので安心して自分らしくのびのびと社会に参加して成長していけると思いますが、ご家庭のみですごしていると社会参加という面からは、欠如してしまうような気がします。家庭にこもらずいろいろなイベントに積極的に参加してこられるように、興味ある内容や又、いつも何かするというのはなく、ゆったりとすごせるサロン風の場所がたくさんあれば、家から近いとすぐ行けるし、何かあったら、相談もでき、大変心づよい環境になるのではないかと思います。
- 子ども自身が大切にされること。子ども自身が忙しくなく、ゆとりある自由な、なにもない時間が持てること。成長の段階で大事な遊びが保障されること。
- 子どもたちが自分の思いを伸び伸びと主張し、活躍していける場を作っていくことが大切であると思う。
- 保育園児、幼稚園児は、親やまわりの大人の見えるところにいてはまだよいが、小・中学生は親から離れ、親の知らない社会ともつながっていくので、成長に必要と思うが、そこがこわい。安心して成長できる環境を与えるだけではダメなのかも知れないが、困難があっても立ち向えるよう味方になってくれる人が必要？親でも友達でもまわりの誰かでも。そういう関係が作れたらよいと思う。
- まずは子ども同士で話ができるように、あまり下手に大人が関わりすぎないようにしていかなくてはならないと思う。
- 自分を愛してくれる家族がいること。自分を認めてくれる友だちがいること。自分の意見（声）を聞いてくれる大人がいること。
- 子どもが安心安全に過ごせる環境づくりが必要だと思う。すみやすい街づくりが大切だと思う。また、教員も心おだやかに指導ができるよう、学校に何かしらの支援があったらうれしいです。
- 大人同士が互いを認め合い尊敬し合いながら、教育をする環境。また、子供たちの善悪の判断のあいまいな所の共通理解。
- すべての子どもが家庭環境に関わらずに自分の将来や夢について希望を持って生活出来るように、社会が支援することが必要だと思います。
- 失敗しても、あたたかく見守ってくれる周囲の環境づくり。大人にも余裕があり、子どもに向きあえる時間。
- 周りにいる大人が最大の環境であると思う。家庭で年令にふさわしくない関わりをうけ続け、発達に大きな影響が出ている子どもはたくさんいる。子育て、教育

- に携わる者としては、家庭も社会も、子育てをする難しさを抱えている。園でできること、学校でできること、行政でできること、をつなげて、子どもと子育てを暖かく見守れる社会になるといいと思う。
- 親や周りの大人が暖かい目で見守るという意識を持つことが大切かと思う。しかし、それは、子ども中心で何でもOKということではなく、大人が子どもと真剣に向きあい、様々なこと（社会の規律やマナー、楽しいこと、嫌なことも含めて）を伝えようとする態度（意識）だと思う。
- 職員一人ひとりの子どもに対する意識を高めること。全ての子ども、一人ひとりによりそい保育していくこと。その子どもを育てている保護者を支援していくこと。これらのことが、大切だと思います。
- 子どもが子どもらしく自分らしく生きていく社会とは、決して自由にさせることではない。大人がある程度のルールを知らせ、お手本となる世界。子育てが楽しい子どもがかわいい、子どもを育てたいと思える社会を作ること。それは決して、子育てを親からうばうことではない。子育て、支援をまちがえてしまうと親たちから子育ての楽しさをうばっていると思う。子育ては大変なもの、あたりまえ、そのあたりまえをどうやってささえていくか！たとえば道で泣いている子を見て「うるさい！」といった人に対してきちんと対応できる社会になってほしい。そうすることによって子どもは安心して自分らしく生きられ、人生を楽しんでいけると思う。どうぞ支援をまちがえないで下さい。
- 何よりも大人の見守りが大切だと思いますが、世の中にはいろいろな大人がいて、見守れない大人もいるので、見守ってもらえない子どもたちの受けざらがあると良いと思います。（誰かに受け入れてもらっているという気持ちももてること、とても大切だと思うから）
- 子どもをとりまく環境、とりわけ親や教員の心や対応があたりかたかく、よゆうがあることが必要と考える。また教員の仕事の精選も必要である。親や教員が心によゆうがないと、子ども達に向き合えず、対応がなおざりになり、結果子どもが不安定になるという考えである。
- 教育委員会、地域、保護者がいつも学校のことを気にかけていただいているおかげで、子どもがのびのび暮らしていると感じる。これから先も、各機関が常に連携し、情報交換等行うことが安心して生きているために必要だと感じる。学校側も安心して学べる居場所をつくるために尽力したい。
- 競争社会でないこと。みんなひとりひとりそのまま受け入れられる、やさしい社会であること。ちがいを受けとめ、それぞれが“らしく”いられる社会。心にゆとりのある大人…社会。経済的なゆとりのある社会・世の中
- 子どものお手本となる教師が生き生きと元気に活動できるような環境を整えることが大切だと思います。上からの（区や都）などのおしつけの仕事をいやいやながらたくさんの時間を使ってつかれている姿の教員が豊島区は多くないでしょうか？
- ひとりの人間として子どもを大人が認めていくこと・社会に居場所があること、多様性をうけ入れるうけ皿があること。
- 子どもが自由に意見を言うことができる環境で、大人や友達に認めてもらえる環境。子どもが選択して生きていける場所。
- 小さい時から自分の意見・思いを周囲に受けとめてもらったり、大切にされている（愛されている）実感をもち成長していけることが根底にある。特に今の学校教育は先生の手腕によるところが大きく、差が生じているように感じる。色々な先生がいて良いが、それをまとまりある集団に子どもに向き合っていく必要があるのではないか、同じことは保育園、幼稚園等色々な組織に言えると思う。
- 子どもが自ら考え、主体的に行動、生活ができ、事故犯罪に巻き込まれることのない、社会や環境づくりが大切だと感じます。
- まわりの大人たちが子どもたちを大事に育て、子どもも自分を大切に思って成長することが大切だと思う。そんな中で社会に参加できる機会を多く設け、様々な人とふれあいながら育てていければいいと思う。
- 子どもも大人も多様性が認められる土壌。
- 子どもが大人から大切にされていると思うこと、そう思えるような家庭、地域、社会を作ること。
- まずは、自分を好きになれるように、乳幼児からの大人の関わりが大切だと思うので、乳幼児期の環境やそこに関わる大人が重要な役割であると思う。その時期を大切にし、その後小・中・高・大人へと成長できるよう、1つずつのその段階でのケアを大切に対応していける環境や支援をしていくことが重要だと考える。
- ポジティブに自分を表現できる、「ゆとり」のある環境。
- 自分のことを理解してくれる環境があることが大切で、自己肯定感を、大人がもたせることが重要。
- 自分の意見が自由に言えて、それを受け止める大人がその子の意見を尊重しつつそれがただの我がままなのか、正当な意見なのかを的確に判断し助言していく大人の人材を育てる必要性を感じる。
- たくさん遊び、たくさん学び、自由に成長できるように環境を整えていく必要がある。
- 家庭で愛情を沢山受けて、幼稚園や学校で自分らしさを認めてもらい、自己肯定感を高めることが大切だと思います。
- 自分が大切な存在であると日々感じることもあり、守られるべき存在として扱われる中で安心して、生き生きと成長していけると思います。
- 見守る大人のまなざし、いけないことをしっかり言う親以外の大人。そしてそれをうけとれる親。
- 家庭で保護者が責任をもって子育てに取り組み、学校と協力して良くしていこうという意識が必要。学校と家庭が責任を分担して（何においても）いかに何らかの形で欠落した子どもが育ってしまうと感じる。学校に寄せられる声を聞くと、学校（教員）がやることの範囲が昔に比べて広く、多くなっている気がするが、学校にできることには限界があるので、もう少し家庭にもがんばってほしいと思う。
- 親と過ごす時間は多ければ多いほど良いなと思います。土日に仕事へ出かける時のあのさみしそうな顔を見るのは、少しかわいそうに思います。小さい頃から、たくさん、しかも、一緒にいろいろなことを見たり経験



- したりすることが先々に大きな影響を与えるのでは？  
といつも思います。
- 乳幼児期の母子や家庭環境がとても大切だと思います。早番～延長番の時間まで預かっている子どももいますが家庭では父母としっかりコミュニケーションをとっているの、表情はとて面白い子、反対に育休中で母親と接する時間はあるはずなのに、体調不良でも保育園に預けられる子ども、何かスッキリしていません。乳幼児期にしっかり母子関係が確立し、自分は愛されていると自信がある子は自分らしく生きていけると思います。
- 1番大切なのは、なるべく両親がそろって、愛情を注ぎながら子育てをすることがその子どもの基礎となると思うが、家族が家族としての形態を成していないことが多い。このことは、とても、憂慮されることだと思いますが個人の問題でもあり、とても難しいことで現代の日本全体が、不安定なのかなと感じています。経済的なことや、ストレス社会というものが、子どもたちに大きく影響を与えているのだと、いろんな場面で考えさせられています。
- 予期せぬ事象他、我が身にいつ降りてくるか今後増々予想ができない世の中になっていくので、どんなことがあってもある程度の「対応できる力」を身につけることが大切と実感する。その力を乳幼時期に育ていくことに責任ある仕事だと感じている。
- 保護者が自分の子どもの本当の姿を知り、育てにくい子や社会のルールに入れない、コミュニケーションが上手にできない子をどう受けとめていくか。
- 大人が子供のことを真剣に向きあって、信念をもって愛情をそそぐことです。表現としてはばく然としますが、情熱（行きすぎると体罰になりますので…）をもって接することです。
- 子どもには、自分を大切にかわいがってくれる大人がいてくれる家庭環境が大事だと思う。親の態度で子どもは大きく変わる。これによって子どもが自分らしく生きられるかどうか違ってくる。子どもが小さい時期は扱いにくく親は大変な思いをする。子育てが少しでも「楽」になれば親は子育てが「楽しく」なる。「楽」になる方法は子どもにとってもよい方法なので、私たち支援者がその方法を伝え、親に「楽で楽しく」子育てができるように援助していきたい。近年脳科学や心理学等の研究が進み、新たに解明されたことも多い。単に昔からやっていたことを裏付けもなくやり続けるのではなく、理にかなった方法で援助していくのが効果的だと思う。さらに子育てに悩む親を受けとめる姿勢が必要だと思う。まずは、支援者自ら研鑽が必要だ。
- 自己肯定感を高めていけるような、周りの大人の接し方。子供の悪いところばかり目がいきすぎてしまう傾向があるのでよいところを認め、ほめ、さらに向上していけるように周りの大人が配慮していくべきだと思います。
- 子どものセルフエステームを高める言葉かけ、対応を、成長の過程において、保護者も先生も指導員も意識し、子どもが自己肯定感・自己有用感を持てることを大切にしたい。関わる大人は子どもの参加・参画の段階に応じた子どもの意見を大切にしたい日常からの関わりを意識し、行動することの積み重ねが必要だと考える。
- 子ども達の主体性を尊重すること。個性を認めること。
- 褒めてのばすこと。社会のコミュニティに参加したい気持ちをもたせること。愛情をできる限り注いでいくこと、だと思います。
- こつこつと努力したものが正当に評価されること。
- 大人が生き生きと日々よるこんで過ごしていけることが大切だと思います。
- 親の責任を果たせない親があまりにも多い。自分の生活時間で子どもを振りまわし夜遅くまで寝かさない。朝起きない、ご飯をつくってあげない。愛情がないのか、親として育てる場所が必要なのか。親になるべきでないのか。子供は親が育てるものという考え方すら、変えていくべきなのか。子供は社会が育てる…これからの子育てに大きな不安を感じている。
- 現在、ゲームや携帯などが広まり、その中で過ごすことが多いことも達なので、人とのかかわりの中で培われる思いやりやマナーなどが欠如しているように思う。親子で過ごす時間も共働き家庭が増えたり、習い事が多くなったりして、ゆっくりできず、日常の会話から生まれる安心感なども減っていると思う。今の子ども達には、親子の愛情、ふれ合いはもちろん、他方面からの人とのかかわりがとても大切なのではと感じる。
- 自分も大事、人（他人）も大事というスタンスで成長できたらいい。
- 職場と家庭が連携してはいるが、家庭も協力的なことをしてくれないと子どもがかわいそうだと思う。もちろん、学校も信頼されるように努めなければいけないが、両方が、「あっちが悪い」と思っている時点で連携がとれない気がする。
- 子どもが安心して健やかに成長するためには、基本的には、愛情を充分に受けられる家庭の存在が、不可欠と思う。そこには、両親、兄妹、祖父母などの家族がいるにこしたことはないが、離別、死別などで、存在が欠ける場合もある。しかし、欠けた存在に代わる十分な愛情をそそいでくれる存在があれば、子どもは安心して、自分らしく生き、社会に参加しながらの成長が叶うのではないだろうか。家族が欠ける環境でも、施設での愛情の受け方で家庭より愛情深く育つこともあると思う。子どもの健やかな成長は、全て「おとな」にかかっている。子どもが自立して、生きていけるように「育てる」ことは、おとなの義務・責任であると考え。自分も大事、他人も大事に出来る人間が多くなれば、子どももおとなも幸せに暮らせる社会になっていくことと思う。
- 子どもたちの様子をよく観察し、子どもたちの声に耳をかたむけ意見を尊重していくこと。認めていくこと。
- 自分の意見や表現がしやすい社会にするためには、まず子どもを個として扱い、親を含めた大人の所有物ではないことを浸透させていく必要があると感じる。“今の子どもは、わがまま”だとか、親が暴力（言葉も含め）で、子どもを従わせてもよいという考えを改める必要がある。子どもが悩んだ時、この人（大人）なら、安心して話せるという、関係が大切だと思う。親はもちろん、それ以外の大人、私たち公的施設の大人や、地域の方々がそういう場（人）になりたいと思う。
- 子どもを宝だと大人が思える「大人のゆとり」。社会全体のゆとりが子どもに向ける目をあたたかくできると考える。それにより愛されている経験…自分を大切に

- する気もち…自分らしく生きる…とつながると思う。
- 乳幼児期に甘えを受け入れてもらい、愛されていることを実感すること。大人との愛着関係がしっかりでき、自己肯定感をもつことが大事である。
  - 個性を認め、自信をつけさせる為に、大人が変化していくこと。
  - 共働きの家庭が増えたり、一人親の家庭もあつたりして、保護者が子どもの話を聞いたり、善悪を教えたりする機会が少なくなっている。地域や学校が環境を整えても、子どもにとっての一番は親。親が子どもとかかわる時間をつくれるような取り組みが必要。
  - 自分が集団の役に立っているという感覚。→自信を得るために、教員や大人による肯定的な声かけが必要。
  - 子育てをする大人の意識をかえる。(特に親)受験を意識して塾に通わせる親が多いが、そのことで逆に子どもの可能性をつぶしてしまっていると感じることがよくある。子どもは本当に塾に通いたいのか?何のために塾に通っている意味は何なのか?その辺りを親がもう少し考えてあげた方がいい。これからの世の中、知識をもっている人ではなく、その知識をどう活用するか、コミュニケーションをとりながら自分の主張がしっかりできるかどうかという部分が大切になる。親のエゴで受験させ、それで子供がいっぱいいっぱいになっているような気がする。もっと友達と遊ぶ、ケンカするなどの部分を、大切にできるよう大人の意識をかえていった方がいい。
  - いじめのない生活はありえないので、多少のいじめというか子ども社会の摩擦を経験しつつ、たくましく生きていく事ができる力を持って欲しい。
  - 未来に夢を持っている子が少ないように感じます。子ども達が明るい未来が描けるような世の中になってほしいと思っています。大学を出ても正規職員になれない、仕事をしていてもワーキングプア、夢と現実のギャップがうまらないのだと思います。
  - 大人は未来を担うのは、この子どもたちなんだという事をしっかりと認識し、何ができるのか考え、やれることから始められる風土を作っていく。大人が子どもに「ありのままの自分でいいんだよ」と伝え続けることだと思っています。
  - 一人一人の個性を尊重し、多様な人間性の理解をもとに、協同しながら成長していくこと。
  - 自己肯定感が育まれながら成長していく事。
  - ありのままの自分を受け止めてもらい認めてもらい、共感してもらって育っていく。愛されて育っていく中で、自己肯定感をもって自信をもって生きていくことが大切。家庭でも保育園でも近所の方々でもどこかに愛着をもって接し、受け止めてくれる人がいることが大切。
  - 幼少期に身近な大人から愛され、受け入れられ、認められて、自己肯定感を持つこと。これが一番大切だと思います。
  - 自分はみんなから大切にされ必要とされている、いなければいけない1人だと感じる事。
  - 基本は“愛されている”という思い。自分は大切にされていると感じれば自分を好きになり、相手に対してもやさしい気持ちで接することができる。自己肯定感。
  - 自分が認められていると思うこと、自分のことが好きになることが大切だと思う。
  - 今子ども達をとりまく環境の中にメディアが大きな問題と感じている。幼児期からスマホやタブレット、テレビゲームなどを行っている子供が増えていると感じる。小学校になると、いじめやいろいろな問題、メディアの問題もあると聞く、子供の未来を考え、幼児期からのメディアにふれることを減らせば良いと思う。

## 11 本調査について

- アンケートが大まかすぎて答えにくい
- 今回の設問は、内容により年齢の低い児には答えづらい内容でした。

## Ⅷ 地域団体

### 1 子どもの権利

- 子どもが条例を読んで理解して生活をして行けば条例が生きて成長して行けると思っています。小学生には保護者が教え、中学生になったら条例を教える。自分が自分の権利を大切であるように、他の者の権利も大切なものとわかれば「いじめ」も減少すると思う。ルール（それぞれの社会の）を守る事が大切と教え、おぼえてもらう。
- 子どもの権利を家庭、学ぶ場、地域などで守りながら、社会全体で支える事が大切と考えます。特に、障害の

- ある子供や外国人の子供が自分らしく生き社会への積極的な参加ができるような支援が必要と思っています。
- 豊島区に条例があることがすばらしいことだと思う。しかしながら、大人にも子どもにもあまり知られていない現実がとても残念におも。もっと知ってもらいたい。子どもにもゲーム感覚で学べるなど、自分をすきになって、人も大切にできることが学べるなどの機会を作ってあげたいと常に思う。私は色々な団体にいるので団体によってはがっかりすることが多い。

### 2 いじめ

- 小学校下校時に見かけますが、ふざけから本気になってしまう1人へのいやがらせ、余りにしつこく「やめて！」と言っても止めないときは注意しますが、私以外の人が注意することはない無関心…です（通りがかりの人）「ふざけ」なのか「いじめ」なのか難しいが軽いうちにくり返し注意し、よくない事として、自覚させたいもの。各時間の休み時間、校庭ではあります。特に昼休みは長くこの時間は要注意です。1人でも大

- 人がそこにいる（専門にみる人）状況把握することが「いじめ」を減らすことと考えます。
- 学校は、校内でいじめ等がないか個々の子どもに聞き取りし（カウンセラーを含む）、困り事はないか面談の機会を設ける。（3ヶ月に1度）
- いじめなども学校の責任を問うことが多いが、日頃親子がどれだけ深く話し合っって子供の心を理解しているかで、家族力が培われることだろう。

### 3 屋外の遊び場所

- 近くに自由に運動（遊び）出来る場所の確保。
- スポーツの指導員。

- ボール遊びや外で遊ぶ子供が増えるような場所の設置。

### 4 居場所・活動の場の整備

- 自分を大切に思える心の育成、自宅、学校以外にも自分を表現できる場づくり。
- 子どもが自分の思いを率直にいえる場があること。親や地域の大人の心に余裕（ゆとり？）があること。小さなきっかけでもいいので、社会の担い手としての役割を与える。
- 勉強は大切ですが、子供達がのびのびと生活できる環境と愛情だと思います。
- 子どもが安心して過ごせる場所と、いろいろな人（年齢がバラバラな）と、接する場所を設ける。
- 子どもが、子どもの主体性を大切にしながら過ごす場所、時におやつを食べながらおしゃべりしたり、ゲームをしたり、大声を出したり、キャッチボールをしたり…そういう制限されない空間を保障してあげたいと思いますが、公的な場所の中では子ども達も様々な制約を受けています。親の目が届くということは、ある年齢までは必要だと思いますが、子どもが子ども自身の主体的な行動という事を考える時には、大人は適度

- な距離で見守る必要があると考えます。また一方で、子どもが真に助けを必要としている時には、子ども自身がSOSを発することは難しいのではないのでしょうか。
- 豊島区は、やはり遊び場、子どもの居場所がまだまだ少なく、狭いです。晴れ、雨いずれでも安心して過ごせる場所がほしいです。
- 子どもの居場所を提供してあげたい。総合的に時間的な余裕をあげたい。子どもが毎日苦になることが無いような中で成長させたい。
- 中高生の放課後の充実を考えて、ジャンプのような活動の場を広げたり、ボランティアに参加して社会性を磨いていくことも役に立つことだろう。ゲームに頼らない子育てをしたいものだ。
- スマートフォンやパソコンを使わずに遊ぶ（アナログゲーム）顔合わせて対戦する、みんなで遊ぼう！直接顔を合わせながら楽しむこと。

### 5 学校・教育

- 親子が相互に交流出来る場を多く作り、子供同志、親同志が交流することで、自分の子と同等に他人の子も知る事が大事なことと考えている。
- 子供に勉強、勉強と云わず、情操教育しっかりしてほしい。子供らしい子供に！！
- 子どもの多様性を尊重し、画一的でない教育をするこ

- と。子どもの数が少なくなっているの、1人1人の子供の発展の可能性を十分に考慮して、その子にあった教育の方向を示すこと。子どもの発展の可能性は無限大である。
- 家庭・地域・保育園、幼稚園、小学校での人間形成教育の充実。

- 子供達が成長していく上で、大切なのは、教育だと思います。どこの家庭の子供も皆教育を十分に受けさせてあげ、自分で将来のことをしっかり考えられるように環境を整えていくことが大切だと思います。家庭の貧富、片親かどうかにも関係なく、自分の道を考えていけるようにしてあげなくてはいけないと思います。
- 今あいさつが出来ない子どもが多い。こちらから、学校に行っても声かけをしているが、基本、学校であいさつ運動、大切さをもっと教えては？
- 子ども達をあたたかい目で見守ること。かたよらない真の教育→子ども達が、自分で判断する力を育む多様性を受け入れる力。

- 遊びを通して社会的ルールの遵守を学ぶ。大人、特に両親の行動を手本とすると思われるので、大人の社会的ルールの遵守が必要。社会に参加するには受け入れ側の心構えも必要。労力を利用するだけでなく、任せられる事は見守りながら任せていくことも大切。
- 幼児期の育成を十分に行うことが成長した(する)際の成人の健全な生活を行う基礎になると思う。
- 子どもが伸びのびできる学校。成果を求められすぎなのか？現場に余裕が感じられない。
- 学校…(1)どのような子もあたたく迎えてくれる学校づくり。安心して通える学校づくり(2)教育内容の充実(3)精神、態度等厳しい指導も必要である。

## 6 情報提供・相談支援

- 子どもをどう育てていくかというのは、まずその子どもの親の意識が大きいです。育成委員会で企画する子どもたちへの行事にしても、参加してくれるかどうかは保護者の方々の理解によるところもあると思います。保護者の方々が自分だけで抱えこまず地域で保護者同士が支え合える想いを持てるような働きかけの場や、相談し合える場の充実も大切かと思っています。
- 子供達の相談を受け入れる窓口が何力所もあるようで

すが、それぞれが縦割でなく情報を共有し横の連絡を密にし見守ることが大事と思われる。特に死を伴う「いじめ」は増加傾向にあり、深刻です。児童(幼児)虐待も然りです。

- (1)相談に乗ってくれる先生(教師と言うわけではなく、保母さん保育師さんを含めて)が居てほしい。(2)相談だけでなく、お節介をやってくれる程の濃い関係がほしい。

## 7 経済的支援

- 親世代が、生きにくい世の中になっているので、子供にもそのしわ寄せが及んでいるのではと思う。子育て世帯に経済的な支援が大切だと思う。
- 親の貧困をなくさないと子供はちゃんと育たない。親がスマホに夢中では良い子に育たない。社会の貧困が子供を健全な生活から遠ざけている。子供の安全な生

活は全ての人々の安全な生活を実現しないと得ないと思う。

- この様な状況になった大きな原因の1つに親の経済格差があるとあります。意欲有る青年には無償で大学迄行ける教育環境を整えるべきです。少子化の昨今だからこそ実現可能ではないかと思っています。

## 8 防犯

- 子供(小学生)の通学などでのトラブルが心配。冬は暗くなるのが早い。町会での防災カメラを来年2月頃に設置予定している。
- 近くの小学校がISSを取得する為に子供達が地域の

あぶない所や危険な所を自発的にさがしたりして、安全、安心な日々を過ごせる努力をしている所。一つのテーマに向かって、行動しているのはすばらしいと思う。

## 9 地域の子育て支援

- 小・中学生で私立学校に行っている子どもは、町会など地域で把握されていないのではないかと。子どもを支援する団体、機能は区立生だけでなく、全ての子どもに関われるよう、行政は、取り組んで欲しい。
- 子育て中の親御さんたちが、地域というものを大切に、積極的に出て来てほしい。行政ばかり頼りにせず身近な人々に接してほしい。“子どもは地域の子”
- 子どもが安心して自分らしく生きるためには、親、親族の協力がもちろん必要になってくると思いますが、それ以上に近所の人、親の友人など、第3者の大人の存在が重要だと思います。共働きの親が多くなっている今、子どもに対して親の目が届きにくくなっていると思います。(中学生は特に)それは大人も不安になります。頼りになる大人がいらないという点では子どもも不安なのではないかと思うのです。ここで居場所というと、安直な考えと思われるかもしれませんが、ある意味、区民

ひろばのような場を、もっと小地域の住民単位でやれないかと思っています。気軽に何をしてもなく、誰かに監視されるわけでもなく集まれる場所があり、そこで住民、大人と子どもが関係を築くことができれば(もちろん親も含めてです)地域で助け合い子どもを育てあうことができるのでは、と思います。子どもに必要なのは、安心して遊べる場、頼りになる大人の存在だと思います。そこをつないでいくことがバックアップする上では必要なことだと思います。

- 子どもを地域のイベント(まつり・ラジオ体操・もちつき大会など)に参加させる→親が子どもにうながす。
- 近隣の人達と顔を合わすと必ず挨拶をさせる事を教え、町会行事にも進んで参加をさせる事が友達も出来楽しみ上手取り早い方法かな。
- 親と共に地域の行事に参加しながら地域の人達と親見しりになり見守って頂く事、楽しい思い出をたくさん

作る事だと思えます。その上で地域社会との関わりとして、町会への参加等が、考えられると思えます。町会のイベント等に参加し、顔を覚えてもらう事も大事だと思えます。

- 町会の行事、地域の行事に参加（準備段階から参加）できるような雰囲気があると良いのだが…。
- 地域…子どもの活動の受け皿となる。子どもには常に目を向けている姿勢が大切。イベントなど様々な活動を通じて社会性を身につける。
- まわりの大人が責任をもって生活していく事が大事だと思えます。地域の方々とのつながりも深めて行くべきです。（町会の行事など）
- 地域全体が自然体で見守り、自主的に参加、行動できる事が大切だと思えます。

- 地域の方々との関わり、見守りの目。多様な経験の機会。
- 地域の大人が地域の子どもを大切にできる社会になれば、みんなが暮らしやすくなる街になると思えます。
- 子供の生活と、家庭、地域、学校、社会全体で真剣に考え直し問題に取り組む事だと思えます。
- 子供がと言うよりも、親子して社会に参加すべきではないかと思う。親の地域や社会に参加する姿を先ず自分の子供にも見せてはどうですか。
- 地域での行事等に親子で参加しながら顔見知りになり、あいさつのできる関係をつくっていく。子ども達が成長し、この地域で生活したいと思えるようになると良い。

## 10 その他意見

- 困っている子だけではなく、困っている親もサポートできる環境作り。
- 家庭が安心して過ごせる場所であることが第一だと思います。本来なら親が「長時間」働けるように子供の保育環境や放課後環境を整えるのではなく、「心にゆとりを持って」働けるよう、環境・支援策を整備するべきである。また、子供たちは幅広い年代との交流、多彩な経験のもと育ててほしい。
- まずは、家庭環境、特に母親の子どもの育てかたがとても重要だと思います。物や他人や先生など他の環境をどうこう言う前に、親が何でも人のせい、環境のせいにしすぎだと思うし、子どもにもその考えが影響していると思います。責任問題の方がずれているように思う。自分の誤りをきちんと受け入れられ、責任有る行動をとっていけるよう親子で学んでいけば、もっと自分らしく生き生きと社会に参加していけると思えます。
- お母さんが、働らかなかく専業主婦として子育てができる社会になってほしい。子供が自然にふれあえる機会を多く作り豊かな心を育む環境が整備されればよい。人の為に生きる教育が必要。
- 家族・地域の人々が違いを認めあえる社会。個性を認める、協調性が必要。
- 公的な支援（いろいろ）の以前、親が社会と結ばれ自分のかけがえのない子供を育てるスタンスを自からつくる。その手助けは自から求める。
- 親の子供に対する「しつけ」の強化・地域の各種催しものへの積極的参加、働きかけ
- 自分が大切にされているという自己肯定感の醸成・上から目線で指示ばかりをするのではなく子どもの話に耳を傾ける大人が必要・地域全体で子育てを支援する体制づくり・親が1人で子育てに悩まないようサポートする体制づくり・小さいころから地域に子どもが安心して過ごせる居場所をつくる。等が大切だと思えます。
- 親・地域の団体・役所等の連携と思いやりの心
- 1. 親への教育、講習。2. 親への普及啓発
- 子ども家庭部との連携。関係諸団体との意見交換の開催。全ての子供、若者との交流。
- 乳幼児を抱える母親が孤独にならないように。人格形成の時期に良い親子関係が築けるように足を運びやすい施設の充実。
- 問27の施策を行っていく事。
- 子どもがどう自分らしく生きていくか、それよりも保護者の生き方、考え方、育て方が問題だと思います。家庭や育児に問題ができた時、その大人が地域に対してSOSを発信できるような人なら、助けようがあるけど、それができない、しない人たちにどうやって手を差し伸べるかが、むずかしい点です。
- 「国家百年の計は教育に有り」です！！子ども若者課の皆様区民の為に大変とは思いますが頑張ってください。
- 子どもの親も含め地域全体で大人たちが見守る中で、精神的に安心して過ごせることが大切だと思う。また、その中で自分の意見をのびのびと言う事ができ、存在を尊重されていると感じられると、社会参加も自身をもってできるようになるのではと思う。
- 家族が安心して笑顔で生活等ができる環境（経済、住居、公園等の整備）の充実
- 親は子どもの成長を落ち着いて見守り、押さえつけたりせず自分の思っている事を話し、いろいろな事を経験し、いろいろな事に参加できるように助言をし、見守っていければ良い結果に導かれると思う。
- 家庭及び地域でのみまもり。大人が気かけるとともに子ども自身が気にかけてもらっていると思えるようになる事が良いのではないのでしょうか。
- 保護者への支援等家庭全体をみた支援体制の整備（衣食住の担保）。
- 少子化の中、頑張っている子育てをしている母親の擁護が足りないことを実感します。働いている母親が必ずしもキャリアを持った人ばかりではありません。経済的に働かざるを得ない、極限の中で生きている人も沢山います。又、シングルマザーの方々子供を連れて夜遅くまでカラオケボックスに行っているのも胸が詰まります。子育てに関するさまざまなことにももう少し手厚い制度の導入が必要かと心より感じます。
- 最低限の衣食住が保障されていて、「生きていく」ことへの不安を多く抱えずに暮らせる環境。家庭内において、心の余裕（ゆとり）があること。仮に経済的に苦

- しくても心の余裕が持てることは大切であると思う。また、適切な人間関係を築ける環境と信頼できる大人が1人でもいることは大切と思う。また、愛されている、大切にされているという実感を持てること（仮に親でなくても）社会において役割があること、誰かの役に立っているという実感は社会の中で生きていく上で必要と思う。
- 回りの大人が正しく指導して、子供が、何でも話ができる大人が回りに居ることが大切です。
  - 親が学校教育がもっと子供の事を知ってほしいと願いますが、まず家庭環境が大切だと思います。家庭に余裕がないとなかなかできる事ではないかと思ひます。小中高生にとってもちがうと思ひますが、家族との対話が一番なのは子供の目線でもう少し考えていききたいと思ひます
  - 家庭環境の充実と、地域で安全に活動出来る環境作りと見守る姿勢（組織作り）
  - 家庭での教育が最も大切だと思います。両親が良好の関係をもっている事が子供の成長には最重要課題のひとつであると思ひます。その上で子育てと仕事が両立できる社会を作っていく事、現状では仕事をする母親の負担が重すぎます。
  - 家庭での生活、親御さんは忙しすぎて、子供にかかる時間が少ないように思ひます。一緒に食事し、何でも話せる安心できる家庭が一番、大切。
  - 家族の愛情、信頼のおける大人とのふれあいの場、大切な友人、ゆっくりすごせる時間、情操教育
  - 子供が安心、安全に過ごせて何でも相談できる相手は家庭やお父さん、お母さんや家族であって欲しい。今すぐに簡単にできることではないが、そのような家庭、家族でいられるような、環境の整備をしていけたら（住まいや保育や医療や経済的なことなどなど）良いと思ひうし、心の面でもサポートできるような体制が作られていくと良いかなと思ひます。（願っています）
  - 子供が成長して行く中での家庭環境が大切で家族に愛され心豊かに育てられてこそ社会の中に順応出来る。子育てする親の力が大切なのではないか。
  - 子どもには、まず家庭ありきだと思ひう。父母そして兄弟、家庭の中で、たっぷりの愛情をうけて育つこと。衣食住が足りた環境を整え、豊かに育てて欲しいと思ひている。そのために、大人達が優しく、時に厳しく子ども達を見守りたい！
  - 親の意識の問題もある。家庭教育が大切。放任されている子供には淋しさもあると思ひうので素直でのびのびと育ててほしいと思ひていると思ひますが、家、学校、その他、社会の決まりごとをお家の中で少しづつ両親が子供達に教えるべき、人まかせにはしない。
  - 子どもが一番安心出来る場所は家庭であると思ひうので、家庭内の安定を図ることが一番ではないかと思ひます。
  - 子どもが成長していけるには、親はもちろん、まわりの大人、すべてが心に余裕を持ち、おだやかに生活できる環境が必要だと思ひます。大人の心が荒めば子どもにも余裕がなくなります。むずかしいかも知れませんが、皆が笑顔でくらししていける社会をつくっていければと思ひています。
  - 安心安全の町づくりが大切。大人が地域の子ども達を見守る。イベントの企画などの充実（社会参加した子どもの成長に参考になる）
  - 子供が大人とお互いに信頼し合い、様々な機会を与られて、失敗することがあっても危険がなければ口出し、手出しされずに見守ってもらえる環境が必要。また、他の子ども達と協力しあうこと、工夫して困難をのりこえる経験が成長には必要だと思ひます。としま区とこどもD I Y部が行う催しにそのヒントがあると思ひます。「こどものまちをつくろう」の取組みが、長期休みの子供達達の居場所になっているのも、本家の「ミニ・ミュンヘン」にならっていて、すばらしいと思ひます。
  - 経済的にも精神的にも不安を持つことのないよう、社会全体で育てていく、という意識を持ちたい。保育、教育には十分な予算を組んで指導者もゆとりをもって子どもに接することができるよう、職員数の増加、設備の充実を図るべきだと思ひう。遅くなって申し訳ありません！
  - 親が、親である、と云う自覚にとほしい。全部、あれも、これも、地域や制度あてにし過ぎると思ひう。自分の子供はまず、自分が責任を持って、と云う自覚が少い若い世代が気になります。
  - 子どもの安心は、両親が基本的には与えるもの。両親の自覚を促すことが先。
  - 第一親と子の密接なる関係を持つ事。
  - 大人の悪いところを冷静に見て、真似しないことが大事。
  - あまり持ち上げることは感心しない。あたりまえの人間としてすべきことを知らしめる。（しつける）主張すること（権利）より果すこと（義務）が重要であること、義務を一定果すことで権利主張が許されることを体にしみ込ませること。自分の夢と現実には開きがあることと、それでも夢に近づくために何をすべきかを真剣に考え、悩むこと。自分の抱える様々な障壁（心身共に）に向き合う力を身につけること。
  - 子供自身が愛されている実感が大切だと思ひます。皆から存在を認められている事が自信につながると思ひます。
  - 自分だけ、幸せならば、それで良いという考え方。そうではなくて、友人、家族、先生、知人みんなにとって良いことを考えられる道徳心が大事だと思ひます。他人が道で倒れていたら助ける、救急車が来たら、道をあけるとか、当り前のことはできるのですから、緊急時でなくてもおもしろいやりの心を持ってほしいです。それには大人が手本となるように。
  - 両親がお子さんと一緒に遊んだり、イベントに参加して自分の子供をしっかり見つめて、育てて行ってほしいです。子供だけ参加させたり、自分は一緒に参加しないで、スマホばかりいじっているのを良く見かけます。
  - 愛があれば良いと思ひます。情がからむとまためんどろな事も。
  - 自分の子供を、他の子供と比較して親は判断し怒らないで欲しい。子供の良い所を見つけてほめるのも親の責任だと思ひている（教育とは共に育つと書いて見ると）親も成長していかなければダメだと70才過ぎて

も感じている昨今である。乱筆乱文で申し訳ありません。

- 生まれて守られるべきが人間の赤ちゃん。食べさせ着がえさせ、住ませる加えて愛情ある言葉かけあなたを愛してるよが伝われば子どもはツツウの場合ちゃんと生きてゆけると思いますが何らかの事情で何か欠けてしまった場合、だれかがそれを早期に発見してそれを補ってあげなければなりません。それが身近な大人なのではないでしょうか。それぞれが地域に関心を持ち気付ける目をもつこと。それがおせっかいおばさんであっても…誰れかが暗闇で待っているかもしれません。「だいじょうぶ？どうした？何かしてあげようか？」自分に幸せに生きるために生まれてきたことという権利という言葉さえしらない…誰かが今日もどこかで待っているかもそんな想いを持つことが大切だと思います。
- 注意できる大人でいたい。
- 高度経済成長時代に確立された、均質的な人間形成や“みんなと一緒に”“みんなでするものだから”といった、ある種の「型」にはめようとする教育方針や大人の価値観は現代にそぐわなくなっているように思う。一方で、「個性を大事に」「自分らしく」というお題目だけが、まかり通っている印象。「自分の好きなもの」に没頭し、それを「生きる力」に変えていけるような学べる場所があるといい。映画『Most Likely to Succeed』はいろいろな示唆に富んでいた。
- 食事。先生方の充実。
- 現在は子育てにお金がかかるので、親の経済的負担がとても大きい。その為親が収入を得る事に必死になり、子供の事を考えたり、一緒に遊んだりする時間が少なくなっているように感じる。親がゆとりを持ち、愛情をたっぷり注げる環境で生活できると良いと思う。昔に比べて親がゆとりなくなっているよう感じる。
- 宗教等文化の多様性を受け入れ、尊重すること。自らにプライドを持てるように自分の長所、特技、才能を

見付けられるように環境を整えること。

- 子どもは自分に自信を持つこと、安心して何でも話せる友人（仲間）が必要だと思いますので、身近にいる大人が子ども自身を肯定し、受けとめてあげて、子どもに自信を持たせ、前向きに全面的にサポート、バックアップをしていくことが大切だと思います。
- 子供を育てた経験がないので、良くわかりませんが、子供に意見がある時には、親子でわかるまで相談する事。
- 毎日きちんと食事が出来ること。いつも自分を気にかけてくれる人がいること。自分を信じてくれる人がいること。自分が親から愛されていると感じられること。
- 毎日、元気に過ごせること。学校に行け、遊ぶこともできる。家族の団らん。友だちと遊べるなど。○親がしっかり自覚をもって子育てをしてゆくこと。他人任せの子育て（保育園に預ける）は、親子にとって大変不幸なことで有ると思う。経済的な理由も有ると思われるが、3才までの大事な時期には出来る限り親の手元で子育てするのが望ましい！！
- 家庭、学校、地域の連系・強化。家庭…まず、しつけをきちんとつける。親の責任ということを明確にすべきと思う。
- 1. 自分自身（→心をもって、自分以外の人も大切にす心。）を大切にす。2. 自分の気持、心、意見（→他の人の言うことを、聞く心）を言う（話す）3. 思ったこと、考えたことを、行動に移す、勇気。（一歩踏み出す勇気、心）
- 回りの人が、子どもが大切な存在であると思う気持ちです。
- 便利な世の中で楽に暮らせている一面、家族のふれあいがうすれているのではと思う。夫婦、親別の関係を見直すことで、子供の社会性も育っていく。
- 子を持ち「親」の意識変化。過剰な親（いわゆるモンスターペアレンツ）を、生まない環境。

## 11 本調査について

○問1～9の「子どもはいろいろな子どもがいるので設問としておかしいのでは？私は自分の子どもの小さい頃をイメージして答えたが、周りの同級生のことを考えてもいろいろな子どもがいたと思う。このような調

査を行うのであれば、子どもに接する機会の多い人たちが、どのような社会・地域にしていこうと考えているのか、そのためにどのような行動をしていけばよいのかなどの意見、要望等を吸い上げた方が、プラスになるのではないのでしょうか。





---

**(仮称)豊島区子ども・若者総合計画策定のためのアンケート調査報告書**

**平成 31 年（2019 年）3 月**

**発行：豊島区子ども家庭部子ども若者課**

**〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1**

**☎03（3981）1111（代表）**

---

